

# 総合検査案内

## 2022-2023



北信臨床

索引

生化学

薬物検査

血液学

腫瘍関連  
内分泌学

ウイルス

免疫血清

アレルギー

細胞性免疫

染色体

遺伝子関連

一般検査

微生物学

病理学  
総合解析

リスク検査

研究検査  
Athena

検査方法  
参考文献

容器

# 個人情報保護方針

## 《 基本的姿勢 》

弊社は、検体検査業を通じて県民の健康の維持増進に寄与することを目的として、事業活動を行っております。この検体検査の受託にあたっては、検査データの高い信頼性と迅速な提供を確保するために、検査を受ける方（以下「被検者」という。）の個人情報を取得いたしますが、これらに係わる全ての情報は、個人の人格尊重理念の下、慎重に取扱われるべきものと深く認識いたしております。

また弊社では、個人情報の適正な取扱いを確保するため、下記の行動指針を遵守します。

## 《 行動指針 》

### 1. 基本原則

- 弊社で取扱うすべての個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」をはじめとする法令や、国が定めた指針その他の規範および社内諸規定および個人情報保護マネジメントシステムで定めた手続（特定個人情報については、「特定個人情報等取扱規定」を優先して適用）などを遵守し、適切に取扱います。
- 弊社で取扱う全ての個人情報を、適切な安全管理措置を講ずることによって保護管理いたします。
- 弊社の個人情報保護マネジメントシステムは適宜見直しを行い、継続的に改善いたします。

### 2. 情報取得の原則

- 検体検査は、医療機関等と個人情報保護に関する覚書を結んで実施いたします。
- 被検者の個人情報は、医療機関等から適法かつ公正に取得し、受託した検体検査の実施に必要な範囲（特定個人情報については、個人番号を利用できる事務の範囲）内のものとします。

### 3. 情報利用の原則

- お預かりした個人情報は、利用目的の達成に必要な範囲を超えて（特定個人情報については、個人番号を利用できる事務の範囲以外）利用しません。またそのために必要となる措置を講じます。
- 医療機関等の要請により、医療の向上を目的として検査結果を活用させていただく場合がありますが、被検者氏名など個人を特定できるような形での情報開示は行いません。

### 4. 情報提供・開示の原則

- 検査結果は医師の総合的判断における重要な判断情報の一部であり、当社が被検者本人又はその代理人等に直接、情報提供又は開示等を行いません。
- 弊社は、法令に基づく場合や人の生命、身体の保護に必要な場合など正当な理由がある場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで（特定個人情報については本人の同意の如何なく）個人情報を第三者に提供いたしません。

### 5. 安全管理の原則

- 個人情報保護管理者の設置をはじめ内部における責任体制を確保し、不正アクセス、紛失、改ざん、漏えい等の危険防止を図るため、必要かつ適切な保護措置を講じ、不具合があれば是正します。
- 個人情報の適切な保護が確保できるよう、教育研修の実施等を通じて、従業員の個人情報の保護意識の啓発を図ってまいります。
- お預かりした個人情報を委託する場合には、委託先において個人情報保護の措置が確保されるよう、委託契約及び個人情報保護に関する覚書を取り交わし、定期的に必要かつ適切な監督を行います。

### 6. 苦情及び相談への対応

- 個人情報の取扱いに関する苦情、相談、開示等のご請求は以下で受け付けております。

【苦情相談窓口】 電話番号 026-223-6311 FAX番号 026-223-6135

制定 平成17年 4月 1日

改定 平成28年10月31日

株式会社 北信臨床

代表取締役社長 三井 義文

# 2022 ~ 2023 総合検査案内 (北信臨床)

## 目次

<b>索引 ご利用の手引き 緊急報告検査値範囲</b>	ご利用の手引き ..... ①~⑪ 緊急報告検査値範囲 ..... ⑫
<b>生化学的検査</b>	蛋白・膠質反応 ..... 1 酵素および関連物質 ..... 1 低分子窒素化合物 ..... 6 糖質および関連物質 ..... 8 有機酸 ..... 9 脂質および関連物質 ..... 10 ビタミンおよび関連物質 ..... 15 電解質・血液ガス ..... 17 生体微量金属 ..... 18 生体色素関連物質 ..... 18 毒物・産業医学的代謝物質 ..... 19 生化学(その他) ..... 20
<b>薬物検査</b>	抗菌薬 ..... 22 抗てんかん薬 ..... 23 免疫抑制薬 ..... 25 循環器用薬 ..... 25 精神神経用薬 ..... 27 薬物(その他) ..... 28
<b>血液学的検査</b>	血液一般・形態検査 ..... 30 凝固・線溶関連検査 ..... 32 血液化学検査 ..... 35
<b>内分泌学的検査 腫瘍関連検査</b>	視床下部・下垂体ホルモン ..... 36 甲状腺ホルモンおよび結合蛋白 ..... 37 副甲状腺ホルモン ..... 37 副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白 ..... 38 副腎髄質ホルモン ..... 39 性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白 ..... 41 膵・消化管ホルモン ..... 42 内分泌学的(その他) ..... 43 腫瘍関連抗原 ..... 45
<b>ウイルス感染症検査</b>	ウイルス感染症検査 ..... 48
<b>免疫血清学的検査</b>	感染症(非ウイルス)関連検査 ..... 73 自己免疫関連検査 ..... 78 免疫血液学的検査 ..... 85 免疫グロブリン ..... 86 補体および関連物質 ..... 87 血漿蛋白 ..... 88 免疫血清学(その他) ..... 92 サイトカイン ..... 93
<b>アレルギー検査</b>	アレルギー検査 ..... 94
<b>細胞性免疫検査</b>	細胞性免疫検査 ..... 99 細胞表面マーカー ..... 102 DLST薬剤リスト ..... 104 抗原特異的CTL ..... 116
<b>染色体検査</b>	先天異常の染色体検査 ..... 117 白血病や悪性リンパ腫の染色体検査 ..... 120 固形腫瘍の染色体検査 ..... 124
<b>遺伝子関連検査</b>	造血器腫瘍遺伝子検査 ..... 125 免疫関連遺伝子再構成検査 ..... 139 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査 ..... 141 遺伝学的検査 ..... 149 薬剤応答遺伝子検査 ..... 151 移植関連遺伝子検査 ..... 152
<b>一般検査</b>	尿一般検査 ..... 154 糞便検査 ..... 155
<b>微生物学的検査</b>	微生物学的検査 ..... 156 培養同定検査 ..... 167
<b>病理学的検査 総合解析検査</b>	細胞診検査 ..... 170 病理組織検査 ..... 173 総合解析検査 ..... 185
<b>リスク検査</b>	リスク検査 ..... 186
<b>研究検査 Athena依頼検査</b>	ウイルス感染症検査 ..... 189 免疫関連検査 ..... 189 自己免疫機能検査 ..... 190 その他特殊検査 ..... 190 自己抗体検査 ..... 191 補体系検査 ..... 191 その他 ..... 191 神経・筋疾患検査 ..... 192 腫瘍関連検査 ..... 193
<b>検査方法の概略 参考文献一覧</b>	検査方法の概略 ..... ア~エ 参考文献一覧 ..... オ~ニ
<b>容器の取り扱い方法</b>	容器の取り扱い方法 ..... ①~⑤⑥

# 索引 (五十音)

## 五十音

ア	ページ	診療報酬区分	実施料
亜鉛(Zn)	18	D007 37	136
亜鉛トランスポーター 8(ZnT8)抗体	82		
(抗)アクアポリン4抗体	84	D014 45	1000
悪性リンパ腫ALKタンパク(IHC)	173	N002 06	2700
悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析	99	D005 15	1940
悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲーティング	99	D005 15	1940
悪性リンパ腫総合解析検査「ML-NET」	185	※1	6150
( $\alpha_1$ )アシドグリコプロテイン	88		
亜硝酸/硝酸イオン	190		
アスコルビン酸(ビタミンC)	16	D007 60	305
アスピリン→サリチル酸	28	B001 02	特
アスペノン→アプリンジン	25	B001 02	特
アスペルギルス抗原	76	D012 29	157
アスペルギルス抗体	76		
アセタゾラミド	24	B001 02	特
(抗)アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	82	D014 43	798
アセトアミノフェン	28	D007 46	185
アセトン定量	9		
アディポネクチン(LA)	44		
アデノウイルス(CF)(NT)	53	D012 11 イ	79
アデノウイルスDNA 定性	53		
アデノシンデアミナーゼ(ADA)	2	D007 11	32
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	94	D015 21	194
アフィニートル→エベロリムス	25	B001 02	特
アプリンジン	25	B001 02	特
アポリポ蛋白A-I、A-II、B、C-II、C-III、E	14	D007 10 イ	31
アポリポ蛋白Eフェノタイプ	14		
アミオダロン	25	B001 02	特
アミカシン	22	B001 02	特
アミカマイシン→アミカシン	22	B001 02	特
アミサリン→プロカインアミド	26	B001 02	特
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニルアラニン)(LC/MS)	7	D010 04 イ	279+279
アミノ酸分析(39種類、9種類)(LC/MS)	7	D010 04 口	1141
アミノ酸分析(41種類)	7	D010 04 口	1141
アミラーゼ(AMY)	3	D007 01	11
アミラーゼアイソザイム	3	D007 14	48
(P型)アミラーゼ定量	3	D007 14	48
( $\beta$ -)アミロイド1-42/1-40比	92		
(血清)アミロイドA蛋白(SAA)	89	D015 06	47
アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	2	D007 01	11
(骨型)アルカリフォスファターゼ(BAP)	2	D008 30	161
アルカリフォスファターゼアイソザイム→ALPアイソザイム(IFCC)	2	D007 14	48
アルドステロン(CLEIA)	43	D008 16	125
アルドステロン/レニン活性比	43	D008 16+D008 08	125+100
アルドステロン/レニン濃度比	43	D008 16+D008 11	125+105
アルドステロン(CLEIA)/レニン活性比	43	D008 16+D008 08	125+100
アルドステロン(CLEIA)/レニン濃度比	43	D008 16+D008 11	125+105
アルドラーゼ	2	D007 01	11
アルファフェトプロテイン定量	45	D009 03・B001 03 口	101・腫2
(尿中)アルブミン	1	D001 08	99
アルブミン・グロブリン比(A/G比)	1		
アルブミン(Alb)	1	D007 01	11
(尿中)アルブミン(クレアチニン換算値)	1	D001 08	99
アルベカシン	22	B001 02	特
アルミニウム(AI)	19	D007 29	112
アレピアチン→フェニトイン	23	B001 02	特
アンカロン→アミオダロン	25	B001 02	特
アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	4	D007 38	140

アンジェルマン症候群→15染色体(アンジェルマン症候群)(先天異常)	118	D006-5 01	2553
アンジェルマン症候群→SNRPB遺伝子解析(メチレーションPCR)ブラダー・ウィリアムズ症候群/アンジェルマン症候群	149	D006-4 01 エ	5000
( $\alpha_1$ )アンチトリプシン	88	D006 11	80
アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	32	D006 10	70
アンチプラスミン( $\alpha_2$ プラスミンインヒビター)	32	D006 15	128
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析	150	D006-4 01 イ	3880
アンモニア	6	D007 16	50

イ	ページ	診療報酬区分	実施料
イオン化カルシウム	17	D007 07	26
胃癌HER2遺伝子(FISH)	179	N005 01	2700
胃癌HER2タンパク(IHC)	179	N002 03	690
胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	179	N005-3	2700
胃がんリスク層別化検査(ABC分類)(LA)	5		
イーケブラ→レベチラセタム	24	B001 02	特
異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	124	D006-5 01	2553
(尿)一般検査	154	D000	★
一般細菌検査	158		
一般細胞診	170	N004 02	190
イヌリン定量	20	D007 33	120
イノベロールフィナミド	24	B001 02	特
(抗)胃壁細胞抗体	80		
イマチニブ	28	B001 02	特
インスリン	42	D008 10	103
インスリン抗体	82	D014 06	110
インスリン様成長因子→IGF-1(ソマトメジンC)	36	D008 42	212
インタクトPTH→副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	37	D008 33	165
(ヒト)インターフェロン $\gamma$ (EIA)	93		
インターフェロン- $\lambda$ 3(IFN- $\lambda$ 3)	93	D015 28	340
インターロイキン	93		
インターロイキン-6(IL-6)	93	D015 17	170
インデラル→プロプラノロール	26		
院内環境(ふきとり法、スタンプ法)	160		
インフルエンザウイルス(CF)(HI)	66	D012 11 ト	79
インプロメナープロムベリドール	27	B001 02	特

ウ	ページ	診療報酬区分	実施料
ウイリアムズ症候群→7染色体(ウイリアムズ症候群)(先天異常)	117	D006-5 01	2553
ウイルス同定	169		
ウイルス分離	169		
ウォルフ・ヒルシュホーン症候群→4染色体(ウォルフ・ヒルシュホーン症候群)(先天異常)	117	D006-5 01	2553
ウロビジョン→膀胱癌FISH(ウロビジョン)	170	D006-15	1597
ウロボルフィリン(血中)	18		
ウロボルフィリン(尿中)	18	D001 10	105

エ	ページ	診療報酬区分	実施料
エクセگران→ゾニサミド	24	B001 02	特
エコーウイルス	64	D012 11 ホ	79
エステル型コレステロール(Echo)	10		
エストラジオール(E <sub>2</sub> )	41	D008 36	172
エストロゲンレセプター (IHC)	179	N002 01	720
エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター (IHC)	179	N002 01+N002 02 注1	720+180
エタノール	20	D007 27	108
エチルベンゼン→尿中マンデル酸エチルベンゼン	19		
エトスクシミド	23	B001 02	特
エピレオプチマル→エトスクシミド	23	B001 02	特
エベロリムス	25	B001 02	特
エラストーゼ1	3	D009 08・B001 03 口	123・腫2
(子宮頸管粘液中顆粒球)エラストーゼ	3	D004 08	119
エリスロポエチン	44	D008 41	209

※ 1: N000・N002 08・D005 15・D006-5 02+D006-5 注

特：特定薬剤治療管理料  
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料  
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

エルタシン→ゲンタマイシン	22	B001 02	特
塩基性フェトプロテイン(BFP)	45	D009 16・B001 03	150・腫2
塩酸バンコマイシン→バンコマイシン	22	B001 02	特
エンテロウイルス	61		
エンテロトキシン型別	160		
エンドトキシン定量	74	D012 50	236
(透析液中)エンドトキシン A液、B液、RO水、調整液、その他	74		

オ	ページ	診療報酬区分	実施料
黄体形成ホルモン(LH)	36	D008 13	108
黄体ホルモン→プロゲステロン	41	D008 24	147
オステオカルシン	44	D008 28	157
オートタキシン	90	D007 48	194
オーム病クラミドフィラ(クラミジア シッタシ)	73	D012 11	ネ 79
オリゴクローナルバンド	87	D004 11	522
オンコマインDx Target TestマルチCDx	145	D004-2(注1C)+D004-2(注2-4)	14000
オンコマインDx Target Testマルチ研究用46遺伝子解析	146	D004-2(注1C)+D004-2(注2-4)	14000

カ	ページ	診療報酬区分	実施料
(尿中)核マトリックスプロテイン22(NMP22)	46	D009 13	143
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	46	D009 21・B001 03	175・腫2
家族性アミロイドーシス→TTR遺伝子解析(家族性アミロイドーシス)	149	D006-4 01	ア 3880
家族性地中海熱→MEFV遺伝子解析	150	D006-4 01	オ 3880
活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	32	D006 07	29
カテコールアミン3分画	39	D008 33	165
カテコールアミン総	39	D008 38	189
カドミウム	20		
ガバベン錠→ガバベンチン	24	B001 02	特
ガバベンチン	24	B001 02	特
カフィール→ジソピラミド	26	B001 02	特
可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	93	D009 30・B001 03	438・腫2
可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	32	D006 12	93
可溶性メソテリン関連ペプチド	46	D009 26・B001 03	220・腫2
(抗)ガラクトース欠損IgG抗体	80	D014 07	114
カリウム(K)	17	D007 01	11
(ニューモシスチス)カリニ(P.jirovecii)DNA	167		
(子宮頸管粘液中)顆粒球エラスターゼ	3	D004 08	119
顆粒球抗体→抗好中球抗体	191		
カルシウム(Ca)	17	D007 01	11
(イオン化)カルシウム	17	D007 07	26
(抗)カルジオリピンIgG抗体	83	D014 28	226
(抗)カルジオリピンIgM抗体	83	D014 28	226
(抗)カルジオリピンβ <sub>2</sub> グリオブリンI 複合体抗体(抗CL・β <sub>2</sub> GP I 抗体)	83	D014 27	223
カルシトニン	37	D008 20	133
カルニチン分画	15	D007 23+D007 23	95+95
カルバマゼピン	23	B001 02	特
(便中)カルプロテクチン	81	D003 09	270
肝細胞増殖因子(HGF)	44	D007 52	227
カンジダ抗体	76		
カンジダマンナン抗原	76	D012 21	134
感受性検査(一般細菌)	158	D019 01/D019 02/D019 03	180/230/290
(抗)肝腎マイクロスーム1抗体→抗LKM-1抗体	84	D014 25	215
間接クー姆斯試験	85	D011 02	47
間接ビリルビン	18		
癌胎児性抗原(CEA)	45	D009 02・B001 03	99・腫2
(ヒト)癌胎児性フィブロネクチン	89	D015 23	204
寒冷凝集反応	75	D014 01	11

キ	ページ	診療報酬区分	実施料
キシロカイン→リドカイン	26	B001 02	特

キニジン	27	B001 02	特
キメリズム解析移植後(PCR)	153		
キメリズム解析移植前レシピエント、ドナー (PCR)	153		
凝固因子活性検査(第II、V、VI、VII、IX、X、XI、XII、XIII因子)	33	D006 30	223
凝固抑制因子検査(第VII、IX因子)	33	D006 20	144

ク	ページ	診療報酬区分	実施料
グアナゼ	2	D007 12	35
クエン酸	9		
(間接)クー姆斯試験	85	D011 02	47
(直接)クー姆斯試験	85	D011 02	イ 34
グラセプター→タクロリムス	25	B001 02	特
クラミジアトラコマティス	73	D012 40	200
クラミジアトラコマティスDNA	73	D023 02	193
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ	73		
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ(オーム病クラミドフィラ)	73	D012 11	ネ 79
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgA	73	D012 10	75
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgG	73	D012 09	70
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgM	73	D012 07	152
クリオグロブリン定性	87	D015 05	42
グリオアルブミン	8	D007 17	55
クリプトコッカス抗体	76		
クリプトコッカス・ネオフォルマンス抗原	76	D012 35	174
グリベック→イマチニブ	28	B001 02	特
グルカゴン→隣グルカゴン	42	D008 25	150
(HCV群別)グルーピング	50	D013 11	221
クレアチニン	6	D007 01	11
クレアチン	6	D007 01	11
クレアチンフォスフォキナーゼ→CK(CPK)	1	D007 01	11
クレアチンフォスフォキナーゼ-MB→CK-MB(CPK-MB)(CLIA)	1	D007 22	90
クレアチンフォスフォキナーゼ-MB→CK-MB(CPK-MB)(免疫阻止-UV法)	1		
クレアチンフォスフォキナーゼアイソザイム→CK(CPK)アイソザイム	1	D007 17	55
クロナゼパム	23	B001 02	特
クロバザム	23	B001 02	特
クロム	20		
クロール(CI)	17	D007 01	11
クンケル反応(ZTT)	1		

ケ	ページ	診療報酬区分	実施料
(末梢)血液一般検査	30	D005 05	21
血液型(ABO式)	85	D011 01	24
血液型(Rh(D因子)式)	85	D011 01	24
血液型(Rh-Hr式)	85	D011 03	148
血液型不適合妊娠	85		
血液疾患(染色体SKY)	120	D006-5 01	2553
血液像→末梢血液像	30	D005 03	15
結核菌感受性(MIC)	162	D022	400
結核菌群核酸同定(TRC)	162	D023 13	410
結核菌群抗原	162	D012 53	291
結核菌特異的IFN-γ	77	D015 30	594
血小板関連IgG(PAIgG)	84	D011 06	193
(抗)血小板抗体	84	D011 08	261
血小板第4因子(PF-4)	34	D006 26	178
血小板表面マーカー検査CD41、CD42b	101		
血清 HER2タンパク	46	B001 03	腫2
血清亜鉛(Zn)	18	D007 37	136
血清アミロイドA蛋白(SAA)	89	D015 06	47
血清抗p53抗体	46	D009 19・B001 03	163・腫2
血清対応型タイピング(HLA-A,B)、(HLA-DR)	152		
血清鉄(Fe)	18	D007 01	11

特：特定薬剤治療管理料  
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料  
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

血清銅(Cu)	18	D007 05	23
血清補体価	87	D015 04	38
結石分析(成分比率)	20	D010 02	117
血中11-OHCS	38	D008 02	60
血中ケトン体分画	9	D007 19	59
血中総ホモシステイン	8	D010 04 イ	279
血糖(グルコース)	8	D007 01	11
嫌気性培養(一般細菌)	158	D018 注1	122
ゲンタシン→ゲンタマイシン	22	B001 02	特
ゲンタマイシン	22	B001 02	特

コ	ページ	診療報酬区分	実施料
コアグラマーゼ型別	160		
(HCV抗原)コア蛋白質	51	D013 05	105
抗AChR抗体(抗アセチルコリンレセプター抗体)	82	D014 43	798
抗ARS抗体	80	D014 22	190
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	83	D014 33	270
抗CL-β <sub>2</sub> GP I抗体(抗カルジオリピンβ <sub>2</sub> グリコプロテインI複合体抗体)	83	D014 27	223
抗DNA抗体(RIA)	78	D014 17	163
抗ds-DNA IgG抗体	78	D014 17	163
抗ds-DNA IgM抗体	78		
抗GAD抗体	82	D008 21	134
抗GBM抗体(抗糸球体基底膜抗体)	83	D014 32	262
抗HLA抗体(スクリーニング検査)	152	D014 46	1000
抗IA-2抗体	82	D008 43	213
抗Jo-1抗体	80	D014 09	140
抗LKM-1抗体	84	D014 25	215
抗MDA5抗体	80	D014 34	270
抗Mi-2抗体	80	D014 34	270
抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	78	D014 18	170
抗RNP抗体	78	D014 11	144
抗Scl-70抗体	78	D014 14	157
抗Sm抗体	78	D014 12	151
抗SS-A/Ro抗体	78	D014 16	161
抗SS-B/La抗体	78	D014 15	158
抗ss-DNA IgG抗体	78	D014 17	163
抗ss-DNA IgM抗体	78		
抗TIF-1-γ抗体	80	D014 34	270
抗TPO抗体→抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	82	D014 10	142
抗β <sub>2</sub> グリコプロテイン I IgG抗体	83	D014 28	226
抗β <sub>2</sub> グリコプロテイン I IgM抗体	83	D014 28	226
抗アクアポリン4抗体	84	D014 45	1000
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	82	D014 43	798
抗胃壁細胞抗体	80		
抗核抗体(ANA)	78	D014 05	102
抗ガラクトース欠損IgG抗体	80	D014 07	114
抗カルジオリピンIgG抗体	83	D014 28	226
抗カルジオリピンIgM抗体	83	D014 28	226
抗カルジオリピンβ <sub>2</sub> グリコプロテインI複合体抗体(抗CL-β <sub>2</sub> GP I抗体)	83	D014 27	223
睾丸決定遺伝子SRY(Y染色体)	118	D006-5 01	2553
抗肝腎マイクロソーム1抗体→抗LKM-1抗体	84	D014 25	215
高感度PNH型血球検査	99		
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	82	D014 45	1000
抗血小板抗体	84	D011 08	261
抗甲状腺サイログロブリン抗体(サイロイドテスト)	82	D014 03	37
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	82	D014 10	142
抗甲状腺マイクロソーム抗体(マイクロソームテスト)	82	D014 03	37
抗好中球抗体	191		
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	84	D014 30	258
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	84	D014 31	259

抗サイログロブリン抗体(CLEIA)	82	D014 09	140
好酸球数	30	D005 04	17
抗酸菌感受性(MIC)	162	D022	400
抗酸菌抗体定性→MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	77	D012 17	116
抗酸菌同定(質量分析)	162	D021	361
抗酸菌 塗抹(集菌蛍光法)	162	D017 01+D017 01 注	50+35
抗酸菌 分離培養(液体法)	162	D020 01	300
抗酸菌 分離培養(小川法)	162	D020 02	209
抗酸菌 感受性検査(間接法)	162	D022	400
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	83	D014 32	262
抗シトルリン化ペプチド(CCP)抗体	80	D014 24	198
(抗)甲状腺サイログロブリン抗体(サイロイドテスト)	82	D014 03	37
甲状腺刺激ホルモン(TSH)(CLEIA)IFCC	36	D008 09	101
(抗)甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	82	D014 10	142
(抗)甲状腺マイクロソーム抗体(マイクロソームテスト)	82	D014 03	37
抗ストレプトキナーゼ抗体(ASK)	74	D012 03	29
抗ストレプトリジン-O抗体(ASO)	74	D012 01	15
抗精子抗体→精子不動化抗体(SI50)	83		
抗精子抗体(不動化法)→精子不動化抗体	83		
高精度分染法→染色体(先天異常)	117	D006-5 02+D006-5 注	2553+397
抗セントロメア抗体	78	D014 19	174
酵素抗体染色	173	N002 08	400
抗体同定・抗体価測定(不規則性抗体)	85	D011 04	159
(末梢血)好中球BCR-ABL1 t(9;22)転座	122	D006-5 01	2553
(抗)好中球抗体	191		
(抗)好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	84	D014 30	258
(抗)好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	84	D014 31	259
抗デスマグレイン1抗体	83	D014 37	300
抗デスマグレイン3抗体	83	D014 33	270
抗トポイソメラーゼ I 抗体→抗Scl-70抗体	78	D014 14	157
抗内因子抗体	80		
抗ヒストン抗体	191		
抗皮膚抗体	191		
抗表皮成分自己抗体(直接法)	84	N002 08+N002 08 注	400+1200
抗プロトロンビン抗体	191		
高分子量アディポネクチン(CLEIA)	190		
抗平滑筋抗体	80		
抗ヘリコバクターピロリ抗体(LA)	74	D012 12	80
抗ミトコンドリアM2抗体	80	D014 21	189
抗ミトコンドリア抗体	80	D014 20	181
抗ミューラー管ホルモン(AMH)(CLEIA)	42	D008 52	600
抗ランゲルハンス氏島抗体(ICA)	191		
抗利尿ホルモン(AVP)	36	D008 47	230
(抗リン脂質抗体)→抗カルジオリピンIgG抗体	83	D014 28	226
(抗リン脂質抗体)→抗カルジオリピンIgM抗体	83	D014 28	226
(抗リン脂質抗体)→抗カルジオリピンβ <sub>2</sub> グリコプロテインI複合体抗体	83	D014 27	223
コクサッキーウイルス(CF)(NT)	61、62	D012 11 □	79
極長鎖脂肪酸	12	D010 08 □	1141
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	2	D008 30	161
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	3	D008 27・B001 03 □	156・腫2
コプロボルフィリン(血中)	18	D007 50	210
コプロボルフィリン定性	18		
コプロボルフィリン(尿中)	18	D001 14	131
コリンエステラーゼ(ChE)	2	D007 01	11
コレチゾール	38	D008 15	124
(尿中)コレチゾール	38	D008 15	124
(遊離)コレステロール(F-Cho)	10	D007 01	11
(総)コレステロール(T-Cho)	10	D007 03	17
コレステロールエステル比	10		
コレステロール分画	13	D007 18	57

サ	ページ	診療報酬区分	実施料
サイクリックAMP	44	D008 35	170
サイトケラチン19フラグメント(シフラ)(CYFRA)	46	D009 17・B001 03 口	158・腫2
サイトメガロウイルス	57	D012 11 ハ	79
サイトメガロウイルスDNA 定性	57		
サイトメガロウイルス(IgM)(IgG)	57	D012 42 ハ	206
サイトメガロウイルスpp65抗原(C10,C11)、(C7-HRP)	57	D012 54	366
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	57	D023 18	825
サイトメガロウイルス核酸定量	57	D023 16	450
サイトメガロウイルス特異的CTL解析(HLA-A*0201)、(HLA-A*2402)	116		
(一般)細胞診検査	170	N004 02	190
細胞診(喀痰集細胞法)(ABC)(Class)	170	N004 02	190
細胞診(尿LBC)	170	N004 02	190
細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)(婦人科LBC)	170	N004 01+N004 01 注1	150+36
細胞診(婦人科ベセスダシステム)(婦人科)	170	N004 01	150
サイロイドテスト(抗甲状腺サイログロブリン抗体)	82	D014 03	37
(遊離)サイロキシシン(Free T <sub>4</sub> )	37	D008 15	124
サイロキシシン(T <sub>4</sub> )(CLEIA)	37	D008 12	108
サイロキシシン結合グロブリン(TBG)	37	D008 17	130
サイログロブリン(CLEIA)	37	D008 18	131
(抗)サイログロブリン抗体(CLEIA)	82	D014 09	140
サーティカン→エベロリムス	25	B001 02	特
(肺)サーファクタントプロテインA(SP-A)	14	D007 35	130
(肺)サーファクタントプロテインD(SP-D)	14	D007 37	136
サリチル酸	28	B001 02	特
ザロンチン→エトスクシミド	23	B001 02	特
酸化LDL(MDA-LDL)	12	D007 48	194
サンディミュン→シクロスポリン	25	B001 02	特
サンリズム→ビルシカイニド	26	B001 02	特

シ	ページ	診療報酬区分	実施料
ジアゼパム	23	B001 02	特
ジアバックス→ジアゼパム	23	B001 02	特
シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX)	45	D009 14・B001 03 口	144・腫2
シアリルLe <sup>x</sup> 抗原(CSLEX)	45	D009 18・B001 03 口	160・腫2
シアリルTn抗原(STN)	45	D009 15・B001 03 口	146・腫2
シアリル糖鎖抗原KL-6→KL-6	91	D007 28	111
シアル酸	8		
子宮頸管粘液中顆粒球エラストラーゼ	3	D004 08	119
(抗)糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	83	D014 32	262
シクロスポリン	25	B001 02	特
ジゴキシシン	25	B001 02	特
ジゴシン→ジゴキシシン	25	B001 02	特
シスタチン C	6	D007 30	115
ジストロフィンDNA	150	D006-4 01 ア	3880
ジソピラミド	26	B001 02	特
ジフェニルヒダントイン→フェニトイン	23	B001 02	特
ジフテリア抗体	191		
シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	46	D009 17・B001 03 口	158・腫2
シベノール→シベンソリン	26	B001 02	特
シベンソリン	26	B001 02	特
脂肪酸分画(24成分)	12	D010 07	405
脂肪酸分画(4成分)	12	D010 07	405
(尿中)シュウ酸	9	D001 18	200
絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	42	D008 21	134
絨毛性ゴナドトロピンβサブユニット(HCG-β)	42	D008 19	132
手術材料	173		
腫瘍随伴性レチノバシー(CAR)自己抗体	193		
食道癌PD-L1タンパク質(IHC)22C3	179	N005-3	2700

女性 AIRS・AICS	186		
心筋トロポニンT	89	D007 29	112
(特異的IgE)シングルアレルゲン	94	D015 13	各110
神経特異エノラーゼ(NSE)	46	D009 12・B001 03 口	142・腫2
心室筋ミオシン軽鎖 I	89	D007 45	184
(ヒト)心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	89	D007 36	135
身長関連遺伝子SHOX(X,Y染色体)	118	D006-5 01	2553
浸透圧(血清)	17	D005 03	15
浸透圧(部分尿)	17	D001 03	16
(ヒト)心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	44	D008 46	221

ス	ページ	診療報酬区分	実施料
麟PLA <sub>2</sub> (麟ホスホリパーゼA <sub>2</sub> )	3	D007 49	204
麟アミラーゼ→P型アミラーゼ定量	3	D007 14	48
麟グルカゴン	42	D008 25	150
水痘・帯状疱疹ウイルス	56	D012 11 ナ	79
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	56		
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	189	D023 16	450
水痘・帯状疱疹ウイルス(IgM)(IgG)	56	D012 42 チ	206
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原(FA)	56	D012 48	227
麟ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (麟PLA <sub>2</sub> )	3	D007 49	204
スチリベントール	24	B001 02	特
(尿中)スチレン代謝物	19		
(抗)ストレプトキナーゼ抗体(ASK)	74	D012 03	29
(抗)ストレプトリジン-O抗体(ASO)	74	D012 01	15
ストロムマイシン1→MMP-3(マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	4	D014 08	116
スルファチド自己抗体(IgG,IgM)	192		

セ	ページ	診療報酬区分	実施料
精子不動化抗体	83		
精子不動化抗体(SI50)	83		
脆弱X染色体(脆弱X症候群)	117	D006-5 02+D006-5 注	2553+397
成人T細胞白血病ウイルス抗体(ATLV抗体)(CLEIA)	69	D012 31	163
成人T細胞白血病ウイルス抗体(ATLV抗体)(PA)	69	D012 13	85
成長ホルモン(GH)	36	D008 13	108
赤痢アミーバDNA 定性	167		
赤血球表面マーカー検査CD55、CD59	99		
セルシン→ジアゼパム	23	B001 02	特
セルセプト→ミコフェノール酸	25	B001 02	特
セルロプラスミン	88	D015 09	90
セレニカR→パルプロ酸	24	B001 02	特
セレネース→ハロペリドール	27	B001 02	特
セロトニン	40		
染色体 G-Banding(血液疾患)	120	D006-5 02+D006-5 注	2553+397
染色体SKY(血液疾患)	120	D006-5 01	2553
染色体SKY(先天異常)	117	D006-5 01	2553
染色体構造変異解析→マイクロアレイ染色体検査(染色体構造変異解析)	119	D006-26	8000
染色標本作製	173		
先天異常(染色体SKY)	117	D006-5 01	2553
先天性QT延長症候群遺伝子解析	150	D006-4 03 ア	8000
先天性網膜芽細胞腫RB1→13染色体(先天性網膜芽細胞腫RB1)	117	D006-5 01	2553
(抗)セントロメア抗体	78	D014 19	174
前立腺特異抗原(PSA)	46	D009 09・B001 03 口	124・腫2
前立腺特異抗原(PSA)F/T比	46	D009 16・B001 03 口	150・腫2

ソ	ページ	診療報酬区分	実施料
総コレステロール(T-Cho)	10	D007 03	17
(尿中)総三塩化物	19		
総タウ蛋白(AD)	190		
総胆汁酸	13	D007 13	47

特：特定薬剤治療管理料  
 腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料  
 ★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

# 索引 (五十音)

## 索引

総蛋白(TP)(血清)	1	D007 01	11
総蛋白(TP)(髄液)	1	D007 01	11
総蛋白(TP)(尿)	1、154	D001 01	7
総鉄結合能(TIBC)	18	D007 01	11
総ビリルビン(T-Bil)	18	D007 01	11
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	7	D010 05	283
(血中)総ホモシステイン	8	D010 04 イ	279
組織適合抗原→HLA	152		
ソトス症候群→5染色体(ソトス症候群)(先天異常)	117	D006-5 01	2553
ソニサミド	24	B001 02	特
ソマトメジンC(IGF-1)	36	D008 42	212

タ	ページ	診療報酬区分	実施料
第Ⅱ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ、Ⅹ、Ⅺ、Ⅻ因子(凝固因子活性検査)	33	D006 30	223
第Ⅶ、Ⅸ因子(凝固抑制因子検査)	33	D006 20	144
ダイアモックス→アセタゾラミド	24	B001 02	特
大腸菌ペロトキシン	160	D023-2 03	189
胎盤型アルカリフォスファターゼ(PLAP)	2		
タウ蛋白	92	D004 13	622
(総)タウ蛋白(AD)	190		
タクロリムス	25	B001 02	特
タゴシッド→テイコブラニン	22	B001 02	特
多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析	99	D005 15	1940
多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)	99	D005 15	1940
(総)胆汁酸	13	D007 13	47
単純ヘルペスウイルス	54	D012 11 へ	79
単純ヘルペスウイルス(1型)(2型)	55	D012 11 へ	79
単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	55	D012 42 イ	206
単純ヘルペスウイルスDNA 定性	55		
単純ヘルペスウイルスDNA定量	55	D023 16	450
単純ヘルペスウイルス(IgM)(IgG)	54	D012 42 イ	206
単純ヘルペスウイルス特異抗原	54	D012 37	180
男性 AIRS・AICS	186		
(総)蛋白(TP)(血清)	1	D007 01	11
(総)蛋白(TP)(髄液)	1	D007 01	11
(総)蛋白(TP)(尿)	1、154	D001 01	7
蛋白分画	1	D007 04	18
タンボコール→フレカイニド	27	B001 02	特

チ	ページ	診療報酬区分	実施料
チミジンキナーゼ活性	35	D005 12	233
中性脂肪(TG)	10	D007 01	11
直接クー姆斯試験	85	D011 02 イ	34
直接ビリルビン	18	D007 01	11

ツ	ページ	診療報酬区分	実施料
ツツガムシカブ、カトー、ギリアム(IgG)(IgM)	76	D012 43	207

テ	ページ	診療報酬区分	実施料
ディアコミット→スチリベントール	24	B001 02	特
低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	44	D008 26	154
テイコブラニン	22	B001 02	特
デオキシビリジノリン	90	D008 39・B001 03 口	191・腫2
デオキシビリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	90	D008 39	191
テオドール→テオフィリン	28	B001 02	特
テオフィリン	28	B001 02	特
テオロング→テオフィリン	28	B001 02	特
テグレートール→カルバマゼピン	23	B001 02	特
テストステロン	41	D008 14	122
(抗)デスマグレイン1抗体	83	D014 37	300

(抗)デスマグレイン3抗体	83	D014 33	270
鉄(Fe)	18	D007 01	11
(総)鉄結合能(TIBC)	18	D007 01	11
(不飽和)鉄結合能(UIBC)	18	D007 01	11
デバケン→バルプロ酸	24	B001 02	特
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	38	D008 34	169
テレスミン→カルバマゼピン	23	B001 02	特
デングウイルスNS1抗原	70	D012 49	233

ト	ページ	診療報酬区分	実施料
銅(Cu)	18	D007 05	23
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	182	N005-3	2700
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	182	N005-3	2700
透析液中エンドトキシンA液、B液、RO水、調整液、その他	74		
糖代謝解析	8		
トキソプラズマIgG抗体	77	D012 14	93
トキソプラズマIgM抗体	77	D012 15	95
特異的IgE(12種吸入性アレルギー)→アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	94	D015 21	194
特異的IgE(MAST36アレルギー)	94	D015 13	1430
特異的IgE(MAST48mix)	94	D015 13	1430
特異的IgE(View アレルギー 39)	94	D015 13	1430
特異的IgE(シングルアレルギー)	94	D015 13	各110
トータルPAI-1(tPA・PAI-1複合体)	32	D006 33	240
ドーバミン総	39		
トピナ→トピラマート	24	B001 02	特
トピラマート	24	B001 02	特
トブラシン→トブラマイシン	22	B001 02	特
トブラマイシン	22	B001 02	特
(抗)トボイソメラーゼ I 抗体→抗Sci-70抗体	78	D014 14	157
塗抹鏡検(一般細菌)	158	D017 03	64
トランスサイレチン→プレアルブミン	88	D015 12	104
トランスフェリン	88	D015 07	60
(尿中)トランスフェリン	88	D001 09	101
(尿中)トランスフェリン(クレアチニン換算値)	88	D001 09	101
トリグリセライド→中性脂肪(TG)	10	D007 01	11
(尿中)トリコロール酢酸	19		
トリコスポロン・アサヒ抗体	77	D012 59	847
鳥特異的IgG抗体	77	D012 60	873
トリプシン	3	D007 47	189
トリメタジオン	24	B001 02	特
(遊離)トリヨードサイロニン(Free T <sub>3</sub> )	37	D008 15	124
トリヨードサイロニン(T <sub>3</sub> )[CLEIA]	37	D008 07	99
(心筋)トロポニンT	89	D007 29	112
トロンピン・アンチトロンピンⅢ複合体(TAT)	32	D006 25	176
トロンボモジュリン	35	D006 28	204

ナ	ページ	診療報酬区分	実施料
ナイアシン(ニコチン酸)	16		
ナチュラルキラー細胞活性→NK細胞活性	101		
ナトリウム(Na)	17	D007 01	11
ナバ→アセトアミノフェン	28	D007 46	185
鉛(Pb)	20		

ニ	ページ	診療報酬区分	実施料
ニコチン酸(ナイアシン)	16		
ニトラゼパム	23	B001 02	特
日本脳炎ウイルス	65	D012 11 ツ	79
乳癌HER2/neuタンパク(染色法)	179	N002 03	690
乳癌HER2遺伝子(FISH)	179	N005 01	2700
乳癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	179	N005-3	2700

特：特定薬剤治療管理料  
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料  
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。



乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	179	N005-3	2700
乳酸	9	D007 13	47
乳酸脱水素酵素→LD(LDH)IFCC	2	D007 01	11
乳酸脱水素酵素アイソザイム→LD(LDH)アイソザイム	2	D007 14	48
ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA	167		
尿一般検査	154	D000	★
尿酸(UA)	6	D007 01	11
尿素窒素(UN)	6	D007 01	11
尿中2,5-ヘキサシジオン	19		
尿中IV型コラーゲン	90	D001 15	184
尿中N-メチルホルムアミド	19		
尿中NGAL	89	D001 19	210
尿中アセトン定量	9		
尿中アルブミン	1	D001 08	99
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	1	D001 08	99
尿中核マトリックスプロテイン22(NMP22)	46	D009 13	143
尿中コルチゾール	38	D008 15	124
尿中シュウ酸	9	D001 18	200
尿中ステレン代謝物	19		
尿中生菌数定量	158	D018 06	60
尿中総三塩化物	19		
尿中蛋白分画	1	D007 04	18
尿中トランスフェリン	88	D001 09	101
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	88	D001 09	101
尿中トリクロロ酢酸	19		
尿中馬尿酸	19		
尿中マンデル酸エチルベンゼン	19		
尿中ミオグロビン(CLEIA)	89	D007 36	135
尿中メチル馬尿酸	19		
尿中免疫電気泳動(尿中ヘンズジョーンズ蛋白の同定)	87	D015 22	201
尿沈渣	154		★
尿糖定量	154	D001 02	9

ネ	ページ	診療報酬区分	実施料
ネオプテリン	20		
ネオペリドール→ハロペリドール	27	B001 02	特
ネオラール→シクロスポリン	25	B001 02	特
ネルボン→ニトラゼハム	23	B001 02	特

ノ	ページ	診療報酬区分	実施料
(ヒト)脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	44	D008 20	133
ノルベース→ジソピラミド	26	B001 02	特
ノロウイルスRNA定性	70		
ノロウイルス抗原	70		

ハ	ページ	診療報酬区分	実施料
肺癌ALK遺伝子(FISH)	182	N005-2	6520
肺癌ALKタンパク(高感度IHC)	182	N002 06	2700
肺癌ALKタンパク(IHC)D5F3	182	N002 06	2700
肺癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	182	N005-3	2700
肺癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	182	N005-3	2700
肺癌PD-L1タンパク(IHC)SP142	182	N005-3	2700
肺癌PD-L1タンパク(IHC)SP263	182	N005-3	2700
肺サーファクタントプロテインA(SP-A)	14	D007 35	130
肺サーファクタントプロテインD(SP-D)	14	D007 37	136
ハイセレニン→バルプロ酸	24	B001 02	特
梅毒定性RPR(LA)	75	D012 01	15
梅毒定性TP抗体(LA)	75	D012 04	32
梅毒定量(RPR法)	75	D012 05	34
梅毒定量(TPHA)、TP抗体(LA)	75	D012 06	53

梅毒定量RPR(LA)	75	D012 05	34
ハイドロキシプロリン-総	8	D010 04 イ	279
培養同定(血液、穿刺液)	158	D018 03	220
培養同定(口腔、気道、呼吸器)	158	D018 01	170
培養同定(消化管)	158	D018 02	190
培養同定(その他)	158	D018 05	170
培養同定(泌尿器、生殖器)	158	D018 04	180
破傷風抗体	191		
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング	99	D005 15	1940
白血病キメラスクリーニング(定量)	127	D006-2	2100
(尿中)馬尿酸	19		
パニリルマンデル酸→VMA	40	D008 04	90
パファリン→サリチル酸	28	B001 02	特
ハフトグロビン	88	D015 14	132
ハベカシン→アルベカシン	22	B001 02	特
パラインフルエンザウイルス 1型	66	D012 11 ヌ	79
パラインフルエンザウイルス 2型	66	D012 11 ル	79
パラインフルエンザウイルス 3型	66	D012 11 ラ	79
バラサイロイドホルモン→PTH	37	D008 33	165
バルプロ酸	24	B001 02	特
(ヒト)バルボウイルスB19DNA 定性	51		
(ヒト)バルボウイルスB19 IgG	51		
(ヒト)バルボウイルスB19 IgM	51	D012 42 ト	206
バレリン→バルプロ酸	24	B001 02	特
ハロステン→ハロペリドール	27	B001 02	特
ハロペリドール	27	B001 02	特
ハロマンズ→ハロペリドール	27	B001 02	特
パンコマイシン	22	B001 02	特

ヒ	ページ	診療報酬区分	実施料
ヒアルロン酸(胸水)	8		
ヒアルロン酸(血清)	8	D007 43	179
ビクリン→アミカシン	22	B001 02	特
鼻汁中好酸球	31		
(抗)ヒストン抗体	191		
ビタミンA	15		
ビタミンB <sub>1</sub>	15	D007 53	239
ビタミンB <sub>2</sub>	15	D007 54	242
ビタミンB <sub>6</sub>	15		
ビタミンB <sub>12</sub>	15	D007 38	140
ビタミンC(アスコルビン酸)	16	D007 60	305
ビタミンE	16		
ビタミンE分画	16		
ビタミンK分画	16		
ヒダントール→フェニトイン	23	B001 02	特
ヒトインターフェロンγ[EIA]	93		
ヒト癌胎児性フィブネクチン	89	D015 23	204
ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	42	D008 21	134
ヒト絨毛性ゴナドトロピンβサブユニット(HCG-β)	42	D008 19	132
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	89	D007 36	135
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	44	D008 46	221
ヒト精巢上体タンパク4(HE4)	45	D009 25・B001 03 □	200・腫2
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	44	D008 20	133
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	44	D008 20	136
ヒトパピローマウイルスDNA(16型、18型、その他ハイリスクグループ)	52	D023 11	352
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	52	D023 10	350
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)(LBC)	52	D023 10	350
ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	52		
ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	52	D023 22	2000
ヒトバルボウイルスB19DNA 定性	51		

特：特定薬剤治療管理料  
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料  
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

# 索引 (五十音)

## 索引

ヒトパルボウイルスB19 IgG	51		
ヒトパルボウイルスB19 IgM	51	D012 42 ト	206
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	60		
ヒトヘルペスウイルス6型DNA定量	189		
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	60		
(抗)皮膚抗体	191		
ヒムパット→ラコサミド	24	B001 02	特
ビメノール→ビルメノール	27	B001 02	特
百日咳菌DNA	167	D023 12	360
百日咳抗体(EIA)	74	D012 51	257
百日咳抗体 IgA	74	D012 12	80
百日咳抗体 IgM	74	D012 12	80
(抗)表皮成分自己抗体(直接法)	84	N002 08+N002 08 注2	400+1200
病理組織検査(一般病理)	173	N000	860
病理組織検査(肝生検)	173	N000	860
病理組織検査(骨髄生検)	173	N000	860
病理組織検査(腎生検)	173	N000	860
病理標本作製(一般材料)	173	N000	860
病理標本作製(手術材料)	173	N000	860
ピリナジン→アセトアミノフェン	28	D007 46	185
(総)ビリルビン	18	D007 01	11
ビリルビン(間接)	18		
ビリルビン(直接)	18	D007 01	11
ピルシカイニド	26	B001 02	特
ピルビン酸	9	D007 13	47
ビルメノール	27	B001 02	特

フ	ページ	診療報酬区分	実施料
フィコンパ→ベランパネル	24	B001 02	特
ファイフェンド→ポリコナゾール	22	B001 02	特
フィブリノーゲン(FIB)	32	D006 04	23
(可溶性)フィブリンモノマー複合体(SFMC)	32	D006 12	93
フィブリンモノマー複合体定量	32	D006 29	221
フィラデルフィア染色体→BCR-ABL1 t(9;22)転座	122	D006-5 01	2553
フィラデルフィア染色体→末梢血中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座	122	D006-5 01	2553
風疹ウイルス	65	D012 11 レ	79
風疹ウイルス(IgM)(IgG)	65	D012 42 口	206
フェニトイン	23	B001 02	特
フェノバル→フェノバルビタール	23	B001 02	特
フェノバルビタール	23	B001 02	特
フェリチン	89	D007 25	105
フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	33	D006 16	129
フォン・ウィルブラント因子抗原定量	33	D006 21	147
フォン・ウィルブラント因子マルチマー解析	33		
不規則性抗体(抗体同定・抗体価測定)	85	D011 04	159
副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	37	D008 33	165
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	37	D008 33	165
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	37	D008 38	189
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	36	D008 38	189
福山型筋ジストロフィー DNA挿入	150	D006-4 02 ア	5000
不飽和鉄結合能(UIBC)	18	D007 01	11
ブラスミノゲン	32	D006 13	100
ブラダーウイリ症候群→15染色体(ブラダーウイリ症候群)(先天異常)	118	D006-5 01	2553
ブラダーウイリ症候群→SNRPB遺伝子解析(メチレーションPCR)ブラダーウイリ症候群 アンジェルマン症候群	149	D006-4 01 エ	5000
フリー T <sub>3</sub> →遊離トリヨードサイロニン(Free T <sub>3</sub> )	37	D008 15	124
フリー T <sub>4</sub> →遊離サイロキシシン(Free T <sub>4</sub> )	37	D008 15	124
フリーテストステロン(RIA)	41	D008 29	159
フリーライトチェーン→免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比(フリーライトチェーン)	87	D015 29	388
ブリミドン	24	B001 02	特
ブリムロン→ブリミドン	24	B001 02	特

プレアルブミン	88	D015 12	104
フレカイニド	27	B001 02	特
プレグナンジオール	41	D008 43	213
プレグナントリオール	41	D008 48	232
プレセブシン	91	D007 59	301
プロGRP→ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	46	D009 21・B001 03 口	175・腫2
プロウイルス→HTLV-I (ATLV)DNA(クロナリティ)	69		
フローサイトクロスマッチ(リンパ球交差試験)	152		
プロカインアミド	26	B001 02	特
プロカルシトニン	91	D007 58	284
プログラファータクロリムス	25	B001 02	特
プロゲステロン	41	D008 24	147
プロゲステロンレセプター (IHC)	179	N002 02	690
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)(CLIA)	90	D007 37	136
ブロック作製	173		
プロテインC活性	35	D006 32	234
プロテインC(抗原量)	35	D006 31	232
プロテインS活性	35	D006 24	163
プロテインS(抗原量)	35	D006 23	158
プロテインS(遊離型抗原量)	35	D006 23	158
プロトボルフィリン	18	D007 56	272
(抗)プロトロンピン抗体	191		
プロトロンピン時間(PT)	32	D006 02	18
プロトロンピンフラグメントF1+2	32	D006 27	192
プロノン→プロパフェノン	26	B001 02	特
プロパフェノン	26	B001 02	特
プロプラノロール	26		
プロムベリドール	27	B001 02	特
プロラクチン	36	D008 06	98

ハ	ページ	診療報酬区分	実施料
(抗)平滑筋抗体	80		
(尿中2,5)ヘキササジオン	19		
ヘパリン	28	D007 27	108
ヘパシノーゲン	4		
ヘブリコール→ヘブリジル	25	B001 02	特
ヘブリジル	25	B001 02	特
ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	8	D005 09	49
ベランパネル	24	B001 02	特
ヘリコバクター感受性検査	160	D019 01	180
ヘリコバクター培養同定	160	D018 02	190
(便中)ヘリコバクターピロリ抗原	74	D012 24	142
(抗)ヘリコバクターピロリ抗体(LA)	74	D012 12	80
ヘリコバクターピロリ判定	173		
(単純)ヘルペスウイルス	54	D012 11 ハ	79
(単純)ヘルペスウイルス(1型)(2型)	55	D012 11 ハ	79
(単純)ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	55	D012 42 イ	206
(ヒト)ヘルペスウイルス6型DNA 定性	60		
(ヒト)ヘルペスウイルス6型DNA定量	189		
(ヒト)ヘルペスウイルス7型DNA 定性	60		
(単純)ヘルペスウイルスDNA 定性	55		
(単純)ヘルペスウイルスDNA定量	55	D023 16	450
(単純)ヘルペスウイルス(IgM)(IgG)	54	D012 42 イ	206
(単純)ヘルペスウイルス特異抗原	54	D012 37	180
便検診	161		
ベンザリン→ニトラゼパム	23	B001 02	特
ベンスジョーンズ蛋白の同定(尿中免疫電気泳動)	87	D015 22	201
便中カルプロテクチン	81	D003 09	270
便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	155	D003 08	56
便中ヘモグロビン定性	155	D003 05	37

特：特定薬剤治療管理料  
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料  
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

便中ヘリコバクターピロリ抗原	74	D012 24	142
ペントラキシン3(PTX3)	88		
扁平上皮癌関連抗原→SCC	45	D009 04・B001 03	104・腫2

ホ	ページ	診療報酬区分	実施料
膀胱癌FISH(ウロビジョン)	170	D006-15	1597
(臍)ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (臍PLA <sub>2</sub> )	3	D007 49	204
補体因子(C2)	191		
補体因子(C3)	87	D015 08	70
補体因子(C4)	87	D015 08	70
(血清)補体価	87	D015 04	38
(血中)(総)ホモシステイン	8	D010 04 イ	279
ホモバニリン酸→HVA	40	D008 03	69
ポリコナゾール	22	B001 02	特
ホリゾン→ジアゼパム	23	B001 02	特
ホールPTH→副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	37	D008 33	165

マ	ページ	診療報酬区分	実施料
マイクロアレイ染色体検査(染色体構造変異解析)	119	D006-26	8000
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査	144	D004-2 01 イ-1	2500
マイクロソームテスト(抗甲状腺マイクロソーム抗体)	82	D014 03	37
マイコプラズマニューモニエ	75	D012 04	32
マイコプラズマニューモニエDNA	167	D023 06	291
マイスタン→クロバザム	23	B001 02	特
マイ ナイチンゲール(My Nightingale)	188		
マグネシウム(Mg)	17	D007 01	11
(α <sub>2</sub> )マクログロブリン	88	D006 18	138
麻疹ウイルス(IgM)(IgG)	67	D012 42 ホ	206
麻疹ウイルス(PA)フクチン	189		
末梢血液一般検査	30	D005 05	21
末梢血液像	30	D005 03	15
末梢血好中球BCR-ABL1 t(9;22)転座	122	D006-5 01	2553
マンガン	20	D007 08	27
(尿中)マンデル酸エチルベンゼン	19		

ミ	ページ	診療報酬区分	実施料
ミエリン塩基性蛋白(MBP)	83	D004 12	570
ミエリン随伴性糖蛋白(MAG)自己抗体	192		
ミオグロビン	89	D007 36	135
(尿中)ミオグロビン(CLEIA)	89	D007 36	135
(心室筋)ミオシン軽鎖 I	89	D007 45	184
ミコフェノール酸	25	B001 02	特
未染標本作製	173		
(特異的IgE)ミックスアレルゲン	94	D015 13	各110
ミトコンドリア-AST(m-AST)(m-GOT)	2	D007 15	49
ミトコンドリアDNA Evaluation	192		
ミトコンドリア-GOT→ミトコンドリア-AST(m-AST)(m-GOT)	2	D007 15	49
(抗)ミトコンドリアM2抗体	80	D014 21	189
(抗)ミトコンドリア抗体	80	D014 20	181
ミノアレトリンメタジオン	24	B001 02	特
(抗)ミューラー管ホルモン(AMH)(CLEIA)	42	D008 52	600
ミラーディカー症候群→17染色体(ミラーディカー症候群)(先天異常)	118	D006-5 01	2553

ム	ページ	診療報酬区分	実施料
無機リン(P)	17	D007 03	17
ムンプスウイルス	68	D012 11 リ	79
ムンプスウイルス(IgM)(IgG)	68	D012 42 へ	206

メ	ページ	診療報酬区分	実施料
メキシチール→メキシレチン	26	B001 02	特

メキシレチン	26	B001 02	特
メソトレキセート→メソトレキサート	28	B001 02	特
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	39	D008 45	220
(尿中)メチル馬尿酸	19		
メソトレキサート	28	B001 02	特
メラノーマ PD-L1タンパク(IHC)28-8	182	N005-3	2700
免疫グロブリンH鎖C <sub>H</sub> 再構成	140	D006-6	2373
免疫グロブリンH鎖J <sub>H</sub> 再構成	140	D006-6	2373
免疫グロブリンL鎖C <sub>L</sub> 再構成	140	D006-6	2373
免疫グロブリンL鎖C <sub>λ</sub> 再構成	140	D006-6	2373
免疫グロブリンL鎖J <sub>L</sub> 再構成	140	D006-6	2373
免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比(フリーライトチェーン)	87	D015 29	388
免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)	87	D015 17	170
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)	87	D015 24	218
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)(DIRA)	87	D015 24	218
免疫電気泳動(尿中ヘンズジョーンズ蛋白の同定)	87	D015 22	201
免疫複合体(C1q)	84	D014 13	153
免疫複合体(モノクローナルRF)	84	D014 23	194

モ	ページ	診療報酬区分	実施料
網赤血球数(RET)	30	D005 02	12
モノクローナルRF(免疫複合体)	84	D014 23	194
モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	101		

ヤ	ページ	診療報酬区分	実施料
薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST)	100		
薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP2C19遺伝子多型解析	151		

ユ	ページ	診療報酬区分	実施料
有機酸スクリーニング検査	9	D010 08	1141
遊離HCG-β(HCG-βサブユニット)	42	D008 19	132
遊離コレステロール(F-Cho)	10	D007 01	11
遊離サイロキシシン(Free T <sub>4</sub> )	37	D008 15	124
遊離脂肪酸(NEFA)	10	D007 19	59
遊離トリヨードサイロニン(Free T <sub>3</sub> )	37	D008 15	124
ユニフィル→テオフィリン	28	B001 02	特

ヨ	ページ	診療報酬区分	実施料
葉酸	16	D007 41	150
(Con-Aによるリンパ球)幼若化検査	100	D016 07	345
(PHAによるリンパ球)幼若化検査	100	D016 07	345

ラ	ページ	診療報酬区分	実施料
ラコサミド	24	B001 02	特
ラミクタール→ラモトリギン	24	B001 02	特
ラモトリギン	24	B001 02	特
(抗)ランゲルハンス氏島抗体(ICA)	191		
ランドセナークロナゼパム	23	B001 02	特
卵巣刺激ホルモン(FSH)	36	D008 13	108

リ	ページ	診療報酬区分	実施料
リーマス→リチウム	27	B001 02	特
(IgG型)リウマチ因子	80	D014 24	198
リウマチ因子(RF)定量	80	D014 02	30
リストセチンコファクター(フォン・ウィルブラント因子活性)	33	D006 16	129
リスモダン→ジソピラミド	26	B001 02	特
リスラミドR→ジソピラミド	26	B001 02	特
リゾチーム	4		
リチウム	27	B001 02	特
リチオマール→リチウム	27	B001 02	特

# 索引 (五十音)

## 索引

リドカイン	26	B001 02	特
リパーゼ	3	D007 06	24
リボ蛋白分画〔アガロースゲル電気泳動法〕	13	D007 15	49
リボ蛋白リパーゼ(LPL)	14	D007 51	219
リボトリール→クロナゼバム	23	B001 02	特
リボプロテイン(a)	14	D007 26	107
硫酸キニン→キニン	27	B001 02	特
(無機)リン(P)	17	D007 03	17
淋菌DNA	168	D023 03	204
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	168	D023 05	270
リン酸化タウ	92	D004 14	641
リン脂質	10	D007 02	15
(リン脂質抗体)→抗カルジオリピンIgM抗体	83	D014 28	226
(リン脂質抗体)→抗カルジオリピンβ <sub>2</sub> グリコプロテインI複合体抗体	83	D014 27	223
リントン→ハロペリドール	27	B001 02	特
(フローサイトクロスマッチ)リンパ球交差試験	152		
リンパ球混合培養(MLC)	100		
(薬剤による)リンパ球刺激試験(DLST)	100		
(Two-color解析による)リンパ球表面マーカー検査	101		
(モノクローナル抗体による)リンパ球表面マーカーの自動解析	101		
(Con-Aによる)リンパ球幼若化検査	100	D016 07	345
(PHAによる)リンパ球幼若化検査	100	D016 07	345

ル		ページ	診療報酬区分	実施料
ルイネシン→ゲンタマイシン	22	B001 02	特	
ルナブロン→ブロムペリドール	27	B001 02	特	
ループスアンチコアグラント〔APTT凝固時間法〕	83			
ループスアンチコアグラント〔希釈ラッセル蛇毒時間法〕	83	D014 35	273	
ループスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕	83	D014 35	273	
ルフィナミド	24	B001 02	特	
ルミナル→フェノバルビタール	23	B001 02	特	

レ		ページ	診療報酬区分	実施料
レキシソ→カルバマゼピン	23	B001 02	特	
レジオネラDNA 定性	167	D023 07	292	
レチノール結合蛋白(RBP)	88	D015 15	136	
レニン活性(PRA)〔EIA〕	43	D008 08	100	
レニン濃度(ARC)〔CLEIA〕	43	D008 11	105	
レプチン	190			
レプチン〔ELISA〕	44	D008 53	1000	
レベチラセタム	24	B001 02	特	
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	10	D007 43	179	

ロ		ページ	診療報酬区分	実施料
ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	2	D007 01	11	
ロイシンリッチα <sub>2</sub> グリコプロテイン(LRG)	81	D007 57	276	

ワ		ページ	診療報酬区分	実施料
ワコピタール→フェノバルビタール	23	B001 02	特	

## アルファベット

A	ページ	診療報酬区分	実施料
ABC分類(LA)	5		
ABO式血液型	85	D011 01	24
ACA→抗セントロメア抗体	78	D014 19	174
ACE(アンジオテンシン I 転換酵素)	4	D007 38	140
AChR→抗アセチルコリンレセプター抗体	82	D014 43	798
ACTH(副腎皮質刺激ホルモン)	36	D008 38	189
ADA(アデノシンデアミナーゼ)	2	D007 11	32
ADAMTS13 インヒビター	33	D006 35	1000
ADAMTS13-活性	33	D006 34	400
AFP→α-フェトプロテイン定量	45	D009 03・B001 03 □	101・腫2
A/G比(アルブミン・グロブリン比)	1		
AICS	186		
AIRS	186		
Alb(アルブミン)	1	D007 01	11
ALD→アルドラーゼ	2	D007 01	11
ALK 2p23転座	120	D006-5 01	2553
ALP→アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	2	D007 01	11
ALPアインザイム(IFCC)	2	D007 14	48
ALT(GPT)	2	D007 03	17
Al(アルミニウム)	19	D007 29	112
AMA→抗ミトコンドリア抗体	80	D014 20	181
AMH→抗ミュラー管ホルモン(AMH)(CLEIA)	42	D008 52	600
AmoyDx肺癌マルチパネル IVD	147	D006-24	10000
AmoyDx肺癌マルチパネル 研究用	148	D006-24	10000
AMYアインザイム→アミラーゼアインザイム	3	D007 14	48
AMY(アミラーゼ)	3	D007 01	11
ANA(抗核抗体)	78	D014 05	102
ANP→ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	44	D008 46	221
APTT(活性化部分トロンボプラスチン時間)	32	D006 07	29
ARC→レニン濃度(ARC)(CLEIA)	43	D008 11	105
ArcherMETex14スキッピング(FFPE)	142	D004-2 01 □	5000
(抗)ARS抗体	80	D014 22	190
ASK(抗ストレプトキナーゼ抗体)	74	D012 03	29
ASMA→抗平滑筋抗体	80		
ASO(抗ストレプトリジン-O抗体)	74	D012 01	15
AST(GOT)	2	D007 03	17
ATⅢ(アンチトロンビンⅢ)	32	D006 10	70
ATLV(HTLV- I)抗体(CLEIA)	69	D012 31	163
ATLV(HTLV- I)抗体(PA)	69	D012 13	85
ATLV(HTLV- I)プロウイルスDNA(クロナリティ)	69		
ATM del(11)長腕欠失	122	D006-5 01	2553
AVP→抗利尿ホルモン	36	D008 47	230

B	ページ	診療報酬区分	実施料
BAP(骨型アルカリフォスファターゼ)	2	D008 30	161
BCA225	45	D009 17・B001 03 □	158・腫2
BCL2 18q21転座	124	D006-5 01	2553
BCL6 3q27転座	120	D006-5 01	2553
BCR-ABL1 t(9;22)転座	122	D006-5 01	2553
(末梢血好中球)BCR-ABL1 t(9;22)転座	122	D006-5 01	2553
BFP(塩基性フェトプロテイン)	45	D009 16・B001 03 □	150・腫2
BGP→オステオカルシン	44	D008 28	157
BIRC3-MALT1(API2-MALT1) t(11;18)転座	122	D006-5 01	2553
B-J蛋白→尿中免疫電気泳動(尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	87	D015 22	201
BMG→β <sub>2</sub> -マイクログロブリン	88	D015 11	101
BNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド)	44	D008 20	133
BRAF exon15 V600E(SEQ)	141		
BRAF V600 変異解析(PCR)	141	D004-2 01 □	5000

BS→血糖(グルコース)	8	D007 01	11
BTR→総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比	7	D010 05	283
BUN→尿素窒素(UN)	6	D007 01	11
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	49	D013 12	259
B細胞百分率 T細胞百分率	101	D016 03	198
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig)IgG、IgA、IgM、IgD、K、L	101	D016 01	157

C	ページ	診療報酬区分	実施料
C1q	87		
C1q(免疫複合体)	84	D014 13	153
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒビター活性)	87	D015 25	260
C1エステラーゼインヒビター活性(C1インアクチベーター活性)	87	D015 25	260
C1エステラーゼ抑制因子定量	191		
C2(補体因子)	191		
C3(補体因子)	87	D015 08	70
C4(補体因子)	87	D015 08	70
CA-3F→カテコールアミン3分画	39	D008 33	165
CA15-3	45	D009 06・B001 03 □	115・腫2
CA19-9	45	D009 09・B001 03 □	124・腫2
CA54/61	45	D009 22・B001 03 □	184・腫2
CA72-4	45	D009 15・B001 03 □	146・腫2
CA125	45	D009 11・B001 03 □	140・腫2
cAMP→サイクリックAMP	44	D008 35	170
C-ANCA→抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	84	D014 31	259
Ca(カルシウム)	17	D007 01	11
(CA-RF)→抗ラクトース欠損IgG抗体	80	D014 07	114
CAR(腫瘍随伴性レチノパシー)自己抗体	193		
CATCH22→22染色体(22q11欠失)	118	D006-5 01	2553
CA→カテコールアミン総	39	D008 38	189
CA→寒冷凝集反応	75	D014 01	11
C-band→染色体(先天異常)	117	D006-5 02+D006-5 注	2553+397
CBFB inv(16)逆位、t(16;16)転座	123	D006-5 01	2553
CBFB-MYH11 mRNA定性	130	D006-2	2100
CBFB-MYH11 mRNA定量	130	D006-2	2100
(抗)CCP抗体→抗シトルリン化ペプチド(CCP)抗体	80	D014 24	198
CCR4タンパク(IHC)	182	N002 05	10000
CD1a、CD2(リンパ球表面マーカー検査)	102		
CD3、CD4、CD8(リンパ球表面マーカー検査)	102	D016 02	185
CD4/CD8(Two-color)	103	D016 02	185
CD4/CD25(Two-color)	103	D016 02	185
CD4/CD29(Two-color)	103	D016 02	185
CD4/CD45RA(Two-color)	103	D016 02	185
CD5、CD7、CD10(リンパ球表面マーカー検査)	102		
CD11b/CD8(Two-color)	103	D016 02	185
CD11b(リンパ球表面マーカー検査)	102		
CD13、CD14(リンパ球表面マーカー検査)	102		
CD16、CD19、CD20(リンパ球表面マーカー検査)	102		
CD16/CD56(Two-color)	103		
CD20/CD5(Two-color)	103		
CD21、CD22(リンパ球表面マーカー検査)	102		
CD25、CD30、CD33(リンパ球表面マーカー検査)	102		
CD30(IHC)	173	N002 07	400
CD34、CD38、CD56(リンパ球表面マーカー検査)	102		
CD34定量	99		
CD38マルチ解析(多発性骨髄腫解析検査)	99	D005 15	1940
CD41、CD42b(血小板表面マーカー検査)	101		
CD45RO/CD4(Two-color)	103	D016 02	185
CD45ゲーティング(悪性リンパ腫解析検査)(MLA)	99	D005 15	1940
CD45ゲーティング(白血病・リンパ腫解析検査)(LLA)	99	D005 15	1940
CD55(赤血球表面マーカー検査)	99		

特：特定薬剤治療管理料  
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料  
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

CD57/CD16(Two-color)	103		
CD57(リンパ球表面マーカー検査)	102		
CD59(赤血球表面マーカー検査)	99		
CD79B遺伝子変異解析	126		
Cd→カドミウム	20		
CDトキシシン(GDH)	160	D012 12	80
CEA(癌胎児性抗原)	45	D009 02・B001 03	99・腫2
CH50→血清補体価	87	D015 04	38
ChE(コリンエステラーゼ)	2	D007 01	11
CK(CPK)	1	D007 01	11
CK(CPK)アイソザイム	1	D007 17	55
c-kit遺伝子変異解析(GIST)	143	D004-2 01 イ-2	2100
CK-MB(CPK-MB)(CLIA)	1	D007 22	90
CK-MB(CPK-MB)[免疫阻止-UV法]	1		
CKアイソザイム→CK(CPK)アイソザイム	1	D007 17	55
CKS1B 1q21 増幅	120	D006-5 01	2553
Cl(クロール)	17	D007 01	11
CL→抗カルジオリピンIgG抗体	83	D014 28	226
CL→抗カルジオリピンIgM抗体	83	D014 28	226
(抗)CL-β <sub>2</sub> GP I抗体→抗カルジオリピンβ <sub>2</sub> グロブリンI複合体抗体	83	D014 27	223
CMV DNA→サイトメガロウイルスDNA 定性	57		
CMV pp65抗原(C10,C11)→サイトメガロウイルス pp65抗原(C10,C11)	57	D012 54	366
CMV pp65抗原(C7-HRP)→サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	57	D012 54	366
CMV→サイトメガロウイルス	57	D012 11 ハ	79
CMV→サイトメガロウイルス(IgM)(IgG)	57	D012 42 ハ	206
CMV→サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	57	D023 18	825
CMV→サイトメガロウイルス核酸定量	57	D023 16	450
CMV(サイトメガロウイルス)特異的CTL解析(HLA-A*0201), (HLA-A*2402)	116		
Con-Aによるリンパ球幼若化検査	100	D016 07	345
CPK(CK)	1	D007 01	11
CPK-MB(CK-MB)(CLIA)	1	D007 22	90
CPK-MB(CK-MB)[免疫阻止-UV法]	1		
CPKアイソザイム	1	D007 17	55
CPR(C-ペプチド)	42	D008 13	108
Cr→セルロプラスミン	88	D015 09	90
CRP(C反応性蛋白)定量	88	D015 01	16
Cr→クレアチニン	6	D007 01	11
Cr→クロム	20		
CSF1R del(5)長腕欠失	121	D006-5 01	2553
CSLEX(シアリルLe <sup>x</sup> 抗原)	45	D009 18・B001 03	160・腫2
CT→カルシトニン	37	D008 20	133
Cu(銅)	18	D007 05	23
CYFRA(シフラ)(サイトケラチン19フラグメント)	46	D009 17・B001 03	158・腫2
(HB)c抗体(IgG)	49	D013 06	133
(HB)c抗体(PHA)	49	D013 06	133
C反応性蛋白(CRP)定量	88	D015 01	16
C-ペプチド(CPR)	42	D008 13	108

D	ページ	診療報酬区分	実施料
D13S319 del(13)長腕欠失	123	D006-5 01	2553
D7S486 del(7)長腕欠失/7染色体(7モノソミー)	121	D006-5 01	2553
DA→ドーパミン総	39		
DEK-NUP214 mRNA定性	133	D006-2	2100
DEK-NUP214 mRNA定量	133	D006-2	2100
del(19)長腕欠失	124	D006-5 01	2553
del(1)短腕欠失	124	D006-5 01	2553
del(20)長腕欠失	124	D006-5 01	2553
DHEA-S(デヒドロエピアンドロステロンサルフェート)	38	D008 34	169
DLST(薬剤によるリンパ球刺激試験)	100		
(抗)DNA抗体(RIA)	78	D014 17	163

DNAタイピング(HLA-A)、(HLA-B)、(HLA-C)	152		
DNAタイピング(HLA-DQB1)	152		
DPD→デオキシピリジノリン	90	D008 39・B001 03	191・腫2
DPD(デオキシピリジノリン)(骨粗鬆症)	90	D008 39	191
(抗)ds-DNA IgG抗体	78	D014 17	163
(抗)ds-DNA IgM抗体	78		
DUPAN-2	45	D009 07・B001 03	118・腫2
Dダイマー	32	D006 17	130

E	ページ	診療報酬区分	実施料
E <sub>2</sub> (エストラジオール)	41	D008 36	172
EBウイルスDNA(クロナリティ)	58		
EBウイルスDNA 定量	58	D023 08	310
EBウイルス抗EA-DR IgA(FA)	59	D012 11 二	79
EBウイルス抗EA-DR IgG(FA)	59	D012 42 二	206
EBウイルス抗EA IgG(EIA)	59	D012 42 二	206
EBウイルス抗EBNA(FA)	59	D012 11 二	79
EBウイルス抗EBNA IgG(EIA)	59	D012 42 二	206
EBウイルス抗VCA IgA(FA)	59	D012 11 二	79
EBウイルス抗VCA IgG(EIA)	59	D012 42 二	206
EBウイルス抗VCA IgG(FA)	59	D012 42 二	206
EBウイルス抗VCA IgM(EIA)	59	D012 42 二	206
EBウイルス抗VCA IgM(FA)	59	D012 42 二	206
Echo(エステル型コレステロール)	10		
EGFR遺伝子 変異解析(Scorpion-ARMS法)	141	D004-2 01 イ-1	2500
EGFR変異解析 v2.0	141	D004-2 01 イ-1	2500
EGFR変異解析 v2.0(血漿)	141	D006-12	2100
EGFR del(5)長腕欠失	121	D006-5 01	2553
EL-1→エラストーゼ1	3	D009 08・B001 03	123・腫2
EML4-ALK 融合遺伝子定性	142		
EPO→エリスロポエチン	44	D008 41	209
ER/PgR→エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター (IHC)	179	N002 01+N002 02 注1	720+180
ER→エストロゲンレセプター (IHC)	179	N002 01	720
ETV6-RUNX1 mRNA定性	131	D006-2	2100
ETV6-RUNX1 mRNA定量	131	D006-2	2100
ETV6-RUNX1(TEL-AML1) t(12;21)転座	123	D006-5 01	2553
EWSR1 22q12転座	124	D006-5 01	2553
EZH2遺伝子変異解析	127	D004-2 01 イ-1	2500
(HB)e抗原	49	D013 04	101
(HB)e抗体	49	D013 04	101

F	ページ	診療報酬区分	実施料
F1+2→プロトロンピン フラグメントF1+2	32	D006 27	192
Fbg→フィブリノーゲン(FIB)	32	D006 04	23
F-Cho→遊離コレステロール	10	D007 01	11
FDP定量(血漿)	32	D006 11	80
FDP定量(部分尿)	32	D001 07	72
Fe(鉄)	18	D007 01	11
FGF23 (CLEIA)	44	D007 64	788
FGFR1 8p11.2転座	122	D006-5 01	2553
FIP1L1-PDGFR del(4)長腕欠失(4q12欠失)	121	D006-5 01	2553
FLT3/ITD 変異解析	125	D006-2	2100
FLT3変異解析ITD/TKD	125	D006-14	4200
Free T <sub>3</sub> →遊離トリヨードサイロニン(Free T <sub>3</sub> )	37	D008 15	124
Free T <sub>4</sub> →遊離サイロキシニン(Free T <sub>4</sub> )	37	D008 15	124
FSH(卵巣刺激ホルモン)	36	D008 13	108
FT <sub>3</sub> →遊離トリヨードサイロニン(Free T <sub>3</sub> )	37	D008 15	124
FT <sub>4</sub> →遊離サイロキシニン(Free T <sub>4</sub> )	37	D008 15	124
FTA-ABS	75	D012 21	134

G	ページ	診療報酬区分	実施料
GABA(γ-アミノ酪酸)	8	D010 04 イ	279
(抗)GAD抗体	82	D008 21	134
GATA2-MECOM inv(3)逆位,t(3;3)転座	120	D006-5 01	2553
GA→グリコアルブミン	8	D007 17	55
G-band→脆弱X染色体(先天異常)	117	D006-5 02+D006-5 注	2553+397
G-band→染色体(血液疾患)	120	D006-5 02+D006-5 注	2553+397
G-band→染色体(先天異常)	117	D006-5 02+D006-5 注	2553+397
GBM抗体→抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	83	D014 32	262
GH(成長ホルモン)	36	D008 13	108
GLU→血糖(グルコース)	8	D007 01	11
GOT(AST)	2	D007 03	17
GPT(ALT)	2	D007 03	17
GU→グアナーゼ	2	D007 12	35

H	ページ	診療報酬区分	実施料
HANP(ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド)	44	D008 46	221
HA抗体	50	D013 08	146
HA抗体-IgM	50	D013 08	146
HA→ヒアルロン酸(胸水)	8		
HA→ヒアルロン酸(血清)	8	D007 43	179
HbA1c→ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	8	D005 09	49
HBc抗体(IgG)	49	D013 06	133
HBc抗体-IgM	49	D013 08	146
HBc抗体(PHA)	49	D013 06	133
HBe抗原	49	D013 04	101
HBe抗体	49	D013 04	101
HBs抗原(HQ)	48	D013 03	88
HBs抗体(CLEIA)	48	D013 03	88
HBs抗体(PHA)	48	D013 02	32
HBV DNA定量(IU)	48	D023 04	263
HBVゲノタイプ	48	D013 14	340
HBコア関連抗原→HBcrAg	49	D013 12	259
HCG(絨毛性ゴナドトロピン)	42	D008 21	134
HCG-βサブユニット→遊離HCG-β	42	D008 19	132
HCV DCV 耐性変異(L31/Y93)	51		
HCV NS5B-S282変異	51		
HCV RNA 1b(NS5A)	50		
HCV RNAコアジェノタイプ	50		
HCV RNA定量	51	D023 15	424
HCV群別(グルーピング)	50	D013 11	221
HCV抗原(コア蛋白質)	51	D013 05	105
HCV抗体(第3世代)	50	D013 05	105
HCV 薬剤耐性変異 NS3-D168	51		
HCV 1b-IFN/リバビリン変異	189		
HDL <sub>2,3</sub> コレステロール	10		
HDL-コレステロール	10	D007 03	17
HEV抗体-IgA(定性)	51	D013 10	210
HE4→ヒト精巢上体タンパク4	45	D009 25・B001 03 口	200・種2
H-FABP(ヒト心臓由来脂脂肪酸結合蛋白)	89	D007 36	135
HGF(肝細胞増殖因子)	44	D007 52	227
HHV-6 DNA→ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	60		
HHV-7 DNA→ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	60		
HIAA→5-HIAA(5-ハイドロキシインドール酢酸)	40	D008 05	95
HIT抗体(血小板第4因子・ヘパリン複合体抗体)	84	D011 10	390
HIV-1/2特異抗体	70	D012 58	660
HIV-1RNA定量	70	D023 17	520
HIV抗原・抗体	70	D012 16	112
HLA-A,B(血清対応型タイピング)	152		

HLA-A、B、C(DNAタイピング)	152		
HLA-DPB1、DRB1(DNAタイピング)	152		
HLA-DQB1(DNAタイピング)	152		
HLA-DR/CD3(Two-color)	103	D016 02	185
HLA-DR/CD4(Two-color)	103	D016 02	185
HLA-DR/CD8(Two-color)	103	D016 02	185
HLA-DR(血清対応型タイピング)	152		
HLA-DR(リンパ球表面マーカー検査)	102		
(抗)HLA抗体(スクリーニング検査)	152	D014 46	1000
HPV DNA→ヒトパピローマウイルスDNA(16型、18型、その他ハイリスクグループ)	52	D023 11	352
HPV DNA→ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	52	D023 10	350
HPV DNA→ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	52		
HPVジェノタイプ→ヒトパピローマウイルス ジェノタイプ判定	52	D023 22	2000
Hp→ハプトグロビン	88	D015 14	132
HSV DNA→単純ヘルペスウイルスDNA 定性	55		
HSV DNA→単純ヘルペスウイルスDNA定量	55	D023 16	450
HSV→単純ヘルペスウイルス	54	D012 11 へ	79
HSV→単純ヘルペスウイルス(1型)(2型)	55	D012 11 へ	79
HSV→単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	55	D012 42 イ	206
HSV→単純ヘルペスウイルス(IgM)(IgG)	54	D012 42 イ	206
HSV特異抗原→単純ヘルペスウイルス特異抗原	54	D012 37	180
HTLV-I (ATLV)抗体(CLEIA)	69	D012 31	163
HTLV-I (ATLV)抗体(PA)	69	D012 13	85
HTLV-I (ATLV)プロウイルスDNA(クロナリティ)	69		
HTLV-1核酸検出 定性	69	D023 16	450
HTLV-1抗体	69	D012 56	425
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	69		
HTT遺伝子CAG反復配列解析	150	D006-4 02 イ	5000
Hu自己抗体	193		
HVA	40	D008 03	69

I	ページ	診療報酬区分	実施料
(抗)IA-2抗体	82	D008 43	213
ICA(抗ランゲルハンス氏島抗体)	191		
IC-C1q→免疫複合体(C1q)	84	D014 13	153
IC-mRF→免疫複合体(モノクローナルRF)	84	D014 23	194
IDH 1/2遺伝子解析(グリオーマ)	143		
IFN-γ×IL-4/CD4(Th1/Th2)	101		
IFNγ→ヒトインターフェロンγ(EIA)	93		
IFN-λ3→インターフェロン-λ3(IFN-λ3)	93	D015 28	340
IgA	86	D015 04	38
(Sm-Ig)IgA(B細胞表面免疫グロブリン)	101	D016 01	157
IgA-HEV抗体(定性)	51	D013 10	210
(Sm-Ig)IgD(B細胞表面免疫グロブリン)	101	D016 01	157
IgE(RIST)→IgE(非特異的IgE)	94	D015 10	100
IgE(アトピー鑑別試験)→アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	94	D015 21	194
IgE(非特異的IgE)	94	D015 10	100
IGF-1(ソマトメジンC)	36	D008 42	212
IgG	86	D015 04	38
(Sm-Ig)IgG(B細胞表面免疫グロブリン)	101	D016 01	157
IgG-FcR <sup>+</sup> ・T細胞百分率	101	D016 03	198
IgG型リウマチ因子	80	D014 24	198
IgGサブクラス分画(TIA)	86		
IgG2	86	D014 29	239
IgG4	86	D014 39	377
IGH-BCL2 t(14;18)転座	123	D006-5 01	2553
IGH-CCND1(IGH-BCL1) t(11;14)転座	122	D006-5 01	2553
IGH-FGFR3 t(4;14)転座	121	D006-5 01	2553
IGH-MAF t(14;16)転座	123	D006-5 01	2553
IGH-MYC t(8;14)転座	121	D006-5 01	2553

# 索引 (アルファベット)

## 索引

IgM	86	D015 04	38
(Sm-Ig)IgM(B細胞表面免疫グロブリン)	101	D016 01	157
IgM-HA抗体	50	D013 08	146
IgM-HBc抗体	49	D013 08	146
IL-1β(インターロイキン-1β)	93		
IL-4(インターロイキン-4)(高感度)	93		
IL-6(インターロイキン-6)	93		
IL-6(インターロイキン-6)	93	D015 17	170
IL-8(インターロイキン-8)	93		
IL-10(インターロイキン-10)	93		
IL28B SNPs 解析	151		
Intact-PTH→副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	37	D008 33	165
IRI→インスリン	42	D008 10	103
IRT→トリプシン	3	D007 47	189

J	ページ	診療報酬区分	実施料
JAK2V617F遺伝子変異解析	126	D006-16	2504
(抗)Jo-1抗体	80	D014 09	140

K	ページ	診療報酬区分	実施料
KIT シーケンス解析(白血病)	125		
KL-6	91	D007 28	111
KMT2A-AFDN mRNA定性	132	D006-2	2100
KMT2A-AFDN mRNA定量	132	D006-2	2100
KMT2A-AFF1 mRNA定性	131	D006-2	2100
KMT2A-AFF1 mRNA定量	131	D006-2	2100
KMT2A(MLL)11q23.3転座	122	D006-5 01	2553
KMT2A-MLLT1 mRNA定性	132	D006-2	2100
KMT2A-MLLT1 mRNA定量	132	D006-2	2100
KMT2A-MLLT3 mRNA定性	132	D006-2	2100
KMT2A-MLLT3 mRNA定量	132	D006-2	2100
K(カリウム)	17	D007 01	11
(Sm-Ig)K鎖(B細胞表面免疫グロブリン)	101	D016 01	157

L	ページ	診療報酬区分	実施料
LAC→ループスアンチコアグラント(APTT凝固時間法)	83		
LAC→ループスアンチコアグラント(希釈ラッセル蛇毒時間法)	83	D014 35	273
LAC→ループスアンチコアグラント(リン脂質中和法)	83	D014 35	273
LAP→ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	2	D007 01	11
LDH(LD)IFCC	2	D007 01	11
LDH(LD)アイソザイム	2	D007 14	48
LD(LDH)IFCC	2	D007 01	11
LD(LDH)アイソザイム	2	D007 14	48
LDL-コレステロール	10	D007 04	18
LHONミトコンドリア DNA Evaluation	192		
LH(黄体形成ホルモン)	36	D008 13	108
(抗)LKM-1抗体	84	D014 25	215
LLA(白血病・リンパ腫解析検査)CD45ゲーティング	99	D005 15	1940
LP(a)→リポ蛋白(a)	14	D007 26	107
LPL(リポ蛋白リパーゼ)	14	D007 51	219
LRG→ロイシンリッチα2グリコ蛋白(LRG)	81	D007 57	276
LST→薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST)	100		
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(CLEIA)	89	D001 19	210
(Sm-Ig)L鎖(B細胞表面免疫グロブリン)	101	D016 01	157
L-ドーパ	39		

M	ページ	診療報酬区分	実施料
(抗ミトコンドリア)M2抗体	80	D014 21	189
MAC核酸同定(TRC)	162	D023 14	421
MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	77	D012 17	116

Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)	90	D007 48	194
MAG(ミエリン随伴性糖蛋白)自己抗体	192		
Major BCR-ABL1 ABL1変異解析	128		
Major BCR-ABL1 mRNA(IS)	128	D006-3 01 イ	2520
Major BCR-ABL1 mRNA定性	128	D006-2	2100
Major BCR-ABL1 mRNA定量	128	D006-2	2100
MALT1 18q21転座	123	D006-5 01	2553
MAST36アレルゲン(特異的IgE)	94	D015 13	1430
MAST48mix(特異的IgE)	94	D015 13	1430
m-AST(ミトコンドリア-AST)(m-GOT)	2	D007 15	49
MBP(ミエリン塩基性蛋白)	83	D004 12	570
Mb→ミオグロビン	89	D007 36	135
MCPA→抗甲状腺マイクロソーム抗体(マイクロソームテスト)	82	D014 03	37
(抗)MDA5抗体	80	D014 34	270
MDA-LDL→酸化LDL(MDA-LDL)	12	D007 48	194
MECP2遺伝子(exon3,4)変異解析	149		
MEFV遺伝子解析(家族性地中海熱)	150	D006-4 01 オ	3880
MELASミトコンドリアDNA Evaluation	192		
MERRFミトコンドリアDNA Evaluation	192		
METex14スキッピング→ArcherMETex14スキッピング(FFPE)	142	D004-2 01 □	5000
m-GOT(ミトコンドリア-AST)(m-AST)	2	D007 15	49
Mg(マグネシウム)	17	D007 01	11
MHA→メチル馬尿酸(尿中)	19		
MHPG	40		
(抗)Mi-2抗体	80	D014 34	270
micro BCR-ABL1 mRNA定性	129	D006-2	2100
min BCR-ABL1(%)マルク	129	D006-3 02 イ	2520
minor BCR-ABL1(%)	129	D006-3 02 イ	2520
minor BCR-ABL1 ABL1変異解析	129		
minor BCR-ABL1 mRNA定性	129	D006-2	2100
minor BCR-ABL1 mRNA定量	129	D006-2	2100
miR34b/c DNAメチル化解析	190		
MLA(悪性リンパ腫解析検査)CD45ゲーティング	99	D005 15	1940
MLC I →心室筋ミオシン軽鎖 I	89	D007 45	184
MLC(リンパ球混合培養)	100		
(ML-NET)→悪性リンパ腫総合解析検査[ML-NET]	185	※1	6150
MMP-3(マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	4	D014 08	116
Mn→マンガン	20	D007 08	27
MPN遺伝子変異解析	126		
MPO-ANCA(抗好中球細胞質抗体)	84	D014 30	258
mRF→免疫複合体(モノクローナルRF)	84	D014 23	194
MRSAスクリーニング	160		
MSI検査→マイクロサテライト不安定性検査	144	D004-2 01 イ-1	2500
(抗)MuSK抗体→抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	82	D014 45	1000
MYC 8q24転座	121	D006-5 01	2553
MYCN 2p24増幅	124	D006-5 01	2553
MYD88遺伝子変異解析	126		
My Nightingale(マイ ナイチンゲール)	188		

N	ページ	診療報酬区分	実施料
(NAG)N-アセチルグルコサミニダーゼ	4	D001 05	41
NARPミトコンドリアDNA Evaluation	192		
Na(ナトリウム)	17	D007 01	11
NCC-ST-439	45	D009 06・B001 03 □	115・腫2
NEFA(遊離脂肪酸)	10	D007 19	59
(尿中)NGAL	89	D001 19	210
NH <sub>3</sub> (アンモニア)	6	D007 16	50
NK細胞活性	101		
(尿中)NMP22(核マトリックスポロテイン22)	46	D009 13	143
NPM1変異解析	125	D006-2	2100

※ 1: N000・N002 08・D005 15・D006-5 02+D006-5 注

特：特定薬剤治療管理料  
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料  
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。



(HCV RNA 1b)NS5A	50		
NSE(神経特異性ノラーゼ)	46	D009 12・B001 03	142・腫2
NT-proBNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント)	44	D008 20	136
NTx(I型コラーゲン架橋N-テロペプチド)	89	D008 27・B001 03	156・腫2
NTx(I型コラーゲン架橋N-テロペプチド)(骨粗鬆症)	89	D008 27	156
NUDT15遺伝子codon 139多型解析	151	D006-17	2100
NUP98 11p15転座	122	D006-5 01	2553
NUP98-HOX9 mRNA定量	133	D006-2	2100
N-アセチルグルコサミニダーゼ(NAG)	4	D001 05	41
(尿中)N-メチルホルムアミド	19		

O	ページ	診療報酬区分	実施料
---	-----	--------	-----

O157スクリーニング	160		
-------------	-----	--	--

P	ページ	診療報酬区分	実施料
---	-----	--------	-----

P <sub>2</sub> →プレグナンジオール	41	D008 43	213
P-Ⅲ-P(プロコラーゲンⅢペプチド)[CLIA]	90	D007 37	136
P <sub>3</sub> →プレグナンジオール	41	D008 48	232
PAIgG(血小板関連IgG)	84	D011 06	193
P-ANCA→抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	84	D014 30	258
PA→前立腺特異抗原(PSA)	46	D009 09・B001 03	124・腫2
Pb(鉛)	20		
PCA→抗胃壁細胞抗体	80		
PCDHB DNAメチル化解析	190		
PDGFRB 5q32転座	121	D006-5 01	2553
PD-L1タンパク(IHC)22C3	179,182	N005-3	2700
PD-L1タンパク(IHC)28-8	179,182	N005-3	2700
PD-L1タンパク(IHC)SP142	179,182	N005-3	2700
PD-L1タンパク(IHC)SP263	182	N005-3	2700
PF-4(血小板第4因子)	34	D006 26	178
PgR→プロゲステロンレセプター (IHC)	179	N002 02	690
PG→ペブシノゲン	4		
PGE-MUM(CLEIA)	190		
PHAによるリンパ球幼若化検査	100	D016 07	345
PICテスト(α2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体)	32	D006 22	154
PIK3CA 遺伝子 変異解析(SEQ)	143		
PIVKA-II	46	D009 10・B001 03	135・腫2
PL→抗リン脂質抗体→抗β <sub>2</sub> グリコプロテイン I IgG抗体	83	D014 28	226
PL→抗リン脂質抗体→抗β <sub>2</sub> グリコプロテイン I IgM抗体	83	D014 28	226
PL→抗リン脂質抗体→抗カルジオリピンIgG抗体	83	D014 28	226
PL→抗リン脂質抗体→抗カルジオリピンIgM抗体	83	D014 28	226
PL→抗リン脂質抗体→抗カルジオリピン・β <sub>2</sub> グリコプロテイン I 複合体抗体	83	D014 27	223
PL→抗リン脂質抗体→ルーブスアンチコアグラント (APTT凝固時間法)	83		
PL→抗リン脂質抗体→ルーブスアンチコアグラント (希釈ラッセル蛇毒時間法)	83	D014 35	273
PL→抗リン脂質抗体→ルーブスアンチコアグラント(リン脂質中和法)	83	D014 35	273
PLA <sub>2</sub> →麟ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (麟PLA <sub>2</sub> )	3	D007 49	204
PLAP→胎盤型アルカリフォスファターゼ	2		
PIg→プラスミノーゲン	32	D006 13	100
PML-RARA mRNA定性	130	D006-2	2100
PML-RARA mRNA定量	130	D006-2	2100
PML-RARA t(15;17)転座	123	D006-5 01	2553
(高感度)PNH型血球検査	99		
PR3-ANCA(抗好中球細胞質抗体)	84	D014 31	259
PRA→レニン活性(PRA)(EIA)	43	D008 08	100
PR-F→蛋白分画	1	D007 04	18
PRL→プロラクチン	36	D008 06	98
ProGRP(ガストリン放出ペプチド前駆体)	46	D009 21・B001 03	175・腫2
PRRT2遺伝子変異解析	149		
PSA F/T比	46	D009 16・B001 03	150・腫2
PSA(前立腺特異抗原)	46	D009 09・B001 03	124・腫2

PTHrP(副甲状腺ホルモン関連蛋白)	37	D008 38	189
PTH(副甲状腺ホルモン)(Whole PTH)	37	D008 33	165
PTH(副甲状腺ホルモン)-インタクト	37	D008 33	165
PTフラグメントF1+2(プロトロンビンフラグメントF1+2)	32	D006 27	192
PT→プロトロンビン時間(PT)	32	D006 02	18
P型アミラーゼ定量	3	D007 14	48
P(無機リン)	17	D007 03	17

Q	ページ	診療報酬区分	実施料
---	-----	--------	-----

Q-band→染色体(先天異常)	117	D006-5 02+D006-5 注	2553+397
QT→先天性QT延長症候群遺伝子解析	150	D006-4 03 ア	8000

R	ページ	診療報酬区分	実施料
---	-----	--------	-----

RAS・BRAF遺伝子変異解析	144	D004-2 注1	4000
RBP(レチノール結合蛋白)	88	D015 15	136
RET遺伝子変異解析(甲状腺髄様癌)	149	D006-4 02 イ	5000
RETシングルサイト解析	149		
RF(リウマチ因子)定量	80	D014 02	30
Rh(D因子)式血液型	85	D011 01	24
Rh-Hr式血液型	85	D011 03	148
Ri自己抗体	193		
RLP-C(レムナント様リポ蛋白コレステロール)	10	D007 43	179
(抗)RNP抗体	78	D014 11	144
ROS1融合遺伝子定性	142	D004-2 01 イ-1	2500
RPR法→梅毒定量(RPR法)	75	D012 05	34
RSウイルス(CF)(NT)	66	D012 11 タ	79
RUNX1-MECOM mRNA定性	131	D006-2	2100
RUNX1-RUNX1T1(AML1-MTG8) t(8;21)転座	122	D006-5 01	2553
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	130	D006-2	2100
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量	130	D006-2	2100

S	ページ	診療報酬区分	実施料
---	-----	--------	-----

SAA(血清アミロイドA蛋白)	89	D015 06	47
SCC	45	D009 04・B001 03	104・腫2
SCCA2	94	D015 26	300
(抗)Scl-70抗体	78	D014 14	157
sd LDL-C(健診)	12		
sIt/PIGF比	44	D015 28	340
SFMC(可溶性フィブリンモノマー複合体)	32	D006 12	93
SHOX→X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)	118	D006-5 01	2553
(SKY)→染色体SKY(血液疾患)	120	D006-5 01	2553
(SKY)→染色体SKY(先天異常)	117	D006-5 01	2553
SLX(シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原)	45	D009 14・B001 03	144・腫2
SM-C→IGF-1(ソマトメジンC)	36	D008 42	212
Sm-Ig(B細胞表面免疫グロブリン)	101	D016 01	157
(抗)Sm抗体	78	D014 12	151
SNRPN遺伝子解析(メチレーションPCR)プラダー・ウィリアム症候群 アンジェルマン症候群	149	D006-4 01 エ	5000
SPan-1	45	D009 14・B001 03	144・腫2
SP-A(肺サーファクタント蛋白A)	14	D007 35	130
SP-D(肺サーファクタント蛋白D)	14	D007 37	136
SRY→Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)	118	D006-5 01	2553
(抗)SS-A/Ro抗体	78	D014 16	161
(抗)SS-B/La抗体	78	D014 15	158
(抗)ss-DNA IgG抗体	78	D014 17	163
(抗)ss-DNA IgM抗体	78		
SSEA-1抗原→シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX)	45	D009 14・B001 03	144・腫2
STIL-TAL1 mRNA定量	133	D006-2	2100
STN(シアリルTn抗原)	45	D009 15・B001 03	146・腫2
STS-RPR法→梅毒定量(RPR法)	75	D012 05	34
(HB)s抗原(HQ)	48	D013 03	88

特：特定薬剤治療管理料  
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料  
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

# 索引 (アルファベット)

## 索引

(HB)s抗体(CLEIA)	48	D013 03	88
(HB)s抗体(PHA)	48	D013 02	32
<b>T</b>	ページ	診療報酬区分	実施料
T <sub>3</sub> →トリヨードサイロニン(T <sub>3</sub> )(CLEIA)	37	D008 07	99
T <sub>4</sub> →サイロキシン(T <sub>4</sub> )(CLEIA)	37	D008 12	108
TARC(COVID-19)	93	D015 19	184
TARC(Th2ケモカイン)	93	D015 19	184
TAT(トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体)	32	D006 25	176
TBA→総胆汁酸	13	D007 13	47
TBG→サイロキシン結合グロブリン(TBG)	37	D008 17	130
TB→総ビリルビン	18	D007 01	11
TCA→尿中トリクロロ酢酸	19		
TCF3-PBX1 mRNA定性	130	D006-2	2100
TCF3-PBX1 mRNA定量	130	D006-2	2100
TCF3-PBX1 t(1;19)転座	120	D006-5 01	2553
T-Chol(総コレステロール)	10	D007 03	17
Tf→トランスフェリン	88	D015 07	60
Tf→トランスフェリン(クレアチニン換算値)(尿中)	88	D001 09	101
Tf→トランスフェリン(尿中)	88	D001 09	101
TgAb→抗サイログロブリン抗体(CLEIA)	82	D014 09	140
TGPA→抗甲状腺サイログロブリン抗体(サイロイドテスト)	82	D014 03	37
Tg→サイログロブリン(CLEIA)	37	D008 18	131
TG→中性脂肪(TG)	10	D007 01	11
Th1/Th2(IFN- $\gamma$ × IL-4/CD4)	101		
Th2ケモカイン→TARC	93	D015 19	184
TIBC(総鉄結合能)	18	D007 01	11
(抗)TIF1- $\gamma$ 抗体	80	D014 34	270
TK活性→チミジンキナーゼ活性	35	D005 12	233
TM→トロンボモジュリン	35	D006 28	204
TNF- $\alpha$ (高感度)	189		
TnT→心筋トロポニンT	89	D007 29	112
total P1NP→I型プロコラーゲン-N-プロペプチド	89	D008 32	164
TP53 del(17)短腕欠失	123	D006-5 01	2553
TPA	46	D009 05・B001 03 D	110・腫2
tPA・PAI-1複合体(トータルPAI-1)	32	D006 33	240
TP-F→蛋白分画	1	D007 04	18
TPHA→梅毒定量(TPHA)	75	D012 06	53
(抗)TPO-Ab→抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	82	D014 10	142
TP(総蛋白)(血清)	1	D007 01	11
TP(総蛋白)(髄液)	1	D007 01	11
TP(総蛋白)(尿)	1、154	D001 01	7
TRAb→TSHレセプター抗体(CLEIA)	82	D014 26	220
TRACP-5b→骨型タンパク質阻害性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	3	D008 27・B001 03 D	156・腫2
TSAb(TSH刺激性レセプター抗体)	82	D014 38	340
TSAB(TSHレセプター抗体[阻害型])	190		
TSH→甲状腺刺激ホルモン(TSH)(CLEIA)IFCC	36		
TSH刺激性レセプター抗体(TSAb)	82	D014 38	340
TSHレセプター抗体(CLEIA)	82	D014 26	220
TSHレセプター抗体(定量)	82	D014 26	220
T-SPOT→結核菌特異的IFN- $\gamma$	77	D015 30	594
TSST-1産生	160		
TTC→尿中総三塩化物	19		
TTR遺伝子解析(家族性アミロイドーシス)	149	D006-4 01 A	3880
Two-color解析によるリンパ球表面マーカー検査	101		
T細胞百分率 B細胞百分率	101	D016 03	198
T細胞百分率・IgG-FcR <sup>+</sup>	101	D016 03	198
T細胞レセプター $\beta$ 鎖C $\beta$ 1再構成	139	D006-6	2373
T細胞レセプター $\beta$ 鎖J $\beta$ 1再構成	139	D006-6	2373
T細胞レセプター $\beta$ 鎖J $\beta$ 2再構成	139	D006-6	2373

T細胞レセプター $\gamma$ 鎖J $\gamma$ 再構成	139	D006-6	2373
T細胞レセプター $\delta$ 鎖J $\delta$ 1再構成	139	D006-6	2373

<b>U</b>	ページ	診療報酬区分	実施料
UA(尿酸)	6	D007 01	11
ucOC→低カルボキシル化オステオカルシン	44	D008 26	154
UGT1A1遺伝子多型解析	151	D006-7	2004
UIBC(不飽和鉄結合能)	18	D007 01	11
UN(尿素窒素)	6	D007 01	11

<b>V</b>	ページ	診療報酬区分	実施料
View アレルギー 39(特異的IgE)	94	D015 13	1430
VMA→(バニルマンデル酸)	40	D008 04	90
v WF→フォン・ウィルブラント因子抗原定量	33	D006 21	147
VZV DNA→水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	56		
VZV DNA→水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	189	D023 16	450
VZV→水痘・帯状疱疹ウイルス	56	D012 11 ナ	79
VZV→水痘・帯状疱疹ウイルス(IgM)(IgG)	56	D012 42 チ	206
VZV抗原→水痘・帯状疱疹ウイルス抗原(FA)	56	D012 48	227

<b>W</b>	ページ	診療報酬区分	実施料
Whole PTH(副甲状腺ホルモン)	37	D008 33	165
WT1 mRNA定量	127	D006-9	2520

<b>X</b>	ページ	診療報酬区分	実施料
X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)	118	D006-5 01	2553
X染色体(血液疾患)	124	D006-5 01	2553
X染色体(ステロイドサルファターゼ遺伝子STS)	118	D006-5 01	2553
X染色体(先天異常)	124	D006-5 01	2553

<b>Y</b>	ページ	診療報酬区分	実施料
Yo自己抗体	193		
Y染色体(血液疾患)	124	D006-5 01	2553
Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)	118	D006-5 01	2553
Y染色体(先天異常)	124	D006-5 01	2553
Y染色体微小欠失(AZF欠失)	150		

<b>Z</b>	ページ	診療報酬区分	実施料
ZnT8抗体	82		
Zn(亜鉛)	18	D007 37	136
ZTT(クンケル反応)	1		

## ギリシャ文字

$\alpha$	ページ	診療報酬区分	実施料
$\alpha_1$ AG→ $\alpha_1$ アシドグリコプロテイン	88		
$\alpha_1$ AT→ $\alpha_1$ アンチトリプシン	88	D006 11	80
$\alpha_1$ -M→ $\alpha_1$ -マイクログロブリン	88	D015 14	132
$\alpha_1$ アシドグリコプロテイン	88		
$\alpha_1$ アンチトリプシン	88	D006 11	80
$\alpha_1$ -マイクログロブリン	88	D015 14	132
$\alpha_2$ プラスミンインヒビター→アンチプラスミン	32	D006 15	128
$\alpha_2$ プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PICテスト)	32	D006 22	154
$\alpha_2$ -マクログロブリン	88	D006 18	138
$\alpha$ -hANP→ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	44	D008 46	221
$\alpha$ -フェトプロテイン定量	45	D009 03・B001 03 □	101・腫2

$\beta$	ページ	診療報酬区分	実施料
$\beta_2$ GP I 抗体→抗カルジオリピン $\beta_2$ グリコプロテイン I 複合体抗体	83	D014 27	223
(抗) $\beta_2$ グリコプロテイン I IgG抗体	83	D014 28	226
(抗) $\beta_2$ グリコプロテイン I IgM抗体	83	D014 28	226
$\beta_2$ -マイクログロブリン	88	D015 11	101
$\beta$ -D-グルカン	76	D012 41	201
$\beta$ -アミロイド1-42/1-40比	92		
$\beta$ -カロチン	15		
$\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG)	34	D006 25	176
$\beta$ -リボ蛋白	13		

$\gamma$	ページ	診療報酬区分	実施料
$\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP)	2	D007 01	11
$\gamma$ -アミノ酪酸(GABA)	8	D010 04 イ	279
$\gamma$ -セミノプロテイン( $\gamma$ -Sm)	46	D009 24・B001 03 □	194・腫2

$\delta$	ページ	診療報酬区分	実施料
$\delta$ -アミノレブリン酸( $\delta$ ALA)	18	D001 11	109

## 数字

	ページ	診療報酬区分	実施料
1,25-(OH) $_2$ ビタミンD	16	D007 62	388
1,5AG(1,5-アンヒドロ-D-グルシトール)	8	D007 21	80
I型コラーゲンC末端テロペプチド(I CTP)	90	B001 03 □	腫2
I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)	89	D008 27・B001 03 □	156・腫2
I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)(骨粗鬆症)	89	D008 27	156
I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)	89	D008 32	164
1p36欠失症候群→1染色体(1p36欠失症候群)	117	D006-5 01	2553
1染色体(1p36欠失症候群)	117	D006-5 01	2553
(尿中)2,5-ヘキサンジオン	19		
II因子(凝固因子活性検査)	33	D006 30	223
IV型コラーゲン	90	D007 36	135
IV型コラーゲン・7S(CLEIA)	90	D007 40	148
(尿中)IV型コラーゲン	90	D007 36	135
4染色体(ウォルフ・ヒルシュホーン症候群)(先天異常)	117	D006-5 01	2553
5-HIAA	40	D008 05	95
5-HT→セロトニン	40		
5-S-システイニルドーパ(5-S-CD)	46		
V因子(凝固因子活性検査)	33	D006 30	223
5染色体(ノトス症候群)(先天異常)	117	D006-5 01	2553
7AAD解析 悪性リンパ腫解析検査	99	D005 15	1940
VII因子(凝固因子活性検査)	33	D006 30	223
7染色体(ウイリアムス症候群)(先天異常)	117	D006-5 01	2553
VIII因子(凝固因子活性検査)	33	D006 30	223
VIII因子(凝固抑制因子検査)	33	D006 20	144
8color→多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)	99	D005 15	1940
8染色体(血液疾患)	121	D006-5 01	2553
IX因子(凝固因子活性検査)	33	D006 30	223
IX因子(凝固抑制因子検査)	33	D006 20	144
X因子(凝固因子活性検査)	33	D006 30	223
(血中)11-OHCS	38	D008 02	60
XI因子(凝固因子活性検査)	33	D006 30	223
11-ヒドロキシコルチコステロイド→血中11-OHCS	38	D008 02	60
XII因子(凝固因子活性検査)	33	D006 30	223
12種吸入性アレルギー(アトピー鑑別試験)	94	D015 21	194
12染色体(血液疾患)	123	D006-5 01	2553
XIII因子(凝固因子活性検査)	33	D006 30	223
13染色体(先天異常)	117	D006-5 01	2553
13染色体(先天性網膜芽細胞腫RB1)	117	D006-5 01	2553
15染色体(アンジェルマン症候群)(先天異常)	118	D006-5 01	2553
15染色体(ブラダーウィリ症候群)(先天異常)	118	D006-5 01	2553
17-KS7分画	38	D008 43	213
17 $\alpha$ -ヒドロキシプロゲステロン	38	D008 43	213
17染色体(ミラーディカー症候群)(先天異常)	118	D006-5 01	2553
18染色体(先天異常)	118	D006-5 01	2553
21染色体(先天異常)	118	D006-5 01	2553
22染色体(22q11欠失)(先天異常)	118	D006-5 01	2553
25OHビタミンD(骨粗鬆症)	16	D007 31	117
25ヒドロキシビタミンD(くる病・骨軟化症)	16	D007 31	117

# ご利用の手引き

## 取り引きのお申し込み

最寄りの営業所・営業拠点までご連絡いただければ営業員がお伺いたします。  
ご連絡の際は裏表紙の営業所・営業拠点一覧をご参照ください。

## 検査のご依頼方法

### 1. 依頼書

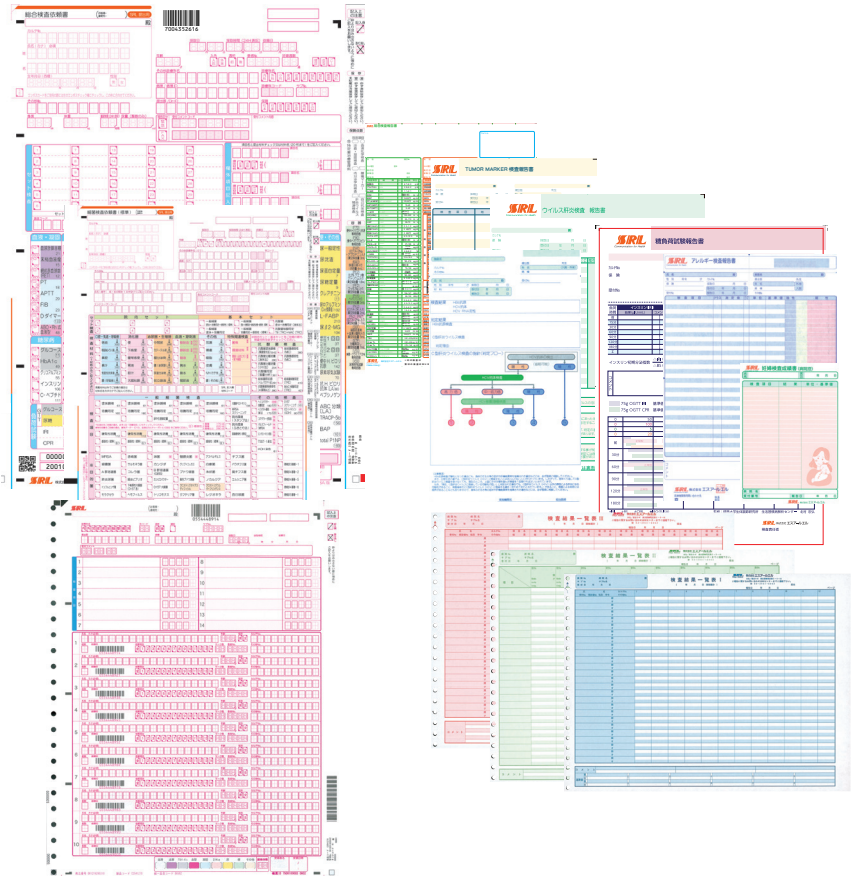
それぞれの依頼項目に適合した依頼書をご使用ください。なお、「お客様控」に診療報酬点数(実施料及び判断料区分)を掲載していますので、院内伝票としてご利用ください。

1. 総合検査依頼書
2. 細菌検査依頼書
3. 一覧検査依頼書
4. 病理・細胞診依頼書

### 2. 報告書

それぞれの依頼検査に適合した報告書にてご報告いたします。

1. 総合検査報告書
2. 一般細菌検査報告書
3. 抗酸菌検査報告書
4. 病理検査報告書
5. 細胞診検査報告書
6. 一覧報告書(I、II、III)
7. シール報告書
8. フリー報告書
9. その他  
ウイルス肝炎検査報告書  
糖負荷試験報告書  
TUMOR MARKER検査報告書  
アレルギー検査報告書  
Two-Color Analysis報告書  
マタニティー報告書  
染色体検査報告書  
HLA検査報告書  
アミノ酸分析報告書  
免疫電気泳動検査報告書  
甲状腺機能検査報告書  
検査報告書



## 特定感染症患者の検体受託について

当社の受託体制および感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)等により、下記に該当する感染症の患者、疑似症患者、無症状病原体保有者の検体については、受託することが出来ません。あらかじめご了承ください。

### 【特定感染症】

- ・ 1 類感染症  
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

## 検査結果のお問合せについて

検査内容等のお問合せ、ご意見、ご指摘等につきましては、巻末に記載の最寄りの事業所までお問合せ下さい。  
尚、業務時間は 平日は 9:00~19:00 土曜日は 9:00~18:00 となっております。

測定場所および測定委託先：備考欄に&印のない項目については、当社北信臨床にて測定実施しております。  
 &I、&ヤ、&1、&%の項目については、エスアールエル下記ラボラトリーにて測定実施しております。  
 その他の&印の項目については、当社より下記会社へ委託外注しております。

記号	エスアールエル・グループ会社測定実施場所	検体搬送時間	記号	測定委託先	検体搬送時間
&I	エスアールエル八王子ラボラトリー	6時間以内	&Q	Athena diagnostics	2~3日以内
&ヤ	エスアールエル八王子第3ラボラトリー		&Y	Nightingale health Japan株式会社	30時間以内
&ヨ	エスアールエルMUQSラボラトリー		&イ	かずさDNA研究所	
&1	エスアールエルセントラルラボラトリー		&ツ	ミルスインターナショナル	
&%	エスアールエル北関東検査センター熊谷ラボラトリー		&こ	長崎大学	
&0	日本医学臨床検査研究所	30時間以内	&ハ	シノテスト サイエンス・ラボ	
記号	測定委託先	検体搬送時間	&ミ	江東微生物研究所	
&E	北里大塚バイオアッセイ研究所	30時間以内	&p	株式会社東京セントラルパソロジーラボラトリー	6時間以内
&K	Quest Diagnostics incorporated (QD)	2~3日以内	&ウ	一般財団法人京都工場保健会衛生検査所	30時間以内
&M	LSIメディエンス	30時間以内	&	松本市医師会検査センター	2時間以内
&N	ビー・エム・エル				

検体搬送時間：当社から委託外注先までの検体搬送時間

## 検体のご提出と搬送方法

検体は原則として院内検査室でまとめて当社営業員へご提出ください。なお、一部地域において提携先による集配を行っております。  
 検体受領場所 [ ]  
 検体平均搬送時間 [約 時間]

当社では、お預かりした検体の搬送精度向上のために、真空断熱材入りの専用検体搬送ボックスに専用の蓄冷剤と蓄温剤を用いて搬送しております。

## ご依頼検体の保管期間

お預かりいたしました検体は、依頼日より2週間保管し、再検査や追加検査のご要望にお応えしております。ただし、末梢血液検査等一部の検査につきましては1週間保管とさせていただきます。なお、保管期間を過ぎた検体につきましては、当社で処分させていただきます。また、当社から測定委託する項目につきましては、測定委託先の基準に基づいて保管させていただきます。  
 取り扱いの定まっていない新種の感染症の検体については、保管せずに廃棄処分する場合があります。  
 保管期間を経過した検査済検体は個人情報特定されない状態に検体情報を加工した後、精度管理の目的等に使用することがあります。

## 統計情報について

検査のご依頼にあたり、以下の点をご了承ください。  
 ・当社は、お客様より受託した検体検査の情報をもとに、統計情報を作成することがあります。統計情報は、複数の方に関する情報から共通要素に係る項目を抽出して同じ分類ごとに集約して得られる情報であって、被検者やお客様を特定することはできません。例えば、各検査項目における一定の地域・期間ごと、年齢・性別など被検者の属性ごとの、検査受託件数や陽性率がこれに含まれます。  
 ・作成された統計情報は、当社において検査精度の検証に用いること、公衆衛生疫学等の分野において参照されること、当社のホームページ等でご報告することがあるほか、当社または第三者の製品・サービスの開発・提供等のために利活用されることがあります。

## RIA測定項目のご依頼にあたっての注意事項

シンチグラフィー等で *in vivo* に投与したアイソトープが残存するとRIAでの異常値発生の原因となることがありますので、あらかじめご了承ください。

## 免責について

ご依頼いただきました検査は当社検査実施基準に基づき行われますが、お預かりした検体の状態、または検査方法の技術的境界等により検査結果を臨床診断に資することが困難な場合があります。この場合、当社はその検査結果に対し免責とさせていただきます。

## BCP対策

災害等想定する危機への対応手順として、初動対応、役員及び従業員の安否確認、要員や装備の確保、災害本部設置から解散、業務復旧後の事後処置等の全容を定めた事業継続策を構築しております。

# ご利用の手引き

ご利用の手引き

**お客様連絡先**  
お客様連絡先へ委託元の緊急連絡先をご記入ください。

**依頼 No. (先頭の9桁)**

**材料名表示ラベル**  
検査項目欄とラベルの色は、採血管のキャップ色と同色系にしました。

**フリーラベル**  
その他材料ラベル  
負荷検体ラベル

**材料名表示**

**氏名記入欄**  
依頼書と同じ氏名をご記入ください。

**材料名・負荷時間記入欄**  
検査材料名、負荷時間をご記入ください。

## 依頼書の記入要領

ご依頼は検査項目により当社指定の依頼書にてお願いいたします。

- ① 患者様氏名については、必ずカタカナでご記入ください。
  - ② 男女・入院・外来・科名・透析前後については、印でご記入ください。
  - ③ 病棟・提出医は、カタカナでご記入ください。
  - ④ ご依頼項目は、チェック欄に印をご記入ください。
  - ⑤ 記載されていない項目をご依頼の場合は、欄外項目記入欄に項目コードと項目名をご記入ください。
  - ⑥ 蓄尿量・身長・体重等を必要に応じてご記入ください。
  - ⑦ 採取日・採取時刻等もご記入ください。
  - ⑧ 科コードはご指定の数字をご記入ください。尚、事前登録が必要の為、当社営業員にご連絡をお願いいたします。
  - ⑨ お客様連絡先へ委託元の緊急連絡先をご記入ください。
- ※尚、「お客様控」に実施料（診療報酬点数）を掲載してございますので、院内伝票としてご利用ください。

## 検体容器及び検体ラベルについて

- ・検体容器については①～⑤⑥ページの容器の取り扱い方法をご参照ください。
- ・検体ラベルには氏名、性別、年齢、材料名等をご記入し、提出容器に貼ってください。

## 検体ラベルの使用について

●総合検査依頼書には、依頼No.に対応した検体ラベル(バーコード付き)が添付されています。

- (1)材料名表示ありの材料名表示ラベル(血清、血算、血糖、尿、凝固、2Na血漿の6種類)
- (2)材料名表示なしのフリーラベル(4枚)

- ◆検体ラベルには、依頼書と同じ依頼No.(9桁)とバーコードが印刷されておりますので、必ず依頼書に添付されたラベルを検体に貼付してください。
- ◆血清、血算、血糖、尿、凝固、2Na血漿は検査材料名を印刷した材料名表示ラベルをご使用ください。
- ◆材料名表示ラベルが無い材料や負荷試験の検体は、フリーラベルをご使用ください。  
ただし、血清、血糖、尿の負荷前の検体には、材料名表示ラベルをご使用ください。

注;総合依頼書に印刷してある番号は10桁ですが、依頼No.は先頭の9桁で下1桁はチェックデジットになっております。

注;材料名表示ラベルに印刷してある番号は12桁ですが、依頼No.は先頭の9桁で下3桁は材料No.とチェックデジットになっております。

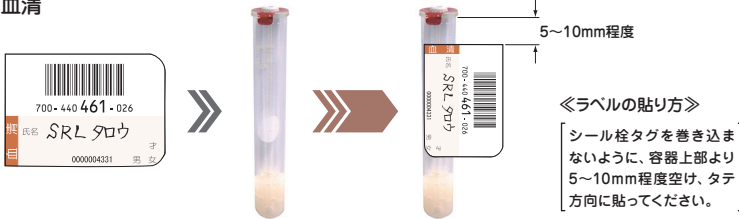
## 検体ラベルの貼付について

- (1)総合依頼書に氏名をご記入ください。
- (2)検体ラベルの氏名欄に依頼書と同じ氏名や材料名、負荷時間等をご記入ください。
- (3)下図のとおり、検体にラベルをタテに貼りつけてください。

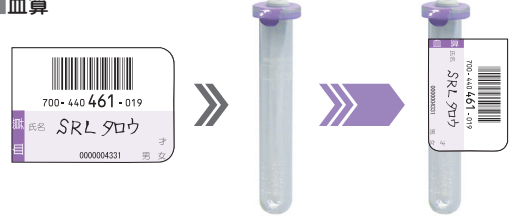
※材料名表示ラベルが破損した場合には、フリーラベルをご使用ください。

### ●検体ラベル貼付例

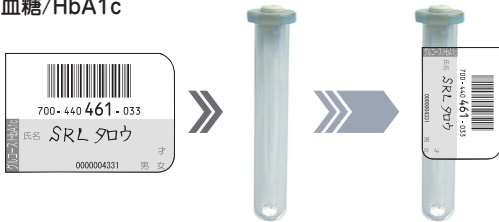
#### ■血清



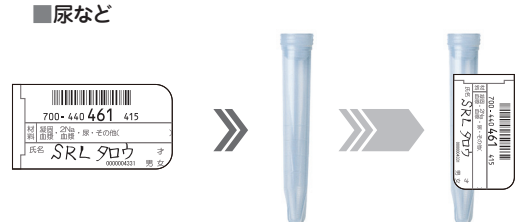
#### ■血算



#### ■血糖/HbA1c



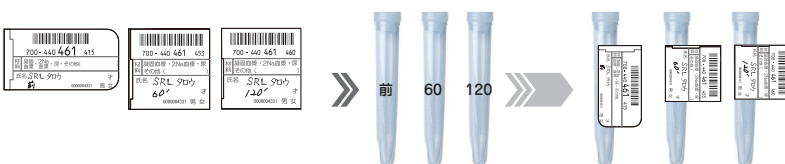
#### ■尿など



#### ■血糖負荷「前、60分、120分」の例



#### ■尿糖負荷「前、60分、120分」の例



### 《ラベル貼付時のご注意》

- (1)依頼書の依頼No.とラベルの依頼No.を照合してください。
- (2)依頼書の氏名とラベルの氏名を照合してください。
- (3)検体の材料種別とラベルの材料表示名を照合してください。

# ご利用の手引き

## 倫理指针对象項目のご依頼にあたり

当社では「遺伝学的検査受託に関する倫理指針」(社団法人日本衛生検査所協会)等に基づき、被験者やその家族及び血縁者の人権が保障され、社会の理解の下、適正に遺伝学的検査を実施することを目的に「SRL遺伝子倫理ガイドライン」を策定しております。

遺伝学的検査の受託に際しては、「SRL遺伝子倫理ガイドライン」、日本衛生検査所協会・関連学会等の指針に準拠した受託を行っております。

## SRL遺伝子倫理ガイドライン

[https://www.srl-group.co.jp/assets/pdf/company/activities/stance/srl\\_rinri\\_guideline\\_201712.pdf](https://www.srl-group.co.jp/assets/pdf/company/activities/stance/srl_rinri_guideline_201712.pdf)

## 【準拠指針等】

- ① 「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(2011年2月)日本医学会
- ② 「遺伝学的検査受託に関する倫理指針」(平成28年11月24日一部改正)日本衛生検査所協会、遺伝子関連検査受託倫理審査委員
- ③ 「遺伝学的検査の実施に関する指針」(平成28年4月1日)日本衛生検査所協会、日本小児科学会、日本神経学会、日本人類遺伝学会
- ④ 「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」(令和2年10月一部改正)厚生労働省

## 診断目的で検査をご依頼の場合

・検査実施にあたりましては、「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(日本医学会)等のガイドラインを遵守くださいますようお願いいたします。

・対象の項目をご依頼いただく際は、遺伝学的検査受託専用の「倫理指針準拠依頼書」をご利用くださいますようお願いいたします。

## 【倫理指針準拠依頼書】

この依頼書は2022年3月時点のものです。

この依頼書は2022年3月時点のものです。

「倫理指針準拠依頼書」では、検査の目的や限界などが説明され、被験者の自由意思による同意(インフォームド・コンセント)が得られていること、および被験者に対して事前の遺伝カウンセリングが適切に行われたことを、ご担当医の署名により確認させていただきます。

また、個人情報保護のために、被験者氏名の代わりに匿名化符号をご記入いただきますと、当社では匿名化符号をもちまして検査を実施いたします。(氏名およびカルテNo.欄を設けておりますが、当社控への伝票には複写されないように処理をしております。)



## ファーマコゲノミクス(PGx)検査項目をご依頼の場合

当社では、「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(下記)の主旨に沿い、薬物の効果や副作用の予測補助として臨床の現場で行われる遺伝学的検査につきましては、これを「ファーマコゲノミクス検査(PGx)」として、単一遺伝子疾患の診断に利用される遺伝学的検査とは区別した受託を行っております。関連ガイドラインから抜粋致しました下記の留意点をご一読いただき、検査実施にあたりましては、ガイドラインの原本をご参照くださいますようお願いいたします。

### ①「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(日本医学会 2011年2月)

#### 3. 遺伝学的検査の留意点 3-4) 薬理遺伝学検査

ゲノム薬理学検査に含まれる薬理遺伝学検査 [注5] は、生殖細胞系列の遺伝情報を取扱うものであるが、以下の特性があるため、単一遺伝子疾患の遺伝情報とは異なり、診療の場においては、関連ガイドライン [注5] を参照した上で、通常の診療情報と同様に扱うことができる。

- ・危険な副作用をもたらす薬物、または有効性の乏しい薬物の投与を回避できること。
- ・適切な投与量を推定できること。
- ・遺伝型に基づく表現型の予測力が必ずしも高くないこと。

[注5];「ゲノム薬理学における用語集」(厚生労働省)では、(略)「薬理遺伝学(Pharmacogenetics: PGt)」を「ゲノム薬理学(PGx)の一部であり、薬物応答と関連するDNA配列の変異に関する研究」と定義している。

(略) これらの検査に関連した指針等には「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」および「ゲノム薬理学を適用する臨床研究と検査に関するガイドライン」がある。

### ②「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」(日本臨床検査医学会・日本人類遺伝学会・日本臨床検査標準協議会 2012年7月)

#### 3. 個人の遺伝情報の保護

現在、単一遺伝子疾患の診断を目的とした遺伝学的検査では匿名化や親展報告書などにより、個人情報保護されている。PGx検査の実施においても、単一遺伝子疾患が考えられる場合は、医療機関等において、各種安全管理措置(略)を講じた上で、個人情報の保護は「匿名化」にて運用する。

ただし、単一遺伝子疾患が考えられる場合でも、原則として、健康障害をもたらさない場合は、匿名化の必要性や電子カルテあるいは紙カルテでの取扱い方はその限りではない。

別紙5) PGx検査の実施・運用体制について

(略) なお、PGx検査の情報管理として、被検者(患者)の匿名化、オーダリングシステムへの掲載、検査結果の電子カルテ掲載等については、各種安全管理措置を講じた上で、以下の場合には通常の臨床検査と同様に取り扱うことが容認される。

- ・体細胞遺伝子検査に分類されるPGx検査の場合
- ・検査対象となる遺伝子が単一遺伝子疾患の原因遺伝子である生殖細胞系列のPGx検査であっても、被検者に健康障害をもたらさない場合

## ヒトゲノム・遺伝子解析の研究としてご依頼の場合

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)に則った研究につきましては、別途契約締結のうえ検査をご依頼くださいますようお願いいたします。ご契約につきましては、最寄りの営業所・営業拠点にお問い合わせください。

# ご利用の手引き

## 包括項目

### ■悪性腫瘍組織検査 処理が容易なもの(◎)

肺癌におけるEGFR遺伝子検査 肺癌におけるROS1融合遺伝子検査 肺癌におけるALK融合遺伝子検査 肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。) 肺癌におけるMETex14遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。) 大腸癌におけるRAS遺伝子検査 大腸癌におけるBRAF遺伝子検査 乳癌におけるHER2遺伝子検査	固形癌におけるマイクロサテライト不安定性検査 濾胞性リンパ腫におけるEZH2遺伝子検査 肺癌におけるK-ras遺伝子検査 膵癌におけるK-ras遺伝子検査 悪性骨軟部組織腫瘍におけるEWS-Fli1遺伝子検査 悪性骨軟部組織腫瘍におけるTLS-CHOP遺伝子検査 悪性骨軟部組織腫瘍におけるSYT-SSX遺伝子検査 消化管間葉系腫瘍におけるc-kit遺伝子検査	悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節生検に係る遺伝子検査 大腸癌におけるEGFR遺伝子検査 大腸癌におけるK-ras遺伝子検査 リンチ症候群におけるマイクロサテライト不安定性検査(使用目的又は効果として、医薬品の適応を判定するための補助等に用いるものとして薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品を使用した場合を除く。)			
◎2項目	4000点	3項目	6000点	4項目以上	8000点

個別の遺伝子検査ごとではなく、臨床的な位置づけや検査技術に応じて類型化した評価体系となっています。

同一がん種に対して同時に複数の遺伝子検査を実施する場合には、検査の項目数に応じた評価となります。

患者から1回に採取した組織等を用いて同一がん種に対して、処理が容易なものとして処理が複雑なものを実施した場合は、それぞれの検査の項目数に応じた点数を合算した点数により算定できます。

### ■悪性腫瘍組織検査 処理が複雑なもの(●)

肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング) 肺癌におけるMETex14遺伝子検査(次世代シーケンシング) 肺癌におけるRET融合遺伝子検査	悪性黒色腫におけるBRAF遺伝子検査(リアルタイムPCR法) 固形癌におけるNTRK融合遺伝子検査	固形癌における腫瘍遺伝子変異量検査 胆道癌におけるFGFR2融合遺伝子検査	
●2項目	8000点	3項目以上	12000点

個別の遺伝子検査ごとではなく、臨床的な位置づけや検査技術に応じて類型化した評価体系となっています。

同一がん種に対して同時に複数の遺伝子検査を実施する場合には、検査の項目数に応じた評価となります。

患者から1回に採取した組織等を用いて同一がん種に対して、処理が容易なものとして処理が複雑なものを実施した場合は、それぞれの検査の項目数に応じた点数を合算した点数により算定できます。

### ■出血・凝固検査(□)

Dダイマー定性 プラスミンインヒビター(アンチプラスミン) Dダイマー半定量 von Willebrand因子(VWF)活性 Dダイマー $\alpha_2$ -マクログロブリン PIVKA-II 凝固因子インヒビター von Willebrand因子(VWF)抗原	プラスミン・プラスミンインヒビター複合体(PIC) プロテインS抗原 プロテインS活性 $\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG) トロンピン・アンチトロンピン複合体(TAT) 血小板第4因子(PF <sub>4</sub> ) プロトロンビンフラグメントF1+2 トロンボモジュリン フィブリンモノマー複合体	凝固因子(第II因子、第V因子、第VII因子、第VIII因子、第IX因子、第X因子、第XI因子、第XII因子、第XIII因子) プロテインC抗原 プロテインC活性 tPA・PAI-1複合体	
□3項目又は4項目	530点	5項目以上	722点

### ■血液化学検査(☆)

総ビリルビン 直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン 総蛋白 アルブミン(BCP改良法・BCG法) 尿素窒素 クレアチニン 尿酸 アルカリホスファターゼ(ALP) コリンエステラーゼ(ChE) $\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ( $\gamma$ -GT) 中性脂肪 ナトリウム及びクロール カリウム カルシウム マグネシウム	クレアチン グルコース 乳酸デヒドロゲナーゼ(LD) アミラーゼ ロイシナムイノペプチダーゼ(LAP) クレアチンキナーゼ(CK) アルドラーゼ 遊離コレステロール 鉄(Fe) 血中ケトン体・糖・クロール検査(試験紙法・アンブル法・固定化酵素電極によるもの) 不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法) 総鉄結合能(TIBC)(比色法) リン脂質 HDL-コレステロール 無機リン及びリン酸	総コレステロール アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST) アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT) LDL-コレステロール 蛋白分画 銅(Cu) リパーゼ イオン化カルシウム マンガン(Mn)			
☆5項目以上7項目以下	93点	8項目又は9項目	99点	10項目以上	106点

## ■ 内分泌学的検査(△)

成長ホルモン(GH)  
 卵巣刺激ホルモン(FSH)  
 C-ペプチド(CPR)  
 黄体形成ホルモン(LH)  
 テストステロン  
 遊離サイロキシシン(FT<sub>4</sub>)  
 遊離トリヨードサイロニン(FT<sub>3</sub>)  
 コルチゾール  
 アルドステロン  
 サイロキシシン結合グロブリン(TBG)  
 サイログロブリン  
 ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット(HCG-β)  
 脳性Na利尿ペプチド(BNP)  
 カルシトニン  
 抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)  
 ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量  
 ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量  
 脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)  
 ヒト胎盤性ラクトローゲン(HPL)  
 サイロキシシン結合能(TBC)  
 プロゲステロン

グルカゴン  
 低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)  
 I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)  
 酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)  
 オステオカルシン(OC)  
 遊離テストステロン  
 骨型アルカリホスファターゼ(BAP)  
 インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP)  
 I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP)  
 低単位ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量  
 副甲状腺ホルモン(PTH)  
 カテコールアミン分画  
 I型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体(β-CTX)(尿)  
 デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)  
 セクレチン  
 I型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体(β-CTX)  
 サイクリックAMP(cAMP)  
 エストラジオール(E<sub>2</sub>)  
 エストリオール(E<sub>3</sub>)  
 エストロゲン半定量  
 エストロゲン定量

副甲状腺ホルモン関連蛋白C端フラグメント(C-PTHrP)  
 副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)  
 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)  
 カテコールアミン  
 デオキシビリジノリン(DPD)(尿)  
 17-ケトジェニックステロイド(17-KGS)  
 エリスロポエチン  
 ソマトメジンC  
 17-ケトステロイド分画(17-KS分画)  
 17α-ヒドロキシプロゲステロン(17α-OHP)  
 抗IA-2抗体  
 プレグナンジオール  
 メタネフリン  
 17-ケトジェニックステロイド分画(17-KGS分画)  
 メタネフリン・ノルメタネフリン分画  
 心房性Na利尿ペプチド(ANP)  
 抗利尿ホルモン(ADH)  
 プレグナントリオール  
 ノルメタネフリン  
 インスリン様成長因子結合蛋白3型(IGFBP-3)  
 遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画

△3項目以上5項目以下 410点      6項目又は7項目 623点      8項目以上 900点

## ■ 腫瘍マーカー(○)

癌胎児性抗原(CEA)  
 α-フェトプロテイン(AFP)  
 扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)  
 組織ポリペプチド抗原(TPA)  
 NCC-ST-439  
 CA15-3  
 DUPAN-2  
 エラスターゼ1  
 前立腺特異抗原(PSA)  
 CA19-9  
 PIVKA-II半定量  
 PIVKA-II定量  
 CA125  
 神経特異エノラーゼ(NSE)

核マトリックスプロテイン22(NMP22)定量(尿)  
 核マトリックスプロテイン22(NMP22)定性(尿)  
 Span-1  
 シアリルLex-i抗原(SLX)  
 CA72-4  
 シアリルTn抗原(STN)  
 塩基性フェトプロテイン(BFP)  
 遊離型PSA比(PSA F/T比)  
 BCA225  
 サイトケラチン19フラグメント(シフラ)  
 サイトケラチン8・18(尿)  
 シアリルLex抗原(CSLEX)  
 抗p53抗体  
 I型コラーゲン-C-テロペプチド(ICTP)

ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)  
 CA54/61  
 癌関連ガラクトース転移酵素(GAT)  
 CA602  
 α-フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%)  
 組織因子経路インヒビター-2(TFPI2)  
 γ-セミノプロテイン(γ-Sm)  
 ヒト精巢上体蛋白4(HE4)  
 可溶性メソテリン関連ペプチド  
 プロステートヘルスインデックス(phi)  
 癌胎児性抗原(CEA)定性(乳頭分泌液)  
 癌胎児性抗原(CEA)半定量(乳頭分泌液)  
 HER2蛋白  
 可溶性インターロイキン-2レセプター(sIL-2R)

○2項目 230点      3項目 290点      4項目以上 398点

## ■ 肝炎ウイルス関連検査(◇)

HBs抗原  
 HBs抗体  
 HBe抗原  
 HBe抗体  
 HCV抗体定性・定量  
 HCVコア蛋白  
 HBc抗体半定量・定量  
 HCVコア抗体

HA-IgM抗体  
 HA抗体  
 HBc-IgM抗体  
 HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体定性  
 HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体半定量  
 HE-IgA抗体定性  
 HCV血清群別判定  
 HBVコア関連抗原(HBcrAg)

デルタ肝炎ウイルス抗体  
 HCV特異抗体価  
 HBVジェノタイプ判定

◇3項目 290点      4項目 360点      5項目以上 425点

## ■ 自己抗体検査(★)

抗Jo-1抗体定性  
 抗Jo-1抗体半定量  
 抗Jo-1抗体定量  
 抗サイログロブリン抗体  
 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体  
 抗RNP抗体定性  
 抗RNP抗体半定量  
 抗RNP抗体定量  
 抗Sm抗体定性

抗Sm抗体半定量  
 抗Sm抗体定量  
 C<sub>1</sub>q結合免疫複合体  
 抗Scl-70抗体定性  
 抗Scl-70抗体半定量  
 抗Scl-70抗体定量  
 抗SS-B/La抗体定性  
 抗SS-B/La抗体半定量  
 抗SS-B/La抗体定量

抗SS-A/Ro抗体定性  
 抗SS-A/Ro抗体半定量  
 抗SS-A/Ro抗体定量  
 抗RNAポリメラーゼⅢ抗体  
 抗ARS抗体  
 抗MDA5抗体  
 抗TIF1-γ抗体  
 抗Mi-2抗体

★2項目 320点      3項目以上 490点

# ご利用の手引き

## 総合検査案内掲載内容

- 検体量**：検体量は再検査分を考慮して設定しております。  
血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採血してください。(検体採血方法は①ページをご参照ください。)
- 保存**：指定の保存方法にてご提出ください。
  - 凍結** 必ず凍結(-10℃以下)保存してご提出ください。
  - 冷蔵** 冷蔵(2℃～15℃)で保存してご提出ください。
  - 室温** 必ず室温(16℃～30℃)で保存してご提出ください。
- 基準値**：「正常参考値および判定基準」は当社では「基準値」で表示しております。  
「基準値」には基準範囲、臨床判断値等を含みます。
- 所要日数**：原則的には検体をお預かりした翌日を起算日とし、結果をお客様のお手元へお届けするまでの日数(通常の日曜・日曜日を含みます)です。  
なお、次の場合は表示日数よりご報告が遅れることがありますので、あらかじめご了承ください。
  - ・再検査の場合や祝日の前後の場合
  - ・記載されている材料以外でのご依頼の場合
  - ・凍結マーク項目と同時のご依頼の場合
  - ・やむを得ず、重複不可マーク項目と同時のご依頼があった場合
- 実施料・判断料**：検体検査料は検体検査実施料と、検体検査判断料に区分されています。

### 検体検査判断料

	判断料	判断料区分		判断料	判断料区分
1. 尿・糞便等検査判断料	34点	※1	5. 生化学的検査(Ⅱ)判断料	144点	※5
2. 遺伝子関連・染色体検査判断料	100点	※2	6. 免疫学的検査判断料	144点	※6
3. 血液学的検査判断料	125点	※3	7. 微生物学的検査判断料	150点	※7
4. 生化学的検査(Ⅰ)判断料	144点	※4			

### 病理判断料

	判断料	判断料区分
病理判断料	150点	※8

- 採取条件**：検体を適正に採取するために、検体採取時に留意していただきたい事項です。(備考または容器の取り扱い方法をご参照ください。)
- 提出条件**：血清分離の要否など、適正な検査・測定を行うために必要な事項です。(備考または容器の取り扱い方法をご参照ください。)
  - 速やかに遠心** 採血後、長時間の室温放置は避け、速やかに遠心分離してください。遠心分離までに時間指定のある項目や、前処理、遠心分離前に冷却を必要とする項目等もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法も併せてご参照ください。
  - 冷却遠心** 低温(4℃)にて遠心分離してください。
- 緊急報告検査値範囲** **緊急**：緊急報告検査値範囲(12ページ参照)が設定されておりますので、範囲を超えた場合には、当社より緊急連絡させていただきます。
- 予約検査** **予約検査**：予約検査となりますので、検体採取前に必ず最寄りの営業所・営業拠点へご連絡ください。
- 曜日指定** **曜日指定**：指定曜日のみ(休日除く)受託可能となりますので、ご注意ください。受託可能日につきましては、本文の備考欄をご参照ください。
- 参考文献**：検査方法についての基本的な参考文献です。(オ～ニページ参照)

## マーク一覧

受付・報告関連	予約検査		予約検査となりますので、検体採取前に必ず最寄りの営業所・営業拠点へご連絡ください。
	曜日指定		指定曜日のみ(休日除く)受託可能となりますので、ご注意ください。受託可能日につきましては、本文の備考欄をご参照ください。
	緊急		緊急報告検査値範囲(12ページ参照)が設定されておりますので、範囲を超えた場合には、当社より緊急連絡させていただきます。
	ヒト倫理		ヒト遺伝子倫理指針対象項目となりますので、ご依頼につきましては、5ページをご参照ください。
	PGx		ファーマコゲノミクス(PGx)対象項目となりますので、ご依頼につきましては、6ページをご参照ください。
	海外		最終委託先が米国のため海外搬送となります。検体の返却等はできませんので、あらかじめご了承ください。
	重複不可		他項目との重複依頼は避けてください。やむをえず他項目と重複依頼された場合は、所要日数が変動する場合がございますので、予めご了承ください。
検体取り扱い	速やかに遠心		採血(採尿)後、長時間の室温放置は避け、速やかに遠心分離してください。遠心分離までに時間指定のある項目や、前処理、遠心分離前に冷却を必要とする項目等もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法も併せてご参照ください。
	冷却遠心		低温(4℃)にて遠心分離してください。
	凍結		必ず凍結(-10℃以下)保存してご提出ください。
	冷蔵		冷蔵(2℃~15℃)で保存してご提出ください。 なお、長期間にわたって保存される場合は、凍結していただきますようお願いいたします。ただし  マークのついている項目は、長期間であっても凍結しないでください。
	室温		必ず室温(16℃~30℃)で保存してご提出ください。
	遮光		直射日光または蛍光灯等避け、遮光した容器にてご提出ください。
検査値への影響	溶血不可		溶血検体は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	不活化不可		不活化(非動化)検体は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	酸性蓄尿不可		酸性蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	凍結不可		凍結(-10℃以下)保存は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。

## 主な単位記号

L	liter	M	mol/L
dL	deciliter(=0.1L)	mmol	millimole(=0.001mol)
mL	milliliter(=0.001L)	μmol	micromole(=10 <sup>-6</sup> mol)
μL	microliter(=10 <sup>-6</sup> L)	nmol	nanomole(=10 <sup>-9</sup> mol)
fL	femtoliter(=10 <sup>-15</sup> L)	pmol	picomole(=10 <sup>-12</sup> mol)
kg	kirogram	fmol	femtomole(=10 <sup>-15</sup> mol)
g	gram	mm	millimeter
mg	milligram(=0.001g)	mm <sup>2</sup>	squaremillimeter(平方ミリメートル)
μg	microgram(=10 <sup>-6</sup> g)	mm <sup>3</sup>	cubicmillimeter(立方ミリメートル)
ng	nanogram(=10 <sup>-9</sup> g)	μ <sup>3</sup>	cubicmicron(立方マイクロ)
pg	picogram(=10 <sup>-12</sup> g)	Meq	megaequivalents
U	unit	mEq	milliequivalent
mU	milliunit(0.001U)	mOsm	milliosmole
μU	microunit(10 <sup>-6</sup> U)	%	percent
IU	international unit	‰	permill
mIU	milliinternational unit(=0.001 IU)	cpm	counts per minutes
AU	arbitrary unit	U <sub>A</sub>	unit allergen

# ご利用の手引き

## 検査項目欄の見かた

ご利用の手引き

最終測定実施場所です。詳細につきましては②ページをご参照ください。

検体をお預かりした翌日を起算日とし、結果をお届けするまでの日数です。再検査の場合や祝日の前後はさらに日数を要することがあります。

検査方法名です。検査方法の概略につきましてはア～エページをご参照ください。

検査ご依頼にあたっての注意事項です。

項目コード  
依頼書欄外項目ご依頼時はそれぞれ記載されている全ての英数字をご記入ください。

項目コード 新項目コード	検査項目名	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
P001 4 000010102 1068 5 000850129	<b>緊急</b> 総蛋白(TP)	血清 0.5 髄液 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヶ月)	1~2	① 11 ※4	Biuret法	6.7~8.3 (g/dL)	
L493 3 000850123	3A010-0000-023-271 1C010-0000-041-271 1A015-0000-004-271	蓄尿 0.5	U00	冷蔵	1~2	7 ※1	ピロガロール レッド法	31.2~120.0 (mg/day)	Ⓔ
P002 3 000020102	アルブミン(Alb)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	1~2	① 11 ※4	BCP改良法	3.8~5.2 (g/dL)	ヒトアルブミンと特異性の高いBCPと反応させる方法です。
4602 8 8L1130000	尿中アルブミン	蓄尿 0.5	U00	冷蔵 (1ヶ月)	1~2	99 ※1	免疫比濁法	2~20 (mg/day)	Ⓔ
4603 7 8L1140000	尿中アルブミン (クレアチニン換算値)	部分尿 1	U00	冷蔵 (1ヶ月)	1~2	99 ※1	免疫比濁法	尿中アルブミン換算値 10.0以下 (mg/g・CRE)	Ⓔ
P020 3 000040102	A/G比	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヶ月)	1~2		BCP改良法 /Biuret法	1.1~2.1	
A051 4 01213A302	蛋白分画	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 18 ※4	キャピラリー 電気泳動法	ALB 55.8~66.1 (%) α1-グロブリン 2.9~4.9 (%) α2-グロブリン 7.1~11.8 (%) β1-グロブリン 4.7~7.2 (%) β2-グロブリン 3.2~6.5 (%) γ-グロブリン 11.1~18.8 (%) A/G 1.3~1.9	Ⓔ 溶血でのご依頼は避けてください。
3324 8 017732702	C1q	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結	2~8		ネフエロメトリー	8.8~15.3 (mg/dL)	Ⓔ

JLAC10の結果識別コードを除く15桁のコード(依頼項目)を記載しています。  
JLAC10コードは、日本臨床検査医学会が制定した臨床検査項目分類コードです。  
(コードの新設などの理由で変更となることがあります。)

①「蛋白分画」、「総蛋白」及び「アルブミン」を併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。  
②「尿中トランスフェリン」、「尿中アルブミン」及び「尿中IV型コラーゲン」は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。

Ⓔは、LDT(Laboratory Developed Test)です。

ご提出いただく検体の保存条件です。採血後の保存条件ではありませんのでご注意ください。( )内の安定性とは当社検討データによる検体の保存可能時間の目安を記載しています。

実施料、判断料区分です。※については⑨ページをご参照ください。  
●については保険点数算定上の、同時算定不可、回数制限の算定条件を抜粋して欄外に掲載しています。

容器の取り扱いについては下記の例をご参照ください。また、取り扱い方法に条件がある項目もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法もご参照ください。

### (例1)検体が血清の場合

検体量 (mL)	容器
血清 0.5	S09 ↓ A00

汎用容器(S09)に血液を採取し、遠心分離後、血清0.5mLを別容器(A00)に移し替えてご提出ください。  
血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採取してください。

### (例2)添加剤入り容器に採取し、遠心分離後、上清をご提出いただく場合

検体量 (mL)	容器
血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00

当社専用容器(PN2, PN5)に血液を採取し、遠心分離後、血漿0.5mLを別容器(A00)に移し替えてご提出ください。  
血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採取してください。

### (例3)検体が添加剤入りの血液の場合

検体量 (mL)	容器
血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN7

当社専用容器(PN7)に血液5.0mLを採取し、よく混和させ、そのままご提出ください。  
採取および提出とも同一容器(PN7)で、別容器への移し替えは不要です。

検査項目	基準値	単位	緊急報告検査値範囲
総蛋白(TP)	6.5 ~ 8.3	g/dL	5.0g/dL以下
総ビリルビン(T-Bil)	0.2 ~ 1.2	mg/dL	12.0mg/dL以上
新生児ビリルビン			20.0mg/dL以上
尿素窒素(UN)	8.0 ~ 22.0	mg/dL	80.0mg/dL以上(透析検体を除く)
クレアチニン(Cre)	M 0.60 ~ 1.10 F 0.40 ~ 0.80	mg/dL	5.00mg/dL以上(透析検体を除く)
ナトリウム(Na)	135 ~ 147	mEq/L	110mEq/L以下, 170mEq/L以上(透析検体を除く)
カリウム(k)	3.5 ~ 5.0	mEq/L	2.5mEq/L以下, 6.5mEq/L以上(透析検体を除く)
クロール(Cl)	96 ~ 109	mEq/L	80mEq/L以下, 120mEq/L以上(透析検体を除く)
血糖(GLU)	60 ~ 109	mg/dL	50mg/dL以下, 500mg/dL以上
白血球数(WBC)	3300 ~ 9800	/ $\mu$ L	1000/ $\mu$ L以下, 25000/ $\mu$ L以上
血色素量(Hb)	M 13.5 ~ 18.0 F 11.5 ~ 15.5	g/dL	5.0g/dL以下
ヘマトクリット(Ht)	M 39.0 ~ 52.0 F 34.0 ~ 48.0	%	15.0%以下
血小板数(PLT)	15.0 ~ 33.0	$\times 10^4$ / $\mu$ L	$3.0 \times 10^4$ / $\mu$ L以下, $100.0 \times 10^4$ / $\mu$ L以上
PT-INR	0.85 ~ 1.15		4.00以上
血液像(ST)			芽球・幼若細胞出現時
ジゴキシン	0.8 ~ 2.0	ng/mL	2.5ng/mL以上
テオフィリン	10.0 ~ 20.0	$\mu$ g/mL	25 $\mu$ g/mL以上
フェノバルビタール	10.0 ~ 25.0	$\mu$ g/mL	60 $\mu$ g/mL以上
フェニトイン	10.0 ~ 20.0	$\mu$ g/mL	30 $\mu$ g/mL以上
カルバマゼピン	4.0 ~ 12.0	$\mu$ g/mL	12 $\mu$ g/mL以上
バルプロ酸	50.0 ~ 100.0	$\mu$ g/mL	150 $\mu$ g/mL以上

# 生化学的検査

## 蛋白・膠質反応／酵素および関連物質

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
P001 4 000010102 1068 5 000850129 L493 3 000850123	<b>緊急</b> 総蛋白(TP)  3A010-0000-023-271 1C010-0000-041-271 1A015-0000-004-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 11 ※4	Biuret法	6.7~8.3 (g/dL)	
		髄液 0.5	A00	冷蔵	1~2	① 11 ※4	ピロガロール レッド法	15~45 (mg/dL)	
		蓄尿 0.5	U00	冷蔵	1~2	⑦ ※1		31.2~120.0 (mg/day)	&3
P002 3 000020102	アルブミン(Alb) 3A015-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	1~2	① 11 ※4	BCP改良法	3.8~5.2 (g/dL)	ヒトアルブミンと特異性の高いBCP と反応させる方法です。
4602 8 8L1130000	尿中アルブミン 3A015-0000-004-061	蓄尿 0.5	U00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	② 99 ※1	免疫比濁法	2~20 (mg/day)	酸 &3
4603 7 8L1140000	尿中アルブミン (クレアチニン換算値) 3A015-0000-001-061	部分尿 1	U00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	② 99 ※1	免疫比濁法	尿中アルブミン換算値 10.0以下 (mg/g・CRE)	酸 &3
P020 3 000040102	A/G比 3A016-0000-023-919	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2		BCP改良法 /Biuret法	1.1~2.1	
A051 4 01213A302	蛋白分画  3A020-0000-023-237	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 18 ※4	キャピラリー 電気泳動法	ALB 55.8~66.1 (%) α1-グロブリン 2.9~4.9 (%) α2-グロブリン 7.1~11.8 (%) β1-グロブリン 4.7~7.2 (%) β2-グロブリン 3.2~6.5 (%) γ-グロブリン 11.1~18.8 (%) A/G 1.3~1.9	溶 溶血でのご依頼は避けてください。 &1
A262 0 000043521	尿中蛋白分画 3A020-0000-001-233	部分尿 1	U00	冷蔵		① 18 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	(%)	血清材料は、項目コードNO.A051 4 蛋白分画をご依頼ください。 &1
P003 2 000061102	クンケル反応(ZTT) 3A030-0000-023-292	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (3日)	1~2		日本消化器病学会 肝機能研究班 標準法変法	4.0~12.0 (U)	
P087 0 000070202	CK(CPK) 3B010-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (10日)	1~2	11 ※4	JSCC 標準化対応法	M 62~287 F 45~163 (U/L)	
3684 9 013740202	CK-MB (CPK-MB)	血清 各 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (6日)	2~4		免疫阻止-UV法	MB 25以下 TOTAL M 62 ~ 287 F 45 ~ 163 (U/L)	本項目は、TOTALのCK(CPK)の測 定結果も併せてご報告いたします。 &3
3746 0 013741002	3B015-0000-023-272 3B015-0000-023-051		凍結	90 ※4		CLIA	5.0 以下 (ng/mL)	&3	
3282 5 011283502	CK(CPK) アイソザイム 3B025-0000-023-233	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結	2~4	55 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	BB 2以下 MB 6以下 MM 93~99 (%)	採血後、速やかに血清分離してくだ さい。 &1

①「蛋白分画」、「総蛋白」及び「アルブミン」を併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。  
②「尿中トランスフェリン」、「尿中アルブミン」及び「尿中IV型コラーゲン」は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。



# 生化学的検査

## 酵素および関連物質

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
酵 素	0021 7 000080202	AST(GOT) 3B035-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (14日)	1~2	17 ※4	JSCC 標準化対応法	10~40 (U/L)	溶血でのご依頼は避けてください。
	3688 5 012270202	ミトコンドリア-AST (m-AST)(m-GOT) 3B040-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	49 ※4	プロテアーゼ法	7 以下 (U/L)	※3
お よ び	P007 8 000090202	ALT(GPT) 3B045-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (14日)	1~2	17 ※4	JSCC 標準化対応法	5~40 (U/L)	
	L774 1 00015A802	LD(LDH)IFCC 3B050-0000-023-279	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (3日)	1~2	11 ※4	IFCC 標準化対応法	124~222 (U/L)	溶血でのご依頼は避けてください。
関 連 物 質	3261 8 011233502	LD(LDH) アイソザイム 3B055-0000-023-233	血清 0.3	S09 ↓ A00	室温	2~4	48 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	LDH1 21~31 LDH2 28~35 LDH3 21~26 LDH4 7~14 LDH5 5~13 (%)	溶血でのご依頼は避けてください。 (溶血の場合LDH1、2、3の上昇が 考えられます。) LDH5が多く含まれる検体では、 IFCC法に基づく分画値と乖離する 場合があります。 ※1
	L773 2 00017A802	アルカリフォスファターゼ (ALP)IFCC 3B070-0000-023-275	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	IFCC 標準化対応法	38~113 (U/L)	
質	3345 5 016410602	骨型アルカリ フォスファターゼ(BAP) 3B072-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	161 ※5	CLEIA	男性 3.7~20.9 閉経前女性 2.9~14.5 閉経後女性 3.8~22.6 (μg/L)	※1
	A190 0 030140629	胎盤型アルカリ フォスファターゼ (PLAP) 3B076-0000-041-052	髄液 0.5	A00	冷蔵 (28日)	2~6		CLEIA	(pg/mL)	※3
質	3267 2 011243502	ALPアイソザイム (IFCC) 3B080-0000-023-238	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	48 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	ALP1 0.0~5.3 ALP2 36.6~69.2 ALP3 25.2~54.2 ALP5 0.0~18.1 (%)	血液型BまたはO型でLewis分泌型 の人では、ALP総活性値および ALP5の出現率が高くなること があります。 ※1
	0020 8 000120102	γ-GT(γ-GTP) 3B090-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	JSCC 標準化対応法	M 70 以下 F 30 以下 (U/L)	基準値には飲酒群が含まれており ます。
質	3686 7 012260202	アルドラーゼ 3B100-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	11 ※4	UV-酵素法	2.1~6.1 (U/L)	溶血 ※1
	P021 2 000130202	コリンエステラーゼ (ChE) 3B110-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	JSCC 標準化対応法	M 242~495 F 200~459 (U/L)	
質	3700 0 018010102	グアナーゼ 3B125-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	35 ※4	酵素法	1.0以下 (U/L)	※3
	3702 8 014560102	アデノシンデアミナーゼ (ADA) 3B130-0000-023-272	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	32 ※4	酵素法	5.0~20.0 (U/L)	※3
質	P022 1 000140102	ロイシニアミノペプチダーゼ (LAP) 3B135-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	酵素法 (L-ロイシル-D- ニトロアニリド基質)	35~73 (U/L)	

①「骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)」、「インタクト I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact P I NP)」、「I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(P I NP)」及び「ALP・アイソザイム(PAG電気泳動法)」のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

# 生化学的検査

## 酵素および関連物質

生化学的検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
酵	P018 6 000150102	アミラーゼ(AMY) 3B160-0000-023-271 3B160-0000-001-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	11 ※4	JSCC 標準化対応法	37~125 (U/L)	
	部分尿 5		U00	冷蔵	11 ※4				65~700 (U/L)	
素	3274 4 011252602	アミラーゼ アイソザイム 3B165-0000-023-233 3B165-0000-001-233	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	48 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	TOTAL-S 36.0~84.3 TOTAL-P 15.7~64.0 (%)	
	部分尿 0.5		U00	冷蔵	48 ※4				TOTAL-S 17.7~61.3 TOTAL-P 38.7~82.3 (%)	
お	3682 1 018560102	P型アミラーゼ定量 3B175-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	48 ※4	JSCC 標準化対応法	21~64 (U/L)	&3
	3681 2 012230102		リパーゼ 3B180-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	24 ※4	合成基質 比色法	13~55 (U/L)
よ	8049 6 000340702	トリプシン 3B185-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	189 ※4	ラテックス 凝集比濁法	210~570 (ng/mL)	&3
	3788 4 012392002		膵ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (膵PLA <sub>2</sub> ) 3B192-0000-023-005 3B192-0000-022-005	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	204 ※4	RIA固相法	130~400 (ng/dL)
4067 3 012392003	血漿 0.3	PN2, PN5 ↓ A00		凍結	204 ※4	&1				
連	3037 7 013011902	エラスターゼ1 3B195-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	2~4	123 ※5 (腫2)	ラテックス 免疫比濁法	300以下 (ng/dL)	&3
	8775 3 015140738		子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ 3B200-0000-058-062	子宮頸管 粘液	VP6	凍結 (1ヵ月)	2~4	119 ※1	ラテックス 凝集免疫法	1.60以下 (μg/mL)
物	K128 9 019880802	骨型酒石酸抵抗性 酸性フォスファターゼ (TRACP-5b) 3B222-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	2~4	156 ※5 (腫2)	EIA	男性: 170~590 女性(YAM): 120~420 (mU/dL)	YAM:若年者成人平均値 女性の基準値は、健常閉経前女性(30 ~44歳)で確立された平均±1.96標 準偏差の範囲としております。なお、 閉経後女性にも適用されます。 &1

(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(47ページ参照)

①「NTX」、「オステオカルシン」、「尿中DPD」、「TRACP-5b」を併せて実施した場合は、いずれか1つのみ算定する。

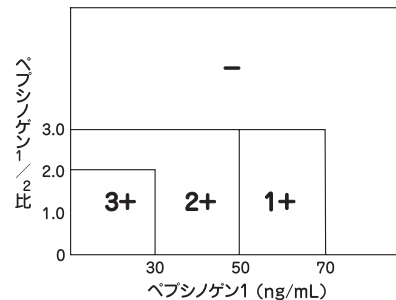
②代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る。)の診断補助として実施した場合に1回、その後6月以内の治療経過観察時の補助的指標として実施した場合に1回に限り算定できる。また治療方針を変更した際には変更後6月以内に1回に限り算定できる。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
3683 0 012241102	リゾチーム 3B255-0000-023-292 3B255-0000-001-292	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		比濁法	5.0~10.2 ( $\mu\text{g/mL}$ )	
		部分尿 0.4	U00	冷蔵				0.1未満 ( $\mu\text{g/mL}$ )	
3698 4 010190102	アンギオテンシン I 転換酵素(ACE) 3B325-0000-023-271	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	140 ※4	笠原法	8.3~21.4 (U/L)	EDTA血漿は測定不能となります。 &3
4683 9 017820121	N-アセチル グルコサミニダーゼ (NAG) 3B330-0000-001-272	部分尿 0.5	U00	冷蔵	2~4	41 ※1	比色法	0.7~11.2 (IU/L)	&3
6762 9 019140602	ペプシノゲン 3B339-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		CLEIA	下記参照	&I
4646 0 016850702	MMP-3 (マトリックスメタロ プロテイナーゼ-3) 3B503-0000-023-062	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	116 ※6	LTIA	M 36.9~121 F 17.3~59.7 (ng/mL)	不活化(非動化)検体ではデータ影 響を及ぼす場合がありますので避 けてください。 &3

- ①「リウマトイド因子(RF)定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)」、「C1q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。
- ②「抗シトルリン化ペプチド抗体定性」、「抗シトルリン化ペプチド抗体定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)」、「C1q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち2項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの1つに限り算定する。

### [6762 9]ペプシノゲン(判定基準)

		ペプシノゲン1	ペプシノゲン1/2比
強陽性	3+	30 ng/mL以下	かつ 2.0以下
中程度陽性	2+	50 ng/mL以下	かつ 3.0以下
陽性	1+	70 ng/mL以下	かつ 3.0以下
陰性	-	上記条件以外	



**PN2** **PN5** 旧容器記号 **C**

p27

EDTA-2Na入り  
(真空採血量  
2mLまたは5mL)  
内容  
EDTA-2Na  
3.0mgまたは  
7.5mg  
貯蔵方法 室温  
有効期間  
製造から 2年 (PN2) (PN5)

**VP6** 旧容器記号 **W6**

p50

内容  
抽出液(リン酸バッ  
ファー)  
貯蔵方法 室温(抽  
出液は冷蔵)  
有効期間 製造から 1年


# 生化学的検査

## 酵素および関連物質

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
5506 4 T00005506	胃がんリスク層別化 検査(ABC分類) [LA] 3B347-0000-023-920	血清 各1.0	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4		ラテックス 凝集比濁法 CLEIA	下記参照	<ピロリ菌の除菌治療前> ペプシノゲンとヘリコバクターピロリ抗体を実施し、それぞれの検査結果とABC分類をご報告いたします。 &I
5507 3 T00005507	胃がんリスク層別化 検査(ABC分類) 除菌あり[LA] 3B347-0000-023-920								<ピロリ菌の除菌治療後> ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、ABC分類の判定対象にはなりません。除菌判定結果に関わらず、E群(除菌群)としてご報告いたします。 &I

### [5506 4、5507 3]胃がんリスク層別化検査(ABC分類)[LA]報告書



### 胃がんリスク層別化検査報告書

〒-XXXX

施設名: \_\_\_\_\_

医師: \_\_\_\_\_

受付日: \_\_\_\_\_

報告日: \_\_\_\_\_

提出日: \_\_\_\_\_


科名: \_\_\_\_\_





病棟: \_\_\_\_\_

医師: \_\_\_\_\_

ABC分類の判定は **です**

ピロリ菌の除菌後の方は、E群(除菌群)になります



		抗ヘリコバクターピロリ抗体	
		(-)	(+)
ペプシノゲン	(-)		
	(+)		

検査項目	結果	単位	コメント	判定基準
ペプシノゲン1 (PG1)		ng/mL		3+: PG1 30ng/mL以下 かつ 1/2比2.0以下
ペプシノゲン2 (PG2)		ng/mL		2+: PG1 50ng/mL以下 かつ 1/2比3.0以下
ペプシノゲン1/2比				1+: PG1 70ng/mL以下 かつ 1/2比3.0以下
ペプシノゲン判定				-: 上記以外

・検査方法: CLEIA


検査項目	結果	単位	コメント	判定基準
抗ヘリコバクターピロリ抗体		U/mL		10未満 (-)

・検査方法: ラテックス凝集比濁法(H.ピロリーラテックス[生研])

**ABC分類に適さない方**  
胃の病気の治療中の方、胃切除後の方、胃酸を抑える薬を服用中の方、腎不全の方、ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、医療機関にご確認・ご相談ください。

コメント

検査責任者 \_\_\_\_\_



株式会社 エスアールエル  
〒114-8501 東京都八王子市小宮町5-1番地

94962-1912-01-H141

胃がんリスク層別化検査は、「ヘリコバクターピロリ菌感染の有無を調べる検査」と「胃粘膜萎縮(老化)の有無を調べる検査」を組み合わせて、胃の健康度を分類するものです。「がんを見つける検査」ではありません。

**A群** おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意しましょう。未感染の可能性が高いですが、一部にはピロリ菌の感染や感染の既往のある方が含まれます。一度は内視鏡検査等の画像検査を受ける事が理想的です。

**B群** 少し弱った胃粘膜です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意しましょう。胃がんのリスクもあります。内視鏡検査を受けましょう。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

**C群** 萎縮の進んだ弱った胃粘膜と考えられます。胃がんになりやすいタイプと考えられます。定期的な内視鏡検査をお勧めします。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

**D群** 萎縮が非常に進んだ胃粘膜と考えられます。胃がんなどの病気になるリスクがあります。ピロリ菌感染診断をお勧めします。かならず専門医療機関で内視鏡など診断を受けご相談ください。

ピロリ菌の除菌治療を受けた方はE群となります。

**E群** ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらずE群(除菌群)として定期的な内視鏡検査を受けましょう。E群は除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではありませんので、除菌後も内視鏡による経過観察が必要です。

問診 除菌の有無を確認する

除菌治療をされていない場合

**A群** → リスクに応じた画像診断

**B群** → 内視鏡検査 → 除菌治療 → 除菌判定 → リスクに応じた画像診断

**C群** → リスクに応じた画像診断

**D群** → リスクに応じた画像診断

除菌治療をされた場合

**E群(除菌群)** → ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、E群(除菌群)として、定期的な内視鏡検査を受けましょう。

**ペプシノゲン法 (検査項目名称: ペプシノゲン)**  
「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで、胃粘膜の萎縮(老化)を客観的に調べる検査です。

**ヘリコバクターピロリ抗体 (検査項目名称: 抗ヘリコバクターピロリ抗体)**  
胃がヘリコバクターピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。

監修 一般財団法人浮風会 浮風会健康管理センター 井上和彦

### [5506 4]胃がんリスク層別化検査(ABC分類)[LA]の注意事項

以下の場合には、正しい結果が得られない可能性があります。

1. 明らかな上部消化器症状のある方
2. 上部消化管疾患治療中の方
3. プロトンポンプ阻害剤服用中の方
4. 胃切除をされた方
5. 腎不全の方
6. ピロリ菌の除菌治療を受けた方

5 酵素および関連物質

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
低分子窒素化合物	3622 7 012200102	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	11 ※4	酵素法	0.17~1.00 (mg/dL)	㊟
	4662 2 012200123	蓄尿 5	U00	冷蔵				11 ※4	
	P012 2 000170102	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヶ月)	1~2	① 11 ※4	酵素法	M 0.61~1.04 F 0.47~0.79 (mg/dL)	
0124 3 000170121	部分尿 5	U00	冷蔵	(mg/dL)					
L484 3 000170123	蓄尿 5	U00	冷蔵	① 11 ※4				M 0.70~2.20 F 0.40~1.50 (g/day)	㊟
0112 6 019641802	シスタチン C 3C016-0000-023-064	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 115 ※4	金コロイド 凝集法	M 0.63~0.95 F 0.56~0.87 (mg/L)	推算GFRcys(項目コード No.K591 5)を同時に依頼いただき ますと推算GFRcys値をご報告い たします。 (下記参照) ㊟
P016 8 000190102	尿酸(UA)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	1~2	11 ※4	酵素法 (ウリカーゼ POD法)	M 3.7~7.0 F 2.5~7.0 (mg/dL)	高尿酸血症：7.0 mg/dL超(高尿酸 血症・痛風の治療ガイドライン(日 本痛風・核酸代謝学会)2002年)
0127 0 000190121		部分尿 5	U00	冷蔵				11 ※4	
L485 2 000190123		蓄尿 5	U00	冷蔵	11 ※4	0.4~1.2 (g/day)	㊟ 蓄尿：凍結保存は避けてください。 蓄尿は依頼項目ごとに単独の検体 をご提出ください。	㊟	
0004 6 000210202	尿素窒素(UN)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	1~2	11 ※4	ウレアーゼ GLDH・UV法 (アンモニア除去)	8.0~22.0 (mg/dL)	㊟
0104 5 000210221		部分尿 5	U00	冷蔵				11 ※4	
L486 1 000210223		蓄尿 5	U00	冷蔵	11 ※4	6.5~13.0 (g/day)			
P091 5 000160119	アンモニア 3C040-0000-031-271	速やかに遠心 除蛋白液 3	M40 ↓ A00	凍結	1~2	50 ※4	酵素サイク リング法	30~80 (μg/dL)	採血後、直ちに正確に血液1.0mLを 専用容器(M40)に加え、充分攪拌 後3000rpm5分間遠心分離し、そ の上清液をご提出ください。

- ①「イヌリン」と「クレアチニン(腎クリアランス測定のための)」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。  
②「シスタチンC」は、「尿素窒素」又は「クレアチニン」により腎機能低下が疑われた場合に、3月に1回に限り算定できる。ただし、「ペントシジン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

### 推算GFRcreatについて

日本人のGFRcreat推算式

男性：推算GFRcreat値(mL/min/1.73m<sup>2</sup>) = 194 × Cr<sup>-1.094</sup> × Age<sup>-0.287</sup>  
女性：推算GFRcreat値(mL/min/1.73m<sup>2</sup>) = 194 × Cr<sup>-1.094</sup> × Age<sup>-0.287</sup> × 0.739

報告条件

- ①クレアチニン(項目コード No.P012 2)と同時に依頼された場合のみ、ご報告いたします。
- ②下記に該当する場合は、ご報告できません。
  - ・「クレアチニン」あるいは「推算GFRcreat」のいずれか1項目のみご依頼された場合。
  - ・年齢及び性別が依頼書に記載されていない場合。
  - ・年齢が18歳未満の場合。

### 推算GFRcysについて

日本人のGFRcys推算式

男性：推算GFRcys値(mL/min/1.73m<sup>2</sup>) = (104 × Cys - C<sup>-1.019</sup> × 0.996<sup>Age</sup>) - 8  
女性：推算GFRcys値(mL/min/1.73m<sup>2</sup>) = (104 × Cys - C<sup>-1.019</sup> × 0.996<sup>Age</sup> × 0.929) - 8  
血清シスタチンCは国際的な標準物質に基づく測定結果を用いて推算いたします。  
18歳以上に適用されます。(18歳未満には適用しません。)

報告条件

- ①シスタチンC(項目コード No.0112 6)と同時に依頼された場合のみ、ご報告いたします。
- ②下記に該当する場合は、ご報告できません。
  - ・「シスタチンC」あるいは「推算GFRcys」のいずれか1項目のみご依頼された場合。
  - ・年齢及び性別が依頼書に記載されていない場合。
  - ・年齢が18歳未満の場合。



# 生化学的検査

## 低分子窒素化合物

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
K347 6 02040A103	アミノ酸分析(39種類) [LC/MS] 3C045-0000-022-205	速やかに 冷却 遠心 血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	4~6	1141 ※5	LC/MS	下記参照	採血後、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 &1
4693 8 020401423	アミノ酸分析(41種類) 3C045-0000-004-204	酸性蓄尿 2	U00	凍結 (21日)	7~10	1141 ※5	HPLC	下記参照	6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶へ24時間蓄尿し、よく混和後必要量を必ず凍結保存しご提出ください。 尿量が少ない場合には尿100mLに対して6N塩酸1mLの割合で入れてください。 必ず酸性蓄尿に(pH1.0~3.0)してください。 &1
K348 5 02040A203	アミノ酸分析(9種類) [LC/MS] 3C046-0000-022-205	速やかに 冷却 遠心 血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	3~5	1141 ※5	LC/MS	下記参照	採血後、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 &1
K349 4 02040A303	アミノ酸分析2種類 (チロシン・フェニルアラニン) [LC/MS] 3C046-0000-022-205	速やかに 冷却 遠心 血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	3~5	279 + 279 ※5	LC/MS	チロシン 40.4~90.3 (nmol/mL) フェニルアラニン 42.6~75.7 (nmol/mL) フィッシャー比 2.43~4.40	採血後、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 &1
0165 8 02305A102	総分岐鎖アミノ酸/ チロシンモル比 (BTR) 3C047-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	2~4	283 ※5	酵素法	BCAA/TYR RATIO (BTR) 4.41~10.05 BCAA 344~713 (μmol/L) TYR 51~98 (μmol/L)	溶血でのご依頼は避けてください。 &3

### アミノ酸分析(39種類(血漿)、41種類(尿)、9種類(血漿))基準値

単位 血漿: nmol/mL、尿: μmol/day(ただし◎印(Urea)はmmol/day)

アミノ酸名	略号	基準値	
		血漿	尿
Taurine	Tau	39.5~93.2	322.2~5214.5
Phosphoethanolamine★	PEA		31.0~110.0
Urea	★Urea		◎130.3~493.2
Aspartic acid	Asp	2.4以下	12.7以下
Hydroxyproline	Hypro	21.6以下	ND
Threonine	Thr	66.5~188.9	79.9~528.3
Serine	Ser	72.4~164.5	208.8~1020.0
Asparagine	Asn	44.7~96.8	60.7~372.3
Glutamic acid	Glu	12.6~62.5	11.3~42.7
Glutamine	Gln	422.1~703.8	207.0~1357.3
Sarcosine	Sarco	TR	99.0以下
α-Aminoadipic acid	α-AAA	ND	16.7~118.6
Proline	Pro	77.8~272.7	ND
Glycine	Gly	151.0~351.0	652.1~3670.6
Alanine	Ala	208.7~522.7	141.2~833.9
Citrulline	Cit	17.1~42.6	13.5~55.6
α-Aminobutyric acid	α-ABA	7.9~26.6	27.1以下
※Valine	Val	147.8~307.0	24.8~82.2
Cystine	Cys	13.7~28.3	23.7~170.9
Cystathionine	Cysthio	TR	TR~44.7
※Methionine	Met	18.9~40.5	TR~20.2
※Isoleucine	Ileu	43.0~112.8	7.5~23.5
※Leucine	Leu	76.6~171.3	24.6~89.3
※Tyrosine	Tyr	40.4~90.3	50.6~308.4
※Phenylalanine	Phe	42.6~75.7	27.2~110.2

※印はアミノ酸分析(9種類)の実施アミノ酸名

ND: 測定感度以下 TR: 痕跡

★印は「アミノ酸」ではありませんが、本項目に含めて測定いたします。

アミノ酸名	略号	基準値	
		血漿	尿
γ-Amino β-hydroxy butyric acid	γ-A β-HBA	ND	ND
β-Alanine	β-Ala	TR	TR~153.0
β-Amino-iso-butyric acid	β-AIBA	TR	TR~1623.9
γ-Aminobutyric acid	γ-ABA	ND	ND
Monoethanolamine	★ MEA	10.4以下	195.3~606.2
Homocystine	Homocys	ND	ND
※Histidine	His	59.0~92.0	436.4~2786.5
3-Methylhistidine	3-Me His	5.0以下	113.4~480.9
1-Methylhistidine	1-Me His	18.5以下	59.3~2816.2
Carnosine	★ Carno	ND	87.6以下
Anserine	★ Ans	ND	231.4以下
Tryptophan	Trp	37.0~74.9	20.7~150.7
Hydroxylysine	Hylys	ND	22.9以下
Ornithine	Orni	31.3~104.7	6.9~43.9
※Lysine	Lys	108.7~242.2	51.6~1639.6
※Arginine	Arg	53.6~133.6	11.6~54.8
Total AA(総アミノ酸: 非必須アミノ酸の和+ 必須アミノ酸の和)		2068.2~3510.3	
NEAA(非必須アミノ酸の和)		1381.6~2379.4	
EAA(必須アミノ酸の和)		660.0~1222.3	
BCAA(分岐鎖アミノ酸の和)		265.8~579.1	
EAA/NEAA(必須アミノ酸の和/非必須アミノ酸の和)		0.40~0.63	
BCAA/Total AA(分岐鎖アミノ酸の和/総アミノ酸)		0.11~0.18	
フィッシャー比		2.43~4.40	

EAA/NEAA、BCAA/Total AA、フィッシャー比においては単位なし

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
低分子窒素化合物	4253 6 018831403	γ-アミノ酪酸(GABA)	速やかに遠心 血漿 1.0	PH5 ↓ A00	凍結 (21日)	5~11	HPLC	279 ※5	120~210 (pmol/mL)	採血後、速やかに血漿分離してください。 ※1
	6666 6 018831429		髄液 1.0	A00	凍結			279 ※5	(pmol/mL)	※1
	4694 7 017721423	ハイドロキシプロリン-総	蓄尿 1	U00	冷蔵 (28日)	4~10	HPLC	279 ※5	83~330 (μmol/day)	※1
	9047 0 00086A103	血中総ホモシステイン	速やかに遠心 血漿 0.3	PN2,PN5 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~5	LC/MS/MS	279 ※5	M 7.0~17.8 F 5.3~15.2 (nmol/mL)	採血後、速やかに血漿分離してください。 ※1
糖質および関連物質	P023 0 000230203	緊急 血糖	血漿 0.5	PF2 ↓ A00	冷蔵 (21日)	1~2	ヘキソキナーゼ UV法	11 ※4	70~109 (mg/dL)	
	0547 4 000250703	ヘモグロビンA1c (HbA1c)(NGSP)	血液 2.0 (フッ化Na加)	PF2	冷蔵 (7日)	1~2	酵素法	49 ※3	4.6~6.2 (%)	凍結保存は避けてください。 データに影響を及ぼす場合がありますので、必ず専用容器(PF2)に採血しご提出ください。
	3342 8 000240102	グリコアルブミン	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	酵素法	55 ※4	12.4~16.3 (%)	※3
	3617 3 012450702	ヒアルロン酸	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	ラテックス 凝集免疫比濁法	179 ※4	50以下 (ng/mL)	
	3627 2 012450731		胸水 0.4	A00					(ng/mL)	※3
	3874 8 013350102	1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	酵素法	80 ※4	M 14.9~44.7 F 12.4~28.8 (μg/mL)	※3
	4644 2 02162A121	糖代謝解析	部分尿 5	A00	凍結	10~13	Gas- Chromatography- Mass Spectrometry (GC/MS)法		下記参照	食事2時間後に採尿してください。 ※7
7712 3 011730102	シアル酸	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	2~5	酵素法		44~71 (mg/dL)	※3	

- ①「HbA1c」、「グリコアルブミン」又は「1,5AG」のうちいずれかを同一月中に併せて2回以上実施した場合は、月1回に限り主たるもののみ算定する。ただし、妊娠中の患者、1型糖尿病患者、経口血糖降下薬の投与を開始して6月以内の患者、インスリン治療を開始して6月以内の患者等については、いずれか1項目を月1回に限り別に算定できる。また、クロザピンを投与中の患者については、「HbA1c」を月1回に限り別に算定できる。
- ②「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」と「P-Ⅲ-P」、「Ⅳ型コラーゲン」、「Ⅳ型コラーゲン・7S」又は「ヒアルロン酸」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ③「オートタキシン」と「P-Ⅲ-P」、「Ⅳ型コラーゲン」、「Ⅳ型コラーゲン・7S」、「ヒアルロン酸」又は「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

### [4644 2]糖代謝解析基準値

グ ル コ ー ス	6.25 ~ 115.85 μg/mg Cr.
ソ ル ビ ト ー ル	0.00 ~ 11.01 μg/mg Cr.
フ ル ク ト ー ス	0.00 ~ 197.62 μg/mg Cr.
ミ オ イ ノ シ ト ー ル	1.02 ~ 8.34 μg/mg Cr.
1,5-アンヒドログルシトール	0.00 ~ 9.38 μg/mg Cr.
ク レ ア チ ニ ン	0.30 ~ 2.30 mg/mL

<b>PN2 PN5</b> 旧容器記号 <b>C</b> <b>p27</b> EDTA-2Na入り (真空採血量 2mLまたは5mL) 内容 EDTA-2Na 3.0mgまたは 7.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年 	<b>PH5</b> 旧容器記号 <b>G</b> <b>p18</b> ヘパリン入り (真空採血量5mL) 内容 ヘパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年 	<b>PF2</b> 旧容器記号 <b>E</b> <b>p17</b> フッ化Na入り (真空採血量2mL) 内容 フッ化Na 2.5mg ヘパリンNa 25uspu EDTA-2Na 7.4mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年 
--	--	--

# 生化学的検査

## 有機酸

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
7706 0 012140117	乳酸 3E010-0000-031-271	速やかに遠心 除蛋白液 0.4	M30 ↓ A00	冷蔵	2~4	47 ※4	乳酸オキシダーゼによる酵素法	3.0~17.0 (全血中) (mg/dL)	採血後、直ちに正確に血液1.0mLを専用容器(M30)に加え、充分攪拌後3000rpm5分間遠心分離し、その上清液をご提出ください。 &3
7707 9 012150117	ピルビン酸 3E015-0000-031-271	速やかに遠心 除蛋白液 0.4	M30 ↓ A00	冷蔵	2~4	47 ※4	ピルビン酸オキシダーゼによる酵素法	0.30~0.94 (全血中) (mg/dL)	採血後、直ちに正確に血液1.0mLを専用容器(M30)に加え、充分攪拌後3000rpm5分間遠心分離し、その上清液をご提出ください。 &3
4641 5 01588A123	尿中シュウ酸 3E025-0000-004-237	酸性蓄尿 3	A00	冷蔵 (21日)	3~9	200 ※1	キャピラリー電気泳動法	M 10.3~41.5 F 9.0~37.7 (mg/day)	6N塩酸10mLを入れた蓄尿ビンへ24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。 なお、尿量があらかじめ少ないと予想される場合には、尿200mLに対して6N塩酸1mLの割合で添加してください。酸性蓄尿されていない場合は、シュウ酸カルシウムが析出する可能性がありますので、必ず酸性蓄尿(pH1.0~2.0)してください。 凍結保存は避けてください。 &1
4651 4 014440121	クエン酸	部分尿 0.5	U00	凍結 (1ヵ月)	6~12		酵素法	138~1010 (mg/L)	
3786 6 014440102	3E030-0000-001-272 3E030-0000-023-272	血清 1.5	S09 ↓ A00	凍結				1.3~2.6 (mg/dL)	
3774 9 018080102	血中ケトン体分画	速やかに冷却遠心 血清 0.5 (静脈血)	S09 ↓ A00	凍結 (7日)	2~4	① 59 ※4	酵素法	アセト酢酸 55以下 3-ヒドロキシ酪酸 85以下 総ケトン体 130以下 (μmol/L)	早朝空腹時採血(静脈)してください。採血後は速やかに冷却遠心にて分離し、凍結保存してください。 &3
3778 5 01808A102	3E045-0000-023-271 3E045-0000-020-271	速やかに冷却遠心 血清 0.5 (動脈血)	S09 ↓ A00	凍結 (7日)	2~4	① 59 ※4	酵素法	ケトン体比アセト酢酸 3-ヒドロキシ酪酸比 0.7以上	ブドウ糖投与下または食後(血糖120mg/dL以上)に動脈採血してください。採血後は速やかに冷却遠心にて分離し、凍結保存してください。 &3
3605 6 014334302	アセトン定量 3E060-0000-023-202	血清 0.7	S7P ↓ A00	凍結 (15日)	7~10		Gas-Chromatograph法	5 未満 (μg/mL)	分離剤入り容器は使用しないでください。 &M
K153 1 014334321	尿中アセトン定量 3E060-0000-001-202	部分尿 1.2	U00	凍結	7~10		Gas-Chromatograph法	5 未満 (μg/mL)	&M
8248 8 024246721	有機酸スクリーニング検査 3E105-0000-001-203	部分尿 5	U00	凍結	7~14	1141 ※5	Gas-Chromatograph法 (GC-MS)		酸性蓄尿は避けてください。専用依頼書に臨床所見を必ずご記入ください。本検査は疑われる先天性有機酸代謝異常症を専門医が判定する検査です。判定医による判定に時間を要する場合は所要日数より遅れる場合があります。 &1

①「ケトン体」及び「ケトン体分画」の検査を併せて実施した場合は、「ケトン体分画」の所定点数のみ算定する。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
P011 3 000270102	中性脂肪(TG) 3F015-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	酵素法 (GK-GPO・ 遊離グリセロール 消去)	50~149 (mg/dL)	
0422 2 012180102	リン脂質 3F025-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	15 ※4	酵素法	160~260 (mg/dL)	&1
L341 1 00105A202	遊離脂肪酸(NEFA) 3F035-0000-023-271	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (28日)	2~4	59 ※4	酵素法	140~850 (μEq/L)	&1
P010 4 000280202	総コレステロール (T-Cho) 3F050-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 17 ※4	コレステロール 酸化酵素 (COD-POD)法	150~219 (mg/dL)	
0426 8 000290402	エステル型 コレステロール(Echo) 3F055-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	1~2		コレステロール 酸化酵素 (COD-POD)法、 酵素法	90~200 (mg/dL)	&3
0421 3 000310102	遊離コレステロール (F-Cho) 3F065-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	1~2	11 ※4	酵素法	30~60 (mg/dL)	&3
0427 7 000300402	コレステロール エステル比 3F055-0000-023-919	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	1~2		コレステロール 酸化酵素 (COD-POD)法、 酵素法	73~77 (%)	&3
P149 1 000320102	HDL-コレステロール 3F070-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 17 ※4	直接法	M 40~86 F 40~96 (mg/dL)	
3230 2 011219402	HDL <sub>2,3</sub> コレステロール 3F075-0000-023-221	血清 1.0	S09 ↓ A00	冷蔵 (20日)	2~6		超遠心法	HDL2 コレステロール M 16.0~61.0 F 23.0~73.0 HDL3 コレステロール M 13.0~25.0 F 13.0~24.0 (mg/dL)	凍結保存は避けてください。 &1
P151 8 000330102	LDL-コレステロール 3F077-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 18 ※4	直接法	70~139 (mg/dL)	
3341 9 015330102	レムナント様リポ蛋白 コレステロール(RLP-C) 3F078-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 179 ※4	酵素法	7.5 以下 (mg/dL)	凍結保存は避けてください。糖尿 病、冠動脈疾患などの既往歴のあ る場合は、5.2mg/dL以上がハイ リスク域といわれています。 &3

①「HDL-コレステロール」、「総コレステロール」及び「LDL-コレステロール」を併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。  
②3月に1回を限度として算定できる。

### [K836 3]LDL-C/HDL-C比

- ・ LDL-コレステロールとHDL-コレステロールと本項目の3項目を同時に依頼いただいた場合、LDL-コレステロールとHDL-コレステロールの測定結果とともに LDL-C/HDL-C比を算出し、ご報告いたします。
- ・ LDL-C/HDL-C比のみのご依頼はできません。



# 生化学的検査

## 脂質および関連物質

### 動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版抜粋

#### 脂質異常症診断基準(空腹時採血)\*

LDLコレステロール	140mg/dL以上	高LDLコレステロール血症
	120 ~ 139mg/dL	境界域高LDLコレステロール血症**
HDLコレステロール	40mg/dL未満	低HDLコレステロール血症
トリグリセライド	150mg/dL以上	高トリグリセライド血症
Non-HDLコレステロール	170mg/dL以上	高non-HDLコレステロール血症
	150 ~ 169mg/dL	境界域高non-HDLコレステロール血症**

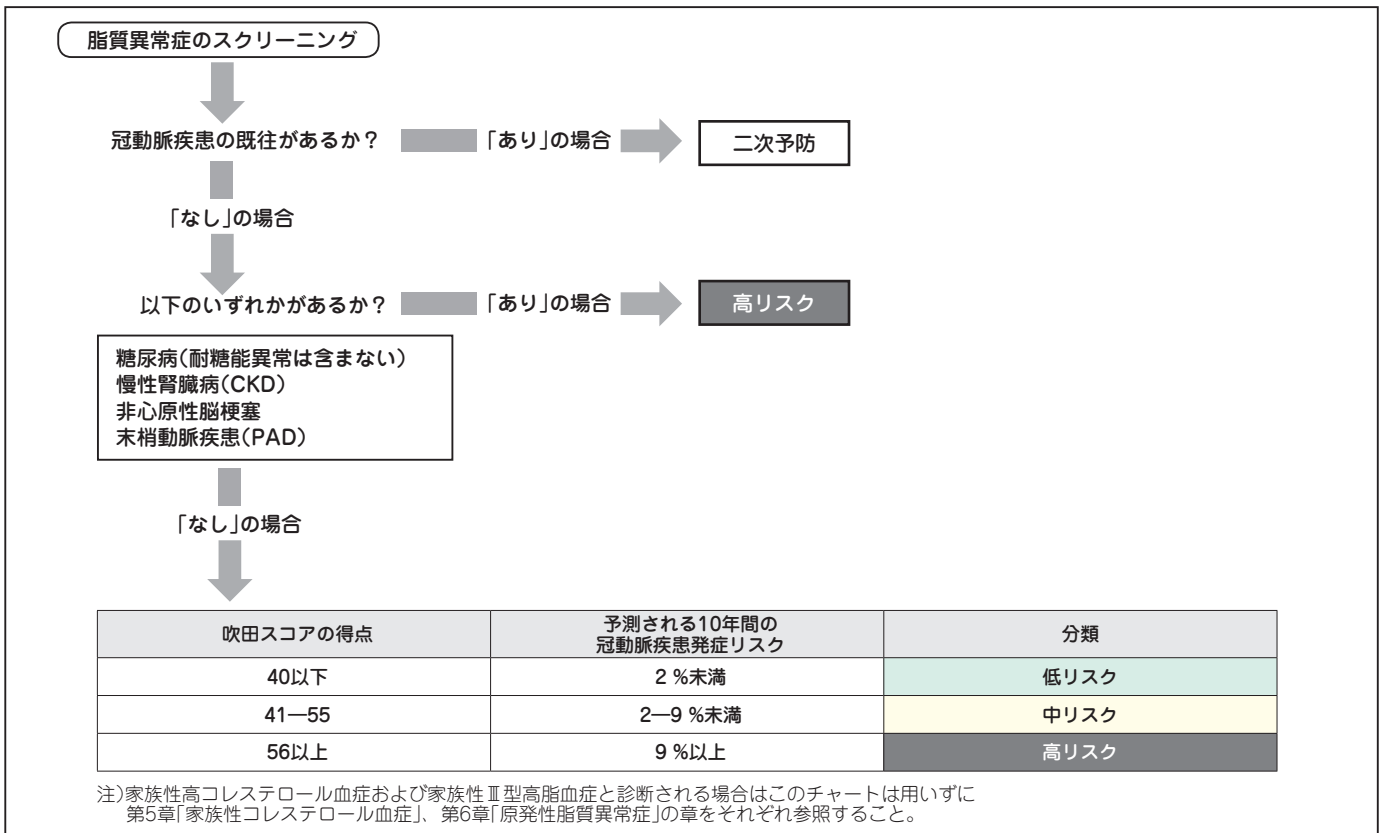
\* 10時間以上の絶食を「空腹時」とする。ただし水やお茶などカロリーのない水分の摂取は可とする。

\*\* スクリーニングで境界域高LDL-C血症、境界域高non-HDL-C血症を示した場合は、高リスク病態がないか検討し、治療の可能性を考慮する。

・LDL-CはFriedewald式(TC-HDL-C-TG/5)または直接法で求める。

・TGが400mg/dL以上や食後採血の場合はnon-HDL-C(TC-HDL-C)かLDL-C直接法を使用する。ただしスクリーニング時に高TG血症を伴わない場合はLDL-Cとの差が+30mg/dLより小さくなる可能性を念頭においてリスクを評価する。

#### 冠動脈疾患予防からみたLDLコレステロール管理目標設定のための吹田スコアを用いたフローチャート



#### リスク区分別脂質管理目標値

治療方針の原則	管理区分	脂質管理目標値(mg/dL)			
		LDL-C	Non-HDL-C	TG	HDL-C
一次予防 まず生活習慣の改善を行った後薬物療法の適用を考慮する	低リスク	<160	<190	<150	≥40
	中リスク	<140	<170		
	高リスク	<120	<150		
二次予防 生活習慣の是正とともに薬物治療を考慮する	冠動脈疾患の既往	<100 (<70)*	<130 (<100)*		

\*家族性高コレステロール血症、急性冠症候群の時に考慮する。糖尿病でも他の高リスク病態(非心原性脳梗塞、末梢動脈疾患(PAD)、慢性腎臓病(CKD)、メタボリックシンドローム、主要危険因子の重複、喫煙)を合併する場合はこれに準ずる。

・一次予防における管理目標達成の手段は非薬物療法が基本であるが、低リスクにおいてもLDL-Cが180mg/dL以上の場合は薬物治療を考慮するとともに、家族性高コレステロール血症の可能性を念頭においておくこと(第5章参照)。

・まずLDL-Cの管理目標値を達成し、その後non-HDL-Cの達成を目指す。

・これらの値はあくまでも到達努力目標値であり、一次予防(低・中リスク)においてはLDL-C低下率20~30%、二次予防においてはLDL-C低下率50%以上も目標値となり得る。

・高齢者(75歳以上)については第7章を参照。

出典 日本動脈硬化学会(編):動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版.日本動脈硬化学会,2017(改変)

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考		
脂 質 お よ び 関 連 物 質	K222 4 019980802	酸化LDL (MDA-LDL) 3F087-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	3~14	194 ※4	ELISA	男性 45才未満：46~82 45才以上：61~105 女性 55才未満：46~82 55才以上：61~105 (U/L)	採血後、冷蔵保存にて6時間以内に 血清分離し、速やかに凍結保存し てください。  &1	
	L539 2 042770102	sd LDL-C(健診) 3F088-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (5日)	2~4		直接法	(mg/dL)	&3	
	A084 8	脂肪酸分画(24成分) 3F095-0000-022-202 3F095-0000-023-202	血漿 0.5	PH5 ↓ A00	冷蔵 (45日)	10~14	405 ※5	Gas- Chromatograph法	下記参照	&1	
	L349 3		血清 0.5	S09 ↓ A00			405 ※5				
	A066 8 00117A310	脂肪酸分画 (4成分) 3F095-0000-022-202 3F095-0000-023-202	血漿 0.5	PH5 ↓ A00	冷蔵 (45日)	4~6	405 ※5	Gas- Chromatograph法	ジホモ-γ-リノレン酸 22.6~72.5 アラキドン酸 135.7~335.3 エイコサペンタエン酸 10.2~142.3 ドコサヘキサエン酸 54.8~240.3 (μg/mL)	DHLA：ジホモ-γ-リノレン酸 AA：アラキドン酸 EPA：エイコサペンタエン酸 DHA：ドコサヘキサエン酸	&1
	G058 1 00117A302		血清 0.5	S09 ↓ A00			405 ※5		EPA/AA比 0.05~0.61 DHA/AA比 0.27~1.07 (EPA+DHA)/AA比 0.32~1.66		
7847 4 015246703	極長鎖脂肪酸 3F096-0000-022-203	血漿 2.0	PH5 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	6~19	1141 ※5	Gas- Chromatograph法 (GC-MS)	C24:0 / C22:0 0.628~0.977 C25:0 / C22:0 0.012~0.023 C26:0 / C22:0 0.003~0.006	&1		

①冠動脈疾患既往歴のある糖尿病患者で、冠動脈疾患発症に関する予後予測の補助の目的で測定する場合、3月に1回限り算定できる。糖尿病患者の経皮的冠動脈形成術治療時に治療後の再狭窄に関する予後予測の目的で測定する場合、上記とは別に術前1回に限り算定できる。

### 脂肪酸分画(24成分)基準値

No	脂肪酸名	略号 (炭素数)	基準値		No	脂肪酸名	略号 (炭素数)	基準値	
			μg/mL	重量%				μg/mL	重量%
1	ラウリン酸	C12:0	10.2以下	0.31以下	16	アラキドン酸	C20:4 ω6	135.7~335.3	4.21~9.30
2	ミリスチン酸	C14:0	10.8~61.1	0.36~1.43	17	エイコサペンタエン酸	C20:5 ω3	10.2~142.3	0.36~3.99
3	ミリストレイン酸	C14:1 ω5	3.2以下	0.09以下	18	ペヘニン酸	C22:0	14.6~30.3	0.43~0.91
4	パルミチン酸	C16:0	495.1~918.3	19.18~23.84	19	エルシン酸	C22:1 ω9	1.4以下	0.04以下
5	パルミトレイン酸	C16:1 ω7	23.8~117.3	0.87~3.18	20	ドコサテトラエン酸	C22:4 ω6	2.9~10.4	0.10~0.30
6	ステアリン酸	C18:0	167.6~312.7	6.13~8.49	21	ドコサペンタエン酸	C22:5 ω3	9.5~31.8	0.34~0.89
7	オレイン酸	C18:1 ω9	433.9~910.1	16.19~23.66	22	リグノセリン酸	C24:0	15.5~31.2	0.49~0.90
8	リノール酸	C18:2 ω6	708.1~1286.0	23.24~36.89	23	ドコサヘキサエン酸	C22:6 ω3	54.8~240.3	1.88~6.86
9	γ-リノレン酸	C18:3 ω6	2.5~25.6	0.09~0.72	24	ネルボン酸	C24:1 ω9	27.1~53.0	0.78~1.64
10	リノレン酸	C18:3 ω3	11.5~45.8	0.40~1.30	T/T比(C20:3 ω9/C20:4 ω6)		0.02以下		
11	アラキジン酸	C20:0	6.9~14.4	0.24~0.46	EPA/AA比(C20:5 ω3/C20:4 ω6)		0.05~0.61		
12	エイコセン酸	C20:1 ω9	2.6~9.5	0.09~0.30	DHA/AA比(C22:6 ω3/C20:4 ω6)		0.27~1.07		
13	エイコサジエン酸	C20:2 ω6	4.3~9.3	0.15~0.26	(EPA+DHA)/AA比		0.32~1.66		
14	5-8-11エイコサトリエン酸	C20:3 ω9	6.0以下	0.17以下	ω3/ω6比		0.09~0.36		
15	ジホモ-γ-リノレン酸	C20:3 ω6	22.6~72.5	0.79~2.05					



# 生化学的検査

## 脂質および関連物質

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
2601 1 014430102	総胆汁酸 3F110-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 47 ※4	酵素法	10.0以下 ( $\mu$ mol/L)	&1
0006 4 012161302	$\beta$ -リポ蛋白 3F130-0000-023-061	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4		免疫比濁法	220~650 (mg/dL)	&1
3211 3 011223502	リポ蛋白分画 3F135-0000-023-233	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~4	49 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	$\alpha$ M 26.9 ~ 50.5 F 32.6 ~ 52.5 PRE $\beta$ M 7.9 ~ 23.8 F 6.6 ~ 20.8 $\beta$ M 35.3 ~ 55.5 F 33.6 ~ 52.0 (%)	凍結保存は避けてください。 &1
3226 7 018553502	コレステロール分画 3F150-0000-023-233	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~4	57 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	HDLコレステロール 23~48 LDLコレステロール 47~69 VLDLコレステロール 2~15 (%)	凍結保存は避けてください。 &1

①「尿中硫酸抱合型胆汁酸測定」、「胆汁酸」を同時に測定した場合には、いずれか一方の所定点数のみを算定する。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
3233 9 012790702	リボプロテイン(a) 3F156-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	① 107 ※4	LA(ラテックス凝集比濁法)	40以下(参考値) (mg/dL)	※3
4480 4 015300803	リポ蛋白リパーゼ (LPL) 3F160-0000-022-023	速やかに 冷却 遠心 血漿 0.3	PH5 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~8	219 ※4	ELISA	164~284 (ng/mL)	早朝空腹時にヘパリンを体重1kgあたり30単位静注し15分後に指定の容器(PH5)に採取し、4℃で遠心分離後、上清の血漿を凍結保存にてご提出ください。EDTA血漿は避けてください。 基準値につきましては上記採取条件に基づき設定しております。 ※1
3234 8 011661302	A-I 3F180-0000-023-061	血清 各0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	② 各31 ※4  3項目 以上測 定した 場合 94 ※4	免疫比濁法	M 119~155 F 126~165 (mg/dL)	アポリポ蛋白Bと重複依頼する場合は凍結保存を避けてください。 ※3
3235 7 011671302	A-II 3F185-0000-023-061							M 25.9~35.7 F 24.6~33.3 (mg/dL)	
3236 6 011691302	B 3F190-0000-023-061							M 73~109 F 66~101 (mg/dL)	凍結 凍結保存は避けてください。 ※3
3237 5 011701302	C-II 3F195-0000-023-061							M 1.8~4.6 F 1.5~3.8 (mg/dL)	アポリポ蛋白Bと重複依頼する場合は凍結保存を避けてください。
3238 4 011481302	C-III 3F200-0000-023-061							M 5.8~10.0 F 5.4~9.0 (mg/dL)	
3239 3 011721302	E 3F205-0000-023-061							M 2.7~4.3 F 2.8~4.6 (mg/dL)	
3730 7 016398402	アポリポ蛋白E フェノタイプ 3F206-0000-023-236							血清 0.2	S09 ↓ A00
3343 7 016630802	肺サーファクタント プロテインA(SP-A) 3F250-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 130 ※4	CLEIA	43.8未満 (ng/mL)	※1
B146 8 00140A102	肺サーファクタント プロテインD(SP-D) 3F253-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 136 ※4	CLEIA	110未満 (ng/mL)	※1

- ① 3月に1回を限度として算定できる。  
 ② アポリポ蛋白は、A I、A II、B、C II、C III及びEのうち、測定した項目数に応じて所定点数を算定する。  
 ③ 「KL-6」、「SP-A」及び「SP-D」のうちいずれか複数を実施した場合は、主たるもののみ算定する。

### [3730 7]アポリポ蛋白Eフェノタイプ検査結果について(試薬メーカー説明書より引用)

- ・ 研究用試薬のため、本測定結果は、補助診断としてご利用ください。
- ・ 診断・治療を決定する場合、また、臨床経過と測定値が一致しない場合は、病歴や他の検査所見も参考にして、総合的判断に行ってください。



# 生化学的検査

## ビタミンおよび関連物質

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
3619 1 022021402	<b>β-カロチン</b> 3G011-0000-023-204	血清 0.6	S09 ↓ ASS	凍結 (1ヵ月) 遮光	5~11		HPLC	M 6.6~47.6 F 20.4~105.2 (μg/dL)	遮光してください。 &1
3721 7 014051402	<b>ビタミンA</b> 3G015-0000-023-204	血清 0.4	S09 ↓ ASS	冷蔵 遮光	3~5		HPLC	97~316 (IU/dL)	遮光してください。 &1
3725 3 010121401	<b>ビタミンB<sub>1</sub></b> 3G025-0000-019-205	血液 0.5 (EDTA-2K加)	PKF	凍結 (6ヵ月)	3~5	239 ※4	LC/MS/ MS	24~66 (ng/mL)	&1
4329 2 016591401	<b>ビタミンB<sub>2</sub></b> 3G030-0000-019-204	血液 0.5 (EDTA-2K加)	PKF ↓ ASS	凍結 (1ヵ月) 遮光	3~5	242 ※4	HPLC	66.1~111.4 (ng/mL)	(検体のご提出について)血液は必ず 遮光ポリスビッツ(ASS)に移し替え、 凍結してご提出ください。 &1
3731 6 014151402	<b>ビタミンB<sub>6</sub></b> 3G036-0000-023-204	血清 0.5	S09 ↓ ASS	冷蔵 遮光	3~5		HPLC	ピリドキサミン M 0.6以下 F 0.6以下 ピリドキサル M 6.0~40.0 F 4.0~19.0 ピリドキシン M 3.0以下 F 3.0以下 (ng/mL)	遮光してください。 &1
3737 0 010130602	<b>ビタミンB<sub>12</sub></b> 3G040-0000-023-052	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	140 ※4	CLEIA	180~914 (pg/mL)	血清材料以外のご依頼は避けて ください。(特に、EDTA血漿はデー タ上昇傾向がみられます。) &I
8712 2 016130102	<b>カルニチン分画</b> 3G055-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	①② ③ 95+95 ※4	酵素サイク リング法	総カルニチン 45~91 遊離カルニチン 36~74 アシルカルニチン 6~23 (μmol/L)	&E

① 先天性代謝異常症の診断補助又は経過観察のために実施する場合は、月に1回を限度として算定する。

② 静脈栄養管理若しくは経腸栄養管理を長期に受けている筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症若しくは小児の患者、人工乳若しくは特殊治療用ミルクを使用している小児患者、バルプロ酸ナトリウム製剤投与中の患者、Fanconi症候群の患者又は慢性維持透析の患者におけるカルニチン欠乏症の診断補助若しくは経過観察のために、本検査を実施する場合は、6月に1回を限度として算定する。

③ 「カルニチン分画」と「先天性代謝異常症検査」を併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

# 生化学的検査

## ビタミンおよび関連物質

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
3735 2 022171418	ビタミンC (アスコルビン酸) 3G060-0000-031-204	(血清中) 除蛋白上清 0.5	M50 ↓ ASS	凍結 (7日) 遮光	3~5	305 ※4	HPLC	5.5~16.8 (血清中) (μg/mL)	正確に血清0.5mLを専用容器 (M50)に加え、混和後遠心分離 し、その上清を遮光ポリスビッ (ASS)にてご提出ください。 &1
A099 2 001520902	25OHビタミンD (骨粗鬆症) 3G065-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	① 117 ※4	CLEIA	ビタミンD欠乏 20.0未満 ビタミンD不足 20.0~29.9 (ng/mL)	&3
A087 5 001520602	25ヒドロキシビタミンD (くる病・骨軟化症) 3G065-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	② 117 ※4	CLEIA	ビタミンD欠乏 20以下 (ng/mL)	&3
3794 7 015871902	1,25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD 3G070-0000-023-001	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	3~7	③ 388 ※4	RIA2抗体法	成人 20.0~60.0 小児 20.0~70.0 (pg/mL)	&1
3743 3 014177802	ビタミンE 3G080-0000-023-282	血清 0.5	S09 ↓ ASS	凍結 遮光	7~13		蛍光法	0.75~1.41 (mg/dL)	遮光してください。 &M
3789 3 012351402	ビタミンE分画 3G085-0000-023-204	血清 0.5	S09 ↓ ASS	冷蔵 遮光	依頼時 にご確 認く ださい。		HPLC	α-トコフェロール 0.49~1.09 β-トコフェロール 0.02以下 γ-トコフェロール 0.05~0.17 δ-トコフェロール 0.01以下 (mg/dL)	遮光してください。 &1
4147 4 018191403	ビタミンK分画 3G090-0000-022-204	速やかに遠心 血漿 2.0	PC5 ↓ ASS	凍結 (17日) 遮光	3~9		HPLC	ビタミン K1 0.15~1.25 ビタミン K2 (MK-4) 0.10以下 (ng/mL)	採血後、速やかに血漿分離してく ださい。血漿は必ず遮光ポリスビ ツ(ASS)で凍結してご提出くださ い。 &1
3738 9 010140602	葉酸 3G105-0000-023-052	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	150 ※4	CLEIA	4.0以上 (ng/mL)	溶血および血清材料以外でのご依 頼は避けてください。(溶血の場合、 赤血球中葉酸の影響で高値となり ます。特に、EDTA血漿はデータ 上昇傾向がみられます。) &I
3744 2 014165101	ニコチン酸 (ナイアシン) 3G110-0000-019-905	血液 1.5 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~13		Bioassay	4.7~7.9 (μg/mL)	&1

①骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回に限り算定する。

②ビタミンD欠乏性くる病若しくはビタミンD欠乏性骨軟化症の診断時又はそれらの疾患に対する治療中に測定した場合にのみ算定できる。ただし、診断時におい  
ては1回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定する。

③活性型ビタミンD<sub>3</sub>剤による治療開始後1月以内においては2回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定する。



# 生化学的検査

## 電解質・血液ガス

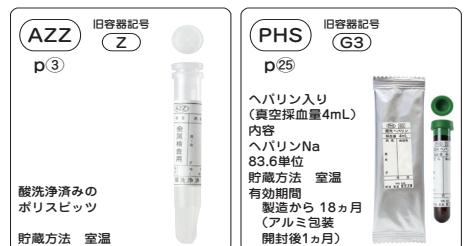
生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
P013 1 000350502 0133 3 000350521 L487 0 000350523	<b>緊急</b> Na(ナトリウム)	速やかに遠心 血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 11 ※4	電極法	136~147 (mEq/L)	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存はナトリウムが低値を示しますので避けてください。
		部分尿 5	U00	冷蔵				(mEq/L)	
		蓄尿 5	U00	冷蔵				1.6~5.8 (g/day)	
P014 0 000370502 0134 2 000370521 L488 9 000370523	<b>緊急</b> K(カリウム)	速やかに遠心 血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 11 ※4	電極法	3.6~5.0 (mEq/L)	<b>溶</b> 採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存又は溶血は、カリウムが高値を示しますので避けてください。
		部分尿 5	U00	冷蔵				(mEq/L)	
		蓄尿 5	U00	冷蔵				1.0~3.9 (g/day)	
P015 9 000360502 0135 1 000360521 L489 8 000360523	Cl(クロール)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 11 ※4	電極法	98~109 (mEq/L)	
		部分尿 5	U00	冷蔵				(mEq/L)	
		蓄尿 5	U00	冷蔵				2.5~8.9 (g/day)	
0030 7 000420102 0130 6 000420121 L490 6 000420123	Mg(マグネシウム)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 11 ※4	酵素法	1.8~2.6 (mg/dL)	
		部分尿 5	U00	冷蔵				(mg/dL)	
		蓄尿 5	U00	冷蔵			0.02~0.13 (g/day)	<b>重</b> (蓄尿)依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。蓄尿は凍結保存を避けてください。 &3	
P017 7 000380102 0108 1 000380121 L491 5 000380123	Ca(カルシウム)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	1~2	② 11 ※4	アルセナゾⅢ法	8.5~10.2 (mg/dL)	
		部分尿 5	U00	冷蔵				(mg/dL)	
		蓄尿 5	U00	冷蔵				0.1~0.3 (g/day)	
3641 6 014530502	イオン化カルシウム	速やかに遠心 血清 0.9	S09 ↓ A00	凍結	3~5	② 26 ※4	イオン電極法	2.41~2.72 (mEq/L)	pH=7.4、37℃にて測定。 &1
		0005 5 000430202 0105 4 000430221 L492 4 000430223	P(無機リン)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	③ 17 ※4	酵素法
部分尿 5	U00	冷蔵		(mg/dL)					
蓄尿 5	U00	冷蔵	0.5~1.0 (g/day)	&3					
3771 2 014066202 4692 9 014066221	浸透圧	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 15 ※3  ③ 16 ※1	氷点降下法	276~292 (mOsm/Kg・H <sub>2</sub> O)	<b>凍</b> 凍結保存は避けてください。 &1
		部分尿 1	U00					濃縮時 850以上 希釈時 40~85 (Fishberg試験時) (mOsm/Kg・H <sub>2</sub> O)	

①「ナトリウム」及び「クロール」については、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。

②「カルシウム」及び「イオン化カルシウム」を同時に測定した場合には、いずれか一方についてのみ所定点数を算定する。

③「P(無機リン)」及び「リン酸」については、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。





# 生化学的検査

生体微量元素 / 生体色素関連物質

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考		
生 体 微 量 金 属	P019 5 000460102	鉄(Fe) 3I010-0000-023-271 3I010-0000-004-274	血清 0.5	S09 ↓ AZZ	冷蔵 (21日)	1~2	11 ※4	ニトロソ- PSAP法	M 54~200 F 48~154 (μg/dL)	溶 溶血でのご依頼は避けてください。	
	3625 4 000463423		蓄尿 10	AZZ	冷蔵	6~11	11 ※4	原子吸光法	0.10~0.20 (mg/day)	※3	
	0038 9 000470402	総鉄結合能 (TIBC) 3I015-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ AZZ	冷蔵 (28日)	1~2	11 ※4	ニトロソ- PSAP法 (計算法)	M 253~365 F 246~410 (μg/dL)		
	0031 6 000480102	不飽和鉄結合能 (UIBC) 3I020-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ AZZ	冷蔵 (28日)	1~2	11 ※4	ニトロソ- PSAP法	M 104~259 F 108~325 (μg/dL)		
	3653 3 012210102	Cu(銅) 3I025-0000-023-271 3I025-0000-004-274	血清 0.5	S09 ↓ AZZ	冷蔵 (28日)	2~4	23 ※4	比色法	68~128 (μg/dL)	※3	
	4671 2 012213423		蓄尿 5	AZZ	冷蔵	2~6	23 ※4	原子吸光分析法	M 4.2~33.0 F 2.5~20.0 (μg/day)	※1	
	3654 2 012223402	Zn(亜鉛) 3I030-0000-023-271 3I030-0000-004-274	速やかに遠心 血清 0.5	S09 ↓ AZZ	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	136 ※4	比色法	80~130 (μg/dL)	溶 採血後は速やかに血清分離をして ください。	※3
4672 1 012223423	蓄尿 5		AZZ	冷蔵	2~8	136 ※4	原子吸光分析法	M 260~1000 F 160~620 (μg/day)	※1		
生 体 色 素 関 連 物 質	P004 1 000490102	緊急 総ビリルビン(T-Bil) 3J010-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	酵素法	0.3~1.2 (mg/dL)		
	0012 7 000510102	直接ビリルビン 3J015-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	11 ※4	化学酸化法	0.4以下 (mg/dL)		
	0039 8 000530102	間接ビリルビン 3J020-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2		計算法	0.8以下 (mg/dL)		
	2624 6 01440A121	コプロポルフィリン 定性 3J040-1351-001-204 3J040-1351-004-204	部分尿 2	U00	冷蔵 遮光	3~6		HPLC	(-)	遮光してください。	
	2625 5 01440A123		蓄尿 2							※1	
	2626 4 014401421	コプロポルフィリン 3J040-1352-001-204 3J040-1352-004-204 3J040-0000-019-204	部分尿 2	U00	冷蔵 遮光	3~6	131 ※1	HPLC	170以下 (μg/g・CRE)	遮光してください。	
	2627 3 014401423		蓄尿 2				131 ※1				※1
	3601 0 014401401		血液 1.5 (ヘパリン加)	PHS	冷蔵 遮光	7~11	210 ※4	HPLC	1 以下 (μg/dL RBC)	凍 凍結保存は避けてください。遮光 してください。	※N
	4629 9 014081421	ウロポルフィリン 3J050-0000-001-204 3J050-0000-004-204 3J050-0000-019-204	部分尿 2	U00	冷蔵 遮光	3~6	105 ※1	HPLC	36以下 (μg/g・CRE)	遮光してください。	
	4625 3 014081423		蓄尿 2				105 ※1				※1
3602 9 014081401		血液 1.5 (ヘパリン加)	PHS	冷蔵 遮光	7~11		HPLC	1 以下 (μg/dL RBC)	凍 凍結保存は避けてください。遮光 してください。	※N	
3603 8 014521401	プロトポルフィリン 3J055-0000-019-204	血液 1.5 (ヘパリン加)	PHS	冷蔵 遮光	7~11	272 ※4	HPLC	30~86 (μg/dL RBC)	凍 凍結保存は避けてください。遮光 してください。	※N	
2609 3 014071421	δ-アミノレブリン酸 (δALA) 3J075-0000-001-204 3J075-0000-004-204	部分尿 1	U00	冷蔵 遮光	3~5	109 ※1	HPLC	(mg/L)	遮光してください。 21ページをご参照ください。		
2610 1 014071423		蓄尿 1				109 ※1				※1	

生化学的検査

# 生化学的検査

## 毒物・産業医学的代謝物質

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
4721 6 017694321	尿中 総三塩化物	部分尿 各 2	U00	冷蔵	4~10		Gas- Chromatograph法	(mg/L)	週末の作業日の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。21ページをご参照ください。
トリクロルエチレン 3K011-0000-001-202									
1・1・1-トリクロル エタン 3K012-0000-001-202									
4723 4 017714321	テトラクロル エチレン 3K013-0000-001-202								
4724 3 018034321	尿中 トリクロル 酢酸	部分尿 各 2	U00	冷蔵	4~10		Gas- Chromatograph法	(mg/L)	
トリクロルエチレン 3K016-0000-001-202									
1・1・1-トリクロル エタン 3K017-0000-001-202									
4725 2 018044321	テトラクロル エチレン 3K018-0000-001-202								
4726 1 018054321									&1
4697 4 017541421	尿中馬尿酸 3K025-0000-001-204	部分尿 2	U00	冷蔵	4~10		HPLC	(g/L)	連続した作業日の初日を除いた作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。
4698 3 017561421	尿中メチル馬尿酸 3K030-0000-001-204	部分尿 2	U00	冷蔵	4~10		HPLC	(g/L)	21ページをご参照ください。&1
9179 4 044801421	尿中スチレン代謝物 3K042-0000-001-204	部分尿 2	U00	冷蔵 (14日)	4~14		HPLC	(g/L)	週末の作業日の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。測定値は、マンデル酸(MA)、フェニルグリオキシル酸(PGA)および合算値(MA+PGA)です。生物学的許容値：0.43(g/L)以下です。(生物学的許容値とは、ほとんどすべての労働者に健康上の悪い影響がみられないと判断される濃度です。)依頼件数によって、所要日数が変動いたします。21ページをご参照ください。&1
K855 2 00197A121	尿中マンデル酸 エチルベンゼン 3K041-0000-001-204	部分尿 2	U00	冷蔵 (28日)	4~14		HPLC	(g/L)	週末の作業日の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。依頼件数によって、所要日数が変動いたします。&1
4703 6 018706721	尿中N-メチルホルムアミド 3K045-0000-001-203	部分尿 5	U00	冷蔵	4~10		Gas- Chromatograph法 (GC-MSD)	(mg/L)	連続した作業日の初日を除いた作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。
4704 5 018716721	尿中2,5-ヘキサジオン 3K050-0000-001-203	部分尿 5	U00	冷蔵	4~10		Gas- Chromatograph法 (GC-MSD)	(mg/L)	21ページをご参照ください。&1
3656 0 014503407	アルミニウム(AI) 3K105-0000-023-274	血清 0.6	SZZ	冷蔵	3~5	112 ※4	原子吸光分析法	10以下 (μg/L)	<b>重凍</b> SZZ容器は凍結保存を避けてください。&1

# 生化学的検査

## 毒物・産業医学的代謝物質 / 生化学(その他)

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考		
毒物・産業医学的代謝物質	2620 0 014183401	鉛(Pb) 3K110-0000-019-274	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	3~5		原子吸光分析法	( $\mu\text{g}/\text{dL}$ )	21ページをご参照ください。 &1	
	3657 9 014103401	クロム 3K115-0000-019-274 3K115-0000-001-274	血液 0.7 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	6~19		原子吸光 分光光度法	1.0以下 ( $\mu\text{g}/\text{dL}$ )	血液:凍結保存は避けてください。 &N	
	4674 9 014103421		部分尿 1	AZZ					( $\mu\text{g}/\text{L}$ )		
	3662 3 014193401	カドミウム 3K120-0000-019-299 3K120-0000-001-274	血液 0.5 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~11		ICP-MS	0.5以下 ( $\mu\text{g}/\text{dL}$ )	血液:凍結保存は避けてください。 &M	
	4992 6 014193421		部分尿 1	AZZ		8~14	原子吸光法	3.8以下 ( $\mu\text{g}/\text{L}$ )			
	9520 4 014113401	マンガン 3K125-0000-019-274	血液 0.7 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~20	① 27 ※4	原子吸光 分光光度法	0.8~2.5 ( $\mu\text{g}/\text{dL}$ )	凍結保存は避けてください。 &N	
生化学(その他)	3787 5 012611402	ネオプテリン 3Z024-0000-023-204	血清 0.3	S09 ↓ ASS	冷蔵 遮光	6~12		HPLC	2~8 ( $\text{pmol}/\text{mL}$ )	遮光してください。 &1	
	3785 7 014034301	エタノール 3Z040-0000-019-202	血液 1.0 (ヘパリン加)	PH5 ↓ A00	凍結	3~6	108 ※4	Gas- Chromatograph法	0.1未満 ( $\text{mg}/\text{mL}$ )	血液はポリスピットに移し替え、 必ず凍結保存にてご提出ください。 &1	
	E148 3 019690102	イヌリン定量 3Z050-0000-023-271 3Z050-0000-001-271	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~8	② 120 ※4		酵素法	(mg/dL)	凍結保存は避けてください。本検査 方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採 取にあたっては取り扱いに充分ご注 意ください。依頼書に臨床診断名を ご記入ください。 &3
	E149 2 019690121		部分尿 1	U00							
	7741 1 014234779	結石分析(成分比率) 3Z065-0000-081-273	結石 10mg	XC0	室温	4~6	117 ※5	赤外線吸収 スペクトロ フォトメトリー	(%)	サンプルは乾燥させ結石専用容器 にてご提出ください。血液などの 付いたサンプルは蒸留水で洗浄後、 乾燥させてご提出ください。 &%	

- ① 1月以上(胆汁排泄能の低下している患者については2週間以上)高カロリー静脈栄養法が行われている患者に対して、3月に1回に限り算定することができる。  
② 尿素窒素又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に、6月に1回に限り算定できる。ただし、「クレアチニン(腎クリアランス測定のために行い、血清及び尿を同時に測定する場合に限る。)」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。



# 生化学的検査

## 産業医学(有機溶剤、鉛)関連検査参考資料

### 産業医学(有機溶剤、鉛)関連検査

産業医学関連検査は、有機溶剤作業員、鉛作業員を対象として、体内に有機溶剤や鉛がどの程度取り込まれているかを定期的にチェックすることを主な目的としているため、結果の評価については、正常・異常の鑑別を目的としたものではなく、作業環境を含めた総合的な判断が必要とされています。

また、労働安全衛生法に基づく各中毒予防規則では、各健康診断結果報告書を、所轄の労働基準監督署長に提出することが定められています。

有機溶剤等健康診断結果報告書(有機溶剤中毒予防規則、様式第3号の2)  
鉛健康診断結果報告書(鉛中毒予防規則、様式第3号)より

有機溶剤、鉛関連検査結果分布表

対象物質	測定項目	単位	分布			
			1	2		3
トルエン	** 尿中馬尿酸	g/L	1以下	1超	2.5以下	2.5超
キシレン	** 尿中メチル馬尿酸	g/L	0.5以下	0.5超	1.5以下	1.5超
1・1・1-トリクロロエタン	*** 尿中総三塩化物	mg/L	10以下	10超	40以下	40超
	*** 尿中トリクロロ酢酸	mg/L	3以下	3超	10以下	10超
N・N-ジメチルホルムアミド	** 尿中N-メチルホルムアミド	mg/L	10以下	10超	40以下	40超
ノルマルヘキサン	** 尿中2,5-ヘキサジオン	mg/L	2以下	2超	5以下	5超
鉛	血中鉛	μg/dL	20以下	20超	40以下	40超
	* 尿中δ-アミノレブリン酸	mg/L	5以下	5超	10以下	10超
スチレン	*** 尿中スチレン代謝物※1	g/L	分布報告はいたしません。			
トリクロロエチレン	*** 尿中総三塩化物	mg/L	100以下	100超	300以下	300超
	*** 尿中トリクロロ酢酸	mg/L	30以下	30超	100以下	100超
テトラクロロエチレン	*** 尿中総三塩化物	mg/L	3以下	3超	10以下	10超
	*** 尿中トリクロロ酢酸	mg/L	3以下	3超	10以下	10超

※1：測定値は、マンデル酸とフェニルグリオキシル酸の合算値です。

2014年11月より、スチレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンは、有機溶剤中毒予防規則から特定化学物質障害予防規則の対象に位置づけられました。

### 検体取り扱い方法

- \* 遮光保存してください。
- \*\* 連続した作業日の初日を除いた作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。
- \*\*\* 週末の作業日の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)	
抗 菌 薬	3854 0 013710702	アミカシン 3M601-0000-023-062	血清 0.4	S7P ↓ A00	凍結	2~4	① 特	EIA	Peak 50~60 Trough 4未満 ( $\mu\text{g/mL}$ )	点滴開始1時間後 (30分で投与した 場合、終了30分後) (Peak濃度) 投与前30分以内 (Trough濃度)	アルベカシンとの交 差反応があるのでご 注意ください。 アミカマイシン、 ピクリン &3
	3853 1 013702302	トブラマイシン 3M602-0000-023-024	血清 0.4	S7P ↓ A00	凍結	2~4	① 特	EIA	Peak 15~20 Trough 1未満 ( $\mu\text{g/mL}$ )	点滴開始1時間後 (30分で投与した 場合、終了30分後) (Peak濃度) 投与前30分以内 (Trough濃度)	トブラシン &3
	3851 3 014492302	ゲンタマイシン 3M606-0000-023-024	血清 0.4	S7P ↓ A00	凍結	2~4	① 特	EIA	Peak 15~20 Trough 1未満 ( $\mu\text{g/mL}$ )	点滴開始1時間後 (30分で投与した 場合、終了30分後) (Peak濃度) 投与前30分以内 (Trough濃度)	ゲンタシン、 エルタシン、 ルイネシン &3
	3830 6 013590702	アルベカシン 3M613-0000-023-062	血清 0.3	S7P ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	① 特	ラテックス 凝集比濁法	Peak 15~20 Trough 1~2未満 ( $\mu\text{g/mL}$ )	点滴開始1時間後 (30分で投与した 場合、終了30分後) (Peak濃度) 投与前30分以内 (Trough濃度)	ハベカシン &3
	3859 5 012462302	バンコマイシン 3M530-0000-023-062	血清 0.4	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	ラテックス 凝集比濁法	Trough 10~15 ( $\mu\text{g/mL}$ )	投与前30分以内 (Trough濃度)	塩酸バンコマイシン &3
	3846 9 015890702	テイコプラニン 3M532-0000-023-062	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	ラテックス 凝集比濁法	Trough 15~30 ( $\mu\text{g/mL}$ )	投与前30分以内 (Trough濃度)	タゴシッド &3
	K132 4 019521403	ポリコナゾール 3M698-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	( $\mu\text{g/mL}$ )		ブイフェンド &1

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

① 投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

### 採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

### 採血時刻についての注意事項

1. TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われま。

### [3846 9]テイコプラニン検査について

医薬品添付文書には、「テイコプラニンのトラフレベルの血中濃度は、敗血症などの重症感染症においては確実な臨床効果を得るために $10\mu\text{g/mL}$ 以上を保つこと。ただし、トラフレベルの血中濃度が $60\mu\text{g/mL}$ 以上になった場合には腎障害、聴覚障害等の副作用の発現に注意すること。また、トラフレベルの血中濃度が $20\mu\text{g/mL}$ 以上で一過性に肝機能検査値が軽度上昇したとの報告がある。(医薬品添付文書・2003年1月改訂第8版より)」の内容が記載されております。

### グラム陰性菌感染症に対する標準治療における目標値

(単位： $\mu\text{g/mL}$ )

最小発育阻止濃度(MIC)	8 $\mu\text{g/mL}$ (重症)		$\leq 4\mu\text{g/mL}$ (軽・中等症)	
	Peak	Trough	Peak	Trough
アミカシン	50~60	4未満	41~49	4未満

最小発育阻止濃度(MIC)	2 $\mu\text{g/mL}$ (重症)		$\leq 1\mu\text{g/mL}$ (軽・中等症)	
	Peak	Trough	Peak	Trough
ゲンタマイシン	15~20	1未満	8~10	1未満
トブラマイシン				

抗菌薬TDMガイドライン2016より改変

※基準値は重症における目標値を基準値(治療濃度範囲)として設定いたしました。



# 薬物検査

## 抗てんかん薬

薬物検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
抗 て ん か ん 薬	P210 2 001312302	<b>緊急</b> カルバマゼピン 3L115-0000-023-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	4.0~12.0 ( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	テグレトール、 テレスミン、 レキシソ
	3814 4 014481402	クロナゼパム 3L125-0000-023-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	20~70 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	リボトリール、 ランドセン &1
	3816 2 014471402	ジアゼパム 3L130-0000-023-204	血清 0.5	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	HPLC	ジアゼパム 600~1000 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度) ただし、抗て んかん剤とし て用いる場合	N-デスメチルジ アゼパムも同 時報告いたし ます。 セルシン、 ホリゾン、 ジアパックス &1
	3809 0 014002302	エトスクシミド 3L135-0000-023-024	血清 0.5	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	EIA	40.0~100.0 ( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	ザロンチン、 エビレオブチマル &3
	3085 4 024131402	クロバザム 3L145-0000-023-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	(ng/mL)		デスメチルクロ バザムも同時 報告いたしま す。 マイスタン &1
	3815 3 014011402	ニトラゼパム 3L165-0000-023-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	20~200 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度) ただし、抗て んかん剤とし て用いる場合	ベンザリン、 ネルボン &1
	P208 5 001322302	<b>緊急</b> フェノバルビタール 3L175-0000-023-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	10.0~40.0 ( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	フェノバル、 ワコビタール、 ルミナール
	0063 1 001332302	<b>緊急</b> フェニトイン 3L185-0000-023-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	10.0~20.0 ( $\mu\text{g/mL}$ )	経口: 次回投与直前 (Trough濃度) 静注: 投与後 2~4時間	アレビアチン、 ヒダントール、 ジフェニルヒダ ントイン

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

① 投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

### 採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

### 採血時刻についての注意事項

1. TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われま。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
38027 013982302	プリミドン 3L190-0000-023-024 3L190-0000-022-024	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	EIA	5.0~12.0 ( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	プリミドン、 プリムロン
		血漿 0.3	PH5 ↓ A00							
P2094 001342302	<b>緊急</b> バルプロ酸 3L195-0000-023-024 3L195-0000-022-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	50.0~100.0 ( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	デバケン、 セレニカR、 バレリン、 ハイセレン
38135 014554302	トリメタジオン 3L205-0000-023-205	血清 0.5	S7P ↓ A00	凍結 (12日)	7~13	① 特	LC-MS/MS	300~500 ( $\mu\text{g/mL}$ )		ミノアレ (活性代謝物である ジメタジオンを測定) &M
A2576 002470702	ゾニサミド 3L210-0000-023-062	血清 0.5	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	ラテックス 凝集法	10~30 ( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	エクセگران &3
E9485 019661403	ガバペンチン 3L215-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	( $\mu\text{g/mL}$ )		ガバペン錠 &1
K2189 02797A103	ラモトリギン 3L220-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	2.5~15 ( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	ラミクタール &1
K5997 02090A103	トピラマート 3L225-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~5	① 特	LC/MS/MS	5~20 ( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	トピナ &1
K5988 02089A103	レベチラセタム 3L230-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~5	① 特	LC/MS/MS	12~46 ( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	イーケブラ &1
A2882 04297A103	スチリペントール 3L235-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (28日)	5~11	① 特	LC/MS/MS	( $\mu\text{g/mL}$ )		ディアコミット &1
A2891 04393A103	ルフィナミド 3L240-0000-022-205	血漿 0.3	PN2,PN5 ↓ A00	冷蔵 (28日)	3~9	① 特	LC/MS/MS	( $\mu\text{g/mL}$ )		イノベロン &1
A0677 04257A110	ペランパネル 3L245-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (28日)	3~5	① 特	LC/MS/MS	(ng/mL)		フィコンパ &1
A2314 04254A110	ラコサミド 3L248-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (28日)	3~5	① 特	LC/MS/MS	( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	ヒムバット &1
38171 017791402	アセタゾラミド 3L950-0000-023-204	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~9	① 特	HPLC	( $\mu\text{g/mL}$ )		ダイアモックス &1

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

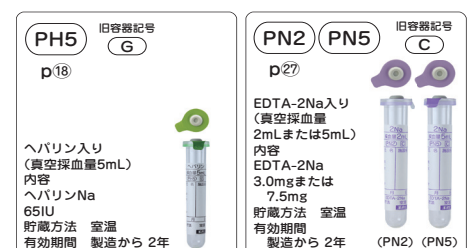
①投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

### 採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

### 採血時刻についての注意事項

- 1.TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2.連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3.中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4.標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。



# 薬物検査

## 免疫抑制薬／循環器用薬

薬物検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
免 疫 抑 制 薬	3873 9 018731901	シクロスポリン 3M805-0000-019-053	血液 0.7 (EDTA-2K加)	PKF	凍結	2~4	① 特	ECLIA	(ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	Ⓜ 他の検査項目との同時 依頼はできません。 ネオラル、サンディ ミュン &③
	8741 0 021663301	タクロリムス 3M810-0000-019-053	血液 0.7 (EDTA-2K加)	PKF	凍結	2~4	① 特	ECLIA	(ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	Ⓜ 他の検査項目との同時 依頼はできません。 プログラフ、グラセ プター &③
	A225 1 030030901	エベロリムス 3M815-0000-019-053	血液 1.0 (EDTA-2K加)	PKF	凍結	2~4	① 特	ECLIA	免疫抑制剤として シクロスポリンと 併用した場合 Trough濃度 3.0~8 抗悪性腫瘍剤とし て使用した場合 Trough濃度 5~15 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	Ⓜ 他の検査項目との同時 依頼はできません。 サーティカン、 アフィニール &③
	A159 5 030102303	ミコフェノール酸 3M816-0000-022-024	血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~5	① 特	EIA	(μg/mL)		
循 環 器 用 薬	0068 6 001352302	Ⓜ ジゴキシシン 3L765-0000-023-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	消失相濃度 0.8~2.0 (ng/mL)	投与後6時間~ 次回投与直前 (消失相)	ジゴキシシン、 ジゴキシシン
	4227 5 016661403	アミオダロン 3L800-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	(ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	アミオダロン 有効血中濃度: 500~1000ng/mL (200mg/日投与、 定常状態、トラフ値) Desethylamidarone /Amidarone=0.8 (定常状態)。 アンカロン &1
	K588 9 020851403	ベプリジル 3L802-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~5	① 特	LC/MS/MS	250~800 (ng/mL)		ベプリコール &1
	3839 7 018581402	アプリンジン 3L855-0000-023-205 3L855-0000-022-205	血清 0.3  血漿 0.3	S7P ↓ A00  PH5 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特  ① 特	LC/MS/MS	0.25~1.25 (μg/mL)	経口: 次回投与直前 (Trough濃度) 投与後 2~4時間 (Peak濃度) 静注: 次回投与直前 (Trough濃度)	アスペノン &1

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

① 投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

### 採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

### 採血時刻についての注意事項

1. TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
3836 0 011792302	ジソピラミド 3L865-0000-023-024 3L865-0000-022-024	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	①特	EIA	2.0~5.0 (μg/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	ノルベース、 リスモダン、 カフィール、 リスラミドR
		血漿 0.3	PH5 ↓ A00							
3834 2 012292302	リドカイン 3L875-0000-023-024	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	①特	EIA	1.2~5.0 (μg/mL)	静注: 投与後2時間 点滴静注: 6~12時間	キシロカイン &3
3841 4 021891402	メキシレチン 3L880-0000-023-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	①特	LC/MS/MS	0.5~2.0 (μg/mL)	経口: 次回投与直前 (Trough濃度) 静注: 随時	メキシチール &1
3837 9 013722302	プロカインアミド 3L890-0000-023-024 3L890-0000-022-024	血清 0.4	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	①特	EIA	4.0~10.0 (μg/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	アミサリン &3
		血漿 0.4	PH5 ↓ A00							
3840 5 017771402	プロプラノロール 3L895-0000-023-204 3L895-0000-022-204	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	4~17		HPLC	50~100 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	インデラル &1
		血漿 0.3	PH5 ↓ A00							
3877 5 015971402	ピルシカイニド 3L896-0000-023-205 3L896-0000-022-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	①特	LC/MS/MS	0.2~0.9 (μg/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	サンリズム &1
		血漿 0.3	PH5 ↓ A00							
3822 5 015661402	プロパフェノン 3L897-0000-023-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	①特	LC/MS/MS	(ng/mL)		プロノン &1
8748 3 015001402	シベンゾリン 3L898-0000-023-205 3L898-0000-022-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	①特	LC/MS/MS	Trough濃度 70~250 (ng/mL)	朝投与直前 (Trough濃度)	シベノール &1
		血漿 0.3	PH5 ↓ A00							

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

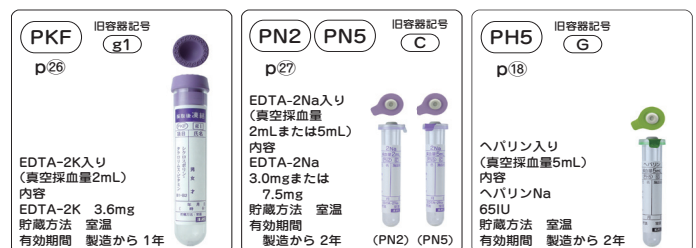
①投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

#### 採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

#### 採血時刻についての注意事項

1. TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。



# 薬物検査

## 循環器用薬／精神神経用薬

薬物検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)	
循環器用薬	4240 0 016621403	ピルメノール 3L899-0000-022-204	血漿 1.3	PH5 ↓ A00	冷蔵	3~6	① 特	HPLC	400.0以上 (ng/mL)	随時	ピメノール &1
	3835 1 011770702	キニジン 3L900-0000-023-062 3L900-0000-022-062	血清 0.4	S7P ↓ A00	冷蔵	2~8	① 特	EIA	2.0~6.0 (μg/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	硫酸キニジン &3
			血漿 0.4	PH5 ↓ A00							
8756 4 015021402	フレカイニド 3L905-0000-023-205 3L905-0000-022-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	200~1000 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	タンボコール &1	
		血漿 0.3	PH5 ↓ A00								
精神神経用薬	3818 0 018271802	ハロペリドール 3L300-0000-023-064	血清 0.5	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	金コロイド 凝集法	3~17 (ng/mL)	随時(ただし、 採血時刻を 一定とする)	ハロペリドール・ブ ロムペリドールは、 ほぼ同等の交差反応 を示すため、双方を 併用されている患者 検体の測定値は、各々 の正確な血中濃度値 とは合致しませんの で、ご注意ください。 セレネース、 ハロマンズ、 リントン、 ネオペリドール、 ハロステン &3
	3843 2 016521802	ブロムペリドール 3L302-0000-023-064	血清 0.5	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	金コロイド 凝集法	至適血中濃度 15以下 (ng/mL)	随時(ただし、 採血時刻を 一定とする)	ハロペリドール・ブ ロムペリドールは、 ほぼ同等の交差反応 を示すため、双方を 併用されている患者 検体の測定値は、各々 の正確な血中濃度値 とは合致しませんの で、ご注意ください。 インプロメン、 ルナブロン &3
	3807 2 014043402	リチウム 3L320-0000-023-271	血清 0.5	S7P ↓ AZZ	冷蔵	2~4	① 特	比色法	治療濃度範囲 0.3~1.2 (mEq/L)	最終投与後 12時間または 早期投与前 (Trough濃度)	リーマス、 リチオマール &3

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

①投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

### 採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

### 採血時刻についての注意事項

1. TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
3838 8 015370102	アセトアミノフェン 3L005-0000-023-024	血清 0.4	S7P ↓ A00	冷蔵	2~8	① 185 ※4	EIA	中毒域 200.1以上(4時間) 100.1以上(8時間) 50.1以上(12時間) ( $\mu\text{g/mL}$ )		アセトアミノフェン、 ピリナジン、 ナバ ☎
0067 7 001362302	<b>緊急</b> テオフィリン 3M070-0000-023-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	② 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	10.0~20.0 ( $\mu\text{g/mL}$ )	☆下記参照	テオドール、 テオロング、 ユニフィル
3872 0 014020102	サリチル酸 3M205-0000-023-271	血清 0.4	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	② 特	酵素法	抗炎症作用として 100~250 ( $\mu\text{g/mL}$ )	次回投与直前 (Trough濃度)	アスピリン、 パファリン ☎
4124 9 018286403	ヘパリン 3M415-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 0.3	PC2 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	4~8	③ 108 ※4	発色性 合成基質法	(IU/mL)		凝固検体取り扱いにつ いては、容器の取り扱 い方法②ページをご参 照ください。 ☎
3871 1 01375A102	メトトレキサート 3M725-0000-023-024 3M725-0000-022-024	血清 0.5 血漿 0.5	S7P ↓ A00 PH5 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 特 ② 特	EIA	危険限界濃度： 24時間値 10以上 48時間値 1以上 72時間値 0.1以上 ( $\mu\text{mol/L}$ )	メトトレキサート・ ロイコボリン 救護療法時 24、48、72時間	メソトレキサート ☎
K597 9 02088A103	イマチニブ 3M750-0000-022-205	血漿 0.3	PN2,PN5 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~16	② 特	LC/MS/MS	(ng/mL)	服用後24時間 ±2時間後 (Trough濃度)	グリベック ☎

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

- ① 同一の患者につき1月以内に2回以上行った場合は、第1回目の測定を行ったときに1回に限り算定する。
- ② 投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。
- ③ 同一の患者につき1月以内に当該検査を2回以上行った場合においては、算定は1回とし、第1回目の測定を行ったときに算定する。

### 採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

### 採血時刻についての注意事項

1. TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

### ☆経口・静注

徐放性製剤では投与後4時間、裸錠では投与後2時間(Peak濃度)、次回投与直前(Trough濃度) 静注：負荷投与後30分、点滴開始後4~6、および12~18時間



# 薬物検査

## 特定薬剤治療管理料

太文字は総合検査案内書掲載項目です。

薬剤名	検査項目	特定薬剤治療管理料 (同一患者月1回)		加算点(初回月)	備考
		1~3ヵ月	4ヵ月以降		
ジギタリス製剤 (心疾患)	ジゴキシン	470点	235点		ジギタリス製剤の急速飽和を行った場合は、所定点数(470点)にかかわらず、1回に限り740点を算定する。
抗てんかん剤 (てんかん)	フェノバルビタール、プリミドン、フェニトイン、遊離フェニトイン、カルバマゼピン、エトスクシミド、バルプロ酸、遊離バルプロ酸、ソニサミド、トリメタジオン、クロナゼパム、ニトラゼパム、ジアゼパム、クロバザム、レベチラセタム、トピラマート、ラモトリギン、ガバペンチン、アセタゾラミド、ラコサミド、ペランパネル、スチリベンツール、ルフィナミド	470点	470点	280点 (薬剤の投与を行った初回月のみ加算)	てんかん重積状態の患者に対して、抗てんかん剤の注射薬剤等の血中濃度を測定し、所定点数(470点)にかかわらず、1回に限り740点を算定する。
免疫抑制剤 (臓器移植後)	シクロスポリン、タクロリムス、エベロリムス、ミコフェノール酸	470点	470点	2740点 (臓器移植を行った日の属する月を含め3月に限り加算)	ミコフェノール酸モフェチルを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、医師が必要と認め、同一暦月に血中の複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、6月に1回に限り250点を所定点数に加算する。
テオフィリン製剤 (気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫又は未熟児無呼吸発作)	テオフィリン	470点	235点		エベロリムスを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、医師が必要と認め、同一暦月に血中の複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、エベロリムスの初回投与を行った日の属する月を含め3月に限り月1回、4月以降は4月に1回に限り250点を所定点数に加算する。
不整脈用剤 (不整脈)	プロカインアミド、N-アセチルプロカインアミド、ジソピラミド、キニジン、アプリンジン、リドカイン、ビルシカイニド、プロパフェノン、メキシレチン、フレカイニド、シベンゾリン、ビルメノール、アミオダロン、ソタロール塩酸塩、ベプリジル	470点	235点	280点 (薬剤の投与を行った初回月のみ加算)	
ハロペリドール製剤 (統合失調症)	ハロペリドール	470点	235点		
プロムペリドール製剤 (統合失調症)	プロムペリドール				
リチウム製剤 (躁うつ病)	リチウム	470点	235点		
バルプロ酸ナトリウム (躁うつ病又は躁病)	バルプロ酸、遊離バルプロ酸	470点	470点		
カルバマゼピン (躁うつ病又は躁病)	カルバマゼピン				
シクロスポリン(免疫制御剤) (ペーチェット病(活動性・難治性眼症状を有するもの)、その他の非感染性ぶどう膜炎(既存治療で効果不十分で、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る。)、再生不良性貧血、赤芽球癆、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬、全身型重症筋無力症、アトピー性皮膚炎(既存治療で十分な効果が得られない患者に限る。)、ネフローゼ症候群、川崎病の急性期)	シクロスポリン	470点	470点		
タクロリムス水和物(免疫制御剤) (全身型重症筋無力症、関節リウマチ、ループス腎炎、潰瘍性大腸炎又は間質性肺炎(多発性筋炎又は皮膚筋炎に合併するものに限る。))	タクロリムス	470点	470点		
サリチル酸系製剤 (若年性関節リウマチ、リウマチ熱、慢性関節リウマチ)	サリチル酸	470点	235点	280点 (薬剤の投与を行った初回月のみ加算) (バンコマイシン除く)	
メトトレキサート(悪性腫瘍)	メトトレキサート	470点	235点		
エベロリムス (結節性硬化症)	エベロリムス	470点	235点		
アミノ配糖体抗生物質 [入院中]	ゲンタマイシン、トブラマイシン、アミカシン、アルベカシン	470点	235点		
グリコペプチド系抗生物質 [入院中]	バンコマイシン、テイコブラニン				入院中の患者であって、バンコマイシンを数日間以上投与しているものに対して、バンコマイシンの安定した血中至適濃度を得るため、血中のバンコマイシンの濃度を複数回測定し、その測定結果に基づき、投与量を精密に管理した場合は、1回に限り、530点を所定点数に加算する。
トリアゾール系抗真菌剤 [入院中]	ボリコナゾール	470点	235点		
トリアゾール系抗真菌剤 (重症又は難治性真菌感染症又は造血幹細胞移植(造血幹細胞移植の患者にあつては、深在性真菌症の予防を目的とするものに限る。))	ボリコナゾール	470点	235点		
イマチニブ	イマチニブ	470点	235点		
シロリムス製剤 (リンパ脈管腫症)	シロリムス	470点	235点		
スニチニブ(抗悪性腫瘍剤) (腎細胞癌)	スニチニブ	470点	235点		
バルプロ酸ナトリウム(片頭痛)	バルプロ酸、遊離バルプロ酸	470点	235点		
治療抵抗性統合失調症治療薬 (統合失調症)	クロザピン	470点	235点		

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
血液一般	5503 7 T00005503	<b>緊急</b> 血球計算8種 (5種, MCV, MCH, MCHC)	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	①② 21 ※3	自動化法	下記 各項目の基準値欄 をご参照ください。	
	P094 2 000571201	<b>緊急</b> 白血球数(WBC) 2A010-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 3900~9800 F 3500~9100 (/μL)	
	P093 3 000581201	赤血球数(RBC) 2A020-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 427~570 F 376~500 (×10 <sup>4</sup> /μL)	
	P095 1 000591201	<b>緊急</b> 血色素量(Hb) 2A030-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	①② 21 ※3	自動化法	M 13.5~17.6 F 11.3~15.2 (g/dL)	<b>凍溶</b> 溶血・凝固・凍結検体は避けてください。 採血後直ちに4~5回軽く転倒混和して冷蔵保存してください。 (注)採血直後、直ちに転倒混和してください。転倒混和が不十分であったり、転倒混和するまで時間を要すると血液の部分凝固や目視では確認できないレベルの血液凝固が生じるため、検査結果に影響を及ぼします。
	P096 0 000601201	<b>緊急</b> ヘマトクリット値 (Ht) 2A040-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 39.8~51.8 F 33.4~44.9 (%)	
	P097 9 000611201	<b>緊急</b> 血小板数(PLT) 2A050-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 13.1~36.2 F 13.0~36.9 (×10 <sup>4</sup> /μL)	
	0805 7 000620401	平均赤血球容積 (MCV) 2A060-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 82.7~101.6 F 79.0~100.0 (fL)	
	0806 6 000630401	平均赤血球血色素量 (MCH) 2A070-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 28.0~34.6 F 26.3~34.3 (pg)	
	0807 5 000640401	平均赤血球血色素 濃度(MCHC) 2A080-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 31.6~36.6 F 30.7~36.6 (%)	
	0852 5 000691201	好酸球数 2A090-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	③ 17 ※3	自動化法	70~440 (/μL)	
P103 1 000671201	網赤血球数(RET) 2A110-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	12 ※3	自動化法	M 2~27 F 2~26 (%)		
P134 7 00071A101	<b>緊急</b> 末梢血液像 2A160-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	③ 15 ※3	自動化法	*桿状核球(Stab): 0.0~6.0 *分葉核球(Seg): 32.0~73.0 好中球(Neut): 40.0~74.0 好酸球(Eosino): 0.0~6.0 好塩基球(Baso): 0.0~2.0 単球(Mono): 0.0~8.0 リンパ球(Lym): 18.0~59.0 (%)	<b>凍溶</b> 溶血・凝固・凍結検体は避けてください。 採血後直ちに4~5回軽く転倒混和して冷蔵保存してください。 (注1)採血直後、直ちに転倒混和してください。転倒混和が不十分であったり、転倒混和するまで時間を要すると血液の部分凝固や目視では確認できないレベルの血液凝固が生じるため、検査結果に影響を及ぼします。	

①「末梢血液一般検査」は、赤血球数、白血球数、血色素測定(Hb)、ヘマトクリット値(Ht)、血小板数の全部又は一部を行った場合に算定する。

②保険請求上の名称は、「末梢血液一般検査」です。

③「好酸球数」及び「末梢血液像(自動機械法)」又は「末梢血液像(鏡検法)」を行った場合は、主たる検査の所定点数のみを算定する。

血液学的検査



# 血液学的検査

## 血液一般・形態検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
血液一般・ 形態検査	0853 4 000705445	鼻汁中好酸球	鼻汁塗抹標本 2~3枚	Z10	室温	2~4	15 ※3	メイ・グリュ ンワルド・ギ ムザ染色法に よる鏡検法	(-)	
		2A300-0000-063-604								

血液学的検査

項目コード 新项目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
凝固・線溶関連検査	P154 5 000751703	活性化部分 トロンボプラスチン時間 (APTT) 2B020-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結	1~2	29 ※3	凝固時間測定法	24.3~36.0 (秒)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。
	P185 1 000741703	<b>緊急</b> プロトロンビン時間 (PT) 2B030-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結	1~2	18 ※3	凝固時間測定法	秒 10.5~13.5 (秒) % 70~130 (%) 比 0.85~1.15	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 抗凝固療法の治療管理指標である国際標準化比(INR)もご報告いたします。
	P155 4 000781703	フィブリノーゲン (FIB) 2B100-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結	1~2	23 ※3	凝固時間測定法	150~400 (mg/dL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。
	0095 6 003410709	可溶性フィブリンモノマー 複合体(SFMC) 2B110-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.4	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	93 ※3	LPIA	7未満 陰性 (μg/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &#x27E;
	8558 4 018440703	フィブリンモノマー 複合体定量 2B110-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	① 221 ※3	ラテックス 免疫比濁法	6.1以下 (μg/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &#x27E;
	4099 8 000790703	FDP定量	速やかに遠心 血漿 0.3	PC2 ↓ A00	凍結	2~4	80 ※3	ラテックス 免疫比濁法	4以下 (μg/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &#x27E;
	4738 8 000790721	2B120-0000-022-062 2B120-0000-001-062	部分尿 0.5	U90 ↓ A00	凍結 (21日)	2~6	72 ※1	LPIA	100以下 (ng/mL)	新鮮尿を専用容器(U90)に注入し、よく混和後、3000rpm5~10分間遠心分離してください。 &#x27E;
	4132 0 017840703	Dダイマー 2B140-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	1~2	130 ※3	ラテックス 免疫比濁法	1.0未満 (μg/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &#x27E;
	0176 6 019650803	プロトロンビン フラグメントF1+2 2B170-0000-022-023	速やかに遠心 血漿 0.3	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~5	① 192 ※3	ELISA	69~229 (pmol/L)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &#x27E;1
	4122 1 014396403	アンチトロンビンⅢ (ATⅢ) 2B200-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~4	70 ※3	発色性 合成基質法	79~121 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &#x27E;
	A258 5 003470609	トロンビン・アンチ トロンビンⅢ複合体(TAT) 2B210-0000-022-052	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	① 176 ※3	CLEIA	3.0以下 (ng/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &#x27E;
	4119 5 014546403	プラスミノーゲン 2B260-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結	2~4	100 ※3	発色性 合成基質法	75~125 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &#x27E;
	4120 3 011366403	アンチプラスミン (α <sub>2</sub> プラスミンインヒビター) 2B270-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~4	128 ※3	発色性 合成基質法	85~115 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &#x27E;
	4133 9 018250703	α <sub>2</sub> プラスミン インヒビター・ プラスミン複合体 (PICテスト) 2B280-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.2	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	154 ※3	LPIA	0.8以下 (μg/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &#x27E;
	4166 3 015940703	トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体) 2B310-0000-022-062	速やかに 冷却 遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~5	240 ※3	LPIA	50以下 (ng/mL)	採血後、速やかに低温(4℃)で血漿分離してください。室温遠心や専用容器(PC5)での採血はデータが高値となるため避けてください。速やかに分離できない場合は、氷水中に保存し、1時間以内に血漿分離してください。 測定対象はトータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体および活性型、潜在型PAI-1)です。 &#x27E;

①「フィブリンモノマー複合体」、「TAT」、「プロトロンビンフラグメントF1+2」のうちいずれが複数を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。

**Z10** 旧容器記号  
t

p53



【オブジェクトケース】  
プレバート  
(スライドグラス)

貯蔵方法 室温

**PC2** 旧容器記号  
K

p14

3.2%クエン酸  
ナトリウム入り  
(真空採血量1.8mL)  
内容  
3.2%クエン酸Na  
0.2mL  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から1年  
(25本入りプラスチック  
ケース開封後1ヵ月)



貯蔵方法 室温

**U90** 旧容器記号  
b2

p42

抗プラスミン剤入り  
内容  
アプロチニン  
精製ゼラチン  
デヒドロ酢酸  
ナトリウム  
貯蔵方法 室温  
有効期間  
製造から2年  
(アルミ包装  
開封後1週間)



貯蔵方法 室温

# 血液学的検査


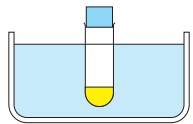

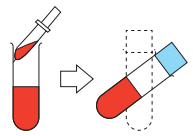
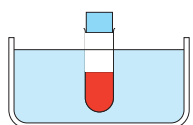
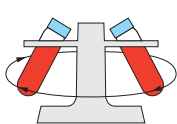
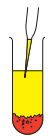
## 凝固・線溶関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考			
凝固 因子 活性 検査	A302 5 003556403	第Ⅷ因子(F8) 〔合成基質法〕 2B390-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 各 0.3	凍結 (7日)	2~6	223 ※3	合成基質法	60~140 (%)	凝固検体取り扱いについては、容 器の取り扱い方法②ページをご参 照ください。			
	A303 4 003566403	第Ⅸ因子(F9) 〔合成基質法〕 2B400-0000-022-315								凍結 (28日)	223 ※3	
	4104 1 013611703	凝固 第Ⅱ因子(F2) 2B350-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 各 0.4	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	223 ※3	凝固時間法		75~135 (%)		
	4105 0 013621703	第Ⅴ因子(F5) 2B370-0000-022-311								223 ※3	70~135 (%)	
	4107 8 013631703	第Ⅶ因子(F7) 2B380-0000-022-311								223 ※3	75~140 (%)	
	4108 7 013641703	第Ⅷ因子(F8) 2B390-0000-022-311								223 ※3	60~150 (%)	
	4109 6 013651703	第Ⅸ因子(F9) 2B400-0000-022-311								223 ※3	70~130 (%)	
	4110 4 013661703	第Ⅹ因子(F10) 2B410-0000-022-311								223 ※3	75~145 (%)	
	4111 3 013671703	第Ⅺ因子(F11) 2B420-0000-022-311								223 ※3	50~150 (%)	
	4112 2 013681703	第Ⅻ因子(F12) 2B430-0000-022-311								223 ※3	70~140 (%)	
	4113 1 011376403	第Ⅻ因子(F13) 2B440-0000-022-315								223 ※3	合成基質法	70~140 (%)
	4116 8 013580703	フォン・ウィルブランド因子 抗原定量 2B450-0000-022-062								速やかに遠心 血漿 0.2	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)
	凝固 因子 検査 抑制 検査	4114 0 013601703	凝固 第Ⅷ(8)因子 2B460-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 各 1.0	PC5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	144 ※3		ベセスダ法	検出せず (ベセスダU/mL)	
4115 9 018021703		第Ⅸ(9)因子 2B470-0000-022-311	凍結 (21日)						144 ※3			
凝固 因子 検査	4117 7 018188203	フォン・ウィルブランド因子活性 (リストセチンコファクター) 2B480-0000-022-316	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (20日)	2~4	129 ※3	固定血小板 凝集法	60~170 (%)			
	B105 3 00372A203	フォン・ウィルブランド因子 マルチマー解析 2B490-0000-022-233	速やかに遠心 血漿 0.4	PC2 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	7~11		SDS アガロースゲル 電気泳動法	NORMALパターン			
	A092 9 003790809	ADAMTS13-活性 2B495-0000-022-023	速やかに遠心 血漿 0.3	PC2 ↓ A00	凍結 (28日)	2~5	①② 400 ※3	ELISA	0.10未満 (IU/mL) 10未満 (%)			
A091 0 022050809	ADAMTS13 インヒビター 2B496-0000-022-023	速やかに遠心 血漿 0.6	PC2 ↓ A00	凍結 (28日)	2~5	③④ 1000 ※3	ELISA	0.5以上 (BU/mL) 陽性				

- ① ADAMTS13活性は、他に原因を認めない血小板減少を示す患者に対して、血栓性血小板減少性紫斑病の診断補助を目的として測定した場合又はその再発を疑い測定した場合に算定できる。
- ② 血栓性血小板減少性紫斑病と診断された患者又はその再発が認められた患者に対して、診断した日又は再発を確認した日から起算して1か月以内の場合には、1週間に1回に限り別に算定できる。
- ③ ADAMTS13インヒビターは、ADAMTS13活性の著減を示す患者に対して、血栓性血小板減少性紫斑病の診断補助を目的として測定した場合又はその再発を疑い測定した場合に算定できる。
- ④ 後天性血栓性血小板減少性紫斑病と診断された患者又はその再発が認められた患者に対して、診断した日又は再発を確認した日から起算して1か月以内の場合には、1週間に1回に限り別に算定できる。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
4101 4 013570803	<b>β-トロンボグロブリン (β-TG)</b> 2B600-0000-022-023	速やかに冷却 遠心 乏血小板 血漿 0.3	PBT ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~6	176 ※3	EIA	50以下 (ng/mL)	検体採取方法は下記をご参照ください。  &1
4102 3 012770803	<b>血小板第4因子 (PF-4)</b> 2B620-0000-022-023	速やかに冷却 遠心 乏血小板 血漿 0.3	PBT ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~6	178 ※3	EIA	20以下 (ng/mL)	検体採取方法は下記をご参照ください。  &1

容器形態	検査項目	保存	採取方法	注意事項																									
<b>PBT</b> 旧容器記号 <b>Q</b>   (真空採血禁止) 抗血小板剤入り 内容 テオフィリン アデノシン ジピリダモール クエン酸ナトリウム クエン酸 貯蔵方法 遮光・冷蔵 有効期間 製造から1年	<b>β-トロンボ グロブリン(β-TG)</b>	凍結	 あらかじめ専用容器(PBT)を冷却 しておいてください。	砕氷水の水面より専用容器中の液 面が下になるようにしてください。 角氷は使用しないでください。																									
			 できるだけ20ゲージ(19~21ゲ ージでも可)の針を用いたプラス ティック注射器で血液3.0mLを採 取してください。(採血にあたって、 専用容器(PBT)を使用しての直接 採血は絶対にしないでください。)		真空採血管、カテーテルおよび他 の方法は使用しないでください。 また、駆血帯も使用しないでくだ さい。10mL以上の採血は避け、 出来るだけ血管壁を損傷しないよ うにスムーズに採取してください。																								
			 針を取って静かに専用容器(PBT) のフタを開け、血液2.7mLを静か に移し、ゆっくり2~3回転倒混 和してください。		指定の専用容器以外は使用しな いでください。 専用容器は振とうさせないでくだ さい。																								
			 専用容器を速やかに砕氷と水の 入ったラックに入れてください。		砕氷水の水面より専用容器中の血 液の液面が下になるようにしてく ださい。																								
			<b>以上の操作を2分以内に行ってください。</b>																										
	<b>血小板第4因子 (PF-4)</b>	凍結	 砕氷水に15~30分間放置後、採取 血液を2000Gで30分間、2~4℃ で遠心分離してください。(右表は 2000Gにおけるローターの回転半 径と回転数との関係を示します。) *遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r:遠心機のローター半径(cm) n:1分間あたりの回転数(rpm)	1時間以内に必ず冷却下で遠心分離 してください。																									
			 上清の表面よりやや下の部分をマ イクロピペットで1項目につき 0.3mL検体容器へ採取してくださ い。 血餅に近い部分からの採取は絶対 に避けてください。 (血漿の全量採取は避けてください。) 検体は必ず凍結保存してください。 (1ヵ月安定)	換 算 表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>半 径 (cm)</th> <th>回 転 数 (rpm)</th> <th>半 径 (cm)</th> <th>回 転 数 (rpm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>4200</td> <td>22</td> <td>2800</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>3800</td> <td>24</td> <td>2700</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>3500</td> <td>26</td> <td>2600</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>3300</td> <td>28</td> <td>2500</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>3100</td> <td>30</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>3000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	半 径 (cm)	回 転 数 (rpm)	半 径 (cm)	回 転 数 (rpm)	10	4200	22	2800	12	3800	24	2700	14	3500	26	2600	16	3300	28	2500	18	3100	30	2400	20
半 径 (cm)	回 転 数 (rpm)	半 径 (cm)	回 転 数 (rpm)																										
10	4200	22	2800																										
12	3800	24	2700																										
14	3500	26	2600																										
16	3300	28	2500																										
18	3100	30	2400																										
20	3000																												

血液学的検査

**PC2** 旧容器記号 **K**  
p14

3.2%クエン酸  
ナトリウム入り  
(真空採血量1.8mL)  
内容  
3.2%クエン酸Na  
0.2mL  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から1年  
(25本入りプラスチック  
ケース開封後1ヵ月)



**PC5** 旧容器記号 **L**  
p16

3.2%クエン酸  
ナトリウム入り  
(真空採血量4.5mL)  
内容  
3.2%クエン酸Na  
0.5mL  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から1年  
(25本入りプラスチック  
ケース開封後1ヵ月)



# 血液学的検査

## 凝固・線溶関連検査／血液化学検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
凝固・ 線溶 関連 検査	4138 4 017830703	プロテインC(抗原量) 2B700-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.3	PC2 ↓ A00	凍結	2~5	232 ※3	LPIA	70~150 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &㍻
	4139 3 018131703	プロテインC活性 2B700-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 0.4	PC2 ↓ A00	凍結	2~4	234 ※3	凝固時間法	64~146 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &㍻
	8540 3 012440803	プロテインS(抗原量) 2B710-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.2	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	158 ※3	ラテックス 凝集反応	M 73~137 F 59~143 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。測定対象はトータル(遊離型および複合体型)です。 &㍻
	4152 8 015401703	プロテインS活性 2B710-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 0.4	PC2 ↓ A00	凍結	2~4	163 ※3	凝固時間法	M 67~164 F 56~126 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &㍻
	9767 1 019370703	プロテインS (遊離型抗原量) 2B711-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.2	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	158 ※3	ラテックス 凝集反応	M 50~131 F 49~133 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &㍻
	A865 1 003780602	トロンボモジュリン 2B730-0000-023-052 2B730-0000-022-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	204 ※3	CLEIA	12.1~24.9 (U/mL)	&㍻
A866 0 003780603		速やかに遠心 血漿 0.4	PC2 ↓ A00			204 ※3	8.7~22.7 (U/mL)		凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &㍻	
血液化学 検査	A211 6 018611002	チミジンキナーゼ活性 2C105-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	4~6	233 ※3	CLIA	7.5以下 (U/L)	&㍻

血液学的検査



# 内分泌学的検査

## 視床下部・下垂体ホルモン

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
3002 5	成長ホルモン(GH) 4A010-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	108 ※5	ECLIA	M 2.47以下 F 0.13~9.88 (ng/mL)	&I
A282 8	IGF-1 (ソマトメジンC) 4A015-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~4	212 ※5	ECLIA	下記参照	年齢を明記してください。 &I
3005 2	プロラクチン 4A020-0000-023-053	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	98 ※5	ECLIA	男性 4.29~13.69 閉経前女性 4.91~29.32 閉経後女性 3.12~15.39 (ng/mL)	&E
4002 4	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 4A025-0000-022-053	速やかに 冷却 遠心 血漿 0.5	PN2,PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	189 ※5	ECLIA	午前7時~10時 7.2~63.3 (pg/mL)	溶 ACTHはEDTA濃度増加により測定 値が低下するため、容器の指定容量 を採取してください。採血後、速や かに血漿分離してください。 &I
6760 1	黄体形成ホルモン (LH) 4A030-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	108 ※5	CLIA	下記参照	性別を明記してください。 &I
6761 0	卵胞刺激ホルモン (FSH) 4A035-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	108 ※5	CLIA	下記参照	性別を明記してください。 &I
A477 2	甲状腺刺激ホルモン (TSH)(CLEIA)IFCC 4A056-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	101 ※5	CLEIA	0.61~4.23 (μIU/mL)	
A208 0	抗利尿ホルモン (AVP) 4A070-0000-022-001	速やかに 冷却 遠心 血漿 1.5	PN7 ↓ A00	凍結	5~7	230 ※5	RIA2抗体法	水制限 4.0以下 自由飲水 2.8以下 (pg/mL)	溶 採血後、速やかに血漿分離して ください。 溶血でのご依頼は避けてください。 &I

内分泌学的検査

[A282 8]IGF-1 (ソマトメジンC)年齢別・性別における基準値

(単位: ng/mL)

年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性
0	11~149	15~154	26	119~329	146~336	52	86~242	78~213
1	14~148	23~186	27	116~322	141~328	53	85~240	77~212
2	18~154	32~213	28	114~315	137~320	54	84~239	76~211
3	24~164	40~227	29	111~309	133~312	55	84~238	75~210
4	32~176	48~238	30	109~303	129~304	56	83~237	74~208
5	44~193	56~252	31	107~297	126~297	57	82~236	73~207
6	55~215	69~287	32	105~292	122~290	58	81~235	72~205
7	63~247	89~357	33	103~287	119~283	59	80~233	71~203
8	72~292	111~438	34	102~283	115~277	60	79~232	70~201
9	84~350	133~517	35	100~279	112~271	61	77~230	69~198
10	99~423	155~588	36	99~275	109~265	62	76~228	68~196
11	113~499	175~638	37	97~272	106~260	63	75~226	66~194
12	125~557	188~654	38	96~269	103~254	64	73~224	65~191
13	133~579	193~643	39	95~266	100~250	65	72~221	64~188
14	138~570	193~625	40	94~263	98~245	66	70~219	62~186
15	141~552	192~614	41	94~261	95~240	67	68~216	61~183
16	142~543	192~611	42	93~259	93~236	68	66~213	60~180
17	142~540	191~599	43	92~257	90~233	69	65~209	59~177
18	142~526	188~574	44	92~255	88~229	70	63~206	57~175
19	143~501	182~539	45	91~253	87~226	71	61~202	56~172
20	142~470	175~499	46	90~250	85~224	72	58~198	55~170
21	139~436	168~459	47	90~250	83~221	73	56~194	54~167
22	135~405	161~425	48	89~248	82~219	74	54~190	53~165
23	131~379	155~397	49	88~246	81~218	75	52~185	52~163
24	128~356	151~375	50	87~245	80~216	76	50~181	50~160
25	125~337	147~358	51	87~243	79~215	77	48~177	49~158

[6760 1]黄体形成ホルモン(LH)基準値

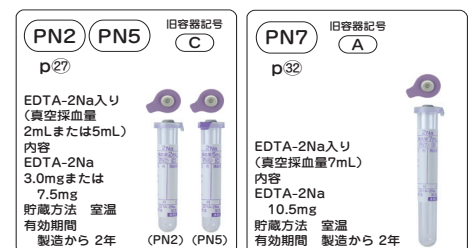
(単位: mIU/mL)

女	卵胞期	1.76 ~ 10.24
	排卵期	2.19 ~ 88.33
	黄体期	1.13 ~ 14.22
	閉経後	5.72 ~ 64.31
男	性	0.79 ~ 5.72

[6761 0]卵胞刺激ホルモン(FSH)基準値

(単位: mIU/mL)

女	卵胞期	3.01 ~ 14.72
	排卵期	3.21 ~ 16.60
	黄体期	1.47 ~ 8.49
	閉経後	157.79以下
男	性	2.00 ~ 8.30



# 内分泌学的検査

## 甲状腺ホルモンおよび結合蛋白／副甲状腺ホルモン

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
甲状腺ホルモン および結合蛋白	A446 6 003930602	トリヨードサイロニン (T <sub>3</sub> ) [CLEIA] 4B010-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	99 ※5	CLEIA	0.62~1.16 (ng/mL)	&I
	P183 3 00394A202	遊離トリヨードサイロニン (Free T <sub>3</sub> ) 4B015-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	124 ※5	CLEIA	2.52 ~ 4.06 (pg/mL)	
	A452 9 003960602	サイロキシン (T <sub>4</sub> ) [CLEIA] 4B030-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	108 ※5	CLEIA	4.53~8.38 (μg/dL)	&I
	P184 2 00397A202	遊離サイロキシン (Free T <sub>4</sub> ) 4B035-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	124 ※5	CLEIA	0.75 ~ 1.45 (ng/dL)	
	A472 7 003980602	サイログロブリン [CLEIA] 4B040-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (23日)	2~4	131 ※5	CLEIA	35.1以下 (ng/mL)	&I
	9089 4 003990602	サイロキシン結合グロブリン (TBG) 4B045-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	130 ※5	CLEIA	14~31 (μg/mL)	&E
副甲状腺ホルモン	3154 7 001270902	副甲状腺ホルモン (PTH)-インタクト 4C025-0000-023-053	血清 0.5	冷却遠心 S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	1~2	165 ※5	ECLIA	10 ~ 65 (pg/mL)	☒ &I
	6475 8 020942103	副甲状腺ホルモン (Whole PTH) 4C026-0000-022-052	血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	冷蔵 (14日)	2~4	165 ※5	CLEIA	8.3~38.7 (pg/mL)	&I
	3624 5 016032103	副甲状腺ホルモン 関連蛋白(PTHrP) 4C030-0000-022-006	血漿 0.5	冷却遠心 PAP ↓ A00	凍結 (7日)	5~7	189 ※5	RIA固相法 (IRMA)	1.1以下 (pmol/L)	☒ &I
	3155 6 013931902	カルシトニン 4C035-0000-023-053	血清 0.5	速やかに遠心 S09 ↓ A00	凍結	2~4	133 ※5	ECLIA	M 9.52以下 F 6.40以下 (pg/mL)	速やかに血清分離後、凍結保存してください。 &I

内分泌学的検査

# 内分泌学的検査

## 副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白

内分泌学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白	4521 8 013956723	17-KS7分画 4D018-0000-004-203	蓄尿 12	U20	冷蔵 (28日)	6~7	213 ※5	Gas Chromatography-Mass Spectrometry (GC/MS)法 (酵素水解法)	下記参照	酸 酸性蓄尿は避けてください。 &1
	3050 2 010867802	血中11-OHCS 4D035-0000-023-282	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~8	60 ※5	蛍光法 (De Moor変法)	午前10時採血 7.0~23.0 (μg/dL)	&1
	4019 6 010212003	コルチゾール	血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	124 ※5	ECLIA	午前6時~10時 7.07~19.6 (μg/dL)	&I
	3051 1 010212002	4D040-0000-022-053 4D040-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結					
	B793 0 004111023	尿中コルチゾール 4D045-0000-004-051	蓄尿 5	A00	冷蔵 (21日)	2~6	124 ※5	CLIA	4.3~176 (μg/day)	酸 非抱合型コルチゾールの測定となります。 &I
	3055 7 013830602	デヒドロエピアンドロステロンサルフェート (DHEA-S) 4D090-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	169 ※5	CLEIA	下記参照	性別、年齢を明記してください。 &I
	A791 3 045060802	17α-ヒドロキシプロゲステロン (生後4ヵ月以下) 4F050-0000-023-021	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~9	① 213 ※5	ELISA	2.3以下(参考値) (ng/mL)	ご依頼の際には必ず年齢(0歳児は月齢)を明記してください。 生後4ヵ月以下の検体は、交差性の影響を避けるため前処理(抽出操作)が必要ですので、本項目にてご依頼ください。 生後5ヵ月以上の検体は前処理(抽出操作)が必要ありませんので、「B798 5: 17α-ヒドロキシプロゲステロン(生後5ヵ月以上)」にてご依頼ください。 本項目の参考基準値は、日本人健康児0~17歳より算出しております。 &1
	B798 5 04506A102	17α-ヒドロキシプロゲステロン (生後5ヵ月以上) 4F050-0000-023-021	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~9	① 213 ※5	ELISA	2.3以下(参考値) (ng/mL)	ご依頼の際には必ず年齢(0歳児は月齢)を明記してください。 生後5ヵ月以上の検体は前処理(抽出操作)が必要ありませんので、本項目にてご依頼ください。 生後4ヵ月以下の検体は、交差性の影響を避けるため前処理(抽出操作)が必要ですので、「A791 3: 17α-ヒドロキシプロゲステロン(生後4ヵ月以下)」にてご依頼ください。 本項目の参考基準値は、日本人健康児0~17歳より算出しております。 &1

①「17α-ヒドロキシプロゲステロン(17α-OHP)」は、先天性副腎皮質過形成症の診断又は治療効果判定のために行った場合に算定する。

### [4521 8]17-KS7分画基準値

(単位: mg/day)

	男性	女性
アンドロステロン	1.10 ~ 4.20	0.40 ~ 3.00
エチオコラノン	0.55 ~ 2.60	0.30 ~ 2.50
デヒドロエピアンドロステロン	0.12 ~ 5.20	0.04 ~ 2.60
11-ケトアンドロステロン	0.12以下	0.07以下
11-ケトエチオコラノン	0.04 ~ 0.65	0.03 ~ 0.50
11-OHアンドロステロン	0.40 ~ 2.30	0.22 ~ 1.60
11-OHエチオコラノン	0.03 ~ 0.65	0.02 ~ 0.65

### [3055 7]デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)基準値

(単位: μg/dL)

年齢(歳)	男性	女性
18 ~ 20	24 ~ 537	51 ~ 321
21 ~ 30	85 ~ 690	18 ~ 391
31 ~ 40	106 ~ 464	23 ~ 266
41 ~ 50	70 ~ 495	19 ~ 231
51 ~ 60	38 ~ 313	8 ~ 188
61 ~ 70	24 ~ 244	12 ~ 133
71 ~	5 ~ 253	7 ~ 177

<b>PN2</b> <b>PN5</b> 旧容器記号 <b>C</b> p27 EDTA-2Na入り (真空採血量 2mLまたは5mL) 内容 EDTA-2Na 3.0mgまたは 7.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年 	<b>PAP</b> 旧容器記号 <b>D</b> p12 EDTA-2Na+ アプロチニン入り (真空採血量3mL) 内容 EDTA-2Na 3.75mg アプロチニン (1500単位) 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年 	<b>U20</b> 旧容器記号 <b>YO</b> p41 尿用容器 貯蔵方法 室温 
---	--	---

# 内分泌学的検査

## 副腎髄質ホルモン

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
副 腎 髄 質 ホ ル モ ン	4504 7 010791423	カテコールアミン総 4E010-0000-004-204	酸性蓄尿 2	U00	冷蔵 (28日)	3~5	189 ※5	HPLC	52.0~195.3 (μg/day)	所定量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響が見られますので、必ず専用蓄尿添加剤を入れてください。 &1
	4710 8 012281403	カテコールアミン3分画 [A:アドレナリン NA:ノルアドレナリン DA:ドーパミン]	速やかに冷却 血漿 1.5	PN7 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	3~5	165 ※5	HPLC	アドレナリン 100以下 ノルアドレナリン 100~450 ドーパミン 20以下 (pg/mL)	&1
	4508 3 012281423		髄液 1.5	A00	凍結				165 ※5	
	A299 0 00428A423	メタネフリン・ ノルメタネフリン 分画 4E040-0000-004-205	酸性蓄尿 2	U00	冷蔵 (28日)	3~5	① 220 ※5	LC/MS/ MS	メタネフリン 0.04~0.19 ノルメタネフリン 0.09~0.33 (mg/day)	所定量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響が見られますので、必ず専用蓄尿添加剤を入れてください。メタネフリン総(mg/day)も報告いたします。 &1
	4018 7 014511403	L-ドーパ 4E045-0000-022-204	速やかに冷却 血漿 1.5	PN7 ↓ A00	凍結	5~18		HPLC	1.2~2.2 (ng/mL)	&1
	4014 1 010801403	ドーパミン総 4E050-0000-022-204 4E050-0000-041-204	速やかに冷却 血漿 1.5	PN7 ↓ A00	凍結	5~11		HPLC	1.8~7.7 (ng/mL)	&1
	7608 9 010801429		髄液 1.5	A00					(ng/mL)	

①「メタネフリン」、「メタネフリン・ノルメタネフリン分画」、「ノルメタネフリン」又は「遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画」のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

# 内分泌学的検査

## 副腎髄質ホルモン

内分泌学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
副腎 髄質 ホルモン	HVA	40178 013521403	血漿 1.5	PN7 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~6	HPLC	69 ※5	4.4~15.1 (ng/mL)
		76034 013521429	髄液 1.5	A00				69 ※5	(ng/mL)
		45146 013521423	4E055-0000-022-204 4E055-0000-041-204 4E055-0000-004-204	酸性蓄尿 1.5	U00	冷蔵 (28日)	3~5	69 ※5	2.1~6.3 (mg/day)
副腎 髄質 ホルモン	VMA	40169 013531403	血漿 1.5	PN7 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~6	HPLC	90 ※5	3.3~8.6 (ng/mL)
		45137 013531423	4E060-0000-022-204 4E060-0000-004-204	酸性蓄尿 1.5	U00	冷蔵 (28日)		3~5	90 ※5
副腎 髄質 ホルモン	セロトニン	45065 010871401	血液 1.0 (EDTA-2Na加)	PN2, PN5 ↓ A00	凍結	3~9	HPLC	57~230 (ng/mL)	(検体のご提出について)血液はポリスピッツに移し替え必ず凍結保存にてご提出ください。 &1
		40105 010871403	4E065-0000-019-204 4E065-0000-022-204	速やかに冷却 血漿 1.5					PN7 ↓ A00
副腎 髄質 ホルモン	5-HIAA	40150 013541403	血漿 1.5	PN7 ↓ A00	冷蔵 (25日)	3~6	HPLC	95 ※5	1.8~6.1 (ng/mL)
		76016 013541429	髄液 1.5	A00				95 ※5	(ng/mL)
		45128 010821423	4E070-0000-022-204 4E070-0000-041-204 4E070-0000-004-204	酸性蓄尿 0.5	U00	冷蔵 (28日)	3~5	95 ※5	1.0~6.0 (mg/day)
副腎 髄質 ホルモン	MHPG	41519 021351403	血漿 1.5	PN7 ↓ A00	凍結 (35日)	事前に ご確認 ください	HPLC	3.2~5.9 (ng/mL)	
		66675 021351429	4E080-0000-022-204 4E080-0000-041-204	髄液 1.5					


PN7 旧容器記号 (A)  
p32

EDTA-2Na入り  
(真空採血量7mL)  
内容  
EDTA-2Na  
10.5mg  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から2年



PN2 PN5 旧容器記号 (C)  
p27

EDTA-2Na入り  
(真空採血量  
2mLまたは5mL)  
内容  
EDTA-2Na  
3.0mgまたは  
7.5mg  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から2年 (PN2) (PN5)



# 内分泌学的検査

## 性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白	A256 7 00438A702	エストラジオール(E <sub>2</sub> ) 4F025-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	172 ※5	ECLIA	下記参照	性別を明記してください。また妊婦の場合は妊娠週数を明記してください。 &3
	3079 1 013760902	プロゲステロン 4F045-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	147 ※5	ECLIA	下記参照	性別を明記してください。また妊婦の場合は妊娠週数を明記してください。 &3
	4545 2 013876723	プレグナンジオール 4F055-0000-004-203	蓄尿 12	U20	冷蔵 (28日)	6~7	213 ※5	Gas Chromatography-Mass Spectrometry (GC/MS)法 (酵素水解法)	下記参照	性別を明記してください。 &1
	4546 1 013886723	プレグナントリオール 4F060-0000-004-203	蓄尿 12	U20	冷蔵 (28日)	6~7	232 ※5	Gas Chromatography-Mass Spectrometry (GC/MS)法 (酵素水解法)	下記参照	性別を明記してください。 &1
	3081 8 013890902	テストステロン 4F065-0000-023-053	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	122 ※5	ECLIA	M 1.31~8.71 F 0.11~0.47 (ng/mL)	性別を明記してください。 &3
	A221 5 01857A102	フリーテストステロン [RIA] 4F070-0000-023-005	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結	2~6	159 ※5	RIA固相法	下記参照	午前中に採血してください。性別、年齢を明記してください。 &1

### [A256 7]エストラジオール(E<sub>2</sub>)基準値

(単位: pg/mL)

非妊婦	女性	卵胞期	28.8~196.8
		排卵期	36.4~525.9
		黄体期	44.1~491.9
		閉経後	47.0以下
男性			14.6~48.8
妊婦		妊娠初期	208.5~4289
		妊娠中期	2808~28700
		妊娠後期	9875~31800

### [3079 1]プロゲステロン基準値

(単位: ng/mL)

非妊婦	女性	卵胞期	0.28以下
		排卵期	5.69以下
		黄体期	2.05~24.2
		閉経後	0.33以下
男性			0.22以下
妊婦		妊娠初期(4~13週)	13.0~51.8
		妊娠中期(14~27週)	24.3~82.0
		妊娠後期(28~38週)	63.5~174

### [4545 2]プレグナンジオール基準値

(単位: mg/day)

非妊婦	女性	卵胞期	0.28 ~ 1.42
		黄体期	0.79 ~ 6.83
男性			0.16 ~ 0.79
妊婦		前期	1.29 ~ 6.08
		中期	3.05 ~ 24.22
		後期	9.10 ~ 60.51

### [4546 1]プレグナントリオール基準値

(単位: mg/day)

女性	卵胞期	0.13 ~ 1.30
	分泌期	0.13 ~ 1.90
	閉経後	0.02 ~ 0.83
男性		0.13 ~ 1.60

### [A221 5]フリーテストステロン[RIA]

年齢別・性別における基準値(メーカー参考値)

(単位: pg/mL)

年齢	男性	女性
20 ~ 29	7.6 ~ 23.8	0.4 ~ 2.3
30 ~ 39	6.5 ~ 17.7	0.6 ~ 2.5
40 ~ 49	4.7 ~ 21.6	0.3 ~ 1.8
50 ~ 59	4.6 ~ 19.6	0.8 ~ 1.7
60 ~ 69	5.3 ~ 11.5	
70以上	4.6 ~ 16.9	



# 内分泌学的検査

## 性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白／膵・消化管ホルモン

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白	6463 1 001220902	絨毛性ゴナドトロピン (HCG) 4F080-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 134 ※5	CLEIA	2.7以下 (mIU/mL)	トータルのHCGを測定しています。抗体はHCG-βを認識しています。絨毛性疾患の診断、予後管理に有用です。絨毛性疾患取り扱い規約第3版における推奨方法で、測定感度は1.0mIU/mLです。 &3
	3092 6 013922102	遊離HCG-β (HCG-βサブユニット) 4F090-0000-023-006 4F090-0000-001-006	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 132 ※5	RIA固相法 (IRMA)	0.1以下 (ng/mL)	遊離のHCG-βサブユニットを測定しています。抗体は遊離のHCG-βを認識しています。絨毛性および非絨毛性HCG産生腫瘍のマーカーとして有用です。 &1
	4549 8 013922121		部分尿 0.3	U00	凍結		① 132 ※5			
	9247 8 00451A202	抗ミュラー管ホルモン (AMH)[CLEIA] 4F100-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	600 ※5	CLEIA	下記参照	&3
膵・消化管ホルモン	P190 5 001280602	インスリン 4G010-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	103 ※5	CLEIA	負荷前 1.84~12.20 (μIU/mL)	溶
	3033 1 001290602	C-ペプチド(CPR) 4G020-0000-023-052 4G020-0000-004-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	② 108 ※5	CLEIA	負荷前 0.61~2.09 (ng/mL)	&I
	4503 8 001290623		蓄尿 1	U00	凍結 (20日)	2~4	② 108 ※5		29.2~167 (μg/day)	重酸 蓄尿は冷蔵保管しながら行うかあらかじめ専用保存剤を蓄尿容器に一袋全量(10g/袋 最終濃度約0.5%)を入れて蓄尿を行ってください。 他項目との重複依頼は避けてください。 &I
	A248 6 03916A103	膵グルカゴン 4G030-0000-022-023	速やかに 冷却 血漿 0.5	PAP ↓ A00	凍結 (28日)	5~11	150 ※5	ELISA	空腹時 5.4~55.0 (pg/mL)	指定の容器(PAP)に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離し、直ちに凍結保存してください。 &1

- ①「HCG-βサブユニット」、「HCG定性」、「HCG」、「HCG半定量」を併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。  
②同時に血液及び尿の両方の検体について測定した場合は、血液の場合の所定点数のみを算定する。

### [9247 8]抗ミュラー管ホルモン(AMH) (CLEIA)基準値

(単位: ng/mL)

女性	22 ~ 25歳	0.28 ~ 8.01
	26 ~ 30歳	0.29 ~ 12.2
	31 ~ 35歳	0.07 ~ 10.0
	36 ~ 40歳	9.23以下
	41 ~ 45歳	4.48以下

内分泌学的検査



# 内分泌学的検査

## 内分泌学的(その他)

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
9073 1 004220603 9039 9 004220602	アルドステロン [CLEIA]	血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	125 ※5	CLEIA	4.0 ~ 82.1 (pg/mL)	
		血清 0.5	S09 ↓ A00						
		蓄尿 1.5	A00	5~7	125 ※5				
A730 0 00422A423	4D115-0000-022-052 4D115-0000-023-052 4D115-0000-004-052	蓄尿 1.5	A00		5~7	125 ※5		1.0~19.3 (μg/day)	蓄尿剤として塩酸およびC-ペプチド安定化剤を使用しないでください。 &I
9040 7 004680603	レニン濃度(ARC)[CLEIA]	血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	105 ※5	CLEIA	2.21~39.5 (pg/mL)	&I
A719 3 00467A103	レニン活性(PRA)[EIA]	冷却遠心 血漿 0.7	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (14日)	3~5	100 ※5	EIA	臥位 0.2~2.3 座位 0.2~3.9 立位 0.2~4.1 (ng/mL/hr)	&1
B687 8 T00000270	アルドステロン[CLEIA]/ レニン濃度比	血漿 1.0	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	125 + 105 ※5	CLEIA	下記参照	基準値は、日本内分泌学会の「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」によるカットオフ値です。 &I
5527 1 T00000237	アルドステロン/ レニン濃度比	血漿 1.0	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	125 + 105 ※5	CLEIA	下記参照	基準値は、日本高血圧学会の「高血圧治療ガイドライン2019」によるカットオフ値です。濃度比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。 &I
B691 3 T00000271	アルドステロン[CLEIA]/ レニン活性比	冷却遠心 血漿 1.2	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (14日)	3~5	125 + 100 ※5	アルドステロン: CLEIA レニン活性: EIA	下記参照	基準値は、日本内分泌学会の「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」によるカットオフ値です。 &I
5551 4 T00000238	アルドステロン/ レニン活性比	冷却遠心 血漿 1.2	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (14日)	3~5	125 + 100 ※5	アルドステロン: CLEIA レニン活性: EIA	下記参照	基準値は、日本高血圧学会の「高血圧治療ガイドライン2019」によるカットオフ値です。活性比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。 &I

①「レニン活性」と「レニン濃度」を併せて行った場合は、一方の所定点数のみ算定する。

[9073 1、9039 9]アルドステロン[CLEIA]  
[9040 7]レニン濃度(ARC)[CLEIA]  
[5527 1]アルドステロン/レニン濃度比  
[5551 4]アルドステロン/レニン活性比  
の留意事項

- ・採血時間は午前が推奨されています。
- ・採血は座位で15分間安静後をお勧めいたします。
- ・冷蔵保存した場合、レニン濃度の上昇が認められます。

[B687 8]アルドステロン[CLEIA]/レニン濃度比  
[B691 3]アルドステロン[CLEIA]/レニン活性比  
の留意事項

- ・採血条件は早朝空腹時の安静臥位後が望ましいが、スクリーニングでは随時座位で行って良い、とされています。
- ・冷蔵保存した場合、レニン濃度の上昇が認められます。

[B687 8]アルドステロン[CLEIA]/レニン濃度比  
[B691 3]アルドステロン[CLEIA]/レニン活性比  
基準値

アルドステロン[CLEIA]	(pg/mL)	4.0 ~ 82.1
レニン濃度(ARC)[CLEIA]	(pg/mL)	2.21 ~ 39.5
レニン活性(PRA)[EIA]	(ng/mL/hr)	臥位 0.2 ~ 2.3 座位 0.2 ~ 3.9 立位 0.2 ~ 4.1
アルドステロン[CLEIA]/レニン濃度比		20未満
アルドステロン[CLEIA]/レニン活性比		100未満

※陽性判定は、濃度比 $\geq 40$ または活性比 $\geq 200$ かつ血漿アルドステロン濃度 $\geq 60$  pg/mLです。

ただし、「ARR境界域」の濃度比 $20 \sim 40$ 未満または活性比 $100 \sim 200$ 未満かつ血漿アルドステロン濃度 $\geq 60$  pg/mLの場合には、暫定的に陽性とされます。

※暫定的に陽性的の場合、患者ニーズと臨床所見、特に低カリウム血症や副腎腫瘍の有無、年齢などを考慮して、機能確認検査実施の可否を個別に検討する、とされています。

[5527 1]アルドステロン/レニン濃度比  
[5551 4]アルドステロン/レニン活性比  
基準値

アルドステロン[CLEIA]	(pg/mL)	4.0 ~ 82.1
レニン濃度(ARC)[CLEIA]	(pg/mL)	2.21 ~ 39.5
レニン活性(PRA)[EIA]	(ng/mL/hr)	臥位 0.2 ~ 2.3 座位 0.2 ~ 3.9 立位 0.2 ~ 4.1
アルドステロン/レニン濃度比		40以下
アルドステロン/レニン活性比		200以下

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
4035 8 01016A103	サイクリックAMP	冷却遠心 血漿 0.3	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	事前に ご確認 ください	170 ※5	RIA DCC法	11~21 (pmol/mL)	(蓄尿)トルエン1~2mLを入れて 冷暗所に24時間蓄尿し、よく混 和し必要量をご提出ください。	
		蓄尿 1	U00	凍結		170 ※5		1.8~6.3 (μmol/day)		&1
4033 0 011550603	ヒト心房性ナトリウム 利尿ペプチド(HANP)	速やかに冷却 遠心 血漿 0.5	PAP ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	① 221 ※5	CLEIA	43.0以下 (pg/mL)	溶 &I	
4263 5 016210603	ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド(BNP)	速やかに遠心 血漿 0.6	PN2, PN5 ↓ A00	凍結	1~2	①② 133 ※5	CLEIA	18.4以下 (pg/mL)	溶 採血後、冷蔵保存にて6時間以内に 血漿分離し、速やかに凍結保存し てください。	&I
P265 2 001300902	ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド前駆体 N端フラグメント (NT-proBNP)	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	①② 136 ※5	ECLIA	125以下 (pg/mL)	125pg/mLは心不全除外カット オフ値です。	
3171 8 011640602	エリスロポエチン	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	209 ※5	CLEIA	4.2~23.7 (mIU/mL)		&I
A220 6 018200902	オステオカルシン	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結	2~4	③ 157 ※5	ECLIA	閉経前女性 7.8~30.8 閉経後女性 14.2~54.8 男性 8.4~33.1 (ng/mL)	溶 &I	
E779 3 019860902	低カルボキシル化 オステオカルシン (ucOC)	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	154 ※5	ECLIA	4.50未満 (ng/mL)	溶 溶血でのご依頼は避けてください。	&1
3795 6 015060802	肝細胞増殖因子 (HGF)	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~8	227 ※4	ELISA	0.39以下 (ng/mL)		&1
A297 2 044020602	FGF23(CLEIA)	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~6	④ 788 ※4	CLEIA	19.9~52.9 (pg/mL)	トロンビン入り採血管は測定値に 影響を与える恐れがあるため使用 を避けてください。 FGF23関連低リン血症性くる病・ 骨軟化症のカットオフ値は30pg/ mL以上です。	&I
K221 5 020140702	アディポネクチン [LA]	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		ラテックス 免疫比濁法	4.0以上 (μg/mL)		&3
B607 6 004830802	レプチン(ELISA)	速やかに遠心 血漿 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	事前に ご確認 ください	⑤ 1000 ※6	ELISA	M 0.6~8.9 F 1.9~26.6 (ng/mL)	採血後、速やかに血清分離してくだ さい。 全身性脂肪萎縮症におけるカット オフ値は男性0.6ng/mL未満、女性 1.9ng/mL未満です。	&1
A514 0 044990902	sFlt-1/PIGF比	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~6	⑥⑦ 340 ※5	ECLIA	38.0以下		&I

内分泌学的検査

- ①「NT-proBNP」、「BNP」及び「HANP」のうち2項目以上をいずれかの検査を行った日から起算して1週間以内に併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
- ②心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に月に1回に限り算定する。
- ③「NTx」、「オステオカルシン」、「尿中DPD」、「TRACP-5b」を併せて実施した場合は、いずれか1つのみ算定する。
- ④FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症の診断時又は治療効果判定時に測定した場合に限り算定する。診断時においては1回を限度とし、その後は腫瘍性骨軟化症の場合には腫瘍摘出後に1回、薬剤性の場合には被疑薬中止後に1回を限度として算定する。
- ⑤脂肪萎縮、食欲亢進、インスリン抵抗性、糖尿病及び脂質異常症のいずれも有する患者に対して、全身性脂肪萎縮症の診断の補助を目的として測定した場合は、患者1人につき1回に限り算定する。
- ⑥本検査は、妊娠18週から36週未満の妊娠高血圧腎症が疑われる妊婦であって、以下のリスク因子のうちいずれか1つを有するものに対して実施した場合に、原則として一連の妊娠につき1回に限り算定できる。なお、リスク因子を2つ以上有する場合は、原則として算定できない。  
(イ)収縮期血圧が130mmHg以上又は拡張期血圧80mmHg以上  
(ロ)蛋白尿  
(ハ)妊娠高血圧腎症を疑う臨床症状又は検査所見  
(ニ)子宮内胎児発育遅延  
(ホ)子宮内胎児発育遅延を疑う検査所見
- ⑦本検査を算定する場合は、リスク因子のいずれかに該当するかを診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。また、妊娠高血圧腎症を疑う臨床症状又は検査所見、又は子宮内胎児発育遅延を疑う検査所見に該当する場合は、その医学的根拠を併せて記載すること。なお、医学的な必要性から、リスク因子を2つ以上有する妊婦において算定する場合、又は一連の妊娠につき2回以上算定する場合は、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

### [A514 0]sFlt-1/PIGF比 妊娠高血圧腎症(PE) 発症予測のカットオフ値(試薬添付文書より)

- sFlt-1/PIGF比 ≤ 38: 1週間以内のPEの非発症予測
- sFlt-1/PIGF比 > 38: 4週間以内のPEの発症予測

**PN2** **PN5** 旧容器記号 **C**

p27

EDTA-2Na入り  
(真空採血量  
2mLまたは5mL)  
内容  
EDTA-2Na  
3.0mgまたは  
7.5mg  
貯蔵方法 室温  
有効期間  
製造から 2年

**PAP** 旧容器記号 **D**

p12

EDTA-2Na+  
アプロチニン入り  
(真空採血量3mL)  
内容  
EDTA-2Na 3.75mg  
アプロチニン  
(1500単位)  
貯蔵方法 室温  
有効期間  
製造から 1年

# 腫瘍関連検査

## 腫瘍関連抗原

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
腫	P261 6 001090602	癌胎児性抗原 (CEA) 5D010-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	99 ※5 (腫2)	CLEIA	5.0以下 (ng/mL)	
	P262 5 001100602	α-フェトプロテイン定量 5D015-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	101 ※5 (腫2)	CLEIA	10.0以下 (ng/mL)	
瘍	3129 5 018590802	塩基性フェトプロテイン (BFP) 5D025-0000-023-023	血清 0.3	速やかに遠心 S7P ↓ A00	冷蔵	2~8	150 ※5 (腫2)	EIA	75未満 (ng/mL)	溶 採血後、2時間以内に血清分離して ください。 溶血でのご依頼は避けてください。&1
	A255 8 042591002	ヒト精巣上体タンパク4 (HE4) 5D110-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	200 ※5 (腫2)	CLIA	閉経前女性 70.0以下 閉経後女性 140以下 (pmol/L)	&I
関	P264 3 001150602	CA125 5D100-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	140 ※5 (腫2)	CLEIA	35.0以下 (U/mL)	
	3115 0 001140602	CA15-3 5D120-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	115 ※5 (腫2)	CLEIA	25.0以下 (U/mL)	&I
連	3116 9 010080802	BCA225 5D125-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	158 ※5 (腫2)	CLEIA	160未満 (U/mL)	&I
	P263 4 001120602	CA19-9 5D130-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	124 ※5 (腫2)	CLEIA	37.0以下 (U/mL)	
抗	3012 4 018500902	CA72-4 5D150-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	146 ※5 (腫2)	ECLIA	10.0以下 (U/mL)	&I
	3131 2 013342002	シアリルTn抗原(STN) 5D153-0000-023-005	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	146 ※5 (腫2)	RIA固相法	45以下 (U/mL)	&1
原	3448 1 021290802	CA54/61 5D155-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~7	184 ※5 (腫2)	ELISA	12以下 (U/mL)	&1
	3108 8 018230802	DUPAN-2 5D170-0000-023-023	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	118 ※5 (腫2)	EIA	150以下 (U/mL)	&1
原	3117 8 018152102	シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX) 5D175-0000-023-006	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	144 ※5 (腫2)	RIA固相法 (IRMA)	38以下 (U/mL)	溶 溶血でのご依頼は避けてください。 &1
	3065 6 015260802	シアリルLe <sup>x</sup> 抗原 (CSLEX) 5D177-0000-023-023	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~8	160 ※5 (腫2)	EIA	8.0未満 (U/mL)	&1
原	3114 1 018170802	NCC-ST-439 5D200-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	115 ※5 (腫2)	EIA	女性 49歳以下 7.0未満 50歳以上 4.5未満 男性 4.5未満 (U/mL)	&1
	3113 2 018682102	SPan-1 5D220-0000-023-006	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	144 ※5 (腫2)	RIA固相法 (IRMA)	30以下 (U/mL)	&1
原	3126 8 011501002	SCC 5D300-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	104 ※5 (腫2)	CLEIA	2.5以下 (ng/mL)	唾液・フケ・皮膚(表皮)・毛髪・爪 などの混入により高値傾向を示す場 合がありますので検体の取り扱いに は充分にご注意ください。 &I

(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(47ページ参照)

- ①「CEA」と「DUPAN-2」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②「CA125」、「CA602」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。  
 ③「CSLEX」、「CA15-3」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。

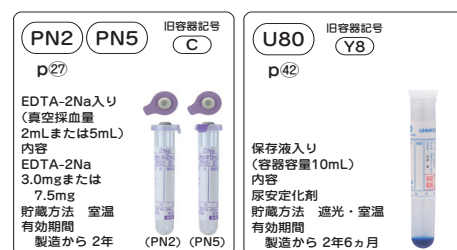
# 腫瘍関連検査

## 腫瘍関連抗原

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
P181 5 888790000	前立腺特異抗原 (PSA) 5D305-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 124 ※5 (腫2)	CLEIA	4.00以下 (ng/mL)	
A061 3 00523A102	PSA F/T比 5D308-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	150 ※5 (腫2)	CLEIA	25 (PSA4.00 ~ 10.0ng/mLにお けるカットオフ 値) (%)	本項目は、PSAとフリー PSAの測 定結果も併せてご報告いたします。 (基準値について) 25%はPSA4.00 ~ 10.0ng/mLに おける前立腺癌と非癌(前立腺肥大 症等)との判別に用いるカットオフ 値です。(低値ほど前立腺癌の確率 が高くなります。)
3121 3 017810802	γ-セミノプロテイン (γ-Sm) 5D310-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	194 ※5 (腫2)	CLEIA	4.0以下 (ng/mL)	(基準値について)4.0 ng/mLは良 性疾患との鑑別値です。
A210 7 012861002	TPA 5D320-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	4~6	110 ※5 (腫2)	CLIA	75未満 (U/L)	
3797 4 016050602	シフラ(CYFRA) (サイトケラチン 19フラグメント) 5D325-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	158 ※5 (腫2)	CLEIA	3.5以下 (ng/mL)	検体の混和・攪拌により低値傾向 を示す場合がありますので検体の 取り扱いにはご注意ください。
7874 4 014991402	5-S-システインルドーパ (5-S-CD) 5D350-0000-023-204	血清 1.0	S09 ↓ A00	凍結	3~7		HPLC	1.5~8.0 (nmol/L)	
3127 7 001160902	NSE (神経特異エノラーゼ) 5D410-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 142 ※5 (腫2)	ECLIA	16.3以下 (ng/mL)	採血後、1時間以内に血清分離し冷 蔵保存してください。 溶血でのご依頼は避けてください。 (溶血の場合、赤血球からNSEが逸 脱して高値となります。)
8608 8 001170902	PIVKA-II 5D520-0000-023-052 5D520-0000-022-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	135 ※5 (腫2)	CLEIA	40未満 (mAU/mL)	
4043 9 001170903		血漿 0.5	PN2、PN5 ↓ A00						
3664 1 016400603	ガストリン放出 ペプチド前駆体 (ProGRP) 5D550-0000-022-052	血漿 0.4	PN2、PN5 ↓ A00	凍結	2~4	② 175 ※5 (腫2)	CLEIA	81未満 (pg/mL)	
E821 5 019810802	血清抗p53抗体 5D560-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	163 ※5 (腫2)	CLEIA	1.30以下 (U/mL)	
4639 8 016370821	尿中核マトリックス プロテイン22 (NMP22) 5D570-0000-001-023	速やかに遠心 部分尿 5	U80	冷蔵 (21日)	2~4	143 ※5	ELISA	12.0未満 (U/mL)	検体採取後速やかに遠心し、その 上清を専用容器に入れてください。 凍結保存および他項目との重複依 頼は避けてください。
E871 0 019741002	血清 HER2タンパク 5D590-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	(腫2)	CLIA	15.2以下 (ng/mL)	
K440 2 020240602	可溶性メソテリン 関連ペプチド 5D600-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	4~10	220 ※5 (腫2)	CLEIA	1.5未満 (nmol/L)	

(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(47ページ参照)

- ① 診察、腫瘍マーカー以外の検査、画像診断等の結果から、前立腺癌の患者であることを強く疑われる者に対して検査を行った場合に、前立腺癌の診断の確定又は転帰の決定までの間に原則として、1回を限度として算定する。ただし、前立腺特異抗原(PSA)の検査結果が4.0ng/mL以上であって前立腺癌の確定診断がつかない場合においては、3月に1回に限り、3回を上限として算定できる。
- ② 「ProGRP」を「NSE」と併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。



腫瘍関連検査

# 腫瘍関連検査

## 腫瘍関連検査

### 腫瘍マーカー

腫瘍マーカーは、悪性腫瘍の患者であることが強く疑われる者に対して検査を行った場合に、悪性腫瘍の診断の確定又は転帰の決定までの間に1回を限度として算定する。

悪性腫瘍の診断が確定し、計画的な治療管理を開始した場合、当該治療管理中に行った腫瘍マーカーの検査の費用は特定疾患治療管理料の悪性腫瘍特異物質治療管理料に含まれ、腫瘍マーカーは、原則として、特定疾患治療管理料の悪性腫瘍特異物質治療管理料と同一月に併せて算定できない。

ただし、悪性腫瘍の診断が確定した場合であっても、次に掲げる場合においては、特定疾患治療管理料の悪性腫瘍特異物質治療管理料とは別に腫瘍マーカーの検査料を算定できる。

ア)急性及び慢性膵炎の診断及び経過観察のために「エラスターゼ1」を行った場合

イ)肝硬変、HBs抗原陽性の慢性肝炎又はHCV抗体陽性の慢性肝炎の患者について、「 $\alpha$ -フェトプロテイン(AFP)」、「PIVKA-II半定量」又は「PIVKA-II定量」を行った場合(月1回に限る。)

ウ)子宮内膜症の診断又は治療効果判定を目的として「CA125」又は「CA602」を行った場合(診断又は治療前及び治療後の各1回に限る。)

エ)家族性大腸腺腫症の患者に対して「癌胎児性抗原(CEA)」を行った場合

### 悪性腫瘍特異物質治療管理料

太文字は総合検査案内書掲載項目です。

測定方法	検査項目	悪性腫瘍特異物質治療管理料(同一患者月1回)	加算点(初回月)	
1.測定方法が一般的なもの [(腫1)で表示]	尿中BTA	220点		
2.測定方法が精密なもの [(腫2)で表示]	癌胎児性抗原(CEA) $\alpha$ -フェトプロテイン定量 SCC TPA NCC-ST-439 CA15-3 DUPAN-2 エラスターゼ1 前立腺特異抗原(PSA) CA19-9 PIVKA-II半定量 PIVKA-II CA125 NSE(神経特異エノラーゼ) 尿中核マトリックスプロテイン22(NMP22) 核マトリックスプロテイン22(NMP22)定性(尿) SPan-1 シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX) CA72-4 シアリルTn抗原(STN) 塩基性フェトプロテイン(BFP)	PSA F/T比 BCA225 シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント) サイトケラチン8・18(尿) シアリルLe <sup>x</sup> 抗原(CSLEX) 血清抗p53抗体 I型コラーゲンC末端テロペプチド(I CTP) ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP) CA54/61 癌関連ガラクトース転移酵素(GAT) CA602 $\alpha$ -フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%) 組織因子経路インヒビター-2(TFPI2) $\gamma$ -セミノプロテイン( $\gamma$ -Sm) ヒト精巢上体タンパク4(HE4) 可溶性メソテリン関連ペプチド プロステートヘルスインデックス(phi) 癌胎児性抗原(CEA)定性(乳頭分泌液) 癌胎児性抗原(CEA)半定量(乳頭分泌液) 血清 HER2タンパク 可溶性IL-2レセプター(sIL-2R)	1項目 360点 2項目以上 400点	150点

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス 感染症 検査	K4169 019100802	HBVゲノタイプ 5F015-1405-023-023	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	340 ※6	EIA		HBs抗原量の少ない検体は、判定保留となる場合があります。 &1
	A2387 00545A304	HBV DNA定量(IU) 5F015-1441-023-862	血清 1.8	S5F	凍結 (21日)	3~5	263 ※7	PCR (リアルタイムPCR)	検出せず (LogIU/mL)	他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	P0852	HBs抗原(定性) 5F016-1410-023-051-11	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	29	CLEIA	(-)	
	P0889	HBs抗体(定性) 5F016-1430-023-051-11	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	32	CLEIA	(-)	
	P2670	HBs抗原(HQ) 5F016-1410-023-051-32	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	88	CLEIA	0.005未満 (IU/mL)	本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	P0898	HBs抗体(定量) 5F016-1492-023-051-01	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	88	CLEIA	10.0未満 (mIU/mL)	(基準値について)B型肝炎ウイルス感染防御の最小HBs抗体価である10.0mIU/mLを基準に設定しています。
	34003 001063102	HBs抗体 5F016-1430-023-103	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	32 ※6	PHA	8未満 (倍)	&1

① B型肝炎の診断が確定した患者に対して、B型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者1人につき1回限り算定できる。

② 「HBcAg」と「HBV DNA定量」を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。

### [P2670]HBs抗原(HQ)について

#### 【HBV感染の診断】

B型肝炎ウイルス(HBV)感染の診断は、他の免疫測定法等と同じく、本製品による陽性または陰性の検査結果のみにより行わず、HBc抗体測定、HBV-DNA定量検査等、他の検査結果および臨床経過を考慮して総合的に判断してください。特に下記の場合は使用方法にご留意ください。

#### 1.健康診断時のスクリーニング検査

できるだけ検出感度の高いEIA法／化学発光法などを用いた検出試薬を使用し、イムノクロマト法や凝集法で検出感度の低い検出試薬の使用にあたっては、充分にご留意ください。

#### 2.緊急検査

緊急対応として実施される迅速・簡便な検出試薬において陰性と判定された場合でも、必要に応じてさらに検出感度の高い検出試薬で再検査をすることをお勧めいたします。

#### 3.B型肝炎と診断された患者の経過観察検査

EIA法／化学発光法、凝集法、イムノクロマト法等いずれの方法を用いた検出試薬でも使用できますが、陰性化した場合はより検出感度の高い方法で確認することをお勧めいたします。

(注)HBV感染直後はウイルス量が極めて少なく、どのような高感度の検出試薬を用いてもウイルスを確認できません。この時期は「ウインドウ(空白)期間」と呼ばれており、ウインドウ時に採取された血液では、HBs抗原は必ず検出されとは限りません。

#### 【性能】

感度 0.005 IU/mL以上



# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス感染症検査	K130 6 019920602	B型肝炎ウイルス コア関連抗原 (HBcrAg) 5F020-1410-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~5	①② 259 ※6	CLEIA	3.0未満 (LogU/mL)	&E
	A059 6 005510602	HBc抗体(IgG) 5F018-1430-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 133 ※6	CLEIA	C.O.I. 1.0未満	☒ &I
	1238 6 019461002	IgM-HBc抗体 5F018-1432-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 146 ※6	CLIA	S/CO 1.00未満	☒ &I
	3438 2 017103102	HBc抗体 5F018-1430-023-103	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 133 ※6	PHA	陰性(64未満) (倍)	&I
	1416 8 005540602	HBe抗原 5F019-1410-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	101 ※6	CLEIA	C.O.I. 1.0未満	☒ &I
	1227 8 005550602	HBe抗体 5F019-1430-023-052	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	101 ※6	CLEIA	INHIBITION 60未満 (%)	☒ &I

- ①「HBcrAg」と「HBV DNA定量」を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②HBV感染の診断の補助及び治療効果の判定の目的で測定した場合に1月に1回に限り算定する。  
 ③「HBc抗体」と「IgM-HBc抗体」を同時に測定した場合は、一方の所定点数を算定する。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス 感染症 検査	E661 3 019771002	HA抗体 5F350-1430-023-051	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	146 ※6	CLIA	下記参照	☒ IgG型を測定しています。 &I
	E664 0 019761002	IgM-HA抗体 5F350-1432-023-051	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	146 ※6	CLIA	下記参照	&I
	P083 4 001081002	HCV抗体(第3世代) 5F360-1518-023-052	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	105 ※6	CLEIA	1.0未満 (-) (COI)	☒ 不活化(非動化)検体は偽陽性を呈 する場合がありますので避けてく ださい。
	3435 5 016580802	HCV群別(グルーピング) 5F360-1406-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	221 ※6	CLEIA	(グループ)	☒ 不活化(非動化)検体は、判定に影 響を及ぼす場合がありますので避 けてください。 &I
	6574 8 016767504	HCV RNA コアジェノタイプ 5F360-1405-023-867	血清 0.5	S3F S5F	凍結 (3ヵ月)	3~5		RT-PCR	検出せず	☒ 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。&1
8791 5 015259104	HCV RNA 1b(NS5A) 5F363-1450-023-848	血清 0.5	S3F S5F	凍結 (3ヵ月)	10~14		サンガー法	AA2209-2248 検出せず (変異数)	☒ HCV ジェノタイプが1b型のみ検 査対象です。他項目との重複依頼 は避けてください。本検査方法で はコンタミネーションの影響がよ り大きくなりますので、検体採取 にあたっては取り扱いに充分ご注 意ください。&1	

①「HA抗体」と「IgM-HA抗体」を同時に測定した場合は、一方の所定点数のみを算定する。

②C型肝炎の診断が確定した患者に対して、C型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定できる。

### 肝炎ウイルス項目の判定基準

検査項目		陰性	保留	陽性
HA抗体(CLIA)	S/CO	1.00未満		1.00以上
IgM-HA抗体(CLIA)	S/CO	0.80未満	0.80 ~ 1.20	1.21以上

### [P083 4]HCV抗体(第3世代)について

本検査に用いている試薬の添付文書には重要な基本的注意点として、「C型肝炎ウイルス(HCV)感染の診断は、本製品による検査結果のみで行わず、HCV-RNA測定など、他の検査結果および臨床経過を考慮して総合的に判断すること。」が記載されております。



# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考		
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	E660 4 019782804	HCV RNA定量 5F360-1453-023-875	血清 1.8	S5F	凍結 (21日)	3~5	① 424 ※7	RT-PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (Log IU/mL)	他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
	6234 5 017050602	HCV抗原(コア蛋白質) 5F360-1500-023-051	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	105 ※6	CLIA	3.0未満 (定量下限値) (fmol/L)	&I	
	A029 9 030209104	HCV DCV耐性変異 (L31/Y93) 5F363-1450-023-899	血清 0.5	S3F S5F	凍結 (21日)	10~14		ダイレクト シーケンス法 および Cycleave PCR法		HCVジェノタイプが1b型のみ検査対象です。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
		HCV 薬剤耐性変異 NS3-D168 5F362-1450-023-848	血清 0.5	S3F S5F	凍結 (21日)	10~14		ダイレクト シーケンス法		HCVジェノタイプが1b型のみ検査対象ですが、HCVジェノタイプが1b型以外の型でも解析結果が得られる場合があります。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
		HCV NS5B-S282変異 5F358-1450-023-848	血清 0.5	S3F S5F	凍結 (21日)	事前にご確認ください		ダイレクト シーケンス法		他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
	K568 1 020690802	IgA-HEV抗体(定性) 5F370-1433-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~5	210 ※6	EIA	陰性	&1	
	3501 1 022090802	ヒトパルボウイルス B19 IgG 5F011-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 206 ※6	EIA	0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	固相法	&1
	3502 0 022100802	ヒトパルボウイルス B19 IgM 5F011-1432-023-023								捕捉法	&1
8522 3 020306302	ヒトパルボウイルス B19DNA 定性 5F011-1440-023-851	血清 0.7	S09 ↓ ARR	凍結 (3ヵ月)	3~5		PCR	陰性	他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1		

①治療経過の観察の場合において、「HCV核酸検出」及び「HCV核酸定量」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価(72ページ)を参照ください。

### [3501 1, 3502 0]ヒトパルボウイルスB19 (判定基準)

判定	抗体指数
-	0.80未満
±	0.80 ~ 0.99
+	1.00以上

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス 感染症 検査	A011 8 601702462	ヒトパピローマ ウイルスDNA (16型、18型、 その他ハイリスクグループ)	子宮頸部 3.0	V41	室温	2~4	①② 352 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	HPV16型 HPV18型 その他ハイリス クグループ	陰性 陰性 陰性 陰性 ① 測定対象は16型、18型、その他ハイ リスクグループ(31、33、35、 39、45、51、52、56、58、59、 68型および66型)です。「その他のハ イリスクグループ」については、型 別の判定ではありません。検体に血 液が混入していると、データに影響 を及ぼす場合がありますのでご注意 ください。本検査方法ではコンタミ ネーションの影響がより大きくなり ますので、検体採取にあたっては取り 扱いに充分ご注意ください。 &I
	6644 0 601295754	ヒトパピローマ ウイルスDNA (ハイリスクグループ)	組織 250mg 患部 ぬぐい液	V60	凍結 (3ヵ月)	3~5	①② 350 ※7 ①②④ 350 ※7	液相(核酸) ハイブリタイ ゼーション	陰性	測定対象は16、18、31、33、35、 39、45、51、52、56、58、59、 68型です。 ただし型別の判定ではありません。 &1
	E188 9 601515762	ヒトパピローマ ウイルスDNA (ハイリスクグループ) (LBC)	子宮頸部 腔内容 子宮腔部	V41	室温 (1ヵ月)	3~5	①② 350 ※7 ①② 350 ※7	液相(核酸) ハイブリタイ ゼーション	陰性	測定対象は16、18、31、33、35、 39、45、51、52、56、58、59、 68型です。ただし、型別の判定で はありません。細胞診検査(V41: ThinPrep容器)との同時依頼も可 能ですが、その際、細胞診の所要 日数が1~2日遅れます。 &1
	A017 2 02019A159	ヒトパピローマ ウイルス(HPV) ジェノタイプ判定	子宮頸部	V41	室温 (28日)	4~6	③ 2000 ※7	PCR-rSSO法	陰性	① 検出可能な型は16、18、31、33、35、 39、45、51、52、56、58、59、68型です。 本検査はあらかじめ組織診断によりCIN1ま たはCIN2と診断された患者から採取された 検体を専用容器V41でご提出ください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 &1
	6645 9 601305754	ヒトパピローマ ウイルスDNA (ローリスクグループ)	組織 250mg 患部 ぬぐい液	V60	凍結 (3ヵ月)	4~10		液相(核酸) ハイブリタイ ゼーション	陰性	測定対象は6、11、42、43、44型です。 ただし型別の判定ではありません。 &1

- ①「HPV核酸検出」を「HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)」と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
- ② 予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上ASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された患者又は過去に子宮頸部円錐切除若しくはレーザー照射治療を行った患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、過去に子宮頸部円錐切除又はレーザー照射治療を行った患者以外の患者については、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。
- ③ あらかじめ行われた組織診断の結果、CIN1又はCIN2と判定された患者に対し、治療方針の決定を目的として、ハイリスク型HPVのそれぞれの有無を確認した場合に算定する。

[A011 8]ヒトパピローマウイルスDNA(16型、18型、その他ハイリスクグループ) について  
[A017 2]ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定

[K968 7] 細胞診(婦人科LBC)または[L455 5] 細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)との同時依頼のみ可能ですが、その際、細胞診の所要日数が1~2日遅れます。



# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード		検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
ウイルス 感染症 検査	2426 6 00562A102	アデノウイルス 5F150-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	6635 0 0210663F2	アデノウイルスDNA 定性  5F150-1440-066-851 5F150-1440-001-851 5F150-1440-015-851	結膜 ぬぐい液  部分尿 0.7  糞便 500mg	ARR  F00	凍結 (3ヵ月)  凍結 (1ヵ月)	3~9		PCR	陰性	測定対象は1、2、3、4、5、6、7、8、11、19、37型です。ただし型判定は実施できません。結膜ぬぐい液：患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスビツ（ARR）に入れ、そのまま凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。&I
	6119 3 013255502	1型 5F151-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT)
	6120 1 013265502	2型 5F152-1430-023-151								
	6121 0 013275502	3型 5F153-1430-023-151								
	6122 9 013285502	4型 5F154-1430-023-151								
	6123 8 013295502	5型 5F155-1430-023-151								
	6124 7 013305502	6型 5F156-1430-023-151								
	6125 6 013315502	7型 5F157-1430-023-151								
	6126 5 013455502	8型 5F158-1430-023-151								
	6127 4 017755502	11型 5F161-1430-023-151								
	6128 3 013325502	19型 5F169-1430-023-151								
	6112 0 015865502	21型 5F171-1430-023-151								
	6129 2 018475502	37型 5F177-1430-023-151								

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

\*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。  
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

\*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。  
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス感染症検査	6821 3 018167454	単純ヘルペスウイルス 特異抗原 5F190-1420-094-161	塗抹標本 2枚	V30	凍結	2~4	180 ※6	FA	単純ヘルペスウイルス 1型抗原(FA) 陰性 単純ヘルペスウイルス 2型抗原(FA) 陰性	塗抹標本の採取方法は45ページを ご参照ください。 &1
	2429 3 00579A102	単純ヘルペスウイルス 5F190-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	6179 7 017900802	単純ヘルペスウイルス IgG 5F190-1431-023-023 5F190-1431-041-023	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 206 ※6	EIA	2.0未満 陰性 判定基準:下記参照	固相法 同時期の髄液と血清の双方を同時 測定することにより、髄液中の局 所産生抗体の証明が可能です。 &1
	6679 2 017900829		髄液 0.4	A00					② 206 ※6	
	6181 4 017910802	単純ヘルペスウイルス IgM 5F190-1432-023-023	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 206 ※6	EIA	0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*捕捉法) &1

① ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

② グロブリンクラス別ウイルス抗体価(72ページ)を参照ください。

\*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

\*捕捉法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.80未満 陰性

[6181 4]単純ヘルペスウイルスIgM  
[6179 7、6679 2]単純ヘルペスウイルスIgG の判定基準

判定	IgM (抗体指数)	IgG(EIA値)	
		血清	髄液
-	0.80未満	2.0未満	0.20未満
±	0.80 ~ 1.20	2.0 ~ 3.9	0.20 ~ 0.39
+	1.21以上	4.0以上	0.40以上



# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス 検査	6828 6 018336301 6827 7 018336329	単純ヘルペスウイルス DNA 定性	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)	3~5	PCR	陰性	<b>重</b> 血液:凍結保存は避けてください。 患部ぬぐい液:患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスビツ(Arr)に入れ、そのまま凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
	6839 4 018336354	5F190-1440-019-851 5F190-1440-041-851 5F190-1440-064-851 5F190-1440-070-851	患部 ぬぐい液	ARR	凍結 (3ヵ月)					
			組織 50mg							
ウイルス 検査	1419 5 018332401	単純ヘルペスウイルス DNA定量	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	PCR (リアルタイム PCR)	2.0×10 <sup>1</sup> 未満 (コピー /10 <sup>6</sup> cells)	<b>重</b> 血液:凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
	8503 1 018332429	5F190-1441-041-862 5F190-1441-041-862	髄液 0.7	ARR	凍結 (1ヵ月)			1.0×10 <sup>2</sup> 未満 (コピー /mL)		
	6084 2 011745502	単純ヘルペスウイルス1型 5F191-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	6~12	79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT) 1型、2型間には抗原交差性があります。 &1
	6085 1 011755502	単純ヘルペスウイルス2型 5F192-1430-023-151								
A311 5 044461502	単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵 (15日)	3~5	206 ※6	FIA	0.9未満 (AI) 判定基準:下記参照	&1	

- ①免疫不全状態であって、単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染症が強く疑われる患者を対象としてリアルタイムPCR法により測定した場合に、一連として1回のみ算定できる。  
 ②ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。  
 ③グロブリンクラス別ウイルス抗体価(72ページ)を参照ください。

\*NT(中和反応):細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。  
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

### [A311 5]単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgGの判定基準

判定	HSV-1型(抗体価*)	HSV-2型(抗体価*)
陰性(-)	0.9未満:陰性(-)	0.9未満:陰性(-)
判定保留(±)	0.9未満:陰性(-)	0.9~1.0:判定保留(±)
	0.9~1.0:判定保留(±)	0.9未満:陰性(-)
陽性(+)	0.9~1.0:判定保留(±)	0.9~1.0:判定保留(±)
	0.9未満:陰性(-)	1.1以上:陽性(+)
	1.1以上:陽性(+)	0.9未満:陰性(-)
		0.9~1.0:判定保留(±)
		1.1以上:陽性(+)

※メーカー設定した抗体価。単位はAI(Antibody Index)

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス感染症検査	6824 0 013917454	水痘・帯状疱疹 ウイルス抗原 5F193-1410-094-161	塗抹標本 2枚	V30	凍結 (安定性)	2~4	227 ※6	FA	陰性	塗抹標本の採取方法は④5ページを ご参照ください。 &1
	6000 4 00589A102	水痘・帯状疱疹 ウイルス 5F193-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	6171 5 017860802	水痘・帯状疱疹 ウイルス IgG 5F193-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 206 ※6	EIA	2.0未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*固相法) &1
	6173 3 017870802	水痘・帯状疱疹 ウイルス IgM 5F193-1432-023-023							0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*捕捉法) &1
	6836 7 021076301	水痘・帯状疱疹 ウイルスDNA 定性  5F193-1440-064-851 5F193-1440-019-851 5F193-1440-041-851	患部 ぬぐい液	ARR	凍結 (3ヵ月)	3~5		PCR	陰性	⚠ 血液:凍結保存は避けてください。 患部ぬぐい液:患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスビツ(Arr)に入れ、そのまま凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	6837 6 021076329		血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)					
		髄液 0.7	ARR	凍結 (3ヵ月)						

- ① ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。  
② グロブリンクラス別ウイルス抗体価(72ページ)を参照ください。

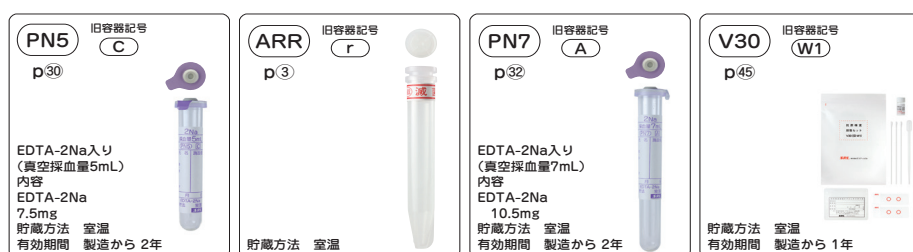
\*固相法: 髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.20未満 陰性

\*捕捉法: 髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.80未満 陰性

\*CF(補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。  
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

### [6171 5、6173 3]水痘・帯状疱疹ウイルスの判定基準

判定	IgG(EIA値)	IgM(抗体指数)
-	2.0未満	0.80未満
±	2.0~3.9	0.80~1.20
+	4.0以上	1.21以上



# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウ	6735 9 015033701	<b>曜日指定</b> サイトメガロウイルス pp65抗原(C10, C11) 5F194-1421-019-173	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	2~4	366 ※6	間接酵素抗体法	陰性	<b>凍</b> 凍結保存は避けてください。受託 可能日は月~金曜日です。 血液は採血後、速やかにご提出く ださい。採血後24時間以内の血液 を使用しない場合、検出率の低下 が認められます。 &1
	6745 8 014883701	<b>曜日指定</b> サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP) 5F194-1422-019-174	血液 3.0 (EDTA-2Na加)	PN5	室温	2~4	366 ※6	直接酵素抗体法	陰性	受託可能日は月~金曜日です。 血液は採血後、速やかにご提出く ださい。採血後24時間以内の血液 を使用しない場合、検出率の低下 が認められます。 &1
イ	A002 8 00597A202	サイトメガロウイルス 5F194-1430-023-141	<b>速やかに遠心</b> 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	①② 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	B128 8 00598A102	サイトメガロウイルス IgG 5F194-1431-023-051	血清 各 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	②③ 206 ※6	CLIA	6.0未満 陰性 (AU/mL)	下記参照 (判定基準は、案内書欄外に記載) &I
B113 4 00599A202	サイトメガロウイルス IgM 5F194-1432-023-051					②③ 206 ※6	0.85未満 陰性 (Index)			
ル	6830 3 018346301	サイトメガロウイルス DNA 定性	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)	3~5	PCR	陰性	<b>重</b> 血液:凍結保存は避けてください。 患部ぬぐい液:患部をぬぐった滅 菌綿棒を1mLのPBSまたは生理 食塩水が入った滅菌ポリスビツ (ARR)に入れ、そのまま凍結保存 してください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1	
	6832 1 018346329		髄液 0.7	ARR	<b>凍結</b> (3ヵ月)					
	6831 2 018346321		患部 ぬぐい液							
	6658 5 018346354		部分尿 0.7							
ス	A094 7 04279A121	サイトメガロウイルス 核酸検出(新生児尿) 5F194-1440-001-890	部分尿 0.2	ARR	<b>凍結</b> (42日)	3~9	②④ 825 ※7	等温核酸 増幅法	陰性	<b>重</b> 生後3週間以内に採取された新生児 尿をご提出ください。他項目との 重複依頼は避けてください。本検 査方法ではコンタミネーション(便 を含む)の影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1
		サイトメガロウイルス 核酸定量 5F194-1441-022-862	血漿 1.8	PSF	<b>凍結</b> (84日)	2~4	450 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (IU/mL)	<b>重</b> 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1

① ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

② 先天性サイトメガロウイルス感染の診断を目的として「サイトメガロウイルス 核酸検出(新生児尿)」、「サイトメガロウイルス IgG」、「サイトメガロウイルス IgM」、「サイトメガロウイルス」を併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。

③ グロブリンクラス別ウイルス抗体価(72ページ)を参照ください。

④ 先天性サイトメガロウイルス感染の診断を目的として、尿を検体として測定した場合に1回に限り算定できる。

\*CF(補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍(髄液の測定も可能) 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

### [B128 8、B113 4] サイトメガロウイルスの判定基準

判 定	IgG(AU/mL)	IgM(Index)
陰性	6.0未満	0.85未満
判定保留		0.85 ~ 1.00未満※2
陽性	6.0以上※1	1.00以上

※1: 6.0~15.0AU/mLの結果値の際には、適切な期間(例:2週間)内に再採取し再検査をお勧めします。

※2: 判定保留の際には、適切な期間(例:2週間)内に再採取し再検査をお勧めします。

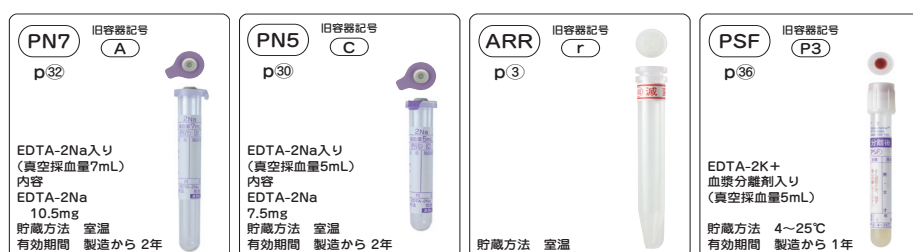


項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス 感染症検査	EBウイルスDNA 定量	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (28日)	2~4	1 2 3 4 5 6 7 310 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (Log IU/mL)	Ⓜ 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
		5F201-1441-019-862 5F201-1441-022-862	PN5 ↓ ARR							
	77493 015907601	EBウイルスDNA (クロナリティ)	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (10日)	17~23		サザンブロット ハイブリダイ ゼーション		血液:凍結保存は避けてください。化学療法などにより細胞数が減少している場合は、必要量のDNAが抽出できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。ホルマリンなどにより固定した組織は、高分子DNAが得られないため、サザンブロットハイブリダイゼーションによる解析は不可能です。本法では、ウイルスDNA数が少ないと、EBV DNAが検出されない場合があります。 &1
			5F201-1440-019-831 5F201-1440-070-831	組織 250mg						

- 臓器移植後の患者については、移植後3月以内の場合は1週に1回、移植後1年以内の場合は1月に1回に限り算定する。ただし、移植後1年以内にEBウイルス核酸定量の測定を行い、核酸量の高値が認められた患者については、移植後1年以上経過した場合も、3月に1回に限り算定できる。
- 造血幹細胞移植後の患者であって、HLA型不一致の移植が行われた患者又は移植に伴い抗胸腺細胞グロブリンが投与された患者については、移植後3月以内の場合は1週に1回、移植後1年以内の場合は1月に1回に限り算定する。
- 臓器移植後の急性拒絶反応又は造血幹細胞移植後の急性移植片対宿主病に対して抗胸腺細胞グロブリンが投与された患者については、抗胸腺細胞グロブリンの投与開始日から起算して2月以内の場合は1週に1回、6月以内の場合は1月に1回に限り算定する。
- 移植後リンパ増殖性疾患を疑う患者に対して、当該疾患の診断の補助又は診断された後の経過観察を目的として実施する場合に算定する。ただし、経過観察を目的とする場合は、当該疾患と診断された日から起算して1月以内の場合は1週に1回、6月以内の場合は1月に1回に限り算定する。
- 悪性リンパ腫又は白血病の患者に対して、EBウイルス陽性の確認又は確認された後の経過観察を目的として実施する場合に算定する。ただし、経過観察を目的とする場合は、悪性リンパ腫又は白血病と診断された日から1年以内に限り、1月に1回に限り算定する。
- 再生不良性貧血の患者であって、抗胸腺細胞グロブリンが投与された患者については、抗胸腺細胞グロブリンの投与開始日から起算して2月以内の場合は1週に1回、6月以内の場合は1月に1回に限り算定する。
- 慢性活動性EBウイルス感染症を疑う患者に対して、当該疾患の診断の補助又は診断された後の経過観察を目的として実施された場合は、1月に1回に限り算定する。

### EBウイルスDNA(クロナリティ)について

同時に複数検体をご依頼いただく場合は、所要日数が変動する場合がございます。あらかじめご了承ください。



# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	6159 9 015990802	抗VCA IgG 5F202-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	① 206 ※6	EIA	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1	
	6141 8 015991502	抗VCA IgG 5F202-1431-023-162					FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍	&1
	6158 0 016000802	抗VCA IgM 5F202-1432-023-023					EIA	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1	
	6142 7 016001502	抗VCA IgM 5F202-1432-023-162					FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍	&1
	6143 6 011871502	抗VCA IgA 5F202-1433-023-162					FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍	&1
	6751 1 016020802	抗EA IgG 5F203-1431-023-023					EIA	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1	
	6144 5 011881502	抗EA-DR IgG 5F203-1431-023-162					FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍	&1
	6145 4 011891502	抗EA-DR IgA 5F203-1433-023-162					FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍	&1
	6146 3 011901502	抗EBNA 5F204-1430-023-162					FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍	&1
	6160 7 016010802	抗EBNA IgG 5F204-1431-023-023					EIA	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1	

①グロブリンクラス別ウイルス抗体価(72ページ)を参照ください。  
②ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

[6159 9]EBウイルス 抗VCA IgG  
[6158 0]EBウイルス 抗VCA IgM  
[6751 1]EBウイルス 抗EA IgG  
[6160 7]EBウイルス 抗EBNA IgG  
の判定基準

判 定	抗体指数
-	0.5未満
±	0.5 ~ 0.9
+	1.0以上

# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考					
ウイルス感染症検査	6060 8 020256301	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)	3~9		PCR	陰性	<b>重</b> 血液:凍結保存は避けてください。 患部ぬぐい液:患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスピッツ (ARR)に入れ、そのまま凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。					
	4996 2 020256302	血清 0.7	S09 ↓ ARR											
	K131 5 020256329	髄液 0.7	ARR	凍結 (3ヵ月)										
	5F210-1440-019-851 5F210-1440-023-851 5F210-1440-041-851 5F210-1440-085-851 5F210-1440-070-851	患部 ぬぐい液	ARR											
	6664 8 020256354	組織 50mg	ARR											
	6646 8 015546301	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)						3~9		PCR	陰性	<b>重</b> 血液:凍結保存は避けてください。 患部ぬぐい液:患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスピッツ (ARR)に入れ、そのまま凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	K079 4 015546329	血清 0.7	S09 ↓ ARR											
	5F211-1440-019-851 5F211-1440-023-851 5F211-1440-041-851 5F211-1440-085-851 5F211-1440-070-851	患部 ぬぐい液	ARR	凍結 (3ヵ月)										
組織 50mg	ARR													

ウイルス感染症検査



# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考								
6117 5 011865502	エンテロウイルス 70型 5F270-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	6~12		NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT)								
										6118 4 011855502	エンテロウイルス 71型 5F271-1430-023-151						
6089 7 017985502	A群2型 5F282-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT)								
6090 5 017995502	A群3型 5F283-1430-023-151																
6091 4 018625502	A群4型 5F284-1430-023-151																
6092 3 018635502	A群5型 5F285-1430-023-151																
6093 2 018645502	A群6型 5F286-1430-023-151																
6094 1 013035502	A群7型 5F287-1430-023-151																
6095 0 011475502	A群9型 5F289-1430-023-151																
9265 8 00637A102	A群9型 5F289-1430-023-141									速やかに遠心			4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)	下記参照(*CF)	
6096 9 018005502	A群10型 5F290-1430-023-151									血清 各 0.2			7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT)
6097 8 011845502	A群16型 5F296-1430-023-151																

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

\*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。  
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

\*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。  
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	6098 7 011495502	B群1型 5F301-1430-023-151	血清 0.2	S09 ↓ A00 冷蔵	7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満  (倍)	下記参照(*NT) &1
	9267 6 00640A102	B群1型 5F301-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3		4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)		下記参照(*CF) &E
	6099 6 013045502	B群2型 5F302-1430-023-151	血清 0.2		7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)		下記参照(*NT) &1
	A326 9 00641A102	B群2型 5F302-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3		4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)		下記参照(*CF) &E
	6100 3 011515502	B群3型 5F303-1430-023-151	血清 0.2		7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)		下記参照(*NT) &1
	9270 2 00642A102	B群3型 5F303-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3		4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)		下記参照(*CF) &E
	6101 2 013055502	B群4型 5F304-1430-023-151	血清 0.2		7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)		下記参照(*NT) &1
	A329 6 00643A102	B群4型 5F304-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3		4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)		下記参照(*CF) &E
	6102 1 013065502	B群5型 5F305-1430-023-151	血清 0.2		7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)		下記参照(*NT) &1
	A332 2 00644A102	B群5型 5F305-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3		4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)		下記参照(*CF) &E
	6103 0 013075502	B群6型 5F306-1430-023-151	血清 0.2		7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)		下記参照(*NT) &1
	A335 9 00645A102	B群6型 5F306-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3		4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)		下記参照(*CF) &E

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

\*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。  
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

\*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。  
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

ウイルス感染症検査

# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考							
ウイルス 感染症 検査	61049 013085502	1型 5F311-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~11	NT (中和反応)	4未満	(倍) 下記参照(*NT)							
	61058 011585502	3型 5F313-1430-023-151								① 79 ※6						
	61067 013095502	4型 5F314-1430-023-151								① 79 ※6						
	61300 021425502	5型 5F315-1430-023-151								① 79 ※6						
	61076 013105502	6型 5F316-1430-023-151								① 79 ※6						
	61085 011595502	7型 5F317-1430-023-151								① 79 ※6						
	61094 013115502	9型 5F319-1430-023-151								① 79 ※6						
	61319 011625502	11型 5F321-1430-023-151								① 79 ※6						
	61382 011635502	12型 5F322-1430-023-151								① 79 ※6						

&1

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

\*NT(中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。  
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

ウイルス感染症検査

# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス 感染症 検査	61102 013125502	13型 5F323-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~11	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満  (倍)	下記参照(*NT)
	61391 021505502	14型 5F324-1430-023-151				7~13	① 79 ※6			
	61111 018465502	16型 5F326-1430-023-151				5~11	① 79 ※6			
	61139 013135502	17型 5F327-1430-023-151				7~11	① 79 ※6			
	61148 018455502	18型 5F328-1430-023-151				5~11	① 79 ※6			
	61328 021465502	19型 5F329-1430-023-151				7~13	① 79 ※6			
	61409 021515502	21型 5F331-1430-023-151					① 79 ※6			
61337 021455502	エコーウイルス 22型 (パレコウイルス1型) 5F332-1430-023-151	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満  (倍)	下記参照(*NT)	
61346 021495502	24型 5F334-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満  (倍)	下記参照(*NT)	
61157 013145502	25型 5F335-1430-023-151				7~11	① 79 ※6				
61166 013465502	30型 5F340-1430-023-151					① 79 ※6				

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

\*NT(中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。  
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍

ウイルス感染症検査

# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス感染症検査	6041 9 011462902	日本脳炎ウイルス (JaGAr株) 5F385-1430-023-111	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	4~7	① 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	ジャガー 10未満 ジャガー-2ME 10未満 (倍)	下記参照(*HI) &1
	9217 1 00678A102	日本脳炎ウイルス 5F385-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	6045 5 011762902	風疹ウイルス 5F395-1430-023-111	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	8未満 (倍)	下記参照(*HI) &1
	6187 8 017920802	風疹ウイルス IgG 5F395-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 206 ※6	EIA	2.0未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*固相法) &1
	6189 6 017930802	風疹ウイルス IgM 5F395-1432-023-023					② 206 ※6	EIA	0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*捕捉法) &1

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価(72ページ)を参照ください。

\*固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.20未満 陰性

\*捕捉法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.80未満 陰性

\*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、  
抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。  
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

\*HI(赤血球凝集抑制反応)：

- ・日本脳炎ウイルス(JaGAr株)：出発希釈 10倍(髄液の測定も可能です 検体量 1.0mL(冷蔵) 基準値 10倍未満 出発希釈 10倍)
- ・風疹ウイルス：出発希釈 8倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

### [6187 8、6189 6]風疹ウイルスの判定基準

判定	IgG(EIA値)	IgM(抗体指数)
-	2.0未満	0.80未満
±	2.0 ~ 3.9	0.80 ~ 1.20
+	4.0以上	1.21以上



# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考			
ウイルス 感 染 症 検 査	6056 3 011322902	A型 (H1N1)(H3N2) 5F400-1430-023-111	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	①② 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	A型(H1N1) 10未満 A型(H3N2) 10未満 (倍)	検査結果はWHO方式の血清希釈倍 数で表示しています。 下記参照(*HI)	&1		
	0386 3 00687A302	A型 5F400-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3				4~6	①② 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF)	&E
	6057 2 011332902	B型 5F410-1430-023-111	血清 0.2				3~5	①② 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	B-1 10未満 B-2 10未満 (倍)	検査結果はWHO方式の血清希釈倍 数で表示しています。 下記参照(*HI)	&1
	0406 0 00688A202	B型 5F410-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3				4~6	①② 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF)	&E
	6052 7 011652902	パラインフルエンザ ウイルス 1型 5F421-1430-023-111	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	② 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	10未満 (倍)	検査結果はWHO方式の血清希釈倍 数で表示しています。 下記参照(*HI)	&1	
	6053 6 011682902	パラインフルエンザ ウイルス 2型 5F422-1430-023-111										
	6054 5 011712902	パラインフルエンザ ウイルス 3型 5F423-1430-023-111										
	9290 0 00695A102	RSウイルス	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	② 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF)	&E	
6081 5 011525502	5F430-1430-023-141 5F430-1430-023-151	血清 0.2	7~11									② 79 ※6

①「インフルエンザウイルスA型」若しくは「インフルエンザウイルスB型」又は「インフルエンザウイルス抗原定性」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

②ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

\*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。  
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

\*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。  
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

\*HI(赤血球凝集抑制反応)：出発希釈 10倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 10倍未満 出発希釈 10倍)

ウイルス感染症検査

# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
ウイルス感染症検査	6082 4 011575502 麻疹ウイルス 5F431-1430-023-151	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~11	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT)  &1
	6183 2 017960802 麻疹ウイルス IgG 5F431-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 206 ※6	EIA	2.0未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*固相法)  &1
	6185 0 017970802 麻疹ウイルス IgM 5F431-1432-023-023							0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*捕捉法)  &1

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価(72ページ)を参照ください。

\*固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.20未満 陰性

\*捕捉法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.80未満 陰性

\*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。  
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

### [6183 2、6185 0]麻疹ウイルスの判定基準

判定	IgG(EIA値)	IgM(抗体指数)
-	2.0未満	0.80未満
±	2.0 ~ 3.9	0.80 ~ 1.20
+	4.0以上	1.21以上

### [6185 0]麻疹ウイルスIgMの結果における注意事項

伝染性紅斑(パルボウイルスB19感染)、デング熱、突発性発疹(HHV6感染)などでも麻疹ウイルスIgMが陽性となる症例があることが報告されています。診断においては臨床症状および他の検査法を加味し、総合的に判断してください。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウイルス感染症検査	6050 9 011342902	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	8未満  (倍)	下記参照(*HI)  &1	
	6083 3 011345502				7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満  (倍)	下記参照(*NT)  &1	
	0409 7 00701A202				4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)		下記参照(*CF)  &E	
	6191 3 017940802	ムンプスウイルス IgG 5F432-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 206 ※6	EIA	2.0未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*固相法)  &1
	6193 1 017950802	ムンプスウイルス IgM 5F432-1432-023-023				② 206 ※6	0.80未満 陰性 判定基準:下記参照		下記参照(*捕捉法)  &1	

① ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。

② グロブリンクラス別ウイルス抗体価(72ページ)を参照ください。

\*固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.20未満 陰性

\*捕捉法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.80未満 陰性

\*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、  
抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

\*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

\*HI(赤血球凝集抑制反応)：出発希釈 8倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 8倍未満 出発希釈 8倍)

### [6191 3、6193 1]ムンプスウイルスの判定基準

判定	IgG(EIA値)	IgM(抗体指数)
-	2.0未満	0.80未満
±	2.0 ~ 3.9	0.80 ~ 1.20
+	4.0以上	1.21以上

# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
ウイルス 感染症 検査	6801 5 01809A102	血清 0.2		冷蔵	2~4	85 ※6	PA	16未満 (倍)	検査結果が「陽性」であった場合、 ラインプロット法による確認検査 をお勧めいたします。 下記参照(*PA) &1
	A433 0 00707A102	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	163 ※6	CLEIA	陰性	検査結果が「陽性」であった場合、 ラインプロット法による確認検査 をお勧めいたします。測定対象は、 抗HTLV-I 抗体および抗HTLV-II 抗体です。型別の報告ではありま せん。 &1
	A095 6 00705A202	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	3~5	425 ※6	ラインプロット法 (LIA法)	陰性 判定基準:下記参照	測定対象は、抗HTLV-1抗体およ び抗HTLV-2抗体です。型別の報 告ではありません。 &1
	A237 8 04255A101	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (3日)	10~16	① 450 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	陰性 (プロウイルスを認めま せんでした)	⚠凍結 血液:凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 化学療法などにより細胞数が減少 している場合は、必要量のDNAが 抽出できない場合もあります。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1
	A232 3 04255A201	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (3日)					
	A233 2 04255A237	組織 50mg	ARR	凍結					
	6815 0 021097601	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (10日)	17~23		サザンプロット ハイブリダイ ゼーション		血液:凍結保存は避けてください。 化学療法などにより細胞数が減少 している場合は、必要量のDNAが 抽出できない場合がありますので、 あらかじめご了承ください。 ホルマリンなどにより固定した組織は、 高分子DNAが得られないため、サザ ンプロットハイブリダイゼーション による解析は不可能です。 &1
	6814 1 021097654	組織 250mg	ARR	凍結 (1ヵ月)					

①「HTLV-1核酸検出」は、「HTLV-I 抗体(ウエスタンプロット法及びラインプロット法)」によって判定保留となった妊婦、移植者(生体部分肺移植、生体部分肝移植、生体腎移植又は生体部分小腸移植の場合に限る。)又は臓器等提供者(生体部分肺移植、生体部分肝移植、生体腎移植又は生体部分小腸移植の場合に限る。)を対象として測定した場合にのみ算定する。

\*PA: 出発希釈 16倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 設定なし 出発希釈 2倍)

### [A095 6]HTLV-1抗体[ラインプロット法](判定基準)

ラインが認められない		陰性
ラインが1本認められる(≧±)	gag p19かgag p24か env gp46のいずれかが認められる	保留
	env gp21が認められる	
ラインが2本認められる(≧±)	env gp21が認められない	陽性
	env gp21が認められる	
ラインが3本以上認められる(≧±)		

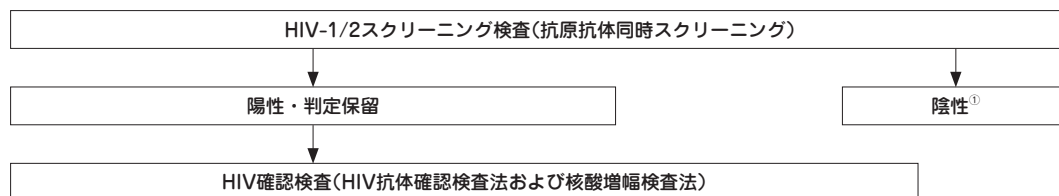
### [6815 0、6814 1]HTLV-I (ATLV)について

同時に複数検体をご依頼いただく場合は、所要日数が変動する場合がございます。あらかじめご了承ください。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
P179 8	HIV-1.2抗体 5F560-1430-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	115	CLEIA	陰性	
A239 6 00715A105	HIV-1RNA定量 5F500-1453-022-875	血漿 1.8	PSF	凍結 (22日)	3~5	520 ※7	RT-PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (コピー /mL)	Ⓜ 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。&1
B490 6 007189302	HIV-1/2特異抗体 5F560-1430-023-190	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	3~5	660 ※6	イムノクロマト法	陰性	Ⓜ 他項目との重複依頼は避けてください。確認検査(イムノクロマト法)をご依頼の際には、改めて採血しご提出ください。&1
L193 6 8L1930000	HIV抗原・抗体 5F560-1550-023-052	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	1~3	112 ※6	CLEIA	陰性	Ⓜ 他項目との重複依頼は避けてください。不活化(非動化)した検体は、判定に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
E817 0 025260826	ノロウイルス抗原 5F630-1410-015-023	糞便 0.5g	F00	凍結	2~8		ELISA	陰性	依頼件数によって、所要日数が変動いたします。&1
A072 1 00725A126	ノロウイルス RNA定性 5F630-1450-015-875	糞便 0.5g	F00	凍結 (7日)	2~8		RT-PCR (リアルタイム PCR)	検出せず	Ⓜ 他項目との重複依頼は避けてください。本検査ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。依頼件数によって、所要日数が変動いたします。&1
A206 2 030370802	デングウイルスNS1抗原 5F390-1410-023-023	血清 0.2	S09 ↓ A00	凍結	2~8	233 ※6	ELISA	陰性	依頼件数によって、所要日数が変動いたします。&1

ウイルス感染症検査

### HIV検査手順



抗体確認検査法			総合判定 HIV-1核酸増幅検査法	
HIV-1	HIV-2	判定	陽性あるいは検出感度未滿	検出せず
陽性	陽性 <sup>②</sup>	HIV-1,2感染	HIV-1およびHIV-2重複感染	HIV-1(治療中) <sup>③</sup> ・HIV-2感染
	判定保留	HIV-1感染	HIV-1感染	HIV-1感染(治療中) <sup>③</sup>
	陰性	HIV-1感染	HIV-1感染	HIV-1感染(治療中) <sup>③</sup>
判定保留	陽性 <sup>②</sup>	HIV-2感染	急性HIVおよびHIV-2重複感染	HIV-2感染
	判定保留	HIV-1,2判定保留	急性HIV-1感染	HIV-1,2判定保留(2週間後再検査)
	陰性	HIV-1判定保留	急性HIV-1感染	HIV-1判定保留(2週間後再検査)
陰性	陽性 <sup>②</sup>	HIV-2感染	急性HIVおよびHIV-2重複感染	HIV-2感染
	判定保留	HIV-2判定保留	急性HIV-1感染	HIV-2判定保留(2週間後再検査)
	陰性	HIV陰性	急性HIV-1感染	HIV非感染 <sup>④</sup>

- ① 感染リスクがない場合は非感染と判定されますが、感染リスクがある場合または不明の場合は数週間後に再度スクリーニング検査を実施してください。  
 ② HIV-2核酸増幅検査法は保険収載されていないため、専門機関に相談してください。  
 ③ HIV-1治療中または低ウイルス量感染が考えられます。  
 ④ 感染リスクがある場合または不明の場合は、数週間後に再検査を実施してください。



# ウイルス感染症検査

## ウイルス感染症検査 参考資料

### ウイルス抗体検査の特徴

検査方法	原 理	特 徴
補体結合反応(CF)	抗原抗体複合体と結合した補体を感じ血球の不溶血を指標として間接的に証明します。	・群特異性が高い ・比較的早期に抗体消失 ・感染スクリーニング用
赤血球凝集抑制反応(HI)	赤血球凝集能をもつウイルスの場合、その凝集を抑制する抗体を証明します。	・型特異性が高い ・早期に抗体が上昇、持続する
蛍光抗体法(FA)	感染細胞中のウイルス抗原と抗体との反応を蛍光標識抗体で証明します。	・抗体分画が可能
中和反応(NT)	活性ウイルスを抗体により中和させ、感染防御抗体を証明します。	・型特異性が高い
酵素免疫法(EIA)	固相化したウイルス抗原と抗体を反応させ、酵素標識抗体との反応により証明します。	・抗体分画が可能 ・定量的データ ・他法に比して高感度
化学発光免疫測定法(CLIA)	検体中の抗体と磁性粒子に固相した抗原および化学発光物質で標識した抗原を反応させ、この発光強度を測定することにより、抗体の有無あるいは量を測定する方法です。	・特異性が高い ・高感度
受身(粒子)凝集反応(PA)	固相化ゼラチン粒子にウイルスを吸着させ、これに抗体を反応させ、凝集の有無により証明します。	・高感度
イムノクロマト法(IC)	メンブレンフィルター上に固相化されたHIV-1またはHIV-2抗原に、特異的に反応する抗体を検出します。	・感度・特異性が高い ・確認試験

### 検出抗体の性質

	抗体	動 態	性 質		
			抗ウイルス抗体活性	補体結合能	胎盤移行性
	IgM	早期に産生されるが短期間で消失	+	+	-
	IgG	IgMに遅れて出現。漸減しながら長期間持続	+	+	+
	IgA	IgMより多少遅れて出現するがIgMより長期間検出可能	+	-	-

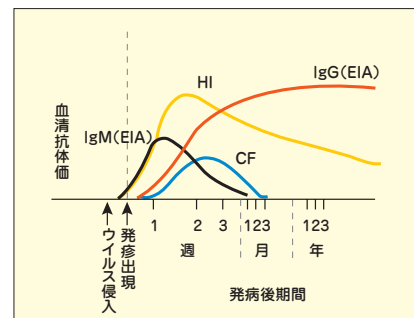
### 抗体価の解釈とペア血清検査の意義

ウイルス血清抗体価に正常値という概念はありません。ウイルス感染後に産生される抗体の検出は、過去にそのウイルスに感染したことを回顧的に示すだけで、現在の状態を必ずしも反映してはいません。

ウイルス抗体は感染の直後に高く、以後下降するパターンを示しますが、単一の血清の抗体価の高低だけで近い過去に感染があったかどうかの判定は出来ない場合が多いといえます。

ウイルス感染後の抗体応答パターン、各検査法の特徴、検査意義を理解し、目的に応じた検査法を選択する必要があります。

急性期(発病後早期)と回復期(発病後14～21日)のペア血清の抗体価が4倍以上上昇した場合有意と判断しそのウイルスの感染を推定します。ただし、治療にγグロブリンを投与した場合の抗体価の上昇は、必ずしも有意とは考えられません。



### 目的別検査法選択の目安

検査法の特徴により目的に合った検査の選択が必要です。自然感染では感染初期に反応するIgM抗体の検出やペア血清による抗体上昇をみるのが有用です。

また、既往の有無やワクチンの効果判定にはEIAによるIgG抗体の検査が有用です。

	自然感染	既往の有無	ワクチン効果判定
麻疹	NT, EIA(IgM)(IgG)	NT, EIA(IgG)	NT, EIA(IgG)
風疹	HI, EIA(IgM)(IgG)	HI, EIA(IgG)	HI, EIA(IgG)
ムンプス	CF, HI, NT, EIA(IgM)(IgG)	EIA(IgG)	NT, EIA(IgG)
水痘	CF, EIA(IgM)(IgG)	EIA(IgG)	EIA(IgG)
日本脳炎	HI, CF		HI
インフルエンザ	CF, HI		HI

### 依頼方法および結果解釈

測定値は病状との関連で変動しますので、必ず急性期(発病後早期)および回復期(発病後2～3週間)の血清をペアで依頼してください。なお、急性期と回復期を同時に測定し抗体価が4倍(2管差)以上の上昇が見られる場合は血清学的に有意とみなします。

### ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)

同一検体についてウイルス抗体価(定性・半定量・定量)の測定を行った場合は、8項目を限度として算定する。  
ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)は、治療上必要な場合に行うものとし、次に掲げるものを当該検査の対象とする。

- ①アデノウイルス ②コクサッキーウイルス ③サイトメガロウイルス ④EBウイルス ⑤エコーウイルス ⑥ヘルペスウイルス  
⑦インフルエンザウイルスA型 ⑧インフルエンザウイルスB型 ⑨ムンプスウイルス ⑩パラインフルエンザウイルスI型  
⑪パラインフルエンザウイルスII型 ⑫パラインフルエンザウイルスIII型 ⑬ポリオウイルスI型 ⑭ポリオウイルスII型  
⑮ポリオウイルスIII型 ⑯RSウイルス ⑰風疹ウイルス ⑱麻疹ウイルス ⑲日本脳炎ウイルス ⑳オーム病クラミジア  
㉑水痘・帯状疱疹ウイルス

ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)に当たって、同一検体について同一ウイルスに対する複数の測定方法を行った場合であっても、所定点数のみを算定する。

### グロブリンクラス別ウイルス抗体価

同一検体について、グロブリンクラス別ウイルス抗体価の測定を行った場合は、2項目を限度として算定する。  
グロブリンクラス別ウイルス抗体価は、下記の項目のウイルスのIgG型ウイルス抗体価又はIgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。  
ただし、⑦のヒトパルボウイルスB19は、紅斑が出現している15歳以上の成人について、このウイルスによる感染症が強く疑われ、IgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。

- ①ヘルペスウイルス ②風疹ウイルス ③サイトメガロウイルス ④EBウイルス ⑤麻疹ウイルス ⑥ムンプスウイルス ⑦ヒトパルボウイルスB19  
⑧水痘・帯状疱疹ウイルス

同一ウイルスについてIgG型ウイルス抗体価及びIgM型ウイルス抗体価を測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。  
ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)と併せて測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。

### ウイルス抗原検査の特徴

検査方法	原 理	特 徴
酵素免疫法(EIA)	ウイルス抗原と特異抗体を反応させ、酵素反応により検出。特異抗体に直接酵素を標識して検出する直接法と二次抗体に酵素標識する間接法がある。	高感度
蛍光抗体法(FA)	ウイルス抗原と特異抗体を反応させ、蛍光色素により検出。特異抗体に直接蛍光物質を標識して検出する直接法と二次抗体に蛍光物質を標識する間接法がある。	特異性が高い
遺伝子増幅法(PCR)	熱変性1本鎖DNAに目的のプライマー(特異的に増幅させたい領域の各DNA末端と相補的20～30塩基のDNA断片)を結合させ、DNAポリメラーゼによりDNA合成反応を行い、これを繰り返すことにより目的とするDNA配列を指数関数的に増幅。	高感度・特異性が高い
サザンブロット ハイブリダイゼーション	制限酵素で消化した検体DNAをアガロース電気泳動で分画、変性させた1本鎖DNAをメンブランに転写後、標識プローブとハイブリダイゼーションさせ、目的遺伝子を検出。	DNAの量的、質的変化の異常を解析

# 免疫血清的検査

## 感染症(非ウイルス)関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考			
7655 7 012430802	クラミジアトラコマティス IgA 5E017-0000-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 200 ※6	EIA	0.90未満 陰性 判定基準:下記参照				
										7653 9 012420802	クラミジアトラコマティス IgG 5E018-0000-023-023	① 200 ※6
										7700 6 016242438	クラミジア トラコマティスDNA	② 193 ※7
7644 9 016242421	部分尿 5	室温 (28日)	2~4	② 193 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	陰性	凍結保存は避けてください。他項目との 重複依頼は避けてください。 分泌物、部分尿:検体に大量の血液が混 入した場合は、正しい結果が得られない ことがあります。 男性の場合、PCR反応阻害物質の影響 が稀に認められる場合がありますので、 尿検体での検査をお勧めいたします。尿 検体は最後の排尿から1時間以上経過後 に初尿を採取してください。 うがい液:検体採取前の食事、うがい、歯 磨きなどは避けてください。本検査方法 ではコンタミネーションの影響がより大 きくなりますので、検体採取にあたって は取り扱いに充分ご注意ください。 &I					
K589 8 016242499	うがい液 5 5E021-0000-050-862 5E021-0000-001-862 5E021-0000-079-862	② 193 ※7										
A041 5 00738A102	オーム病クラミドフィラ (クラミジアシッタシ) 5E026-0000-023-141	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	③ 79 ※6		CF	4未満 (倍)	下記参照(*CF)	&E	
3373 4 018061502	クラミドフィラ (クラミジア)シッタシ IgG 5E027-0000-023-162	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~9		FA	10未満 (倍)	下記参照(*FA)			
3374 3 018071502	クラミドフィラ (クラミジア)シッタシ IgM 5E028-0000-023-162									&I		
A023 5 01538A202	クラミドフィラ(クラミジア) ニューモニエ IgG 5E031-0000-023-023					④ 70 ※6		30未満 陰性 判定基準:下記参照				
A024 4 01539A202	クラミドフィラ(クラミジア) ニューモニエ IgA 5E032-0000-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	④ 75 ※6	ELISA	8未満 陰性 判定基準:下記参照				
K425 9 01661A202	クラミドフィラ(クラミジア) ニューモニエ IgM 5E033-0000-023-023					④ 152 ※6		0.5未満 陰性 判定基準:下記参照		&I		

- ①「IgG抗体価」、「IgA抗体価」及び「IgM抗体価」のうち2項目以上を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②「クラミジア・トラコマチス核酸検出」と「クラミジア・トラコマチス抗原定性」を併用した場合は、主なるもののみ算定する。「クラミジア・トラコマチス核酸検出」は、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体により実施した場合に限り算定できる。  
 ③ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。  
 ④「クラミドフィラ・ニューモニエIgM」を「クラミドフィラ・ニューモニエIgG」又は「クラミドフィラ・ニューモニエIgA」と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。

\*CF(補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。  
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)  
 \*FA: 出発希釈 10倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

### [7655 7、7653 9]クラミジアトラコマティスIgA、IgG(判定基準)

インデックス値	判定
0.90未満	(-) 陰性
0.90 ~ 1.09	(±)※1 判定保留
1.10以上	(+) 陽性

※1: 10日以降に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

### [A023 5]クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgG(判定基準)

EIU値	判定
EIU < 30	陰性(-)
30 ≤ EIU ≤ 45	判定保留(±)※2
EIU > 45	陽性(+)

※2: 28日以降に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

### [A024 4]クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgA(判定基準)

EIU値	判定
EIU < 8	陰性(-)
8 ≤ EIU ≤ 12	判定保留(±)※3
EIU > 12	陽性(+)

※3: 28日以降に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

### [K425 9]クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgM(判定基準)

S/CO値	判定
S/CO < 0.5	陰性(-)
0.5 ≤ S/CO ≤ 1.1	判定保留(±)※4
S/CO > 1.1	陽性(+)

※4: 10日以降に採血した血清による再検査をお勧めいたします。



# 免疫血清的検査

## 感染症(非ウイルス)関連検査

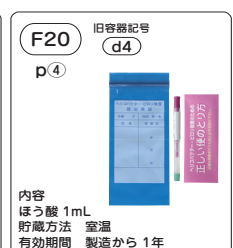
項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
感 染 症 ( 非 ウ イ ル ス ) 関 連 検 査	P157 2 001390702	抗ストレプトリジン-O 抗体(ASO) 5E035-0000-023-062	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	15 ※6	ラテックス 凝集免疫法	160以下 (IU/mL)	
	4411 0 011931802	抗ストレプトキナーゼ 抗体(ASK) 5E036-0000-023-117	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	29 ※6	PA	成人 2560未満 小児 5120未満 (倍)	&1
	6449 7 020916101	エンドトキシン定量 5E046-0000-019-297	血液 2.0 (ノボヘパリン加)	PE2	冷蔵	2~4	① 236 ※6	比濁時間分析法	1.0以下 (カットオフ値) (pg/mL)	凍結保存は避けてください。 1.0pg/mLは、グラム陰性菌による敗血症診断のカットオフ値です。 1.1pg/mL以上は、グラム陰性菌による敗血症の疑いがあります。 β-D-グルカン以外との重複依頼は避けてください。本検査においては、血漿中のエンドトキシンを測定いたします。血液2.0mLを専用容器(PE2)にて採血し、よく混和してください。データ影響が認められるため、速やかに冷蔵保存にてご提出ください。 &1
	K402 4 020910184	A液 5E048-0000-095-271	透析液 各 4.0	PE4	冷蔵	2~4		発色合成基質法	(EU/mL)	専用依頼書、専用容器を使用してください。採取部位(透析液の種類)を必ず明記してください。 電解質、酸、アルカリの反応障害を防ぐため、A液は40倍希釈、B液は20倍希釈して測定いたします。 &1
	K403 3 02091A184	B液 5E048-0000-095-271								
	K404 2 02091A284	RO水 5E048-0000-095-271								
	K405 1 02091A384	調整液 5E048-0000-095-271								
K406 0 02091A484	その他 5E048-0000-095-271									
K478 1 028340802	百日咳抗体[EIA] 5E054-0000-023-023	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	257 ※6	EIA	PT-IgG 10未満 FHA-IgG 10未満 (EU/mL)	&1	
A253 0 042660802	百日咳抗体IgA 5E101-0000-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	80 ※6	ELISA	8.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1	
A254 9 042670802	百日咳抗体IgM 5E102-0000-023-023									
A310 6 007551802	抗ヘリコバクター ピロリ抗体[LA] 5E064-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	80 ※6	ラテックス 凝集比濁法	10未満 (U/mL)	&3	
4657 8 016950826	便中ヘリコバクター ピロリ抗原 5E068-0000-015-023	糞便 (専用スティック 1本)	F20	冷蔵	2~4	142 ※6	EIA	陰性	必ず専用容器で採取してご提出ください。 &1	

①「プレセプシン定量」と「プロカルシトニン(PCT)定量」、「プロカルシトニン(PCT)半定量」又は「エンドトキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

### [A253 0、A254 9]百日咳抗体 IgA、IgM(判定基準)

NTU値	判定
<8.5	陰性(-)
8.5 ~ 11.5	判定保留(±)※
>11.5	陽性(+)

※2~4週間後に採血した血清による再検査をお勧めいたします。



免疫血清的検査

# 免疫血清的検査

## 感染症(非ウイルス)関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
P177 0 001510702	梅毒定性RPR[LA] 5E074-1351-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	15 ※6	ラテックス 比濁法	(-)	溶 乳び検体ではデータ影響を及ぼす場 合がありますので避けてください。 また、溶血検体では高値となる場 合がありますので避けてください。
0730 0 001520702	梅毒定量 RPR[LA] 5E074-1352-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	34 ※6	ラテックス 比濁法	1.0未満 (R.U.)	溶 乳び検体ではデータ影響を及ぼす場 合がありますので避けてください。 また、溶血検体では高値となる場 合がありますので避けてください。
4494 9 00152A102	RPR法 5E074-1353-023-117	血清 0.3			2~4	34 ※6	凝集反応	陰性(1未満) (倍)	&1
P159 0	梅毒定性TP抗体[CLEIA] 5E075-0000-023-116-11	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	32 ※6	CLEIA	(-)	陽性(+)時はイムノクロマト法にて確 認検査を実施します
0728 3 001540702	梅毒定量 TP抗体[LA] 5E075-1352-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	53 ※6	ラテックス 比濁法	5未満 (U/mL) 判定基準:下記参照	乳び検体ではデータ影響を及ぼす場 合がありますので避けてください。 &1
4409 3 001541802	TPHA 5E075-1353-023-117	血清 0.3			2~4	53 ※6	PA	陰性(80未満) (倍)	下記参照(*TPHA) &1
3474 2 011917402	FTA-ABS 5E079-1351-023-161	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	134 ※6	FA	陰性	IgG抗体を検出しています。 下記参照(*FA) &1
4412 9 011947102	寒冷凝集反応 5E105-0000-023-102	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	11 ※6	HA	256未満 (倍)	採血後、速やかに血清分離してく ださい。 (血清分離までは37℃保存) &1
A323 2 00767A102	マイコプラズマ ニューモニエ	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	32 ※6	CF	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
3363 5 011781802	5E106-0000-023-141 5E106-0000-023-117	血清 0.2			2~4	32 ※6	PA	40未満 (倍)	下記参照(*PA) &1

①保険請求上の名称は、梅毒定性TP抗体(CLEIA)が「梅毒トレポネーマ抗体定性」です。

\*TPHA: 髄液の測定も可能です 検体量 0.5mL(冷蔵) 基準値 陰性(10倍未満)

\*FA: 髄液の測定も可能です 検体量 0.5mL(冷蔵) 基準値 陰性

\*CF(補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、  
抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

\*PA: 出発希釈 40倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 設定なし 出発希釈 2倍)

### 梅毒血清反応検査における抗体価の相互関係と結果の解釈

#### 梅毒血清反応検査の抗体価の相互関係

検査法	抗体価 (血清希釈倍数)									
STS RPR法 (凝集反応)	①	2	4	8	16	32	64	128	256	512
TP抗原 TPHA(PA)	⑧	320		1,280	5,120	20,480	81,920			
FTA-ABS	②									
抗体価の読み方	低い	中等度		高い						

○印は定性検査の血清希釈倍数

感染初期にはSTS群の抗体価がTPHAの抗体価に先行する  
〔引用文献〕

大里 和久:産婦人科の実際 49(11):1471~1479,2000.(一部改変)

#### 梅毒血清反応検査の結果の解釈

STS	TP抗原	結果の解釈
RPR [LA] RPR法(凝集反応)	TP抗体 [LA]・TPHA FTA-ABS	
(-)	(-)	非梅毒 まれに梅毒感染初期
(+)	(-)	生物学的偽陽性(BFP) まれに梅毒感染初期※
(+)	(+)	梅毒(早期から晩期) 梅毒治療後の抗体保有者
(-)	(+)	梅毒治療後の抗体保有者 TP抗原系の偽陽性(ごくまれ)

#### [0728 3]梅毒定量 TP抗体[LA](判定基準)

U/mL	判定
5未満	陰性
5~9	判定保留
10以上	陽性

※BFPを起こす疾患の罹患の有無や最近の感染機会の有無を調査する。  
STS抗体価の推移をモニターし、TP抗体・TPHA・FTA-ABSの陽性反  
応を認めた場合、梅毒感染初期を疑う。

あくまでも臨床診断が優先であり、血清学的検査は補助診断である。

〔梅毒血清反応検査の使用と留意点〕

《STS》

カルジオリピン抗原に対する抗体。梅毒感染初期から陽性化し、治療後  
は陰性化する場合が多く梅毒症状をよく反映する。  
生物学的偽陽性反応(BFP)が多い。

《生物学的偽陽性(BFP)》

STS(RPR)は生物学的偽陽性(BFP)が多く、梅毒感染以外に肝疾患、自  
己免疫疾患、妊婦などで偽陽性を示す場合がある。

《TP抗体・TPHA・FTA-ABS》

トレポネーマ抗原に対する抗体で梅毒感染時に認められる特異的な抗体。  
過去に梅毒陽性となった患者血清では、いつまでも抗体価が高値で持続  
する場合がある。  
まれに非特異反応が認められる。

# 免疫血清的検査

## 感染症(非ウイルス)関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
感 染 症 ( 非 ウ イ ル ス ) 関 連 検 査	3380 6 013431502	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	207 ※6	FA	10未満 (倍)	感染の有無はベア血清で判断して ください。 &1
	3379 8 013441502	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	207 ※6	FA	10未満 (倍)	感染の有無はベア血清で判断して ください。 &1
	3378 9 013411502	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	207 ※6	FA	10未満 (倍)	感染の有無はベア血清で判断して ください。 &1
	3377 0 013421502	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	207 ※6	FA	10未満 (倍)	感染の有無はベア血清で判断して ください。 &1
	3376 1 013391502	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	207 ※6	FA	10未満 (倍)	感染の有無はベア血清で判断して ください。 &1
	3375 2 013401502	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	207 ※6	FA	10未満 (倍)	感染の有無はベア血清で判断して ください。 &1
	3591 2 012851802	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 174 ※6	ラテックス 凝集反応	陰性	EDTA(抗凝固剤)は酵素処理に影響を 与え、検査不能となる場合があります ので、EDTAの使用は避けてください。 &1
	K285 5 012851829	髄液 0.8	A00			① 174 ※6			
	3354 5 016495002	血清 1.0	S7P ↓ A00	凍結	14~16		試験管凝集法	2未満 (倍)	
	3395 0 016491529	髄液 1.0	A00				IFA法	1未満 (倍)	&K
K141 4 016980802	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 134 ※6	ELISA	0.05未満 (U/mL)	フィブリン除去時に竹串を使用すると、 高値傾向を示す場合がありますので検 体の取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
7682 7 01780A102	血清 1.0	S7P ↓ A00	凍結	14~16		免疫拡散法	(-)	&K	
8551 1 018423202	血清 1.0	S09 ↓ A00	冷蔵	5~7		オクタロニー法	陰性	&1	
3679 5 016560802	血清 1.0	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 157 ※6	ELISA	0.5未満 陰性	フィブリン除去時に竹串を使用すると、 高値傾向を示す場合がありますので検 体の取り扱いに充分ご注意ください。また、 ピペラシリン/タンパク質配合剤の投与 で偽陽性となる場合があります。 &1	
3626 3 016600101	血液 2.0 (ノボヘパリン加)	PE2	冷蔵	2~4	① 201 ※6	発色成基質法	20.0以下 (カットオフ値) (pg/mL)	凍結保存は避けてください。 (基準値について)20pg/mLは、深 在性真菌症のカットオフ値です。 エンドトキシン定量以外の項目との 重複依頼は避けてください。本検 査においては、血漿中の(1→3)-β -D-グルカン測定いたします。血 液2.0mLを専用容器(PE2)にて採血 し、よく混和させ、速やかに冷蔵保 存にてご提出ください。グルカン製 剤(抗悪性腫瘍剤)、セルロース膜で 精製した血液製剤などの投与、セル ロース膜での透析後の血液などは、 データが高値を示す可能性があります。 また、多発性骨髄腫・高γ-グ ロブリン血症では非特異的の反応を示 す可能性があります。溶血検体では、 溶血の度合いにより検査不能となる 場合があります。 &1	

①「β-D-グルカン」を「カンジダ抗原」、「カンジダマンナン抗原」、「D-アラビノール」、「アスペルギルス抗原」又は「クリプトコックス・ネオフォルマンズ抗原」と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

免疫血清的検査



# 免疫血清的検査

## 感染症(非ウイルス)関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
感染症(非ウイルス)関連検査	K213 4 027950802	トリコスポロン・アサヒ抗体 5E154-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (28日)	7~14	847 ※6	Antigen-captured ELISA	0.15未満 (CAI) 判定基準:下記参照	&A
	B645 4	鳥特異的IgG抗体 5A110-2331-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	3~9	873 ※6	FEIA	陰性 判定基準:下記参照 (mg <sub>A</sub> /L)	&1
	3471 5 013490802	トキソプラズマIgG抗体 5E156-0000-023-023	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	93 ※6	ELISA	6未満 判定基準:下記参照	&1
	3472 4 013500802	トキソプラズマIgM抗体 5E157-0000-023-023							0.8未満 判定基準:下記参照	
	K602 2 02079A101	結核菌特異的IFN-γ 5E301-0000-019-031	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温 (32時間)	3~5	594 ※6	ELISPOT法	陰性	他項目との重複依頼は避けてください。検体は採取後、当日中に提出ください。
9163 1 044760802	MAC抗体 (抗酸菌抗体定性) 5E069-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (15日)	3~5	116 ※6	ELISA	陰性 0.7未満 (U/mL)	本検査は定性検査です。抗体濃度を参考値としてご報告いたします。	

①「鳥特異的IgG抗体」は、診察又は画像診断等により鳥関連過敏性肺炎が強く疑われる患者を対象とした場合に算定する。

### [K213 4]トリコスポロン・アサヒ抗体(判定基準)

CAI(Corrected Absorbance Index)*	判定
0.15未満	陰性
0.15~0.30未満	判定保留
0.30以上	陽性

\*CAI(Corrected Absorbance Index): 補正吸光度

### [B645 4]鳥特異的IgG抗体の判定基準

両方またはいずれか一方の測定値がカットオフ値(セキセイインコ: 8.00mg<sub>A</sub>/L、ハト: 24.0mg<sub>A</sub>/L)以上となった場合を陽性と判定し、両方がカットオフ値未満の場合を陰性と判定いたします。

	セキセイインコIgG	ハトIgG	判定
カットオフ	8.00(mg <sub>A</sub> /L)	24.0(mg <sub>A</sub> /L)	
結果	(+)	(+)	陽性
	(+)	(-)	
	(-)	(+)	陰性
	(-)	(-)	

### [3471 5]トキソプラズマIgG抗体(判定基準)

IU/mL	判定	解釈
6未満	陰性	トキソプラズマの感染は認められません。
6~8	判定保留	低濃度の抗体が認められ、トキソプラズマ感染の疑いがあります。
9以上	陽性	トキソプラズマ感染が考えられます。

### [3472 4]トキソプラズマIgM抗体(判定基準)

Cut off index	判定	解釈
0.8未満	陰性	最近のトキソプラズマ感染のないことが考えられます。
0.8~0.9	判定保留	10~20日後に再検査およびトキソプラズマIgG抗体検査による確認をお勧めします。
1.0以上	陽性	

# 免疫血清的検査

自己免疫関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
自己免疫関連検査	1258 4 019471502	抗核抗体(ANA) 5G010-0000-023-162	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	102 ※6	FA	40未満 (倍)	&1
	3505 7 012073602	抗DNA抗体[RIA] 5G020-0000-023-002	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	163 ※6	RIA硫酸塩析法	6.0以下 (IU/mL)	&1
	E667 7 019820802	抗ss-DNA IgG抗体 5G026-0000-023-023	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	163 ※6	ELISA	25以下 (AU/mL)	&1
	E668 6 019830802	抗ss-DNA IgM抗体 5G028-0000-023-023				2~8			17未満 (U/mL)	
	E669 5 019840802	抗ds-DNA IgG抗体 5G036-0000-023-023	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	163 ※6	ELISA	12以下 (IU/mL)	&1
	E670 3 019850802	抗ds-DNA IgM抗体 5G038-0000-023-023				2~8			6未満 (U/mL)	
	3520 0 015173202	抗Sm抗体 5G065-0000-023-092	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	151 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A214 3 015170602	抗Sm抗体[CLEIA] 5G065-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	151 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	⊗ 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &I
	3518 3 015163202	抗RNP抗体 5G066-0000-023-092	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	144 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A213 4 015160602	抗RNP抗体[CLEIA] 5G066-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	144 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	⊗ 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &I
	3522 8 015183202	抗SS-A/Ro抗体 5G076-0000-023-092	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	161 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A215 2 015180602	抗SS-A/Ro抗体 [CLEIA] 5G076-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	161 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	⊗ 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &I
	3524 6 015193202	抗SS-B/La抗体 5G077-0000-023-092	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	158 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A216 1 015190602	抗SS-B/La抗体 [CLEIA] 5G077-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	158 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	⊗ 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &I
	3526 4 015633202	抗Scl-70抗体 5G085-0000-023-092	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	157 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A217 0 015630602	抗Scl-70抗体 [CLEIA] 5G085-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	157 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	⊗ 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &I
K034 3 020390802	抗RNAポリメラーゼⅢ抗体 5G087-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	170 ※6	ELISA	28未満 判定基準:下記参照	&1	
6203 9 021400802	抗セントロメア抗体 5G090-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	174 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	&I	

免疫血清的検査

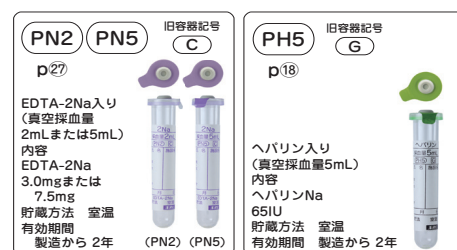
[1258 4]抗核抗体(ANA)の成人健常者における出現率

抗体価	出現率(%)
40倍未満	67~75
40倍	16~22
80倍	7~13
160倍	1~4
320倍	1

\* 当社検討結果(最小・最大値)より

[K034 3]抗RNAポリメラーゼⅢ抗体(判定基準)

Index	判定
28未満	陰性(-)
28~50未満	(±)
50以上	陽性(+)



# 免疫血清的検査

## 自己免疫関連検査

### 抗核抗体(ANA)染色型と主な関連検査および疾患

染色型	主な関連検査	主な関連疾患
Homogeneous型 (均質型)	抗DNA抗体(DNAテスト) <sup>4)</sup>	全身性エリテマトーデス
	抗DNA抗体(RIA)	
	抗ss-DNA IgG抗体	
	抗ss-DNA IgM抗体	全身性エリテマトーデス、薬毒性ループス
	抗ds-DNA IgG抗体	
	抗ds-DNA IgM抗体	
	抗ヒストン抗体	
抗核抗体(LEテスト) <sup>4)</sup>	全身性エリテマトーデス	
Peripheral型 <sup>1)</sup> (辺縁型)	抗DNA抗体(RIA)	全身性エリテマトーデス
	抗ds-DNA IgG抗体	
	抗ds-DNA IgM抗体	
Speckled型 (斑紋型)	抗RNP抗体(オクタロニー法)	混合性結合組織病、強皮症、 全身性エリテマトーデス
	抗RNP抗体(CLEIA)	
	抗Sm抗体(オクタロニー法)	全身性エリテマトーデス
	抗Sm抗体(CLEIA)	
	抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、 関節リウマチ
	抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	
	抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	シェーグレン症候群
	抗SS-B/La抗体(CLEIA)	
	抗Ki抗体(オクタロニー法) <sup>4)</sup>	全身性エリテマトーデス
	抗Ku抗体(オクタロニー法) <sup>4)</sup>	筋炎・強皮症重複症候群
抗Scl-70抗体(オクタロニー法) <sup>3)</sup>	強皮症	
抗Scl-70抗体(CLEIA) <sup>3)</sup>		
Nucleolar型 (核小体型)	抗U3RNP抗体 <sup>4)</sup>	強皮症
	抗7-2RNP抗体 <sup>4)</sup>	
	抗RNA ポリメラーゼⅢ抗体	筋炎・強皮症重複症候群
	抗PM-Scl抗体 <sup>4)</sup>	
抗リボソームP抗体(ELISA) <sup>2)</sup>	全身性エリテマトーデス(CNSループス)	
Discrete-Speckled型 (セントロメア型)	抗セントロメア抗体(CLEIA)	強皮症(CREST症候群)、原発性胆汁性肝硬変
Cytoplasmic型 <sup>5)</sup> (細胞質型)	抗ミトコンドリア抗体(FA)	原発性胆汁性肝硬変
	抗ミトコンドリアM2抗体(CLEIA)	
	抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	多発性筋炎・皮膚筋炎
	抗Jo-1抗体(CLEIA)	
	抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、 関節リウマチ
	抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	
抗リボソームP抗体(ELISA) <sup>2)</sup>	全身性エリテマトーデス(CNSループス)	
抗平滑筋抗体	自己免疫性肝炎	
PCNA型	抗PCNA抗体(オクタロニー法) <sup>4)</sup>	全身性エリテマトーデス
PCNA様型	抗Na抗体 <sup>4)</sup> など	全身性エリテマトーデスなど
核膜型	抗核膜ラミン抗体 <sup>4)</sup>	原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎など
	抗gp210抗体 <sup>4)</sup>	
Granular型	抗p80 coilin抗体 <sup>4)</sup>	原発性胆汁性肝硬変、シェーグレン症候群など
	抗Sp-100抗体 <sup>4)</sup>	
紡錘体型 <sup>5)</sup> NuMA-1 NuMA-2	抗NuMA-1抗体 <sup>4)</sup>	シェーグレン症候群など 全身性エリテマトーデスなど
	抗NuMA-2抗体 <sup>4)</sup>	
中心体型 <sup>5)</sup>	抗中心体抗体 <sup>4)</sup>	レイノー病、強皮症など
ゴルジ体型 <sup>5)</sup>	抗golgin-97抗体 <sup>4)</sup> など	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、 関節リウマチなど

- 1) Homogeneous型との鑑別は難しく、多くのPeripheral型陽性血清は希釈していくとHomogeneous型に変化します。
- 2) 項目の詳細につきましては営業員へお問い合わせください。
- 3) 染色型はSpeckled型とHomogeneous型の中間的な染色像であり、またNucleolar型が陽性となることがあります。
- 4) 未実施項目です。
- 5) 対応抗原の局在が核ではないため、狭義の抗核抗体には含まれません。

#### [参考文献]

竹内 健,他: 医学検査 51(9): 1256~1264,2002.  
三森 経世: リウマチ 32(4): 366~378,1992.

# 免疫血清的検査

## 自己免疫関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
自己免疫関連検査	9500 6 015643202	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	140 ※6	① オクタロニー法	陰性 (倍)	&1	
	A218 9 015640602									抗Jo-1抗体(CLEIA) 5G120-0000-023-052
	A022 6 030050802	抗ARS抗体 5G121-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	190 ※6	ELISA	25.0未満 陰性	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	B639 1 04052A102	抗MDA5抗体 5G122-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	270 ※6	ELISA	32未満 陰性	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	G979 9 040800802	抗Mi-2抗体 5G123-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	270 ※6	ELISA	53未満 陰性	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	G985 2 040810802	抗TIF1-γ抗体 5G124-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	270 ※6	ELISA	32未満 陰性	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	2599 5 001411302	リウマチ因子(RF) 定量 5G160-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	② 30 ※6	ラテックス凝集 免疫比濁法	15以下 (IU/mL)	
	3310 3 011950802	IgG型リウマチ因子 5G161-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	②③ 198 ※6	ELISA	2.00未満	&1
	3674 0 016430902	抗ガラクトース欠損 IgG抗体 5G166-0000-023-053	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	②③ ④ 114 ※6	ECLIA	6.0未満 (AU/mL)	&1
	E872 9 019700602	抗シトルリン化 ペプチド(CCP)抗体 5G167-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③⑤ 198 ※6	CLEIA	4.5未満 (U/mL)	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&I
	3539 0 014251502	抗ミトコンドリア抗体 5G175-0000-023-162	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	181 ※6	FA	陰性(20未満) (倍)	&1
	A008 2 020840602	抗ミトコンドリア M2抗体 5G176-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	189 ※6	CLEIA	7.0未満	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&I
	3537 2 012031502	抗平滑筋抗体 5G180-0000-023-162	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		FA	陰性(40未満) (倍)	&1
	3541 7 012121502	抗胃壁細胞抗体 5G185-0000-023-162	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		FA	陰性(10未満) (倍)	&1
K301 6 020360602	抗内因子抗体 5G190-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~6		CLEIA	(-)	ビタミンB <sub>12</sub> 摂取後1週間以内の検体は偽陽性を呈する可能性がありますので、ご依頼は避けてください。&I	

- ①「抗ARS抗体」と「抗Jo-1抗体(オクタロニー法)」又は「抗Jo-1抗体(CLEIA)」を併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。
- ②「リウマチ因子(RF)定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)」、「C1q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。
- ③「抗シトルリン化ペプチド抗体定性」、「抗シトルリン化ペプチド抗体定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)」、「C1q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち2項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの1つに限り算定する。
- ④「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」は、ECLIA法又はレクチン酵素免疫測定法による。なお、「リウマトイド因子(RF)定量」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ⑤「抗シトルリン化ペプチド抗体定性」又は「抗シトルリン化ペプチド抗体定量」は、以下のいずれかの場合に算定できる。  
 (イ)関節リウマチと確定診断できない者に対して診断の補助として検査を行った場合に、原則として1回を限度として算定できる。ただし、当該検査結果が陰性の場合においては、3月に1回に限り算定できる。なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、検査値を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。  
 (ロ)関節リウマチと確定診断できない者とは別に、関節リウマチに対する治療薬の選択のために行う場合においては、患者1人につき原則として1回に限り算定する。ただし、当該検査結果は陰性であったが、臨床症状・検査所見等の変化を踏まえ、再度治療薬を選択する必要がある場合においては、3月に1回に限り算定できる。なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、その医学的な必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

免疫血清的検査

# 免疫血清的検査

## 自己免疫関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
自己免疫関連検査	A399 9 042680826	便中カルプロテクチン  5C235-0000-015-023 5C235-0000-015-023	糞便	F30	凍結 (28日)	3~7	①② ③ 270 ※1	FEIA	50.0以下 潰瘍性大腸炎の 内視鏡的非活動状態の カットオフ値 300以下 クローン病の 内視鏡的非活動状態の カットオフ値 80以下 (mg/kg)	他項目との重複依頼は避けてください。  &1
	A252 1 04268A126		糞便 1g	F00	凍結	5~9	①② ③ 270 ※1	ELISA	潰瘍性大腸炎の病態 把握のカットオフ値 240 (μg/g)	
	9201 8 04407A102	ロイシンリッチα2 グリコプロテイン (LRG)  5C245-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	③ 276 ※4	ラテックス 凝集免疫法	16.0未満 (カットオフ値) (μg/mL)	炎症性腸疾患の活動期の判定の補助 における参考基準値は16.0μg/mL です。 感染症、リウマチ等の炎症性疾患、 一部の悪性腫瘍においてLRG値が上 昇することがありますのでご注意く ださい。 &3

①潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として測定する場合、潰瘍性大腸炎についてはELISA法、FEIA法、金コロイド凝集法、イムノクロマト法又はLA法により、クローン病についてはFEIA法により測定した場合に、それぞれ3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

②慢性的な炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病等)の診断補助を目的として測定した場合に算定できる。ただし、腸管感染症が否定され、下痢、腹痛や体重減少などの症状が3月以上持続する患者であって、肉眼的血便が認められない患者において、慢性的な炎症性腸疾患が疑われる場合の内視鏡前の補助検査として実施すること。また、その旨を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

③「ロイシンリッチα2グリコプロテイン(LRG)」、「便中カルプロテクチン」又は「大腸内視鏡検査」を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。



# 免疫血清的検査

## 自己免疫関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
自己 免疫 関連 検査	3545 3 010041802	抗甲状腺 マイクロソーム抗体 (マイクロソームテスト) 5G285-0000-023-117	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 37 ※6	PA	陰性(100未満) (倍)	&1
	A458 3 008260602	抗甲状腺 ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)[CLEIA] 5G285-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	① 142 ※6	CLEIA	3.3未満 (IU/mL)	&I
	3543 5 010031802	抗甲状腺 サイログロブリン抗体 (サイロイドテスト) 5G290-0000-023-117	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	37 ※6	PA	陰性(100未満) (倍)	&1
	A469 1 008270602	抗サイログロブリン抗体 [CLEIA] 5G290-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	140 ※6	CLEIA	19.3未満 (IU/mL)	&I
	3044 9 015055102	TSH刺激性レセプター抗体 (TSAb) 5G300-0000-023-905	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~5	② 340 ※6	Bioassay EIA	120以下 (%)	&1
	4199 7 01319A302	TSHレセプター抗体 (定量) 5G310-0000-023-811	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 220 ※6	RRA	1.0未満 (IU/L)	ヒト型レセプターを使用しています。 固相法の第2世代TRAbです。 (基準値について)少数の健常人に おいて、1.0 IU/Lを超える結果を 示すことがあるため、欧米では1.0 ~1.5 IU/Lをグレーゾーンと設定 することを推奨しています。 &1
	A475 4 008300602	TSHレセプター抗体 [CLEIA] 5G310-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	② 220 ※6	CLEIA	2.0未満 (IU/L)	TSHレセプターのTSH結合部位を 認識するM22抗体(抗TSHレセプ ターモノクローナル抗体(ヒト))を 用いた第3世代TRAbです。 &I
	A212 5 015130802	抗GAD抗体 5G340-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 134 ※5	ELISA	5.0未満 (U/mL)	&1
	A263 9 008330802	抗IA-2抗体 5G342-0000-023-023	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	3~9	213 ※5	ELISA	0.6未満 (U/mL)	&1
	A160 3 030120802	亜鉛トランスポーター 8 (ZnT8)抗体 5G343-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	事前に ご確認 ください		ELISA	15.0未満 (U/mL)	&1
検査	K485 3 020585302	インスリン抗体 5G360-0000-023-007	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	3~7	110 ※6	RIA	0.4未満 (U/mL)	&1
	4497 6 015505302	抗アセチルコリン レセプター抗体 (抗AChR抗体) 5G385-0000-023-007	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	3~7	④ 798 ※6	RIA	0.2以下 (nmol/L)	&1
	A148 7 017345302	抗筋特異的 チロシンキナーゼ抗体 (抗MuSK抗体) 5G386-0000-023-007	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~9	④ 1000 ※6	RIA	0.02未満 (nmol/L)	&1

- ①「抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)」を「抗甲状腺マイクロソーム抗体(マイクロソームテスト)」と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②「TSHレセプター抗体」、「TSH刺激性レセプター抗体(TSAb)」を同時に行った場合は、いずれか一方のみを算定する。  
 ③抗GAD抗体は、すでに糖尿病の診断が確定した患者に対して、I型糖尿病の診断に用いた場合又は自己免疫介在性脳炎・脳症の診断に用いた場合に算定できる。  
 ④「抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体」と「抗アセチルコリンレセプター抗体」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。

### 免疫血清的検査



# 免疫血清的検査

## 自己免疫関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
自己 免疫 関連 検査	6077 0 017140802	抗デスマグレイン1抗体 5G396-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	300 ※6	CLEIA	20.0未満 (U/mL)	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &I
	6079 8 017150802	抗デスマグレイン3抗体 5G397-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	270 ※6	CLEIA	20.0未満 (U/mL)	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &I
	E884 6 019750802	抗BP180抗体 (血清中抗BP180NC16a 抗体) 5G398-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	270 ※6	CLEIA	9.0未満 (U/mL)	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &I
	7629 6 016780829	ミエリン塩基性蛋白 (MBP) 5G410-0000-041-023	髄液 0.3	A00	凍結 (1ヵ月)	3~9	570 ※1	ELISA	102以下 (pg/mL)	&1
	7685 4 016460602	抗糸球体基底膜抗体 (抗GBM抗体) 5G420-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	262 ※6	CLEIA	3.0未満 (U/mL)	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &I
	3550 7 018436902	精子不働化抗体 5G440-0000-023-186	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (9ヵ月)	事前に ご確認 ください		不働化法 (Isojima法)	(-) 判定基準:下記参照	溶血・乳び検体などでは、精子を観察できず検査できない場合がありますのでご注意ください。 &1
	K091 0 01843A202	精子不働化抗体 (SI50) 5G440-0000-023-186	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (9ヵ月)	事前に ご確認 ください		不働化法 (Isojima法)	1.0未満	溶血・乳び検体などでは、精子を観察できず検査できない場合がありますのでご注意ください。 &1
	4158 2 015041703	ループスアンチ コアグラント 5G500-0000-022-311 5G501-0000-022-311 5G502-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 各 1.0		凍結	2~4		APTT 凝固時間法	46.5以下 (秒)	採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、パフィーコートより5mm以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。 ※遠心器回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r:遠心器のローター半径(cm) n:1分間あたりの回転数(rpm)
	4167 2 01504A203			PC5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	273 ※6	希釈ラッセル 蛇毒時間法	1.2以下	&1
	A049 7 01504A303				凍結	2~4	273 ※6	リン脂質中和法	1.16以下	&1
3142 0 015290802	抗カルジオリピン $\beta_2$ グリコプロテイン I 複合体抗体 (抗CL・ $\beta_2$ GP I 抗体) 5G504-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~4	223 ※6	ELISA	3.5未満 (U/mL)	&1	
B601 2 045370802	抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgG抗体 5G515-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	226 ※6	CLEIA	0.7未満 (U/mL)	&I	
B597 8 045380802	抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgM抗体 5G517-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	226 ※6	CLEIA	17.5以下 (U/mL)	&I	
B603 0 00851A102	抗カルジオリピンIgG抗体 5G508-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~4	226 ※6	ELISA	12.3以下 (U/mL)	&1	
B599 6 00852A102	抗カルジオリピンIgM抗体 5G510-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (14日)	2~4	226 ※6	ELISA	20.8以下 (U/mL)	&1	

- ①「抗デスマグレイン1抗体」と「抗デスマグレイン3抗体」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②「抗カルジオリピン $\beta_2$ グリコプロテイン I 複合体抗体」と「抗カルジオリピンIgG抗体」、「抗カルジオリピンIgM抗体」、「抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgG抗体」又は「抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgM抗体」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。  
 ③「抗カルジオリピンIgG抗体」、「抗カルジオリピンIgM抗体」、「抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgG抗体」及び「抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgM抗体」を併せて実施した場合は、主たるもの3つに限り算定する。  
 ④抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として、一連の治療につき2回に限り算定する。

### [3550 7]精子不働化抗体(判定基準)

SIV値	判定
1.40以下	(-)
1.41~1.99	判定保留
2.00~20.00	(+)
20.01以上	STRONG POSITIVE

### [4167 2]ループスアンチコアグラント(希釈ラッセル蛇毒時間法)(計算式について)

dRVVTはスクリーン比\*1とコンファーム比\*2の比から求められます。  
 \*1:スクリーン比は患者のdRVVTスクリーン試薬測定結果(秒)と健常者のdRVVTスクリーン試薬の平均凝固時間(秒)の比から求めます。  
 \*2:コンファーム比は患者のdRVVTコンファーム試薬測定結果(秒)とdRVVTコンファーム試薬の健常者の平均凝固時間(秒)の比から求めます。  
 本項目はdRVVTとあわせて、患者のdRVVTスクリーン試薬測定結果(秒)を中和前、患者のdRVVTコンファーム試薬測定結果を中和後として、それぞれ報告します。

# 免疫血清的検査

## 自己免疫関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
3580 4 012023102	抗血小板抗体 5G520-0000-023-103	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	261 ※6	MPHA (混合受身凝集法)	陰性	不 採血後室温で静置し完全に血餅凝固後、血清分離してください。(不活性化しないでください。) 年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。 &1
3315 8 018113301	曜日指定 PAIgG (血小板関連IgG) 5G525-0000-019-021	血液 7.5 (ACD-A液加)	PAC	冷蔵	2~4	193 ※6	ELISA	46以下 (ng/10 <sup>7</sup> cells)	凍 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。末梢血の血小板が3×10 <sup>4</sup> /μL以下の場合、専用容器(PAC)2本を使用し必ず10mL以上採血してください。 &1
K593 3 020871803	HIT抗体 (血小板第4因子・ヘパリン複合体抗体) 5G530-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結	2~6	390 ※6	ラテックス 比濁法	1.0未満 陰性 (U/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。血小板第4因子・ヘパリン複合体に対するHIT抗体(IgG, IgM, IgA)を測定しております。なお、検査結果はクロプリングラヌ別での報告ではありません。 &1
7710 5 015490602	抗好中球細胞質抗体 (PR3-ANCA) 5G551-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	259 ※6	CLEIA	3.5未満 (U/mL)	不 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &1
4184 3 017040602	抗好中球細胞質抗体 (MPO-ANCA) 5G552-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	258 ※6	CLEIA	3.5未満 (U/mL)	不 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &1
4162 7 016770802	抗LKM-1抗体 5G555-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~8	215 ※6	ELISA	17未満 判定基準:下記参照	&1
3532 7 012310802	免疫複合体(C1q) 5G610-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結	2~4	153 ※6	ELISA	3.0以下 (μg/mL)	&1
3556 1 012370802	免疫複合体 (モノクローナルRF) 5G635-0000-023-023	血清 0.2	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~8	194 ※6	EIA	4.2未満 (μg/mL)	&1
A064 0 02061A202	抗アクアポリン4抗体 5G821-0000-023-023	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結 (28日)	2~8	1000 ※6	ELISA	3.0未満 陰性 (U/mL)	&1
7688 1 60026A130	抗表皮成分自己抗体 〔直接法〕 5G395-0000-070-661	皮膚組織 5×5×3mm	VP1	凍結	12~14	400 + 1200 ※8	蛍光抗体染色法		実施抗原は、「IgG、IgA、IgM、C3」の4抗原です。 &1

- ①「リウマトイド因子(RF)定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)」、「C1q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。
- ②「抗シトルリン化ペプチド抗体定性」、「抗シトルリン化ペプチド抗体定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)」、「C1q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち2項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの1つに限り算定する。
- ③抗アクアポリン4抗体は、視神経脊髄炎の診断(治療効果判定を除く。)を目的として測定した場合に算定できる。なお、検査の結果は陰性であったが臨床症状・検査所見等の変化を踏まえ、視神経脊髄炎が強く疑われる患者に対して疾患の診断を行う必要があり、再度実施した場合も算定できる。
- ④確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者に対して、標準作製を実施した場合には、1200点を所定点数に加算する。「確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者」とは、原発不明癌、原発性脳腫瘍、悪性リンパ腫、悪性中皮腫、肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)、消化管間質腫瘍(GIST)、慢性腎炎、内分泌腫瘍、軟部腫瘍、皮膚の血管炎、水疱症(天疱瘡、類天疱瘡等)、悪性黒色腫、筋ジストロフィー又は筋炎が疑われる患者を指す。これらの疾患が疑われる患者であっても3種類以下の抗体で免疫染色を行った場合は、当該加算は算定できない。肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)が疑われる患者に対して加算を算定する場合は、腫瘍が未分化であった場合等HE染色では腺癌または扁平上皮癌の診断が困難な患者に限り算定することとし、その医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に詳細に記載すること。なお、次に掲げるいずれかの項目を既に算定している場合には、当該加算は算定できない。
- ア 肺癌におけるEGFR遺伝子検査、ROS1融合遺伝子検査、ALK融合遺伝子検査、BRAF遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)及びMETex14遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)に限る。
- イ 肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング)、METex14遺伝子検査(次世代シーケンシング)及びRET融合遺伝子検査に限る。
- ウ 肺癌関連遺伝子多項目同時検査
- エ ALK融合遺伝子標準作製

### [4162 7]抗LKM-1抗体(判定基準)

Index	判定
17未満	陰性(-)
17 ~ 49	判定保留(±)
50以上	陽性(+)



# 免疫血清的検査

## 免疫血液学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
0515 9 001422201	ABO式血液型 5H010-0000-019-101	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	24 ※6	マイクロ プレート法		凍結保存は避けてください。年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。
0517 7 001432201	Rh(D因子)式血液型 5H020-0000-019-101	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	24 ※6	マイクロ プレート法		凍結保存は避けてください。年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。
3582 2 012002201	Rh-Hr式血液型 5H025-0000-019-101	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	2~4	148 ※6	カラム凝集法		凍結保存は避けてください。年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。 &3
3579 6 011982211	血液型不適合妊娠 5H030-0000-098-101	速やかに遠心 血清 4.0 と 血液 2.0 (EDTA-2Na加)	(血清) S09 ↓ A00 と (血清) PN2, PN5	冷蔵 と 室温	3~5		2-メルカプト エタノール法		※)血清と血液(EDTA-2Na加)をペアでご提出ください。血清につきましては、血液を採血後、速やかに分離してください。依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。また、妊婦・ベビー・移植のいずれかを明記してください。 &3
P160 8 001442201	緊急 直接クームス試験 5H121-0000-019-101	血液 1.0 (EDTA-2K加)	PK2	室温	2~4	34 ※6	試験管法	陰性	※)血液は採血後、速やかにご提出ください。依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。
P161 7 001452202	間接クームス試験 5H122-0000-023-101	速やかに遠心 血清 2.0	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	47 ※6	試験管法	陰性	抗凝固剤を入れずに採血してください。※)血液は採血後、速やかに分離し、血清をご提出ください。依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。
2635 4 001462211	不規則性抗体 (抗体同定・抗体価測定) 5H180-0000-098-101	速やかに遠心 血清 5.0 と 血液 2.0 (EDTA-2Na加)	(血清) S09 ↓ A00 と (血清) PN2, PN5	冷蔵 と 室温	2~3	159 ※6	カラム凝集法 [クームス法、 酵素法 (フィシン法)]		※)血清と血液(EDTA-2Na加)をペアでご提出ください。血清につきましては、血液を採血後、速やかに分離してください。依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。 &3

①手術に際して輸血が行なわれた場合は、免疫血液学的検査又は輸血の「注6」に定める不規則抗体検査加算のいずれかを算定する。

※)検査結果に影響を及ぼすことがありますので検体(血液や血清)は、採血当日中にご提出ください。なお、検査時において採血後48時間を越えた検体での検査は、参考値としてご報告させていただきます。あらかじめご了承ください。

### [0515 9]ABO式血液型・[0517 7]Rh(D因子)式血液型について

ABO式血液型  
生後1歳未満の乳幼児の場合は、抗A、抗B抗体の産生が不十分なため、表試験のみのご報告となります。成長後の再検査をお勧めいたします。  
Rh(D因子)式血液型  
マイクロプレート法陰性の場合は、D陰性確認試験を試験管法で実施いたします。

### [P161 7]間接クームス試験、[2635 4]不規則性抗体、 [3579 6]血液型不適合妊娠について

血漿検体では補体の活性化により検出される抗体を見逃す場合がありますので、血清をご提出ください。

### 血球を使用する検査の血液検体について

血球を使用する検査におきましては、凝固促進剤、分離剤入り容器の使用の際、偽陽性または異常反応を示す場合がありますので、血液材料は必ず指定容器(EDTA-2Na加)での提出をお願いいたします。

### [3582 2]Rh-Hr式血液型・[3579 6]血液型不適合妊娠について

同時に複数検体をご依頼いただく場合は、所要日数が変動する場合があります。あらかじめご了承ください。

### [2635 4]不規則性抗体について

スクリーニング	クームス法	(-)	(+)	(-)	(+)
	フィシン法	(-)	(-)	(+)	(+)
		同定検査			
		抗体価測定※			
		陰性報告	陽性報告		

※一部を除き、不規則性抗体が同定された場合に抗体価測定を実施します。

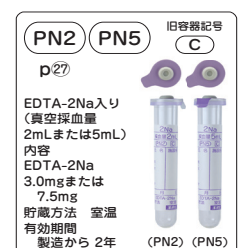
1. 不規則性抗体検査は、カラム凝集法にて、クームス法・酵素法(フィシン法)を実施しております。これらの方法は37℃にて加温するため、低温反応性抗体(冷式抗体および寒冷凝集素)は検出できない場合があります。
2. 自己対照陽性時の解離同定試験は実施していません。

# 免疫血清的検査

## 免疫グロブリン

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
免疫 グロ ブリン	3311 2 011081302	IgG 5A010-0000-023-061	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	38 ※6	免疫比濁法	870~1700 (mg/dL)	㊟
	3312 1 011091302	IgA 5A015-0000-023-061	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	38 ※6	免疫比濁法	110~410 (mg/dL)	㊟
	3313 0 011101302	IgM 5A020-0000-023-061	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	38 ※6	免疫比濁法	M 33~190 F 46~260 (mg/dL)	㊟
	A065 9 008951302	IgGサブクラス分画 (TIA) 5A050-0000-023-920	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~6		免疫比濁法 およびラテックス 免疫比濁法	IgG1 351~962 IgG2 239~838 IgG3 8.5~140 IgG4 4.5~117 (mg/dL)	㊟
	A240 4 008971302	IgG2 5A056-0000-023-061	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~6	239 ※6	免疫比濁法	239~838 (mg/dL)	㊟
	A273 8 043810702	IgG4 5A058-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	377 ※6	ラテックス 免疫比濁法	11~121 (mg/dL)	㊟

免疫血清的検査



# 免疫血清的検査

## 免疫グロブリン／補体および関連物質

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
免疫グロブリン	3202 3 011024802	免疫電気泳動 〔抗ヒト全血清による同定〕 5A135-0000-023-081	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	①② ③ 170 ※6	免疫電気泳動法		特異抗血清の検索は異常蛋白を中心に行いますので、ご了承ください。年齢、病歴を明記してください。 &1
	A260 2 01154A602	免疫電気泳動 〔特異抗血清による同定〕 5A136-0000-023-086	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	①② ③ 218 ※6	免疫固定法		特異抗血清の検索は異常蛋白を中心に行いますので、ご了承ください。年齢、病歴を明記してください。 &1
	A285 5 01154A802	免疫電気泳動 〔特異抗血清による同定〕 (DIRA) 5A136-0000-023-086	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	4~8	①② ③ 218 ※6	免疫固定法		多発性骨髄腫の治療薬であるダラツムマブを投与しているIgGκ型多発性骨髄腫の治療効果判定検査としてのみご依頼ください。 ダラツムマブを投与されていない多発性骨髄腫の治療効果判定検査は、「A260 2：免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕」をご依頼ください。年齢を明記してください。 &1
	A295 4 01155A202	免疫グロブリン遊離 L鎖κ/λ比 (フリーライトチェーン) 5A141-0000-023-062	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	388 ※6	ラテックス 比濁法	κ型 3.3~19.4 (mg/L) λ型 5.7~26.3 (mg/L) κ/λ比 0.26~1.65	&3
	A261 1 01156A221	尿中免疫電気泳動 〔尿中ベンズジョーンズ 蛋白の同定〕 5A145-0000-001-086	部分尿 0.4	U00	冷蔵	3~5	201 ※6	免疫固定法		特異抗血清の検索は異常蛋白を中心に行いますので、ご了承ください。年齢、病歴を明記してください。使用する抗血清はIgG、IgA、IgM、κ、λの5つになります。 &1
	A259 4 01157A212	オリゴクローナルバンド 5A150-0000-098-236	血清 1.0 と 髄液 1.0	S09 ↓ A00 と A00	冷蔵	10~14	④ 522 ※1	等電点 電気泳動法	検出せず	Ⓜ 他項目との重複依頼は避けてください。 &1
3336 5 01105A102	クリオグロブリン定性 5A160-0000-023-920	血清 1.0	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	42 ※6	寒冷沈澱法	陰性	採血時より血清分離までの間は37℃の状態で行い、血清分離後は冷蔵保存してください。必ず血清でご依頼ください。 &1	
補体および関連物質	3513 8 012083002	血清補体価 5B010-0000-023-142	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (-20℃以下 (1ヵ月))	2~4	38 ※6	Mayer法 相対比濁法	25.0~48.0 (CH50/mL)	血清分離後、直ちに-20℃以下で保存してください。 &3
	3325 7 011171302	C3 5B023-0000-023-061	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	70 ※6	免疫比濁法	86~160 (mg/dL)	&3
	3326 6 011181302	C4 5B024-0000-023-061	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	70 ※6	免疫比濁法	17~45 (mg/dL)	&3
	3324 8 017732702	C1q 5B040-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結	2~8		ネフェロメトリー	8.8~15.3 (mg/dL)	&3
	4123 0 018146403	C1インアクチベーター活性 (C1エステラーゼ インヒビター活性) 5B045-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 0.2	PC2 ↓ A00	凍結 (16日)	2~4	260 ※6	発色性合成基質法	70~130 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &4

- ①「免疫グロブリンL鎖κ/λ比」と「抗ヒト全血清による同定」又は「特異抗血清による同定」を同時に実施した場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②「抗ヒト全血清による同定」及び「特異抗血清による同定」については、同一検体につき一回に限り算定する。  
 ③「抗ヒト全血清による同定」及び「特異抗血清による同定」を併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
 ④多発性硬化症の診断目的で行った場合に算定する。

### [A295 4]免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比(フリーライトチェーン)検査結果について(試薬メーカー資料より引用)

- ・本測定結果は、補助診断としてご利用ください。
- ・診断・治療を決定する場合、また、臨床経過と測定値が一致しない場合は、病歴や他の検査所見も参考にして、総合的判断で行ってください。
- ・遊離L鎖の増加のため、抗原過剰により、予想外に低い測定値を示すこともあります。
- ・遊離L鎖の構造変化により、前回測定値と結果が大きく乖離する場合があります。

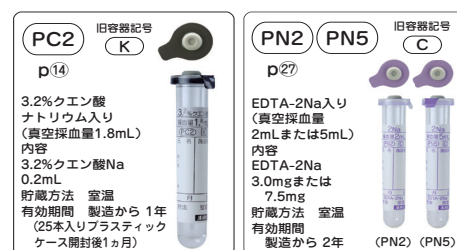
# 免疫血清的検査

血漿蛋白

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
3335 6 014321302	プレアルブミン 5C010-0000-023-061	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	104 ※6	免疫比濁法	22.0~40.0 (mg/dL)	Ⓔ	
3319 4 018120702	α <sub>1</sub> -マイクログロブリン 5C015-0000-023-062 5C015-0000-001-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	132 ※6	ラテックス 凝集免疫法	M 12.5~25.5 F 11.0~19.0 (mg/L)	Ⓔ	
4608 2 018120721		部分尿 0.5	U00					132 ※6		M 1.0~15.5 F 0.5~9.5 (mg/L)
3317 6 011122702	α <sub>1</sub> アンチトリプシン 5C020-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	80 ※3	ネフェロメトリー	94~150 (mg/dL)	Ⓔ	
3318 5 011132702	α <sub>1</sub> アシドグロブリン 5C025-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		ネフェロメトリー	M 45~98 F 39~86 (mg/dL)	Ⓔ	
3745 1 014300702	レチノール結合蛋白 (RBP) 5C030-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	136 ※6	ラテックス 凝集比濁法	M 2.7~6.0 F 1.9~4.6 (mg/dL)	Ⓔ	
3320 2 011142702	α <sub>2</sub> -マクログロブリン 5C035-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	138 ※3	ネフェロメトリー	M 100~200 F 130~250 (mg/dL)	Ⓔ	
3332 9 011192702	ハプトグロビン 5C040-0000-023-063	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	132 ※6	ネフェロメトリー	1-1型 83~209 2-1型 66~218 2-2型 25~176 (mg/dL)	Ⓔ	
3321 1 011152702	セルプラスミン 5C045-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	90 ※6	ネフェロメトリー	21~37 (mg/dL)	Ⓔ	
3322 0 011161302	トランスフェリン 5C060-0000-023-061	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	60 ※6	免疫比濁法	M 190~300 F 200~340 (mg/dL)	Ⓔ	
4609 1 011160723	尿中トランスフェリン 5C060-0000-004-062	蓄尿 0.5	U00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	101 ※1	ラテックス 凝集比濁法	0.80以下 (mg/day)	Ⓔ 凍結保存は避けてください。採尿後、速やかにご提出ください。Ⓔ	
4606 4 011160721	尿中トランスフェリン (クレアチニン換算値) 5C060-0000-001-062	部分尿 1	U00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	101 ※1	ラテックス 凝集比濁法	尿中トランスフェリン 換算値 1.00以下 (mg/g・CRE)	Ⓔ 凍結保存は避けてください。採尿後、速やかにご提出ください。Ⓔ	
3103 3 001490702	β <sub>2</sub> -マイクログロブリン 5C065-0000-023-062 5C065-0000-004-062 5C065-0000-001-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	101 ※6	ラテックス 凝集免疫法	1.0~1.9 (mg/L)	Ⓔ	
4730 6 001490723		蓄尿 0.5	U00					101 ※6		230以下 (μg/L)
4551 5 001490721		部分尿 0.5	U00					101 ※6		
P158 1 01177A202	C反応性蛋白(CRP) 定量 5C070-0000-023-062	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	16 ※6	ラテックス 凝集比濁法	0.140以下 (mg/dL)	Ⓔ	
K157 7 020020803	ペントラキシン3 (PTX3) 5C072-0000-022-023	速やかに 冷却 遠心 血漿 0.3	PN2,PN5 ↓ A00	凍結	3~9		ELISA	0.73~5.49 (ng/mL)	Ⓔ	

①「尿中トランスフェリン」、「尿中アルブミン」及び「尿中Ⅳ型コラーゲン」は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。  
②「SAA」、「CRP定性」、「CRP定量」と併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。

免疫血清的検査



# 免疫血清的検査

## 血漿蛋白

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
8517 6 016250702	血清アミロイドA蛋白 (SAA) 5C080-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	① 47 ※6	ラテックス 凝集免疫法	3.0以下 (mg/L)	&3
3172 7 014241902	ミオグロビン 5C090-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 135 ※4	CLIA	男性:154.9以下 女性:106.0以下 (ng/mL)	&I
8801 0 011800621	尿中ミオグロビン [CLEIA] 5C090-0000-001-052	部分尿 6	U50	冷蔵 (22日)	2~4	② 135 ※4	CLEIA	2.0未満 (ng/mL)	凍 採尿後、速やかに専用容器に入れ、 冷蔵してください。凍結は避けて ください。 &I
3649 8 016220702	ヒト心臓由来脂肪酸 結合蛋白(H-FABP) 5C091-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	② 135 ※4	ラテックス 凝集法	6.2未満 (ng/mL)	&3
3173 6 018660802	心室筋ミオシン軽鎖 I 5C092-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~6	③ 184 ※4	EIA	2.5以下 (ng/mL)	&1
9532 1 012340902	心筋トロポニンT 5C093-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (14日)	2~4	④ 112 ※4	ECLIA	0.014以下 急性心筋梗塞診断の カットオフ値 0.100 (ng/mL)	&I
P180 6 001110602	フェリチン 5C095-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	105 ※4	CLEIA	M 39.4~340.0 F 3.6~114.0 (ng/mL)	鉄欠乏性貧血および貧血のない鉄欠 乏の診断基準は12ng/mL 未満です。 [鉄剤の適正使用による貧血治療指針 (日本鉄バイオサイエンス学会)]
A042 4 020560621	L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)[CLEIA] 5C100-0000-001-052	部分尿 2.0	U00	冷蔵 (14日)	2~4	⑤⑥ 210 ※1	CLEIA	L-FABPクレアチニン 換算値 8.4以下 (μg/gCr)	凍 凍結保存は避けてください。酸性 蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合 がありますので、避けてください。 室温保存ではデータ影響が認めら れるため、速やかに冷蔵保存にて ご提出ください。 &I
A073 0 042721021	尿中NGAL 5C230-0000-001-051	部分尿 2	↓ U00	冷蔵 (7日)	2~4	⑥⑦ 210 ※1	CLIA	NGAL濃度 30.5以下 (ng/mL) クレアチニン換算値 21.7以下 (μg/gCr)	白血球の混入により高値となる可 能性があるため、採尿後、24時間 以内にてできるだけ速やかに400G以 上で5分間以上遠心分離し、上清を 提出容器に移しご提出ください。 &I
4157 3 016190842	ヒト癌胎児性 フィブロネクチン 5C111-0000-067-023	腔分泌物	VP5	凍結 (1ヵ月)	2~4	⑧ 204 ※6	ELISA	陰性	検体採取方法は⑨ページをご参照 ください。 &1
A197 3 030320902	I型プロコラーゲン -N-プロペプチド (total P1NP) 5C120-0000-023-053	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	⑨ 164 ※5	ECLIA	男性(30~83歳) 18.1~74.1 閉経前女性(30~44歳) 16.8~70.1 閉経後女性(45~79歳) 26.4~98.2 (ng/mL)	溶 溶血でのご依頼は避けてください (溶血の場合、データが低値傾向と なります)。&I
4716 2 015343321	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) 5C123-0000-001-052	部分尿 3	U00	冷蔵	2~4	⑩⑪ 156 ※5 (腫2)	CLEIA	次ページ参照	午前中の第二尿をご提出ください。 血尿でのご提出は避けてください。 &1
4753 1 016513321	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)(骨粗鬆症) 5C123-0000-001-052	部分尿 3	U00	冷蔵	2~4	⑩⑪ 156 ※5	CLEIA	男 性 13.0~66.2 閉経前女性 9.3~54.3 閉経後女性 14.3~89.0 (参考値) (nmolBCE/mmol-CRE) 判定基準:次ページ参照	午前中の第二尿をご提出ください。 血尿でのご提出は避けてください。 &1

- ①「SAA」,「CRP定性」,「CRP定量」と併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。  
②「H-FABP」と「ミオグロビン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。  
③同一の患者につき同一日に当該検査を2回以上行った場合は、1回のみ算定する。  
④「心筋トロポニン」と「心筋トロポニンT」を同一月に併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。  
⑤「L型脂肪酸結合蛋白」は、原則として3月に1回に限り算定する。ただし、医学的な必要性からそれ以上算定する場合には、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。  
⑥「L-FABP(尿)」と「NGAL(尿)」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。  
⑦「尿中NGAL」は、急性腎障害の診断時又はその治療中に測定した場合に算定できる。ただし、診断時においては1回、その後は急性腎障害に対する一連の治療につき3回を限度として算定する。なお、医学的な必要性からそれ以上算定する場合には、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。  
⑧「ヒト癌胎児性フィブロネクチン」及び「IGFBP-1」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。  
⑨「BAP」,「インタクト I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact P I NP)」,「I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(P I NP)」,「ALPアイソザイム(PAG電気泳動法)」のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。  
⑩「NTx」,「オステオカルシン」,「尿中DPD」,「TRACP-5b」を併せて実施した場合は、いずれか1つのみ算定する。  
⑪骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回、その後6月以内の薬剤効果判定時に1回に限り、また、薬剤治療方針を変更した時は変更後6月以内に1回に限り算定できる。
- (腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(47ページ参照)



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
8768 1 016441902	I型コラーゲンC末端 テロペプチド (ICTP) 5C124-0000-023-001	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	(腫2)	RIA2抗体法	4.5未満 (ng/mL)	&1
A040 6 030380602	Mac-2 結合蛋白糖鎖 修飾異性体 (M2BPGi) 5C141-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	①② ③ 194 ※4	CLEIA	(-) 下記参照	&I
A097 4 042860802	オートタキシン 5C240-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	③ 194 ※4	FEIA	判定基準: 下記参照 (mg/L)	&3
A234 1 011951002	プロコラーゲンⅢ ペプチド (P-Ⅲ-P)[CLIA] 5C130-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	①② ③ 136 ※4	CLIA	3.62~9.52 (ng/mL)	☑ カットオフ値(肝に線維化のみられる 疾患)6.95ng/mL &3
6785 4 019150702	Ⅳ型コラーゲン 5C134-0000-023-062	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	①② ③ 135 ※4	ラテックス 凝集比濁法	150以下 (ng/mL)	&3
4582 1 019150821	尿中Ⅳ型コラーゲン 5C134-0000-001-023	部分尿 5	U70	冷蔵 (1ヵ月)	3~9	④ 184 ※1	EIA	30~39歳 4.0以下 40歳以上 4.9以下 (μg/g・CRE)	☑ 早朝一番尿をご提出ください。 凍結保存および他項目との重複依頼は 避けてください。 なお、随時尿による参考基準値(健康人)は7.3 μg/g・CRE以下と報告されています。 &1
9246 9 011970602	Ⅳ型コラーゲン・7S [CLEIA] 5C135-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (23日)	2~4	①② ③ 148 ※4	CLEIA	4.4以下 (ng/mL)	&I
4742 3 01535A121	デオキシピリジノリン 5C146-0000-001-021	部分尿 3	U00	冷蔵	2~4	⑤⑥ 191 ※5 (腫2)	EIA	クレアチニン 換算値 M 2.1~5.4 F 2.8~7.6 (nmol/mmol・CRE)	午前中の第二尿をご提出ください。 &1
4756 8 015353321	デオキシピリジノリン (DPD)(骨粗鬆症) 5C146-0000-001-021	部分尿 3	U00	冷蔵	2~4	⑤⑥ 191 ※5	EIA	クレアチニン換算値 M 2.1~5.4 F 2.8~7.6 (nmol/mmol・CRE) 判定基準: 下記参照	午前中の第二尿をご提出ください。 &1

(腫2): 悪性腫瘍特異物質治療管理料(47ページ参照)

- ①「Ⅳ型コラーゲン」又は「Ⅳ型コラーゲン・7S」は、「P-Ⅲ-P」又は「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」と併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ②「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」と「P-Ⅲ-P」、「Ⅳ型コラーゲン」、「Ⅳ型コラーゲン・7S」又は「ヒアルロン酸」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ③「オートタキシン」と「P-Ⅲ-P」、「Ⅳ型コラーゲン」、「Ⅳ型コラーゲン・7S」、「ヒアルロン酸」又は「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ④「尿中トランスフェリン」、「尿中アルブミン」及び「尿中Ⅳ型コラーゲン」は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。
- ⑤「NTx」、「オステオカルシン」、「尿中DPD」、「TRACP-5b」を併せて実施した場合は、いずれか1つのみ算定する。
- ⑥骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回、その後6月以内の薬剤効果判定時に1回に限り、また、薬剤治療方針を変更した時は変更後6月以内に1回に限り算定できる。

### [4716 2] I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx)基準値、判定基準

(単位: nmolBCE/mmol・CRE)

基準値 (参考値)	男性	13.0 ~ 66.2
	閉経前女性	9.3 ~ 54.3
閉経後女性	14.3 ~ 89.0	
判定基準	骨吸収亢進の指標	55以上
	副甲状腺摘出術の適応	200以上
	悪性腫瘍(乳癌、肺癌、前立腺癌)の骨転移の指標	100以上

### [A040 6] Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)の判定基準

判定	C.O.I.
陰性(-)	1.00未満
陽性(1+)	1.00 ~ 3.00未満
陽性(2+)	3.00以上

### [4753 1] I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx)(骨粗鬆症) の判定基準 [4756 8] デオキシピリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)

検査項目	骨粗鬆症薬剤治療の指標		単位
	骨折リスク	骨量減少	
I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx) (骨粗鬆症)	54.3	35.3	nmolBCE/mmol・CRE
デオキシピリジノリン (DPD)(骨粗鬆症)	7.6	5.9	nmol/mmol・CRE

### [A097 4] オートタキシンの判定基準(カットオフ値)

(mg/L)

判定	男性	女性
①肝線維化進展例※	0.910	1.27
②肝硬変	1.69	2.12

- ①より高い検体は、肝線維化進展例と判定します。
  - ②より高い検体は、肝硬変と判定します。
- ※C型肝炎治療ガイドライン(第5.4版)の「肝線維化F2以上」にあたります。

容器については91ページをご参照ください

# 免疫血清的検査


## 血漿蛋白

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
血漿蛋白	3067 4 016280902	KL-6 5C210-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 111 ※4	CLEIA	500未満 (U/mL)	&I
	K219 8 012060602	プロカルシトニン 5C215-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結 (28日)	2~4	② 284 ※4	CLEIA	0.05以下 (ng/mL)	敗血症(細菌性)鑑別診断のカット オフ値:0.50ng/mL未満 敗血症(細菌性)重症度判定のカット オフ値:2.00ng/mL以上 &I
	A249 5 042650602	プレセプシン 5C216-0000-023-052 5C216-0000-022-052	速やかに遠心 血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結 (28日)	2~4	② 301 ※4	CLEIA	敗血症(細菌性)診 断のカットオフ値 500 (pg/mL)	採血後は、速やかに血清または血 漿分離し凍結保存してください。 ボルテックスミキサー等による激 しい攪拌、緩やかな長時間攪拌、 凍結融解はデータが高値となるた め避けてください。他項目との重 複依頼は避けてください。 &ヤ
A250 3 042650603	速やかに遠心 血漿 0.4	PH5 ↓ A00	② 301 ※4							

①「KL-6」、「SP-A」、「SP-D」のうちいずれが複数を実施した場合は、主たるもののみ算定する。


②「プレセプシン定量」と「プロカルシトニン(PCT)定量」、「プロカルシトニン(PCT)半定量」又は「エンドトキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

VP5 旧容器記号 W5  
p49




内容  
抽出液  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から1年

U70 旧容器記号 Y7  
p42




Tris+Hcl入り  
(容器容量10mL)  
内容  
1.5M Tris-  
Hcl 0.5mL  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から2年

PH5 旧容器記号 G  
p18




ヘパリン入り  
(真空採血量5mL)  
内容  
ヘパリンNa  
65IU  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から2年

XR5 旧容器記号 L6  
p52




CSF容器  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から3年

XR4 旧容器記号 L4  
p52




貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から4年

Z50 旧容器記号 L5  
p56



コンテナ容器セット  
貯蔵方法 室温

U50 旧容器記号 Y5  
p42



保存剤入り  
(容器容量10mL)  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から2年

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
B590 5 045360629	<b>β-アミロイド 1-42/1-40比</b>  5C207-0000-041-052	髄液 2.5	XR5	冷蔵 (15日)	3~9		CLEIA	0.067以上 (カットオフ値)	<b>重</b> 本検査は認知症の診断に関連する充分な知識及び経験を有する医師が、検査の原理及び結果の解釈を十分に理解したうえで、関連学会等の適正使用指針に従って使用してください。 「B594 1：リン酸化タウ」以外との重複依頼は避けてください。 指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器(XR5)で提出してください。 指定の検体量より少ない場合は、データへ影響を及ぼす可能性がありますので、必ず所定の量(2.5mL)にて提出してください。 検体の取り扱い上、クロイツフェルト・ヤコブ病を疑う患者検体の場合は、受託できません。 &3
B594 1 012020629	<b>リン酸化タウ</b>  5C201-0000-041-052	髄液 2.5	XR5	冷蔵 (15日)	3~9	641 ※1	CLEIA	21.5 ~ 59.0 (pg/mL)	<b>重</b> 本検査は、認知症の診断目的のための検査です。「B590 5：β-アミロイド1-42/1-40比」以外との重複依頼は避けてください。 指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器(XR5)で提出してください。 指定の検体量より少ない場合は、データへ影響を及ぼす可能性がありますので、必ず所定の量(2.5mL)にて提出してください。 検体の取り扱い上、クロイツフェルト・ヤコブ病を疑う患者検体の場合は、受託できません。 &3
A194 6 030080829	<b>タウ蛋白</b>  5C200-0000-041-023	髄液 1.0	XR4 Z50	凍結 (30日)	11~22	622 ※1	ELISA	1200未満 (pg/mL)	<b>重</b> 本検査は、クロイツフェルト・ヤコブ病の診断目的の検査です。他項目との重複依頼は避けてください。専用容器(XR4)に採取した検体は直ちに凍結し、コンテナ容器セット(Z50)に入れ、凍結保存してください。指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器で提出してください。 &2

### [A194 6] タウ蛋白について

同時に複数検体をご依頼の場合は、所要日数が変動する場合があります。あらかじめご了承ください。

# 免疫血清的検査

## サイトカイン

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
サ	A274 7 043800602	可溶性IL-2レセプター (sIL-2R) 5J095-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	438 ※5 (腫2)	CLEIA	157~474 (U/mL)	&I
	E287 9 019940602	TARC (Th2ケモカイン) 5J228-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	184 ※6	CLEIA	小児(6~12ヵ月) : 1367未満 小児(1~2歳) : 998未満 小児(2歳以上) : 743未満 成人 : 450未満 (pg/mL)	血漿はデータ低下が見られますので 避けてください。トロンビン入り採 血管は測定値に影響を与える恐れが あるため使用を避けてください。 &I
イ	B531 0 045340602	TARC (COVID-19) 5J228-0000-023-052	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	184 ※6	CLEIA	カットオフ値 95.1以上 (pg/mL)	採血後は速やかに血清分離をしてください。 血漿はデータ低下が見られますので避けて ください。 トロンビン入り採血管は測定値に影響を 与える恐れがあるため使用を避けてください。 SARS-CoV-2陽性患者の重症化リスクの判 定補助のカットオフ値は95.0pg/mLです。 SARS-CoV-2陽性患者において、重症(呼 吸不全を伴う中等症Ⅱ以上)化する患者の TARC濃度は発症初期からカットオフ値以 下の値を示すことが確認されています。 &I
	A750 8 045050602	インターフェロン-λ3 (IFN-λ3) 5J053-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (22日)	2~4	340 ※6	CLEIA	カットオフ値 13.6未満 (pg/mL)	13.6pg/mLはSARS-CoV-2陽性患者 の重症化予測診断のカットオフ値です。 溶血でのご依頼は避けてください。 不活化(非働化)検体は検査値に影響を 及ぼす場合がありますので避けてくだ さい。 &I
カ	8525 0 02165A102	ヒトインターフェロンγ(EIA) 5J050-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	事前に ご確認 ください		EIA	0.1以下 (参考値) (IU/mL)	&1
	3161 9 02193A102	IL-1β(インターロイキン-1β) 5J062-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	事前に ご確認 ください		ELISA	10以下 (参考値) (pg/mL)	&1
	3165 5 016340602	IL-4 (インターロイキン-4) (高感度) 5J105-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	事前に ご確認 ください		CLEIA	6.0以下 (参考値) (pg/mL)	&1
イ	A545 6 012350902	インターロイキン-6(IL-6) 5J130-0000-023-053	速やかに遠心 血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	2~4	170 ※5	ECLIA	7.0以下 (pg/mL)	採血後は、速やかに血清分離し凍 結保存してください。 &3
	3162 8 021520602	IL-6 (インターロイキン-6) 5J130-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~5		CLEIA	4.0以下 (pg/mL)	&3
ン	3163 7 021950891	IL-8 (インターロイキン-8)	培養液 0.5	A00		事前に ご確認 ください		ELISA	(pg/mL)	血清検体は高値となります。
	6169 8 021950803	5J140-0000-097-023 5J140-0000-022-023	血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結	事前に ご確認 ください		ELISA	2.0以下 (参考値) (pg/mL)	&1
	3185 3 015120802	IL-10 (インターロイキン-10) 5J150-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	事前に ご確認 ください		ELISA	5以下 (参考値) (pg/mL)	&1

(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(47ページ参照)

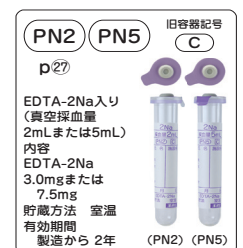
- ① アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助を目的として測定する場合は、月1回を限度として算定できる。
- ② COVID-19と診断された患者(呼吸不全管理を要する中等症以上の患者を除く。)の重症化リスクの判定補助を目的として測定する場合は、一連の治療につき1回を限度として算定できる。
- ③ COVID-19と診断された患者(呼吸不全管理を要する中等症以上の患者を除く。)の重症化リスクの判定補助を目的として測定した場合に算定できる。
- ④ 2回以上算定する場合は、前回の検査結果が基準値未満であることを確認すること。
- ⑤ 全身性炎症反応症候群の患者(疑われる患者を含む。)の重症度判定の補助を目的として、一連の治療につき2回に限り算定する。医学的な必要性から一連の治療につき3回以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

### [B531 0]TARC(COVID-19)の留意事項

1. SARS-CoV-2陽性患者の重症化リスクの判定補助を目的としているため、重症化後のご依頼は避けてください。
2. 重症化する患者でもカットオフ値(95.0 pg/mL)以下であったTARC濃度が病態経過に応じて上昇する症例があるため、SARS-CoV-2陽性患者の重症化リスクの判定補助には、他の関連検査及び臨床症状等により総合的に判断してください。
3. 免疫反応においては、一般的に非特異反応により異常高値となる場合があることが知られていますのでご注意ください。
4. SARS-CoV-2陽性患者検体をご依頼の際は、カテゴリ Bの三重梱包にてご提出ください。
5. SARS-CoV-2陽性患者検体の返却はいたしません。追加検査をご検討の場合は、予備検体の採取・保管をお願いいたします。

### [A750 8]インターフェロン-λ3(IFN-λ3)の留意事項

1. SARS-CoV-2陽性患者において、重症(呼吸不全を伴う中等症Ⅱ以上)化する前に、IFN-λ3の一過性の上昇が認められることが報告されているため、測定値がカットオフ値を超える一過性の上昇後、カットオフ値以下まで低下した時期に採血を行った場合は、重症化を予測できない可能性があります。
2. 免疫反応においては、一般的に非特異反応により陽性または陰性の判定となる場合があることが知られています。
3. IFN-λ3はC型慢性肝炎患者の血清で高値を示すことが報告されています。
4. 測定結果に基づく診断は他の関連検査及び臨床症状等により総合的に判断してください。
5. SARS-CoV-2陽性患者検体の返却はいたしません。追加検査をご検討の場合は、予備検体の採取・保管をお願いいたします。



# アレルギー検査

## アレルギー検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
7001 2	IgE(非特異的IgE) 〔FEIA〕 5A090-0000-023-023	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	100 ※6	FEIA	173以下 (IU/mL)	&I
A050 5	特異的IgE (MAST36アレルギー) 5A100-2807-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	1430 ※6	CLEIA	MASTクラス 0 1.39以下 (LC)	判定基準、アレルギー一覧表は95 ページをご参照ください。 &I
A089 3	特異的IgE (MAST48mix) 5A100-2809-023-052	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵 (18日)	4~6	1430 ※6	CLEIA	MASTクラス 0 1.39以下 (LC)	判定基準、アレルギー一覧表は95 ページをご参照ください。 &O
A294 5	特異的IgE (View アレルギー 39) 5A100-2808-023-023	血清 1.0	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	1430 ※6	FEIA	クラス 0 0.27未満 (Index)	判定基準、アレルギー一覧表は95 ページをご参照ください。検査結 果をクラスとIndex値で表示する 半定量検査です。 &I
7003 0	アトピー鑑別試験 (12種吸入性アレルギー) 5A100-2820-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	194 ※6	FEIA	陰性	対象アレルギーは96ページをご参 照ください。 &I
0396 2	小児用					1430 ※6			
0397 1	特異的IgE (C-PAC16 アレルギー) アトピー性 皮膚炎用	血清 各 1.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	1430 ※6	FEIA	クラス 0 0.35未満 (U <sub>A</sub> /mL)	判定基準、アレルギー一覧表は96 ページをご参照ください。 &I
0398 0	鼻炎・ 喘息用					1430 ※6			&I
0400 6	特異的IgE (C-PAC5アレルギー) 小児除去食用	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	550 ※6	FEIA	クラス 0 0.35未満 (U <sub>A</sub> /mL)	判定基準、アレルギー一覧表は96 ページをご参照ください。 &I
	特異的IgE (マルチアレルギー)	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	各110 ※6	FEIA	クラス 0 0.35未満 (U <sub>A</sub> /mL)	判定基準、アレルギー一覧表は96 ページをご参照ください。 &I
	特異的IgE (シングルアレルギー)	1アレルギー 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	17アレルギー 110 ※6	FEIA	クラス 0 0.35未満 (U <sub>A</sub> /mL)	判定基準、アレルギー一覧表は97、 98ページをご参照ください。 &I
A026 2	特異的IgE (Ara h 2) (ピーナッツ由来) 5A100-2500-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	110 ※6	FEIA	0.35未満 陰性 (U <sub>A</sub> /mL)	特異的IgEピーナッツの陽性者が対 象です。判定基準は96ページをご 参照ください。 &I
B530 1	SCCA2 5C250-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (30日)	11~23	1・2 300 ※6	ELISA	参考基準範囲 1.6未満 軽症 1.6以上 2.6未満 中等症 2.6以上 6.0未満 重症 6.0以上 (ng/mL)	⚠ 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 唾液・フケ・皮膚(表皮)・毛髪・爪 などの混入により高値傾向を示す 場合がありますので、検体の取り 扱いには充分にご注意ください。 &A

① 15歳以下の小児におけるアトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として、月1回を限度として算定する。  
② 「TARC」と「SCCA2」を同一月に併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

アレルギー検査

# アレルギー検査

## アレルギー検査

[A089 3]特異的IgE(MAST48mix)、[A050 5]特異的IgE(MAST36アレルギー)

分類	構成アレルギー	MAST48mix		MAST36アレルギー	
		項目	対象	項目	対象
食物アレルギー	ミルク*	ミルク	●	ミルク	●
	小麦*	小麦	●	小麦	●
	卵白*	卵白	●	卵白	●
	オボムコイド*	オボムコイド*	●	オボムコイド*	●
	ゴマ**	ゴマ	●	ゴマ	●
	ソバ*	ソバ	●	ソバ	●
	大豆**	大豆	●	大豆	●
	米	米	●	米	●
	ピーナッツ*	ピーナッツ	●	ピーナッツ	●
	サバ**	サバ	●	—	
	マグロ	マグロ	●	マグロ	●
	サケ**	サケ	●	サケ	●
	エビ*	エビ	●	エビ	●
	カニ*	カニ	●	カニ	●
	豚肉**	豚肉	●	豚肉	●
	牛肉**	牛肉	●	牛肉	●
	鶏肉**	鶏肉	●	鶏肉	●
	トマト	トマト	●	トマト	●
	モモ**	モモ	●	モモ	●
	キウイ**	キウイ	●	キウイ	●
バナナ**	バナナ	●	バナナ	●	
ヘーゼルナッツ			—		
アーモンド**	木の実ミックス	●	—		
クルミ**			—		

分類	構成アレルギー	MAST48mix		MAST36アレルギー		
		項目	対象	項目	対象	
花粉アレルギー	スギ	スギ	●	スギ	●	
	ヒノキ	ヒノキ	●	ヒノキ	●	
	ハンノキ	ハンノキ	●	ハンノキ	●	
	シラカンバ	シラカンバ	●	シラカンバ	●	
	ヨモギ	ヨモギ	●	ヨモギ	●	
	オオアワガエリ			●	オオアワガエリ	●
	カモガヤ			●	カモガヤ	●
	ナガハグサ	イネ科ミックス	●	—		
	ハルガヤ			—		
	ギョウギシバ			—		
	ブタクサ			●	ブタクサ混合物1	●
	オオブタクサ	ブタクサミックス	●	—		
ブタクサモドキ			—			
その他アレルギー	ハウスダスト1	ハウスダスト1	●	ハウスダスト1	●	
	アスベルギルス	アスベルギルス	●	アスベルギルス	●	
	カンジダ	カンジダ	●	カンジダ	●	
	ラテックス	ラテックス	●	ラテックス	●	
	コナヒョウヒダニ			●	コナヒョウヒダニ	●
	ヤケヒョウヒダニ	ダニミックス	●	—		
	イヌ皮膚	イヌ・ネコ皮膚ミックス	●	●	イヌ皮膚	●
	ネコ皮膚			●	ネコ皮膚	●
	アルテルナリア			●	アルテルナリア	●
	ベニシリウム	カビミックス	●	—		
クラドスポリウム			—			

\* : 食品の表示義務のある「特定原材料」に関するアレルギー  
 \*\* : 表示を推奨されている「特定原材料に準ずるもの」に関するアレルギー

特異的IgE(MAST48mix、MAST36アレルギー)(判定基準)

MASTクラス	ルミカウント(LC)	判定
0	0~1.39	陰性
1	1.40~2.77	疑陽性
2	2.78~13.4	陽性
3	13.5~58.0	
4	58.1~119	
5	120~159	
6	160~200	

特異的IgE(View アレルギー 39)(判定基準)

クラス	Index値	判定
0	0.27未満	陰性
1	0.27~ 0.50未満	疑陽性
2	0.50~ 1.80未満	陽性
3	1.80~ 7.05未満	
4	7.05~17.35未満	
5	17.35~29.31未満	
6	29.31以上	

[A294 5]特異的IgE(View アレルギー 39)

### 含まれるアレルギー

ヤケヒョウヒダニ、ネコ皮膚、イヌ皮膚、卵白\*、ミルク\*、小麦\*、米、ゴマ\*\*、ソバ\*、ピーナッツ\*、大豆\*\*、カニ\*、エビ\*、豚肉\*\*、牛肉\*\*、マグロ、サケ\*\*、リンゴ\*\*、サバ\*\*、鶏肉\*\*、キウイ\*\*、バナナ\*\*、オボムコイド\*、カモガヤ、オオアワガエリ、ハウスダスト1、ゴキブリ、ガ、ラテックス、アスベルギルス、カンジダ、アルテルナリア、マラセチア(属)、ハンノキ(属)、シラカンバ(属)、スギ、ヒノキ、ブタクサ、ヨモギ

\* : 食品の表示義務のある「特定原材料」に関するアレルギー  
 \*\* : 表示を推奨されている「特定原材料に準ずるもの」に関するアレルギー

### [7003 0]アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)

混合アレルギーの内容(個々のアレルギーのご報告はありません)

ヤケヒョウヒダニ、コナヒョウヒダニ、ネコのフケ、イヌのフケ、ギョウギシバ、カモガヤ、フタクサ、ヨモギ、シラカンバ(属)、スギ、カンジダ、アルテルナリア

### 特異的IgE(C-PAC16アレルギー、C-PAC5アレルギー)(抗体保有率順)

項目コード	名称	含まれるアレルギー
0396 2	C-PAC16 小児用	ヤケヒョウヒダニ(ダニ1)、卵白、イヌのフケ、スギ、牛乳、ネコのフケ、ピーナッツ、小麦、大豆、ゴキブリ、ソバ、イクラ、エビ、イワシ、サケ、鶏肉
0397 1	C-PAC16 アトピー性 皮膚炎用	スギ、ヤケヒョウヒダニ(ダニ1)、マラセチア(属)、カンジダ、ガ、イヌのフケ、ネコのフケ、ピーナッツ、小麦、カモガヤ、カニ、ソバ、大豆、エビ、サバ、イワシ
0398 0	C-PAC16 鼻炎・喘息用	ヤケヒョウヒダニ(ダニ1)、スギ、ガ、ネコのフケ、イヌのフケ、ゴキブリ、ヒノキ、ユスリカ(成虫)、カンジダ、カモガヤ、フタクサ、ヨモギ、アスペルギルス、ハンノキ(属)、アルテルナリア、ハムスター上皮
0400 6	C-PAC5 小児除去食用	卵白、牛乳、ピーナッツ、小麦、ソバ

※お預かりした検体の量が指定の提出量より少ない場合、全アレルギーの検査が実施できないことがあります。この場合は、上記の抗体保有率の高いアレルギーの順から検査を実施させていただきます。

### 特異的IgE(マルチアレルギー)

項目コード	分野	混合アレルギーの内容(個々のアレルギーのご報告はありません)
7461 2	イネ科 5A100-2821-023-023	G1:ハルガヤ、G2:ギョウギシバ、G3:カモガヤ、G6:オオアワガエリ、G7:アシ
7463 0	雑草 5A100-2822-023-023	W1:フタクサ、W6:ヨモギ、W7:フランスギク、W8:タンポポ(属)、W12:アキノキリンソウ
7465 8	食物 5A100-2823-023-023	F1:卵白、F2:牛乳、F4:小麦、F13:ピーナッツ、F14:大豆
7467 6	穀物 5A100-2824-023-023	F4:小麦、F8:トウモロコシ、F9:米、F10:ゴマ、F11:ソバ
7469 4	動物上皮 5A100-2825-023-023	E1:ネコのフケ、E5:イヌのフケ、E6:モルモット上皮、E87:ラット、E88:マウス
7471 1	カビ 5A100-2826-023-023	M1:ペニシリウム、M2:クラドスポリウム、M3:アスペルギルス、M5:カンジダ、M6:アルテルナリア、M8:ヘルミントスポリウム

### 特異的IgE(C-PAC16アレルギー) 特異的IgE(C-PAC5アレルギー)小児除去食用 (判定基準) 特異的IgE(マルチアレルギー)

クラス	特異的IgE抗体価(U <sub>A</sub> /mL)	判定
0	0.35未満	陰性
1	0.35 ~ 0.70未満	疑陽性
2	0.70 ~ 3.50未満	陽性
3	3.50 ~ 17.5未満	
4	17.5 ~ 50.0未満	
5	50.0 ~ 100未満	
6	100以上	

### [A026 2]特異的IgE(Ara h 2)(ピーナッツ由来)(判定基準)

判定	特異的IgE抗体価(U <sub>A</sub> /mL)
陽性	4.00以上
疑陽性	0.35 ~ 3.99
陰性	0.35未満

# アレルギー検査

## シングルアレルゲン〔FEIA〕一覧(CAP)

### 特異的IgE(シングルアレルゲン)FEIA法

実施料：1アレルゲンにつき110点算定できます。ただし、1回につき1430点を限度とします。判断料区分：※6

項目コード	略語	アレルゲン名
<b>イネ科植物花粉</b>		
7011 1	G1	ハルガヤ
7013 9	G2	ギョウギシバ
7015 7	G3	カモガヤ
7017 5	G4	ヒロハウシノケグサ
7019 3	G5	ホソムギ
7021 0	G6	オオアワガエリ
7023 8	G7	アシ
7025 6	G8	ナガハグサ
7027 4	G9	コヌカグサ(属)
7031 9	G10	セイバンモロコシ
7035 5	G17	スズメノヒエ(属)
7041 8	G15	小麦(花粉)
7043 6	G16	オオスズメノテッポウ
<b>雑草花粉</b>		
7061 6	W1	ブタクサ
7063 4	W2	ブタクサモドキ
7065 2	W3	オオブタクサ
7069 8	W5	ニガヨモギ
7071 5	W6	ヨモギ
7073 3	W7	フランスギク
7075 1	W8	タンポポ(属)
7077 9	W9	ヘラオオバコ
7079 7	W10	シロザ
7083 2	W12	アキノキリンソウ
7089 6	W20	イラクサ(属)
7095 9	W18	ヒメスイバ
8861 7	W22	カナムグラ
<b>樹木花粉</b>		
7111 0	T1	カエデ(属)
7113 8	T2	ハンノキ(属)
7115 6	T3	シラカンバ(属)
7119 2	T5	ブナ(属)
7121 9	T6	ジャコウソク(属)
7123 7	T7	コナラ(属)
7125 5	T8	ニレ(属)
7127 3	T9	オリーブ
7129 1	T10	クルミ(属)
7133 6	T12	ヤナギ(属)
7135 4	T17	スギ
7151 6	T24	ヒノキ
7143 5	T19	アカシア(属)

項目コード	略語	アレルゲン名
7147 1	T70	クワ(属)
7149 9	T16	マツ(属)
<b>真菌</b>		
7171 4	M1	ペニシリウム
7173 2	M2	クラドスポリウム
7175 0	M3	アスペルギルス
8483 4	M218	Asp f 1(アスペルギルス由来)
7177 8	M4	ムコール
7179 6	M6	アルテルナリア
7181 3	M5	カンジダ
7183 1	M8	ヘルミントスポリウム
K371 9	M227	マラセチア(属)
7239 9	M205	トリコフィトン
<b>動物表皮</b>		
7201 0	E1	ネコのフケ
7205 6	E3	ウマのフケ
7207 4	E4	ウシのフケ
7209 2	E5	イヌのフケ
7211 9	E6	モルモット上皮
7215 5	E70	ガチョウ羽毛
7217 3	E77	セキセイインコのフン
7219 1	E78	セキセイインコ羽毛
8837 4	E80	ヤギ上皮
7221 8	E81	羊上皮
7223 6	E82	家兎上皮
7225 4	E83	豚上皮
7227 2	E84	ハムスター上皮
7229 0	E85	ニワトリ羽毛
7231 7	E86	アヒル羽毛
7233 5	E87	ラット
7235 3	E88	マウス
<b>寄生虫</b>		
7251 5	P1	回虫
7255 1	P4	アニサキス
<b>昆虫</b>		
7261 4	I1	ミツバチ
7263 2	I3	スズメバチ
7265 0	I4	アシナガバチ
7267 8	I6	ゴキブリ
7273 1	I7	ユスリカ(成虫)
7269 6	I71	ヤブカ(属)
7237 1	I8	ガ

項目コード	略語	アレルゲン名
<b>ダニ</b>		
7281 2	D1	ヤケヒョウヒダニ(ダニ1)
7283 0	D2	コナヒョウヒダニ(ダニ2)
7285 8	D70	アシフトコナダニ
7287 6	D71	サヤアシシクダニ
7289 4	D72	ケナガコナダニ
<b>室内塵</b>		
7301 9	H1	ハウスダスト1
7303 7	H2	ハウスダスト2
<b>食餌性アレルゲン</b>		
7311 8	F2	牛乳
7313 6	F1	卵白
7315 4	F3	タラ
7317 2	F13	ビーナッツ
7319 0	F20	アーモンド
K375 5	F202	カシューナッツ
A272 9	F443	Ana o 3(カシューナッツ由来)
7321 7	F17	ハシバミ
7323 5	F14	大豆
A054 1	F353	Gly m 4(大豆由来)
7325 3	F23	カニ
7327 1	F24	エビ
7329 9	F4	小麦
K373 7	F416	ω-5グリアジン
7331 6	F5	ライ麦
7333 4	F6	大麦
7335 2	F7	オート麦
7337 0	F8	トウモロコシ
7339 8	F12	エンドウ
7341 5	F18	ブラジルナッツ
7343 3	F9	米
7345 1	F25	トマト
7347 9	F31	ニンジン
7349 7	F33	オレンジ
7351 4	F40	マグロ
7353 2	F26	豚肉
7355 0	F35	ジャガイモ
7357 8	F36	ココナッツ
7359 6	F37	ムラサキイガイ
7361 3	F44	イチゴ
7363 1	F41	サケ
7365 9	F10	ゴマ



# アレルギー検査

## シングルアレルゲン〔FEIA〕一覧(CAP)

### 特異的IgE(シングルアレルゲン)FEIA法

実施料：1アレルゲンにつき110点算定できます。ただし、1回につき1430点を限度とします。判断料区分：※6

項目コード	略語	アレルゲン名
7367 7	F11	ソバ
7369 5	F47	ニンニク
7371 2	F48	タマネギ
7373 0	F27	牛肉
7375 8	F45	ビール酵母
7377 6	F49	リンゴ
7379 4	F75	卵黄
7381 1	F76	α-ラクトアルブミン
7383 9	F77	β-ラクトグロブリン
7385 7	F78	カゼイン
7387 5	F80	ロブスター
7389 3	F81	チーズ
7391 0	F83	鶏肉
7393 8	F84	キウイ
7395 6	F85	セロリ
7397 4	F86	パセリ
7399 2	F87	メロン
7401 8	F88	羊肉
7403 6	F89	マスタード
7405 4	F15	インゲン
8853 6	F51	タケノコ
7433 3	F54	サツマイモ
7435 1	F55	キビ

項目コード	略語	アレルゲン名
7437 9	F56	アワ
8855 4	F58	イカ
8857 2	F59	タコ
8845 5	F50	サバ
7407 2	F60	アジ
8859 0	F61	イワシ
7452 2	F79	グルテン
8863 5	F82	モールドチーズ
8849 1	F90	麦芽
8803 1	F91	マンゴ
7450 4	F92	バナナ
7448 7	F93	カカオ
7441 4	F94	洋ナシ
7487 4	F95	モモ
8865 3	F96	アボカド
0956 0	F97	ヤマイモ
8867 1	F209	グレープフルーツ
7489 2	F214	ホウレンソウ
7456 8	F225	カボチャ
7275 9	F233	オボムコイド
0958 8	F256	クルミ
A271 0	F441	Jug r 1 (クルミ由来)
0997 5	F329	スイカ

項目コード	略語	アレルゲン名
7454 0	F254	カレイ
6534 2	F349	イクラ
6536 0	F350	タラコ
6484 8	F338	ホタテ
6486 6	F207	アサリ
6488 4	F290	カキ(貝)

### 職業性アレルゲン

7497 3	K72	オオバコ種子
7491 9	K75	イソシアネート TDI
7477 5	K76	イソシアネート MDI
7473 9	K77	イソシアネート HDI
7479 3	K78	エチレンオキシド
7495 5	K79	無水フタル酸
7185 9	K80	ホルマリン
7475 7	K82	ラテックス
A055 0	K220	Hev b 6.02(ラテックス由来)

### その他

7529 7	C73	ヒトインシュリン
7309 1	C74	ゼラチン
7305 5	M80	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンA
7307 3	M81	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンB
7409 0	O1	綿

アレルギー検査

アレルゲンは一時的に入手不可能なものがありますので、あらかじめご了承ください。

### 特異的IgE(シングルアレルゲン)FEIA法(判定基準)

クラス	特異的IgE抗体価(U <sub>A</sub> /mL)	判定
0	0.35未満	陰性
1	0.35 ~ 0.70未満	疑陽性
2	0.70 ~ 3.50未満	陽性
3	3.50 ~ 17.5未満	
4	17.5 ~ 50.0未満	
5	50.0 ~ 100未満	
6	100以上	

# 細胞性免疫検査

## 細胞性免疫検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
細胞性	7880 7 01249A101	曜日指定 CD34定量 51164-0000-019-662	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5	フローサイト メトリー	(/μL)	重 受託可能日は月~金曜日です。 末梢血幹細胞(PBSC)でご依頼の 場合は、ご依頼時に最寄りの営業 所・営業拠点までご連絡ください。 なお、DMSO含有の場合は、凍結 保存してください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 &1
	7902 2 015584401	曜日指定 赤血球表面マーカー検査 CD55 51235-0000-019-662	血液 1.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5	フローサイト メトリー	85.4以上 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	7903 1 015594401	曜日指定 赤血球表面マーカー検査 CD59 51247-0000-019-662	血液 1.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5	フローサイト メトリー	99.8以上 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
免疫	A158 6 030094401	曜日指定 高感度PNH型血球検査 51050-0000-019-662	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵	3~5	フローサイト メトリー	判定基準:次ページ 参照	重凍 EDTA-2Na入りの採血管で必ず採 血してください。 必ず冷蔵保存にてご提出ください。 受託可能日は月~金曜日です。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 &1
	7881 6 017854401	曜日指定 白血病・リンパ腫解析検査 (LLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	骨髄液 1.0 血液 5.0 (ヘパリン加)	H00 PH5	冷蔵 室温	3~5	1940 ※3 フローサイト メトリー	1940 ※3	凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 &1
	7734 9 015914401	曜日指定 悪性リンパ腫解析検査 (MLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	リンパ節 5×5×5mm 血液 5.0 (ヘパリン加)	H20 PH5	冷蔵 室温	3~5	1940 ※3 フローサイト メトリー	1940 ※3	凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 &1
検査	E850 3 019684428	曜日指定 多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析 (造血器悪性腫瘍細胞検査)	骨髄液 1.0	H00	冷蔵 (1B)	3~5	1940 ※3 フローサイト メトリー	1940 ※3	凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 &1
		曜日指定 多発性骨髄腫 マルチパラメーター フローサイトメトリー (8color)	骨髄液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	室温	4~6	1940 ※3 フローサイト メトリー	1940 ※3	重凍 骨髄液をEDTA-2Na入りの採血管に 採取し、室温にてご提出ください。 受託可能日は月~金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 &1
		曜日指定 悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析 (造血器悪性腫瘍細胞検査)	リンパ節 5×5×5mm	H20	冷蔵 (1B)	3~5	1940 ※3 フローサイト メトリー	1940 ※3	凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 末梢血、骨髄液は避けてください。 &1

### 細胞性免疫検査のご依頼について

1. 検体は採取後、当日中にご提出ください。
  2. リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。
  3. 骨髄液でのご依頼の場合は、専用容器(H00)を使用し冷蔵にてご提出ください。ただしCD34定量は保存液により希釈されると正しい検査結果が得られないため、専用容器(PH5)をご使用ください。
  4. リンパ節等、組織でのご依頼の場合は、専用容器(H20)に浮遊させ冷蔵にてご提出ください。
- ※[A158 6]高感度PNH型血球検査、多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)は除きます。

白血病・リンパ腫解析検査(LLA)・悪性リンパ腫解析検査(MLA)  
多発性骨髄腫解析検査CD38マルチ解析・多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)・悪性リンパ腫解析検査7AAD解析

項目	検出抗体
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)	CD1a CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10 CD13 CD14 CD19 CD20 CD33 CD34 CD41 CD56 GP-A HLA-DR
悪性リンパ腫解析検査(MLA)	CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10 CD11c CD16 CD19 CD20 CD23 CD25 CD30 CD34 CD56 κ-chain λ-chain
多発性骨髄腫解析検査CD38マルチ解析	CD7 CD19 CD20 CD33 CD45 CD49e CD54 CD56 CD138 MPC-1 cy κ-chain cy λ-chain
多発性骨髄腫マルチパラメーター フローサイトメトリー(8color)	CD19 CD27 CD38* CD45 CD56 CD138 cylg κ cylg λ
悪性リンパ腫解析検査7AAD解析	CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10 CD19 CD20 CD25 CD30 CD34 CD38 CD45 CD56 IgM κ-chain λ-chain

※マルチエピトープ抗体を使用しております。

### 多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)のご依頼について

1. 検体は採取後、当日中にご提出ください。
2. 骨髄液をEDTA-2Na入りの採血管に採取し、室温にてご提出ください。
3. 本項目は、多発性骨髄腫の患者に対して、8カラーのマルチパラメーターフローサイトメトリーを用い、1000万個以上の白血球の解析が可能です。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
細胞性免疫検査	3929 7 012595801	☑️ PHAによるリンパ球 幼若化検査 51010-0000-019-814	血液 各 5.0 (ヘパリン加)	PH9	室温	7~8	① 345 ※6	³H-サイミジン 取り込み能	PHA+ 20500~56800 CONTROL 127~456 (cpm)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	3932 3 012605801	☑️ Con-Aによるリンパ球 幼若化検査 51011-0000-019-814								
	3935 0 839350000 3936 9 839360000 3937 8 839370000 3938 7 839380000 3939 6 839390000	☑️ 薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST) 51014-0000-019-814	PH9	室温	8~10	①	³H-サイミジン 取り込み能	陰性	受託可能日は月~金曜日です。 1薬剤増ごとに血液5.0mL必要となり ます。血液と同時にご依頼薬剤も ご提出ください。(原則として皮内反 応注射薬は検査できません。) ヘパリンが起因薬剤と疑われる場合 は全ての採血管に(PNK)の容器を 使用してください。 &1	
	9534 9 018105801	📅 MLC (リンパ球混合培養) 5K160-0000-019-814								PH9

① Con-A、PHA又は薬疹の被疑医薬品によるものである場合算定できる。(リンパ球刺激試験(LST)1薬剤345点、2薬剤425点、3薬剤以上515点)

### 薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST)の検体について

1. 1薬剤増ごとに血液5.0mL必要となります。
2. 1薬剤で500万個のリンパ球が必要となります。場合により検査に必要なリンパ球数が得られず、検査不能となる場合があります。
3. 目安として白血球数が3000mm<sup>3</sup>以下の場合は倍量程度を採血しご提出ください。なお、詳しい白血球数とリンパ球%が判明している場合は、担当営業員までお問い合わせください。
4. 2項目以上ご依頼の場合は、必ず優先順位をご指示ください。
5. 血液と同時にご依頼薬剤もご提出ください。  
錠剤(1錠)、カプセル(1カプセル)、粉末(1回投与量程度1包)、リキッドタイプの飲み薬(0.5mL程度)、注射薬(1バイアル【アンプル】)。皮内反作用テストアンプルは微量のため検査できません。その他の薬剤以外で検査をご依頼の場合は、担当営業員までご連絡ください。
6. ヘパリンが起因薬剤と疑われる場合は全て専用容器(PNK)に採血し、ご提出ください。
7. 「麻薬及び向精神薬取締法」第一章第二条および「覚せい剤取締法」第三章および別表に掲げられている規制対象薬剤の受領はできません。
8. ご依頼の際は、麻薬、覚せい剤が含まれていないことをご確認いただき、依頼書等へご署名をお願いいたします。ご署名のない場合は、受領いたしかねます。

### MLC(リンパ球混合培養)について

MLC(リンパ球混合培養)は予約検査となりますので、採血前に必ず担当営業員にご連絡ください。

### [A158 6] 高感度PNH型血球検査(判定基準)

	%	判定
PNH型顆粒球	0.003未満	陰性
	0.003以上	陽性
PNH型赤血球	0.005未満	陰性
	0.005以上	陽性



# 細胞性免疫検査

## 細胞性免疫検査

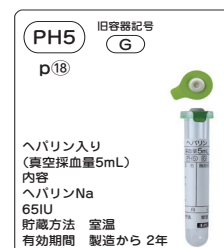
	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
細胞性	3920 6 012574401	曜日指定 T細胞百分率 B細胞百分率 51020-0000-019-662	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5	198 ※6	フローサイト メトリー	T 66~89 B 4~13 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	3923 3 012644401	曜日指定 IgG 51021-0000-019-662	血液 各 1.0 (ヘパリン加) [3項目 以上の 依頼の 場合は 3.0mL]	PH5	室温	3~5	157 ※6	フローサイト メトリー	1~3 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	3924 2 012654401	(S m i g) IgA 51022-0000-019-662							3~12 (%)	
	3925 1 012664401	IgM 51023-0000-019-662							1~10 (%)	
	3926 0 012674401	IgD 51024-0000-019-662							3~8 (%)	
	3927 9 012684401	K 51025-0000-019-662							1~5 (%)	
	3928 8 012694401	L 51026-0000-019-662								
免疫		曜日指定 モノクローナル抗体による リンパ球表面マーカーの 自動解析							血液 3.0 (ヘパリン加)	
		曜日指定 Two-color解析による リンパ球表面マーカー検査	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		Two-color フローサイト メトリー	103ページ参照	受託可能日は月~金曜日です。 実施項目一覧は、103ページをご 参照ください。 10項目以上依頼の場合は血液 5.0mL採血してください。 &1
疫	3922 4 012584401	曜日指定 IgG-FcR <sup>+</sup> T細胞百分率 51040-0000-019-662	血液 1.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5	198 ※6	フローサイト メトリー	2~23 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	7900 4 015564401	曜日指定 血小板表面マーカー検査 CD41 51185-0000-019-662	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイト メトリー	97.0以上 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
検査	7901 3 015574401	曜日指定 血小板表面マーカー検査 CD42b 51189-0000-019-662	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイト メトリー	74.9以上 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	7916 7 016204401	曜日指定 Th1/Th2 (IFN- $\gamma$ × IL-4/CD4) 51880-0000-019-662	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	4~6		フローサイト メトリー	(%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	3942 2 012637901	曜日指定 NK細胞活性 51900-0000-019-907	血液 5.0 (保存液加)	PNK	冷蔵	3~5		<sup>51</sup> Cr遊離法	18~40 (参考値) (%)	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1

### 細胞性免疫検査のご依頼について

1. 検体は採取後、当日中にご提出ください。
  2. リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。
  3. 骨髄液でのご依頼の場合は、専用容器(H00)を使用し冷蔵にてご提出ください。ただしCD34定量は保存液により希釈されると正しい検査結果が得られないため、専用容器(PH5)をご使用ください。
  4. リンパ節など、組織でのご依頼の場合は、専用容器(H20)に浮遊させ冷蔵にてご提出ください。
- ※[7900 4、7901 3]血小板表面マーカー検査CD41、CD42bは除きます。

### [7900 4、7901 3]血小板表面マーカー検査CD41、CD42bについて

検体は採取後、当日中にご提出ください。



# 細胞性免疫検査

細胞表面マーカー

曜日指定 受託可能日は月～金曜日です。

モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析実施項目一覧

CD : Cluster of differentiation

項目コード 新項目コード	CD No. JLAC10	基準値 (単位)	実施料 判断料	主として反応する細胞・代表的な反応性
3946 8 017504401	CD1a 51060-0000-019-662	1.0以下(%)	185 ※6	胸腺皮質細胞
3945 9 017514401	CD2 51064-0000-019-662	71.0～91.0 (%)		T細胞・Eロゼット形成細胞
3972 9 017464401	CD3 51067-0000-019-662	58.0～84.0 (%)		成熟(末梢)T細胞
3973 8 017474401	CD4 51070-0000-019-662	25.0～54.0 (%)		ヘルパー T細胞
3974 7 017484401	CD8 51082-0000-019-662	23.0～56.0 (%)		細胞傷害性T細胞
	CD4/CD8 比	0.40～2.30		
3956 7 017594401	CD5 51073-0000-019-662	60.0～90.0 (%)		T細胞・一部のB細胞
3964 8 010024401	CD7 51079-0000-019-662	72.0～90.0 (%)		T細胞
3957 6 017674401	CD10 51088-0000-019-662	1.0以下(%)		ALL・好中球
3976 5 017534401	CD11b 51092-0000-019-662	18.0～49.0 (%)		NK細胞・T細胞の一部
3948 6 010094401	CD13 51098-0000-019-662	9.0以下(%)	単球・顆粒球・骨髄細胞	
3952 1 010104401	CD14 51101-0000-019-662	5.0以下(%)	単球	
3958 5 017584401	CD16 51110-0000-019-662	6.0～39.0 (%)	NK細胞(Fcγレセプター) 好中球	
3959 4 010114401	CD19 51119-0000-019-662	5.0～24.0 (%)	B細胞	
3947 7 018294401	CD20 51122-0000-019-662	3.0～20.0 (%)	成熟B細胞	
3966 6 010184401	CD21 51125-0000-019-662	3.0～18.0 (%)	成熟B細胞	
3898 2 012474401	CD22 51128-0000-019-662	2.0～17.0 (%)	B細胞	
3960 2 018304401	CD25 51137-0000-019-662	8.0～34.0 (%)	IL-2レセプター Tac	
3900 8 012484401	CD30 51152-0000-019-662	1.0以下(%)	活性化T・B細胞・ホジキン細胞	
3967 5 011074401	CD33 51161-0000-019-662	5.0以下(%)	顆粒球・単球・骨髄細胞	
3899 1 012494401	CD34 51164-0000-019-662	1.0以下(%)	造血幹細胞	
3977 4 017524401	CD38 51176-0000-019-662	18.0～59.0 (%)	活性化および増殖細胞 形質細胞(強陽性)	
3968 4 011204401	CD56 51238-0000-019-662	9.0～43.0 (%)	NK細胞	
3961 1 017574401	CD57 51241-0000-019-662	4.0～45.0 (%)	NK細胞・LGL	
3979 2 017494401	HLA-DR 51680-0000-019-662	11.0～46.0 (%)	B細胞・活性化T細胞(HLA-DR抗原) 単球	

細胞性免疫検査

# 細胞性免疫検査

## 細胞表面マーカー

曜日指定 受託可能日は月～金曜日です。

### Two-color解析によるリンパ球表面マーカー検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	基準値(%)	実施料 判断料
7841 0 017604401	Two-color CD4/CD45RA 51700-0000-019-662	CD4(-) CD45RA(+) 30.0 ~ 57.0 CD4(-) CD45RA(-) 5.0 ~ 23.0 CD4(+) CD45RA(-) 15.0 ~ 34.0 CD4(+) CD45RA(+) 9.0 ~ 37.0	185 ※6
7842 9 017614401	Two-color CD4/CD29 51701-0000-019-662	CD4(-) CD29(+) 22.0 ~ 59.0 CD4(-) CD29(-) 12.0 ~ 38.0 CD4(+) CD29(-) 9.0 ~ 34.0 CD4(+) CD29(+) 11.0 ~ 26.0	
7843 8 017624401	Two-color CD11b/CD8 51710-0000-019-662	CD11b(-) CD8(+) 11.0 ~ 40.0 CD11b(-) CD8(-) 29.0 ~ 64.0 CD11b(+) CD8(-) 8.0 ~ 32.0 CD11b(+) CD8(+) 6.0 ~ 27.0 CD8/BRIGHT 20.0以下 CD8/DULL 3.0 ~ 17.0	
4056 5 017634401	Two-color HLA-DR/CD4 51706-0000-019-662	HLA-DR(-) CD4(+) 22.0 ~ 51.0 HLA-DR(-) CD4(-) 24.0 ~ 61.0 HLA-DR(+) CD4(-) 8.0 ~ 37.0 HLA-DR(+) CD4(+) 1.0 ~ 12.0	
4046 6 017644401	Two-color HLA-DR/CD8 51707-0000-019-662	HLA-DR(-) CD8(+) 15.0 ~ 49.0 HLA-DR(-) CD8(-) 28.0 ~ 62.0 HLA-DR(+) CD8(-) 6.0 ~ 25.0 HLA-DR(+) CD8(+) 2.0 ~ 27.0	
7833 9 017654401	Two-color CD57/CD16 51721-0000-019-662	CD57(-) CD16(+) 1.0 ~ 15.0 CD57(-) CD16(-) 49.0 ~ 87.0 CD57(+) CD16(-) 2.0 ~ 40.0 CD57(+) CD16(+) 2.0 ~ 27.0	
7834 8 015604401	Two-color CD16/CD56 51724-0000-019-662	CD16(-) CD56(+) 2.0 ~ 20.0 CD16(-) CD56(-) 57.0 ~ 91.0 CD16(+) CD56(-) 9.0以下 CD16(+) CD56(+) 4.0 ~ 33.0	
7838 4 015624401	Two-color CD45RO/CD4 51703-0000-019-662	CD45RO(-) CD4(+) 6.0 ~ 34.0 CD45RO(-) CD4(-) 28.0 ~ 58.0 CD45RO(+) CD4(-) 7.0 ~ 32.0 CD45RO(+) CD4(+) 10.0 ~ 32.0	185 ※6
3893 7 016684401	Two-color CD4/CD8 51702-0000-019-662	CD4(-) CD8(+) 22.0 ~ 54.0 CD4(-) CD8(-) 14.0 ~ 38.0 CD4(+) CD8(-) 23.0 ~ 52.0 CD4(+) CD8(+) 7.0以下 CD4/CD8比 0.40 ~ 2.30	
7845 6 018724401	Two-color HLA-DR/CD3 51705-0000-019-662	HLA-DR(-) CD3(+) 33.0 ~ 75.0 HLA-DR(-) CD3(-) 7.0 ~ 36.0 HLA-DR(+) CD3(-) 3.0 ~ 18.0 HLA-DR(+) CD3(+) 5.0 ~ 33.0	
7836 6 01874A101	Two-color CD4/CD25 51751-0000-019-662	CD4(-) CD25(+) 2.0 ~ 14.0 CD4(-) CD25(-) 37.0 ~ 69.0 CD4(+) CD25(-) 15.0 ~ 39.0 CD4(+) CD25(+) 6.0 ~ 21.0	
7781 7 018754401	Two-color CD20/CD5 51715-0000-019-662	CD20(-) CD5(+) 54.0 ~ 87.0 CD20(-) CD5(-) 9.0 ~ 40.0 CD20(+) CD5(-) 9.0以下 CD20(+) CD5(+) 13.0以下	

# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
<b>ア</b>							
03110	アイエーコール	01562	アスベリンジョウ	04200	アミカシン	06695	アレジオン
00107	アイオノマーセメントエキ	01765	アスベルギルス	04280	アミサリン	06697	アレディア
00108	アイオノマーセメントゴナ	01780	アセオシリン	02411	アミサリンジョウ	06699	アレトン
00138	アインボリン	01800	アセタノール	04381	アミノバイタル	06700	アレビアチン
00150	アイトロール	01900	アセトアミノフェン	04400	アミノフィリン	06702	アレビアチンサン
00151	アイトロールジョウ	01910	アセトアルデヒド	04390	アミノフリード	06706	アレビアチンジョウ
00302	アイビーディ	01940	アセブチン	04550	アミベニックス	06705	アレビアチンチュウチャク
00304	アイビーディー	01980	アダブチノール	07535	アムビゾーム	06772	アレロオフ
00303	アイビーディカプセル	01999	アタラックス	04685	アムロジピン	06775	アレルギール
00106	アイオナール(向精神薬)	02000	アタラックスP	10847	アムロジピンジョウ	06773	アレロック
00410	アイロメート	02200	アダラート	04683	アムロジン	06769	アレロックジョウ
00420	アエン	02206	アダラートCR	04684	アムロジンジョウ	18624	アレンドロン
00438	アオダマV	02207	アダラートCR20	04700	アモキササン	06720	アレソフルール
00080	アーガメイトゼリー	02199	アダラートCR40	04701	アモキササンカプセル	06800	アロシトール
00494	アガリクス	02213	アダラートCRジョウ	04800	アモキシシリン	06801	アロシトールジョウ
00496	アカルディ	02210	アダラートL	05050	アモバン	06830	アローゼン
00517	アキウコン	00097	アーチスト	05100	アモリン	06850	アロチーム
00500	アキネトン	00112	アーチストジョウ	05140	アラセナ-A	06900	アロテック
00800	アクティーム	02215	アチネス	00075	アラバ	06905	アロトッPL
00853	アクトス	00102	アーツェー	00467	アラバジョウ	06948	アロフアルム
09749	アクテムラ	02250	アデノック	05222	アリセプト	06950	アロフト
00851	アクトネル	02278	アデフロニック	02439	アリセプトD	06955	アロプリノール
00920	アクブラ	02300	アデホス	05460	アリナミン	06965	アロマシン
01010	アクロマイシンV	02310	アデホスコーク	05468	アリナミンEX	06970	アロリン
01014	アコレート	02309	アデホスコークカリウム	05470	アリナミンF	07090	アンカロン
01040	アザクタム	02233	アテレック	05493	アリミデックス	07091	アンカロンジョウ
01015	アサコール	00100	アーテン	09987	アリムタ	07300	アンギナール
01016	アサシオン	09478	アドエア	05503	アリメジンシロップ	07400	アンコチル
97959	アザスルファン	02500	アドソルビン	05507	アリンイソプロピルアセチルニョウソ	07436	アンジュ 28
01045	アザニン	02400	アトック	05540	アルケラン	13043	アンズルマイラン
01046	アザルフィジン	02485	アトルバスタチン	05560	アルサ	07670	アントプロン
01048	アザルフィジンEN	02800	アドナ	05565	アルサG	07700	アンヒバ
01052	アザルフィジンENジョウ	02375	アドニン-O	05600	アルサルミン	07701	アンヒバザヤク
01060	アシクロビル	03000	アドリアシン	05601	アルサルミンエキ	07697	アンブラーグ
01064	アシタバ	03002	アドリアシンチュウ	05603	アルサルミンサイリュウ	07830	アンブリット
01070	アシノン	03001	アドリアマイシン	05678	アルセチン	<b>イ</b>	
01072	アシノンカプセル	03149	アナフラニール	05675	アルセノール	07920	イオバミロン
01100	アジマリン	03147	アナベイン	05690	アルダクトン	07918	イオバミロン300
01104	アジャスト	03167	アニサキス	05700	アルダクトンA	07915	イオバミロン370
01105	アジャストA	03161	アニルメ	05695	アルダクトンAジョウ	07928	イオメロン
19486	アジルバ	03170	アネキセート	05730	アルタット	07926	イオメロン300
01127	アスクレニンSカリウム	03180	アネトン	05731	アルタットカプセル	07927	イオメロン350
01108	アスクロン	06505	アバステン	05740	アルツ	07934	イクロール
01109	アスゲン	10968	アバフロ	05760	アルテルナリア	18772	イグザレルト
01118	アスコンブ	10486	アービタックス	05900	アルドメット	14442	イーケブラ
01170	アストフィリン	03449	アビショット	06010	アルビニー	07950	イザロン
01150	アストーマ	03450	アビリット	06011	アルビニーザザイ	07922	イーシー・ドパール
01200	アストミン	13700	アフィニトール	06015	アルビニーザヤク	08000	イスコチン
01350	アストモリジンD	17260	アブラキササン	06075	アルファスリー	08001	イスコチンジョウ
01362	アストリック	03500	アブテシン	03518	アルファリボサン	08090	イセバシン
01148	アストリックドライシロップ	03501	アブテシンカプセル	06100	アルファロール	08091	イセバシンチュウエキ
01487	アスバラCA	03484	アブラチン	06105	アルファロールカプセル	08220	イソジン
01500	アスバラK	03890	アブレース	06360	アルマイラー	08225	イソゾール
01600	アスピリン	05128	アベロックス	06425	アルマトール	08230	イソニアジド
01610	アスピリンマツ	04120	アボラキート	06420	アルマール	08240	イソバイド
01650	アスベノン	04125	アボラスノン	06520	アルミニウム	08250	イソヒスト
01651	アスベノンカプセル	12857	アボルブ	06550	アルロイドG	08251	イソヒスト240
01750	アスベリン	04152	アマリール	06670	アレギサル	00046	イソフラボン
01753	アスベリンサン	04149	アマリールジョウ	06675	アレグラ	08259	イソプロピルアンチピリン
		04180	アミオダロン	06676	アレグラジョウ	08280	イソミタール(向精神薬)

細胞性免疫検査

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
08351	イチョウハエキス	09815	ウコンリュウ	11724	エバデール	02756	エンサンプロカルバジン
00896	イットウガン	09870	ウテメリン	11726	エバデールS	13638	エンサンプロムヘキシシ
08337	イトラコナゾール	09888	ウピロン	11725	エバデールS600	13640	エンサンプロメタジン
08338	イトリゾール	09900	ウブレチド	11723	エバデールカプセル	13657	エンサンミノサイクリン
08356	イトリゾールカプセル	09920	ウラリット	11740	エバミール	13659	エンサンメルエフェドリン(覚せい剤(原料))
15015	イナビル	09922	ウラリットU	01598	エビスタ	13663	エンサンモルヒネ(麻薬)
08381	イノマル	09225	ウラリット-U	02521	エビスタジョウ	13665	エンサンリドカイン
00737	イノレットN	09921	ウラリットジョウ	11895	エビナジオン	13690	エンテロノンR
00333	イノレットR	09930	ウルグート	11930	エビネフリン	13800	エンドキサン
08395	イバラジン	10000	ウルソ	11933	エビビル	13802	エンドキサンP
08450	イブ	10005	ウルソ100	11800	エビフロスタット	13803	エンドキサンPジョウ
08460	イブA	10100	ウルソサン	06052	エビリファイ	13900	エンビナス
08465	イブAジョウ	10140	ウロカルン	11940	エビレオプチマル	14000	エンビナスP
08453	イブオーレ	10150	ウロキナーゼ	12100	エフェドリン(覚せい剤(原料))	14005	エンビナスPD
06128	イブクイツク	10160	ウログラフィン	12200	エフォーワイ	14006	エンビナスPDジョウ
08500	イブプロフェン	09488	ウーロンチャ	12400	エプツール	14155	エンベラシン
08515	イブノール			12401	エプツールジョウ		
08540	イマジニール	11881	エカードHD	12290	エフビー(覚せい剤(原料))	14500	オイグルコン
08552	イミグラン	10700	エキセドリン	12420	エブランチル	14501	オイグルコンジョウ
08569	イミムトール	13738	エクア	12424	エベナルド	14603	オイパロミン
13268	イメンド	10780	エクサシン	12436	エベル	14613	オウゴン
08578	イムノブラダー	10790	エクザール	12448	エボザック	14630	オウレンゲドクトウ
08600	イムラン	09843	エクジエイド	12450	エボジン	14650	オオタイサン
00648	イムランジョウ	00208	エクストラニール	02169	エボジン750	14685	オオムギワカバ
08630	イリジウム	10850	エクセグラン	12443	エホチール	02405	オカラ
10619	イリボー	10851	エクセグランサン	12900	エラスチーム	14700	オキサトーフ
08660	イルザイム	10855	エクセグランジョウ	11345	エラスボール	14730	オキサロール
10015	イルベタン	10900	エクセラーゼ	12975	エリカナル	14712	オキシプリノール
08673	イレッサ	10901	エクセラーゼカプセル	21944	エリキース	14727	オキナワウコン
08700	インジウム	11019	エザックプラス	13000	エリスパン	14731	オキロット
08900	インダシン	11000	エサンブール	13100	エリスロシン	14240	オーグメンチン
08911	インダシンザザイ	11001	エサンブールジョウ	13105	エリスロシンD.S	14242	オーグメンチンS
08910	インダシンザヤク	11050	エシドライ	13104	エリスロシンDS	14229	オークル
08860	インタール	11125	エスカゾール	13106	エリスロシンDSW	14755	オステラック
08990	インチンコウトウ	10480	エースコール	13101	エリスロシンジョウ	14760	オステン
09095	インテバン	11170	エスタック	13200	エリスロシンドライシロップ	14800	オスポロット
09100	インテバンSP	11174	エスタックイブ	13300	エリスロマイシン	14850	オゼックス
09123	インテバンザザイ	11189	エスタックイブエース	12950	エリーテン	14852	オゼックスジョウ
09120	インテバンザヤク	11177	エスタックイブカリユウ	13371	エリル	14890	オダイン
09300	インデラル	11180	エスタックゴールド	13400	エルシトニン	14925	オチャ
09360	イントラリボス	11203	エステニア	13405	エルシボン	14296	オーツカCEZ
09380	イントロン	11250	エストラサイト	03038	エルピナン	14302	オーツカMVチュウ
09381	イントロンA	11285	エストリオール	04288	エルブラット	14930	オツジトウ
09403	インヒベース	11290	エストリール	13507	エレンタール	14931	オツジトウエキス
00393	インプラントキンソク	11373	エスポー	13508	エレンタールP	14935	オテラシルカリウム
09411	インフリー	09132	エスラックス	13503	エンカアエン	14955	オドリック
09413	インフリー-S	11395	エタンブール	13518	エンカキンサン	15050	オノン
09416	インフルエンザ	11493	エチカーム	13520	エンカコバルト	15051	オノンカプセル
09419	インフルエンザHAワクチン	14964	エックスフォージ	13525	エンカダイニスイギン	15053	オノンドライシロップ
09415	インフルエンザワクチン	11515	エツピカジュツトウ	13498	エンカチタン	15059	オバホルモン
09425	インプロメン	15965	エディロール	13531	エンカバラジウム	15110	オバルモン
	ウ	11531	エテンザミド	13535	エンカリソチーム	15142	オブチレイ
09489	ウ-9	11558	エトスクシミド	13559	エンサンクロープロマジン	15143	オブチレイ320
00233	ウ-9+インフルエンザ	11570	エトボシド	13572	エンサンセフォチアム	15158	オムニカイン
09500	ウィンタミン	11640	エナラプリル	13574	エンサンセフカベンピボキシル	15167	オムニカインチュウ 1%
09600	ウィントマイロン	11649	エノキ	13583	エンサンチクロビジン	15160	オムニパーク
10450	ヴェノグロブリン-IH	03073	エノキ カサ	13600	エンサンニカルジピン	15161	オムニパーク300
09657	ウェルシアソウゴウカセグスリ	02803	エノキ/カサノブブン	13610	エンサンバンコマイシン	15162	オムニパーク350
09810	ウコン	11710	エバステル	13614	エンサンピリドキシシ	15168	オメガシン
09816	ウコンチャ	11711	エバステルジョウ	13630	エンサンプロカイン	15171	オメブラゾール

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤



# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
15172	オメブラゾン	16039	カデュエット3バン	17867	カンプトチュウ	19170	クーベラシン
15175	オメブラール	14487	カデュエット4バン	17876	カンボウ	12674	グラクティブ
15173	オメブラールジョウ	16293	カトレップ	17890	カンボウヤク	20101	グラケー
14293	オーラ	18243	ガナトン	17885	カンボウヤクA	20118	グラケーカプセル
15200	オラスボア	16400	カナマイシン		<b>キ</b>	19410	クラドスボリウム
15202	オラスボアドライシロップ	16420	カネボウカッコントウ	18443	キサフロール	05872	クラバモックス
15190	オラセフ	16586	カバサール	18400	キサンボン	19490	クラパールA
14300	オーラチュウ	16595	カバノアナタケ	18454	キシレステシン	19491	クラパールB
14370	オーラチュウカートリッジ	16589	カバノアナタケチャ	18451	キシレステシンA	19496	クラビット
15249	オランザピン	06822	ガバベン	18453	キシレステシンAチュウシャエキ	19498	クラビットジョウ
15287	オルガラン<PNK容器>	16600	カピステン	18452	キシレステシンAチュウシャヤク	19494	クラビットテンガンエキ
15300	オルヂス	16750	カフェイン	18500	キシロカイン	19500	クラフォラン
01695	オルメテック	16800	カフェルゴット	18507	キシロカイン1%	20105	グラマリール
15500	オンコピン	16900	カフコデ	18506	キシロカイン2%	19660	クラリシッド
	<b>カ</b>	16902	カフコデN	18501	キシロカインE	19664	クラリシッドDS
15550	カイゲン	16980	カプトブリル	18503	キシロカインカートリッジ	19656	クラリシッドジョウ
15555	カイトリル	17000	カプトリル	18510	キシロカインスプレー	19666	クラリシッドドライシロップ
17985	ガウトマロン	17002	カプトリルR	18502	キシロカインゼリー	19662	クラリス
15630	カコナール	17005	カプロシン<PNK容器>	18520	キシロカインビスカス	19711	クラリスD.S
15638	カシュウ	17010	カマ	94580	キシロカインポリアンブ	19668	クラリスDS
17991	ガジュツ	17070	カマグ	18491	キシロカインポリアンブ1%	19657	クラリスジョウ
15648	カンロン	17088	カミショウウサン	18541	キダチアロエ	19669	クラリスドライシロップ
17998	ガスオール	15534	カムダン	19472	キツクリン	19665	クラリスドライシロップショウニヨウ
18000	ガスコン	17111	カモステート	18543	キトサン	19663	クラリスロマイシン
18050	ガスター	18247	ガモファー	18555	キナコ	19172	クラリチン
18065	ガスター10	17400	カリクレイン	18557	キネダック	19721	クラルートR
18066	ガスター20	17415	カリメート	18576	キプレス	20110	グラン
18061	ガスターD	17450	カルグート	19063	ギボンズ	20120	グランダキシン
18062	ガスターDジョウ	18304	ガルシニア	19049	ギメラシ	19750	クリアナル
18049	ガスターサン	17526	カルシベックス	19070	キャバロン	01551	クリアフィルAPX
18045	ガスタージョウ	17540	カルジール	18705	キャベ2コーフ	19783	クリアフィルAP-X
18044	ガスターチュウ	17539	カルスロット	18695	キャベジン	19774	クリアミン
18054	ガスターチュウシャヨウ	17545	カルセド	00008	キャベジンコーフS	19775	クリアミンA
00591	ガストック	17548	カルタン	18706	キャベツ	19776	クリアミンS
18080	ガストログラフィン	17549	カルタンジョウ	18750	キュウシン	20140	グリコラン
18100	ガストロゼピン	17580	カルデナリン	19085	ギューニク	20150	グリセオフルビン
18200	ガストロピロール	17626	カルナウバロウ	19090	ギューニユウ	20148	グリセオール
18199	ガストローム	17600	カルナクリン	18760	キューフウゴールド	20165	グリセチンV
18206	ガストロームカリユウ	17749	カルバマゼピン	18805	キュービーコーフゴールド	20175	グリセリン
18215	ガスピタン	17755	カルバン	17076	キュービシン	97954	グリダマシ
18216	ガスポート	17764	カルフィーナ	18821	キューニンスイ	20400	グリチロン
18212	ガスマチン	17791	カルプロック	18830	キューリョクネオミノファーゲンC	20401	グリチロンジョウ
18214	ガスマチンジョウ	17770	カルベック	18831	キューリョクネオミノファーゲンシー	19800	クリノリル
00581	ガスリツクD	17754	カルベニンチュウ	18954	キューリンAP	20427	グリベック
18208	ガスロン	17769	カルベニンテンテキヨウ	18953	キューリンAP2	20429	グリベックカプセル
18210	ガスロンN	17776	カルボカイン	18952	キューリンAP2カリユウ	20440	グリマック
15659	カゼイン	17778	カルボシステイン	18971	キューレオピン	20450	グリミクロン
15668	カゼカプセルゴールド	17779	カルボプラチン	19000	キロサイド	20442	グリミクロンジョウ
15660	カゼグスリ	01547	カルボメルク	95890	キロサイドN	95707	グリメビリド
15661	カゼゴールド	17800	カロナール	19005	キン	19816	クリレール
15667	カゼゴールドカプセルGO	17803	カロナールサイリユウ	19110	ギン	19820	クリンダマイシン
15901	カソデックス	17811	カロナールジョウ	19050	キンシガン	20477	グルコサミン
16040	カタクロット	17799	カロナールシロップ		<b>ク</b>	20483	グルコサミン コンドロイチン
16100	カタプレス	17825	カンゲンカリユウ	20111	グアイフェネシン	00725	グルコサミンアンドコンドロイチン
18226	ガチフロ	17830	カンジダ	20123	グァバチャ	20469	グルコバイ
18228	ガチフロキサシン	17850	カンゾウ	20108	グァヤコールスルホンサンカリウム	01907	グルファスト
16250	カッコントウ	02700	カンソウビールコウボ	19206	クエンサン	19185	クールワン
16254	カッコントウエキス	17841	カンデサルタン	20109	グットミン	10013	クレキサン<PNK容器>
18225	ガッターチャー	17868	カンファタニン	20095	グッドミン	19900	クレスチン
15199	カデュエット2バン	17866	カンプト	19248	クニヒロ	04980	クレストール

細胞性免疫検査

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
05801	クレストールジョウ	21344	コウライニンジン	22510	サイコカリユウコツボレイトウ	23204	サンバゾン
10863	グレースビット	21370	コエンザイム	22512	サイコケイシカンキョウトウ	23280	サンモツオウゴントウ
19915	クレメジン	01872	コエンザイムQ10	22513	サイコケイシトウ	23235	サンリズム
19937	クロコデミン	02083	コカール	15115	ザイザル	23237	サンリズムカプセル
19938	クロズ	00545	コーキユーテン	22520	サイトテック		シ
20020	クロナゼバム	22407	ゴトウ	22525	サイボクトウ	25728	ジアグノグリーン
20028	クロバザム	22410	ゴシャジンキガン	00640	ザイボックス	25750	ジアゼバム
06262	クロビドグレル	21400	コスパノン	22540	サイレイトウ	23600	シアナマイド
20550	グロベニンI	21435	コスメゲン	22550	サイレース(向精神薬)	12815	ジアヌビア
20043	クロマイチツジョウ	21521	コタローマオウフシサイシントウ	23250	ザイロリック	13208	ジアヌビアジョウ
20046	クロミッド	13118	コディオEX	23251	ザイロリックジョウ	23620	シアノコバラミン
20050	クロム	14775	コディオMD	13917	サインバルタ	23610	シイタケ
20553	グロリアミン	21280	コートリル	22435	サーカネッテン	07193	ジェインゾフト
19921	クオールトリメトン	21624	コナグスリ	22681	サクサンリユープロレリン	08488	ジェニナツク
20075	クオルプロマジン	21632	コナミルク	22690	サクシソソ	09400	ジェニナツクジョウ
20079	クオレラ	21629	コナン	22702	サクシン	25803	ジエムザール
	ケ	21633	コニール	22703	サクロン	95706	ジェムザールチュウシャヨウ
20572	ケイガイレンキョウトウ	21623	コバシル	18168	ザーコリ	23640	シオソール
20585	ケイシトウ	21635	コバメチン	22730	ササロン	23765	シカヨウ2%キシロカインカートリッジ
20590	ケイシブクリョウガン	21640	コバルト	23300	ザジテン	23760	シカヨウキシロカイン
20591	ケイシブクリョウガンリョウ	21645	コフノール	23306	ザジテンDS	23761	シカヨウキシロカインカートリッジ
20604	ケイテン	08455	コベガス	23303	ザジテンドライシロップ	23763	シカヨウキシロカインカートリッジ2%
20619	ケイメイガシンサン	21657	コムギ	23322	ザツツ	23773	シカヨウシタネストオクタプレシン
20621	ケイメイガシンサンS	21658	コムギコ	22960	サノレックス	25840	ジキナ
20623	ケジフエン	21663	コメ	22970	サフラック	25850	ジキナエース
20645	ケタス	21673	コメヌカ	22968	サフラン	25900	ジキニン
20651	ケタラール(麻薬)	21670	コメリアン	23024	サプリメント	25902	ジキニンC
20644	ケツショウセルロース	21671	コメリアンコーワ	23100	サマセフ	25901	ジキニンシロップ
00385	ケテツク	21676	コラーゲン	15234	サムスカ	23850	シグマート
01210	ケテツクジョウ	21700	コランチル	00174	サメカンユ	23849	シグマートジョウ
20795	ケトブンA	21800	コリオバン	23072	サメット	23851	シグマートジョウザイ
21100	ケフアニール	21802	コリクール	23118	サラザック	25990	ジゴキシン
20780	ケフボリン	21811	コリネールL	00148	サラシア	25992	ジゴキシンKY
20800	ケフラー	21828	コルゲンET	23109	サラソスルファペリジン	26100	ジゴシン
20804	ケフラーD.S	21850	コルドリン	23110	サラソピリン	23595	シーサー
20801	ケフラーカプセル	21306	コールドトル	94632	サラソピリンジョウ	97921	シーシーエル
20806	ケフラーサイリウショウニョウ	21860	コルヒチン	23129	サリチソンザヤク	26134	ジーシーグラディア
20805	ケフラーショウニョウ	21867	コルベロン	23130	サリチルアミド	24120	シスダイ
21000	ケフレックス	22420	ゴレイサン	23127	サリドマイド	24150	シスブラチン
21030	ケルナック	95498	ゴレイサンリョウ	23140	サリドン	26160	ジスプロチン
21045	ケルロング	21908	コレバイン	23150	サロベール	26170	ジスロマック
21050	ケロリン	21930	コレソール	95423	サロベールジョウ	11778	ジスロマックSR
06225	ケンケツアルブミン	21938	コロネル	23155	サワシリン	26173	ジスロマックサイリウ
16500	ケンケツヴェノグロブリン	21990	コンゴウ	23156	サワシリンDS	26177	ジスロマックジョウ
21024	ケンケツグロベニン	22043	コンゴウザイ	23157	サワシリンカプセル	26274	ジソベイン
21021	ケンケツベニロン	22045	コンゴウヤク	23152	サワシリンサイリウ	24225	シタネスト
21035	ケンコウショクヒン	22046	コンゴウヤクザイ	23158	サワシリンドライシロップ	24222	シタネスト-オクタプレシン
21240	ゲンタシン	02406	コーンコブミール	23163	サワテン	24226	シタネストオクタプレシン
21242	ゲンタシンチュウ	10211	コンサータ(向精神薬)	01172	サンエンカチタン	24227	シタネストオクタプレシンカートリッジ
21073	ケンタン	22050	コンスタン	23175	サンカチタン	24224	シタネストカートリッジ
21258	ゲンビチャ	22100	コンタック	23178	サンカマグネシウム	24250	シナール
01512	ゲンマイクロズ	22111	コンタックソウゴウカンボウヤク	23187	サンクローラ	24251	シナロング
94948	ケンヨウセ	22200	コントミン	23201	サンコウガン	26400	ジヒデルゴット
	コ	22195	コントール	23190	サンザイ	24421	シブキサノン
21294	コアヒビター	22240	コンドロイチン	23193	サンシュコンゴウウクチン	26523	ジフルカン
02674	コウSS-A		サ	23590	ザンタック	95822	ジフルカンカプセル
02675	コウSS-B	00708	ザ.スビルリナ	23510	ザンタックジョウ	26529	ジフレキサ
01508	コウジュン	22439	サアミオン	23588	ザンタックチュウシャエキ	24440	シブロキサン
21313	コウス	22500	サイクロセリン	23198	サンディミュン	24441	シブロキサン200
22390	ゴウセイヒドロタルサイト	22508	サイコ	23200	サンドスタチン	24438	シブロキサンチュウ

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
01171	シフロサシン	00912	スコヤカ	27985	セイジョウボウフウトウ	02903	セフトリアキソンナトリウム
26530	ジベトスB	01845	スコヤカミルク	27990	セイシンレンシニン	30097	セフマゾン
24450	シペノール	26870	スズ	06465	セイブル	30099	セフメタゾールナトリウム
24453	シペラEV	26888	スターシス	28070	セイロガン	30100	セフメタゾン
13793	シムピコート	10341	スタンゾームOD	28071	セイロガントウイA	30105	セフメタゾンジョウチュウヨウ
24462	シメジ	21696	スチパーガ	28074	セエルカム	30169	セフラコール
03243	シメジ カサ	09449	ステーブラ	31700	ゼオエース	30280	セブンイーP
24474	シャクヤク	26921	ステアリンサンマグネシウム	28118	セキソビット	30530	セボフルラン
24472	シャクヤクカンソウトウ	10824	スーテント	28120	セキドメ	30570	セボフレン
26603	ジャッコウ	26968	ストガー	28259	セクロダン	30900	セルシン
18594	シュアポスト	26965	ストックリン	28258	セクロダンカプセル	30916	セルセプト
26614	ジュウゼンタイホトウ	26970	ストップピング	28275	セサミン	30905	セルテクト
95288	シュウヘン	26931	ストナ	28276	セサミンE	30920	セルテス
26615	ジュウミハイドクトウ	26928	ストナアイビー	00178	セサミンE+	30925	セルトミド
24483	ショウガ	26935	ストナリニ	28400	セスデン	30930	セルニルトン
24485	ショウキョウ	26944	ストミンA	32050	ゼストリル	30960	セルベックス
24490	ショウサイコトウ	26950	ストレプトマイシン	32060	ゼストロミン	30956	セルベックスカプセル
24488	ショウサイコトウ ツムラ	27000	ストロカイン	28410	セスフラン	30961	セルベックスサイリュウ
24492	ショウサイコトウカキョウセッコウ	00541	ストロメクトール	32100	ゼスラン	30976	セルベール
24551	ショウサイコトウカネボウ	27030	スパカール	28440	セダフラン	30700	セルーフ
24496	ショウジュセン	27045	スパクリット	28460	セタブリル	01965	セルラーゼAP3
24505	ショウセイリュウトウ	26806	スーパーボンドキャタリスト	08137	ゼチーア	30975	セレキノン
26648	ジョウチュウヨウキシロカイン2%	26808	スーパーボンドポリマーフンマツ	28487	ゼディーア	30990	セレクトール
26644	ジョウチュウヨウホスミンシNS	26809	スーパーボンドモノマーエキ	28500	ゼデス	10023	セロコキシブ
24510	ショウニョウバファリン	27190	スバラ	28700	ゼデスG	07909	セロコックス
26700	ジョサマイシン	27193	スバラジョウ	28710	ゼデスハイ	08553	セロコックスジョウ
24544	シラブル	26804	スーパールテイン	32142	ゼナドリン	31003	セレジスト
26712	ジルテック	03206	スピリーバ	28770	ゼニラン	31000	セレスタミン
95968	ジルテックジョウ	27281	スピルリナ	28900	セバゾン	31097	セレナーデ
24631	シンイセイイトウ	27290	スピロノラクトン	28950	セバミット	31100	セレナール
24655	シンカイザメエキス	27300	スピロベント	28955	セバミットR	31175	セレニカ
24900	シンクル	27305	スフェレックス	28986	セビーゴールド	31180	セレニカR
24730	シングルレア	10944	スプリセル	29115	セファクロル	31181	セレニカRカリユウ
24953	シンコルゲンコーワ	27346	スベニール	29300	セファドール	31300	セレネース
24965	シンサンキョウイチョウヤク	27344	スベリア	29410	セファピコール	31349	セラシロップ
24969	シンジキナ	27355	スマンクス	29500	セファメジン	31355	セラベント
24971	シンジキナカリツ ウ	27370	スミフェロン	29498	セファメジンアルファ	31380	セロクエル
24972	シンジキナトウイジョウ	27373	スミフェロンDS300	29496	セファメジンアルファキット	31400	セロクラール
24968	シンジキニンカリユウ	27380	スミフォン	29497	セファメジンアルファチュウシャヨウ	31402	セロクラールジョウ
24984	シンセデス	27398	スリノフェン	29511	セファメジンチュウシヤヨウ	31500	セロケン
25113	シンセデスジョウ	27393	スリムドカン	29151	セファゾリンナトリウム	31510	セロケンL
25225	シンバスタチン	27400	スリンダク	29600	セファランチン	02162	ゼローダ
25330	シンピロガンK	27500	スルガム	29610	セファランチンマツ	31450	セロトーン
25329	シンフジイチョウヤク	27502	スルガムジョウ	32157	ゼフィックス	00335	セロニード
94679	シンブロンエキエース	27540	スルタムジン	29773	セフィル	02291	ゼンアスピリン
25600	シンメトレル	09322	スルバクタムアンピシリン	02876	セフィローム	31599	センセイロ
25648	シンルルA	27572	スルバクタムナトリウム	01713	セフェビム	31612	セントジョーンズワート
25653	シンルルAゴールド	07272	スルバシリン	29790	セフォセフ	31605	センナ
25649	シンルルAジョウ	27590	スルピリド	29800	セフォタックス	31608	センナリド
25646	シンルル-K	27600	スルピリン	29801	セフォタックスチュウシヤヨウ	31640	センノサイド
25650	シンルルエース	27629	スルフアサラジン	29850	セフォチアム	31645	センノシド
25710	シンレスタール	27638	スルフアピリジン	30050	セフスパン	31670	センブリ
ス		27643	スルフアメトキサゾール	30070	セフゾン	ソ	
26820	スイギン	27680	スルベラゾン	30067	セフゾンDS	32320	ソケイカケツトウ
26825	スイョウセイブレドニン	27681	スルベラゾンジョウチュウヨウ	30071	セフゾンカプセル	10612	ソシク
95714	スオード	27900	スローK	30069	セフゾンサイリウ	32330	ソセゴン(向精神薬)
26846	スカルナーゼ	27901	スローケー	30063	セフゾンサイリウジョウニョウ	32334	ソタコール
26874	スカンドネスト	27702	スロービット	15755	セフカベン	33040	ソニサミド
95704	スカンドネストカートリッジ	27920	スロンノン	12499	セフカベンピボキシル	33044	ゾビケール
96615	スクラッチエキسسギカフン	セ		30040	セフジニル	33050	ゾビラックス

細胞性免疫検査

麻薬 覚せい剤(原料) 向精神薬 ヘパリン系薬剤

# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
33051	ソビラックスチュウシャヤク	33676	タスオミンD	36233	チネラック	36720	ツムラセイシンレンシリン
32480	ソフィアA	33680	タスマリン	36235	チバセン	36752	ツムラダイオウカンゾウトウ
33058	ソフラン	34300	ダーゼン	36250	チメロサル	36751	ツムラダイケンチュウトウ
33009	ゾーミッグ	34299	ダーゼンジョウ	10002	チャンビックス	36755	ツムラダイサイコトウ
33060	ゾラデックス	33687	タゾシン	36300	チュウシャヨウエリスロシン	36792	ツムラチョウトウサン
33061	ゾラデックスデボ	28913	タゾビバ	01516	チュウシャヨウカタクロット	36790	ツムラチョレイトウ
32650	ゾラナックス	33700	タチオン	36279	チョウセンニンジン	36795	ツムラトウカクジョウキトウ
32700	ゾランタール	00902	タツプラミン	36287	チョウトウサン	36800	ツムラトウキシャクヤクサン
32701	ゾランタールジョウ	33782	タナドーバ	36280	チョコラA	36870	ツムラニジュツトウ
32726	ソル.コーテフ	33780	タナトリル	36285	チョコラBB	36875	ツムラニョシンサン
32905	ソル.メドロール	35070	ダニ	01397	チョコラBBプラス	36879	ツムラニンジンヨウエイトウ
32907	ソル.メドロールヨウカイエキ	35074	ダニーバイアー	36290	チョレイトウ	36911	ツムラバクモンドウトウ
32725	ソル.コーテフ	33856	タバコ	36315	チラーチン	36900	ツムラハチミジオウガン
32904	ソルメドロール	33890	タフマック	36318	チラーチンS	36920	ツムラハンゲコウボクトウ
32910	ソレトン	33900	タフマックE	97969	チルミル	36915	ツムラハンゲシャシントウ
95922	ソレトンジョウ	34000	タバジール	36333	チルミン	36924	ツムラビャッコカニンジントウ
32920	ソレルモン	34050	タマゴ	36340	チレオイド	36930	ツムラボウイオウキトウ
03904	ソル.メルコート	34055	タマネギ	36350	チロナミン	36940	ツムラボウフウツウショウサン
33000	ソロン	34062	タミフル			36928	ツムラホチュウエツキトウ
33001	ソロンサイリュウ	34076	タミフル75			36955	ツムラマオウブシサイシントウ
	<b>タ</b>	34051	タミフルDS			36961	ツムラマシニンガン
34304	ダイアジッド	34077	タミフルカプセル	36395	ツウサントウ	36970	ツムラリックンシトウ
34320	ダイアップ	34053	タミフルドライシロップ	36400	ツクシAMサン		<b>テ</b>
34310	ダイアート	34060	タモキシフェン	36450	ツベラクチン	37960	ティアレルギーマイ
34400	ダイアモックス	35100	ダラシン	36481	ツベルミン	37957	ティーエスワン
34476	ダイオウカンゾウトウ	35203	ダラシンS	37001	ツムラ1	22008	ティーエスワンOD
34475	ダイオウマツ	35201	ダラシンSチュウ	37104	ツムラ104	94631	ティーエスワンカプセル
34500	ダイクロライド	35198	ダラシンSチュウシャエキ	37114	ツムラ114	38818	ディオバン
34506	ダイケンチュウトウ	35204	ダラシンSチュウシャヤク	37029	ツムラ29	38817	ディオバンジョウ
34510	ダイサイコトウ	35199	ダラシンSチュウシャヨウ	37041	ツムラ41	37980	ディオプランジョウ
33307	タイショウイチョウヤク	35103	ダラシンカプセル	97970	ツムラ48ジュウゼンタイホトウ	37980	ディオプランニ
33300	タイショウカンボウイチョウヤク	34081	タリオン	37050	ツムラ50	12934	ディナゲスト
34670	ダイズ	34085	タリビッド	37062	ツムラ62	38820	ディプリバン
94674	ダイズイソフラボン	34074	タリビッドジョウ	37163	ツムラ62ボウフウツウショウサン	37998	ティブンシデキストラ
02408	ダイズカワ	34072	タルク	37096	ツムラ96	38150	テオスロー
33370	タイソウ	04533	タルセバ	36555	ツムラウンケイトウ	38155	テオドリッブ
34730	ダイドロネル	13500	タルテバリンNA<PNK容器>	36558	ツムラウンセイイン	38160	テオドール
34770	ダイフェン	35272	ダレン	36572	ツムラオウレンゲドクトウ	38163	テオドールDS
05777	タイプロトン	34104	タンカルジョウ	36580	ツムラオツジトウ	38310	テオフィリン
33449	タイベラシリン	34096	タンサンスイソナトリウム	36600	ツムラカツコントウ	38340	テオロン
33462	タイレノール	34100	タンサンリチウム	36621	ツムラカミキヒトウ	38850	デカドロン
33459	タイレノールA	35280	ダントリウム	36620	ツムラカミシヨウヨウサン	38345	テガフル
33460	タウリン	34215	タンナルピン	36637	ツムラケイガイレンキョウトウ	38932	テキストロメトルファン
35000	タオニール	34210	タンボコール	36641	ツムラケイシカジュツトウ	38400	テグレートール
33500	タガメット	35500	ダンリッチ	36639	ツムラケイシブクリョウガン	38406	テグレートール200
35030	ダカルバジン		<b>チ</b>	36643	ツムラコウソサン	38402	テグレートールサイリュウ
33512	タキソテール	35530	チアトン	36644	ツムラゴシャジンキガン	38411	テグレートールジョウ
33511	タキソール	35700	チウラジール	36650	ツムラゴレイサン	38420	テシブール
33510	タクシヤ	35730	チエナム	36660	ツムラサイコカリユコツボレイトウ	38945	デジレル
26040	タケキャブ	35731	チエナムテンテキョウ	36663	ツムラサイコケイシカンキョウトウ	38965	デソラム
33520	タケシマイロン	35789	チオスター	36675	ツムラサイコケイシトウ	38971	デタントールR
33662	タケダカンボウベンピヤク	36000	チオラ	36680	ツムラサイボクトウ	38451	テトラカイン
33665	タケブロン	36002	チオラジョウ	36690	ツムラサイレイトウ	38460	テトラミド
02024	タケブロンCP	36100	チガソソ	36692	ツムラシャクヤクカンゾウトウ	38470	テナキシル
33653	タケブロンOD	35520	チーカブト	36695	ツムラジュウゼンタイホトウ	19543	テネリア
33652	タケブロンODジョウ	36155	チクビロン	36698	ツムラジュウミハイドクトウ	38985	テノシン
33668	タケブロンカプセル	36165	チザニン	36700	ツムラショウサイコトウ	38500	テノミン
33669	タゴシッド	36180	チスタニン	36704	ツムラショウサイコトウカキキョウセッコウ	39000	デバケン
33672	タジン	36181	チスタメット	36710	ツムラショウセイリュウトウ	39003	デバケンR
33675	タスオミン	36200	チタン	36712	ツムラシンセイハイトウ	00672	デバケンRジョウ
				36740	ツムラセイジョウボウフウトウ	39008	デバケンSY

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
39006	デバケンサイリユウ	40665	トリキュラー 28	43055	ニトロベン	44658	ノバスタン
39007	デバケンジョウ	40701	トリクロリール	42900	ニトロール	44690	ノバミン
39005	デバケンシロップ	40704	トリクロリールシロップ	43000	ニトロールR	44695	ノバロック
39010	デバス	41100	トリプタノール	43001	ニトロールRカプセル	44700	ノバントロン
39011	デバスジョウ	41110	トリプルX	43064	ニバジール	44717	ノボヘパリン<PNK容器>
38530	テブレノン	41123	トリメトプリム	43080	ニフェスロー	95832	ノボヘパリンチュウ1000<PNK容器>
39100	デフロメール	41840	ドルナー	43200	ニフラン	44711	ノボラビッド
00129	テモゾロマイド	41860	ドルミカム	43199	ニフランジョウ	02158	ノボラビッド30MIX
07180	テモダール	41861	ドルミカムチュウ	43280	ニボラジン	01529	ノボラビッド30ミックス
17031	テラビック	41228	トレドミン	43350	ニホンノウエンワクチン	44698	ノボラビッドチュウ300
39200	デュファストン	41229	トレドミンジョウ	43460	ニユウサンカルシウム	44716	ノボリユウサンプロタミン
39251	デュラシールエキ	41310	トロキシシ	43475	ニユウトウ	44726	ノボリン30R
39252	デュラシールコナ	42050	ドロレブタン	43450	ニューカイトキZ	44719	ノボリンN
38560	テラルビシ	39300	トーワキサン	43441	ニューカイトキジョウA	97974	ノボリンNチュウ
38585	テルギンG	41363	トーフズレン	43500	ニューレブチル	44724	ノボリンR
38631	テルピナフィン	39317	トーフチーム	43503	ニューロタン	44730	ノリトレン
38600	テルネリン	39316	トーフミン	43502	ニューロタンジョウ	44745	ノルバスク
38650	テレスミン	39301	トーフラート	43540	ニンジン	44748	ノルバスクジョウ
39266	デンシチニンジン	39320	トーフラートL	43555	ニンニク	44750	ノルバデックス
	ト	42116	ドンペリン	43569	ニンニクランオウ	44755	ノルバデックスD
41360	ドイル		ナ		ネ	44870	ノルモナール
41362	ドゥ	42200	ナイキサン	43610	ネオイスコチン	45100	ノレブタン
39324	トウカクジョウキトウ	42201	ナイキサンジョウ	43620	ネオドバトン		ハ
39338	トウキンキョウカゴシユシヨウキョウ	42250	ナイクリン	43625	ネオドバソール	46710	ハイアグラ
39330	トウキシヤクヤクサン	42500	ナウゼリン	43629	ネオビタカイン	46711	ハイアスピリン
95169	トウモロコシデンブ	42125	ナーカリシ	43630	ネオファーゲン	46713	ハイアスピリン100
41365	ドオルトン	42575	ナサニール	43650	ネオファーゲンC	46712	ハイアスピリンジョウ
00473	トキワイチョウヤクス	42595	ナゼア	43700	ネオフィリン	46761	バイオシャー
41380	ドクダミ	42602	ナタマメチャ	43760	ネオベルカミンS	46800	バイカロン
41381	ドクダミチャ	02316	ナタマメチャ+アルファ MM	43832	ネオマレルミン	45320	ハイグロトン
41400	ドグマチール	42621	ナチュラルDNコーゲン	95911	ネオミルクスコヤカ	45297	ハイゲンキ
39360	トクレスパンスール	42619	ナットウキナーゼ	43840	ネオラミンマルチV	45310	ハイシー
39374	トクレスパンスールカプセル	42630	ナツラン	43605	ネオール	46910	バイシリンG
39370	トスキサシ	42650	ナトリックス	16716	ネキシウム	45400	ハイゼット
41480	ドセタキセル	42664	ナバ	14491	ネシーナ	45430	ハイセレニン
41704	ドパール	42668	ナバセチン	06493	ネドリール	45500	ハイチオール
08602	トピナ	42671	ナバマツ	95870	ネルビス	45510	ハイチオールC
39449	トフィス	00278	ナファモスタット	43890	ネルボン	45550	ハイトラシ
41708	ドブス	42693	ナベルピン	43893	ネルロレン	45560	ハイドレア
41706	ドブスカプセル	42709	ナボールSR	43895	ネンブター(向精神薬)	45561	ハイドレアカプセル
39600	トブラシ	42710	ナボールSRカプセル		ノ	46943	バイナス
39700	トフラニール	42718	ナリジクス	44100	ノアルテンD	01988	バイベラック
39827	トボテシ	42725	ナルコチン	44150	ノイアッ	45830	ハイベン
39860	トミロン	42740	ナロン	44200	ノイエル	45831	ハイベンジョウ
39862	トミロンDS	42742	ナロンエース	44201	ノイエルカプセル	45900	ハイボン
39865	トミロンサイリユウ		ニ	44280	ノイオミール	45873	ハイボンド.カルボプラス
95335	トミロンジョウ	42754	ニアリュウサンナトリウム	44300	ノイキノ	02438	ハイボンド.カルボプラスエキ
39870	トヨフアロール	42780	ニコラーゼ	44320	ノイターゼ	02183	ハイボンドカルボプラスエキ
03682	トライコア	42789	ニコランジス	44400	ノイチーム	46950	バイミカード
18704	トラゼンタ	42794	ニコランマート	44420	ノイトロジン	46970	バイロテンシ
39960	トラネキサムサン	42800	ニコリン	44550	ノイロトピン	48438	バイロン アルファー
39970	トラベルミン	42801	ニコリンH	44560	ノイロピタン	48484	バキシ
39973	トラベルミンジュニア	42823	ニコレット	43900	ノーシ	45922	ハグクミ
16094	トラマル	42860	ニチステート	43907	ノーシンピュア	47200	バクシダール
41783	ドラール	42885	ニッケル	43910	ノーシンホワイト	47300	バクタ
40200	トランコロ	42905	ニトプレス	43911	ノーシンホワイトジョウ	47340	バクタカリユウ
40400	トランサミン	42890	ニトラゼバム	44570	ノスカピン	47302	バクタジョウ
40402	トランサミンカプセル	42895	ニドラン	44655	ノックピン	47400	バクタラミン
40422	トランスファーフクター	43052	ニトロダーム	95972	ノニ	47413	バクミンカリユウ
01239	ドリエル	43053	ニトロダームTTS	95232	ノニジュース	47414	バクモンドウトウ

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

細胞性免疫検査

# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
47417	バクモンドウトウ ツムラ29	06989	バラクルード	51300	ビクリン	10502	ファミビル
48492	バクリタキセル	49328	バラクロジン	52375	ビクロジン	53062	ファミスタジン
47450	バザロイン	49330	バラジウム	51305	ビクロックス	53050	ファミチジン
45935	ハジメ	47850	バラシリン	52374	ビクロナジン	06319	ファミチジンD
48496	バシル	49350	バラブラチン	52400	ビシバニール	53060	ファルモルピシン
48511	バスクロス	49400	バラミジン	01058	ビシフロール	53080	ファロム
00001	バセトクール	49401	バラミチン	04975	ビシリバクタ	53081	ファロムジョウ
48600	バセトシン	49460	バリエット	02027	ビジョンドロップ	53082	ファロムドライシロップ
48606	バセトシンカプセル	49461	バリエットジョウ	51450	ビスイプチアミン	53093	ファンガード
48602	バセトシンサイリユウ	04077	バリキサ	50200	ヒスロン	53100	ファンギソン
45210	ハーセプチン	46074	ハルウコン	50210	ヒスロンH	53102	ファンギソンシロップ
48375	バーセリン	49500	ハルクス	52371	ビーゼットシー	04872	フィニボックス
45950	ハチミジオウガン	46100	ハルシオン	51600	ビソルボン	04566	ブイフェンド
48650	バチユナ	49509	バルドクリン	51630	ビタノイリン	53240	フィルデシン
45972	ハッキリエース	48123	バルトレックス	51635	ビタミン	53295	フェアストン
45975	ハッキン	46105	ハルナル	51641	ビタミンB	53300	フェジン
47700	バップアリン	48125	バルネチール	51643	ビタミンB6	53520	フェナソックス
47705	バップアリンA	49516	バルフィークエステルライトペースト	51645	ビタミンC	53575	フェントイン
47750	バップフォー	48145	バルプロサン	51650	ビタミンE	53600	フェノバル
45969	ハトノケッセイ	48149	バルプロサンナトリウム	51700	ビタメジン	53605	フェノバルエレキシル
48892	バナビア A	49522	バルミコート	50300	ヒダントール	53603	フェノバルサン
48893	バナビア B	48180	バレオン	50500	ヒダントールF	53604	フェノバルジョウ
49000	バナルジン	48200	バレリン	50945	ビーチロン	53650	フェノバルピタール
48905	バナルジンジョウ	46400	ハロスポア	02409	ビートカス	53651	フェノバルピタールサン
47800	バナナ	48247	ハロテイン	52420	ビドキサール	53700	フェノブロン
47801	バナナDS	48400	ハロデル	52414	ビナトス	15907	フェブリク
47804	バナナジョウ	46500	ハロペリドール	52424	ビノルピン	06403	フェマール
47802	バナンドライシロップ	49700	バンクレアチン	14874	ビビアント	53748	フェリア
49100	バニマイシン	46600	ハンゲ	51880	ビビットエース(向精神薬)	53755	フェリコン
47831	バファリン	46640	ハンゲコウボクトウ	51900	ビプラマイシン	53930	フェルム
47829	バファリン330	46650	ハンゲシャシントウ	52427	ビベラシリンナトリウム	53931	フェルムカプセル
47839	バファリン81	48300	バンコマイシン	50770	ヒベルナ	54000	フェログラデュメット
95447	バファリン81MG	48301	バンコマイシンジョウチュウヨウ	50775	ヒボカ	54054	フェロチーム
47833	バファリンA	49750	バンシロン	50800	ヒャクソウガン	54060	フェロベリンA
01513	バファリンAジョウ	49800	バンスボリン	00894	ヒャクソウチャ	54070	フェロミア
47832	バファリンショウニョウ	49805	バンスボリンT	50844	ヒューマカート	54071	フェロミアジョウ
47828	バファリンプラス	49810	バンスボリンTジョウ	50843	ヒューマカート3 / 7	54080	フェロン
95980	バーフェクトスリム	49802	バンスボリンジョウチュウ	50846	ヒューマカートR	54090	フェンタニル(麻薬)
45226	ハーフジゴキシン	49803	バンスボリンジョウチュウヨウ	50850	ヒューマリンN	54180	フォイバン
00933	ハーフジゴキシンKY	49809	バンスボリンチュウ	50855	ヒューマリンR	54178	フォサマック
00213	ハーフジゴキシンKYジョウ	49900	バントシン	50859	ヒューマログ	95944	フォスブロック
49150	バブロン	49901	バントシンサン	52440	ビラジナミド	54185	フォリアミン
08425	バブロンゴールドA	49910	バントール	52453	ビラマイド	55357	ブクリョウ
49158	バブロンS	49950	バンピタン	52462	ビラマイドマツ	54210	フサン
01354	バブロンSCジョウ	46657	ハンブ	52600	ビリナジン	94597	フサン10
49161	バブロンSゴールド		ヒ	52601	ビリナジンマツ	55385	ブシラント
49164	バブロンSゴールドジョウ	01972	ビシフロール	52700	ビル	02060	フジルーティングS A
49162	バブロンSゴールドピリユウ	95207	ヒアルロンサン	50955	ビールコウボ	02061	フジルーティングS B
49159	バブロンSジョウ	52361	ビーエイ	50900	ヒルナミン	55387	ブシレート
49148	バブロンエース	52365	ビーエイジョウ	10912	ビレスバ	54230	フスコデ
49181	バブロンエースカリユウ	52368	ビーエル	52799	ビレタゾール	54232	フスコデシロップ
49300	バブロンゴールド	50998	ビオスリー	52800	ビレチア	55400	ブスコパン
49297	バブロンゴールドピリユウ	01970	ビオチアスミンA	52813	ピロアリユウサンナトリウム	54280	フスタギン
49304	バブロンピエンカプセル	51050	ビオフェルミン		フ	54281	フスタギンマツ
00167	バブロンピエンジョウS	51060	ビオフェルミンR	52970	ファイナライズ	54286	フスタコティン
45990	ハベカシン	51100	ビクシリン	53010	ファスティック	54290	フスタゾール
49313	バミコール	51200	ビクシリンS	52929	ファーストシン	55605	ブタニク
49315	バミルコン	51105	ビクシリンカプセル	52932	ファーストシンジョウチュウ	55641	ブチキノ
46001	ハヤナカリユウ	51104	ビクシリンチュウシャヨウ	52931	ファーストシンジョウチュウヨウ	55660	ブブロン
49325	バラオキシアンソクコウサンメチル	51207	ビクフェニン	02325	フアビノール	54490	フホウトウキユウ

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
54520	フマルサンクレマスチン	57697	プレタールジョウ	58930	プロルモン	61520	ベリアクチンサン
54523	フマルサンケトチフェン	02302	フレックスケア	58940	プロレナル	61600	ベリシット
54548	フメイ	94702	フレックスポイント		へ	60600	ベリチーム
54700	フラグミン<PNK容器>	56450	プレディニン	59576	ベイスン	60650	ベリリウム
15464	ブラザキサ	57800	ブレドニソロン	02710	ベイスンOD	07119	ベルケイド
54600	フラジール	57801	ブレドニソロンジョウ	61060	ベオン	61700	ベルサンチン
55800	フラダロン	57900	ブレドニン	61063	ベオンジョウ	61701	ベルサンチンL
56760	ブラチナ	57908	ブレドハン	03081	ベオンジョウ80	61800	ベルジピン
56770	ブラノバル	58000	ブレマリン	01147	ベガシス	61810	ベルジピンLA
56785	ブラバスタチンナトリウム	07293	プレミメント	58971	ヘキサブリックス	61820	ベルタゾン(向精神薬)
56787	ブラバチン	55220	フレムフィリン	58972	ヘキサブリックス 320	61827	ベルハイ
01280	ブラバメイト	57905	ブレラン	02916	ヘグイントロン	59400	ヘルベッサー
54750	フラビタン	56507	フロアクト	61100	ヘクタイト	59402	ヘルベッサー R
05859	ブラビックス	56509	フロアクトジョウチュウヨウ	59699	ヘゲタミン	59403	ヘルベッサー Rカプセル
06050	ブラビックスジョウ	55228	フロキシール	59700	ヘゲタミンA	61835	ベルマックス
54800	フラベリック	58215	プログラフ	59710	ヘゲタミンB	59471	ヘルラートL
54830	フラボネート	58235	プロゲストン	59750	ヘサコリン	61900	ベレックス
56803	フランジン	58280	プロサイリン	59751	ヘサコリンサン	61902	ベレックスカリユウ
56800	ブランドフェン	00931	フロジフ	59756	ヘザテート	61999	ベングッド
54900	フランドル	58294	プロスコープ	59755	ヘザテートSR	60890	ベンコール
54912	フランドルテープS	58296	プロスコープ300	59760	ヘザトール	60900	ベンザエース
00272	ブランルカスト	58295	プロスコープ370	59770	ヘザトールSR	60909	ベンザエースA
55900	ブリカニール	00887	プロスター M	59771	ヘサノイド	60920	ベンザブロック
54955	フリバス	58300	プロスターール	59781	ヘザフィプレートSR	60936	ベンザブロックIP
01277	フリバスジョウ	58301	プロスターールL	59776	ヘザリッブ	60934	ベンザブロックIPジョウ
56250	プリブラチン	58380	プロスタルモンF	06236	ベシケア	02656	ベンザブロックL
57200	プリモボラン	58385	プロスタンディン	59116	ヘスバンダー	61000	ベンザリン
57400	プリンベラン	58403	プロセキソール	59847	ヘタセレミン	62030	ベンタサ
57401	プリンベランジョウ	55240	フロセמיד	17126	ヘタニス	62032	ベンタサジョウ
55000	フルイトラン	58440	プロタミン	59865	ヘタフェロン	62100	ベンタジン(向精神薬)
55108	フルカム	58450	プロチアデン	59870	ヘタマック	62200	ベントシリン
01541	フルコナメルク	56541	プロチゾラム	59881	ヘック	62204	ベントシリンチュウシャヤク
57470	ブルゼニド	56544	プロチンエキ	60030	ベナンボックス	62202	ベントシリンチュウシャヨウ
57474	ブルゼニドジョウ	56570	プロチンコディン	60045	ベニコウジ	62325	ベンフィル30R
55129	フルタイド	56548	プロチンコディンエキ	61220	ベニシリウム	62320	ベンフィルN
56350	ブルターール	58463	プロチカジン	61250	ベニシリン	62322	ベンフィルR
55130	フルツロン	56552	プロニカ	61280	ベニシリンG	62328	ベンマリン
55131	フルツロンカプセル	58495	プロノン	61300	ベニシリンGカリウム		ホ
55157	フルニトラゼパム(向精神薬)	58497	プロバジール	60100	ベネシッド	63540	ボウイオウキトウ
56373	ブルバトシン	00813	プロピナイスエキ	60149	ベネット	62520	ホウスイクローラール
56400	ブルフェン	58528	プロピレングリコール	60200	ベネトリン	63531	ボウフウツウショウサン
56401	ブルフェンジョウ	56610	プロプレス	60300	ベノジール	62545	ホグス
56405	ブルーベリー	56608	プロプレス4	59120	ヘバリン<PNK容器>	62550	ホクナリン
56403	ブルーベリーアイ	56609	プロプレス8	59143	ヘバリンNA<PNK容器>	62549	ホクナリンテープ
56408	ブルーベリーエキス	56611	プロプレスジョウ	59124	ヘバリンカルシウム<PNK容器>	63541	ボグリボース
55180	フルマーク	58600	プロヘバル	59125	ヘバリンナトリウム<PNK容器>	62575	ホスホマイシンナトリウム
55190	フルマリン	58615	プロベラ	59126	ヘバリンナトリウムチュウシャエキ<PNK容器>	62700	ホスミシン
55192	フルマリン1Gジョウチュウヨウ	55300	フロベン	01320	ベミロック<PNK容器>	62750	ホスミシンDS
55193	フルマリンジョウチュウヨウ	58620	フロボフオール	60550	ヘブシド	62800	ホスミシンS
55200	フルメジン	58689	フロボリス	60551	ヘブシドS	62801	ホスミシンSジョウチュウヨウ
55210	フルメトロン	58700	フロボリスエキ	60555	ヘブリコール	62702	ホスミシンSチュウシャヨウ
56428	プレオ	58760	フロマック	61360	ヘブレオ	62701	ホスミシンジョウ
56430	プレオマイシン	58763	フロマックカリユウ	01353	ヘマ	62720	ホスミシンドライシロップ
56435	プレカシン	55315	フロモックス	61380	ベミラストン	63527	ボスミン
39732	プレガバリン	55322	フロモックス100	13902	ベミロック<PNK容器>	12353	ホスレノール
56438	フレクルス	55319	フロモックスDS	59156	ヘムテツ	62810	ホチュウエッキトウ
57500	プレコール	55317	フロモックスサイリュウ	59150	ヘモクロン	63634	ボナロン
57507	プレコールジソクセイカプセル	55316	フロモックスジョウ	60576	ベラドンナソウルカロイド	63640	ボニューウ
56439	プレシン	55320	フロモックスジョウニヨウサイリュウ	61420	ベラプリン	11586	ボノテオ
57696	プレタール	55330	フロリード	61530	ベリアクチン	62924	ホホエミ

細胞性免疫検査

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘバリン系薬剤

# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
62926	ホホエミミルク	65673	マルチミネラル	66998	ムラサキウコン	69400	メルカゾール
63950	ボボンS	65708	マレインサンカルピノキサミン		×	69401	メルカゾールジョウ
63000	ホモクロミン	65743	マレインサンク rolフェニラミン	67014	メiakクト	69410	メルピン
63965	ボラキス	64880	マーロックス	67012	メiakクトDS	69420	メルフアラン
63670	ボラザG	65756	マンダコウソ	02176	メiakクトMS	69600	メレックス
63675	ボラボミン		ミ	06809	メiakクトMSジョウ	69700	メレリル
64000	ボララミン	65795	ミオカマイシン	67011	メiakクトジョウ	69707	メロベネム
63200	ホリゾン	65800	ミオナール	67047	メiakクトショウニヨウサイリユウ	69704	メロベン
64150	ポリトーゼ	65802	ミオナールジョウ	94607	メijジホホエミ	69706	メロベンテンテキヨウ
64171	ポリフル	65920	ミオリラーク	67020	メiセリン	69750	メンドン
64200	ポリミキシンB	15243	ミカムロ	67021	メiラックス		モ
63700	ボルタレン	65923	ミカルティス	67022	メiロン	69833	モギフェン
63706	ボルタレンSP	01584	ミカルティスカプセル	67025	メiンテート	69840	モダシン
63705	ボルタレンSR	65992	ミグシス	94715	メiンハーツ	69839	モダシンジョウチュウ
63756	ボルタレンSRカプセル	66100	ミケラン	01238	メiンロール	69843	モダシンジョウチュウヨウ
63711	ボルタレンザ	02452	ミコシスト	67030	メキシチール	15719	モディオダール(向精神薬)
63752	ボルタレンザサイ	10564	ミコプティン	67040	メキシチールカプセル	69810	モーバー
63707	ボルタレンサボ	13011	ミコンビAP	67055	メキシレート	69814	モービック
63750	ボルタレンザヤク	18874	ミコンビBP	67060	メキタジン	69815	モービックカプセル
63755	ボルタレンジョウ	66175	ミドシン	67079	メコバマイド	69806	モーラステープ
63680	ボルマゲン	66200	ミナルフェン	67080	メコバラミン		ヤ
63207	ホルマリン	66290	ミニブラノール	67160	メジコン	70049	ヤクザイA
00337	ホホワイトベッパ	66300	ミニプレス	67161	メジコンサン	94651	ヤクザイメイフメイ
63900	ボンゾール	66460	ミノサイクリン	00749	メジコンジョウ	70082	ヤズヤノコウズ
64500	ボンタール	66470	ミノスタジン	67152	メシマコブ	70100	ヤマシリン
64501	ボンタールカプセル	66472	ミノトーフ	67164	メシルサンナファモスタット		ユ
64502	ボンタールサン	66485	ミノベン	67170	メスチノン	70443	ユウタンエン
64510	ボンタールシロップ	66500	ミノマイシン	67200	メソトレキセート	70265	ユーエフティ
63300	ホンバン	66510	ミノマイシンカプセル	67590	メタライト	70266	ユーエフティー
63904	ボンフェナック	66513	ミノマイシンカリユウ	67600	メタルカプターゼ	70268	ユーエフティE
	マ	66524	ミノマイシンジョウ	67660	メチクール	70270	ユーエフティEカリユウ
64910	マイカサール	66515	ミノマイシンジョウチュウヨウ	67700	メチコパール	70267	ユーエフティカプセル
64918	マイクロダイエツト	66514	ミノマイシンテンテキジョウチュウヨウ	67710	メチスタ	00893	ユキチャ
64964	マイスタン	66703	ミヤBM	67780	メチレンジサリチルサンプロメタジン	14676	ユーシオン
64967	マイスタンサイリユウ	66709	ミヤBMサイリユウ	67900	メチロン	00729	ユーゼル
64959	マイスリー	66710	ミラクリッド	67920	メチロンチュウ	70500	ユナシン
65000	マイソリン	66715	ミラドール	67963	メディピース	70501	ユナシンS
65050	マイテラーゼ	66730	ミリダシン	67968	メデット	70502	ユナシン-S
65100	マイトマイシン	66750	ミルク	67970	メテナリン	70515	ユナシンSジョウチュウヨウ
65101	マイトマイシンC	03204	ミルファイ	15751	メトグルコ	70516	ユナシンSチュウ
65107	マオウトウ	66767	ミンザイン	68248	メトトレキセート	70513	ユナシンサイリユウ
65108	マオウブシサイシントウ		ム	68350	メトリジン	70504	ユナシンジョウ
65165	マカ	66778	ムコサール	02167	メトレート	70503	ユナシンチュウシャヤク
64600	マーカイン	66785	ムコサールL	68370	メドロール	70532	ユニコン
64602	マーカインチュウ	66775	ムコスタ	68500	メナミン	15999	ユニシアHD
65117	マキシビーム	66794	ムコスタジョウ	13794	メニレットゼリー	70537	ユニファストエキ
95928	マキシモール	66776	ムコセラム	68550	メネシット	70538	ユニファストコナ
65115	マキシモル	66780	ムコソルバン	00068	メバリッチ	70549	ユニフィル
65127	マグネゾール	97976	ムコソルバンDS	68744	メバロカット	70548	ユニフィルジョウ
65130	マグネビスト	66782	ムコソルバンL	68745	メバロチン	00367	ユニフィルフロー
95821	マグミット	01797	ムコソルバンLカプセル	68746	メバロチンジョウ	70380	ユーバン
65153	マグラックス	66797	ムコソルバンジョウ	00755	メバン	70600	ユベラ
65166	マグラックスジョウ	66800	ムコダイン	68900	メブチン	70705	ユベラン
65140	マスキュラックス	66904	ムコダインDS	68905	メブチンミニ	70710	ユベランソフト
64790	マーズレン	66850	ムコダインサイリユウ	68890	メブロン	70720	ユベランソフトカプセル
64800	マーズレンS	66801	ムコダインジョウ	16144	メマリー	70700	ユベラニコチネート
64801	マーズレンSカリユウ	66803	ムコダインシロップ	69200	メリスロン	00732	ユリナール
65355	マドパー	66910	ムコトロン	69201	メリスロンジョウ	70800	ユリノーム
01158	マリキナカリユウ	66950	ムスイカフェイン	69212	メリドンEV	70783	ユリノームジョウ
65680	マルチビタミン	67008	ムノパール	69250	メリロート	05806	ユリーフ

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤



# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
70400	ユーロジン	72206	リカマイシンドライシロップ	14076	リリカ	75675	レニベース
<b>ヨ</b>		11891	リカルボン	73770	リルテック	75677	レニベースジョウ
70816	ヨウカカリウム	72209	リコチオン	73780	リレンザ	75678	レニベージェ
97922	ヨウカカリウムガン	71901	リーザL	73789	リングルアイビージェルカプセル	75682	レニメック
70838	ヨウコパール	72300	リザベン	73794	リンゲリース	75700	レバコール
95162	ヨウサン	72305	リザベンカプセル	73800	リンコシン	75714	レバミビド
70832	ヨウフエナック	72316	リスパダール	<b>73808</b>	<b>リンコデ(麻薬)</b>	12139	レバミビドジョウ
70905	ヨクイニン	02081	リスパダールジョウ	<b>73860</b>	<b>リンサンコデイン(麻薬)</b>	75800	レフトーゼ
70804	ヨーデル	01737	リスパダールナイヨウエキ	<b>73857</b>	<b>リンサンコデインサン(麻薬)</b>	75810	レフトーゼシロップ
70803	ヨーデルS	72420	リスペリドン	<b>73851</b>	<b>リンサンジヒドロコデイン(麻薬)</b>	<b>75900</b>	<b>レベタン(向精神薬)</b>
<b>ラ</b>		72390	リスミー	73880	リンサンピロキサル	75885	レベトール
70973	ライフバック	72395	リズミック	73888	リンタシン	75890	レベニン
95471	ライフバック シロ	72396	リズミックジョウ	73900	リンデロン	75895	レベルボン
94622	ライベック	72400	リスモダン	73902	リンデロンザヤク	76000	レボトミン
70933	ラエンネック	72402	リスモダンR	74000	リントン	76005	レボフロキサシン
70950	ラキノベロン	71900	リーゼ	74050	リンブラール	08133	レボホリナート
70979	ラコール	72530	リゾチーム	74100	リンラキサー	76010	レボメフロマジン
71034	ラジカット	<b>72600</b>	<b>リタリン(向精神薬)</b>	<b>ル</b>		76020	レミカット
71000	ラシックス	72622	リチーム	74155	ルゴール	00986	レミカード
71002	ラシックスジョウ	72635	リツキサン	74300	ルジオミール	76040	レミナロン
12833	ラジレス	72650	リックンシトウ	74319	ルテイン	12798	レメロン
71100	ラスチノン	72680	リドカイン	74325	ルデオニン	76132	レリート
71110	ラステット	72690	リドーラ	74400	ルネトロン	76140	レリフェン
71112	ラステットチュウ	72130	リーバクト	74436	ルブラック	76142	レルバックス
71140	ラセナゾリン	72867	リバロ	74471	ルフレン	76164	レンデム
71170	ラックB	22189	リバロOD	74440	ルボック	76165	レンドルミン
71169	ラックビー	72866	リバロジョウ	74477	ルボックス	01278	レンドルミンD
71185	ラデン	72876	リバンチル	74515	ルミンA	<b>ロ</b>	
71231	ラニザック	72877	リバンチルカプセル	74152	ルーラン	76960	ロ.リンデオール
71278	ラニタック	72885	リビオドール	74600	ルリッド	76280	ロイケリン
71280	ラニチジン	03543	リビディル	74650	ルル	76282	ロイケリンサン
71300	ラニラビッド	72884	リビトール	74755	ルルA	76290	ロイコボリン
<b>71390</b>	<b>ラボナ(向精神薬)</b>	72879	リビトールジョウ	74651	ルルAゴールド	76300	ロイコマイシン
71395	ラボナール	72900	リファジン	74756	ルルAジョウ	76400	ロイナーゼ
10639	ラミクタール	72901	リファジンカプセル	<b>レ</b>		76457	ロイヤルゼリー
10798	ラミクタールジョウ	73000	リファンピシン	74940	レイシ	76464	ロカイン
71435	ラミシール	73008	リファンピシンカプセル	74958	レオピンファイブ	76465	ロカルトロール
71436	ラミシールジョウ	72997	リファンピシンヘキサル	75090	レキシシ	76473	ロキソート
07050	ラミテクト	73010	リブル	75100	レキソタン	76467	ロキソニン
71600	ラリキシ	12488	リフレックス	75107	レギュラーミルク	76468	ロキソニンジョウ
M1897	ランソプラゾール	73101	リペノール	16345	レクサプロ	76470	ロキソプロフェン
71650	ランダ	73200	リボトリール	75130	レクチソール	76486	ロキソプロフェンナトリウム
00904	ランタス	73210	リボバス	75131	レクチソールジョウ	76478	ロキシマリン
71651	ランダチュウ	73213	リボバスジョウ	09361	レグバラ	76481	ロキフラン
71700	ランツジール	73320	リボピタンゴールド	75169	レコルク	76483	ロキベイン
71749	ランデル	73180	リボール	15104	レザルタスHD	76474	ロクシンガン
71750	ランデルジョウ	73400	リマクタン	75300	レジン	76200	ローコール
71747	ランデルン	73401	リマクタンカプセル	75315	レスタス	76201	ローコールカプセル
71770	ランドセン	72000	リーマス	75320	レスタミン	<b>76230</b>	<b>ローヘバ&lt;PNK容器&gt;</b>
71860	ランバク	72001	リーマスジョウ	75450	レスブレン	76500	ロコルナール
71879	ランユ	73450	リマチル	75500	レスミット	76212	ローザグッド
<b>リ</b>		73453	リマチルジョウ	75510	レスラート	14629	ロザルタス
00898	リアソフィン	08464	リマルモン	75520	レスリン	76508	ロソピロン
30632	リアルダ	73472	リメファア-3B	75540	レダマイシン	76511	ロゼオール
72180	リウマトレックス	73480	リュウカクサン	75550	レチコラン	05255	ロゼクラー
72181	リウマトレックスカプセル	73500	リュウサンアントロビン	75645	レトラック	76515	ロセフィン
72190	リオレサル	73550	リュウサンアマカシン	75640	レドルバー	76514	ロセフィンジョウチュウヨウ
72200	リカバリン	73600	リュウサンストレプトマイシン	75650	レトロビル	14443	ロゼレム
72203	リカマイシン	73655	リュウサンニツケル	95912	レナジェル	76550	ロドピン
72204	リカマイシンDS	73670	リュープリン	95965	レナジェルジョウ	20716	ロトリガ

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

細胞性免疫検査

# 細胞性免疫検査

## DLST薬剤リスト(五十音順)

### DLST薬剤リスト(五十音順)

薬剤コード	薬剤名
76750	ロビオン
76800	ロヒプノール(向精神薬)
76845	ロブ
76850	ロブレソール
76860	ロベミン
76862	ロベミンカプセル
76253	ローヤルゼリー
76945	ロラメット
76965	ロルカム
76968	ロルカムジョウ
76975	ロルフェナミン
76980	ロレルコ
76988	ロンゲス
<b>ワ</b>	
01033	ワイスタール
77080	ワイテンス
77100	ワイドシリン
77101	ワイドシリンサイリュウ
77200	ワイバックス
77300	ワカデニン
77311	ワカモト
76996	ワークミン
77360	ワコビタール
77390	ワコビタールザヤク
77600	ワソラン
77000	ワーファリン
77670	ワルファリン
77650	ワンアルファ
17304	ワンタキソテール

薬剤コード	薬剤名
<b>アルファベット</b>	
80000	A
80050	ABPC
00175	ACNU ニドラン
80055	AHCC
80160	AMPC
80250	ATP
80259	AU
99895	B18
00232	B18+インフルエンザ
80353	BCG
91837	BOWS
80375	CAM
80400	CCL
80462	CDDP
80800	CEZ
81350	CMZ
81354	CO
02730	COQ10
81420	CPT-11
81430	CR
81500	CTX
81707	D33
02501	DB9011
81774	DL-エンサンメチルエドリン(覚せい剤(原料))
81782	DPT
81753	D-マレインサンクrolフェニラミン
81810	EAC
81850	EB
82130	EM
82150	EPA
82163	EPL
82170	EVE
81809	Eアカチャン
82200	FOY
91112	FRD
91145	GCグラディア
82292	HBワクチン
82298	HG
82359	IN
82360	INH
82409	K2
82623	LVFX
03075	LY231514
82490	L-ケフラール
82500	L-ケフレックス
82632	M2
82675	MA-1
82989	MRA
00396	MRAチュウ(アクテムラ)
82978	MSコンチン(麻薬)
83000	MTX
01607	NAF
83175	NEソフト
83165	NI
83167	NISO4
83248	PA
83260	PAS
83247	PAジョウ
83451	PD

薬剤コード	薬剤名
83550	PIPC
83600	PL
83608	PLA
83655	PL-G
83606	PLGA
83650	PL-カリユウ
83602	PLカリユウ
83598	PLサン
00948	PTK / ZK
83860	PZA
83900	RFP
83921	RTX
02413	SG
83923	SGカリユウ
84100	SM
83980	SMサン
84134	SPトローチ
84285	TC434
84340	TH
84482	TS1
84481	TS-1
84480	TS-1カプセル
84620	UFT
84625	UFT-E
84626	UFT-Eカリユウ
84621	UFTカプセル
84623	UFTカリユウ
84634	VB2-JP
84660	VPA
84690	ZN
<b>数字</b>	
84707	0.5%マーカイン
84810	1%カルボカイン
84828	1%キシロカイン
84835	1%キシロカインポリアンブ
84797	1%ディブリバン
88116	10%フェノバルル
84842	2%キシロカイン
84855	2%キシロカインEカートリッジ
84858	2%キシロカインカートリッジ
01400	2%キシロカインポリアンブ
84833	2%シカヨウキシロカイン
84882	3%シタネストオクタプレシン
87000	5-FU
95920	5-アミノサリチルサン

細胞性免疫検査

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
抗原特異的CTL	<b>曜日指定</b> サイトメガロウイルス特異的CTL解析 (HLA-A*0201) 5L501-0000-019-662	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイトメトリー	(%)	受託可能日は月~金曜日です。 本検査はHLA-Aの遺伝子型が*0201の場合のみ検査対象となります。それ以外の遺伝子型は検査できません。 &1
	<b>曜日指定</b> サイトメガロウイルス特異的CTL解析 (HLA-A*2402) 5L502-0000-019-662	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイトメトリー	(%)	受託可能日は月~金曜日です。 本検査はHLA-Aの遺伝子型が*2402の場合のみ検査対象となります。それ以外の遺伝子型は検査できません。 &1

「テトラマー」は株式会社エスアールエルの日本国における登録商標です。

### テトラマー検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

### テトラマー法について

テトラマー法では、まずMHC(major histocompatibility complex: 主要組織適合遺伝子複合体)分子と目的とする抗原ペプチドを結合し、ビオチン化MHC class I /peptide complexの単量体化したものを調製します。この単量体はそのままでは目的の細胞との結合力が弱くなることから、PE(Phycoerythrin)ラベルされたstreptavidinと結合させ、四量体化(テトラマー)とすることで結合力を高めています。(下左図)

このテトラマーを用いた検査は、ウイルス感染細胞、ガン細胞等の除去に重要な役割を担っている細胞傷害性T細胞(CTL: Cytotoxic T lymphocyte)の解析に非常に有用となります。従来のCTL解析は、リンパ球中に占めるCD8の割合で評価してきましたが、テトラマー法を用いることにより、抗原特異的CTLを定量的に解析することができます。このことは、感染症やガン患者の免疫状態をモニターする手段として免疫学的研究および、临床上非常に有用となります。(下図)



Julian K Hickling, Measuring human T-lymphocyte function, Experimental Reviews of Molecular Medicine. 13, 1998. copyright(C)Cambridge University Press, reproduced with permission



# 染色体検査

## 先天異常の染色体検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考				
先天異常の染色体検査	3910 7 012094901	G-Banding 8B200-0000-019-403	血液 各 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~16	2553 + 397 ※2	G-band	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。				
	3911 6 01321A101	倫理指针对象 曜日指定 C-Banding 8B200-0000-019-406								20~24	2553 + 397 ※2	C-band	
	3912 5 01322A101	Q-Banding 8B200-0000-019-404											高精度分染法
	3914 3 01324A101	高精度分染法 8B200-0000-019-417											
4327 4 018955901	倫理指针对象 曜日指定 染色体SKY(先天異常) 8B200-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	25~29	2553 ※2	FISH	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。					
3995 4 01211A101	倫理指针对象 曜日指定 脆弱X染色体 (脆弱X症候群) 8B260-0000-019-401	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	14~16	2553 + 397 ※2	G-bandによる 脆弱X染色体 の検出	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月、火、金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。					
A230 5 018595901	倫理指针对象 曜日指定 1染色体 (1p36欠失症候群) 8B315-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	8~10	2553 ※2	FISH	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。					
	倫理指针对象 曜日指定 4染色体 (ウォルフ・ヒルシュホーン症候群) 8B343-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。					
0689 7 019085901	倫理指针对象 曜日指定 5染色体 (ソトス症候群) 8B355-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。					
7778 1 016325901	倫理指针对象 曜日指定 7染色体 (ウィリアムス症候群) 8B373-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 該当する疾患にてご依頼ください。 本検査は疾患に直接関与する遺伝子を検出する検査ではなく、責任領域の欠失の有無を判断する検査です。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。					
3907 1 020745901	倫理指针对象 曜日指定 13染色体 8B430-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~9	2553 ※2	FISH	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。					
	倫理指针对象 曜日指定 13染色体 (先天性網膜芽細胞腫RB1) 8B433-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。					

- 1 分染法を行った場合は、397点を加算する。その種類、方法にかかわらず、1回の算定とする。
- 2 自然流産の既往のある患者であって流産手術を行った者に対して、流産検体を用いたキムザ分染法による絨毛染色体検査を実施した場合に算定する。
- 3 厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行う場合に限り算定する。
- 4 FISH法を用いた場合には、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

倫理指针对象 (5ページ参照)

### 染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

### [3914 3]染色体 高精度分染法の留意事項

- 1 臨床診断名および染色体の指定部位は必ずご記入ください。
- 2 数的異常が疑われる疾患は検査の特性上受託できません。
- 3 臨床診断名および部位を指定できない場合は、G-bandの検査から行ってください。
- 4 形態検査での判定可能なレベルおよび文献的に特定の染色体の部位に異常が報告されている疾患が対象となります。

# 染色体検査

## 先天異常の染色体検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
先天異常の染色体検査	3585 9 015075901	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>15染色体</b> (ブラダーウィリ症候群) 8B453-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	8~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 片親性ダイソミーの検査はできません。 受託可能日は月~金曜日です。 該当する疾患名にてご依頼ください。 本検査は疾患に直接関与する遺伝子を 検出する検査ではなく、責任領域の 欠失の有無を判断する検査です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	3586 8 015085901	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>15染色体</b> (アンジェルマン症候群) 8B454-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	8~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 該当する疾患名にてご依頼ください。 本検査は疾患に直接関与する遺伝子を 検出する検査ではなく、責任領域の 欠失の有無を判断する検査です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	3587 7 015095901	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>17染色体</b> (ミラーディカー症候群) 8B473-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 該当する疾患名にてご依頼ください。 本検査は疾患に直接関与する遺伝子を 検出する検査ではなく、責任領域の 欠失の有無を判断する検査です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	3908 0 020765901	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>18染色体</b> 8B480-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~9	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 新生児採血において、必要検体量 に満たない場合はご相談ください。
	3909 9 020785901	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>21染色体</b> 8B510-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~9	2553 ※2	FISH		&1
	7846 5 016125901	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>22染色体(22q11欠失)</b> (CATCH22) conotruncal anomaly face症候群 velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群 8B523-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	8~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 該当する疾患名にてご依頼ください。 本検査は疾患に直接関与する遺伝子を 検出する検査ではなく、責任領域の 欠失の有無を判断する検査です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	3879 3 020805901	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>X染色体</b> 8B530-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~9	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
		<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>X染色体</b> (ステロイドサルファターゼ遺伝子STS) 8B531-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。依頼 書に臨床診断名および臨床所見など をご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	3880 1 020815901	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>Y染色体</b> 8B540-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~9	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	4326 5 018915901	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>Y染色体</b> (睾丸決定遺伝子SRY) 8B543-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見 などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> <b>X,Y染色体</b> (身長関連遺伝子SHOX) 8B551-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見 などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1	

① FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

**倫理指針対象** (図ページ参照)

### 染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。



染色体検査

# 染色体検査

## 先天異常の染色体検査

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
先天異常の染色体検査	倫理指针对象 マイクロアレイ 染色体検査 (染色体構造変異解析)	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (7日)	7~16	1 2 3 4 8000 ※2	アレイ CGH法		凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 依頼書に性別・臨床診断名および 臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量 に満たない場合はご相談ください。

- ①アレイCGH法により染色体ゲノムDNAのコピー数変化及びヘテロ接合性の喪失を測定した場合は、原則として患者1人につき1回算定できる。
- ②本検査は、12q14欠失症候群、15q13.3欠失症候群、15q24反復性微細欠失症候群、15q26過成長症候群、16p11.2重複症候群、16p11.2-p12.2欠失症候群、16p11.2-p12.2重複症候群、16p13.11反復性微細欠失症候群、16p13.11反復性微細重複症候群、17q21.31反復性微細欠失症候群、1p36欠失症候群、1q21.1反復性微細欠失症候群、1q21.1反復性微細重複症候群、1q21.1領域血小板減少-橈骨欠損症候群、22q11.2欠失症候群、22q11重複症候群、22q11.2遠位欠失症候群、22q13欠失症候群(フェラン・マクダーミド症候群)、2p15-16.1欠失症候群、2p21欠失症候群、2q33.1欠失症候群、2q37モノソミー、3q29欠失症候群、3q29重複症候群、7q11.23重複症候群、8p23.1微細欠失症候群、8p23.1重複症候群、8q21.11欠失症候群、9q34欠失症候群、アンジェルマン症候群、ATR-16症候群、22qテトラソミー症候群(キャットアイ症候群)、シャルコー・マリー・トゥース病、5p-症候群、遺伝性脆弱性ニューロパチー、レリー・ワイル症候群、ミラー・ディカー症候群、NF1欠失症候群、ペリツェウス・メルツバッハ病(先天性大脳白質形成不全症)、ポトキ・ルプスキ症候群、ポトキ・シェイファー症候群、ブラダー・ウィリ症候群、腎嚢胞-糖尿病症候群、16p12.1反復性微細欠失症候群、ルビンシュタイン・テイビ症候群、スミス・マギニス症候群、ソトス症候群、裂手/裂足奇形1、ステロイドスルファターゼ欠損症、WAGR症候群、ウィリアムズ症候群、ウォルフ・ヒルシュホーン症候群、Xp11.22連鎖性知的障害、Xp11.22-p11.23重複症候群、MECP2重複症候群、ベックウィズ・ヴィーデマン症候群、シルバー・ラッセル症候群、第14番染色体父親性ダイソミー症候群(鏡-緒方症候群)並びに14番染色体母親性ダイソミーおよび類縁疾患のいずれかを疑う患者に対して実施すること。
- ③本検査を実施する場合は、関連学会が定める指針を遵守し、本検査を実施する医学的な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ④本検査は、遺伝カウンセリング加算の施設基準に係る届出を行っている保険医療機関において実施すること。

倫理指针对象 (5) ページ参照

### 染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

<p><b>PN7</b> 旧容器記号 <b>A</b></p> <p>p32</p>  <p>EDTA-2Na入り (真空採血量7mL) 内容 EDTA-2Na 10.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年</p>	<p><b>H00</b> 旧容器記号 <b>H</b></p> <p>p6</p> <p>保存液入り (容器容量5mL) 内容 RPMI-1640 FBS; 硫酸 カオマイシン; ノボ ヘパリンNa; 炭酸水 素Na; HEPES 貯蔵方法 凍結 有効期間 色が薄い ビンクの状態で使用 してください。</p> 	<p><b>PH5</b> 旧容器記号 <b>G</b></p> <p>p18</p>  <p>ヘパリン入り (真空採血量5mL) 内容 ヘパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年</p>
---	--	---

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
	曜日指定 染色体 G-Banding	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	8~14	2553 + 397 ※2	G-band		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は(血液、骨髓液共に)月 ~金曜日です。 該当する疾患名にてご依頼ください。 対象疾患名は下記をご参照ください。 判定に時間を要する場合は、所要日 数が20日後後となります。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
4328 3 018965901	曜日指定 染色体SKY(血液疾患) 8B220-0000-046-841 8B220-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	25~29	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所 見などを記入ください。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	曜日指定 TCF3-PBX1 t(1;19)転座 8B314-0000-046-841 8B314-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	曜日指定 CKS1B 1q21 増幅 8B317-0000-046-841 8B317-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
0724 7 017035928	曜日指定 ALK 2p23転座 8B323-0000-220-841 8B323-0000-046-841 8B323-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		骨髓液 1.0	H00						
	曜日指定 GATA2-MECOM inv(3)逆位,t(3;3)転座 8B336-0000-046-841 8B336-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		骨髓液 1.0	H00						
	曜日指定 BCL6 3q27転座 8B333-0000-220-841 8B333-0000-046-841 8B333-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		骨髓液 1.0	H00						
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						

① 分染法を行った場合は、397点を加算する。その種類、方法にかかわらず、1回の算定とする。  
 ② FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

### 染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

### 血液疾患染色体検査(G-Banding)留意事項

- G-bandingの判定には、性別情報が必要なため、性別を必ず依頼書にご記入ください。  
また骨髄移植後にG-bandingをご依頼の場合にも、ドナー性別を必ず依頼書にご記入ください。
- 骨髄染色体検査には有核細胞1000万個(1×10<sup>7</sup>個)が必要です。この量を充分満たすように骨髓液を無菌的に採取してください。  
(これは骨髓の有核細胞数が10万個/μLの場合の骨髓液0.1mL、1万個/μLの場合の骨髓液1mLに相当します)
- ステロイド系薬剤、アルキル化薬剤、および代謝拮抗薬の投与中は染色体分裂像が得られず検査ができない場合があります。
- 末梢血液でご依頼の際、血中に幼若細胞(blast)の出現がみられない場合、また寛解期患者の血液では染色体分裂像が得られず検査ができない場合があります。

### 血液疾患染色体G-Banding対象疾患名

・該当する疾患名にてご依頼ください。

Myeloid系		Lymphoid系	
項目コード・ 新項目コード	疾患名	項目コード・ 新項目コード	疾患名
3751 4-014204901	MDS(骨髄異形成症候群) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403	3756 9-014354901	ALL(急性リンパ性白血病) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
	MPN(骨髄増殖性腫瘍) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		CLL(慢性リンパ性白血病) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
3752 3-014214901	AML(急性骨髄性白血病) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403	3757 8-014364901	ML(悪性リンパ腫) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
A369 2-01855C128	BMT(骨髄移植)ドナー男性 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403	3758 7-014414901	MM/PL(多発性骨髄腫/形質細胞性白血病) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
A370 0-01855C101	BMT(骨髄移植)ドナー女性 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403	3759 6-014424901	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
A372 8-01855C528	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403	3760 4-014454901	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
A373 7-01855C501	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		

# 染色体検査

## 白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
K499 8 019485928	<b>曜日指定</b> <b>IGH-FGFR3</b> <b>t(4;14)転座</b> 8B344-0000-046-841 8B344-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。  &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
K302 5 020335928	<b>曜日指定</b> <b>FIP1L1-PDGFR</b> <b>del(4)長腕欠失(4q12欠失)</b> 8B345-0000-046-841 8B345-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。  &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
7876 2 015215928	<b>曜日指定</b> <b>CSF1R</b> <b>del(5)長腕欠失</b> 8B354-0000-046-841 8B354-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 CSF1レセプターを指標として5q- を検出します。  &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	<b>曜日指定</b> <b>EGR1</b> <b>del(5)長腕欠失</b> 8B356-0000-046-841 8B356-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。  &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	<b>曜日指定</b> <b>PDGFRB</b> <b>5q32転座</b> 8B357-0000-046-841 8B357-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。  &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
K401 5 021055928	<b>曜日指定</b> <b>D7S486</b> <b>del(7)長腕欠失</b> <b>7染色体(7モノソミー)</b> 8B374-0000-046-841 8B374-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。  &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
7849 2 016695928	<b>曜日指定</b> <b>8染色体</b> 8B380-0000-046-841 8B380-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。  &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	<b>曜日指定</b> <b>MYC 8q24転座</b> 8B383-0000-220-841 8B383-0000-046-841 8B383-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。  &1
		骨髓液 1.0							
	<b>曜日指定</b> <b>IGH-MYC</b> <b>t(8;14)転座</b> 8B384-0000-220-841 8B384-0000-046-841 8B384-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。  &1
		骨髓液 1.0							
K125 2 016945928		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						

① FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

### 染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。



# 染色体検査

## 白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
	<b>曜日指定</b> <b>RUNX1-RUNX1T1</b> <b>(AML1-MTG8)</b> <b>t(8;21)転座</b> 8B385-0000-046-841 8B385-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	<b>曜日指定</b> <b>FGFR1 8p11.2転座</b> 8B386-0000-046-841 8B386-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5							
7867 2 015015901	<b>曜日指定</b> <b>BCR-ABL1</b> <b>t(9;22)転座</b> 8B395-0000-046-841 8B395-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5							
4185 2 017065901	<b>曜日指定</b> <b>末梢血好中球</b> <b>BCR-ABL1</b> <b>t(9;22)転座</b> 8B396-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 血液は採血後、速やかにご提出ください。 採血後30時間以上経過した血液を使用した場合、細胞の形態的变化により、判定に影響がでる場合がありますため検査できません。
	<b>曜日指定</b> <b>KMT2A(MLL)</b> <b>11q23.3転座</b> 8B413-0000-046-841 8B413-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
1339 4 016815928	<b>曜日指定</b> <b>IGH-CCND1</b> <b>(IGH-BCL1)</b> <b>t(11;14)転座</b> 8B414-0000-220-841 8B414-0000-046-841 8B414-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
	骨髓液 1.0	PH5							
E947 6 017095901	<b>曜日指定</b> <b>NUP98</b> <b>11p15転座</b> 8B415-0000-046-841 8B415-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5							
E876 5 01973A166	<b>曜日指定</b> <b>BIRC3-MALT1</b> <b>(API2-MALT1)</b> <b>t(11;18)転座</b> 8B416-0000-220-841 8B416-0000-046-841 8B416-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。胃生検材料の場合は、5個以上をH00の容器1本に入れてご提出ください。
	骨髓液 1.0	PH5							
	<b>曜日指定</b> <b>ATM</b> <b>del(11)長腕欠失</b> 8B417-0000-046-841 8B417-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5							

① FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

### 染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。



染色体検査

# 染色体検査

## 白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
7850 0 016705928	<b>曜日指定</b> <b>12染色体</b> 8B420-0000-046-841 8B420-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	<b>曜日指定</b> <b>ETV6-RUNX1 (TEL-AML1) t(12;21)転座</b> 8B424-0000-046-841 8B424-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
E785 6 021015928	<b>曜日指定</b> <b>D13S319 del(13)長腕欠失</b> 8B434-0000-046-841 8B434-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
1789 5 016825928	<b>曜日指定</b> <b>IGH-BCL2 t(14;18)転座</b> 8B443-0000-220-841 8B443-0000-046-841 8B443-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		骨髓液 1.0	PH5						
E875 6 019535928	<b>曜日指定</b> <b>IGH-MAF t(14;16)転座</b> 8B445-0000-046-841 8B445-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
7790 7 015955928	<b>曜日指定</b> <b>PML-RARA t(15;17)転座</b> 8B455-0000-046-841 8B455-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	<b>曜日指定</b> <b>CBFB inv(16)逆位、 t(16;16)転座</b> 8B463-0000-046-841 8B463-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
K181 0 021025928	<b>曜日指定</b> <b>TP53 del(17)短腕欠失</b> 8B475-0000-046-841 8B475-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
2376 2 019735966	<b>曜日指定</b> <b>MALT1 18q21 転座</b> 8B483-0000-220-841 8B483-0000-046-841 8B483-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 胃生検材料の場合は、5個以上を H00の容器1本に入れてご提出ください。 &1
		骨髓液 1.0	PH5						
		血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						

① FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

### 染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
白血病や悪性リンパ腫の染色体検査	<b>曜日指定</b> <b>BCL2 18q21転座</b> 8B484-0000-220-841 8B484-0000-046-841 8B484-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。	
		骨髓液 1.0								
		<b>曜日指定</b> <b>del(20)長腕欠失</b> 8B503-0000-046-841 8B503-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						&1
	7851 9 016715928	<b>曜日指定</b> <b>X染色体</b> 8B530-0000-046-841 8B530-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
	血液 5.0 (ヘパリン加)		PH5						&1	
7852 8 016735928	<b>曜日指定</b> <b>Y染色体</b> 8B540-0000-046-841 8B540-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。	
血液 5.0 (ヘパリン加)		PH5						&1		
7791 6 015965928	<b>曜日指定</b> <b>異性間BMT(骨髓移植) (X,Y染色体)</b> 8B550-0000-046-841 8B550-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。	
血液 5.0 (ヘパリン加)		PH5						&1		
固形腫瘍の染色体検査	<b>曜日指定</b> <b>del(1)短腕欠失</b> 8B316-0000-070-841	組織 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 対象疾患は、脳腫瘍・神経芽細胞腫です。	
		組織 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 主な対象疾患は、神経芽細胞腫です。	
	骨髓液 1.0									
	<b>曜日指定</b> <b>MYCN 2p24増幅</b> 8B324-0000-070-841 8B324-0000-046-841	組織 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 対象疾患は、脳腫瘍です。	
組織 5×5×5mm		H00	冷蔵	7~10	2553 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 主な対象疾患は、ユーイング肉腫、P-NETです。		

① FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

### 染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

### 染色体検査と関連する疾患

検査項目	主な対象疾患	主な用途
del(1)短腕欠失	脳腫瘍 神経芽細胞腫	治療感受性 予後推定
MYCN 2p24増幅	神経芽細胞腫	予後推定
del(19)長腕欠失	脳腫瘍	治療感受性
EWSR1 22q12転座	ユーイング肉腫 P-NET	



# 遺伝子関連検査

## 造血器腫瘍遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
造血器腫瘍遺伝子検査	K277 4 020216328 <b>FLT3/ITD 変異解析</b>	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~11	①② 2100 ※2	PCR	ITD変異認めず	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5						
	8C071-9951-046-851 8C071-9951-019-851	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5						
	K278 3 020229128 <b>KIT シーケンス解析 (白血病)</b>	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	10~14	①② 2100 ※2	PCR (リアルタイムPCR)	変異検出せず	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
血液 2.0 (EDTA-2Na加)			PN2 PN5						
8C565-0000-046-862 8C565-0000-019-862	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5							
K278 3 020229128 <b>KIT シーケンス解析 (白血病)</b>	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	10~14	①② 2100 ※2	ダイレクト シーケンス法	変異を認めず	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査はexon8、10、11、17を解析しています。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)							PN7
8C059-9951-046-848 8C059-9951-019-848	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7							

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②月1回を限度として算定できる。  
 ③再発又は難治性の急性骨髄性白血病(急性前骨髄性白血病を除く)の骨髓液又は末梢血を検体とし、抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として、FLT3遺伝子の縦列重複(ITD)変異及びピロシンキナーゼ(TKD)変異の評価を行った場合に限り、患者1人につき1回に限り算定する。

### 造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

### FLT3変異解析ITD/TKDの判定基準

FLT3変異解析		ITD SIGNAL RATIO	
		0.05未満	0.05以上
TKD SIGNAL RATIO	0.05未満	陰性	陽性
	0.05以上	陽性	陽性

遺伝子関連検査

<b>H00</b> 旧容器記号 (H) p⑥ 保存液入り (容器容量5mL) 内容 RPMI-1640 FBS; 硫酸カオマイシン; ノボヘパリンNa; 炭酸水素Na; HEPES 貯蔵方法 凍結 有効期間 色が薄いピンクの状態で使用してください。	<b>PN2 PN5</b> 旧容器記号 (C) p②⑦ EDTA-2Na入り (真空採血量 2mLまたは5mL) 内容 EDTA-2Na 3.0mgまたは 7.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年 (PN2) (PN5)	<b>PH5</b> 旧容器記号 (G) p⑱ ヘパリン入り (真空採血量5mL) 内容 ヘパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	<b>PN7</b> 旧容器記号 (A) p⑳② EDTA-2Na入り (真空採血量7mL) 内容 EDTA-2Na 10.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	<b>PN5</b> 旧容器記号 (C) p⑳③ EDTA-2Na入り (真空採血量5mL) 内容 EDTA-2Na 7.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	<b>ARR</b> 旧容器記号 (r) p③ 貯蔵方法 室温
---	--	--	---	--	--

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
造血器腫瘍遺伝子検査	JAK2V617F 遺伝子変異解析 8C491-9951-019-859	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	4~8	①② 2504 ※2	アレル特異的 定量PCR (リアルタイムPCR)	1.000%以下陰性	<b>重凍</b> 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	MPN遺伝子 変異解析 8C494-9951-019-856	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	4~8		PCR	変異検出せず	<b>重凍</b> 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 JAK2 遺伝子(V617F、exon12)、 MPL 遺伝子(W515L、W515K)、 CALR 遺伝子(type I~V)の変異解析を目的としております。 検出対象としていない変異がある場合、PCR反応およびハイブリダイズ反応に影響を及ぼす場合があります。そのため、このような変異を有する検体では正確な判定結果が得られない可能性があります。 &1
	MYD88遺伝子 変異解析	組織 125mg (5×5×5mm)	ARR	凍結	12~14		ダイレクト シーケンス法		<b>重</b> 本項目は、MYD88遺伝子L265を解析しています。 ホルマリンなどにより固定した組織はDNAが断片化している可能性があるため避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	CD79B遺伝子 変異解析	組織 125mg (5×5×5mm)	ARR	凍結	12~14		ダイレクト シーケンス法		<b>重</b> 本項目は、CD79B遺伝子Y196を解析しています。 ホルマリンなどにより固定した組織はDNAが断片化している可能性があるため避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1

①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
②真性赤血球増加症、本態性血小板血症及び原発性骨髄線維症の診断補助を目的として測定した場合に、患者1人につき1回に限り算定できる。

### 造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

### MPN遺伝子変異解析の検出対象

報告対象	遺伝子	エクソン	検出対象変異 (アミノ酸)	報告対象	遺伝子	エクソン	検出対象変異 (アミノ酸)
JAK2 V617F	JAK2	14	V617F	MPL W515L	MPL	10	W515L
JAK2 exon12(※)		12	N542_E543del	MPL W515K			W515K
			E543_D544del	CALR type I	CALR	9	L367fs*46
			R541_E543>K	CALR type II			K385fs*47
			F537_K539>L	CALR type III			L367fs*48
			K539L (TT)	CALR type IV			K368fs*51
K539L (CT)	CALR type V	E364fs*46					

(※)検出対象毎には報告いたしません。

### MYD88遺伝子変異解析、CD79B遺伝子変異解析の留意事項

- 手術後のリンパ節125mg(5×5×5mm)を指定の容器に採取し、直ちに凍結保存してください。
- 検体に含まれる腫瘍細胞が少ない場合、変異が検出できない可能性があります。あらかじめご了承ください。

# 遺伝子関連検査

## 造血器腫瘍遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
造血器腫瘍遺伝子検査	EZH2遺伝子 変異解析  8C935-9951-075-862	未染標本 スライド 5枚 厚さ5μm	Z10	室温	7~11	①② 2500 ※2	PCR (リアルタイム PCR)		<b>重</b> 病理材料でEZH2遺伝子 (Y646N、Y646F、Y646X、 A682G、A692V)の変異解析を目的 としております。検査に必要な腫 瘍細胞の割合は15%以上です。 未染標本スライド提出に際しての 留意事項は55ページを参照くださ い。 他項目との重複依頼は避けてくださ い。 &1
	曜日指定 白血病キメラ スクリーニング(定量)	骨髄液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①③ 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイム PCR)	(コピー/μgRNA)	<b>重 凍</b> 14項目のセット項目です。凍結保存 は避けてください。受託可能日は月 ~金曜日です。検体採取後、速やか にご提出ください。他項目との重複 依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーション の影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充 分ご注意ください。 &1
	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7							
曜日指定 WT1 mRNA定量  8C505-9962-019-875 8C505-9962-046-875	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	4~6	④ 2520 ※2	RT-PCR (リアルタイム PCR)	(コピー/μgRNA)	<b>重 凍</b> 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出くださ い。他項目との重複依頼は避けてく ださい。 本検査方法ではコンタミネーション の影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充 分ご注意ください。 &1	
骨髄液 1.0	H00								

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
- ②悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。
- ③月1回を限度として算定できる。
- ④急性骨髄性白血病又は骨髄異形成症候群の診断の補助又は経過観察時に行った場合に月1回を限度として算定できる。

### 造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

### 白血病キメラスクリーニング(定量)

項目名	キメラmRNA遺伝子
白血病キメラスクリーニング(定量)	Major <i>BCR-ABL1</i> 、minor <i>BCR-ABL1</i> 、 <i>PML-RARA</i> 、 <i>RUNX1-RUNX1T1</i> 、 <i>CBFB-MYH11</i> 、 <i>DEK-NUP214</i> 、 <i>NUP98-HOXA9</i> 、 <i>ETV6-RUNX1</i> 、 <i>TCF3-PBX1</i> 、 <i>STIL-TAL1</i> 、 <i>KMT2A-AFF1</i> 、 <i>KMT2A-AFDN</i> 、 <i>KMT2A-MLLT3</i> 、 <i>KMT2A-MLLT1</i>

### WT1 mRNA定量

受託数の増減により、所要日数が変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
造血器腫瘍遺伝子検査	A086 6 8A0860000	<b>曜日指定</b> Major BCR-ABL1 mRNA定量 8C125-9962-046-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵 (1日)	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを検出せず (コピー/μgRNA)	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	A037 0 030292801	<b>曜日指定</b> Major BCR-ABL1 mRNA(IS) 8C125-9962-019-875	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1日)	4~6	2520 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)		<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	3888 3 020557501	<b>曜日指定</b> Major BCR-ABL1 mRNA定性 8C125-9961-019-867 8C125-9961-046-867	血液 7.0 (EDTA-2Na加) 骨髓液 1.0	PN7 H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを検出せず	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	L457 3	<b>曜日指定</b> Major BCR-ABL1 ABL1変異解析 8C125-9951-046-848 8C125-9951-019-848	骨髓液 1.0 血液 7.0 (EDTA-2Na加)	H00 PN7	冷蔵 (1日)	10~14		ダイレクトシーケンス法		<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。本検査はMajor BCR-ABL1におけるABL1領域codon 115-486を解析します。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
②月1回を限度として算定できる。

### 造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

### [A037 0]Major BCR-ABL1mRNA(IS)

受託数の増減により、所要日数が変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。

### Major BCR-ABL1 ABL1変異解析

ご提出にあたっては、必ずキメラ遺伝子の存在をご確認のうえ、本項目をご依頼ください。



# 遺伝子関連検査

## 造血器腫瘍遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
造血器腫瘍遺伝子検査	8657 1 045492801	曜日指定 minor BCR-ABL1 (%) 8C127-9962-019-875	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1日)	3~5	2520 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)		<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査は、e1a2の測定はできませんが、e1a3の融合mRNAの測定はできません。また、e1a2の融合mRNAにおいてもプライマー及びプローブが結合する領域に変異がある場合には、minor BCR-ABL1 mRNAの測定ができないことがあります。 &1
	8776 9 045492828	曜日指定 min BCR-ABL1 (%)マルク 8C127-9962-046-875	骨髓液 1.0	H00						
		曜日指定 minor BCR-ABL1 mRNA定量 8C127-9962-046-875 8C127-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを検出せず (コピー/μgRNA)	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7							
	3889 2 020317501	曜日指定 minor BCR-ABL1 mRNA定性 8C127-9961-019-867 8C127-9961-046-867	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	6~9	2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを検出せず	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	骨髓液 1.0	H00								
	曜日指定 micro BCR-ABL1 mRNA定性 8C128-9961-019-866 8C128-9961-046-866	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1日)	6~9	2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを検出せず	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
	骨髓液 1.0	H00								
	曜日指定 minor BCR-ABL1 ABL1変異解析 8C127-9951-046-848 8C127-9951-019-848	骨髓液 1.0	H00	冷蔵 (1日)	10~14		ダイレクトシーケンス法		<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。本項目はminor BCR-ABL1におけるABL1領域codon 115-486を解析します。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7								

①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
②月1回を限度として算定できる。

### 造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

### [B657 1]minor BCR-ABL1 (%)、[B776 9]min BCR-ABL1 (%)マルクの報告内容について

事例	minor BCR-ABL1/ABL1比 報告内容	報告コメント
minor BCR-ABL1 mRNA測定値が 測定下限値13.58コピー/テスト未満の場合	(13.58/ABL1 mRNA測定値)%未満	なし
minor BCR-ABL1 mRNA測定値が 検出されなかった場合	検出せず	BCR-ABL1が検出されませんでした
ABL1 mRNA測定値が 10000コピー/テスト未満の場合	計算不能	別紙ラポレター*

\*正報告書と合わせて、別紙報告書にて詳細をご報告いたします。

### minor BCR-ABL1 ABL1変異解析

ご提出にあたっては、必ずキメラ遺伝子の存在をご確認のうえ、本項目をご依頼ください。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実送料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
	<b>曜日指定</b> <b>TCF3-PBX1 mRNA定量</b>  8C396-9962-046-875 8C396-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na <sub>加</sub> )	PN7						
7802 3 015937501	<b>曜日指定</b> <b>TCF3-PBX1 mRNA定性</b>  8C396-9961-019-867 8C396-9961-046-867	血液 7.0 (EDTA-2Na <sub>加</sub> )	PN7	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		骨髓液 1.0	H00						
6279 6 020292828	<b>曜日指定</b> <b>PML-RARA mRNA定量</b>  8C421-9962-046-875 8C421-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na <sub>加</sub> )	PN7						
3887 4 020297528	<b>曜日指定</b> <b>PML-RARA mRNA定性</b>  8C421-9961-046-867 8C421-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na <sub>加</sub> )	PN7						
	<b>曜日指定</b> <b>CBFB-MYH11 mRNA定量</b>  8C425-9962-046-875 8C425-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na <sub>加</sub> )	PN7						
7855 5 016647528	<b>曜日指定</b> <b>CBFB-MYH11 mRNA定性</b>  8C425-9961-046-867 8C425-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na <sub>加</sub> )	PN7						
	<b>曜日指定</b> <b>RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量</b>  8C428-9962-046-875 8C428-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na <sub>加</sub> )	PN7						
7800 5 017127528	<b>曜日指定</b> <b>RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性</b>  8C428-9961-046-867 8C428-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na <sub>加</sub> )	PN7						

①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②月1回を限度として算定できる。

### 造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。



# 遺伝子関連検査

## 造血器腫瘍遺伝子検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
造血器腫瘍遺伝子検査	78537 018937528	<b>曜日指定</b> <b>RUNX1-MECOM mRNA定性</b> 8C429-9961-046-867 8C429-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを検出せず	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	K3043 020012828	<b>曜日指定</b> <b>ETV6-RUNX1 mRNA定量</b> 8C436-9962-046-875 8C436-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを検出せず (コピー/μgRNA)	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
		<b>曜日指定</b> <b>ETV6-RUNX1 mRNA定性</b> 8C436-9961-046-867 8C436-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを検出せず	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
		<b>曜日指定</b> <b>KMT2A-AFF1 mRNA定量</b> 8C443-9962-046-875 8C443-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを検出せず (コピー/μgRNA)	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
78942 015417528	<b>曜日指定</b> <b>KMT2A-AFF1 mRNA定性</b> 8C443-9961-046-867 8C443-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを検出せず	<b>重要</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	
	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7								

①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②月1回を限度として算定できる。

### 造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

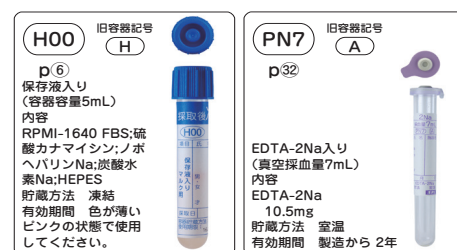
検体は採取後、当日中にご提出ください。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
造血器腫瘍遺伝子検査	<b>曜日指定</b> <b>KMT2A-AFDN mRNA定量</b> 8C444-9962-046-875 8C444-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	1①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	<b>曜日指定</b> <b>KMT2A-AFDN mRNA定性</b> 8C444-9961-046-867 8C444-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	1①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	<b>曜日指定</b> <b>KMT2A-MLLT3 mRNA定量</b> 8C445-9962-046-875 8C445-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	1①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	7895 1 015427528 <b>曜日指定</b> <b>KMT2A-MLLT3 mRNA定性</b> 8C445-9961-046-867 8C445-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	1①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
<b>曜日指定</b> <b>KMT2A-MLLT1 mRNA定量</b> 8C447-9962-046-875 8C447-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	1①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)		
	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7							
7896 0 015437528 <b>曜日指定</b> <b>KMT2A-MLLT1 mRNA定性</b> 8C447-9961-046-867 8C447-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	1①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず		
	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7							

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②月1回を限度として算定できる。

### 造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。



# 遺伝子関連検査

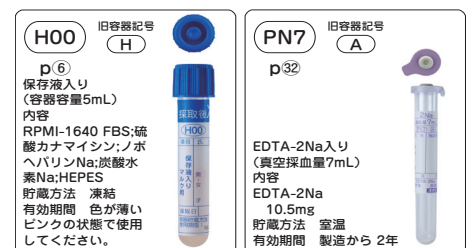
## 造血器腫瘍遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
造血器腫瘍遺伝子検査	<b>曜日指定</b> <b>NUP98-HOXA9 mRNA定量</b> 8C450-9962-046-875 8C450-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	<b>曜日指定</b> <b>STIL-TAL1 mRNA定量</b> 8C465-9962-046-875 8C465-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
<b>曜日指定</b> <b>DEK-NUP214 mRNA定量</b> 8C481-9962-046-875 8C481-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)		
	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7							
7854 6 018997528	<b>曜日指定</b> <b>DEK-NUP214 mRNA定性</b> 8C481-9961-046-867 8C481-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	
	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7							

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②月1回を限度として算定できる。

### 造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。



### 白血病キメラ遺伝子検査の利用手引き

スクリーニング	ポイント	<p>白血病疑いの初診時(高発現時)に用いるスクリーニング検査です。白血病キメラ遺伝子を検出いたします。キメラmRNAを検出した場合は、検出されたキメラmRNAの「コピー数/μgRNA」を報告いたします。</p> <p>治療のモニタリングは、スクリーニング検査で検出されたキメラ遺伝子の定量および定性の単項目のご依頼をお願いいたします。</p> <p>本検査試薬は自家調製です。</p>	
	性能	定量限界(最小報告値)は50コピー/μgRNAです。	
	該当項目	<p>白血病キメラスクリーニング(定量)</p> <p>項目構成(下記14項目)</p> <p>Major BCR-ABL1、minor BCR-ABL1、PML-RARA、RUNX1-RUNX1T1、CBFB-MYH11、DEK-NUP214、NUP98-HOXA9、ETV6-RUNX1、TCF3-PBX1、STIL-TAL1、KMT2A-AFF1、KMT2A-AFDN、KMT2A-MLLT3、KMT2A-MLLT1</p>	
定量 (リアルタイムPCR)	ポイント	<p>治療のモニタリングに用いる検査です。</p> <p>報告値は、「キメラmRNA補正值(コピー数/μgRNA)」、「キメラmRNA実測値(コピー数/μgRNA)」、「GAPDH(内部標準)実測値(コピー数/μgRNA)」です。</p> <p>定量限界未達の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■50コピー/μgRNA未達</li> <li>■検出せず(本測定系の検出限界未達)</li> </ul> <p>検出せず(本測定系の検出限界未達)と判定された場合でも、各種キメラ遺伝子の存在を否定するものではありません。臨床診断においては、他の検査結果や臨床所見と合わせて総合的に判断してください。</p> <p>本検査試薬は自家調製です。</p>	
	性能	定量限界(最小報告値)は50コピー/μgRNAです。	
	該当項目	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">                     Major BCR-ABL1 mRNA定量                      minor BCR-ABL1 mRNA定量                      TCF3-PBX1 mRNA定量                      PML-RARA mRNA定量                      CBFB-MYH11 mRNA定量                      RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量                      ETV6-RUNX1 mRNA定量                 </td> <td style="vertical-align: top;">                     KMT2A-AFF1 mRNA定量                      KMT2A-AFDN mRNA定量                      KMT2A-MLLT3 mRNA定量                      KMT2A-MLLT1 mRNA定量                      NUP98-HOXA9 mRNA定量                      STIL-TAL1 mRNA定量                      DEK-NUP214 mRNA定量                 </td> </tr> </table>	Major BCR-ABL1 mRNA定量 minor BCR-ABL1 mRNA定量 TCF3-PBX1 mRNA定量 PML-RARA mRNA定量 CBFB-MYH11 mRNA定量 RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量 ETV6-RUNX1 mRNA定量
Major BCR-ABL1 mRNA定量 minor BCR-ABL1 mRNA定量 TCF3-PBX1 mRNA定量 PML-RARA mRNA定量 CBFB-MYH11 mRNA定量 RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量 ETV6-RUNX1 mRNA定量	KMT2A-AFF1 mRNA定量 KMT2A-AFDN mRNA定量 KMT2A-MLLT3 mRNA定量 KMT2A-MLLT1 mRNA定量 NUP98-HOXA9 mRNA定量 STIL-TAL1 mRNA定量 DEK-NUP214 mRNA定量		
定性 (nested PCR)	ポイント	<p>治療のモニタリングおよび再発のモニタリングに用いる検査です。</p> <p>各種キメラmRNAを高感度に検出することができます。</p> <p>報告値は「キメラmRNAを検出せず」「検出しました」です。</p> <p>※定性検査においても、検出限界はあるため、「検出せず」となった場合でも完全にMRDを否定するものではありません。</p> <p>本検査試薬は自家調製です。</p>	
	性能	検出限界は10コピー/μgRNAです。	
	該当項目	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">                     Major BCR-ABL1 mRNA定性                      minor BCR-ABL1 mRNA定性                      micro BCR-ABL1 mRNA定性                      TCF3-PBX1 mRNA定性                      PML-RARA mRNA定性                      CBFB-MYH11 mRNA定性                      RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性                 </td> <td style="vertical-align: top;">                     RUNX1-MECOM mRNA定性                      ETV6-RUNX1 mRNA定性                      KMT2A-AFF1 mRNA定性                      KMT2A-AFDN mRNA定性                      KMT2A-MLLT3 mRNA定性                      KMT2A-MLLT1 mRNA定性                      DEK-NUP214 mRNA定性                 </td> </tr> </table>	Major BCR-ABL1 mRNA定性 minor BCR-ABL1 mRNA定性 micro BCR-ABL1 mRNA定性 TCF3-PBX1 mRNA定性 PML-RARA mRNA定性 CBFB-MYH11 mRNA定性 RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性
Major BCR-ABL1 mRNA定性 minor BCR-ABL1 mRNA定性 micro BCR-ABL1 mRNA定性 TCF3-PBX1 mRNA定性 PML-RARA mRNA定性 CBFB-MYH11 mRNA定性 RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	RUNX1-MECOM mRNA定性 ETV6-RUNX1 mRNA定性 KMT2A-AFF1 mRNA定性 KMT2A-AFDN mRNA定性 KMT2A-MLLT3 mRNA定性 KMT2A-MLLT1 mRNA定性 DEK-NUP214 mRNA定性		

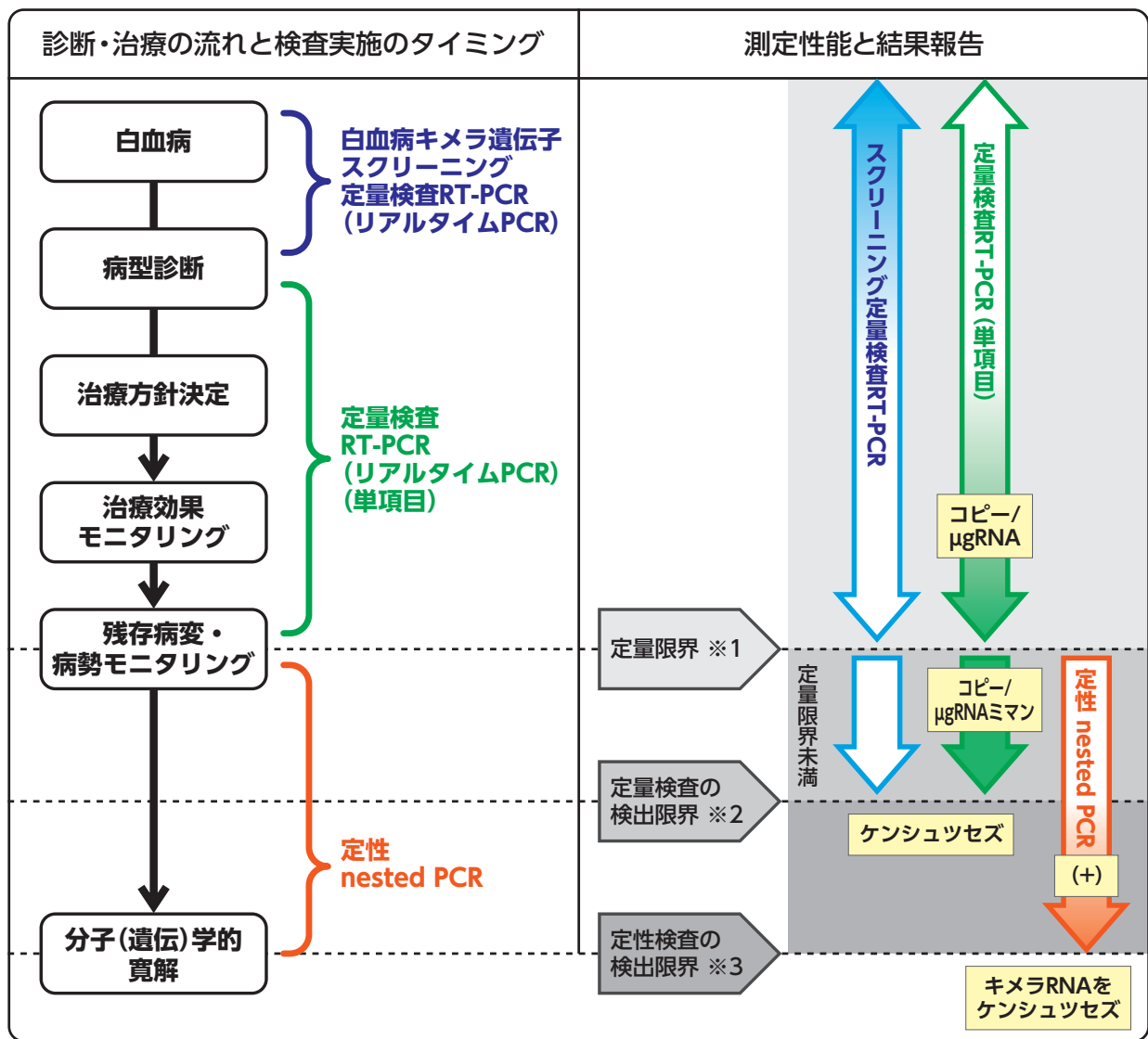
# 遺伝子関連検査

白血病の診断・治療と遺伝子検査の流れ及び測定性能について

## 白血病の診断・治療と遺伝子検査の流れ及び測定性能について

白血病は白血病細胞が無秩序に増加する疾患であり、白血病の病型によって白血病細胞に特徴的なキメラ遺伝子が発現しています。診断にはキメラ遺伝子の発現の有無を確認すること、また治療効果判定には高感度な測定方法を選択することが重要です。

- 【留意事項】**
- ・白血病キメラ遺伝子によってはバリエーションが存在し、検出できない場合があります。
  - ・検体の性状(治療後で少ない細胞数など)によっては、低値または偽陰性の結果となる場合があります。
  - ・白血病キメラ遺伝子定量検査における定量限界未満の確認検査として定性nested PCRをお勧めしています。
  - ・自家調製試薬を用いた白血病キメラ遺伝子については、施設間差・測定方法間差が認められています。ご利用にあたってはご注意ください。



結果報告の表記(単位)

- ※1 定量検査(RT-PCR)において定量が可能な最小濃度を示します。
- ※2 定量検査(RT-PCR)において定量範囲外(定量限界未満)である一方、PCRシグナルが信頼性をもって検出できる限界を示します。
- ※3 定性検査(nested PCR)において電気泳動バンドが信頼性をもって確認(検出)できる限界を示します。

監修：東海大学医学部 基盤診療学系 臨床検査学 教授 宮地 勇人

遺伝子関連検査

### 白血病関連遺伝子検査の主な別称

HGNC(HUGO Gene Nomenclature Committee)2018-11-16 update ver. より引用

新検査項目名称 Approved symbol	Approved Name	HGNC ID	Previous Symbols	Alias symbols
BCR	BCR, RhoGEF and GTPase activating protein	HGNC:1014	D22S11 BCR1	D22S662 CML PHL ALL
ABL1	ABL proto-oncogene 1, non-receptor tyrosine kinase	HGNC:76	ABL	JTK7 c-ABL p150
RUNX1	runt related transcription factor 1	HGNC:10471	AML1 CBFA2	PEBP2A2 AMLCR1
MECOM	MDS1 and EVI1 complex locus	HGNC:3498	MDS1 EVI1	MDS1-EVI1 PRDM3 KMT8E
RUNX1T1	RUNX1 translocation partner 1	HGNC:1535	AML1T1 CBFA2T1	CDR ETO MTG8 ZMYND2
DEK	DEK proto-oncogene	HGNC:2768	-	D6S231E
NUP214	nucleoporin 214	HGNC:8064	-	CAIN CAN D9S46E N214
PML	promyelocytic leukemia	HGNC:9113	-	MYL TRIM19 RNF71
RARA	retinoic acid receptor alpha	HGNC:9864	-	RAR NR1B1
CBFB	core-binding factor subunit beta	HGNC:1539	-	PEBP2B
MYH11	myosin heavy chain 11	HGNC:7569	-	SMMHC SMHC
KMT2A	lysine methyltransferase 2A	HGNC:7132	MLL	TRX1 HRX ALL-1 HTRX1 CXXC7 MLL1A
AFF1	AF4/FMR2 family member 1	HGNC:7135	PBM1 MLLT2	AF-4 AF4
AFDN	afadin, adherens junction formation factor	HGNC:7137	MLLT4	AF-6 AF6
MLLT3	MLLT3, super elongation complex subunit	HGNC:7136	-	AF-9 AF9 YEATS3
STIL	STIL, centriolar assembly protein	HGNC:10879	SIL	MCPH7
TAL1	TAL bHLH transcription factor 1, erythroid differentiation factor	HGNC:11556	TCL5	SCL bHLHa17
MLLT1	MLLT1, super elongation complex subunit	HGNC:7134	-	ENL LTG19 YEATS1
TCF3	transcription factor 3	HGNC:11633	-	E2A ITF1 MGC129647 MGC129648 bHLHb21 VDIR E47 p75
PBX1	PBX homeobox 1	HGNC:8632	-	-
ETV6	ETS variant 6	HGNC:3495	-	TEL
NUP98	nucleoporin 98	HGNC:8068	-	NUP96
HOXA9	homeobox A9	HGNC:5109	HOX1G HOX1	-
WT1	Wilms tumor1	HGNC:12796	GUD	WAGR WIT-2 AWT1 NPHS4
FLT3	fms related tyrosine kinase 3	HGNC:3765	-	STK1 FLK2 CD135
KIT	KIT proto-oncogene receptor tyrosine kinase	HGNC:6342	PBT	CD117 SCFR C-Kit
JAK2	Janus kinase 2	HGNC:6192	-	JTK10
NPM1	nucleophosmin1	HGNC:7910	-	B23 NPM

# 遺伝子関連検査

## 造血器腫瘍関連項目一覧(FISH・遺伝子)

### 造血器腫瘍関連項目一覧(FISH・遺伝子)

染色体	検出対象	遺伝子	FISH 検査項目	主な対象疾患										
				骨髄性			リンパ性				他			
				MPN	CML	MDS	AML	ALL	CLL	ML	MM	BMT		
t(9;22)(q34.1;q11.2)	BCR-ABL1	BCR-ABL1	BCR-ABL1 t(9;22)転座	●	●	●	●	●						
4q12欠失/転座	FIP1L1-PDGFR	FIP1L1-PDGFR	FIP1L1-PDGFR del(4)長腕欠失(4q12欠失)	●										
5q32転座	PDGFRB rearranged	PDGFRB	PDGFRB 5q32転座	●										
8p11.2転座	FGFR1 rearranged	FGFR1	FGFR1 8p11.2転座	●										
-7,del(7q)/7q-			D7S486 del(7)長腕欠失/7染色体(7モノソミー)			●	●							
del(5q)/5q-			CSF1R del(5)長腕欠失			●								
+8			EGR1 del(5)長腕欠失	●		●								
del(13q-)/13q-			8染色体			●	●							
i(17q)/del(17p)/17p-			D13S319 del(13)長腕欠失	●		●			●			●		
del(20q)/20q-			TP53 del(17)短腕欠失	●		●			●			●		
t(8;21)(q22;q22.1)	RUNX1-RUNX1T1	RUNX1-RUNX1T1	del(20)長腕欠失	●		●								
inv(16)(p13.1;q22) or t(16;16)(p13.1;q22)	CBFB-MYH11	CBFB-MYH11	RUNX1-RUNX1T1 (AML1-MTG8) t(8;21)転座				●							
t(15;17)(q24.1;q21.2)	PML-RARA	PML-RARA	CBFB inv(16)逆位, t(16;16)転座				●							
11q23.3転座	KMT2A rearranged	KMT2A	PML-RARA t(15;17)転座				●							
t(4;11)(q21;q23.3)	KMT2A-AFF1	KMT2A-AFF1					●							
t(6;11)(q27;q23.3)	KMT2A-AFDN	KMT2A-AFDN					●							
t(9;11)(p21.3;q23.3)	KMT2A-MLL T3	KMT2A-MLL T3	KMT2A(MLL) 11q23.3転座				●							
t(11;19)(q23.3;p13.3)	KMT2A-MLL T1	KMT2A-MLL T1					●							
t(6;9)(p23;q34.1)	DEK-NUP214	DEK-NUP214					●							
inv(3)(q21.3;q26.2) or t(3;3)(q21.3;q26.2)	GATA2-MECOM	GATA2-MECOM	GATA2-MECOM inv(3)逆位, t(3;3)転座				●							
1p15転座	NUP98 rearranged	NUP98												
t(7;11)(p15;p15)	NUP98-HOXA9	NUP98-HOXA9	NUP98 11p15転座											
t(3;21)(q26.2;q22.1)	RUNX1-MECOM	RUNX1-MECOM	RUNX1-MECOM mRNA定量			●	●							



### 造血器腫瘍関連項目一覧(FISH・遺伝子)

染色体	検出対象	FISH 検査項目	遺伝子 検査項目	主な対象疾患									
				骨髄性			リンパ性				他		
				MPN	CML	MDS	AML	ALL	CLL	ML	MM	BMT	
t(12;21)(p13.2;q22.1)		ETV6-RUNX1	ETV6-RUNX1 (TEL-AML1) t(12;21)転座					●					
t(1;19)(q23;p13.3) or der(19)t(1;19)(q23;p13.3)		TCF3-PBX1	TCF3-PBX1 t(1;19)転座					●					
del(1p32)/1p-		STIL-TAL1	STIL-TAL1 mRNA定量					●					
del(11q)/11q-		ATM	ATM del(11)長腕欠失 12染色体						●				
t(11;14)(q13;q32)		IGH-CCND1	IGH-CCND1 (IGH-BCL1) t(11;14)転座						●				
t(4;14)(p16;q32)		IGH-FGFR3	IGH-FGFR3 t(4;14)転座							●			
t(14;16)(q32;q23)		IGH-MAF	IGH-MAF t(14;16)転座								●		
1q21領域の増幅(Amp1q21)		CKS1B 1q21 増幅	CKS1B 1q21 増幅									●	
t(11;18)(q21;q21)		BIRC3-MALT1	BIRC3-MALT1 (API2-MALT1) t(11;18)転座							●			
18q21転座		MALT1 rearranged	MALT1 18q21転座										
t(14;18)(q32;q21)		IGH-BCL2	IGH-BCL2 t(14;18)転座							●			
18q21転座		BCL2 rearranged	BCL2 18q21転座										
3q27転座		BCL6 rearranged	BCL6 3q27転座										
t(8;14)(q24;q32)		IGH-MYC	IGH-MYC t(8;14)転座										●
8q24転座		MYC rearranged	MYC 8q24転座										●
2p23転座		ALK rearranged	ALK 2p23転座										
		MYD88 mutation	MYD88遺伝子変異解析										
		CD79B mutation	CD79B遺伝子変異解析										
		EZH2 mutation	EZH2遺伝子変異解析										
		JAK2 mutation	JAK2 V617F遺伝子変異解析		●								
		MPL mutation	MPN遺伝子変異解析		●								
		CALR mutation	FLT3/ITD 変異解析								●		
		FLT3 mutation	FLT3変異解析ITD/TKD										
		NPM1 mutation	NPM1 変異解析										
		KIT mutation	KIT シーケンス解析(白血病)										
			白血病キメラスクリーニング(定量)									●	
			WT1 mRNA定量			●							
			キメリスム解析移植前レシジェント(PCR)										
			キメリスム解析移植前ドナー (PCR)										●
			キメリスム解析移植後 (PCR)										●

\* MPNはCMLを別枠としている。

Major BCR-ABL1, minor BCR-ABL1, PML-RARA, RUNX1-RUNX1T1, CBFB-MYH11, DEK-NUP214, NUP98-HOXA9, ETV6-RUNX1, TCF3-PBX1, STIL-TAL1, KMT2A-AFF1, KMT2A-ATF1, KMT2A-MLLT3, KMT2A-MLLT1

監修：三浦 偉久男,SRL学術顧問 元聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科 教授

# 遺伝子関連検査

## 免疫関連遺伝子再構成検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
3878 4 018377601	T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成  8C652-9931-019-831 8C652-9931-046-831 8C652-9931-099-831 8C652-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などを記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 &1
		骨髄液 1.0	H00						
		細胞 2×10 <sup>7</sup> cells	培養 容器						
		組織 250mg	ARR						
7795 2 020177601	T細胞レセプター β鎖Jβ1再構成  8C654-9931-019-831 8C654-9931-046-831 8C654-9931-099-831 8C654-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などを記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 &1
		骨髄液 1.0	H00						
		細胞 2×10 <sup>7</sup> cells	培養 容器						
		組織 250mg	ARR						
7796 1 020187601	T細胞レセプター β鎖Jβ2再構成  8C655-9931-019-831 8C655-9931-046-831 8C655-9931-099-831 8C655-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などを記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 &1
		骨髄液 1.0	H00						
		細胞 2×10 <sup>7</sup> cells	培養 容器						
		組織 250mg	ARR						
7797 0 020157601	T細胞レセプター γ鎖Jγ再構成  8C663-9931-019-831 8C663-9931-046-831 8C663-9931-099-831 8C663-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などを記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 &1
		骨髄液 1.0	H00						
		細胞 2×10 <sup>7</sup> cells	培養 容器						
		組織 250mg	ARR						
7798 9 020287601	T細胞レセプター δ鎖Jδ1再構成  8C671-9931-019-831 8C671-9931-046-831 8C671-9931-099-831 8C671-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などを記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 &1
		骨髄液 1.0	H00						
		細胞 2×10 <sup>7</sup> cells	培養 容器						
		組織 250mg	ARR						

①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

②悪性リンパ腫、急性リンパ性白血病又は慢性リンパ性白血病の診断の目的で検査を行った場合に、6月に1回を限度として算定できる。

# 遺伝子関連検査

## 免疫関連遺伝子再構成検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
3891 9 018357601	免疫グロブリン H鎖J <sub>H</sub> 再構成  8C703-9931-019-831 8C703-9931-046-831 8C703-9931-099-831 8C703-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7		11~13	2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。  ※1
		骨髄液 1.0	H00	冷蔵					
		細胞 2×10 <sup>7</sup> cells	培養 容器						
		組織 250mg	ARR	凍結					
7792 5 015457601	免疫グロブリン H鎖C <sub>μ</sub> 再構成  8C707-9931-019-831 8C707-9931-046-831 8C707-9931-099-831 8C707-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7		11~13	2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。  ※1
		骨髄液 1.0	H00	冷蔵					
		細胞 2×10 <sup>7</sup> cells	培養 容器						
		組織 250mg	ARR	凍結					
3892 8 018367601	免疫グロブリン L鎖J <sub>K</sub> 再構成  8C723-9931-019-831 8C723-9931-046-831 8C723-9931-099-831 8C723-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7		11~13	2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。  ※1
		骨髄液 1.0	H00	冷蔵					
		細胞 2×10 <sup>7</sup> cells	培養 容器						
		組織 250mg	ARR	凍結					
7793 4 015467601	免疫グロブリン L鎖C <sub>κ</sub> 再構成  8C727-9931-019-831 8C727-9931-046-831 8C727-9931-099-831 8C727-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7		11~13	2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。  ※1
		骨髄液 1.0	H00	冷蔵					
		細胞 2×10 <sup>7</sup> cells	培養 容器						
		組織 250mg	ARR	凍結					
7794 3 015477601	免疫グロブリン L鎖C <sub>λ</sub> 再構成  8C729-9931-019-831 8C729-9931-046-831 8C729-9931-099-831 8C729-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7		11~13	2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。  ※1
		骨髄液 1.0	H00	冷蔵					
		細胞 2×10 <sup>7</sup> cells	培養 容器						
		組織 250mg	ARR	凍結					

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
②悪性リンパ腫、急性リンパ性白血病又は慢性リンパ性白血球病の診断の目的で検査を行った場合に、6月に1回を限度として算定できる。

遺伝子関連検査



# 遺伝子関連検査

## 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	BRAF V600 変異解析(PCR)  8C155-9951-075-862	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ10μm	Z10	室温	4~10	①② 5000 ※2	PCR (リアルタイム PCR)		Ⓜ 病理材料でBRAF阻害剤(一般名: ベムラフェニブ)による悪性黒色 腫(メラノーマ)治療の適用を判断 することを目的としております。 V600の変異の種類は区別できませ ん。また、病理材料以外は受託で きません。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は 50%以上です。未染標本スライド 提出に際しての留意事項は55ペー ジをご参照ください。他項目との 重複依頼は避けてください。 &1
	K624 8 028049154 BRAF exon15 V600E(SEQ)  8C155-9951-075-848	未染標本 スライド ※下記参照	Z10	室温	11~14		ダイレクト シーケンス法		Ⓜ 病理材料でBRAF V600Eの変異解析を目的 としております。病理材料以外は受託できませ ん。なお、病理検査材料は、組織のホルマリン 固定によりDNAが断片化されているため、 固定液の種類や、固定時間といった保存状況、 保存年数によっては、解析不可能な場合があ りますので、あらかじめご了承ください。 他項目との重複依頼はできません。 &1
	A056 9 01976C174 EGFR変異解析 v2.0  8C051-9951-075-862	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ10μm	Z10	室温	3~6	①③ ④ 2500 ※2	PCR (リアルタイム PCR)		Ⓜ 検査に必要な腫瘍細胞の割合は10%以 上です。未染標本スライド提出に際 しての留意事項は55ページをご参照く ださい。他項目との重複依頼は避けて ください。 &1
	A057 8 01976C103 EGFR変異解析 v2.0 (血漿)  8C051-9951-022-862	血漿 5.0	PK5, PK7 ↓ ARR 凍結		3~6	④⑤ 2100 ※2	PCR (リアルタイム PCR)		Ⓜ ●血漿材料について EDTA-2Kの採血管で提出検体量(血漿5mL) を考慮した充分量を採取し、採血後、8時間 以内に必ず血漿分離してください。 分離後、直ちに滅菌ポリスピット2本に 2.5mLずつの血漿を分取し凍結保存して ください。血漿分取する際には、白血球成 分由来のゲノムDNAの混入を防ぐためデ カンテーションを行わないでください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体の採取 にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	EGFR遺伝子 変異解析 (Scorpion-ARMS法)  8C051-9951-075-952	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ 5~10μm	Z10	室温	4~7	①③ ④ 2500 ※2	PCR (リアルタイム PCR)		Ⓜ 検査に必要な腫瘍細胞の割合は10%以 上です。未染標本スライド提出に際 しての留意事項は55ページをご参照く ださい。他項目との重複依頼は避けて ください。 &1

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
- ②悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。
- ③悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行なった遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。ただし、肺癌におけるEGFR遺伝子検査については、再発や増悪により、2次的遺伝子変異等が疑われ、再度治療法を選択する必要がある場合にも算定できる。
- ④「EGFR変異解析v2.0(血漿)」、「EGFR変異解析 v2.0」と「EGFR遺伝子 変異解析(Scorpion-ARMS法)」を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
- ⑤肺癌の詳細な診断及び治療法を選択する場合、又は肺癌の再発や増悪により、EGFR遺伝子変異の2次的遺伝子変異等が疑われ、再度治療法を選択する場合に、患者1人につき診断及び治療法を選択する場合には1回、再度治療法を選択する場合には2回に限り算定できる。ただし、医学的な理由により、肺癌の組織を検体として、EGFR遺伝子検査(リアルタイムPCR法)又はEGFR遺伝子検査(リアルタイムPCR法以外)を行うことが困難な場合に限る。

### [K624 8] BRAF exon15 V600E(SEQ)の検査材料

下記の未染標本スライドを作製し、スライドのおもてに切片の厚さを記入し、オブジェクトケース(Z10)に入れ、室温保存にてご提出ください。  
BRAF exon15 V600E(SEQ)、PIK3CA 遺伝子変異解析(SEQ)、c-kit遺伝子変異解析(GIST)3項目のご依頼(単独または、2~3項目同時の場合)の際は、必ず「腫瘍部位確認用検査」を併せてご依頼くださいますようお願いいたします。

#### 未染標本スライドの種類と枚数

未染標本スライド種類	切片の厚さ	枚数
腫瘍部位確認用	3~4μm	2枚
DNA抽出用	10μm	5~10枚

### [A057 8] EGFR変異解析 v2.0(血漿)の留意事項(試薬添付文書より)

- 血漿検査では、腫瘍由来DNAが血漿中に十分に漏出していないために、腫瘍組織にはEGFR遺伝子変異が存在してもEGFR遺伝子変異が検出できない可能性が考えられます。そのため血漿検査が先に実施され、EGFR遺伝子変異陰性の結果が得られた場合には、可能な限り組織検査の実施を考慮してください。
- 血漿検査は、組織検査と完全に置き換わる検査ではありません。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	A2512 042642854	組織 100mg	ARR	凍結	4~7	①② 2500 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	陰性	<b>Ⓜ</b> 受託可能日は月~金曜日です。 材料は悪性腫瘍が認められていることを確認のうえ、ご提出ください。特に生検組織は検体が微量であることが多く、組織自体がほとんど消失している場合や、腫瘍細胞が含まれていない組織片になっている可能性があるため、あらかじめご注意願います。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	<b>曜日指定</b> ROS1融合遺伝子定性  8C055-0000-070-875 8C055-0000-042-875 8C055-0000-091-875 8C055-0000-091-875	胸水沈渣物							
		肺胞洗浄液沈渣物							
		気管支擦過洗浄液沈渣物							
L4771 042632874	ROS1融合遺伝子定性(FFPE)	未染色 パラフィン切片 5枚	ARR	室温	4~7	①② 2500 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	陰性	<b>Ⓜ</b> 検査に必要な腫瘍細胞の割合は30%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は55ページをご参照ください。他項目との重複依頼は避けてください。基準値は本検査項目の試薬添付文書に則った表記としております。
	8C055-0000-075-875 8C055-0000-075-875	未染標本スライド 5枚 厚さ5μm	Z10						<b>Ⓜ</b> 受託可能日は月~金曜日です。 組織材料は悪性腫瘍が認められていることを確認のうえ、ご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	<b>曜日指定</b> EML4-ALK融合遺伝子定性  8C496-9961-042-875 8C496-9961-091-875 8C496-9961-091-875 8C496-9961-070-875	胸水沈渣物	ARR	凍結 (3日)	7~11		RT-PCR (リアルタイムPCR)	検出せず	<b>Ⓜ</b> 受託可能日は月~金曜日です。 組織材料は悪性腫瘍が認められていることを確認のうえ、ご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	肺胞洗浄液沈渣物								
	気管支擦過洗浄液沈渣物								
	8C496-9961-042-875 8C496-9961-091-875 8C496-9961-091-875 8C496-9961-070-875	組織 100mg							<b>Ⓜ</b> がん組織から抽出したRNAにてMETex14スキッピングを解析し非小細胞肺癌患者に対して治療薬テボチニブの適応判定補助を目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は10%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は55ページをご参照ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	ArcherMETex14スキッピング(FFPE)	未染標本スライド 5~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	8~14	①② 5000 ※2	次世代シーケンシング(NGS)法		<b>Ⓜ</b> がん組織から抽出したRNAにてMETex14スキッピングを解析し非小細胞肺癌患者に対して治療薬テボチニブの適応判定補助を目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は10%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は55ページをご参照ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	8C063-9957-075-966								<b>Ⓜ</b> がん組織から抽出したRNAにてMETex14スキッピングを解析し非小細胞肺癌患者に対して治療薬テボチニブの適応判定補助を目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は10%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は55ページをご参照ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
 ②悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行なった遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。ただし、肺癌におけるEGFR遺伝子検査については、再発や増悪により、2次の遺伝子変異等が疑われ、再度治療法を選択する必要がある場合にも算定できる。

### ROS1融合遺伝子定性

- 組織以外の材料について  
採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を指定容器(ARR)に入れ、室温にて遠心分離(760G[2000~3000rpm]×10分間)し、上清を出来るだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結しご提出ください。
- 留意事項  
検体採取後2時間以内に処理願います。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。基準値は、本検査項目の試薬添付文書に則った表記としております。

### EML4-ALK融合遺伝子定性の組織以外の材料の場合

検査には1×10<sup>7</sup>個程度の細胞が必要です。採取した20mL以上の胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を指定容器(ARR)に入れ、1500~3000G(※)で5分間2℃~4℃にて遠心分離し、上清を出来るだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結してご提出ください。

ご提出された検体の細胞数が1×10<sup>7</sup>個より少ない場合は、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※遠心機回転数の計算式  
 $G=1.118 \times 10^5 \times r \times n^2$     r: 遠心機のローター半径(cm)  
 n: 1分間あたりの回転数(rpm)

### ArcherMETex14スキッピング(FFPE)の留意事項

スライド10枚以上をご提出ください。有核細胞数が少ない検体は必要な核酸量が得られず検査不能となる場合があります。僅少な生検検体(組織切片の面積が4mm<sup>2</sup>以下[2mm×2mm以下])の場合は15枚以上のご提出をお願いいたします。





# 遺伝子関連検査

## 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	RAS・BRAF遺伝子 変異解析  8C241-0000-075-898	未染標本 スライド 5枚 厚さ5~ 10μm	Z10	室温	4~7	①② 4000 ※2	PCR-rSSO法		<b>重</b> 病理材料でRAS及びBRAF遺伝子 (KRAS遺伝子、NRAS遺伝子ともに exon2 codon12,13、exon3 codon 59,61、exon4 codon117,146を、 BRAF遺伝子は、exon15codon 600)の変異解析を目的としておりま す。病理材料以外は受託できません。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は10% 以上です。未染標本スライド提出に 際しての留意事項は55ページをご参 照ください。他項目との重複依頼は 避けてください。 &1
	A269 3 04260A174  マイクロサテライト 不安定性(MSI)検査 (FFPE)  8C986-0000-075-856	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	4~8	②③ 2500 ※2	マルチプレックス PCR-フラグメント 解析		<b>重</b> 5種類のマーカー (BAT25、 BAT26、NR21、NR24、 MONO27)について解析し判定致 します。検査に必要な腫瘍細胞の 割合は50%以上です。未染標本ス ライド提出に際しての留意事項は 55ページをご参照ください。他項 目との重複依頼は避けてください。 &1
	A270 1 04260A254  マイクロサテライト 不安定性(MSI)検査 (FF)  8C986-0000-070-856	組織 50mg	ARR	凍結	4~8	②③ 2500 ※2	マルチプレックス PCR-フラグメント 解析		<b>重</b> 5種類のマーカー (BAT25、BAT26、 NR21、NR24、MONO27)について解 析し判定致します。他項目との重複依 頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの 影響がより大きくなりますので、検体 採取にあたっては取り扱いに充分ご注 意ください。 &1

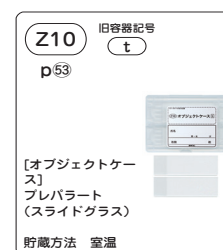
- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。  
②悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。  
③リンチ症候群の診断の補助を目的とする場合又は固形癌の抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的とする場合に、当該検査を実施した後に、もう一方の目的で当該検査を実施した場合であっても、別に1回に限り算定できる。

### RAS・BRAF遺伝子変異解析の留意事項

本検査に使用する組織片は、病理組織学的な評価がなされ、腫瘍組織の存在や含有量が確認されていることが受託の必須条件となります。切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌における治療選択の補助を目的として検査を実施した場合の保険請求上の名称は、「BRAF遺伝子検査」および「RAS遺伝子検査」で、悪性腫瘍遺伝子検査(2項目)の所定点数となります。

### [A270 1]マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FF)の留意事項

生検材料(新鮮凍結組織)は、検体が微量であることが多く組織自体がほとんど消失している場合や、腫瘍細胞が含まれていない組織片になっている可能性がありますので、あらかじめご注意ください。



# 遺伝子関連検査

## 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	オンコマインDx Target Testマルチ CDx(FFPE)	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	6~11	①② 14000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		<b>重</b> がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、 <i>BRAF</i> V600E変異、 <i>EGFR</i> 遺伝子変異、 <i>ALK</i> 融合遺伝子、 <i>ROS1</i> 融合遺伝子、 <i>RET</i> 融合遺伝子を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は30%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は65ページをご参照ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1
	曜日指定 オンコマインDx Target Testマルチ CDx(FF)	組織 100mg	ARR	凍結	6~11	①② 14000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		<b>重</b> がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、 <i>BRAF</i> V600E変異、 <i>EGFR</i> 遺伝子変異、 <i>ALK</i> 融合遺伝子、 <i>ROS1</i> 融合遺伝子、 <i>RET</i> 融合遺伝子を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。 受託可能日は月~金曜日です。材料は腫瘍部位が含有されていることを確認のうえ、ご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1

- ① 固形腫瘍の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、次世代シーケンシングにより行う次に掲げる遺伝子検査の組み合わせを実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。  
 イ 処理が容易なもの/医薬品の適応判定の補助等に用いるもの 肺癌における*EGFR*遺伝子検査、*ROS1*融合遺伝子検査、*ALK*融合遺伝子検査  
 ロ 処理が複雑なもの 肺癌における*BRAF*遺伝子検査、*RET*融合遺伝子検査  
 ② 抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として特定の遺伝子の変異の評価を行う際に、包括的なゲノムプロファイルを併せて取得している場合でも、目的とする遺伝子変異の結果のみ患者に提供すること。また、目的以外の遺伝子変異の検査結果については患者の治療方針の決定等に用いないこと。

### オンコマインDx Target TestマルチCDxについて

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品>

<i>BRAF</i> V600E変異	ダブラフェニブメシル酸塩及びトラメチニブ シメチルスルホキシド付加物の併用投与
<i>EGFR</i> 遺伝子変異	ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩
<i>ALK</i> 融合遺伝子	クリゾチニブ、アレクチニブ塩酸塩、プリグチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子	クリゾチニブ、エヌトレクチニブ
<i>RET</i> 融合遺伝子	セルベルカチニブ

### オンコマインDx Target TestマルチCDx(FF)の留意事項

- 組織以外の材料について  
採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を指定容器(ARR)に入れ、室温にて遠心分離(760G [2000 ~ 3000rpm]×10分間)し、上清をできるだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結しご提出ください。
- 留意事項  
検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



# 遺伝子関連検査

## 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	オンコメインDx Target Test マルチ研究用46 遺伝子解析(FFPE)	未染標本スライド 5~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	6~11	14000 ※2	①② 次世代シーケンス(NGS)法		<b>重</b> がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、 <i>BRAF</i> V600E変異、 <i>EGFR</i> 遺伝子変異、 <i>ALK</i> 融合遺伝子、 <i>ROS1</i> 融合遺伝子、 <i>RET</i> 融合遺伝子を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は30%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は65ページをご参照ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1
	曜日指定 オンコメインDx Target Test マルチ研究用46遺伝子解析(FF)	組織 100mg	ARR	凍結	6~11	14000 ※2	①② 次世代シーケンス(NGS)法		<b>重</b> がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、 <i>BRAF</i> V600E変異、 <i>EGFR</i> 遺伝子変異、 <i>ALK</i> 融合遺伝子、 <i>ROS1</i> 融合遺伝子、 <i>RET</i> 融合遺伝子を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。 受託可能日は月~金曜日です。材料は腫瘍部位が含まれていることを確認のうえ、ご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1

- ① 固形腫瘍の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、次世代シーケンシングにより行う次に掲げる遺伝子検査の組み合わせを実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。  
 イ 処理が容易なもの/医薬品の適応判定の補助等に用いるもの 肺癌における*EGFR*遺伝子検査、*ROS1*融合遺伝子検査、*ALK*融合遺伝子検査  
 ロ 処理が複雑なもの 肺癌における*BRAF*遺伝子検査、*RET*融合遺伝子検査
- ② 抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として特定の遺伝子の変異の評価を行う際に、包括的なゲノムプロファイルを併せて取得している場合でも、目的とする遺伝子変異の結果のみ患者に提供すること。また、目的以外の遺伝子変異の検査結果については患者の治療方針の決定等に用いないこと。

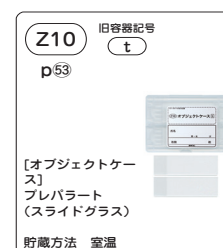
### オンコメインDx Target Testマルチ研究用46遺伝子解析について

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品>

<i>BRAF</i> V600E変異	ダブラフェニブメシル酸塩及びビトラメチニブ ジメチルスルホキシド付加物の併用投与
<i>EGFR</i> 遺伝子変異	ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩
<i>ALK</i> 融合遺伝子	クリソチニブ、アレクチニブ塩酸塩、プリグチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子	クリソチニブ、エヌトレクチニブ
<i>RET</i> 融合遺伝子	セルベルカチニブ

### オンコメインDx Target Testマルチ研究用46遺伝子解析(FF)の留意事項

- 組織以外の材料について  
採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を指定容器(ARR)に入れ、室温にて遠心分離(760G [2000 ~ 3000rpm]×10分間)し、上清をできるだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結しご提出ください。
- 留意事項  
検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



遺伝子関連検査

# 遺伝子関連検査

## 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	AmoyDx肺癌マルチパネル IVD(3ヵ月以下) 8D100-9957-075-862	未染標本スライド各7~10枚厚さ5μm	Z10	室温	4~7	10000※2	PCR (リアルタイムPCR)、 RT-PCR (リアルタイムPCR)		<b>重</b> がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、 <i>BRAF</i> V600E変異、 <i>EGFR</i> 遺伝子変異、 <i>ALK</i> 融合遺伝子、 <i>ROS1</i> 融合遺伝子、 <i>MET</i> 遺伝子エクソン14スキッピング変異を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。検査に必要な腫瘍細胞の割合は20%以上(推奨30%以上)です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は55ページをご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1
	AmoyDx肺癌マルチパネル IVD(3~12ヵ月) 8D100-9957-075-862								
	AmoyDx肺癌マルチパネル IVD(12~24ヵ月) 8D100-9957-075-862								
	<b>曜日指定</b> AmoyDx肺癌マルチパネル IVD(FF) 8D100-9957-070-862	組織 100mg	ARR	凍結	4~7	10000※2	PCR (リアルタイムPCR)、 RT-PCR (リアルタイムPCR)	<b>重</b> がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、 <i>BRAF</i> V600E変異、 <i>EGFR</i> 遺伝子変異、 <i>ALK</i> 融合遺伝子、 <i>ROS1</i> 融合遺伝子、 <i>MET</i> 遺伝子エクソン14スキッピング変異を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。受託可能日は月~金曜日です。材料は腫瘍部位が含有されていることを確認のうえ、ご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1	

### AmoyDx肺癌マルチパネル IVDについて

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品>

<i>BRAF</i> V600E変異	ダブラフェニブメシル酸塩及びトラメチニブジメチルスルホキシド付加物の併用投与
<i>EGFR</i> 遺伝子変異	ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩
<i>ALK</i> 融合遺伝子	クリソチニブ、アレクチニブ塩酸塩、ブリグチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子	クリソチニブ
<i>MET</i> ex14スキッピング変異	テボチニブ塩酸塩水和物

### AmoyDx肺癌マルチパネル IVD(FF)の留意事項

- 組織以外の材料について  
採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を指定容器(ARR)に入れ、室温にて遠心分離(760G [2000~3000rpm]×10分間)し、上清をできるだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結しご提出ください。
- 留意事項  
検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

# 遺伝子関連検査

## 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	AmoyDx肺癌マルチパネル研究用(3ヵ月以下) 8D100-9957-075-862	未染標本スライド各7~10枚厚さ5μm	Z10	室温	4~7	10000※2	PCR (リアルタイムPCR)、 RT-PCR (リアルタイムPCR)		<b>重</b> がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、 <i>BRAF</i> V600E変異、 <i>EGFR</i> 遺伝子変異、 <i>ALK</i> 融合遺伝子、 <i>ROS1</i> 融合遺伝子、 <i>MET</i> 遺伝子エクソン14スキッピング変異を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は20%以上(推奨30%以上)です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は55ページをご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。&1
	AmoyDx肺癌マルチパネル研究用(3~12ヵ月) 8D100-9957-075-862								
	AmoyDx肺癌マルチパネル研究用(12~24ヵ月) 8D100-9957-075-862								
	曜日指定 AmoyDx肺癌マルチパネル研究用(FF) 8D100-9957-070-862	組織100mg	ARR	凍結	4~7	10000※2	PCR (リアルタイムPCR)、 RT-PCR (リアルタイムPCR)	<b>重</b> がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、 <i>BRAF</i> V600E変異、 <i>EGFR</i> 遺伝子変異、 <i>ALK</i> 融合遺伝子、 <i>ROS1</i> 融合遺伝子、 <i>MET</i> 遺伝子エクソン14スキッピング変異を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。受託可能日は月~金曜日です。材料は腫瘍部位が含有されていることを確認のうえ、ご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。&1	

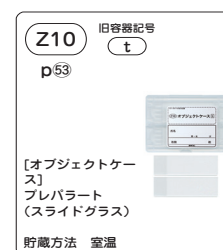
### AmoyDx肺癌マルチパネル 研究用について

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品>

<i>BRAF</i> V600E変異	ダブラフェニブメシル酸塩及びトラメチニブ ジメチルスルホキシド付加物の併用投与
<i>EGFR</i> 遺伝子変異	ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩
<i>ALK</i> 融合遺伝子	クリゾチニブ、アレクチニブ塩酸塩、ブリグチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子	クリゾチニブ
<i>MET</i> ex14スキッピング変異	テボチニブ塩酸塩水和物

### AmoyDx肺癌マルチパネル 研究用(FF)の留意事項

- 組織以外の材料について  
採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を指定容器(ARR)に入れ、室温にて遠心分離(760G [2000~3000rpm]×10分間)し、上清をできるだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結しご提出ください。
- 留意事項  
検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



遺伝子関連検査

# 遺伝子関連検査

## 遺伝学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
遺 伝 学 的 検 査	倫理指針対象 RET遺伝子変異解析 (甲状腺髄様癌) 8C061-9951-019-848	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	17~21	① 5000 ※2	ダイレクト シーケンス法		<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。 RET遺伝子のexon10,11,13,14, 15,16を解析しています。他項目 との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1
	倫理指針対象 RETシングルサイト 解析 8C061-9951-019-848	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	17~21		ダイレクト シーケンス法		<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。 発端者で検出されたバリエーション と同じバリエーションの有無を調べ ます。ご依頼の際は、発端者で検出さ れてバリエーション情報を必ず明記し てください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくなります ので、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1
	K4196 02091B101 倫理指針対象 SNRPN遺伝子解析 〔メチレーションPCR〕 ブラダー・ウィリ症候群 アンジェルマン症候群 8C861-9952-019-865	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	12~16	①② 5000 ※2	メチレーショ ン PCR		<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。SNRPN 遺伝子の5 CpGアイランドのメチル化 を解析しています。他項目との重複 依頼は避けてください。本検査方法 はコンタミネーションの影響がより 大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	倫理指針対象 PRRT2遺伝子 変異解析 8C575-0000-019-848	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (3日)	12~16		ダイレクト シーケンス法		<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。 本項目はPRRT2遺伝子のc.649du pCのみを解析しています。他項目 との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1
	倫理指針対象 TTR遺伝子解析 (家族性アミロイド シス) 8C851-9951-019-848	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	17~21	① 3880 ※2	ダイレクト シーケンス法		<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。 TTR遺伝子の全exon(exon1~4) を解析しています。他項目との重 複依頼は避けてください。本検査 方法ではコンタミネーションの影 響がより大きくなりますので、検 体採取にあたっては取り扱いに充 分ご注意ください。 &1
	倫理指針対象 MECP2遺伝子 (exon3,4)変異解析 8C805-9951-019-848	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (3日)	17~21		ダイレクト シーケンス法		<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。 本項目はMECP2遺伝子のexon3,4 を解析しています。他項目との重 複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1

①原則として患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、2回以上実施する場合は、その医療上の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載する。  
②別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生(支)局長に届け出た保険医療機関において検査が行われる場合に算定できる。

倫理指針対象 (5)ページ参照

### RETシングルサイト解析のご依頼に際して

ご依頼の際は発端者で検出されたバリエーション情報が必要なため、発端者を解析した際の検査受付日、ID、検出されたバリエーション情報を依頼書へ記載のうえ、匿名化した報告書コピーを添付してください。



# 遺伝子関連検査

## 遺伝学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
遺	E190 6 019909001	倫理指針対象 ジストロフィンDNA 8C831-9901-019-856	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	12~16	① 3880 ※2	MLPA	遺伝子の欠失および重複を認めず	凍結保存は避けてください。 ジストロフィン遺伝子の全79領域について、欠失、重複変異の有無を解析します。なおエクソンの欠失、重複以外のDMD遺伝子変異である微細な欠失、重複や挿入、一塩基置換、スプライス変異は解析できません。また、単一のエクソンにのみ変異が検出された場合は、一塩基置換などのミスマッチ配列の可能性がります。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	E877 4 019726301	倫理指針対象 福山型 筋ジストロフィー DNA 挿入 8C832-9936-019-851	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (3日)	12~16	① 5000 ※2	PCR	挿入を認めず	凍結保存は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。依頼書に臨床診断名をご記入ください。 &1
学		倫理指針対象 先天性QT延長 症候群遺伝子解析 8C845-0000-019-966	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)	35~80	① 8000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		凍結保存は避けてください。 本項目は、KCNQ1、KCNH2、SCN5A 遺伝子のexonとそのintron境界部分を解析しています。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		倫理指針対象 MEFV遺伝子解析 (家族性地中海熱) 8C833-9901-019-851	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	28~35	① 3880 ※2	ダイレクト シーケンス法		凍結保存は避けてください。 MEFV遺伝子の全exon(exon1~10)を解析しています。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
的		倫理指針対象 予約検査 HTT遺伝子 CAG反復配列解析 8C833-9901-019-851	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	12~16	① 5000 ※2	PCR		凍結保存は避けてください。 本項目はHTT遺伝子 exon1領域内のCAG反復回数を解析しています。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		倫理指針対象 アンドロゲン レセプター遺伝子 CAG反復配列解析 8C834-9901-019-851	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	12~16	① 3880 ※2	PCR		凍結保存は避けてください。 本項目はアンドロゲンレセプター遺伝子 exon1領域内のCAG反復回数を解析しています。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
査	A162 1 30004A101	倫理指針対象 Y染色体微小欠失 (AZF欠失) 8C896-0000-019-898	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	3~9		PCR-rSSO法		凍結保存は避けてください。 本検査は、Y染色体微小欠失を検出する、男性を対象とした検査です。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1

①原則として患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、2回以上実施する場合は、その医療上の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

倫理指針対象 (因ページ参照)

### 先天性QT延長症候群遺伝子解析について

受託数の増減により所要日数が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。  
夏休みの7~8月や年末年始などの長期休暇の時期は受託数が増加する傾向があります。

### [A162 1] Y染色体微小欠失(AZF欠失)の主な欠失部位

検出対象となる主な欠失*	AZFa欠失
	AZFb欠失
	AZFb+c欠失
	AZFc欠失

\*その他Y染色体上の微小欠失が検出される場合もございます。

# 遺伝子関連検査

## 薬剤応答遺伝子検査

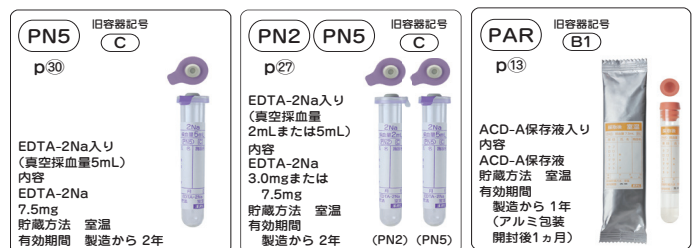
項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
薬剤 応答 遺伝子 検査	PGx対象 IL28B SNPs解析	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵	12~16		PCR(リアルタイムPCR) および ダイレクト シーケンス法		<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。 本項目は、インターロイキン28B遺伝子の3箇所のSNPs(rs8099917、rs11881222、rs8103142)を解析します。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	A204 4 02043A101 PGx対象 薬物代謝酵素 チトクロームP450 CYP2C19 遺伝子多型解析 8C921-9956-019-862	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	12~16		PCR(リアルタイムPCR)		<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。 本項目はCYP2C19*2 (G681A)および*3 (G636A)を解析します。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	PGx対象 UGT1A1 遺伝子多型解析 8C933-9956-019-951	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	4~8	2004 ※2	インバーダー法		<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	PGx対象 NUDT15遺伝子 codon 139 多型解析 8C955-9956-019-862	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3B)	4~8	2100 ※2	PCR(リアルタイムPCR)		<b>凍結</b> 凍結保存は避けてください。本項目はNUDT15遺伝子codon139の遺伝子多型を検出し、アミノ酸表記(Arg/Arg、Arg/Cys、Arg/His、Cys/Cys、Cys/His、His/His)にて報告いたします。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1

- ① 塩酸イリノテカンの投与対象となる患者に対して、その投与量等を判断することを目的として、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。
- ② 難治性の炎症性腸疾患、急性リンパ性白血病及び治療抵抗性のリウマチ性疾患(全身性血管炎(顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、結節性多発動脈炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、高安動脈炎等)、全身性エリテマトーデス(SLE)、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病及び難治性リウマチ性疾患)の患者であって、チオプリン製剤の投与対象となる患者に対して、その投与の可否、投与量等を判断することを目的として、当該薬剤の投与を開始するまでの間に1回を限度として算定できる。

PGx対象 (6ページ参照)

### NUDT15遺伝子codon 139多型解析の検出対象

塩基配列	アミノ酸	NUDT15遺伝子多型
CGT	アルギニン(Arg)	野生型
TGT	システイン(Cys)	c.415C>T (rs116855232)
CAT	ヒスチジン(His)	c.416G>A (rs147390019)



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
移 植 関 連 遺 伝 子 検 査	6782 7 01917A101	<b>曜日指定</b> HLA-A,B (血清対応型タイピング) 5K020-0000-019-898	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	3~5		PCR-rSSO法		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。続柄・臨床診断名・投与薬剤名・輸血歴・移植歴は必ず明記してください。HLA検査2項目以上同時依頼の場合は血液2.0mLで検査可能です。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	
	6789 0 01647A101	<b>曜日指定</b> HLA-A (DNAタイピング) 5K116-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法			
	6790 8 01648A101	<b>曜日指定</b> HLA-B (DNAタイピング) 5K117-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法			
	6783 6 01912A101	<b>曜日指定</b> HLA-C (DNAタイピング) 5K118-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法			
	6784 5 01918A101	<b>曜日指定</b> HLA-DR (血清対応型タイピング) 5K065-0000-019-898	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	3~5		PCR-rSSO法			
	7787 1 01629A101	<b>曜日指定</b> HLA-DRB1 (DNAタイピング) 5K120-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法			
	7789 9 01631A101	<b>曜日指定</b> HLA-DPB1 (DNAタイピング) 5K121-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法			
	7788 0 01630A101	<b>曜日指定</b> HLA-DQB1 (DNAタイピング) 5K130-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法			
	A290 9 04382A102	抗HLA抗体 (スクリーニング検査) 5G535-0000-023-045	血清 1.0	S09 ↓ A00	凍結 (26日)	3~6	1000 ※6	Luminex法			重 他項目との重複依頼は避けてください。 ※1
		<b>曜日指定</b> フローサイト クロスマッチ (リンパ球交差試験) 5K210-0000-019-662	(受給者) 血液 2.0 と (提供者) 血液 7.5 (ACD-A液加)	(受給者) S7P と (提供者) PAR	室温 (2日)	3~5		フローサイト メトリー	B細胞 2.00未満 T細胞 1.50未満		重凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 血液以外の材料は受託できません。 必ず専用依頼書を用いて、疑陽性反応を示すリツキシマブ(リツキサン)およびThymoglobulin投与の有無と移植(予定)日、受給者の臨床診断名、妊娠歴、輸血歴、受給者と提供者との続柄、受給者と提供者の性別、年齢を漏れなく記載しご依頼ください。 受給者用検体と提供者用検体を必ずペアでご提出ください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 ※1

① 肺移植、心移植、肝移植、脾移植、小腸移植又は腎移植後の患者に対して実施した場合に、原則として1年に1回に限り算定する。ただし、抗体関連拒絶反応を強く疑う場合等、医学的必要性がある場合には、1年に1回に限り更に算定できる。

### HLAの検体について

- 必ず専用容器にて規定量を採血してください。やむを得ず規定量に満たない場合は、蓋を開けて陰圧を解除してください。ただし、MLC(リンパ球混合培養)と同時依頼の場合は、無菌であることが重要となりますので必ず規定量を採血してください。
- HLA-A、B、C、DPB1、DRB1、DQB1 (DNAタイピング)検査は、必要に応じてPCR-SSP法、PCR-rSSO法も併用させていただきます。
- 移植後のHLAタイピングをご依頼の場合は、レシピエントとドナーのアリルが混在し判定できない場合がありますのであらかじめご了承ください。  
【ご注意】  
移植後のHLAタイピングをご依頼の場合は、移植前のHLAの結果と提供者のHLAの結果を必ず依頼書にご記入ください。

### HLA DNAタイピングの種類について

下記日本組織適合性学会のホームページにて最新情報をご確認ください。  
http://jshi.umin.ac.jp/databank/index.html

### [A290 9]抗HLA抗体(スクリーニング検査)に関する注意事項

検体中に過剰に抗体、もしくは補体が存在する場合、抗原・抗体反応が抑制され、偽陰性となる可能性があります。  
★本検査は、日本組織適合性学会 QCWS参考プロトコルを遵守して測定実施いたします。

# 遺伝子関連検査

## 移植関連遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
4778 4 019326301	<b>曜日指定</b> キメリズム解析移植前 レシピエント〔PCR〕 8C981-9902-019-851 8C981-9902-046-851	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	4~6		PCR		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNAが回収できない場合がありますので細胞数 $2 \times 10^8$ 個を最低限としてご提出ください。 必ず受給者、供給者のペアでご提出ください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		骨髓液 1.0	H00						
4779 3 019336301	<b>曜日指定</b> キメリズム解析移植前 ドナー〔PCR〕 8C981-9902-019-851 8C981-9902-046-851 8C981-9902-029-851	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	4~6		PCR		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNAが回収できない場合がありますので細胞数 $2 \times 10^8$ 個を最低限としてご提出ください。 必ず受給者、供給者のペアでご提出ください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		骨髓液 1.0	H00						
		臍帯血 1.0							
4780 1 019346301	<b>曜日指定</b> キメリズム解析移植後 (PCR) 8C981-9903-046-851 8C981-9903-019-851	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	4~6		PCR		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNAが回収できない場合がありますので細胞数 $2 \times 10^8$ 個を最低限としてご提出ください。移植前に「キメリズム解析移植前レシピエント、ドナー〔PCR〕」の検査を実施してください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						

### キメリズム解析検査のご依頼について

- キメリズム解析移植後の判定には、移植前の結果が必要なため、キメリズム解析移植前レシピエントとドナーの検査を受託されていることがキメリズム解析移植後の受託条件となります。
- キメリズム解析移植前の検査をご依頼の場合には、移植歴の有無を必ず依頼書にご記入ください。





項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考						
尿 一 般 検 査	5510 9 T00005510	尿一般定性検査 pH, 蛋白, 糖, ウロ ビリノーゲン, ビリ ルビン, ケトン体, 潜血, 比重(部分尿)	部分尿 10	U40	冷蔵	1~2	① ★	下記 各項目の検 査方法欄を ご参照くだ さい。	下記 各項目の基準値欄 をご参照くださ い。						
	P049 2 002028621	蛋白定性 1A010-0000-001-911	部分尿 10	U40	冷蔵	1~2		試験紙法	(-)	凍 凍結保存は避けてください。 採尿後、当日中にご提出ください。					
	P048 3 002038621	糖定性 1A020-0000-001-911							(-)						
	P051 9 002088721	比重 1A030-0000-001-903							屈折率法		1.005~1.030				
	P050 0 002018621	pH 1A035-0000-001-911						試験紙法	5.0~8.0						
	P044 7 002048621	ウロビリ ノーゲン 1A040-0000-001-911						(±)							
	P046 5 002058621	ビリルビン 1A055-0000-001-911						(-)							
	P047 4 002068621	ケトン体 1A060-0000-001-911						(-)							
	P045 6 002078621	潜血 1A100-0000-001-911						(-)							
	検	L493 3 000850123						尿蛋白定量	蓄尿 0.5		U00	冷蔵	1~2	7 ※1	ピロガロール レッド法
P213 9 000850121		1A015-0000-004-271 1A015-0000-001-271					部分尿 0.5							10以下 (mg/dL)	
L492 2 000870223		尿糖定量	蓄尿 1	U00	冷蔵	1~2	9 ※1	ヘキソキナーゼ UV法		※3					
P215 7 000870221		1A025-0000-004-272 1A025-0000-001-272	部分尿 1						20以下 (mg/dL)						
査	P052 8 000842521	尿沈渣 1A105-0000-001-310	部分尿 10	U40	冷蔵	1~2	① ★	鏡検法	赤血球:4個以下 白血球:4個以下 (/HPF)	凍 凍結保存は避けてください。 (JCCLS GP1-P4「尿沈渣検査法」 準拠)採尿後、当日中にご提出くだ さい。凍結検体は測定できません。 ・HPF(HF)は強拡大視野(400倍) にて鏡検					

①★当該保険医療機関内で検査を行った場合に算定する。(尿一般検査26点、尿沈渣(鏡検法)27点、フローサイトメトリー法24点)

### 尿一般検査・尿沈渣における採尿方法について

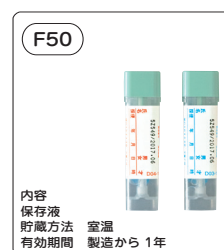
早朝尿かつ中間尿で採尿しご提出ください。  
 中間尿は最初と最後の尿は採らず中間の尿を採ったもので、尿道や外陰部からの成分(赤血球、白血球、扁平上皮、細菌など)の混入を  
 防ぎます。  
 採尿方法について「尿沈渣検査法2010」では、尿沈渣に最も適しているのは早朝尿かつ中間尿であると記載されています。



# 一般検査

## 糞便検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
糞便検査	E776.6 025411626	便中ヘモグロビン及び トランスフェリン 1B042-0000-015-064	糞便	F80	冷蔵	2~4	56 ※1	金コロイド法	ヘモグロビン 100未満 トランスフェリン 50未満 (ng/mL)	凍 凍結保存は避けてください。 専用採便容器に採取してご提出ください。 &1
	P212.0	便中ヘモグロビン1回目 1B040-1301-015-062	糞便		冷蔵	1~2	37 ※1	ラテックス 凝集法	(-)	凍 凍結保存は避けてください。 専用採便容器に採取してご提出ください。 2回法依頼時は1回目=青色、2回目=赤色ラベル容器を使用してください。
	P214.8	便中ヘモグロビン2回目 1B040-1302-015-062	糞便		冷蔵	1~2	37 ※1		(-)	



### 一般細菌 結果判定基準

下記項目の検査結果は、次の当社基準に基づき、下記表示方法にて報告します。

(参考：Clinical Microbiology Procedures Handbook – 4th edition, 2016.)

項目名	区分および鏡検倍率	表示方法	細菌数/細胞数	備考
塗抹鏡検	細菌数※ (鏡検倍率1,000倍)	(-)	菌がみられない	
		1+	1視野 <1	
		2+	1視野 1~5	
		3+	1視野 6~30	
		4+	1視野 >30	
	細胞数(白血球・上皮細胞) (鏡検倍率100倍)	(-)	細胞がみられない	
		1+	1視野 <1	
		2+	1視野 1~9	
		3+	1視野 10~25	
		4+	1視野 >25	

※カルチャーボトルおよび菌株で受託した際、細菌数の表示方法は「陽性」となります。

項目名	表示方法	培地発育状態	備考
培養同定 嫌気性培養	(-)	未発育	菌種名は、細菌命名に関する国際規約に基づき報告します。
	1+	1/3未満	
	2+	1/3以上2/3未満	
	3+	2/3以上	
	4+	培地全面	

項目名	表示方法	内容	備考
薬剤感受性検査	S	Susceptible(感性)	CLSIの基準に基づき表示します。
	I	Intermediate(中間)	
	R	Resistant(耐性)	

CLSI: Clinical and Laboratory Standards Institute (旧 NCCLS)

### 抗酸菌 結果判定基準

下記項目の検査結果は、次の当社基準に基づき、下記表示方法にて報告します。(参考：抗酸菌検査ガイド2020)

項目名	表示方法	蛍光法(200倍)	チール・ネルゼン法(1,000倍)	備考 (相当するガフキー号数)
抗酸菌塗抹 [集菌蛍光法]	-	0 / 30視野	0 / 300視野	G0 <sup>☆</sup>
	±	1~2 / 30視野	1~2 / 300視野	G1
	1+	1~19 / 10視野	1~9 / 100視野	G2
	2+	>20 / 10視野	>10 / 100視野	G5
	3+	>100 / 1視野	>10 / 1視野	G9

※ガフキー号数は現在では使用しない。また、簡易法との一致は正確ではない。(抗酸菌検査ガイド2020より)

☆抗酸菌塗抹[集菌蛍光法]で陰性の場合、ガフキー号数は記載しません。

# 微生物学的検査

## 微生物学的検査

### 主な材料の釣菌基準

一般細菌培養同定における釣菌工程は、次の当社基準に基づき実施します。

菌名	喀痰、咽頭	尿	腔分泌物	血液、髄液
黄色ブドウ球菌	○	○	○	◎
コアグラールゼ陰性ブドウ球菌	◆注1	○	○	◎
β-溶血連鎖球菌	◎	○	◎	◎
肺炎球菌	◎	○	○	◎
腸球菌	◆注1	○	○	◎
腸内細菌	◆注2、注3	○	○	◎
緑膿菌	○	○	○	◎
非発酵菌	◆注1	○	○	◎
ヘモフィルス	◆注2	—	○	◎
モラクセラ	◆注2	—	—	◎

#### 記号表示内容

- ◎：1コロニーでも釣菌します。
- ：1+以上検出されたとき釣菌します。
- ◆：2+以上検出されたとき釣菌します。
- ：対象外

- 注1：優位な発育でなければ釣菌しません。
- 注2：1+でも優位な発育ならば釣菌します。
- 注3：1+でも肺炎桿菌ならば釣菌します。

上記以外の菌については、目的菌のご依頼をいただいた場合のみ釣菌します。（目的菌は159ページをご参照ください。）  
目的菌のご依頼がある場合は、1コロニーでも釣菌します。

### 便の釣菌基準

材料が便の場合、次の当社基準に基づき釣菌します。

区分	釣菌対象菌	備考
通常釣菌	サルモネラ菌、赤痢菌、コレラ菌、 ピブリオ、エルシニア、エロモナス、 プレジオモナス、黄色ブドウ球菌	検出時に必ず釣菌します。
優位発育時釣菌	クレブシエラ・オキシトカ、緑膿菌、セレウス菌	優位に発育した場合のみ釣菌します。
依頼時釣菌	下痢原性大腸菌	培養同定と目的菌をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。
	カンピロバクター	培養同定と目的菌をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。
	クロストリジオイデス・ディフィシル	培養同定と嫌気性培養をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。
	クロストリジウム・パーフリンゲンス	培養同定と嫌気性培養、目的菌をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。

### 一般細菌

項目コード	検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要日数	備考
5000995	塗抹鏡検	口腔、気道 または 呼吸器 からの検体	喀痰 咽頭ぬくい液		グラム染色	① 64 ※7	2~4	&1
5000296	培養同定				培養同定および MALDI-TOF-MS	②③ 170 ※7	3~6	&1
5001596	嫌気性培養				嫌気培養同定および MALDI-TOF-MS	④ 122 ※7	6~14	必ず培養同定と同時に ご依頼ください。
50020A1	感受性検査				微量液体希釈法 ディスク拡散法	⑤	3~6	☆ &1
5001095	塗抹鏡検	消化管 からの検体	糞便 胆汁 胃液		グラム染色	① 64 ※7	2~4	便での塗抹鏡検は実施して おりません。 &1
5000396	培養同定				培養同定および MALDI-TOF-MS	②③ 190 ※7	3~6	&1
5001696	嫌気性培養				嫌気培養同定および MALDI-TOF-MS	④ 122 ※7	6~14	必ず培養同定と同時に ご依頼ください。
50023A1	感受性検査				微量液体希釈法 ディスク拡散法	⑤	3~6	☆ &1
5001195	塗抹鏡検	泌尿器 または 生殖器 からの検体	中間尿 カテーテル尿 腔分泌物 膿	冷蔵	グラム染色	① 64 ※7	2~4	&1
5000496	培養同定				培養同定および MALDI-TOF-MS	②③ 180 ※7	3~6	目的菌が淋菌の場合は 室温保存して ください。 &1
5001796	嫌気性培養				嫌気培養同定および MALDI-TOF-MS	④ 122 ※7	6~14	必ず培養同定と同時に ご依頼ください。
50026A1	感受性検査				微量液体希釈法 ディスク拡散法	⑤	3~6	☆ &1
5000196	尿中生菌数定量				標準白金耳法	②③ 60 ※7	3~5	尿以外の材料では実施して おりません。 (単位: CFU/mL) &1
5001295	塗抹鏡検	血液 または 穿刺液	静脈血 動脈血 髄液 胸水 腹水 関節液		グラム染色	① 64 ※7	2~4	髄液は室温保存して ください。 血液はカルチャーボトルに 入れ室温 保存して ください。 &1
5000596	培養同定				培養同定および MALDI-TOF-MS	②③⑥ 220 ※7	3~10	
5001896	嫌気性培養				嫌気培養同定および MALDI-TOF-MS	④ 122 ※7	6~14	必ず培養同定と同時に ご依頼ください。
50029A1	感受性検査				微量液体希釈法 ディスク拡散法	⑤	3~10	☆ &1
5001395	塗抹鏡検	その他の 部位から の検体	耳漏 眼脂 皮膚 爪 組織 膿		グラム染色	① 64 ※7	2~4	&1
5000696	培養同定				培養同定および MALDI-TOF-MS	②③ 170 ※7	3~6	&1
5001996	嫌気性培養				嫌気培養同定および MALDI-TOF-MS	④ 122 ※7	6~14	必ず培養同定と同時に ご依頼ください。
50032A1	感受性検査				微量液体希釈法 ディスク拡散法	⑤	3~6	☆ &1

164  
ページ  
参照

冷蔵

- ① 尿沈渣と一般細菌塗抹鏡検を同一日に併せて算定する場合は、検査に用いた検体の種類を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。尿沈渣と一般細菌塗抹鏡検を併せて行った場合は、主たる検査の所定点数のみ算定する。
- ② 検体ごとに所定点数を算定できるが、同一検体を用いて簡易培養を併せて行った場合は、簡易培養は算定できない。症状等から同一起因菌によると判断される場合であって、当該起因菌を検索する目的で異なった部位から、又は同一部位の数ヶ所から検体を採取した場合は、主たる部位又は1ヶ所のみの所定点数を算定する。
- ③ 各検体別の所定点数には、定量培養を行った場合を含む。
- ④ 同一検体について、培養同定と併せて嫌気性培養を行った場合は、122点を加算する。

- ⑤ 1菌種180点※7  
2菌種230点※7  
3菌種以上290点※7
- ⑥ 血液を2ヶ所以上から採取した場合に限り、培養同定の血液又は穿刺液を2回算定できる。この場合、嫌気性培養の加算は2回算定できる。☆感受性薬剤は、当社標準の薬剤にて実施します。  
注)ご依頼の検査の内容によっては、所要日数がさらにかかる場合があります。

# 微生物学的検査

## 微生物学的検査

### 目的菌

項目コード	目的菌名	項目コード	目的菌名	項目コード	目的菌名	備考(全目的菌共通)
M000060	下痢原性大腸菌(O157含)	M000066	赤痢菌	M000001	A群溶連菌	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目的菌のみのご依頼はできません。一般細菌培養同定も同時にご依頼ください。</li> <li>●クロストリジオイデス・ディフィシル、クロストリジウム・パーフリンゲンスは嫌気性培養を同時にご依頼ください。便の嫌気性培養で目的菌のご依頼がない場合はクロストリジオイデス・ディフィシルを対象として検査します。</li> <li>●下痢原性大腸菌、O157大腸菌は、培養同定(消化管)と同時にご依頼ください。(注)チェックがない場合は検査を実施いたしませんのでご注意ください。</li> <li>●MRSAは薬剤感受性の結果から判定されます。薬剤感受性のご依頼がない場合、スクリーニング培地の結果から判定しますので、より確実な判定のため薬剤感受性検査の同時依頼をお勧めします。</li> <li>●百日咳菌、レジオネラ、ジフテリア菌などはチェックをいただいた場合のみ検査を実施します。</li> <li>●目的菌の指定は10項目までお願いいたします。それ以上のご依頼は、報告書には反映できません。</li> </ul>
M000004	O157大腸菌	M000024	サルモネラ菌	M000002	B群溶連菌(GBS)	
M000011	エルシニア菌	M000069	腸炎ビブリオ	M000088	クロストリジオイデス・ディフィシル	
M000074	百日咳菌	M000023	コレラ菌	M000022	クロストリジウム・パーフリンゲンス	
M000078	淋菌 <span style="color:red">室温</span>	M000076	緑膿菌	M000014	カンジダ	
M000065	髄膜炎菌 <span style="color:red">室温</span>	M000051	ヘモフィルス	M000016	クリプトコッカス	
M000015	カンピロバクター	M000042	ブドウ球菌	M000007	アスペルギルス	
M000058	レジオネラ	M000003	MRSA	M000073	白癬菌	
M000026	ジフテリア菌	M000072	肺炎球菌	M000063	糸状菌	

(注)175点※6

大腸菌血清型別は、大腸菌ベロトキシン検査が同時に依頼されており、細菌培養同定検査により大腸菌が確認された後、血清抗体法により大腸菌O抗原の同定検査陽性の場合で、且つ、大腸菌ベロトキシン陽性時のみ算定する。この場合において細菌培養同定検査の費用は別に算定できない。

### 薬剤感受性標準セット

系統	略号	一般名	菌群															
			ブドウ球菌	グラム陽性桿菌	モラクセラ	肺炎球菌	連鎖球菌	腸球菌	ヘモフィルス	グラム陰性桿菌	緑膿菌	カンピロバクター	ビブリオ	嫌気性菌	淋菌			
ペニシリン系(penicillins)	PCG	ベンジルペニシリン	●	●		●	●	●									●	◎
	MPIPC	オキサシリン	●															
	ABPC	アンピシリン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	PIPC	ピペラシリン								●	●			●	●			
セフェム系(cephems)	CEZ	セファゾリン	●	●						●	●							
	CTM	セフォチアム	●	●	●	●	●		●	●							●	
	CTX	セフォタキシム		●	●	●	●		●	●								
	CAZ	セフトアジジム							●	●				●				
	CTRX	セフトリアキソン				●	●		●									◎
	CPR	セフピロム							●									
	CZOP	セフォゾフラン				●	●				●							
	CFPM	セフェピム				●	●		●		●							
	CMZ	セフメタゾール							●									●
	CCL	セファクロル			●					●	●							
	CFIX	セフィキシム																◎
	CPDX-PR	セフボドキシム-プロキセチル								●								
	CDTR-PI	セフジトレン-ピボキシル				●	●	●		●								
FMOX	フロモキシセフ		●						●								●	
カルバペネム系(carbapenems)	IPM/CS	イミペネム/シラスタチン	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	MEPM	メロペネム				●	●			●								
モノバクタム系(monobactams)	AZT	アストレオナム							●	●								
	CVA/AMPC	クラバン酸/アモキシシリン			●	●			●	●								
β-ラクタマーゼ阻害剤(β-lactamase inhibitors)	SBT/ABPC	スルバクタム/アンピシリン	●	●														●
	SBT/CPZ	スルバクタム/セフォペラゾン								●	●							
	TAZ/PIPC	タゾバクタム/ピペラシリン								●	●							
	GM	ゲンタマイシン	●	●						●	●	●	●					
アミノグリコシド系(aminoglycosides)	AMK	アミカシン			●					●	●							
	TOB	トブラマイシン									●							
	ABK	アルベカシン	●															
	SPCM	スペクチノマイシン																◎
マクロライド系(macrolides)	CAM	クラリスロマイシン							●									
	EM	エリスロマイシン	●	●	●	●	●	●					●					
	AZM	アジスロマイシン				●	●											
テトラサイクリン系(tetracyclines)	MINO	ミノサイクリン	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	◎	
リンコマイシン系(lincosamides)	TC	テトラサイクリン			●				●									
	CLDM	クリンダマイシン	●	●		●	●											●
その他の系(others)	CP	クロラムフェニコール			●	●	●		●				●	●	●	●	●	
	VCM	バンコマイシン	●						●									▲
	TEIC	テイコブラニン	●															
	FOM	ホスホマイシン	●						●		●	●	●	●	●	●	●	
	LVFX	レボフロキサシン	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	CPFX	シプロフロキサシン							●		●	●	●	●	●	●	●	◎
	ST	スルファメトキサゾール/トリメトプリム	●			●				●	●							

- 検出された菌種(群)によって、効力の高い薬剤の組み合わせが検査されます。
- 上記一覧の菌種(群)に該当しない場合は、当社にて薬剤の選定をさせていただきます。
- 検出された菌種によっては、標準薬剤パターンで検査できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

- 常在細菌(Normal flora)の感受性検査は実施しておりません。
- 感受性検査の報告は下記カテゴリーにて報告します。  
S : 感性(Susceptible)  
I : 中間(Intermediate)  
R : 耐性(Resistant)

▲ : VCMは *C. difficile* 検出時報告します。  
◎ : 淋菌はディスク拡散法を用いて検査します。

微生物学的検査

### 一般細菌特殊検査

項目コード	検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
5010396	ヘリコバクター培養同定	胃生検組織	C20	冷蔵	培養同定	① 190 ※7	9~11	採取法は166ページ参照 &1
50104A1	ヘリコバクター感受性検査				寒天平板希釈法	180 ※7	14~20	薬剤名：アモキシシリン、クラリスロマイシン、メトロニダゾール &1
50118A4	CDトキシン(GDH)	便1.0g	F00	冷蔵	イムノクロマト法	80 ※6	2~4	単独の検体にてご依頼ください。 凍結保存は避けてください。 &1

①「大腸菌O157抗原定性」、「大腸菌O157抗体定性」、「消化管からの検体によるもの」を複数測定した場合は、主たるもののみ算定する。

### 大腸菌毒素関連

項目コード	検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
50097A1	大腸菌ベロトキシン	菌株	-	室温	RPLA	①② 189 ※7	3~6	下痢原性大腸菌検出時の追加時には、最寄りの営業所・営業拠点までご連絡ください。 &1

①「細菌培養同定検査」により大腸菌が確認され、病原性大腸菌が疑われる患者に対して行った場合に算定する。

②細菌培養を行うことなく糞便から直接検出する方法であってELISA法によるものについては、臨床症状や流行状況から腸管出血性大腸菌感染症が強く疑われる場合に限り、「細菌培養同定検査」を踏まえることなく行った場合にも算定できる。

※当社で検出された大腸菌に追加した場合の所要日数です。

### 黄色ブドウ球菌関連

項目コード	検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
50098A1	コアグラゼ型別	菌株	-	室温	中和反応		4~6	純培養された黄色ブドウ球菌をご提出ください。 &1
50099A1	エンテロトキシン型別	菌株			RPLA		4~6	
50116A1	TSST-1産生	菌株					4~6	

### 環境検査

項目コード	検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
50105A1	院内環境(ふきとり法)	環境材料	VS1	冷蔵	培養同定		4~8	採取法は166ページ参照 &1
50121A1	院内環境(スタンプ法)		C30	室温				

※院内環境検査は、MRSAを含むブドウ球菌、腸内細菌、緑膿菌、酵母様真菌、糸状菌等の一般細菌を目的として検査します。

### スクリーニング検査

項目コード	検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
5009696	O157スクリーニング	便	VS1	冷蔵	培養同定		4~6	病院内、施設内職員(健康者)のスクリーニング検査としてご依頼ください。 &1
5009596	MRSAスクリーニング	咽頭ぬぐい液、鼻腔など	VS1 VS2				3~5	

# 微生物学的検査

## 微生物学的検査

### 便検診検査

検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備考
5013196 便検診2菌種	便	VS1	冷蔵	培養同定		4~6	病院内、施設内職員(健常者)のスクリーニング検査としてご依頼ください。 対象菌種については下記便検診対象一覧をご参照ください。
5013296 便検診3菌種-1							
5013396 便検診3菌種-2							
5013496 便検診3菌種-3							
5014196 便検診3菌種-4							
5013596 便検診4菌種-1							
5013696 便検診4菌種-2							
5013796 便検診4菌種-3							
5013896 便検診4菌種-4							
5014296 便検診4菌種-5							
5014396 便検診4菌種-6							
5013996 便検診5菌種-1							
5014096 便検診5菌種-2							
5014496 便検診6菌種-1							

&1

### 便検診対象一覧

検査項目	対象菌種											
	赤痢	サルモネラ	下痢原性 大腸菌	O157	腸炎 ビブリオ	腸チフス	パラチフス	コレラ	黄色 ブドウ球菌	カンピロ バクター	ヒブリオ	エルシニア
便検診2菌種	○	○										
便検診3菌種-1	○	○	○									
便検診3菌種-2	○	○		○								
便検診3菌種-3	○	○			○							
便検診3菌種-4	○	○									○	
便検診4菌種-1	○					○	○	○				
便検診4菌種-2	○	○	○		○							
便検診4菌種-3	○	○		○	○							
便検診4菌種-4	○	○	○						○			
便検診4菌種-5	○	○		○							○	
便検診4菌種-6	○	○	○								○	
便検診5菌種-1	○	○		○		○	○					
便検診5菌種-2	○	○		○	○					○		
便検診6菌種-1	○	○		○	○					○		○



### 抗酸菌

項目コード	検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
5008997	<b>緊急</b> 抗酸菌塗抹 〔集菌蛍光法〕	喀痰、気管支洗浄液、胃液、中間尿、胸水などの検体 (上記以外はお問い合わせください。)	165 ページ 参照		集菌蛍光法	① 50+35 ※7	2~4	蛍光法で発光する細菌を認めた場合は、チールネルゼン法にて抗酸性・形態の確認を実施します。 &1
50087A1	<b>緊急</b> 〔液体法〕				酸素感受性 蛍光センサー法	② 300 ※7	~6週	陽性の場合、随時報告します。 陰性の場合、3週で中間報告します。 &1
50088A1	抗酸菌 分離培養 〔小川法〕				変法小川法	② 209 ※7	4~8週	4週、6週で中間報告します。 &1
50327A1	抗酸菌同定 〔質量分析〕	培養陽性菌株または菌株(菌株 に対して行う検査です。生材料 からは直接検査できません。)			MALDI-TOF-MS	361 ※7	2~5*	同定可能な菌種は163ページをご参照ください。 &1
5009493	結核菌群抗原				イムノクロマト法	291 ※6	2~4	&1
50083A1	抗酸菌感受性検査 〔間接法〕				一濃度比率法	400 ※7	2~4週*	SM、EB、KM、INH、RFP、LVFX、TH、PAS、EVM、CSを実施します。検査結果はカテゴリ(S:感受性 R:耐性)を報告します。 &1
50092A1	結核菌感受性(MIC) <sup>☆</sup>				微量液体希釈法	400 ※7	2~3週*	SM、EB、KM、INH、RFP、LVFX、CPFX、RBTを実施します。検査結果はMIC値を報告します。 (対象菌種: <i>Mycobacterium tuberculosis</i> ) &1
50093A1	抗酸菌感受性(MIC) <sup>☆</sup>					400 ※7		SM、EB、KM、RFP、LVFX、CAM、TH、AMK、RBTを実施します。検査結果はMIC値を報告します。 (対象菌種: 迅速発育菌を除く非結核性抗酸菌) &1

① 集菌塗抹法を行った場合は、集菌塗抹法加算として、35点を所定点数に加算する。

② 抗酸菌分離培養検査は、検体の採取部位が異なる場合であっても、同時に又は一連として検体採取した場合は、1回のみ所定点数を算定する。

★[50087A1]抗酸菌分離培養〔液体法〕からの検査の場合は、平板培地に増菌後に実施となるため日数がさらにかかります。(+3~7日)

☆[50092A1]結核菌感受性(MIC)と[50093A1]抗酸菌感受性(MIC)は同時にご依頼いただけません。

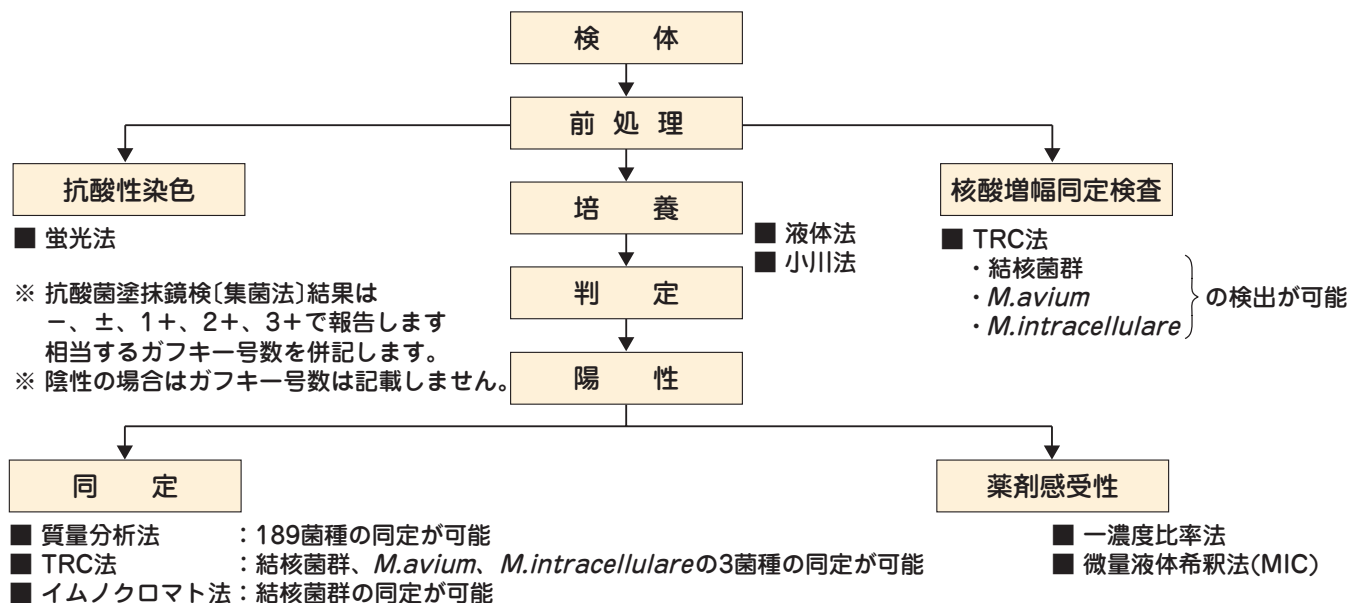
注)ご依頼の検査の内容によっては、所要日数がさらにかかる場合があります。

### 核酸増幅同定検査

項目コード	検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
50323A1	<b>緊急</b> 結核菌群核酸同定 〔TRC〕	喀痰、気管支洗浄液、胃液、中間尿、胸水などの検体 (上記以外はお問い合わせください。)	165 ページ 参照	冷蔵	TRC	410 ※7	2~4	検体は充分量をご提出願います(検体量が少ない場合は検出感度が低下します)。スワブで提出された場合、きわめて検体量が少ないために偽陰性となることがありますので、ご提出はお避けください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
50324A1	<b>緊急</b> MAC核酸同定〔TRC〕					① 421 ※7	2~4	

①他の検査により結核菌が陰性であることが確認された場合のみに算定できる。「抗酸菌同定」と併せて実施された場合にあっては、主たるもののみ算定する。

### 抗酸菌検査フローチャート



# 微生物学的検査

## 微生物学的検査

### 抗酸菌同定(質量分析)で同定が可能な189菌種抗酸菌名

菌種名	菌種名	菌種名
<i>M. abscessus</i>	<i>M. fortuitum</i>	<i>M. noviomagense</i>
<i>M. agri</i>	<i>M. fortuitum</i> complex	<i>M. novocastrense</i>
<i>M. aichiense</i>	<i>M. fragae</i>	<i>M. obuense</i>
<i>M. aichiense/aromaticivorans</i>	<i>M. franklinii</i>	<i>M. pallens</i>
<i>M. algericum</i>	<i>M. frederiksbergense</i>	<i>M. palustre</i>
<i>M. alsense</i>	<i>M. gadium</i>	<i>M. paraense</i>
<i>M. alvei</i>	<i>M. gadium/tusciae</i>	<i>M. paraffinicum</i>
<i>M. angelicum</i>	<i>M. gastrii</i>	<i>M. parafortuitum</i>
<i>M. angelicum/szulgai</i>	<i>M. genavense</i>	<i>M. paragordonae</i>
<i>M. anyangense</i>	<i>M. gilvum</i>	<i>M. parakoreense</i>
<i>M. aquaticum</i>	<i>M. goodii</i>	<i>M. parascrofulaceum</i>
<i>M. aquaticum/brisbanense</i>	<i>M. gordonae</i>	<i>M. paraseoulense</i>
<i>M. arabiense</i>	<i>M. grossiae</i>	<i>M. paraterrae</i>
<i>M. arcueilense</i>	<i>M. haemophilum</i>	<i>M. parmense</i>
<i>M. arcueilense/peregrinum</i>	<i>M. hassiacum</i>	<i>M. peregrinum</i>
<i>M. aromaticivorans</i>	<i>M. heckeshornense</i>	<i>M. phlei</i>
<i>M. arosiense</i>	<i>M. heidelbergense</i>	<i>M. phocaicum</i>
<i>M. arupense</i>	<i>M. helvum</i>	<i>M. porcinum</i>
<i>M. asiaticum</i>	<i>M. heraklionense</i>	<i>M. poriferae</i>
<i>M. aubagnense</i>	<i>M. hiberniae</i>	<i>M. pseudoshottsii</i>
<i>M. aurum</i>	<i>M. hippocampi</i>	<i>M. psychrotolerans</i>
<i>M. austroafricanum</i>	<i>M. hodleri</i>	<i>M. pulveris</i>
<i>M. austroafricanum/vanbaalenii</i>	<i>M. holsaticum</i>	<i>M. pyrenivorans</i>
<i>M. avium</i> *	<i>M. houstonense</i>	<i>M. rhodesiae</i>
<i>M. bacteremicum</i>	<i>M. immunogenum</i>	<i>M. riyadhense</i>
<i>M. boenickei</i>	<i>M. insubricum</i>	<i>M. rufum</i>
<i>M. bohemicum</i>	<i>M. interjectum</i>	<i>M. rutilum</i>
<i>M. botniense</i>	<i>M. intermedium</i>	<i>M. salmoniphilum</i>
<i>M. bourgelatii</i>	<i>M. intracellulare</i> *	<i>M. saopaulense</i>
<i>M. branderi</i>	<i>M. iranikum</i>	<i>M. sarraceniae</i>
<i>M. brisbanense</i>	<i>M. kansasii</i>	<i>M. saskatchewanense</i>
<i>M. brumae</i>	<i>M. komossense</i>	<i>M. scrofulaceum</i>
<i>M. canariasense</i>	<i>M. koreense</i>	<i>M. sediminis</i>
<i>M. canariasense/cosmeticum</i>	<i>M. kubicae</i>	<i>M. senegalense</i>
<i>M. celatum</i>	<i>M. kumamotoense</i>	<i>M. senuense</i>
<i>M. celeriflavum</i>	<i>M. kyorinense</i>	<i>M. seoulense</i>
<i>M. chelonae</i>	<i>M. lacus</i>	<i>M. septicum</i>
<i>M. chelonae</i> complex	<i>M. lehmannii</i>	<i>M. setense</i>
<i>M. chitae</i>	<i>M. lehmannii/neumannii</i>	<i>M. sherrisii</i>
<i>M. chlorophenicum</i>	<i>M. lentiflavum</i>	<i>M. sherrisii/simiae</i>
<i>M. chubuense</i>	<i>M. litorale</i>	<i>M. shimoidei</i>
<i>M. chubuense</i> complex	<i>M. llutzerense</i>	<i>M. shinjukuense</i>
<i>M. colombiense</i>	<i>M. longobardum</i>	<i>M. simiae</i>
<i>M. conceptionense</i>	<i>M. lutetiense</i>	<i>M. smegmatis</i>
<i>M. confluentis</i>	<i>M. madagascariense</i>	<i>M. sphagni</i>
<i>M. conspicuum</i>	<i>M. mageritense</i>	<i>M. stephanolepidis</i>
<i>M. cookii</i>	<i>M. malmoense</i>	<i>M. stomatepiae</i>
<i>M. cosmeticum</i>	<i>M. mantenii</i>	<i>M. szulgai</i>
<i>M. crocinum</i>	<i>M. marinum</i>	<i>M. talmoniae</i>
<i>M. crocinum/pallens</i>	<i>M. marseillense</i>	<i>M. terrae</i>
<i>M. diernhoferi</i>	<i>M. minnesotense</i>	<i>M. thermoresistibile</i>
<i>M. doricum</i>	<i>M. monacense</i>	<i>M. tokaiense</i>
<i>M. duvalii</i>	<i>M. montefiorensense</i>	<i>M. triplex</i>
<i>M. eburneum</i>	<i>M. montmartrense</i>	<i>M. triviale</i>
<i>M. eburneum/talmoniae</i>	<i>M. moriokaense</i>	<i>M. tuberculosis</i> *
<i>M. elephantis</i>	<i>M. mucogenicum</i>	<i>M. tusciae</i>
<i>M. engbaekii</i>	<i>M. murale</i>	<i>M. vaccae</i>
<i>M. europaeum</i>	<i>M. murale/tokaiense</i>	<i>M. vanbaalenii</i>
<i>M. fallax</i>	<i>M. nebraskense</i>	<i>M. virginense</i>
<i>M. farcinogenes</i>	<i>M. neoaurum</i>	<i>M. vulnerans</i>
<i>M. flavescens</i>	<i>M. neumannii</i>	<i>M. wolinskyi</i>
<i>M. florentinum</i>	<i>M. neworleansense</i>	<i>M. xenopi</i>
<i>M. fluoranthenvivorans</i>	<i>M. nonchromogenicum</i>	<i>Mycobacterium</i> sp.

※TRC法 同定可能菌種

### 検査材料および採取方法

ご依頼の際は、必ず材料・由来を明記してください。

分類 (由来)	材料	検体量	容器	保存	採取方法
口・腔・ 気・道・ 呼吸器	喀痰	2~3mL	X00 滅菌喀痰採取容器	冷蔵	上気道・口腔内常在菌により、できるかぎり汚染されないように滅菌喀痰採取容器に採取し、直ちに冷蔵保存してください。(患者に充分説明し、うがいにより清潔にした後に、咳によって深部から喀出された、しかも唾液混入の少ない喀痰を採取してください。)
	咽頭粘液	適量	VS1 eSwab105レギュラー FLOQスワブ	冷蔵	eSwab105レギュラー FLOQスワブの綿棒で咽頭をこすって、粘液を採取し、直ちに付属のアミーズ培地に無菌的に入れ、速やかに冷蔵保存してください。
消化管	便	適量	VS1 eSwab105レギュラー FLOQスワブ	冷蔵	eSwab105レギュラー FLOQスワブを用い適量の便を採取し付属のアミーズ培地に無菌的に入れてください。 ・クロストリジウムデフィシルの検査には嫌気ポーターを使用してください。 ・便の塗抹鏡検は実施しておりません。
	胆汁(A・B・C) 胃液 十二指腸液	各5~10mL	C10 嫌気ポーター	冷蔵	無菌的に採取し、嫌気ポーターに速やかに注入し、直ちに冷蔵保存してください。
泌尿器・ 生殖器	部分尿 尿管カテーテル 膀胱カテーテル	各5~10mL	ARR 滅菌ポリスピッツ	冷蔵	・無菌的に採取し、滅菌ポリスピッツに入れ、直ちに冷蔵保存してください。 ・淋菌の検索を目的とする場合は室温保存してください。 ・トリコモナスの検索を目的とする場合は室温保存してください。
	前立腺液 陰分泌液 膿	各適量	VS1 eSwab105レギュラー FLOQスワブ	冷蔵	eSwab105レギュラー FLOQスワブの綿棒で適量を採取し、付属のアミーズ培地に入れ、直ちに冷蔵保存してください。 ・淋菌の検索を目的とする場合は室温保存してください。 ・トリコモナスの検索を目的とする場合は室温保存してください。
血液・ 穿刺液	動脈血 静脈血	各3~10mL (最適8~10mL)	CBG、CBS カルチャーボトル	室温	カルチャーボトル好気性菌用CBS、嫌気性菌用CBGの2本にそれぞれ3~10mLの血液を無菌的に注入し、緩やかに転倒混和し、室温保存してください。フラン器での保存は検査結果に影響を与えます。
	髄液 腰椎穿刺液	各3~5mL	C10 嫌気ポーター	室温	3~5mLのサンプルを無菌的に採取し、嫌気ポーターに速やかに注入し、室温保存してください。
	胸水 腹水 関節液	各5~10mL	C10 嫌気ポーター	冷蔵	5~10mLの各サンプルを無菌的に採取し、嫌気ポーターに速やかに注入し、直ちに冷蔵保存してください。
その他	耳漏	適量	VS1 eSwab105レギュラー FLOQスワブ	冷蔵	eSwab105レギュラー FLOQスワブの綿棒で適量を無菌的に採取し、付属のアミーズ培地に入れ、直ちに冷蔵保存してください。
	皮膚 爪 毛髪	各適量	ARR 滅菌ポリスピッツ	冷蔵	各適量を無菌的に採取し、滅菌ポリスピッツに入れ、直ちに冷蔵保存してください。 ・真菌検査のみ実施いたします。
	組織 膿	各適量	C10 嫌気ポーター	冷蔵	各サンプルを綿棒で無菌的に採取し、嫌気ポーターに速やかに入れ、直ちに冷蔵保存してください。
他	便	1.0g	F00 糞便容器	冷蔵	単独の検体にてご依頼ください。 凍結保存は避けてください。

一般細菌

微生物学的検査

# 微生物学的検査

## 微生物学的検査

	検査材料	検体量	容器	保存	採取方法
抗酸菌	喀痰	2~3mL	X00 滅菌喀痰採取容器	冷蔵	上気道・口腔内常在菌により、できるかぎり汚染されないように滅菌喀痰採取容器に採取し、直ちに冷蔵保存してください。(患者に充分説明し、うがいにより清潔にした後に、咳によって深部から喀出された、しかも唾液混入の少ない喀痰を採取してください。)
	便	小指頭大	ARR 滅菌ポリスピッツ	冷蔵	適量を無菌的に採取し、滅菌ポリスピッツに入れ冷蔵保存してください。 ・便の塗抹鏡検は実施しておりません。
	胸水 腹水 胃液	各5~10mL	ARR 滅菌ポリスピッツ	冷蔵	各サンプルを無菌的に採取し、滅菌ポリスピッツに入れ、直ちに冷蔵保存してください。 ・一般細菌を同時に依頼される場合は嫌気ポーターをご使用ください。
	部分尿	5~10mL	ARR 滅菌ポリスピッツ	冷蔵	無菌的に採取し、滅菌ポリスピッツに入れ、直ちに冷蔵保存してください。
抗酸菌核酸同定	喀痰	2.0mL	X00 滅菌喀痰採取容器	冷蔵	核酸同定検査ではコンタミネーションの影響が大きくなりますので検体採取にあたっては、取扱いに充分ご注意ください。 上気道・口腔内常在菌により、できるかぎり汚染されないように滅菌喀痰容器に採取し、冷蔵で提出してください。

### 〔留意事項〕

1. 検査材料は、外部に漏れないように完全に密封してご提出ください。
2. 呼吸器の材料でマイコプラズマの検出には検体を凍結してください。(この場合、一般細菌、抗酸菌検査は実施できません。)
3. 嫌気性菌を検出する場合は嫌気ポーターを使用して、できるだけ空気に触れないように速やかに採取してください。
4. 抗酸菌検査において、血液、骨髄液の各材料およびカルチャーボトルでの提出はお受けできません。
5. 緊急連絡
  - (1) 検査材料が血液および髄液の場合は、菌が検出された場合に直ちにご連絡いたします。
  - (2) 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)において、二類感染症、三類感染症に分類される細菌が分離された場合は材料を問わず直ちにご連絡いたします。
  - (3) 抗酸菌塗抹鏡検において、抗酸菌が認められた場合は、直ちにご連絡いたします。

**CBG** 旧容器記号 (m1)  
血液培養ボトル(嫌気用)

抗生物質  
吸着中和剤入  
貯蔵方法 室温  
有効期間  
製造から9ヵ月  
最適量 8~10mL  
(許容範囲 3~10mL)



**CBS** 旧容器記号 (q1)  
血液培養ボトル(好気用)

抗生物質  
吸着中和剤入  
貯蔵方法 室温  
有効期間  
製造から9ヵ月  
最適量 8~10mL  
(許容範囲 3~10mL)



**F00** 旧容器記号 (U)  
糞便容器

貯蔵方法 室温



**ARR** 旧容器記号 (r)  
滅菌スピッツ 10mL用

貯蔵方法 室温



**C10** 旧容器記号 (n)  
嫌気ポーター  
嫌気培養用

内容  
寒天培地1.2mL  
ブドウ糖  
CO<sub>2</sub>ガス充填  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から2年



**C20** 旧容器記号 (n2)  
シードチューブHP  
(ヘリコバクター  
培養同定用)

貯蔵方法 冷蔵  
有効期間 製造から3ヵ月



**VS1** 旧容器記号 (k)  
eSwab105レギュラー  
FLOQスワブ

内容  
アミース培地 1mL  
貯蔵方法 室温  
有効期間  
製造から1年3ヵ月



**VS2** 旧容器記号 (k1)  
eSwab106ミニチップ  
FLOQスワブ

内容  
アミース培地 1mL  
貯蔵方法 室温  
有効期間  
製造から1年3ヵ月



**X00** 旧容器記号 (l)  
滅菌喀痰採取容器

貯蔵方法 室温



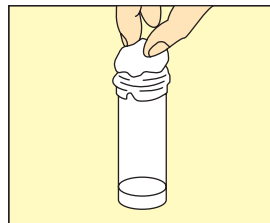
## 細菌検査採取方法

- 検査材料名または材料採取部位を必ず明記してください。
- 目的菌が淋菌、髄膜炎菌の場合は、**室温**保存してください。
- 嫌気性培養の検査材料は、嫌気ポーターに採取してください。
- 所要日数は目的菌等により異なりますので、ご了承ください。

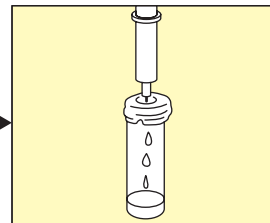
### <嫌気ポーターの取り扱い方法>

#### ① 液状検体の場合

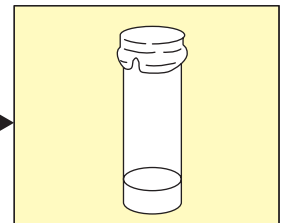
(胸水、腹水、尿、穿刺液など)



消毒用アルコール綿などを用いて穿刺部を消毒する。



消毒液が完全に乾燥してから注射針を刺し、検体を注入する。



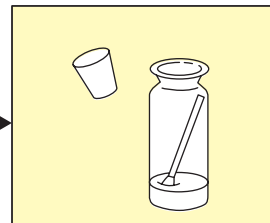
冷蔵保存する。

#### ② 固形状検体の場合

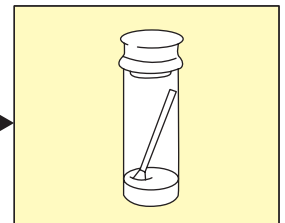
(便、膿、組織など)



容器は立てたままの状態に注意深くゴムキャップを外す。(無風状態が理想)



速やかに(5秒以内)検体を入れる。

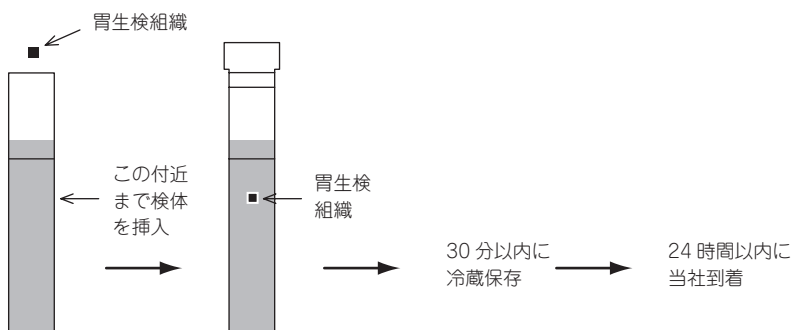


直ちにゴムキャップをかぶせて栓をする。

## ヘリコバクター培養同定採取方法

### <シードチューブHPの取り扱い方法>

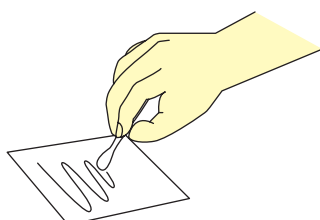
1. 採取した「胃生検組織」を直ちに採取容器(C20)に入れ、黒線より下へ挿入してください。
2. 検体は30分以内に**冷蔵**保存し、当日中にご依頼ください。



## 環境検査採取方法

### 院内環境検査(ふきとり法)

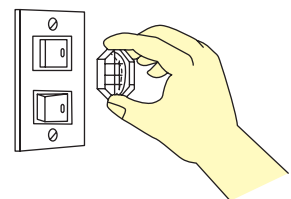
被検体の一定面積(10cm×10cm通例)をeSwab105レギュラーFLOQスワブに添付されている綿棒(あらかじめ培地に刺して湿らせておく)にてよくふきとり再度培地に刺しご提出ください。



テープ等でわくをつくり、培地で湿らせた綿棒で全体をよくふきとります。

### 院内環境検査(スタンプ法)

スタンプ培地(C30)のキャップをとりはずし、培地面に手指等触れないよう注意し被検体の表面に培地面をかるく押しつけます。約5秒後再びキャップをしてご提出ください。



約5秒間かるく押しつけます。(スタンプ培地は担当営業までお問い合わせください)

# 微生物学的検査

## 培養同定検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
培 養	6853 8 Q2108A140	ニューモシスチス カリニ(P.jirovecii) DNA 6B614-0000-061-851 6B614-0000-091-851 6B614-0000-042-851 6B614-0000-070-851	喀痰 2.0	X00	凍結 (3ヵ月)	3~5		PCR	陰性	他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	K299 0 Q2108A181		肺胞洗浄液 0.7	ARR						
	K300 7 Q2108A131		胸水 0.7							
			組織 50mg							
K600 4 Q2077A150	マイコプラズマ ニューモニエDNA 6B616-0000-064-883 6B616-0000-061-883	咽頭 ぬぐい液	ARR	凍結 (21日)	2~4	291 ※7	LAMP	陰性	他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	
K601 3 Q2077A140		喀痰 2.0	X00							
同 定	A293 6 Q4410A140	レジオネラDNA 定性 6B611-0000-061-883	喀痰 1.0	X00	凍結 (28日)	3~9	292 ※7	LAMP	陰性	他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	A235 0 Q4060A1E8	百日咳菌DNA 6B636-0000-063-883	後鼻腔 ぬぐい液	VS4 ARR	凍結 (21日)	2~4	360 ※7	LAMP	陰性	後鼻腔ぬぐい液は、必ずフロックスワブ(VS4)で採取し、滅菌ポリスピッツ(ARR)にスワブを入れて凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	A264 8 Q43296326	赤痢アメーバ DNA 定性 6B637-0000-015-851	糞便 0.5g	F00	凍結	5~11		PCR	陰性	採便後、速やかに凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

① 関連学会が定めるガイドラインの百日咳診断基準における臨床診断例の定義を満たす患者に対して、LAMP法により測定した場合に算定できる。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
培養同定検査	淋菌DNA  6B610-0000-050-862 6B610-0000-001-862 6B610-0000-079-862	分泌物	V50	室温 (28日)	2~4	204 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	陰性	<b>凍</b> 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 分泌物、部分尿:検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。男性の場合、PCR反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。尿検体は最後の排尿から1時間以上経過後に初尿を採取してください。うがい液:検体採取前の食事、うがい、歯磨き等は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &I
		部分尿 5	U10						
		うがい液 5	U10						
培養同定検査	淋菌および クラミジア トラコマチスDNA 同時同定  6B615-0000-050-862 6B615-0000-001-862 6B615-0000-079-862	分泌物	V50	室温 (28日)	2~4	270 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	陰性	<b>凍</b> 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 分泌物、部分尿:検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。男性の場合、PCR反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。尿検体は最後の排尿から1時間以上経過後に初尿を採取してください。うがい液:検体採取前の食事、うがい、歯磨き等は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &I
		部分尿 5	U10						
		うがい液 5	U10						

- ②「淋菌DNA」、「淋菌抗原定性」又は「細菌培養同定検査」(淋菌感染を疑って実施するもの)を併せて実施した場合は、主なもののみ算定する。
- ③「淋菌およびクラミジアトラコマチスrRNA同時同定」、「淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定」、「淋菌抗原定性」、「クラミジアトラコマチス抗原」、「細菌培養同定検査」(淋菌及びクラミジアによる感染を疑って実施するもの)、「淋菌DNA」、「クラミジアトラコマチスDNA」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

# 微生物学的検査

## 培養同定検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
6703 4 011828850	ウイルス分離 6B655-1410-064-748	下記参照	V10	冷蔵	4~21		細胞変性効果、 血球吸着現象、 赤血球凝集反応		凍結保存は避けてください。 分離、同定検査は以下の細胞を使用しています。 PHfb(ヒト繊維芽細胞)、HEp-2(ヒト喉頭癌細胞)、Vero(ミドリザル腎細胞)、MA104(アカモザル腎細胞)、RD-18S(ヒト横紋筋腫細胞)、MDCK(イヌ腎細胞)、B95a(マーマセットB細胞)、AGMK(アフリカミドリザル腎細胞)、A549(ヒト肺癌細胞)、Caco-2(ヒト結腸腺癌細胞) &1
6704 3 011838850	ウイルス同定 6B705-1410-064-748	※1参照	V10	冷蔵	13~29		標準抗血清による中和反応・ 免疫蛍光抗体法・ 赤血球凝集抑制反応		

### [6704 3]ウイルス同定

同時に複数検体をご依頼いただく場合は、所要日数が変動する場合がございます。あらかじめご了承ください。

### 検査材料

ウイルス分離・同定検査を実施するためには適切な分離用検査材料と、同時に発病後できるだけ早期に採取することが大切です。ウイルス分離材料の選択は、分離率向上のため、できる限り複数の材料をご提出ください。

臨床症状	分離可能ウイルス	主要検査材料
上気道感染症	ライノ、パラインフルエンザ	咽頭ぬぐい液、鼻分泌液
	アデノ、コクサッキー、エコー	咽頭ぬぐい液、糞便
下気道感染症	インフルエンザ、パラインフルエンザ、アデノ、RS、サイトメガロ	咽頭ぬぐい液、喀痰、気管支洗浄液
紅斑性発疹症	麻疹、風疹	咽頭ぬぐい液
	エコー、コクサッキー	咽頭ぬぐい液、糞便
水疱性発疹症	単純ヘルペス、水痘・帯状疱疹	水疱内容
	コクサッキー、エンテロ71	水疱内容、咽頭ぬぐい液、糞便
中枢神経系疾患	エコー、コクサッキー	咽頭ぬぐい液、髄液、糞便
	水痘・帯状疱疹、ムンプス	咽頭ぬぐい液、髄液
先天性異常	サイトメガロ、風疹	咽頭ぬぐい液、尿、髄液
	単純ヘルペス、水痘・帯状疱疹	水疱内容
嘔吐・下痢症	エコー、コクサッキー、アデノ	咽頭ぬぐい液、糞便
出血性膀胱炎	アデノ	尿
耳下腺炎	ムンプス	咽頭ぬぐい液
眼疾患	アデノ、単純ヘルペス、水痘・帯状疱疹	結膜ぬぐい液

### 検体採取および保存方法

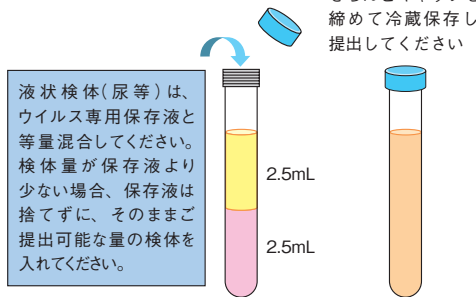
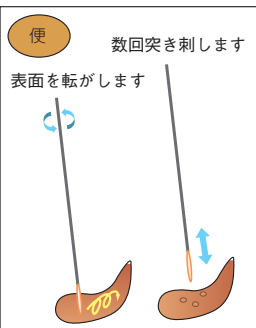
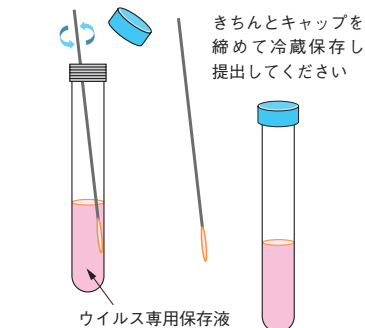
検査材料	ウイルス専用容器への採取方法
患部ぬぐい液・水疱内容・糞便 等	※2 滅菌綿棒でぬぐい、下図の採取方法でウイルス専用保存液に採取し、冷蔵保存してください。
尿・髄液・胸水・鼻汁 等	下図の採取方法でウイルス専用保存液と等量の検体を採取し、冷蔵保存してください。
組織	組織小片(5mm角程度)をウイルス専用保存液に入れ冷蔵保存してください。

※1 同定検査は当社の分離検査において分離された検体のみのお受けとなります。

※2 滅菌綿棒はプラスチック棒かアルミニウム棒付の綿棒で採取してください。

●ウイルス専用保存液は当社にて準備しておりますので、ご依頼前に営業員にお申し付けください。

綿棒は抜き  
管壁をよく擦ります 取ってください



液状検体(尿等)は、  
ウイルス専用保存液と  
等量混合してください。  
検体量が保存液より  
少ない場合、保存液は  
捨てずに、そのままご  
提出可能な量の検体  
を入れてください。

V50 旧容器記号 (F3)  
p47

内容  
グアニジン塩酸塩  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から1年

U10 旧容器記号 (Y1)  
p41

内容  
グアニジン塩酸塩  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から1年

V10 旧容器記号 (V)  
p44

ウイルス専用  
保存液入り  
貯蔵方法 冷蔵  
有効期間 製造から6ヵ月



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検査材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
9352 1 893520000	一般細胞診	喀痰	塗抹標本 (湿固定)2枚	Z10	室温	4~7	1部位につき 190 ※8	(喀痰) パパニコロウ染色 (その他) パパニコロウ染色と PAS染色または ギムザ染色  &1
		擦過物・洗浄液・ 針穿刺吸引液状検体 (胸水・腹水・尿・髄液・胆汁等)・ 捺印標本(リンパ節等)・ 圧挫標本・その他	塗抹標本2枚 (湿固定)1枚 (乾燥固定)1枚	Z10	室温			
L455 5	細胞診(婦人科LBC ベセスダシステム) 7A020-1652-076-650	子宮頸部・子宮腔部・腔内容・ 腔断端	容器ごと提出	V41	室温	4~7	1部位につき 150+36 ※8	TP染色  &1
	細胞診(婦人科 ベセスダシステム) 7A020-1652-085-433		塗抹標本 (湿固定)1枚	Z10			1部位につき 150 ※8	パパニコロウ染色  &1
	細胞診 (婦人科) 7A020-8910-085-433	子宮頸部・子宮腔部・腔内容・ 子宮内膜	塗抹標本 (湿固定)1枚	Z10	室温	4~7	1部位につき 150 ※8	パパニコロウ染色  &1
K968 7 8K9680000	細胞診 (婦人科LBC) 7A020-8910-076-650	子宮頸部・子宮腔部・腔内容・ 腔断端	容器ごと提出	V41			1部位につき 150+36 ※8	TP染色  &1
	細胞診 [喀痰集細胞法] (Class判定) 7A030-8920-061-433	喀痰 (3~5日蓄痰)	容器ごと提出	X10	室温	4~7	1部位につき 190 ※8	パパニコロウ染色  &1
	細胞診 [喀痰集細胞法] (ABC判定) 7A030-8920-061-433	喀痰 (3~5日蓄痰)	容器ごと提出	X10	室温	4~7	1部位につき 190 ※8	パパニコロウ染色  &1
	細胞診 (尿LBC) 7A050-8910-001-433	泌尿器材料	尿沈渣 2~4mL	UV6	室温	4~7	1部位につき 190 ※8	パパニコロウ染色  &1
	膀胱癌FISH (ウロビジョン) 8B560-0000-001-841	部分尿	尿沈渣 (33mL以上の 尿から作製)	UV7	冷蔵 (30日)	7~11	①② 1597 ※2	FISH  &1

①膀胱がんの患者であって、上皮内癌(CIS)と診断され、経尿道的手術を実施された患者に対して、再発の診断補助を目的として測定した場合に、経尿道的手術後2年以内に限り、2回を限度として算定できる。ただし、同時に膀胱鏡により、膀胱がん再発の所見が認められないことを確認した患者に対して実施した場合に限る。

②「膀胱癌FISH(ウロビジョン)」と「穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等によるもの」を実施した場合は、主たるもののみ算定する。

\* 専門医の判定が必要な場合(原則的にASC-US、ClassⅢまたは判定C以上)は通常日数より遅れる場合があります。

\* 検査材料、検体量につきましては171ページを参照ください。

### 細胞診検査の注意事項

細胞診検査は、必ずしも確定診断ではありません。検査結果はご提出いただいた標本において下されたもので、病変全体を反映するものではないことを、あらかじめご承知おきください。組織診検査等による総合的な診断をお勧めいたします。(検診検査は偽陰性となる可能性があります。)一次スクリーニングを東京セントラルパソロジーラボラトリー (TCPL)へ委託する場合がございます。その場合、細胞診検査報告書の細胞検査士名の後に「T」マークが表示されます。

### [L455 5]細胞診(婦人科LBC ベセスダシステム)、[K968 7]細胞診(婦人科LBC)について

ヒトパピローマウイルス検査(V41:ThinPrep容器)との同時依頼が可能ですが、その際、細胞診の所要日数が1~2日遅れます。

### 依頼書、スライドグラスおよびオブジェクトケースへの記入方法

#### ■依頼書

細胞診検査は各種の臨床情報を参考に行う形態学的検査です。細胞診検査のご依頼にあたっては専用の細胞診検査依頼書に下記の内容を記載してください。細胞診の判定内容を左右する因子ですので記載もれがないようお願いいたします。

- a) 氏名、性別、年齢、生年月日、科名等
- b) 検査材料、採取方法
- c) 臨床診断、臨床経過、検査、治療諸事項
- d) 病変の大きさ、性状
- e) 婦人科材料や乳腺材料の場合月経等諸事項
- f) 前回の登録標本番号
- g) ご提出のスライドグラス枚数

#### ■スライドグラス

- a) スリガラス部に氏名をご記入ください。
- b) 乾燥固定の場合は「乾燥」または「ドライ」とご記入ください。

#### ■オブジェクトケース

- a) 氏名、性別、年齢
- b) 標本枚数(湿固定枚数と乾燥固定枚数)

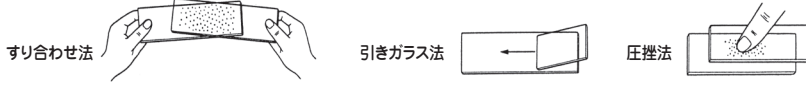
# 病理学的検査

## 細胞診検査

### 検査材料の提出方法[塗抹、固定、検査材料、検体量]

#### ■各種材料の塗抹

塗抹の仕方は検査材料の種類、性状等に応じて異なります。下記の要領で塗抹してください。



#### ■標本の固定

固定は細胞の変性・融解等の変化を停止させる作業ですので、塗抹後直ちに固定する必要があります。湿固定はババニコロウ染色、PAS染色等のための固定法で、乾燥固定はキムザ染色等のための固定法です。固定の良否は採取部位・方法とともに細胞診判定内容を左右する重要な因子の一つです。迅速な固定をお願いいたします。

##### 1) 湿固定【婦人科細胞診・一般細胞診】

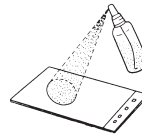
塗抹したスライドグラスを95%エタノールに30分以上浸漬して固定してください。湿固定にはサイトタック等を用いたコーティング固定法もあります。コーティング固定剤を使用する場合は、ムラが生じないように固定液を塗抹全面に十分に噴霧または滴下してください。

##### 2) 乾燥固定【一般細胞診】

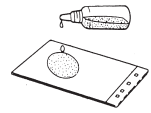
塗抹後直ちに、塗抹面を扇風機や冷風ドライヤー等で急速に乾燥させます。自然乾燥は乾燥むらを生じるので不十分です。

#### コーティング固定剤の使用法

##### 噴霧式



##### 滴下式



#### ■検査材料、検体量

##### 【一般細胞診】

##### 1) 喀痰

「小豆」大の喀痰を2枚のスライドグラスの間にはさみ、前後左右に押しつぶすように満遍なくのばしてください(すり合わせ法)。癌細胞は血痰部や不透明白濁部、ゼリー状粘液部に多く含まれるので、その部分を塗抹してください。

検体量：湿固定塗抹標本 2枚

##### 2) 擦過材料(気管支、消化管、胸膜・腹膜等)

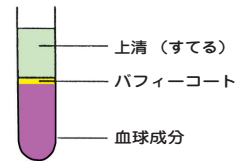
ブラシ、綿棒等により病巣等を擦過しスライドグラスに塗抹してください。擦過物は非常に乾燥しやすいので塗抹固定を迅速に行うことが必要です。

検体量：湿固定塗抹標本 1枚、乾燥固定塗抹標本 1枚

##### 3) 液状材料(尿、胸水、腹水、心嚢液、陰嚢水腫液、各種洗浄液等)

1500rpm5分間遠心後、沈渣をすり合わせ法または引きガラス法によって塗抹してください。血性検体の場合は有核成分が多いバフィーコート部分を塗抹してください。

検体量：尿・胸水・腹水・心嚢液・陰嚢水腫液、各種洗浄液等 湿固定塗抹標本 1枚、乾燥固定塗抹標本 1枚



##### 4) 針穿刺吸引材料(乳腺、甲状腺、肺、リンパ節、前立腺、睾丸、軟部腫瘍、肝等)

穿刺針内に吸引された材料をスライドグラス中央に静かに吹きだし塗抹します。検体が微量なときはもう1枚のスライドグラスを合わせてからはがし2枚作製してください。多めに得られたときや多量の場合は引きガラス法で塗抹してください。

検体量：湿固定塗抹標本 1枚、乾燥固定塗抹標本 1枚

##### 5) 捺印標本(各種固定腫瘍、リンパ節等)

メスやカミソリで切った新しい組織断面をスライドグラスに軽く捺印してください。

検体量：湿固定塗抹標本 1枚、乾燥固定塗抹標本 1枚

##### 6) 圧搾標本(中枢神経腫瘍、甲状腺腫瘍等)

組織の小塊(直径1-2mm)を2枚のスライドグラスの間にはさみ、軽く押しつぶして組織が伸展したらスライドグラスをはなし、厚い方を湿固定、薄い方を乾燥固定してください。

検体量：湿固定塗抹標本 1枚、乾燥固定塗抹標本 1枚

<注意> 検体採取から塗抹固定までの許容時間(室温)

喀痰・胸水・腹水・心嚢液…12時間以内  
尿・穿刺液・洗浄液・髄液…1時間以内

胆汁・涙液・十二指腸液…氷冷中の容器に採取し、1時間以内  
擦過材料・捺印材料・圧搾材料…5秒以内

#### 【細胞診(婦人科)、細胞診(婦人科ベセスシステム)】

##### 1) 婦人科材料

乾燥しやすいので塗抹後直ちに湿固定してください。

検体量：湿固定塗抹標本 1枚

<p><b>Z10</b> 旧容器記号 <b>t</b> p53</p> <p>【オブジェクトケース】 プレパレート (スライドグラス)</p> <p>貯蔵方法 室温</p>	<p><b>V41</b> 旧容器記号 <b>f6</b> p46</p> <p>内容 メタノール55%含有</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年6ヵ月</p>	<p><b>X10</b> 旧容器記号 <b>f</b> p51</p> <p>内容 サコモノ氏液、粘液融解剤</p> <p>貯蔵方法 室温(冷暗所) 有効期間 製造から1年</p>	<p><b>UV6</b> 旧容器記号 <b>f3</b> p43</p> <p>内容 メタノール55%</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年6ヵ月</p>	<p><b>UV7</b> 旧容器記号 <b>f7</b> p43</p> <p>内容 メタノール55%</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年6ヵ月</p>
---	--	---	--	--

### 検査結果の報告

#### 1) ベセスダシステム

▼標本の適正・不適正の評価について

適正検体：保存状態がよく、鮮明に見える扁平上皮細胞が直接塗抹法では8000~12000個、LBCの場合では5000個以上とされています。

不適正検体：扁平上皮細胞の75%以上が不明瞭である場合、炎症細胞、出血により覆われていた場合、過度な乾燥によるアーチファクトが見られた場合等があげられます。

\*適正検体とされた場合に、下記の細胞判定が実施されます。

ベセスダ表記	表記の説明	推定病変
陰性 (NILM)	陰性	微生物 その他の非腫瘍性所見
扁平上皮系異常		
ASC-US	意義不明な異型扁平上皮細胞	軽度扁平上皮内病変疑い
ASC-H	HSILを除外できない異型扁平上皮細胞	高度扁平上皮内病変疑い
LSIL	軽度扁平上皮内病変	HPV感染 軽度異形成
HSIL	高度扁平上皮内病変	中等度異形成 高度異形成 上皮内癌
SCC	扁平上皮癌	扁平上皮癌
腺系異常およびその他の悪性腫瘍		
AGC	異型腺細胞	腺異型または腺癌疑い
AIS	上皮内腺癌	上皮内腺癌
Adenocarcinoma	腺癌	腺癌
Other malign.	その他の悪性腫瘍	その他の悪性腫瘍

#### 2) Class判定

Class I : Absence of atypical or abnormal cells.

Class II : Atypical cytology but no evidence of malignancy.

Class III : Cytology suggestive of, but not conclusive for malignancy.

Class III a : Probably benign atypia.

Class III b : Malignancy suspected.

Class IV : Cytology strongly suggestive of malignancy.

Class V : Cytology conclusive for malignancy.

\*Class判定について、I、IIを陰性、III、III a、III b、を疑陽性、IV、Vを陽性と読み換えることが可能です。

#### 3) ABC判定

判定区分	細胞所見	指導区分
A	喀痰中に組織球を認めない	材料不適、再検査
B	正常上皮細胞のみ 基底細胞増生 軽度異型扁平上皮細胞 絨毛円柱上皮細胞	現在異常を認めない 次回定期検査
C	中等度異型扁平上皮細胞 核の増大や濃染を伴う円柱上皮細胞	再塗抹または6ヵ月内の再検査
D	高度(境界)異型扁平上皮細胞または悪性腫瘍 が疑われる細胞を認める	直ちに精密検査
E	悪性腫瘍細胞を認める	

肺癌検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分(2016改定)臨床・病理肺癌取扱い規約第8版

### 参考文献

- Masayoshi Takahashi : Color Atlas of Cancer Cytology. IGAKU-SHOIN : 1981.
- 田中 昇, 他 : 細胞診教本. 宇宙堂八木書店 : 1988.
- 田嶋 基男, 他 : 細胞診全書II 細胞診の基本技術および細胞診に必要な病理学各論. 宇宙堂八木書店 : 1980.
- 栗原 操寿, 他 : 日本臨床細胞学会教育委員会, 編 : 臨床細胞診断学教本. 医学図書出版 : 1985.
- 高橋 正宜, 他 : 病理と臨床3(臨時増刊号)針生検細胞診. 文光堂 : 1985.
- 日本病理学会, 編 : 病理技術マニュアル6 細胞診とその技術. 医歯薬出版 : 1982.
- 上井 良夫 : 病理と臨床7(臨時増刊号)腫瘍細胞診 最近の進歩 : 1989.
- 矢谷 隆一, 他 : 細胞診を学ぶ人のために. 医学書院 : 1990.
- D. Solomon, R. Nayar 編 平井康夫監訳 : ベセスダシステム2001アトラス
- 日本産婦人科医学会 : ベセスダシステム2001準拠子宮頸部細胞診報告様式の理解のために : 2008. 12

# 病理学的検査

## 病理組織検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
病 理 組 織 検 査	病理組織検査 (一般病理) 7B010-0000-075-432	ホルマリン固定組織		VPO	室温	* 5~7	1臓器 につき 860 ※8	ヘマトキシリン・ エオジン染色 &1
	病理組織検査 (肝生検) 7B010-0000-501-432	ホルマリン固定組織 (肝生検)		VPO	室温	* 5~7		ヘマトキシリン・ エオジン染色および 特殊染色 **
	病理組織検査 (腎生検) 7B010-0000-651-432	ホルマリン固定組織 (腎生検)		VPO	室温	* 5~7		
	病理組織検査 (骨髄生検) 7B010-0000-231-432	ホルマリン固定組織 (骨髄生検)		VPO	室温	* 5~7		
	手術材料 7B010-0000-075-432	病理組織検査(一般病理)と同時にご依頼ください。						&1
	ヘリコバクター ピロリ判定 7B010-0000-075-602	病理組織検査(一般病理)と同時にご依頼ください。 ギムザ染色を追加して判定いたします。						&1
組 織 検 査	病理標本作製 (一般材料)	ホルマリン固定組織		VPO	室温	4~6	1臓器 につき 860 ※8	ヘマトキシリン・ エオジン染色 &1
	病理標本作製 (手術材料)		7~10					
	ブロック作製	ホルマリン固定組織	1×1×1mm以上 10×10×5mm以下	VPO	室温	* 5~7		
検 査	未染標本作製	パラフィンブロック			室温	* 5~7		
	染色標本作製 (175、176ページ参照)	未染標本スライド	未染標本スライド*2枚	Z10	室温	* 5~7		
	酵素抗体染色 [ホルマリン固定組織] (177、178ページ参照)	ホルマリン固定組織 (パラフィンブロック・ 未染色標本スライドでも可)		VPO	室温	* 5~8	①② 1臓器 につき 400 ※8	&1
	CD30 (IHC) 7B100-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド*2枚	Z10	室温	4~6	①③ 400 ※8	免疫組織化学染色法 &1
悪性リンパ腫 ALKタンパク(IHC) 5D594-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド*2枚	Z10	室温	5~8	①④ 2700 ※8	免疫組織化学染色法 &1	

- ① 方法(蛍光抗体法又は酵素抗体法)又は試薬の種類にかかわらず、1臓器につき1回のみ算定する。
- ② 確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者に対して、標本作製を実施した場合には、1200点を所定点数に加算する。〔確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者〕とは、原発不明癌、原発性脳腫瘍、悪性リンパ腫、悪性中皮腫、肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)、消化管間質腫瘍(GIST)、慢性腎炎、内分泌腫瘍、軟部腫瘍、皮膚の血管炎、水痘症(天疱瘡、類天疱瘡等)、悪性黒色腫、筋ジストロフィー又は筋炎が疑われる患者を指す。これらの疾患が疑われる患者であっても3種類以下の抗体で免疫染色を行った場合は、当該加算は算定できない。肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)が疑われる患者に対して加算を算定する場合は、腫瘍が未分化であった場合等HE染色では腺癌または扁平上皮癌の診断が困難な患者に限り算定することとし、その医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に詳細に記載すること。なお、次に掲げるいずれかの項目を既に算定している場合には、当該加算は算定できない。  
ア 肺癌におけるEGFR遺伝子検査、ROS1融合遺伝子検査、ALK融合遺伝子検査、BRAF遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)及びMETex14遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)に限る。  
イ 肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング)、METex14遺伝子検査(次世代シーケンシング)及びRET融合遺伝子検査に限る。  
ウ 肺癌関連遺伝子多項目同時検査  
エ ALK融合遺伝子標本作製
- ③ HQリンカーを用いた免疫組織化学染色法により、悪性リンパ腫の診断補助を目的に実施した場合に算定する。
- ④ 以下に掲げる場合において算定できる。  
ア 非小細胞肺癌患者に対して、ALK阻害剤の投与の適応を判断することを目的として、ブリッジ試薬を用いた免疫組織染色法により病理標本作製を行った場合(当該薬剤の投与方針の決定までの間の1回に限る。)  
イ 悪性リンパ腫患者に対して、悪性リンパ腫の診断補助を目的として免疫組織染色法により病理標本作製を行った場合(悪性リンパ腫の病型分類までの間の1回に限る。)



### \* 所要日数

- ・脱脂処理、脱灰処理が必要な場合は所要日数が7～12日となります。
- ・酵素抗体染色が必要な場合は所要日数が約2週間となります。
- ・蛍光抗体が必要な場合は所要日数が2～3週間となります。
- ・骨髄像が必要な場合は所要日数が約2週間となります。
- ・専門医による診断が必要な臓器(皮膚、肝臓、骨髄、心臓等)は所要日数が7～12日となります。
- ・手術材料(切り出し時、5ブロック以上になる場合)は所要日数が2～3週間となります。
- ・特殊なご依頼の場合、まとまった件数(処理内容により異なりますがおおむね20件以上)の場合は通常より所要日数が遅れますので、事前に営業員へお問い合わせください。

### \* 特殊染色

- ・病理組織検査(肝生検): ビクトリア青、アザン、鍍銀
- ・病理組織検査(腎生検): PAS、PAM、マッソン
- ・病理組織検査(骨髄生検): キムザ、ナフトール、鍍銀、鉄

### ● 病理組織検査におけるHE染色標本は当社で10年間保管させていただきます。

HE染色標本の返却をご要望の際は、当社保管分をお引渡しいたしますので、依頼書の所定欄にチェックをお願いいたします。

なお、返却後の検査結果等についてのお問い合わせの際は、再度標本をご提出していただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

- 検査を実施する上で、HE染色および上記特殊染色以外に各種染色・酵素抗体染色等が必要となった場合は、追加オーダーさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ブロック作製をご依頼される際、摘出臓器のままご提出される場合は、その切り出し図と包埋の方向について依頼書に必ず記載してください。
- パラフィンブロックで染色のみをご依頼される場合は、未染色標本作製の料金もご請求申し上げます。
- 未染色標本スライドで染色標本作製をご依頼される場合は、1染色2枚をご提出ください。
- 病理組織検査は凍結組織ではできません。
- 作製ブロック数が1～4ブロックは一般材料、5ブロック以上は手術材料になります。

### 病理専用容器(VPO)について

病理専用容器(VPO)に20%ホルマリン液を充填し、組織を固定してご提出ください。

病理専用容器(VPO)に入らない大きさの組織は、十分に固定後、ヒストバック(特大、大、中、小)に入れてご提出ください。

### 病理標本作製(一般材料)、病理標本作製(手術材料)について

- ・核酸抽出の用途でのご依頼は避けてください。
- ・本項目は、ホルマリン固定組織から1ブロックにつきHE染色標本1枚を作製し、返却する項目となります。

### CD30(IHC)、悪性リンパ腫ALKタンパク(IHC)の提出方法について

- 1) 本検査は、免疫組織化学染色により、悪性リンパ腫の診断補助を目的とした検査です。  
別途、鑑別診断を必要とされる場合は、他の染色標本や試料等も必要となるため、検査室までお問い合わせください。
- 2) 未染色標本スライドでご提出の場合は、標本は3～4μmの厚さに薄切し、シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、スライドグラス端から50mm以内に貼り付けてください。
- 3) パラフィンブロックにてご依頼の場合、未染色標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。また、未染色標本作製の料金もご請求申し上げます。

# 病理学的検査

## 病理組織検査

### 検査材料の提出方法

病理学的検査のご提出の際は20%ホルマリン固定組織、パラフィンブロック、未染標本スライド、染色済標本でお願いいたします。  
注)放射線による治療または検査を実施した患者様検体で、放射能汚染の可能性のある際には、事前にデータインフォメーションへお知らせください。

#### ■20%ホルマリン固定組織

- 1) 摘出した組織を自家融解、乾燥から防ぐため、直ちに20%ホルマリン液を充填した(VP0)容器に入れ固定してください。
- 2) 固定液は、20%ホルマリン液を使用し、組織の10倍を目安とし十分量を使用してください。
- 3) 胃生検等の微小組織片をご提出の場合は、濾紙等に貼りつけ20%ホルマリン液へ入れてください。  
(なお、複数個ご提出の際は、濾紙ヘナナンバー等を鉛筆で記入するか、または、採取部位(各ナンバー)ごとに20%ホルマリンの入った容器に入れてください。)
- 4) 一容器に一臓器(種類の臓器)を入れてご提出ください。なお、大きさが著しく異なる臓器は必ず容器を分けてください。  
注1) 組織を20%ホルマリン液に入れた日時を必ず依頼書(「採取月日」「採取時刻」欄)にご記入ください。  
注2) 下記の組織を提出される際は、表中の点に注意してください。

組織	注意点
消化管・胆嚢	薄い板に粘膜面を上にして、虫ピンでとめ、20%ホルマリン液に入れます。充分固定が行われたのち(約1日)上記方法にてご提出ください。
肺	切り出した面の気管支断端から20%ホルマリン液を注入し、できるだけ肺胞をふくらませ空気を追い出したのちに組織を20%ホルマリン液に浸してください。充分固定が行われたのち(約1日)上記方法にてご提出ください。
子宮・乳房・腎	子宮や大きい臓器等では、固定が不十分となることが多いので、あらかじめ断面を入れてから固定してください。
胃、腸などのパンチバイオプシー(濾紙につける場合)	生検材料の水分をよく取りのぞき、濾紙の上に10秒程度のせたのちにそのまま20%ホルマリン液に入れてください。(組織を乾燥させないよう充分注意してください)

注3) 病理専用容器(VP0)に入らない大きさの組織は、下記方法にてヒストパックに入れてご提出ください。  
固定が十分にされた組織より虫ピンなどをはずした後、ヒストパックに移し、少量のホルマリン固定液を入れます。  
ヒストパック内の空気を十分に抜いて、上部のジッパーを閉めてください。ヒストパックには患者様の氏名などを記載したらラベルを貼付してください。

#### ■パラフィンブロック

すでに作製済みのパラフィンブロックを、破損のないようガーゼ等で包みビニール袋等に入れてご提出ください。

#### ■未染標本スライド

未染標本スライドにより各種染色をご依頼される場合は、スライドガラスにナンバー等を記入の上、切片が傷つかぬようにしてご提出ください。  
染色標本作製や酵素抗体依頼で染色によりましては、染色中に切片がはがれたりする場合があります。その時は、未染標本スライドの再度提出をお願いいたしますのでご了承ください。

#### ■極微細組織

極微細組織などで、検査の材料の有無が不明の検体につきましては、お客様による再確認のため、検体を返却させていただく場合がございます。

### 依頼書およびラベルへの記入方法

病理組織検査をご依頼の際は専用の「病理検査依頼書」および容器をご使用ください。なお、依頼書およびラベルには下記事項を必ずご記入ください。

#### ■依頼書

- 1) 氏名、性別、年齢、生年月日
- 2) 切除(採取)日、切除臓器名、切除数
- 3) 臨床診断名、臨床経過、治療、臨床検査諸事項
- 4) 前回実施の登録標本No
- 5) 婦人科疾患、女性乳腺疾患等の場合は月経、妊娠の状態等をご記入ください。
- 6) 胃や肺など大きな組織を提出される場合は、切り出し部位の指示をご記入ください。

#### ■容器ラベルおよび凍結組織ラベル

- 1) 施設名、氏名、性別、年齢
- 2) 依頼書における容器Noとのひも付けのため、必ず容器No(1、2、3、……)をご記入ください。  
また、併せて臓器名、切除数もご記入ください。  
(容器Noと臓器名称が不明確な場合は、検査結果をお返しできないこともございます)

### 検査結果の報告

#### ■酵素抗体染色検査および各種染色検査報告

検査結果は、ご依頼の染色済標本の返送をもって行います。

### 各種染色一覧

染色法	目的	結果	備考	
ヘマトキシリン・エオジン (HE)染色	一般染色	細胞核、軟骨、細菌、未脱灰石灰化部-青藍色(ヘマトキシリン) 細胞質、結合組織、筋組織、赤血球-種々の紅~赤紅色(エオジン)	すべての染色の基本染色	
エラスチカ・ワンギーソン染色	結合組織の染色	膠原線維-鮮紅色(酸フクシン)、筋線維、赤血球、細胞質-黄色(ピクリン酸)、核-黒褐色(ワイゲルト鉄ヘマトキシリン)、弾性線維-黒紫色	ワンギーソン染色の単染色で利用されることもあります	
アザン染色		膠原線維	膠原線維、細網線維、腎糸球体および尿管基底膜、粘液、軟骨-青色(アニリン青)核、細胞質、筋組織、線維素-赤~紅色(アソカルミンG)、赤血球-赤~赤橙色(アソカルミンG、オレンジG)	酸フクシンで染める方法があります
マッソン・トリクローム染色			核-黒褐色(ワイゲルト鉄ヘマトキシリン)使用する染色液により結果が異なる	各種の変法があります
レゾルシン・フクシン染色		弾性線維	弾性線維-黒紫色	代表的な染色法、ワンギーソン染色と重染色することがあります
オルセイン染色			弾性線維、HBs抗原-茶褐色	HBs抗原染色として利用されることもあります
銀染色(鏡銀法)	細網線維	好銀線維(細網線維)-黒色 膠原線維-赤紫色		
リンタングステン酸ヘマトキシリン (PTAH)染色	線維素、神経膠組織	横紋筋内横紋、線維素、核-青藍色 神経膠細胞、神経膠線維-茶褐色	横紋筋の横紋が染まります	
PAS反応	多糖類染色	糖原(グリコーゲン)	グリコーゲン-赤~赤紫色、核-青藍色(ヘマトキシリン)	粘液、肥満細胞顆粒、アメーバ、真菌も染まります PAS反応は各種の染色目的に利用されます グリコーゲンは唾液、ジアスターゼ消化法で確認、アルコール固定も可
アルシアン青染色		酸性粘液多糖類	酸性粘液多糖類-青色、核-赤色(ケルンエヒトロート)	PAS染色との重染色法があります
ムチカルミン染色		粘液	粘液-赤色、核-青藍色(ヘマトキシリン)	上皮性粘液がよく染まります
トルイジン青染色			粘液・肥胖細胞の顆粒・軟骨基質-赤紫色、核-青	
コンゴ赤染色	アミロイド染色	アミロイド-赤橙色、核-青藍色(ヘマトキシリン)	過マンガン酸処理によるアミロイドの鑑別があります	
ダイロン(ダイレクトファーストスカーレット)染色		アミロイド-橙色、核-青藍色(ヘマトキシリン)		
グリメリウス法(好銀性染色)	内分泌細胞の鑑別染色	消化管好銀細胞、下垂体好銀細胞、カルチノイド、睪丸島A細胞、内分泌腫瘍細胞-黒褐色	ブアン固定も可	
フォンタナ・マッソン法		消化管銀還元細胞、銀還元性カルチノイド、メラニン細胞-黒褐色	メラニン細胞の証明にも用います	
コッサ法	組織内無機物の染色	カルシウム	カルシウム沈着部-黒褐色	貴金属を含む固定液は避けてください
ヘルリン青染色		鉄	ヘモジデリン-青色、背景-淡紅色(ケルンエヒトロート)	染色対象はほとんどヘモジデリンです
ルベアン酸法		銅染色	銅-黒緑色	
レフレルのメチレン青単染色	組織内細菌の染色	単染色	細菌-濃青色、核、背景-淡青色	
フッカー・コンのグラム染色		グラム染色	グラム陽性菌-濃青色 グラム陰性菌-赤色	
チール・ネルゼンの抗酸菌染色		抗酸菌染色	抗酸菌-赤色、背景-淡い青色(メチレン青)	
グロコット染色		真菌	真菌-黒色、背景-緑色(ライト緑)	グリコーゲン、粘液も黒染します
オルセイン染色		HBs抗原	HBs抗原、弾性線維-茶褐色	HBs抗原は細胞質内封入体または細胞内にび慢性に染め出されます
ピクトリア青染色		HBs抗原、弾性線維-青色	弾性線維染色にも用いられます	
ルクソール・ファスト青染色(クリューバ・バレラ染色)	中枢神経の染色	髄鞘、ニッスル小体重染色	髄鞘-青緑色 ニッスル顆粒、核-紫色	
ニッスル小体・単染色			ニッスル顆粒-紫色	
過ヨウ素酸メセナミン銀 (PAM)染色	腎の染色	腎糸球体基底膜、細網線維-黒色	腎以外多目的に利用されます ブアン固定も可	
ギムザ染色	組織内血液細胞の染色	核-赤紫色、核小体-赤色、好酸顆粒-桃紫色 好塩基性顆粒-青紫色~青色	ヘリコバクターピロリ菌も染まります ピロリ菌-青紫色	
ナフトールAS-Dクロロアセテートエステラーゼ染色	白血病細胞の鑑別、単球の鑑別、FAB分類	骨髓球系-青色顆粒		

当社では、20%ホルマリン固定液を基本として各種染色を行っております。

# 病理学的検査

## 酵素抗体染色一覧

### 酵素抗体染色一覧

■ 室温 ( 材料：ホルマリン固定組織 (パラフィンブロック・未染標本スライドも可) )

項目コード	検査項目	抗原分布	臨床的意義
<b>腫瘍関連</b>			
	CEA	正常大腸粘膜、胎児胃粘膜(幽門部)、胎児唾液腺導管	多くの腺癌、一部の扁平上皮癌、一部のカルチノイド、甲状腺髄様癌、一部の肺小細胞癌
	AFP(α-フェトプロテイン)	胎児期の肝細胞・卵黄嚢・腸管上皮	肝細胞癌、卵黄嚢腫瘍、胃癌の一部、未熟奇形腫、畸芽腫
	CA19-9	正常膵、消化管粘膜	膵癌、胃癌
	CA125		上皮性卵巣癌
	NSE	神経細胞、神経線維、内分泌細胞(一部)、副腎髄質細胞	神経内分泌系腫瘍、黒色腫、筋原性腫瘍
	HCG	胎盤絨毛合胞細胞	絨毛上皮腫、胃癌などの腺癌の一部、カルチノイド(α-subunit)、胚細胞腫、肺大細胞癌、悪性ラ氏島腫瘍
<b>免疫グロブリンおよび補体</b>			
	IgG	Bリンパ球、形質細胞	形質細胞腫、骨髄腫、原発性系球体疾患および他の疾患に伴う系球体疾患
	IgA		
	IgM		形質細胞腫
	κ 鎖		
	λ 鎖		
	C1q		原発性系球体疾患および他の疾患に伴う系球体疾患
	C3		
	フィブリノーゲン		
<b>組織マーカー</b>			
	上皮細胞膜抗原(EMA)	多くの腺上皮・導管上皮、一部の上皮	多くの腺癌、扁平上皮癌、中皮腫(一部)、滑膜肉腫、脊索腫
	ケラチン(広範囲)	ほぼ全ての上皮細胞、中皮細胞	扁平上皮癌、一部の腺癌、中皮腫、adenomatoid tumor、肺小細胞癌、甲状腺髄様癌、カルチノイド、類上皮肉腫、滑膜肉腫、脊索腫、胸腺腫、脈絡叢乳頭腫
	高分子ケラチン(34βE12)	扁平上皮細胞	扁平上皮癌
	低分子ケラチン8(35βH11)	一部の腺上皮細胞	一部の未分化腺癌
	ビメンチン	間葉系細胞、分裂期上皮細胞、胎児尿管上皮	間葉系腫瘍、一部の癌(Grawitz腫瘍、甲状腺癌)、未分化癌(一部)
	ミオグロビン	骨格筋、胸腺髄質myoid cell	横紋筋肉腫、横紋筋への分化を示す腫瘍成分
	デスミン	平滑筋細胞、骨格筋細胞	筋肉系腫瘍
	S100蛋白	星状膠細胞、Schwann細胞、satelite cell(神経節細胞)、軟骨細胞、脂肪細胞、T-zone組織球、Langerhans細胞(皮膚)、筋上皮細胞	神経膠腫、神経鞘腫、母斑、黒色腫、Paranglioma(satelite cell)、線維性組織球腫(一部)、histiocytosis X、軟骨肉腫、脊索腫、脂肪肉腫、唾液腺混合腫
	グリア線維性酸性蛋白(GFAP)	星状膠細胞、脳室上衣細胞	神経膠腫、上衣腫、髄芽腫、脈絡叢乳頭腫
	神経細胞線維(NF)	神経細胞、神経線維、副腎髄質細胞、内分泌細胞(一部)	神経芽腫、褐色細胞腫、カルチノイド、肺小細胞癌、甲状腺髄様癌、松果体細胞腫
	第Ⅶ因子関連抗原	血管内皮、リンパ管内皮(一部)、骨髄巨核球	血管腫、Kaposi肉腫
	前立腺特異抗原(PA)	前立腺上皮	前立腺癌
	前立腺性酸性フォスファターゼ(PSAP)	前立腺上皮、一部の内分泌細胞	前立腺癌、一部の内分泌系腫瘍
	リゾチーム	Paneth細胞、幽門腺、唾液腺、気管支腺、胆導付属腺、尿管上皮、顆粒球、大食細胞	胃・肺・胆導系由来の腺癌、唾液腺腫瘍、組織球系腫瘍
	α1-アンチトリプシン	肝細胞、その他の上皮細胞(一部)、組織球	肝細胞癌、腺癌(特に胃癌)、卵黄嚢腫瘍、組織球系腫瘍
	α1-アンチキモトリプシン		肝細胞癌、卵黄嚢腫瘍、組織球系腫瘍



### 酵素抗体染色一覧

室温 { 材料：ホルマリン固定組織 (パラフィンブロック・未染標本スライドも可) }

項目コード	検査項目	抗原分布	臨床的意義
<b>ホルモン(膵臓・消化管)</b>			
	インスリン	ランゲルハンス氏島B細胞	ランゲルハンス氏島腺腫、異所産生腫瘍
	グルカゴン	ランゲルハンス氏島A細胞	
	ガストリン	胃・腸のG細胞	
	ソマトスタチン	ランゲルハンス氏島D細胞、胃・腸のD細胞	
	隣接異ポリペプチド(PPP)	ランゲルハンス氏島D細胞の数%	
	血管作用性腸管ポリペプチド(VIP)		
	セロトニン	正常内分泌細胞	カルチノイド
<b>ホルモン(胎盤機能)</b>			
	胎盤性アルカリフォスファターゼ(PLAP)	胎盤絨毛合胞細胞、子宮頸癌reserve cell、子宮内膜被覆上皮	精上皮腫、腺癌の一部、子宮頸癌(例外的)
<b>ホルモン(甲状腺・上皮小体機能)</b>			
	サイログロブリン	正常甲状腺ろ胞上皮	甲状腺癌
	カルシトニン	甲状腺C細胞、気管支K細胞	甲状腺髄様癌、肺小細胞癌、気管支カルチノイド、ランゲルハンス氏島腫瘍(一部)
	パラサイロイドホルモン(PTH)	上皮小体細胞	上皮小体癌、異所産生腫瘍
<b>ホルモン(下垂体機能)</b>			
	甲状腺刺激ホルモン(TSH)	下垂体前葉	下垂体腺腫、異所産生腫瘍
	成長ホルモン(GH)		
	黄体形成ホルモン(LH)		
	卵胞刺激ホルモン(FSH)		
	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)		
	プロラクチン(PRL)		
	抗利尿ホルモン(ADH)	下垂体後葉	
<b>リンパ球関連</b>			
	白血球共通抗原(LCA)	リンパ球、組織球(一部)	悪性リンパ腫、形質細胞腫、緑色腫
	Tリンパ球 UCHL-1	Tリンパ球、多形核白血球、組織球(一部)	悪性Tリンパ腫
	Bリンパ球 L-26	Bリンパ球	悪性Bリンパ腫
	Leu7	NK細胞、神経線維、内分泌細胞、稀突起神経膠細胞	神経内分泌系腫瘍、肺腺癌(一部)、稀突起神経膠細胞腫
	Leu M1	多形核白血球、単球、活性化Tリンパ球、正常上皮細胞、近位尿管上皮	ホジキン細胞腫

### 参考文献

- ① 渡辺 慶一, 編: 病理と臨床2(特集I): 1399~1486, 1984.
- ② 渡辺 慶一, 編: 病理と臨床2(特集II): 1535~1633, 1984.
- ③ 渡辺 慶一, 編: 病理と臨床4(特集III): 243~314, 1986.
- ④ 渡辺 慶一, 中根 一穂, 編: 酵素抗体法(改訂三版)一巻 二巻. 学際企画: 1992.
- ⑤ 日本病理学会, 編: 病理技術マニュアル3 病理組織標本作製技術(上)初版. 医歯薬出版: 1981.
- ⑥ 日本病理学会, 編: 病理技術マニュアル3 病理組織標本作製技術(下)初版. 医歯薬出版: 1981.
- ⑦ 中尾 誠, 他: 乳癌の臨床1(2): 292, 1986.
- ⑧ 浅野 伍郎, 編: 病理技術詳解3 免疫組織化学法. 藤田企画出版: 1995.

# 病理学的検査

## 病理組織検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
病 理 組 織 検 査	A883 1 60099A154	エストロゲンレセプター (IHC) 4H010-0000-075-666	パラフィンブロック			室温	7	① 720 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	A891 2 60100A154	プロゲステロンレセプター (IHC) 4H015-0000-075-666	パラフィンブロック			室温	7	① 690 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	A899 4 614356054	エストロゲンレセプター/ プロゲステロンレセプター (IHC)	パラフィンブロック			室温	7	① 720 + 180 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	A937 1 60101A154	乳癌HER2/neuタンパク (染色法) 5D590-0000-075-666	パラフィンブロック			室温	7	② 690 ※8	酵素抗体法 (ENVISION法) &1
	B004 5 60276A154	乳癌HER2遺伝子 (FISH) 8C053-0000-075-841	パラフィンブロック			室温	7~11	②③ 2700 ※8	FISH &1
		乳癌PD-L1タンパク (IHC)22C3 5D597-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	④ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
		乳癌 PD-L1タンパク (IHC)SP142 5D599-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	④ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
		胃癌HER2遺伝子 (FISH) 8C053-0000-075-841	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	7~10	②③ 2700 ※8	FISH &1
		胃癌HER2タンパク (IHC) 5D590-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	4~6	② 690 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
		胃癌PD-L1タンパク (IHC)28-8 5D598-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	④ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	食道癌PD-L1タンパク (IHC)22C3 5D597-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	④ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1	

- ①「エストロゲンレセプター」と「プロゲステロンレセプター」の病理組織標本作製を同一月に実施した場合は、180点を主たる病理組織標本作製の所定点数に加算する。
- ②「HER2タンパク」と「HER2遺伝子」を併せて行った場合、3050点の算定となります。
- ③抗HER2ヒト化モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。
- ④抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤又は抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。

### エストロゲンレセプター・プロゲステロンレセプター (IHC)、乳癌HER2/neuタンパク(染色法)および乳癌HER2遺伝子(FISH)の提出方法

- 1)本検査は病理検査により確定診断がなされた症例について治療の方針を判定するための検査ですので、病理検査依頼書に病理診断名・組織型をご記入のうえ、ご依頼ください。
- 2)癌細胞の有無、組織型が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、病理検査依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 3)材料は10%中性緩衝ホルマリン固定液に24~48時間程度の固定を行った組織をパラフィン包埋したブロックです。パラフィンブロックは破損のないよう、ガーゼ等で包み、ビニール袋等に入れてご提出ください。
- 4)固定組織、未染色スライドでのご依頼もお受けしておりますが、以下の点にご留意ください。
  - ・固定組織の場合には、ブロック作製と同時にご依頼ください。
  - ・未染色スライドの場合には、必ずシランコートスライドをご使用のうえ、ご依頼の検査項目に応じた必要枚数(下記参照)をご提出ください。ただし、ご依頼が2項目コードの場合の必要枚数は9枚となります。

【未染色スライドでのご依頼の場合の必要枚数】

項目コード	検査項目	枚数
A883 1	エストロゲンレセプター (IHC)	4枚
A891 2	プロゲステロンレセプター (IHC)	4枚
A899 4	エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター (IHC)	6枚
A937 1	乳癌HER2/neuタンパク(染色法)	4枚
B004 5	乳癌HER2遺伝子(FISH)	4枚

- 5)乳癌HER2遺伝子(FISH)検査をご依頼の場合で、乳癌HER2/neuタンパク(染色法)の検査をすでに実施済みの場合には、病理検査依頼書にその検査成績の記載をお願いいたします。

### 乳癌PD-L1タンパク(IHC)22C3及び乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142の提出方法

- 1)癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2)材料は浸潤性乳癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3)組織は4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4)パラフィンブロックでのご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

<乳癌PD-L1タンパク(IHC)22C3>の報告内容

CPS
1未満
1以上 10未満
10以上

<ペムブロリスマブの投与基準(試薬添付文書より)>

対象患者	投与基準
乳癌	CPSが10以上

CPS(Combined Positive Score : 全腫瘍細胞数中のPD-L1陽性腫瘍細胞とPD-L1陽性免疫細胞の割合)のみの結果報告となります。単位はございません。

<乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142>の判定基準

判定	腫瘍浸潤免疫細胞のスコア	腫瘍浸潤免疫細胞の発現率
陰性	IC0	1%未満
陽性	IC1	1%以上 5%未満
陽性	IC2	5%以上 10%未満
陽性	IC3	10%以上

IC(tumor-infiltrating Immune Cells) : 腫瘍浸潤免疫細胞

# 病理学的検査

## 病理組織検査

### 胃癌HER2タンパク(IHC)及び胃癌HER2遺伝子(FISH)の提出方法

- 1)本検査は病理検査により確定判断がなされた症例について治療の方針を判定するための検査ですので、病理検査依頼書に病理診断名・組織型をご記入のうえ、ご依頼ください。
- 2)癌細胞の有無、組織型が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、病理検査依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 3)材料は胃癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、速やかにご提出ください。組織剥離防止の為にペーキングさせる場合でも、なるべく短時間(1時間以内)で処理を行い、スライドグラスをそれ以上の時間、高温に置くことは避けてください。  
なお、胃癌HER2検査病理部作成の検査ガイドでは10%中性緩衝ホルマリンで6~72時間以内(生検標本の場合は検体の大きさに準ずる。但し、固定時間は6時間以上)固定した材料が望ましいとされています。
- 4)胃癌HER2タンパク(IHC)をご依頼の場合、組織は3~4μmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から2mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。
- 5)胃癌HER2遺伝子(FISH)をご依頼の場合、組織は4~6μmの厚さに薄切してください。
- 6)パラフィンブロックで受託した場合、未染標本スライド作製のため所要日数が1日延長いたします。
- 7)胃癌HER2タンパク(IHC)と胃癌HER2遺伝子(FISH)を同一IDで受託した場合、所要日数のかかる胃癌HER2遺伝子(FISH)に合わせての同時報告となります。

### 胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8の提出方法

- 1)癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2)材料は胃癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3)組織は4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4)パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

〈胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8〉の報告内容

CPS
1未満
1以上 5未満
5以上

CPS(Combined Positive Score: 全腫瘍細胞数中のPD-L1陽性腫瘍細胞とPD-L1陽性免疫細胞の割合)のみの結果報告となります。  
単位はございません。

### 食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3の提出方法

- 1)癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2)材料は食道癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3)組織は4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4)パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

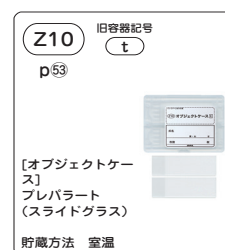
〈食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3〉の報告内容

CPS
1未満
1以上 10未満
10以上

CPS(Combined Positive Score: 全腫瘍細胞数中のPD-L1陽性腫瘍細胞とPD-L1陽性免疫細胞の割合)のみの結果報告となります。  
単位はございません。

〈ペムブロリズマブの投与基準(試薬添付文書より)〉

対象患者	投与基準
食道癌	CPSが10以上



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
病 理 組 織 検 査	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)22C3 5D597-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>4</sup> 枚	Z10	室温	5~7	① 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)28-8 5D598-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>4</sup> 枚	Z10	室温	5~7	① 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)SP142 5D599-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>4</sup> 枚	Z10	室温	5~10	① 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)SP263 5D605-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>4</sup> 枚	Z10	室温	5~10	① 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	肺癌ALKタンパク (高感度IHC) 5D594-1330-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>4</sup> 枚	Z10	室温	4~6	②③ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	肺癌ALKタンパク(IHC) D5F3 5D594-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>4</sup> 枚	Z10	室温	5~10	②③ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	肺癌ALK遺伝子(FISH) 8B323-9931-075-841	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>3</sup> 枚	Z10	室温	7~12	④ 6520 ※8	FISH &1
	メラノーマ PD-L1タンパク (IHC)28-8 5D598-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>4</sup> 枚	Z10	室温	5~10	① 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	頭頸部癌 PD-L1タンパク (IHC)22C3 5D597-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>4</sup> 枚	Z10	室温	5~10	① 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	頭頸部癌 PD-L1タンパク (IHC)28-8 5D598-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>4</sup> 枚	Z10	室温	7~10	① 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
CCR4タンパク(IHC) 5D596-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド <sup>6</sup> 枚	Z10	室温	6~7	⑤ 10000 ※8	酵素抗体法 (ポリマー法) &1	

- ① 抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤又は抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。
- ② 非小細胞肺癌患者に対して、ALK阻害剤の投与の適応を判断することを目的として、当該薬剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。
- ③ 悪性リンパ腫患者に対して、悪性リンパ腫の診断補助を目的として、悪性リンパ腫の病型分類までの間に1回を限度として算定する。
- ④ ALK阻害剤の投与の適応を判断することを目的として、当該薬剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。
- ⑤ 「CCR4タンパク(FCM)」及び「CCR4タンパク(IHC)」を同一の目的で行った場合には、原則として主たるもののみ算定する。
- ただし、医学的な必要性がある場合には、併せて実施した場合であっても、いずれの点数も算定できる。なお、この場合においては、診療報酬明細書の摘要欄にその理由及び医学的な必要性を記載すること。

### 肺癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は肺癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4~5µmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から15mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックをご依頼の場合、未染色スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

〈肺癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3)の注意事項  
判定基準

TPS(%)	判定
0	陰性
1-49	発現あり
50以上	高発現

〈ベムプロリスマブの投与基準(試薬添付文書より)〉

対象患者	投与基準
既治療 非小細胞肺癌	TPSが1%以上
未治療 非小細胞肺癌	TPSが50%以上

TPS(Tumor Proportion Score) : 腫瘍細胞中のPD-L1発現陽性細胞の割合

# 病理学的検査

## 病理組織検査

### 肺癌 PD-L1タンパク(IHC)28-8の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は肺癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4~5μmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から15mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染色スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

### 肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142、SP263の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は肺癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

<肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142>の判定基準

腫瘍細胞のスコア	腫瘍細胞の発現率	腫瘍浸潤免疫細胞のスコア	腫瘍浸潤免疫細胞の発現率
TC0	1%未満	IC0	1%未満
TC1	1%以上 5%未満	IC1	1%以上 5%未満
TC2	5%以上 50%未満	IC2	5%以上 10%未満
TC3	50%以上	IC3	10%以上

TC(Tumor Cells) : 腫瘍細胞 IC(tumor-infiltrating Immune Cells) : 腫瘍浸潤免疫細胞

### 肺癌ALKタンパク(高感度IHC)の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は非小細胞肺癌を含む組織のホルマリン固定パラフィン包埋ブロックから作製された未染標本スライドとなります。スライドはPoly-L-lysineまたはシラン等のコーティングしたスライドをご使用ください。
- 3) 組織切片は4μmの厚さに薄切し、なるべくスライド中央に貼り付け、37℃で24時間乾燥させた後、ご提出ください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

### 肺癌ALKタンパク(IHC)D5F3の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は非小細胞肺癌を含む組織のホルマリン固定パラフィン包埋ブロックから作製された未染標本スライドとなります。スライドはPoly-L-lysineまたはシラン等のコーティングしたスライドをご使用ください。
- 3) 組織切片は4μmの厚さに薄切し、なるべくスライド中央に貼り付け、37℃で24時間乾燥させた後、ご提出ください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

### 肺癌ALK遺伝子(FISH)の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は肺癌の未染色スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4~6μmの厚さに薄切してください。組織剥離防止のためにベーキングさせる場合は、2~24時間程度の処理を行ってください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染色スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。



### メラノーマPD-L1タンパク(IHC)28-8の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料はメラノーマ(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4~5μmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から15mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染色スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

### 頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は頭頸部癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

### <頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3>の報告内容

CPS
1未満
1以上20未満
20以上

CPS(Combined Positive Score : 全腫瘍細胞数中のPD-L1陽性腫瘍細胞とPD-L1陽性免疫細胞の割合)のみの結果報告となります。  
単位はございません。

### 頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は頭頸部癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4~5μmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から15mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染色スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

### CCR4タンパク(IHC)の注意事項

モガムリズマブ(遺伝子組換え)の適応を判断するための補助に用います。疾病の診断や治療効果の確認を目的とした場合、有効性が確認されておりませんので、そのような目的で使用しないでください。(試薬添付文書より)

### CCR4タンパク(IHC)の提出方法

- 1) 本検査は、「ATL(成人T細胞白血病リンパ腫)、再発または難治性のPTCL(末梢性T細胞リンパ腫)およびCTCL(皮膚T細胞性リンパ腫)患者」について治療の方針を判定するための検査ですので、依頼書に診断名をご記入のうえ、ご依頼ください。また、可能であれば検査ご依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。
- 2) 材料は組織を10~20%ホルマリン固定液に24~48時間程度の固定をし、包埋したパラフィンブロックから作製された未染標本スライドとなります。標本は3~4μmの厚さに薄切し、シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。

# 総合解析検査

## 総合解析検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
総合解析検査	<b>曜日指定</b> <b>悪性リンパ腫</b> <b>総合解析検査</b> <b>「ML-NET」</b>	組織(生) 0.5g (10×10× 5mm程度)	(組織 (生)) H20	(組織 (生)) 冷蔵	*	6150 ※2 ※3 ※8	(病理組織検査) ヘマトキシリン・ エオジン染色、 特殊染色 (PAS、鏡銀) および酵素抗体 法(LSAB法)		<b>重</b> 組織(生):凍結保存は避けてくださ い。 受託可能日は、月～金曜日です。 他の項目との重複依頼は避けてく ださい。本検査は、病理組織検査、 酵素抗体染色、表面マーカー検査、 染色体検査を用いた総合解析検査 です。 本検査で判定が困難な症例につ きましては、当社から追加検査のご 確認をさせていただきます。
		ホルマリン 固定組織 0.5g (10×10× 5mm程度) と 凍結組織0.5g (10×10× 5mm程度)	(ホルマリン 固定組織) VPO と (凍結 組織) VP1	(ホルマリン 固定組織) 室温 と (凍結 組織) 凍結			(LSMA CD45 ゲーティング) フローサイト メトリー  (染色体検査) G-bandまたは FISH		

&I

### 悪性リンパ腫総合解析検査の所要日数と実施料・判断料について

\* 所要日数

一次解析検査9～13日前後(症例により遅延することがあります)

総合解析検査約1ヵ月前後

\*\*実施料/判断料

病理組織標本作製860点(※8) 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製400点(※8) LSMACD45ゲーティング1940点(※3) 染色体検査2553+397点(※2)

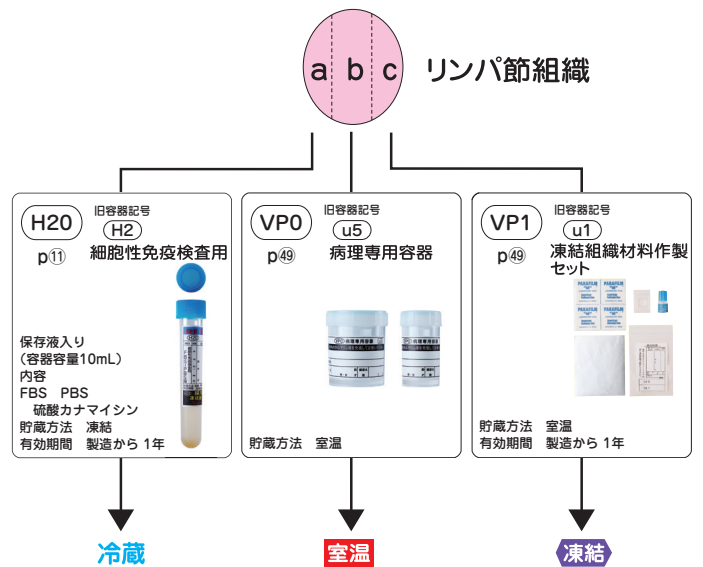
### 悪性リンパ腫総合解析検査「ML-NET」について

- 1)染色体FISHは、染色体G-bandingが検査できない場合に適切なFISH項目を自動追加いたします。
- 2)本検査で判定が困難な症例につきましては、当社から追加検査のご確認をさせていただきます。  
追加検査につきましては、別途検査料金をご請求申し上げますので、あらかじめご了承ください。

追加項目名称	備考
酸素抗体染色	症例により検査内容が異なります。
遺伝子解析検査	

### 悪性リンパ腫総合解析検査「ML-NET」の提出方法

- 1)検体は採取後、当日中にご提出ください。
- 2)組織は無菌的に採取してください。
- 3)採取した組織を3分割してください。
- 4)分割した組織(a)は専用容器(H20)に無菌的に入れ冷蔵保存してください。
- 5)分割した組織(b)は20%ホルマリン液を充填した専用容器(VPO)に無菌的に入れて固定し室温保存してください。
- 6)分割した組織(c)は凍結組織材料作製セット(VP1)の添付資料に従って処理し必ず凍結保存してください。





	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
リ	5521 7 T00000246	男性AIRS (認知機能評価あり)	速やかに 冷却 過心 血漿 各0.5	PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	9~12		LC/MS		<b>【重要】</b> 50歳以上の方、かつAIRS(認知機能低下)を選択した方が受診する際には、本コードをご選択ください。なお、49歳以下の方は、AIRS(認知機能低下)の検査対象外(除外基準)となりますので、別コード(認知機能評価なし)をご選択ください。 検体取扱い方法は次ページをご参照ください。 本項目は、血液中のアミノ酸濃度から、委託先(味の素株式会社)にてデータ解析することにより、AICS <sup>®</sup> 及びAIRS <sup>®</sup> を報告する検査です。なお、本検査結果はその他の検査結果を考慮して総合的に判断してください。
	5523 5 T00000248	女性AIRS (認知機能評価あり)								
ク	5519 0 T00000245	男性AIRS (認知機能評価なし)	速やかに 冷却 過心 血漿 各0.5	PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	9~12		LC/MS		<b>【重要】</b> 49歳以下の方は、AIRS(認知機能低下)の検査対象外(除外基準)となります。49歳以下の方、あるいは50歳以上の方であってもAIRS(認知機能低下)を選択しなかった方が受診する際には、本コード(認知機能評価なし)をご選択ください。 検体取扱い方法は次ページをご参照ください。 本項目は、血液中のアミノ酸濃度から、委託先(味の素株式会社)にてデータ解析することにより、AICS <sup>®</sup> 及びAIRS <sup>®</sup> を報告する検査です。なお、本検査結果はその他の検査結果を考慮して総合的に判断してください。
	5522 6 T00000247	女性AIRS (認知機能評価なし)								
査	5957 4 T00005957	男性AICS(5種)	速やかに 冷却 過心 血漿 各0.5	PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	9~12		LC/MS		<b>【重要】</b> 検体取扱い方法は次ページをご参照ください。 本項目は、血液中のアミノ酸濃度から、委託先(味の素株式会社)にてデータ解析することにより現在、がんである可能性を評価する検査です。なお、本検査結果は、その他の検査結果を考慮して総合的に判断してください。
	5958 3 T00005958	女性AICS(6種)								

### アミノインデックス<sup>®</sup>とは

アミノインデックス<sup>®</sup>は、血液中の各種アミノ酸濃度のバランスから、現在の健康状態や病気の可能性を明らかにする検査です。アミノインデックス<sup>®</sup>の解析は、味の素株式会社に委託して解析されています。

### AIRS<sup>®</sup>(AminoIndex<sup>®</sup> Risk Screening)とは

アミノインデックス<sup>®</sup>を用いて1回の採血で、血液中のアミノ酸バランスから、現在・将来のさまざまな疾患リスクを一度に評価する検査です。

### AICS<sup>®</sup>(AminoIndex<sup>®</sup> Cancer Screening)とは

アミノインデックス<sup>®</sup>を用いて、現在がんである可能性を評価する検査です。

男性AICS5種:胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん

女性AICS6種:胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん(子宮頸がん、子宮体がん)・卵巣がん

### AIRS<sup>®</sup>(AminoIndex<sup>®</sup> LifeStyle diseases)とは

血液中のアミノ酸濃度バランスから10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク、4年以内に糖尿病を発症するリスク、血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ、および現在認知機能が低下している可能性を評価し、検査結果に基づくI~IV、およびI\*~IV\*のタイプを報告します。また、このタイプをもとに、生活改善評価情報が提供できます。なお、AIRS<sup>®</sup>単独での受託はできません。

# リスク検査

## リスク検査

### AIRS®、AICS®の留意事項

AIRS®は下記年齢の日本人(妊娠されている方を除く)を対象として開発された検査です。これらの方以外は評価対象外となります。

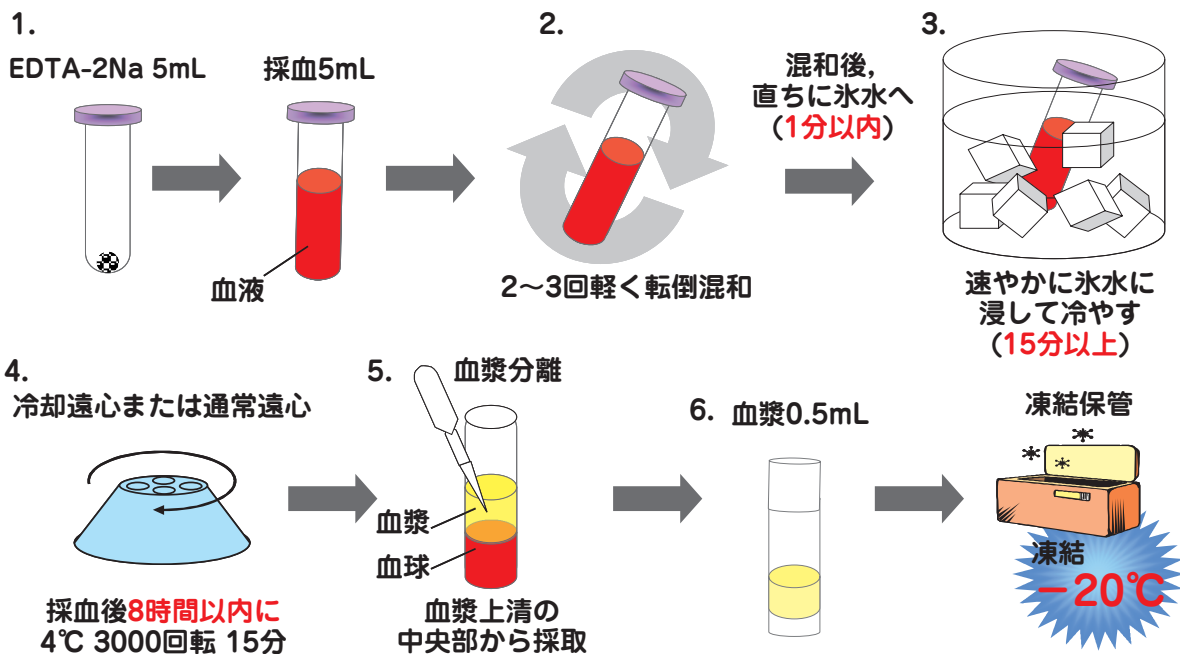
	検査項目	評価対象	対象年齢
男性	AICS(5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25歳～90歳
		前立腺がん	40歳～90歳
	AILS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク	30歳～74歳
	AILS(糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク	20歳～80歳
	AILS(アミノ酸レベル)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	
AILS(認知機能低下)	現在認知機能が低下している可能性 ※AILS(認知機能低下)については49歳以下の方は選択できません	50歳～100歳※	
女性	AICS(6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25歳～90歳
		子宮がん・卵巣がん	20歳～80歳
	AILS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク	30歳～74歳
	AILS(糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク	20歳～80歳
	AILS(アミノ酸レベル)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	
AILS(認知機能低下)	現在認知機能が低下している可能性 ※AILS(認知機能低下)については49歳以下の方は選択できません	50歳～100歳※	

・脳卒中の方・心筋梗塞の方、糖尿病の方、認知症の方、軽度認知障害の方(いずれも医療機関で診断を受けた方、あるいは治療中の方)の場合、その疾病・所見に関するAILS値や生活習慣改善タイプは出力されますが、いずれも評価対象外となります。

- ・妊娠されている方、授乳中の方、がん患者(治療を含む)の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、検査結果に影響があるため、検査の実施はご遠慮ください。なお、AILS(認知機能低下)については49歳以下の方は選択できません。
- ・検査前8時間以内に、水以外(食事、サプリメント等)は摂取せず、午前中に採血してください。(検査前日の高タンパク質の食事も避けてください)また、当日朝の運動は控えください。
- ・薬剤による本検査への影響はわかっておりません。
- ・他項目との重複依頼は避けてください。
- ・強溶血検体や、血漿(EDTA-2Na)以外の材料での、受託はできません。
- ・ご依頼の際は性別・年齢を必ず明記してください。

### 検体の取り扱いについて

1. EDTA-2Na入り採血チューブにて血液約5mLを採取してください。
2. 採血直後、血液を2～3回軽く転倒混和してください。(ローラーでの混和は行わないでください)
3. 混和後直ちに(1分以内)採血チューブを氷水中(血液の液面まで氷水につかる状態)で冷却(15分以上、遠心操作まで冷却)してください。
4. 採血から8時間以内に冷却条件で遠心分離(4℃、3000回転、15分)または通常遠心分離(3000回転、15分、ローターが昇温していないこと)してください。
5. 遠心後、直ちに上清の血漿を血液との界面に触れないように血漿上清の中央部から採取し、分注してください。
6. 分注後、血漿を4時間以内に凍結保存してください。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
B751 6 T00000275	My Nightingale (マイ ナイチンゲール)	速やかに遠心 血清 1.0	S09 ↓ A00	凍結 (30日)	14~28		プロトン核 磁気共鳴 (NMR) 分光法		<b>重</b> 検体の取り扱い方法は下記をご参照ください。本項目は株式会社ウェルタスへ委託し、Nightingale Health Japan株式会社にて測定・解析することで総合的な健康状態を把握するための検査です。本検査は特定の病気の診断をするものではありません。 &Y

### My Nightingale™(マイ ナイチンゲール)とは

My Nightingale™(マイ ナイチンゲール)は、プロトン核磁気共鳴(NMR)分光法を用いて250項目の血清中バイオマーカーを測定し、得られた測定値からNightingale Health社が開発した総合健康指標(ナイチンゲールヘルススコア)および各種健康指標(炎症スコア/コレステロールバランススコア/脂肪酸バランススコア/糖尿病耐性スコア/心臓年齢/心血管疾患リスク/2型糖尿病リスク)を算出し、総合的な健康状態を把握するための検査です。

### バイオマーカー測定値より算出される総合健康指標および各種健康指標

炎症スコア	...	全身の炎症状態の把握。慢性的な全身の軽度炎症は、特に腹部の過剰な脂肪量に関連しており、糖尿病や心臓病などの慢性疾患の発症に中心的役割を果たしていることがわかっています。
コレステロールバランススコア	...	HDL粒子のタンパク質であるApoA1とVLDLやLDL粒子のタンパク質であるApoBの比率。この比が高いほど血中コレステロールのバランスが良いといえます。
脂肪酸バランススコア	...	多価不飽和脂肪酸(PUFA)と一価不飽和脂肪酸(MUFA)の比率。PUFAは糖尿病や心臓病のリスクを軽減し、MUFAが高いと太り過ぎやインスリン抵抗性を示唆する。脂肪酸バランスが高いほど健康的であるといえます。
糖尿病耐性スコア	...	2型糖尿病の発症に対し、なりにくさを知るための推測値。グルコース、中性脂肪、HDLコレステロール、糖タンパクアセチルなど複数のバイオマーカーから算出されます。
心臓年齢	...	実年齢に対する心血管系の健康状態を反映します。コレステロール、糖タンパクアセチル、ApoB/ApoA1比などから今後10年間の心臓病リスクを算出し、標準データと比較して心臓年齢を算出します。
心血管疾患リスク	...	今後10年間の心血管疾患罹患リスク
2型糖尿病リスク	...	今後10年間の2型糖尿病罹患リスク
ナイチンゲールヘルススコア	...	各種健康指標から算出された総合健康指標。日常生活における生活習慣や食生活の状況を反映し、継続的に検査を受けることで全身の健康状態の変化を把握することができます。

### 各種健康指標及び総合健康指標の判定基準

スコア名	評価内容	スコア名	評価内容
炎症スコア	非常に良好(90-100) 良好(80-89) 改善の余地あり(60-79) 要改善(50-59) 要注意(40-49)	心血管疾患リスク	低/境界/平均/高
コレステロールバランススコア		2型糖尿病リスク	低/境界/平均/高
脂肪酸バランススコア		心臓年齢	18~∞(歳)
糖尿病耐性スコア			良い(実年齢+1歳未満) 要改善(実年齢+1歳以上)
ナイチンゲールヘルススコア			

### [B751 6] My Nightingale(マイ ナイチンゲール)の留意事項

- 空腹時採血による検査です。採血前4時間以上の絶食をお願いします。
- 検査当日に食事をすることは、脂質の多い食事や食べ過ぎに注意してください。
- 本検査結果は受診者の血液から測定したバイオマーカー(血液中に含まれる様々な成分)を分析することで、集団における統計的な傾向や、測定値が受診者と同様の人の結果を示すことを目的としており、受診者の健康状態や体質、病気を診断するものではありません。
- 現在妊娠中の方、病気をお持ちの方、治療中・投薬中の方は正確な結果が得られない可能性があります。
- 本検査のバイオマーカー測定結果は既存測定方法と同じ値にならない可能性があります。
- 他項目との重複依頼は避けてください。
- 強溶血検体や指定容器以外で採血された検体の受託はできません。
- ご依頼の際は採取日、年齢、性別を必ず記載してください。

### 検体の取り扱いについて

- 指定の採血容器に5mL程度を採血し、4~5回転倒混和してください。
- 採血後、1時間以内に遠心分離(15~20℃で1500G、10分以上)し、血清1.0mLを分注してください。  
※分注剤入り採血管で遠心分離した際は、室温保管(9~25℃)の場合8時間以内、冷蔵保管(0~8℃)の場合24時間以内に分注してください。
- 分注後、直ちに凍結してご提出ください。

# 研究検査

## ウイルス感染症検査／免疫関連検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	K311 5 021072401	水痘・帯状疱疹 ウイルスDNA定量	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	① 450 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	2.0×10 <sup>1</sup> 未満 (コピー/10 <sup>6</sup> cells)	血液：凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1	
	B504 0 021072429		5F193-1441-041-862 5F193-1441-041-862	髄液 0.7	ARR				凍結 (1ヵ月)		① 450 ※7
	0242 2 020252401	ヒトヘルペス ウイルス 6型DNA定量	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	2~4		PCR (リアルタイム PCR)	2.0×10 <sup>1</sup> 未満 (コピー/10 <sup>6</sup> cells)		凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取り 扱いに充分ご注意ください。 &1
	E475 0 025319104	HCV1b-IFN/ リバビリン変異	血清 0.5	S3F S5F	凍結	10~14		ダイレクト シーケンス法	AA70 検出せず AA91 検出せず		HCVジェノタイプが1b型のみ検査 対象です。他項目との重複依頼は 避けてください。本検査方法では コンタミネーションの影響がより 大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意く ださい。 &1
1038 8 011571802	麻疹ウイルス(PA) ワクチン	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5		PA	(倍)	ワクチン接種を目的としたウイル ス抗体検査です。 &1		
A247 7 01217A102	TNF-α (高感度)	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	事前に ご確認 ください		ELISA	0.75~1.66 (参考値) (pg/mL)	&1		

① 免疫不全状態であって、単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染症が強く疑われる患者を対象としてリアルタイムPCR法により測定した場合に、一連として1回のみ算定できる。

### 研究検査

当社の通常受託項目とは異なり研究を目的とした検査であるため、基準値ならびに臨床的意義が明確にならない項目もございますので、内容をご理解のうえ、ご依頼いただきますようお願い申し上げます。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
6781 8 019135102	TSBAb(TSHレセプター 抗体[阻害型])  5G305-0000-023-905	血清 1.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~5		Bioassay EIA	31.7以下 (%)	&1
3706 4 015611402	亜硝酸/硝酸イオン 4Z500-0000-023-204	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	3~16		HPLC	亜硝酸イオン 1以下 硝酸イオン 10~71 ( $\mu$ mol/L)	&1
8888 8 016551902	レプチン 4Z400-0000-023-001	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~9		RIA2抗体法	(ng/mL)	&1
B595 0 012010629	総タウ蛋白(AD)  5C200-0000-041-052	髄液 2.5	XR5	冷蔵 (15日)	3~9		CLEIA	146~410 (pg/mL)	<b>重</b> [B594 1:リン酸化タウ]および[B590 5:β-アミロイド1-42/1-40比]以外との重複依頼は避けてください。 指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器(XR5)で提出してください。 指定の検体量より少ない場合は、データへ影響を及ぼす可能性がありますので、必ず所定の量(2.5mL)にて提出してください。 検体の取り扱い上、クロイツフェルト・ヤコブ病を疑う患者検体の場合は、受託できません。クロイツフェルト・ヤコブ病の診断目的の場合は[A194 6:タウ蛋白]をご依頼ください。&3
K303 4 020380602	高分子量アディポネクチン [CLEIA] 4Z402-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~8		CLEIA	( $\mu$ g/mL)	&3
9252 2 T00000249	PGE-MUM[CLEIA] 4Z150-0000-001-052	部分尿 2.0	A00	冷蔵 (21日)	2~8		CLEIA	濃度 (ng/mL) 換算値 ( $\mu$ g/gCr)	午前中尿をご提出ください。 &I
	PCDHB DNA メチル化解析  8C301-9952-070-848	組織 250mg	ARR	凍結	12~17		パイロ シーケンス法	(%)	<b>重</b> 他項目との重複依頼は避けてください。本検査は、神経芽細胞腫の予後リスクを予測するための検査です。手術により摘出した副腎および神経節の癌部の凍結組織をご提出ください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。&1
	miR34b/c DNA メチル化解析  8C302-9952-070-848	組織 250mg	ARR	凍結	12~17		パイロ シーケンス法	(%)	<b>重</b> 他項目との重複依頼は避けてください。本検査は、早期胃癌の内視鏡切除後及び手術後の異時性多発性癌のリスクを予測する検査です。シドニーシステム基準で採取した胃体部大弯の生検組織をご提出ください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。&1

### 研究検査

当社の通常受託項目とは異なり研究を目的とした検査であるため、基準値ならびに臨床的意義が明確にならない項目もございますので、内容をご理解のうえ、ご依頼いただきますようお願い申し上げます。

#### [A226 0]抗ミューラー管ホルモン(AMH)基準値

(単位: ng/mL)

女性	20~24歳	2.00~12.5
	25~29歳	1.95~10.7
	30~32歳	0.64~14.2
	33~35歳	0.89~8.31
	36~38歳	0.40~6.92
	39~41歳	0.11~7.26
	42~44歳	0.07~4.13
45~49歳	1.52以下	
男性	0.77~14.5	

# 研究検査

## 自己抗体検査／補体系検査／その他

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
自己抗体検査	6767 4 019161502	抗皮膚抗体 5G395-0000-023-162	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	5~9		IFA	10未満 (倍)	&E
	6472 1 016880802	←海外委託 抗ヒストン抗体 5G095-0000-023-023	血清 1.0	S7P ↓ A00	凍結	12~17		EIA	1.0未満 (Units) 判定基準:下記参照	&K
	8565 6 016871502	←海外委託 抗ランゲルハンス氏島 抗体(ICA) 5G335-0000-023-162	血清 2.0	S7P ↓ A00	凍結	12~17		免疫蛍光抗体 間接法	陰性 (1.25未満) (JDF UNITS)	&K
	6473 0 016914402	←海外委託 抗好中球抗体 5G540-0000-023-662	血清 1.0	S7P ↓ A00	凍結	13~17		フローサイト メトリー	(-)	&K
	1415 9 021190802	抗プロトロンビン 抗体	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~15		ELISA	12未満(参考値) (U/mL)	抗プロトロンビン・フォスファチ ジルセリン複合体抗体を測定して います。 &1
補体系検査	8580 9 018142702	←海外委託 C1エステラーゼ 抑制因子定量 5B045-0000-023-063	血清 1.0	S7P ↓ A00	凍結	13~17		ネフェロメトリー	21~39 (mg/dL)	&K
	7716 9 01686A103	←海外委託 補体因子(C2)	血漿 1.0	PN2, PN5 ↓ A00	凍結	12~17		Radial Immunodiffusion	1.6~3.5 (mg/dL)	&K
		5B022-0000-022-091 5B022-0000-023-091	血清 1.0	S7P ↓ A00						
その他	8585 4 01689A102	←海外委託 破傷風抗体 5E060-0000-023-022	血清 1.0	S7P ↓ A00	凍結	13~17		EIA	0.10以上 (IU/mL)	健常者のワクチン接種による抗体 価獲得のスクリーニング検査であ り罹患者のモニタリングには不適 当です。 &K
	8586 3 01690A102	←海外委託 ジフテリア抗体 5E062-0000-023-022	血清 1.0	S7P ↓ A00	凍結	13~17		EIA	0.10以上 (IU/mL)	健常者のワクチン接種による抗体 価獲得のスクリーニング検査であ り罹患者のモニタリングには不適 当です。 &K

### 研究検査

当社の通常受託項目とは異なり研究を目的とした検査であるため、基準値ならびに臨床的意義が明確にならない項目もございますので、内容をご理解のうえ、ご依頼いただきますようお願い申し上げます。

### 海外委託検査依頼上の注意事項

1. 検体保存は厳守してください。
2. 検体返却はできませんので、あらかじめご了承ください。
3. 国内検査との依頼書および検体の重複は避けてください。
4. ご依頼は当社依頼書右下の「欄外項目」に依頼項目コード、依頼項目名をご記入ください。

### [6472 1]抗ヒストン抗体(判定基準)

Units	判定
<1.0	陰性
1.0 ~ 1.5	弱陽性
1.6 ~ 2.5	陽性
>2.5	強陽性



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
神 経 ・ 筋 疾 患 検 査	6846 6 012513302	←海外委託 ミエリン随伴性糖蛋白 (MAG)自己抗体 5G800-0000-023-021	血清 2.0	S09 ↓ A00	凍結	24~29	ELISA	SGPG(ELISA) 3200以下 MAG(ELISA) 1600以下 (TITER)	SGPG、MAGいずれかでも陽性の 場合、ウエスタンブロット法にて 検査結果を確定いたします。 血清以外の材料は受託不可です。 &Q
	6850 1 012553302	←海外委託 スルファチド自己抗体 (IgG,IgM) 5G802-0000-023-021	血清 2.5	S09 ↓ A00	凍結	21~29	ELISA	IgG 2000未満 IgM 2000未満 (TITER)	血清以外の材料は受託不可です。 &Q
	4783 8 016388901	倫理指針対象 曜日指定 ←海外委託 LHONミトコンドリア DNA Evaluation 8C803-9951-019-894	血液 8.0 (EDTA-2Na加)	PN5 2本	冷蔵	30~48	PCR-RFLP		重凍 凍結保存は避けてください。11778、3460、 14484 塩基の変異を探索いたします。 血液材料での受託可能日は木、金曜日です。 検体は採取後、当日中にご提出ください。 左記材料以外は受託不可です。他項目との重 複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響が より大きくなりますので、検体採取にあたって は取り扱いに充分ご注意ください。 &Q
		倫理指針対象 曜日指定 ←海外委託 MELASミトコンドリア DNA Evaluation 8C804-9951-070-894 8C804-9951-019-894	筋組織 100mg	ARR	凍結 (-70℃)	30~48	PCR-RFLP		重 血液:凍結保存は避けてください。 探索する塩基は下記をご参照くだ さい。血液材料での受託可能日は 木、金曜日です。検体は採取後、 当日中にご提出ください。左記材 料以外は受託不可です。他項目と の重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。
	倫理指針対象 曜日指定 ←海外委託 MERRFミトコンドリア DNA Evaluation 8C806-9951-070-894 8C806-9951-019-894	血液 8.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵	30~48	PCR-RFLP			
	倫理指針対象 曜日指定 ←海外委託 NARPミトコンドリア DNA Evaluation 8C802-9951-070-894 8C802-9951-019-894	筋組織 100mg	ARR	凍結 (-70℃)	30~48	PCR-RFLP			
		血液 8.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵					&Q

倫理指針対象 (5ページ参照)

### 海外委託検査依頼上の注意事項

1. 検体保存は厳守してください。(特に-70℃保存検体は充分注意してください。)
2. 検体返却はできませんので、あらかじめご了承ください。
3. 国内検査との依頼書および検体の重複は避けてください。
4. ご依頼は当社依頼書の「欄外項目」に依頼項目コード、依頼項目名をご記入ください。

### ミトコンドリアDNA Evaluation探査塩基一覧

	MELAS ミトコンドリアDNA Evaluation	MERRF ミトコンドリアDNA Evaluation	NARP ミトコンドリアDNA Evaluation
MELAS 3243 tRNA Leu A3243G	*	—	—
MELAS 3271 tRNA Leu T3271C	*	—	—
MELAS 3252 tRNA Leu A3252G	*	—	—
MELAS 3256 tRNA Leu C3256T	*	—	—
MELAS 3291 tRNA Leu T3291C	*	—	—
MELAS 13,513 ND5 G13513A	*	—	—
MERRF 8344 tRNA Lys A8344G	—	*	—
MERRF 8356 tRNA Lys T8356C	—	*	—
MERRF 8363 tRNA Lys G8363A	—	*	—
MERRF 8296 tRNA Lys A8296G	—	*	—
NARP 8993 ATPase6 T8993G	—	—	*
NARP 8993 ATPase6 T8993C	—	—	*

\*対象となる塩基

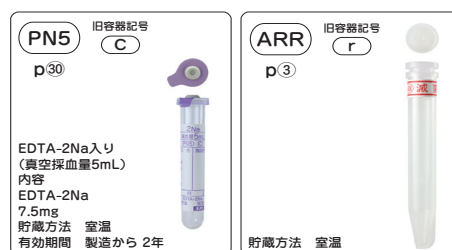
# Athena依頼検査

## 腫瘍関連検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
腫瘍 関連 検査	A068 6 00870A102 ←海外委託 Ri自己抗体 5G810-0000-023-833 5G810-0000-041-833	血清 2.0	S09 ↓ A00	凍結	11~18		IFA	血清：50未満 髄液：1未満 (TITER)	指定材料以外は受託不可です。  &Q
		髄液 2.0	A00						
	A069 5 00871A102 ←海外委託 Hu自己抗体 5G811-0000-023-021 5G811-0000-041-021	血清 2.0	S09 ↓ A00	凍結	11~18		IFA	血清：100未満 髄液：1未満 (TITER)	指定材料以外は受託不可です。  &Q
		髄液 2.0	A00						
	A070 3 00872A102 ←海外委託 Yo自己抗体 5G812-0000-023-833 5G812-0000-041-833	血清 2.0	S09 ↓ A00	凍結	11~18		IFA	血清：200未満 髄液：1未満 (TITER)	指定材料以外は受託不可です。  &Q
		髄液 2.0	A00						
	A071 2 02166A102 ←海外委託 腫瘍随伴性レチノパシー (CAR)自己抗体	血清 2.0	S09 ↓ A00	凍結	11~18		IFA	血清：50未満 髄液：1未満 (TITER)	指定材料以外は受託不可です。  &Q
		髄液 2.0	A00						

### 海外委託検査依頼上の注意事項

1. 検体保存は厳守してください。(特に-70℃保存検体は充分注意してください。)
2. 検体返却はできませんので、あらかじめご了承ください。
3. 国内検査との依頼書および検体の重複は避けてください。
4. ご依頼は当社依頼書の「欄外項目」に依頼項目コード、依頼項目名をご記入ください。





## アレイCGH法

蛍光標識したサンプル由来DNAと正常細胞由来DNAを比較することにより、ゲノムに生じる増幅や欠失などのコピー数変化(CNV)を検出するcomparative genomic hybridization (CGH)の原理とマイクロアレイの技術を組み合わせた方法です。

## インベーター法

DNAの三重鎖構造を特異的に認識して切断するクリベース(エンドヌクレアーゼの一種)を利用した、二段階のホモジニアスな等温反応からなる遺伝子多型の判定法。

## ウェスタンブロット法(Western blot)

目的とする蛋白質を電気泳動により分画し、電気的にニトロセルロース膜に転写して、目的の蛋白質に対する抗体を反応させた後、酵素で標識した抗体を2次反応させ、目的の蛋白質を検出する方法。イムノブロット法とも呼ばれる。

## 液相(核酸)ハイブリダイゼーション

液相中でrRNAを遊離させ、化学発光物質で標識したDNAプローブを用いてハイブリダイゼーションを行い、ハイブリッドを分離剤に吸着させた後、化学発光により検出する方法。

## オクタロニー法(Ouchterlony method)

### 平板内二重免疫拡散法

平板内二重免疫拡散法と呼ばれるゲル内拡散法の1つ。ゲル内で抗体と抗原を拡散させ、抗原抗体反応により形成された沈降線の数や反応性の有無から、抗原と抗体の反応を確認する方法。

## 凝固時間法

測定対象となる因子の欠乏血漿とトロンボプラスチン、アクチン、塩化カルシウムを加え、凝固するまでの時間を測定する方法。

## 金コロイド法

金コロイド標識抗体を反応させ、抗原抗体反応により金コロイド粒子が凝集する色調変化を光学的に測定する方法。

## 原子吸光分析法

元素試料を化学炎中や加熱グラファイト管中などで元素の原子化を行い、この原子蒸気に元素固有の共鳴線をあてると原子蒸気中の原子の数に応じて吸収されることを利用して、吸光度から元素量を定量する方法。

## 酵素抗体法

目的とする抗原に対して、酵素で標識した抗体を用いて抗原抗体反応を行い、発色基質を加えて酵素活性を測定する方法。酵素で標識した抗体を直接反応させる直接法と、抗原に対して未標識の抗体を反応させた後、酵素で標識した抗体を2次反応させる間接法がある。

## 酵素法

測定原理は比色法と同様で、測定物質を酵素を用いて特異的に測定する方法。

## サザンブロットハイブリダイゼーション(Southern blot hybridization)

制限酵素で消化したDNAを電気泳動により分画し、1本鎖DNAに変性後、毛細管現象を利用してナイロンメンブレンに転写して、標的プローブとハイブリダイゼーションを行い、目的の遺伝子を検出する方法。DNAの量的、質的変化の異常を解析する場合に用いられる。

## 次世代シーケンス(NGS)法

次世代シーケンサーを用いて、膨大な数のDNA断片の塩基配列の決定を、同時並行的に行う方法。

## ダイレクトシーケンス法

PCR法で増幅したDNAを鋳型として直接塩基配列を決定する方法。

## 超遠心法

超遠心機を用いて蛋白質の比重の差により分離し測定する方法。

## 電気泳動法

荷電粒子の浮遊する電解質溶液に通電すると、粒子は各粒子の荷電と逆の極側に移動する現象を利用し、移動度から目的の物質を測定する方法。

水溶液支持体にはセルロースアセテート膜、アガロースゲル、ポリアクリルアミドゲルなどが用いられる。

## 電極法

電極と溶液界面における電荷移行反応を利用した方法。イオン選択電極は特定のイオンにตอบสนองし、イオンの活量の対数に比例して生じる電位差からイオンの濃度を測定する。

## 等温核酸増幅法

PCR法とは異なり、鎖置換型DNA合成酵素などを用いて、核酸を一定温度で増幅する方法。

## ネフェロメトリー (Nephelometry)

抗原抗体反応による混濁物に光を照射させ、光の散乱強度を測定する方法。

## 発色性合成基質法

ヘパリンを加えてAT-III-ヘパリン複合体を形成させ、そのトロンビン不活化能をトロンビンに対する発色性合成基質を用いて測定する方法。

## 比色法(Colorimetry)

測定物質を着色物質に変換後、可視部波長を照射して吸光度を測定して色調を標準液と比較する方法。

## フローサイトメトリー (Flow cytometry)

蛍光色素で標識したモノクローナル抗体で染色した細胞を高速度で流しながらレーザー光を照射し、前方散乱光(細胞の大きさ)や90°散乱光(細胞の内部構造)と蛍光強度(細胞表面の対応抗原)から個々の細胞を解析する方法。

2種類の蛍光色素を用いて二重染色を行い解析する場合はTwo-colorフローサイトメトリーと呼ばれる。

# 検査方法の概略

## プロトン核磁気共鳴(NMR)分光法

静磁場に置かれた物質の構成原子核がその核特有の周波数のラジオ波に共鳴して低エネルギーの核スピン状態から高エネルギーの核スピン状態に移移することに伴いラジオ波を吸収する現象を利用したスペクトル測定法。

## マルチプレックスPCR-フラグメント解析(Multiplex PCR Fragment Analysis)

複数の標的遺伝子を増幅後、PCR増幅産物をシーケンサーにてキャピラリー電気泳動を行う。  
DNAのサイズに応じて分離され、増幅量に応じたピークを専用ソフトウェアにより設定されたQMVR幅により解析、識別する方法。

## メチレーションPCR

非メチル化シトシンがバイサルファイト処理でウラシルに変換されることを利用し、バイサルファイト処理後のメチル化シトシンと非メチル化シトシンの塩基配列の違いから対象領域のメチル化をPCRで確認する方法。

## ラインプロット法(Line immunoassay)

抗原を機械的にメンブレン上に点着し、抗原に対する特異的抗体を反応させた後、酵素で標識した抗体を、2次反応させ、抗体の検出を行う方法。

## リアルタイムPCR

PCR法を基本原理とする核酸増幅法の一つであり、分解により蛍光を発するオリゴヌクレオチドを利用することにより、PCRサイクルごとに蛍光シグナルを確認することでリアルタイムにターゲット核酸の定量が可能となる測定方法。

## (各種)band

リンパ球または骨髄細胞を培養し、分裂中期の細胞を固定する。その後、色素で染色体上に縞模様(バンド)を染め出し、その分布と濃淡から分析を行う方法。  
トリプシン溶液で処理後ギムザ染色を行うG-Banding、HCl、Ba(OH)<sub>2</sub>、2×SCCで処理後ギムザ染色するC-Banding、キナクリン・マスタードで染色後、蛍光顕微鏡で観察するQ-Banding、分裂前期の終わりから分裂中期の始めの分裂像を用い、通常よりバンド数を増やして観察する高精度分染法などがある。

## CF(Complement fixation)

### 補体結合反応

補体が抗原抗体複合体と結合することと溶血反応を引き起こすことを利用した方法。  
赤血球に溶血素を結合した感作赤血球は補体が結合すると溶血を起こすが、抗原抗体複合体が存在すると補体が消費され溶血が阻止されることから、溶血の程度から抗体の存在を判定する。

## CLEIA(Chemiluminescent enzyme immunoassay)

### 化学発光酵素免疫測定法

固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、酵素標識した抗体を抗原に2次反応させ、化学発光基質を加えて発光強度を測定する方法。

## CLIA(Chemiluminescent immunoassay)

### 化学発光免疫測定法

固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、化学発光性物質で標識した抗体を抗原に2次反応させ、化学発光性物質の発光強度を測定する方法。

## ECLIA(Electro chemiluminescence immunoassay)

### 電気化学発光免疫測定法

抗体を結合したビーズを用いて抗原と反応させた後、ルテニウムピリジン錯体で標識した抗体を抗原に2次反応させ、電気化学反応によりルテニウムピリジン錯体の発光強度を測定する方法。

## EIA(Enzyme immunoassay)

### 酵素免疫測定法

測定原理はRIAと同様で、標識物質に酵素で標識した抗原または抗体を用いて抗原抗体反応を行い、発色基質を加えて酵素活性を測定する方法。

## ELISA(Enzyme-Linked immunosorbent assay)

### 酵素免疫測定法

固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、酵素標識した抗体を抗原に2次反応させ、発色基質を加えて酵素活性を測定する方法。

## ELISPOT(Enzyme-Linked ImmunoSpot)

抗体を固相化したプレートに、分離細胞と特異抗原を加え培養し、細胞から産生されたタンパク質を発色基質と反応させ、スポットを得る方法。

## FA(Fluorescent antibody method)

### 蛍光抗体法

## IFA(Indirect Fluorescent antibody method)

### 間接蛍光抗体法

目的とする抗原に対して、蛍光色素で標識した抗体を用いて抗原抗体反応を行い、蛍光顕微鏡下で蛍光強度を測定する方法。  
蛍光色素で標識した抗体を直接反応させる直接法と、抗原に対して抗体を反応させた後、蛍光色素で標識した抗体を2次反応させる間接法がある。

## FEIA(Fluorescence enzyme immunoassay)

### 蛍光酵素免疫測定法

EIAの1つで、標識物質に酵素で標識した抗原または抗体を用いて抗原抗体反応を行い、蛍光基質を加えて蛍光強度を測定する方法。

## FIA(Fluorescence Immunoassay)

### 蛍光免疫測定法

固相化した抗原に対して標的物質を反応させた後、蛍光物質で標識した抗体または抗原を2次反応させ、蛍光強度を測定する方法。

## FISH(Fluorescence *in situ* hybridization)

### 蛍光 *in situ* ハイブリダイゼーション

蛍光色素で標識したプローブを用いて標的DNAとハイブリダイゼーションを行い、特定の波長で発色させた蛍光部位を染色体上のシグナルとして蛍光顕微鏡下で検出する方法。  
蛍光色素で標識したプローブと標的DNAを直接結合させる直接法と、標識物質で標識したプローブと標的DNAを結合させた後に、標識プローブと蛍光物質を結合させて発色させる間接法がある。

## HA(Hemagglutination)

### 赤血球凝集反応

赤血球の表面抗原と抗体を反応させ、抗原抗体反応による凝集の有無により抗体の存在を判定する方法。

## HI(Hemagglutination inhibition)

### 赤血球凝集抑制反応

ウイルスのもつ赤血球凝集能が、ウイルスに対する抗体により抑制されることを利用した方法。抗原抗体複合体と赤血球を反応させ、凝集抑制の有無によりウイルスに対する抗体の存在を判定する。

## HPLC(High performance liquid chromatography)

### 高速液体クロマトグラフィー

移動相に液体を用いる液体クロマトグラフィーで、高密度充填カラムと高圧ポンプを用いて高速かつ高精度に分離する方法。

## IC(Immuno-Chromatography)

### イムノクロマト法

検体中の抗原または抗体と、金コロイド粒子などで標識させた標識抗体または標識抗原が、メンブレンフィルター上を免疫複合体を形成しながら移動し、メンブレンフィルター上にあらかじめ固定化された抗体または抗原で免疫複合体が補足され、呈色し、目視などで結果判定する検出法。

## IRMA(Immuno radio metric assay)

### 免疫放射定量法

RIAの1つで、固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、放射性同位元素(RI)で標識した抗体を抗原に2次反応させる方法。固相化抗体と標識抗体が抗原を挟む形で結合することから、サンドイッチ法とも呼ばれる。

## LA(Latex agglutination)

### ラテックス凝集反応

抗原または抗体を吸着(結合)させたラテックス粒子(感作ラテックス粒子)を用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の有無により抗体または抗原の存在を判定する方法。

## LA(Latex agglutination immunoassay)

### ラテックス凝集比濁法

抗原または抗体を吸着(結合)させたラテックス粒子を用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の濁度を、光を照射させて透過率または光の散乱強度から測定する方法。

## LAMP(Loop-Mediated Isothermal Amplification)

標的遺伝子の配列から6つの領域に対して4種類のプライマーを設定し、鎖置換反応を利用して一定温度で反応させる方法。

## LC/MS(Liquid chromatography/mass spectrometry)

### 液体クロマトグラフィー質量分析法

目的物質を高速かつ高精度に分離するHPLCに、MS(質量分析)を検出器として結合させ、検出選択性・定性機能を更に向上させた方法。

## LC/MS/MS(Liquid chromatography tandem mass spectrometry)

### 液体クロマトグラフィータンデム四重極型質量分析法

液体クロマトグラフで親和性の差を利用して目的とする物質の成分を分解し、質量分析計でさらに質量ごとに分離して特定の質量イオンを解離・フラグメント化させ、それらのイオンを検出する方法。

## LPIA(Latex photometric immunoassay)

### ラテックス近赤外免疫比濁法

抗原または抗体を結合させたラテックス粒子を用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の濁度を、近赤外光を照射させて透過率を測定する方法。

## MALDI-TOF-MS

レーザー光を吸収するマトリックスと分析物の混合物にレーザー照射し、タンパク質を分解させずにイオン化する方法(MALDI)と、生成されたイオンの質量電荷比によりイオンの飛行時間が異なることを利用して質量分析を行う方法(TOF-MS)を組み合わせた方法。

MALDI : Matrix-Assisted Laser Desorption/Ionization

マトリックス支援レーザー脱離イオン化

TOF-MS : Time-of-Flight Mass Spectrometry

飛行時間型質量分析法

## MLPA(Multiplex ligation-dependent probe amplification)

共通PCRプライマー配列を融合させた特異プローブを標識領域にハイブリダイズ後、PCRを行い、その増幅産物の量的変化について、比較的大規模なゲノム欠失もしくは重複を検出する方法。

## NT(Neutralization test)

### 中和反応

ウイルスがウイルスに対する抗体との反応により感染性が失われる(中和)ことを利用した方法。

ウイルスと抗体を反応させた後、ウイルスに感受性のある培養細胞に接種し、細胞変性効果(cytopathogenic effect:CPE)の有無により中和抗体の存在を判定する。

## PA(Particle agglutination)

### 粒子凝集反応

抗原または抗体を吸着(結合)させたゼラチン粒子など(感作粒子)を用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の有無により抗体または抗原の存在を判定する方法。

## PCR(Polymerase chain reaction)

DNAが加熱により2本鎖から1本鎖に解離し、冷却することで2本鎖に戻ることを利用し、1本鎖DNAを鋳型として目的のプライマーを結合させ、DNAポリメラーゼの転写反応によりDNA合成を行うことを繰り返し、目的とするDNA領域を指数関数的に増幅させる方法。

## PHA(Passive hemagglutination)

### 受身赤血球凝集反応

赤血球の表面に抗原を吸着(結合)させた感作赤血球を用いて抗体を反応させ、抗原抗体反応による凝集の有無により抗体の存在を判定する方法。

## RIA(Radio immunoassay)

### 放射性免疫測定法

抗体に対して放射性同位元素(RI)で標識した抗原と検体中の抗原を競合的に抗原抗体反応を行い、抗体と結合した標識抗原(結合型: Bound)と抗体と結合していない標識抗原(遊離型: Free)を分離し、その割合を放射活性から抗原の濃度として測定する方法。

結合型と遊離型の分離方法(B/F分離)として、抗体を固相化しておく固相法、抗原抗体複合体に第2抗体を結合させて沈澱させる2抗体法、抗原抗体複合体を硫酸アンモニウム(硫酸)で沈澱させる硫酸塩析法、抗原抗体複合体を沈澱試薬で沈澱させるPEG法などがある。

## RRA(Radio receptor assay)

### ラジオレセプターアッセイ

測定原理はRIAと同様で、抗体の代わりにレセプター(受容体)を用いて、その反応性から生物活性を求める方法。

## RT-PCR(Reverse transcriptase-polymerase chain reaction)

RNAが増幅対象の場合に、RNAを鋳型として逆転写酵素(reverse transcriptase:RT)により相補的なcDNAを合成してPCRを行う方法。

## TIA(Turbidimetric immunoassay)

### 免疫比濁法

抗原抗体反応による混濁物に光を照射させ、透過率を測定する方法。

# 検査方法の概略

## TMA(Transcription mediated amplification)

2種類の酵素と2種類のプライマーおよび基質を用いてRNAを増幅する方法。

抽出したRNAから逆転写酵素により2本鎖DNAを合成し、この2本鎖DNAを鋳型としてRNAポリメラーゼの転写反応によりRNAを合成することを繰り返す、目的とするRNA領域を増幅させる。

## TRC(Transcription Reverse Transcription Concerted reaction)

インターカレーター性蛍光色素が標識されたDNAプローブと一定温度RNA増幅法を組み合わせ、RNAを1ステップで増幅・リアルタイム検出する方法。

## UV法(Ultraviolet absorption spectrophotometry)

### 紫外外部吸光光度分析

測定原理は比色法と同様で、紫外外部波長を用いて測定する方法。通常は200 ~ 400nmの近紫外部の波長が使われる。

## $^3\text{H}$ -サイミジン取り込み能( $^3\text{H}$ -TdR uptake)

リンパ球が非自己抗原による刺激に反応して芽球化する現象を利用した方法。

リンパ球に刺激物質と $^3\text{H}$ -サイミジンを加えて培養し、DNA合成により $^3\text{H}$ -サイミジンが細胞に取り込まれる量を放射活性として測定する。刺激物質にはPHA、Con-A、薬剤などが用いられる。

## 検査項目

## 測定参考文献

### 蛋白・膠質反応

総蛋白(TP)(血清)	Gornall AG et al : J Biol Chem 177 : 751 ~ 766, 1949.
総蛋白(TP)(髄液・蓄尿)	田中 雅美,他:医療と検査機器・試薬 33 : 393 ~ 397, 2010.
アルブミン(AIb)	浅井 孝道:検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
尿中アルブミン	舩方 栄二:検査と技術 3 (7) : 625 ~ 630, 2005.
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	舩方 栄二:検査と技術 3 (7) : 625 ~ 630, 2005.
A/G比	浅井 孝道:検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
蛋白分画	伊藤 喜久:Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
尿中蛋白分画	伊藤 喜久:Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
クンケル反応(ZTT)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 458, 2015.

### 酵素および関連物質

CK(CPK)	日本臨床化学会:臨床化学 19 (2) : 184 ~ 208, 1990.
CK-MB(CPK-MB)(免疫阻止-UV法)	Wurzburg U et al : Klinische Wochenschrift 54 : 357 ~ 360, 1976.
CK-MB(CPK-MB)(CLIA)	Piran U et al : Clinical Chemistry 33 (9) : 1517 ~ 1520, 1987.
CK(CPK)アインザイム	高木 康,他:臨床検査 32 (11) : 1309 ~ 1315, 1988.
AST(GOT)	日本臨床化学会:臨床化学 18 (4) : 226 ~ 230, 1989.
ミトコンドリア-AST(m-AST)(m-GOT)	白波瀬 泰史,他:第7回日本臨床化学会分析部会関東支部学術集 講演会抄録集 : 40 ~ 44, 1989.
ALT(GPT)	日本臨床化学会:臨床化学 18 (4) : 250 ~ 254, 1989.
LD(LDH)IFCC	Schumann et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
LD(LDH)アインザイム	森山 隆則,他:Medical Technology 25 (1) : 45 ~ 51, 1997.
アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	Schumann et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	倉澤 健太郎,他:医学と薬学 55 (2) : 279 ~ 285, 2006.
胎盤型アルカリフォスファターゼ(PLAP)	Shinichiro Watanabe, et al : Pediatr Neurosurg 48 : 141 ~ 145, 2012.
ALPアインザイム(IFCC)	芝 紀代子:目でみる電気泳動法 2(医歯薬出版) : 55 ~ 71, 1989.
γ-GT(γ-GTP)	日本臨床化学会酵素専門委員会:臨床化学 24 (2) : 106 ~ 121, 1995.
アルドラーゼ	三浦 雅一,他:臨床検査機器・試薬 12 (5) : 1005 ~ 1009, 1989.
コリンエステラーゼ(ChE)	大澤 進,他:臨床化学 24 : 138 ~ 145, 1995.
グアナーゼ	手登根 稔,他:検査と技術 13 (10) : 901 ~ 905, 1985.
アデノシンデアミナーゼ(ADA)	佐野 史良,他:臨床検査機器・試薬 9 (4) : 715 ~ 720, 1986.
ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	小林 照明,他:臨床検査機器・試薬14 (6) : 929 ~ 935, 1991.
アミラーゼ(AMY)	高笠 信之: The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
アミラーゼアインザイム	星野 忠,他:日本臨床検査自動化学会誌 37 (3) : 293 ~ 297, 2012.
P型アミラーゼ定量	高笠 信之: The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
リパーゼ	宇治 義則,他:検査と技術 25 (10) : 819 ~ 824, 1997.
トリプシン	植田 進之介,他:医学と薬学 77 (12) : 1659 ~ 1668, 2020.
膵ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (膵PLA <sub>2</sub> )	竹田 昌弘,他:ホルモンと臨床 38 (7) : 729 ~ 734, 1990.
エラスターゼ1	大出 勝也,他:肝と膵 23 (6) : 477~480, 2002.
子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ	北村 光,他:臨床検査機器・試薬 21 (4) : 357 ~ 361, 1998.
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	西沢 良記,他:医学と薬学 54 (5) : 709 ~ 717, 2005.
リゾチーム	北村 元仕:実践臨床化学 増補 : 432 ~ 436, 1982.
アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	Kasahara Y et al : Clinical Chemistry 27 (11) : 1922 ~ 1925, 1981.
ペプシノゲン	三木 一正,他:医学と薬学 56 (6) : 889 ~ 896, 2006.
MMP-3 (マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	氏家 真二,他:医学と薬学 67 (5) : 741 ~ 747, 2012.
胃がんリスク層別化検査(ABC分類)(LA)	乾 正幸,他:日本ヘリコバクター学会誌 19 (1) : 33 ~ 42, 2017.

### 低分子窒素化合物

クレアチニン	安原 正善,他:臨床検査機器・試薬 17 (1) : 59 ~ 67, 1994.
シスタチンC	Tanaka M, et al : Clinical Biochemistry 37 : 27 ~ 35, 2004.
尿酸(UA)	金井 泉,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版) : 503 ~ 507, 2005.
尿素窒素(UN)	森下 芳孝:Medical Technology 26 (6) : 695 ~ 700, 1998.
アンモニア	奥田 拓道,他:最新医学 21 (3) : 622 ~ 627, 1966.
アミノ酸分析(39種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
アミノ酸分析(41種類)	日本生化学会:生化学実験講座11 アミノ酸代謝と生体アミン 1版 : 53 ~ 67, 1976.
アミノ酸分析(9種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニルアラニン)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	中村 俊之,他:臨床病理 37 (8) : 911 ~ 917, 1989.
γ-アミノ酪酸(GABA)	Fujiwara M et al : Analytical Biochemistry 166 : 72 ~ 78, 1987.
ハイドロキシプロリン-総	鈴木 隆夫,他:日本臨床化学会年会記録 28 : 118, 1988.
血中総ホモシステイン	Christian Hellmuth, et al : Journal of Chromatography B, 879 : 83 ~ 89, 2011.

### 糖質および関連物質

グルコース	日本臨床化学会試薬専門委員会:臨床化学 20 (4) : 247 ~ 254, 1991.
ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	水松 良光,他:日本臨床検査自動化学会誌 41 (2) : 215 ~ 220, 2016.

# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

グリコアルブミン	石橋 みどり,他:医学と薬学 52 (3): 403 ~ 412, 2004.
ヒアルロン酸	島村 朗,他:医学と薬学 44 (6): 1141 ~ 1146, 2000.
1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG)	遠藤 輝夫,他:医療と検査機器・試薬 26 (1): 45 ~ 50, 2003.
糖代謝解析	張 春花,他:金医大誌 21: 399 ~ 410, 1996.
シアル酸	水田 亘,他:臨床病理 特(54): 128 ~ 134, 1983.

## 有機酸

乳酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8 (3): 16 ~ 24, 1985.
ビルビン酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8 (3): 16 ~ 24, 1985.
尿中シュウ酸	小川 由英,他:腎と透析 臨増: 151 ~ 157, 1997.
クエン酸	Warty VS et al: Clinical Chemistry 30 (7): 1231 ~ 1233, 1984.
血中ケトン体分画	西ヶ谷 晴美,他:医学検査 45 (3): 353, 1996.
アセトン定量	深堀 すみ江,他:労働科学 59 (12): 555 ~ 562, 1983.
有機酸スクリーニング検査	河野 芳功,他:日本小児科学会雑誌 89 (10): 2327 ~ 2334, 1985.

## 脂質および関連物質

中性脂肪(TG)	Tamaoku K et al: Chem Pharm Bull 30 (7): 2492 ~ 2497, 1982.
リン脂質	Takayama M et al: Clinica Chimica Acta 79: 93 ~ 98, 1977.
遊離脂肪酸(NEFA)	Sugo S, et al: Clinical Chemistry 36 (1): 163, 1990.
総コレステロール(T-Cho)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版): 512, 2015.
エステル型コレステロール(Echo)	Richmond W: Clinical Chemistry 19 (12): 1350 ~ 1356, 1973.
遊離コレステロール(F-Cho)	Richmond W: Clinical Chemistry 19 (12): 1350 ~ 1356, 1973.
コレステロールエステル比	Richmond W: Clinical Chemistry 19 (12): 1350 ~ 1356, 1973.
HDL-コレステロール	田口 隆由,他:臨床検査機器・試薬 24 (1): 35 ~ 41, 2001.
HDL <sub>2,3</sub> コレステロール	Bronzert TJ et al: Clinical Chemistry 23 (11): 2089 ~ 2098, 1977.
LDL-コレステロール	菅野 剛史,他:医学と薬学 37 (3): 635 ~ 644, 1997.
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	大石 千早,他:日本臨床検査自動化学会誌 35 (1): 83 ~ 87, 2010.
酸化LDL(MDA-LDL)	小谷 一夫:酸化ストレスマーカー 学術出版センター: 243 ~ 246, 2005.
sd LDL-C(健診)	伊藤 康樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 37 (1): 10 ~ 16, 2012.
脂肪酸分画(24成分)	小沢 昭夫,他:分析化学 31: 87 ~ 91, 1982.
脂肪酸分画(4成分)	小沢 昭夫,他:分析化学 31: 87 ~ 91, 1982.
極長鎖脂肪酸	小池 亮子:小児科診療 53 (増): 394 ~ 397, 1990.
総胆汁酸	今野 稔:臨床検査機器・試薬 16 (3): 472 ~ 479, 1993.
β-リポ蛋白	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版): 548, 2005.
リポ蛋白分画(アガロースゲル電気泳動法)	芝 紀代子:目でみる電気泳動法 2: 91 ~ 99, 1989.
コレステロール分画	櫻林 郁之介,他:HDL-コレステロール基礎と臨床(株)テクノ: 207 ~ 220, 1980.
リポ蛋白(a)	岡野 芳幸,他:日本臨床検査自動化学会誌 21 (5): 705 ~ 709, 1996.
リポ蛋白リパーゼ(LPL)	Kobayashi J et al: Clinica Chimica Acta 216: 113 ~ 123, 1993.
アポリポ蛋白 A-I	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 A-II	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 B	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 C-II	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 C-III	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 E	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白Eフェノタイプ	片岡 伸久朗,他:臨床検査 37 (12): 1267 ~ 1271, 1993.
肺サーファクタント プロテインA(SP-A)	大木 卓,他:医学と薬学 71 (1): 161 ~ 166, 2014.
肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	土居 耕介,他:医学と薬学 78 (3): 261 ~ 267, 2021.

## ビタミンおよび関連物質

β-カロチン	加美山 茂利,他:臨床検査 31 (3): 268 ~ 274, 1987.
ビタミンA	須原 聡,他:臨床検査 36 (3): 235 ~ 239, 1992.
ビタミンB <sub>1</sub>	宮川 秀則,他:生物試料分析 36 (4): 327 ~ 330, 2013.
ビタミンB <sub>2</sub>	大石 誠子:ビタミンハンドブック3 ビタミン分析法(化学同人): 71 ~ 80, 1989.
ビタミンB <sub>6</sub>	吉田 継親,他:薬学雑誌 98 (10): 1319 ~ 1326, 1978.
ビタミンB <sub>12</sub>	中森 誠,他:医療と検査機器・試薬 27 (3): 215 ~ 221, 2004.
カルニチン分画	伊丹 儀友,他:臨床検査58 (5): 651 ~ 658, 2014.
ビタミンC(アスコルビン酸)	Lykkesfeldt J et al: Analytical Biochemistry 229:329~335, 1995.
25OHビタミンD(骨粗鬆症)	小島 哲:臨床化学 48 (3): 239 ~ 244, 2019.
25ヒドロキシビタミンD(くる病・骨軟化症)	小島 哲:臨床化学 48 (3): 239 ~ 244, 2019.
1,25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD	Fraser WD et al: Ann Clin Biochem 34: 632~637, 1997.
ビタミンE	阿部 皓一,他:栄養と食糧 28 (5): 277 ~ 280, 1975.
ビタミンE分画	阿部 皓一,他:ビタミン 49 (7): 259 ~ 263, 1975.
ビタミンK分画	langenberg JP et al: Journal of Chromatography 305: 61 ~ 72, 1984.
葉酸	西村 和子,他:生物試料分析 35 (4): 300 ~ 309, 2012.

## 検査項目

## 測定参考文献

ニコチン酸(ナイアシン) 宮沢 滋: ビタミン 56 (9・10): 487 ~ 499, 1982.

### 電解質・血液ガス

Na(ナトリウム) 桑 克彦: 臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358, 1990.  
 K(カリウム) 桑 克彦: 臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358, 1990. と高橋 勝幸: 検査と技術 20 (6): 106 ~ 110, 1992.  
 Cl(クロール) 関口 光夫: 検査と技術 17 (9): 1167 ~ 1172, 1989. と桑 克彦: 臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358, 1990.  
 Mg(マグネシウム) 北村 元仕: 実践臨床化学 1 版(医歯薬出版): 166 ~ 171, 1974.  
 Ca(カルシウム) 根占 哲也: 都臨技会誌 34 (5): 270 ~ 281, 2006.  
 イオン化カルシウム 桑 克彦: 検査と技術 19 (2): 119 ~ 124, 1991.  
 P(無機リン) Drewes PA: Clinica Chimica Acta 39: 81 ~ 88, 1972.  
 浸透圧 鈴木 明,他: 検査と技術 6 (9): 759 ~ 762, 1978.

### 生体微量金属

鉄(Fe)(血清) 荒明 洋,他: 臨床検査機器・試薬 6 (2): 359 ~ 366, 1983.  
 鉄(Fe)(尿) 溝口 秀昭: 臨床医 8 (10): 1624 ~ 1626, 1982.  
 総鉄結合能(TIBC) 荒明 洋,他: 臨床検査機器・試薬 6 (2): 359 ~ 366, 1983.  
 不飽和鉄結合能(UIBC) 荒明 洋,他: 臨床検査機器・試薬 6 (2): 359 ~ 366, 1983.  
 Cu(銅)(血清) Abe A et al: Clinical Chemistry 35 (4): 552 ~ 554, 1989.  
 Cu(銅)(尿) Ichida T et al: Clinica Chimica Acta 24: 299 ~ 303, 1969.  
 Zn(亜鉛)(血清) 井上 哲,他: 医療と検査機器・試薬 41 (3): 283 ~ 287, 2018.  
 Zn(亜鉛)(尿) Meret S et al: Clinical Chemistry 17 (5): 369 ~ 373, 1971.

### 生体色素関連物質

総ビリルビン(T-Bil) 徳田 邦明,他: 臨床化学 22 (2): 116 ~ 122, 1993.  
 ビリルビン(直接, 間接) 徳田 邦明,他: 臨床化学 22 (2): 116 ~ 122, 1993.  
 コプロボルフィリン 定性 近藤 雅雄: 日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.  
 コプロボルフィリン(尿) 近藤 雅雄: 日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.  
 コプロボルフィリン(血液) Salmi M et al: Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.  
 ウロボルフィリン(尿) 近藤 雅雄: 日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.  
 ウロボルフィリン(血液) Salmi M et al: Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.  
 プロトボルフィリン Salmi M et al: Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.  
 δ-アミノレブリン酸(δ ALA) 園藤 陽子,他: 産業医学 35: 126 ~ 127, 1993.

### 毒物・産業医学的代謝物質

尿中総三塩化物 トリクロルエチレン 城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.  
 尿中総三塩化物 1・1・1-トリクロルエタン 城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.  
 尿中総三塩化物 テトラクロルエチレン 城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.  
 尿中トリクロル酢酸 トリクロルエチレン 城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.  
 尿中トリクロル酢酸 1・1・1-トリクロルエタン 城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.  
 尿中トリクロル酢酸 テトラクロルエチレン 城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.  
 尿中馬尿酸 岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.  
 尿中メチル馬尿酸 岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.  
 尿中スチレン代謝物 岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.  
 尿中マンデル酸エチルベンゼン 岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.  
 尿中N-メチルホルムアミド Mraz J et al: Journal of Chromatography 414: 399 ~ 404, 1987.  
 尿中2,5-ヘキサシジオン lwata M et al: Int Arch Occup Environ Health 51: 253 ~ 260, 1983.  
 アルミニウム(Al) Oster O: Clinica Chimica Acta 114: 53 ~ 60, 1981.  
 クロム 松岡 澄: 産業医学 13 (6): 525 ~ 537, 1971. と田中 俊行,他: 医学と生物学 101 (5): 277 ~ 281, 1980.  
 カドミウム Lagesson V et al: Clinical Chemistry 25 (11): 1948 ~ 1953, 1979.  
 マンガン Tsalev DL et al: Bulletin of Environmental Contamination & Toxicology 17 (6): 660 ~ 666, 1977.

### 生化学(その他)

ネオプテリン Hausen A et al: Journal of Chromatography 227: 61 ~ 70, 1982.  
 エタノール 馬嶋 正隆,他: 北里医学 14: 424 ~ 430, 1984.  
 イヌリン定量 木全 伸介,他: 医療と検査機器・試薬 28 (2): 143 ~ 149, 2005.  
 結石分析(成分比率) 神 ちひろ,他: 分析化学 53 (7): 735 ~ 741, 2004.

### 抗菌薬

アミカシン 木村 英樹,他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5): 860 ~ 864, 2008.  
 トブラマイシン 木村 英樹,他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5): 860 ~ 864, 2008.  
 ゲンタマイシン 石橋 みどり,他: 医学と薬学 42 (6): 1061 ~ 1074, 1999.  
 パンコマイシン 石澤 春美,他: 栃木県臨床衛生検査技師会雑誌 8 (2): 103 ~ 107, 2013.  
 テイコブラニン 諸岡 美里,他: 日本臨床検査自動化学会誌 38 (1): 79 ~ 82, 2013.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 抗てんかん薬

カルバマゼピン	石橋 みどり,他: 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
ジアセパム	Brodie RR et al : Journal of Chromatography 150 : 361 ~ 366, 1978.
エトスクシミド	宮本 侃治: 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
フェノバルビタール	石橋 みどり,他: 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
フェニトイン	石橋 みどり,他: 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
プリミドン	宮本 侃治: 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
バルプロ酸	石橋 みどり,他: 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
トリメタジオン	斉藤 正行,他: ドラッグレベルモニタリング 治療への臨床化学的アプローチ : 100 ~ 110, 1982.
ゾニサミド	安田 真依,他: 医療と検査機器・試薬 38 (2) : 205 ~ 210, 2015.
トピラマート	Matar, K M : Clinica Chimica Acta 411 : 729 ~ 734, 2010.
レベチラセタム	Mendu, D R, Soldin S J : Clinical Biochemistry 43 : 485 ~ 489, 2010.
スチリベントール	Deeb S, et al : J Anal Toxicol 38 (8) : 485 ~ 494, 2014.
ルフィナミド	Deeb S, et al : J Anal Toxicol 38 (8) : 485 ~ 494, 2014.
ペランパネル	Mano Y, et al : J Pharm Biomed Anal 107 : 56 ~ 62, 2015.
ラコサミド	Drew Payto, et al : Bioanalysis 6 (23) : 3161 ~ 3168, 2014.
アセタゾラミド	Sadee W et al : ドラッグレベルモニタリング : 90 ~ 91, 1982.

### 免疫抑制薬

シクロスポリン	古屋 実,他: 医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
タクロリムス	古屋 実,他: 医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
ミコフェノール酸	細坪 秀夫,他: 今日の移植 14 (4) : 485 ~ 491, 2001.

### 循環器用薬

ジゴキシン	水内 由利,他: 医学と薬学 35 (4) : 847 ~ 851, 1996.
ジソピラミド	扇谷 茂樹,他: 臨床検査機器・試薬 6 (2) : 520 ~ 523, 1983.
リドカイン	宮本 侃治: 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
フロカインアミド	木村 英樹,他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
プロブクロロール	Ahnoff M et al : Journal of Chromatography 340 : 73 ~ 138, 1985.
ビルメノール	市川 林,他: 臨床医薬 11 (4) : 903 ~ 906, 1995.
キニジン	木村 英樹,他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.

### 精神神経用薬

ハロペリドール	白井 晶子,他: 医学と薬学 49 (6) : 1011 ~ 1017, 2003.
フロムペリドール	白井 晶子,他: 医学と薬学 50 (1) : 101 ~ 107, 2003.
リチウム	細羽 恵美子,他: 臨床化学 46 (1) : 39 ~ 46, 2017.

### 薬物(その他)

アセトアミノフェン	木村 英樹,他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
テオフィリン	石橋 みどり,他: 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
サリチル酸	木村 英樹,他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ヘパリン	Teien A et al : Thrombosis Reseach 8 (3) : 413 ~ 416, 1976.
メトトレキサート	中原 佑香里,他: 医学と薬学 72 (4) : 761 ~ 767, 2015.
イマチニブ	Bakhtiar R, et al : Journal of Chromatography B 768 : 325 ~ 340, 2002.

### 血液一般・形態検査

血液一般検査	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第32版 (金原出版) : 265 ~ 295, 2005.
好酸球数	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第32版 (金原出版) : 265 ~ 295, 2005.
網赤血球数(RET)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第32版 (金原出版) : 265 ~ 295, 2005.
末梢血液像	西 国広,他: 血液形態観察のすすめ方 第2版 : 1 ~ 288, 1995.
鼻汁中好酸球	巽 典之,他: 自動血液検査品質保証論 : 26 ~ 27, 2005.
	奥田 稔: 臨床検査 29 (3) : 267 ~ 272, 1985.

### 凝固・線溶関連検査

活性化部分 トロンボプラスチン時間(APTT)	日野 志郎: 臨床検査講座15 血液学 : 244 ~ 250, 1984.
プロトロンビン時間(PT)	高宮 脩: 臨床検査機器・試薬 17 (6) : 1079 ~ 1085, 1994.
フィブリノーゲン(FIB)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第33版 (金原出版) : 358 ~ 360, 2010.
可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	八戸 雅孝,他: 臨床病理 60 (12)別冊 : 1139 ~ 1144, 2012.
フィブリンモノマー複合体定量	内藤 澄悦,他: 医学と薬学 48 (4) : 595 ~ 599, 2002.
FDP定量(血漿)	長野 美恵子,他: 医療と検査機器・試薬 27 (1) : 23 ~ 29, 2004.
FDP定量(尿)	堀内 伸純,他: 臨床検査機器・試薬 14 (2) : 267 ~ 270, 1991.
Dダイマー	大石 彩,他: Sysmex Journal Web 17 (4) : 1 ~ 10, 2016.
プロトロンビンフラグメントF1+2	Pelzer H, et al : Thrombosis and Haemostasis 65 (2) : 153 ~ 159, 1991.



## 検査項目

## 測定参考文献

アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	Scully MF et al : Clinica Chimica Acta 79 : 595 ~ 602, 1977.
トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)	木村 真波,他 : 医療と検査機器・試薬 33 (4) : 525 ~ 533, 2010.
プラスミノゲン	Friberger P et al : Haemostasis 7 : 138 ~ 145, 1978.
アンチプラスミン( $\alpha_2$ プラスミンインヒビター)	Friberger P et al : Haemostasis 7 : 138 ~ 145, 1978.
$\alpha_2$ プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PICテスト)	徐 吉夫,他 : 臨床検査機器・試薬 16 (6) : 1107 ~ 1113, 1993.
トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)	曾我部 万紀,他 : 医学のあゆみ 173 (12) : 997 ~ 998, 1995.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)[合成基質法]	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 407 ~ 410, 2015.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)[合成基質法]	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 407 ~ 410, 2015.
凝固因子活性検査 第Ⅱ因子(F2)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅴ因子(F5)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅶ因子(F7)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅹ因子(F10)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅺ因子(F11)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F12)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F13)	Fickenscher K et al : Thrombosis and Haemostasis 65 (5) : 535 ~ 540, 1991.
凝固抑制因子検査 第Ⅷ(8)因子	Sirridge MS et al : Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd : 196 ~ 198, 1983.
凝固抑制因子検査 第Ⅸ(9)因子	Sirridge MS et al : Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd : 196 ~ 198, 1983.
フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	Macfarlane DE et al : Thrombos Diathes Haemorth 34 : 306 ~ 308, 1975.
フォン・ウィルブラント因子マルチマー解析	Susan Oliver et al : international journal of laboratory hematology 41 (6) : 762~771, 2019.
ADAMTS13-活性	伊藤 晋,他 : 日本輸血細胞治療学会誌 56 (1) : 27 ~ 35, 2010.
ADAMTS13 インヒビター	伊藤 晋,他 : 日本輸血細胞治療学会誌 56 (1) : 27 ~ 35, 2010.
$\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG)	高橋 芳右,他 : 血液と脈管 18 (4) : 326 ~ 335, 1987.
血小板第4因子(PF-4)	高橋 芳右,他 : 血液と脈管 18 (4) : 326 ~ 335, 1987.
プロテインC(抗原量)	筒井 聡明,他 : 検査と技術 12 (7) : 581 ~ 587, 1984.
プロテインC活性	藤岡 貴 : 医学と薬学 73 (5) : 621 ~ 626, 2016.
プロテインS(抗原量)	安藤 秀実,他 : 医療と検査機器・試薬 41 (5) : 509 ~ 519, 2018.
プロテインS活性	藤岡 貴 : 医学と薬学 73 (5) : 621 ~ 626, 2016.
プロテインS(遊離型抗原量)	安藤 秀実,他 : 医療と検査機器・試薬 41 (5) : 509 ~ 519, 2018.
トロンボモジュリン	小野 真弓,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 38 (1) : 114 ~ 117, 2013.

## 視床下部・下垂体ホルモン

成長ホルモン(GH)	小山 沙世,他 : 医学と薬学 68 (5) : 899 ~ 910, 2012.
プロラクチン	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (3) : 317 ~ 326, 2017.
黄体形成ホルモン(LH)	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
卵巣刺激ホルモン(FSH)	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
甲状腺刺激ホルモン(TSH)(CLEIA)IFCC	北川 亘,他 : 医学と薬学 78 (1) : 59 ~ 70, 2021.
抗利尿ホルモン(AVP)	田中 誠仁,他 : 医学と薬学 72 (8) : 1379 ~ 1388, 2015.

## 甲状腺ホルモンおよび結合蛋白

遊離トリヨードサイロニン(Free T <sub>3</sub> )	矢野 美沙紀,他 : 医学と薬学 77 (5) : 793 ~ 804, 2020.
遊離サイロキシニン(Free T <sub>4</sub> )	矢野 美沙紀,他 : 医学と薬学 77 (5) : 793 ~ 804, 2020.
サイログロブリン(CLEIA)	北村 由之,他 : 医学と薬学 77 (12) : 1683 ~ 1690, 2020.

## 副甲状腺ホルモン

副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	山岡 美穂,他 : 医学と薬学 46 (5) : 753 ~ 758, 2001.
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	森山 和重,他 : 医学と薬学 70 (4) : 829 ~ 836, 2013.
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	福本 誠二,他 : ホルモンと臨床 40 (12) : 1309 ~ 1314, 1992.
カルシトニン	北川 亘,他 : 医学と薬学 72 (1) : 97 ~ 108, 2015.

## 副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白

17-KS7分画	石田 孝,他 : 臨床化学 15 (1) : 13 ~ 19, 1986.
血中11-OHCS	宇田川 美佐子,他 : 臨床化学 5 (3) : 321 ~ 325, 1977.
コルチゾール	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
尿中コルチゾール	関口 昌江,他 : 医学と薬学 69 (6) : 985 ~ 991, 2013.
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	増戸 梨恵,他 : 医学と薬学 56 (3) : 443 ~ 448, 2006.
17 $\alpha$ -ヒドロキシprogesterone(生後4 ヶ月以下)	柳瀬 里美,他 : 医学と薬学 78 (4) : 461 ~ 466, 2021.
17 $\alpha$ -ヒドロキシprogesterone(生後5 ヶ月以上)	柳瀬 里美,他 : 医学と薬学 78 (4) : 461 ~ 466, 2021.

## 副腎髄質ホルモン

カテコールアミン総	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
カテコールアミン3分画(血漿)	辻 潮,他 : 臨床検査機器・試薬 11 (4) : 635 ~ 641, 1988.

# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

カテコールアミン3分画(尿)	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	Clark ZD, et al : Journal of Chromatography B 879 (31) : 3673 ~ 3680, 2011.
L-ドーパ	守 和子 : 産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
ドーパミン総	守 和子 : 産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
HVA	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12) : 2504 ~ 2506, 1988.
VMA	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12) : 2504 ~ 2506, 1988.
セロトニン(血液)	Anderson GM et al : Gastroenterology 88 : 86 ~ 89, 1985.
セロトニン(血漿)	Nebinger P et al : Journal of Chromatography 427 : 326 ~ 330, 1988.
5-HIAA(血漿)	小島 司,他 : 臨床化学 21 (2) : 119 ~ 126, 1992.
5-HIAA(尿)	Mailman RB et al : Clinical Chemistry 31 (11) : 1849 ~ 1854, 1985.
MHPG	宮川 富三雄 : 蛋白質核酸酵素 26 (9) : 1089 ~ 1098, 1981.

## 性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白

エストラジオール(E <sub>2</sub> )	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
プロゲステロン	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
プレグナンジオール	平井 利生,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 9 (2) : 564 ~ 567, 1984.
プレグナントリオール	平井 利生,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 9 (2) : 564 ~ 567, 1984.
テストステロン	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	Cole LA, et al : Clinical Chemistry 47 (2) : 308 ~ 315, 2001.
遊離HCG-β(HCG-βサブユニット)	菅原 由人,他 : 臨床検査機器・試薬 14 (3) : 467 ~ 474, 1991.
抗ミューラー管ホルモン(AMH)(CLEIA)	浅田 義正,他 : 医学と薬学 76 (10) : 1527 ~ 1532, 2019.

## 膵・消化管ホルモン

インスリン	唐澤 美佳,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 479 ~ 484, 2006.
C-ペプチド(CPR)	唐澤 美佳,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 485 ~ 491, 2006.
膵グルカゴン	稲垣 貴之,他 : 医学と薬学 72 (3) : 491 ~ 497, 2015.

## 内分泌学的(その他)

アルドステロン(CLEIA)	佐藤 文俊,他 : 医学と薬学 76 (12) : 1819 ~ 1826, 2019.
レニン濃度(ARC)(CLEIA)	佐藤 文俊,他 : 医学と薬学 76 (12) : 1827 ~ 1832, 2019.
レニン活性(PRA)(EIA)	宇津 貴央,他 : 医学と薬学 73 (3) : 311 ~ 321, 2016.
サイクリックAMP	孫 孝義,他 : 日本内分科学会雑誌 61 (9) : 912 ~ 923, 1985.
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	松岡 泰弘,他 : 医療と検査機器・試薬 33 (4) : 535 ~ 540, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	伊藤 洋子,他 : 医学と薬学 64 (6) : 931 ~ 939, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (5) : 607 ~ 617, 2017.
エリスロポエチン	増田 詩織,他 : 医学と薬学 67 (2) : 297 ~ 306, 2012.
オステオカルシン	吉村 典子,他 : Osteoporosis Japan 13 (3) : 759 ~ 765, 2005.
低カルボキシル化オステオカルシン(lcOC)	西村 順,他 : 医学と薬学 57 (4) : 523 ~ 535, 2007.
肝細胞増殖因子(HGF)	二井谷 好行,他 : 臨床検査 35 (13) : 1360 ~ 1364, 1991.
HGF23(CLEIA)	井谷 裕一,他 : 医療と検査機器・試薬 42 (3) : 219 ~ 224, 2019.
アディポネクチン(LA)	Nishimura A, et al : Clinica Chimica Acta 371 : 163 ~ 168, 2006.
レプチン(ELISA)	小川 佳宏,他 : 医学と薬学 77 (5) : 1 ~ 8, 2020.
sFlt-1/PIGF比	Stefan Verlohren, et al : American Journal of Obstetrics Gynecology 202 (2) : 161.e1 ~ 161.e11, 2009.

## 腫瘍関連抗原

癌胎児性抗原(CEA)	鈴木 尚子,他 : 医学と薬学 56 (6) : 897 ~ 907, 2006.
α-フェトプロテイン定量	鈴木 尚子,他 : 医学と薬学 56 (6) : 897 ~ 907, 2006.
塩基性フェトプロテイン(BFP)	設楽 光弘,他 : 臨床病理 36 (9) : 1039 ~ 1044, 1988.
CA125	黒田 雅頭 : 医療と検査機器・試薬 29 (6) : 589 ~ 596, 2006.
CA15-3	黒田 雅頭 : 医療と検査機器・試薬 29 (6) : 589 ~ 596, 2006.
BCA225	小林 美耶子,他 : 医学と薬学 72 (7) : 1249 ~ 1259, 2015.
CA19-9	鈴木 尚子,他 : 医学と薬学 56 (6) : 897 ~ 907, 2006.
CA72-4	矢田 紗世,他 : 医学と薬学 74 (7) : 831 ~ 840, 2017.
シアリルTn抗原(STN)	井村 裕夫,他 : 癌と化学療法 16 (9) : 3213 ~ 3219, 1989.
CA54/61	野澤 志朗,他 : 癌と化学療法 19 (12) : 2085 ~ 2093, 1992.
DUPAN-2	櫻林 都之介,他 : 臨床病理 34 (6) : 705 ~ 710, 1986.
シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX)	井村 裕夫,他 : 癌と化学療法 14 (5) : 1315 ~ 1321, 1987.
シアリルLe <sup>x</sup> 抗原(CSLEX)	三嶋 芳樹,他 : 医学と薬学 29 (5) : 1193 ~ 1200, 1993.
NCC-ST-439	吉岡 久,他 : 臨床病理 35 (11) : 1233 ~ 1238, 1987.
SPan-1	梅山 馨,他 : 腫瘍 3 (4) : 528 ~ 539, 1988.
SCC	林 圭織,他 : 医学と薬学 76 (12) : 1809 ~ 1818, 2019.
前立腺特異抗原(PSA)	細羽 恵美子,他 : 医学と薬学 76 (11) : 1635 ~ 1641, 2019.
γ-セミノプロテイン(γ-Sm)	佐藤 達郎,他 : 医学と薬学 43 (1) : 97 ~ 106, 2000.
シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	黒田 雅頭 : 医療と検査機器・試薬 29 (6) : 597 ~ 602, 2006.

## 検査項目

## 測定参考文献

5-S-システインルドーバ(5-S-CD)	Wakamatsu K et al : Clinical Chemistry 40 (3) : 495 ~ 496, 1994.
NSE(神経特異エノラーゼ)	矢田 紗世,他 : 医学と薬学 74 (7) : 831 ~ 840, 2017.
PIVKA-II	古谷 桃子,他 : 医学検査 68 (1) : 56 ~ 60, 2019.
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	山本 典江,他 : 医療と検査機器・試薬 32 (2) : 263 ~ 267, 2009.
血清抗p53抗体	橋本 礼輔,他 : 医学と薬学 75 (8) : 955 ~ 964, 2018.
血清 HER2タンパク	Luftner D, et al : The International Journal of Biological Markers 19 (3) : 175 ~ 182, 2004.
可溶性メソテリン関連ペプチド	中町 衛,他 : 医学と薬学 65 (2) : 261 ~ 267, 2011.

## ウイルス感染症検査

HBVゲノタイプ	田中 靖人,他 : 臨床病理 57 (1) : 42 ~ 47, 2009.
HBV DNA定量(IU)	菅原 昌章,他 : 医学と薬学 73 (10) : 1329 ~ 1339, 2016.
HBs抗原(HQ)	戸来 孝,他 : 医学と薬学 72 (9) : 1569 ~ 1577, 2015.
HBs抗体(CLEIA)	大根 久美子,他 : 臨床病理 63 (8) : 907 ~ 912, 2015.
HBs抗体	蒲池 正次,他 : 臨床検査機器・試薬 17 (6) : 1173 ~ 1180, 1994.
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	田中 靖人,他 : 臨床病理 54 (7) : 692 ~ 698, 2006.
HBc抗体(IgG)	八橋 弘,他 : 医学と薬学 66 (6) : 1075 ~ 1081, 2011.
IgM-HBc抗体	熊谷 保之 : 日本臨床検査自動化学会誌 25 (1) : 70 ~ 74, 2000.
HBc抗体	森藤 隆夫,他 : 臨床病理 特(67) : 101 ~ 108, 1986.
HA抗体	矢野 公士,他 : 医学と薬学 58 (1) : 151 ~ 161, 2007.
IgM-HA抗体	矢野 公士,他 : 医学と薬学 58 (1) : 151 ~ 161, 2007.
HCV群別(グルーピング)	長谷川 瞳,他 : 医学と薬学70 (3) : 633 ~ 641, 2013.
HCV RNAコアジェノタイプ	Ohno T et al : Journal of Clinical Microbiology 35 (1) : 201 ~ 207, 1997.
HCV RNA 1b(NS5A)	Enomoto N et al : The New England Journal of Medicine 334 (2) : 77 ~ 81, 1996.
HCV RNA定量	菅原 昌章,他 : 医学と薬学 73 (10) : 1329 ~ 1339, 2016.
HCV抗原(コア蛋白質)	田原 和子,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 36 (2) : 267 ~ 274, 2011.
HCV DCV 耐性変異(L31/Y93)	Uchida Y et al : PLoS One 9 (11)e 112647 : 1 ~ 7, 2014.
HCV 薬剤耐性変異 NS3-D168	Suzuki F et al : Journal of Clinical Virology 54 (4) : 352 ~ 354, 2012.
HCV NS5B-S282変異	Suzuki F et al : Journal of Clinical Virology 54 (4) : 352 ~ 354, 2012.
IgA-HEV抗体(定性)	飯野 四郎,他 : 医学と薬学 53 (4) : 461 ~ 469, 2005.
ヒトパルボウイルスB19 IgG	要藤 裕孝,他 : 感染症学雑誌 69 (10) : 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19 IgM	要藤 裕孝,他 : 感染症学雑誌 69 (10) : 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19DNA 定性	Sevall JS : Molecular and Cellular Probes 4 : 237 ~ 246, 1990.
ヒトパピローマウイルスDNA(16型,18型,その他ハイリスクグループ)	三浦 俊昭,他 : 医学と薬学 69 (1) : 157 ~ 162, 2013.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	Clavel C et al : Diagnostic Molecular Pathology 9 (3) : 145 ~ 150, 2000.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)(LBC)	Ko. V et al : Cancer Cytopathology 108 (6) : 468 ~ 474, 2006.
ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	尾崎 聡,他 : 臨床病理 60 (7) : 621 ~ 626, 2012.
ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	Clavel C et al : Diagnostic Molecular Pathology 9 (3) : 145 ~ 150, 2000.
アデノウイルス	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
アデノウイルスDNA 定性	Hierholzer JC et al : Journal of Clinical Microbiology 31 (7) : 1886 ~ 1891, 1993.
アデノウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 7型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 8型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 11型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 37型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス特異抗原	川名 尚,他 : 感染症学雑誌 61 (9) : 1030 ~ 1037, 1987.
単純ヘルペスウイルス	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
単純ヘルペスウイルス IgG	厚生省監修 : 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊 : 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス IgM	厚生省監修 : 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊 : 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス DNA 定性	Cao M et al : J Invest Dermatol 82 : 391 ~ 392, 1989.
単純ヘルペスウイルス DNA定量	Stevens J : 実験医学 15 (7S) : 728 ~ 733, 1997.
単純ヘルペスウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	林 伸英,他 : 生物試料分析 36 (3) : 229 ~ 234, 2013.
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原(FA)	新村 真人,他 : 感染症学雑誌 64 (2) : 195 ~ 201, 1990.
水痘・帯状疱疹ウイルス[CF]	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgG	吉田 晃,他 : 臨床とウイルス 13 (4) : 490 ~ 496, 1985.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgM	平野 勝,他 : 医学と薬学 42 (4) : 641 ~ 645, 1999.

# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	本藤 良,他:日本臨床 50(特別号):160~165,1992.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C10,C11)	浅井 隆善,他:今日の移植 7(6):553~559,1994.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	権藤 久司,他:臨床血液 34(11):1438~1444,1993.
サイトメガロウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
サイトメガロウイルス IgG	熊田 洋高,他:医学と薬学 72(6):1087~1094,2015.
サイトメガロウイルス IgM	熊田 洋高,他:医学と薬学 72(6):1087~1094,2015.
サイトメガロウイルス DNA 定性	Olive DM et al:Journal of Clinical Microbiology 27(6):1238~1242,1989.
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	Mitani Y, et al: Nat Methods 4(3):257~262,2007.
サイトメガロウイルス核酸定量	森 沙耶香,他:医学と薬学 77(8):1181~1188,2020.
EBウイルスDNA 定量	Kimura H, et al: J Clin Microbiol 37(1):132~136,1999.
EBウイルスDNA(クロナリティ)	Raab-Traub N et al: Cell 47:883~889,1986.
EBウイルス 抗VCA IgG(EIA)	脇口 宏,他:医学と薬学 58(2):363~369,2007.
EBウイルス 抗VCA IgG(FA)	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35):179~189,1978.
EBウイルス 抗VCA IgM(EIA)	脇口 宏,他:医学と薬学 58(2):363~369,2007.
EBウイルス 抗VCA IgM(FA)	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35):179~189,1978.
EBウイルス 抗VCA IgA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35):179~189,1978.
EBウイルス 抗EA IgG	脇口 宏,他:医学と薬学 58(2):363~369,2007.
EBウイルス 抗EA-DR IgG	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35):179~189,1978.
EBウイルス 抗EA-DR IgA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35):179~189,1978.
EBウイルス 抗EBNA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35):179~189,1978.
EBウイルス 抗EBNA IgG	脇口 宏,他:医学と薬学 58(2):363~369,2007.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	近藤 一博,他:蛋白質核酸酵素 35(17):3041~3047,1990.
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	Yalcin S et al: Archives of Virology 136:183~190,1994.
エンテロ ウイルス 70型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エンテロ ウイルス 71型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス A群2型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス A群3型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス A群4型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス A群5型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス A群6型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス A群7型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス A群9型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス A群9型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
コクサッキーウイルス A群10型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス A群16型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス B群1型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス B群1型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
コクサッキーウイルス B群2型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス B群2型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
コクサッキーウイルス B群3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス B群3型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
コクサッキーウイルス B群4型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス B群4型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
コクサッキーウイルス B群5型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス B群5型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
コクサッキーウイルス B群6型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
コクサッキーウイルス B群6型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
エコーウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 7型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 9型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 11型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 12型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 13型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 14型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 16型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 17型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 18型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
エコーウイルス 22型(パレコウイルス1型)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.

検査項目	測定参考文献
エコーウイルス 24型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 25型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 30型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
日本脳炎ウイルス(JaGAR株)	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第2分冊：81～97, 1987.
日本脳炎ウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
風疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
風疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
風疹ウイルス IgM	佐藤 俊則,他：臨床とウイルス 23 (1)：44～47, 1995.
インフルエンザウイルス A型(H1N1)(H3N2)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
インフルエンザウイルス A型	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
インフルエンザウイルス B型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
インフルエンザウイルス B型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
パラインフルエンザウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
RSウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
RSウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
麻疹ウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
ムンプスウイルス(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
ムンプスウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
ムンプスウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
ムンプスウイルス IgG	中山 哲夫：医学と薬学 42 (2)：303～306, 1999.
ムンプスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
HTLV-I(ATLV)抗体(PA)	池田 幹雄,他：図説臨床症シリーズ 9：42～50, 1986.
HTLV-I(ATLV)抗体(CLEIA)	植柳 泰,他：医学と薬学 73 (8)：1031～1035, 2016.
HTLV-1抗体	Zrein M, et al：Clin Diagn Lab Immunol 5 (1)：45～49, 1998.
HTLV-1核酸検出(妊婦) 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-I(ATLV)プロウイルスDNA(クロナリティ)	渡辺 俊樹,他：Medical Immunology 16 (6)：785～791, 1988.
HIV-1RNA定量	目崎 和久,他：医学と薬学 73 (6)：705～709, 2016.
HIV-1/2特異抗体	Kondo M, et al：PLoS ONE 13 (10) e0198924：1～10, 2018.
HIV抗原・抗体	桜庭 尚哉,他：医学と薬学 65 (5)：663～672, 2011.
ノロウイルス抗原	田中 智之：医学と薬学 61 (1)：93～98, 2009.
ノロウイルスRNA定性	Kageyama T, et al：J Clin Microbiol 41 (4)：1548～1557, 2003.

感染症(非ウイルス)関連検査	参考文献
クラミジアトラコマティス IgA	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマティス IgG	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマティスDNA	熊本 悦明,他：医学と薬学 66 (6)：1007～1014, 2011.
オーム病クラミドフィラ(クラミジア シッタシ)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgG	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgA	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgM	宮下 修行,他：小児科診療 71 (1)：95～99, 2008
抗ストレプトリジン-O 抗体(ASO)	伊藤 忠一：日本臨床 39 (6)：685～688, 1995.
抗ストレプトキナーゼ抗体(ASK)	土屋 彦治,他：臨床検査機器・試薬 7 (2)：417～422, 1984.
エンドトキシン定量	土谷 正和,他：日本細菌学雑誌 45 (6)：903～911, 1990.
透析液中エンドトキシン A液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン B液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン RO水	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン 調整液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン その他	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
百日咳抗体(EIA)	岡田 賢司：医学と薬学 65 (4)：531～536, 2011.
抗ヘリコバクターピロリ抗体(LA)	乾 正幸,他：日本ヘリコバクター学会誌 19 (1)：33～42, 2017.
便中ヘリコバクターピロリ抗原	朝日 佳代子,他：医学と薬学 57 (2)：253～260, 2007.
梅毒定性 RPR(LA)	桜庭 尚哉：医学と薬学 63 (1)：103～109, 2010.
梅毒定量 RPR(LA)	桜庭 尚哉：医学と薬学 63 (1)：103～109, 2010.
梅毒定量RPR法	福岡 良男：新訂臨床検査講座23 臨床免疫学(医歯薬出版)：361～364, 1997.
梅毒定性 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他：医療と検査機器・試薬 33 (1)：89～95, 2010.
梅毒定量 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他：医療と検査機器・試薬 33 (1)：89～95, 2010.
梅毒定量TPHA	出口 松夫,他：感染症学雑誌 68 (10)：1271～1277, 1994.

## 検査項目

## 測定参考文献

FTA-ABS	山屋 駿一,他:微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版:H83~H91, 1995.
寒冷凝集反応	原島 典子,他:衛生検査 27 (1): 67~71, 1978.
マイコプラズマニューモニエ(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂): 880~886, 1988.
マイコプラズマニューモニエ(PA)	大関 トシイ,他:自治医科大学臨床検査技師年報 12: 62~64, 1988.
ツツガムシカーブ IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270~274, 1984.
ツツガムシカーブ IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270~274, 1984.
ツツガムシカーブ IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270~274, 1984.
ツツガムシカーブ IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270~274, 1984.
ツツガムシギリアム IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270~274, 1984.
ツツガムシギリアム IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270~274, 1984.
クリプトコックス・ネオフォルマンシ抗原	篠田 孝子,他:真菌と真菌症 30 (3): 211~221, 1989.
カンジダマンナン抗原	新崎 晃弘,他:臨床検査機器・試薬 23 (3): 197~203, 2000.
アスペルギルス抗体	浜本 恒男:臨床と微生物 15 (3): 352~356, 1988.
アスペルギルス抗原	見手倉 久治,他:医学と薬学 42 (1): 207~212, 1999.
$\beta$ -D-グルカン	吉田 耕一郎,他:感染症学雑誌 79 (7): 433~442, 2005.
トリコスポロン・アサヒ抗体	三宅 修司,他:日本呼吸器学会誌 39 (1): 7~11, 2001.
トキソプラズマ IgG抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7): 743~747, 1994.
トキソプラズマ IgM抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7): 743~747, 1994.
結核菌特異的IFN- $\gamma$	Meier T, et al: European Journal of Clinical Microbiology & Infectious Diseases 24: 529~536, 2005.
MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	Kitada S, et al: AMERICAN JOURNAL OF Respiratory and Critical Care Medicine 177 (1): 793~797, 2008.

## 自己免疫関連検査

抗核抗体(ANA)	東條 毅:臨床検査 30 (7): 687~692, 1986.
抗DNA抗体(RIA)	鈴木 王洋,他:臨床免疫 25 (8): 1096~1102, 1993.
抗ss-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747~753, 2001.
抗ss-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5): 763~767, 2007.
抗ds-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747~753, 2001.
抗ds-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5): 763~767, 2007.
抗Sm抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973~975, 1993.
抗Sm抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345~355, 2012.
抗RNP抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973~975, 1993.
抗RNP抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345~355, 2012.
抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973~975, 1993.
抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345~355, 2012.
抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973~975, 1993.
抗SS-B/La抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345~355, 2012.
抗Scl-70抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973~975, 1993.
抗Scl-70抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1): 109~117, 2013.
抗RNAポリメラーゼIII抗体	桑名 正隆:リウマチ科 40 (3): 239~245, 2008.
抗セントロメア抗体	小島 和夫,他:医学と薬学 69 (4): 677~687, 2013.
抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	西海 正彦:臨床検査機器・試薬 13 (4): 835~838, 1990.
抗Jo-1抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1): 109~117, 2013.
抗ARS抗体	山田 祐介,他:リウマチ科 45 (2): 133~138, 2011.
抗MDA5抗体	Sato S, et al: PLoS One. 11 (4): e0154285, 2016.
抗Mi-2抗体	Fujimoto M, et al: J Dermatol Sci. 84 (3): 272~281, 2016.
抗TIF1- $\gamma$ 抗体	Fujimoto M, et al: J Dermatol Sci. 84 (3): 272~281, 2016.
リウマチ因子(RF) 定量	鬼塚 聖子,他:日本臨床検査自動化学会誌 35 (1): 17~22, 2010.
IgG型リウマチ因子	中園 清:医学と薬学 45 (3): 481~486, 2001.
抗カラクトース欠損IgG抗体	平山 吉郎,他:医学と薬学 42 (5): 817~828, 1999.
抗シトルリシ化ペプチド(CCP)抗体	山下 里美,他:医学と薬学 66 (3): 569~576, 2011.
抗ミトコンドリア抗体	山内 進,他:臨床免疫 7 (7): 825~830, 1975.
抗ミトコンドリア M2抗体	丹野 瑞木,他:医学と薬学 67 (3): 485~495, 2012.
抗平滑筋抗体	山内 進:臨床免疫 7 (7): 825~830, 1975.
抗胃壁細胞抗体	山内 進:衛生検査 22 (12): 1085~1089, 1973.
抗内因子抗体	Elizabeth A. Gomez et al: Clinical Chemistry 51 (1): 232~235, 2005.
ロイシンリッチ $\alpha$ 2グロブリン(LRG)	高山 茂雄,他:医学と薬学 76 (12): 1769~1780, 2019.
抗甲状腺 マイクロソーム抗体(マイクロソームテスト)	土屋 彦治,他:臨床検査 28 (1): 99~101, 1984.
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793~804, 2020.
抗甲状腺 サイログロブリン抗体(サイロイドテスト)	土屋 彦治,他:臨床検査機器・試薬 6 (4): 1007~1010, 1983.
抗サイログロブリン抗体(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793~804, 2020.
TSH刺激性レセプター抗体(TSAb)	上條 桂一,他:医学と薬学 71 (5): 903~911, 2014.
TSHレセプター抗体(定量)	小森 明日香,他:医学と薬学 46 (4): 563~570, 2001.
TSHレセプター抗体(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793~804, 2020.
抗GAD抗体	及川 洋一,他:医学と薬学 72 (9): 1551~1560, 2015.

## 検査項目

## 測定参考文献

抗IA-2抗体	川崎 英二,他:医学と薬学 66 (2): 345 ~ 352, 2011.
亜鉛トランスポーター 8 (ZnT8)抗体	Eiji Kawasaki et al: Acta Diabetol 51 (3): 429 ~ 434, 2014.
インスリン抗体	内湯 安子,他:医学と薬学 65 (4): 525 ~ 530, 2011.
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	太田 光熙,他:ホルモンと臨床 48 (1): 89 ~ 93, 2000.
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	本村 政勝,他:医学と薬学 70 (2): 421 ~ 428, 2013.
抗デスモグレイン1抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
抗デスモグレイン3抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
ミエリン塩基性蛋白(MBP)	Ohta M et al: Clinical Chemistry 46 (9): 1326 ~ 1330, 2000.
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	白井 文一,他:医学と薬学 68 (4): 697 ~ 704, 2012.
精子不動化抗体	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11): N209 ~ N212, 1990.
精子不動化抗体(SI50)	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11): N209 ~ N212, 1990.
ループスアンチコアグラント〔APTT凝固時間法〕	後藤 守孝,他:Modern Physician 15 (12): 1545 ~ 1550, 1995.
ループスアンチコアグラント〔希釈ラッセル蛇毒時間法〕	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5): 621 ~ 626, 2016.
ループスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5): 621 ~ 626, 2016.
抗カルジオリピン $\beta_2$ グリコプロテイン I 複合体抗体(抗CL $\cdot$ $\beta_2$ GP I抗体)	野島 順三,他:医学と薬学 32 (6): 1315 ~ 1320, 1994.
抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgG抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4): 447 ~ 459, 2021.
抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgM抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4): 447 ~ 459, 2021.
抗カルジオリピンIgG抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4): 447 ~ 459, 2021.
抗カルジオリピンIgM抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4): 447 ~ 459, 2021.
抗血小板抗体	柴田 洋一:輸血学 (中外医学社): 457 ~ 470, 1978.
PAIgG(血小板関連IgG)	林 悟,他:臨床病理 32 (11): 1253 ~ 1257, 1984.
HIT抗体(血小板第4因子 $\cdot$ ヘパリン複合体抗体)	阪田 敏幸:医学と薬学 68 (3): 547 ~ 555, 2012.
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66 (5): 823 ~ 828, 2011.
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66 (5): 823 ~ 828, 2011.
抗LKM-1抗体	竹村 真理,他:医学と薬学 46 (1): 109 ~ 114, 2001.
免疫複合体(C1q)	中村 敏男,他:臨床免疫 14 (S5): 92 ~ 100, 1982.
免疫複合体(モノクローナルRF)	森 勝志,他:医学と薬学 27 (2): 347 ~ 354, 1992.
抗アクアポリン4抗体	高橋 利幸,他:医学と薬学 73 (10): 1297 ~ 1300, 2016.
抗表皮成分自己抗体(直接法)	川生 明:病理と臨床 6 (増): 10 ~ 13, 1988.

## 免疫血液学的検査

ABO-Rh(D因子)式血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32 (S1): 215 ~ 219, 1996.
Rh-Hr式血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32 (S1): 215 ~ 219, 1996.
血液型不適合妊娠	支倉 逸人:日本臨床 26 (2): 262 ~ 272, 1968.
直接クームス試験	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9): 700, 1993.
間接クームス試験	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9): 700, 1993.
不規則性抗体(抗体同定 $\cdot$ 抗体価測定)	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9): 700, 1993.

## 免疫グロブリン

IgG	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版): 823 ~ 827, 1998.
IgA	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版): 823 ~ 827, 1998.
IgM	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版): 823 ~ 827, 1998.
IgGサブクラス分画(TIA)	川 茂幸,他:医学と薬学 74 (4): 463 ~ 470, 2017.
IgG2	川 茂幸,他:医学と薬学 74 (4): 463 ~ 470, 2017.
IgG4	松木 友里,他:医学と薬学 75 (7): 849 ~ 858, 2018.
免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版: 8 ~ 26, 1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版: 8 ~ 26, 1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)(DIRA)	McCudden C, et al: Clin Chem Lab Med 54 (6): 1095 ~ 1104, 2016.
免疫グロブリン遊離L鎖 $\kappa/\lambda$ 比(フリーライトチェーン)	守田 由香,他:医学と薬学 74 (8): 945 ~ 950, 2017.
尿中免疫電気泳動(尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版: 8 ~ 26, 1977.
オリゴクローナルバンド	佐々木 征治,他:最新電気泳動実験法(医歯薬出版): 61 ~ 74, 1999.
クリオグロブリン定性	青木 紀生,他:Medical Technology 6 (8): 619 ~ 624, 1978.

## 補体および関連物質

血清補体価	中藤 聡子,他:臨床検査機器 $\cdot$ 試薬 19 (4): 609 ~ 613, 1996.
C3	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版): 833 ~ 837, 1998.
C4	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版): 833 ~ 837, 1998.
C1q	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒビター活性)	Dick W et al: Immun Infekt 13: 113 ~ 118, 1985.

## 血漿蛋白

プレアルブミン	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1): 84 ~ 88, 2007.
$\alpha_1$ -マイクログロブリン	中野 卓,他:臨床検査機器 $\cdot$ 試薬 11 (3): 469 ~ 476, 1988.

## 検査項目

## 測定参考文献

$\alpha_1$ アンチトリプシン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
$\alpha_1$ アシドグリコプロテイン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
レチノール結合蛋白(RBP)	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1):84~88,2007.
$\alpha_2$ -マクログロブリン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
ハプトグロビン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
セルロプラスミン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
トランスフェリン	伊藤 忠一:検査と技術 16 (7):593~598,1988.
尿中トランスフェリン	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5):687~690,2000.
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5):687~690,2000.
$\beta_2$ -マクログロブリン	伊藤 浩治,他:医療と検査機器・試薬 26 (2):127~134,2003.
C反応性蛋白(CRP)定量	小林 咲絵,他:医学と薬学 78 (1):81~89,2021.
ペントラキシン3(PX3)	Inoue et al : Arterioscler Thromb Vasc Biol. 27 (1):161~167,2007.
血清アミロイドA蛋白(SAA)	永徳 広美,他:生物物理化学 37 (1):19~23,1993.
ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37 (5):1243~1253,1997.
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	藤田 孝,他:医療と検査機器・試薬 33 (5):629~632,2010.
心筋筋ミオシン軽鎖 I	宮崎 修一,他:医学と薬学 52 (3):443~449,2004.
心筋トロポニンT	古屋 実,他:医学と薬学 74 (5):607~617,2017.
フェリチン	唐澤 美佳,他:医療と検査機器・試薬 29 (5):493~497,2006.
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(CLEIA)	森 さゆり,他:医療と検査機器・試薬 41 (6):615~620,2018.
尿中NGAL	Cullen MR, et al : Ann Clin Biochem 49 (2):190~193,2012.
ヒト癌胎児性フィブロネクチン	Lockwood CJ et al : The New England Journal of Medicine 325 (10):669~674,1991.
I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)	日高 好博:医学と薬学 70 (2):357~365,2013.
I型コラーゲンC末端 テロペプチド(I CTP)	清原 剛,他:ホルモンと臨床 42 (12):1189~1193,1994.
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)	柴田 宏,他:臨床病理 63 (1):72~77,2015.
オートタキシン	島本 怜史,他:東ソ-研究・技術報告 第61巻:99~103,2017.
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)(CLIA)	北原 志穂,他:医学と薬学 72 (9):1579~1590,2015.
尿中Ⅳ型コラーゲン	小幡 賢一,他:臨床検査機器・試薬 18 (3):439~444,1995.
Ⅳ型コラーゲン・7S(CLEIA)	大高木 結媛,他:医学と薬学 77 (5):785~792,2020.
デオキシピリジノリン	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7):747~757,1996.
デオキシピリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7):747~757,1996.
KL-6	桜庭 尚哉,他:医学と薬学 61 (4):629~635,2009.
プロカリスチニン	小林 一三,他:医学と薬学 73 (4):459~467,2016.

## 免疫血清学(その他)

$\beta$ -アミロイド1-42/1-40比	Maria João Leitão, et al : Alzheimers Res Ther 11 (1):91,2019.
リン酸化タウ	Maria João Leitão, et al : Alzheimers Res Ther 11 (1):91,2019.
タウ蛋白	T.Nishimura.et al : Methods Findings 20 :227~236,1998.

## サイトカイン

可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	林 圭織,他:医学と薬学 75 (12):1611~1620,2018.
TARC(Th2ケモカイン)	安江 智美,他:アレルギーの臨床 34 (10):60~65,2014.
IL-4 (インターロイキン-4)(高感度)	Kricka LJ : Clinical Chemistry 37 (9):1472~1481,1991.
インターロイキン-6 (IL-6)	B Prieto, et al : Clin Chem Lab Med 48 (6):835~838,2010.
IL-6 (インターロイキン-6)	竹村 正男,他:医学と薬学 36 (5):1071~1076,1996.
IL-10 (インターロイキン-10)	Groote DD et al : Journal of Immunological Methods 177 :225~234,1994.

## アレルギー検査

特異的IgE(MAST36アレルギー)	中川 武正,他:アレルギーの臨床 26 (3):238~242,2006.
特異的IgE(MAST48mix)	澤崎 健:アレルギーの臨床 38 (12):1145~1151,2018.
特異的IgE(View アレルギー 39)	張田 聖恵:医学と薬学 73 (6):721~726,2016.
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10):1525~1530,1997.

## 細胞性免疫検査

CD34定量	Chen CH et al : Journal of Hematotherapy 3 :3~13,1994.
高感度PNH型血球検査	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会:日本臨床検査標準協議会誌 18 (2):69~85,2003.
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al : American Journal of Clinical Pathology 100 :534~540,1993.
悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al : American Journal of Clinical Pathology 100 :534~540,1993.
多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL : CYTOMETRY 22 :264~281,1995.
多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)	Takamatsu H, et al : Int J Hematol 109 (4):377~381,2019.
悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL : CYTOMETRY 22 :264~281,1995.
PHAによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他:臨床検査 23 (7):660~667,1979.
Con-Aによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他:臨床検査 23 (7):660~667,1979.
薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST)	北見 啓之,他:臨床免疫 15 (9):727~736,1983.
MLC(リンパ球混合培養)	笹月 健彦,他:移植 14 (2):93~113,1979.



## 検査項目

## 測定参考文献

T細胞百分率 B細胞百分率	Wauwe JV et al : Immunology 44 : 865 ~ 871, 1981.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgG	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgA	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgM	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgD	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) K	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) L	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
IgG-FcR <sup>+</sup> ・T細胞百分率	Perussia B et al : The Journal of Immunology 130 (5) : 2133 ~ 2141, 1983.
血小板表面マーカー検査 CD41	野村 昌作,他:臨床免疫 19 (8) : 717 ~ 724, 1987.
血小板表面マーカー検査 CD42b	野村 昌作,他:臨床免疫 19 (8) : 717 ~ 724, 1987.
Th1/Th2 (IFN- $\gamma$ ×IL-4/CD4)	渋谷 和子:細胞工学 17 (5) : 807 ~ 816, 1998.
NK細胞活性	康 浩一,他: Medical Technology 21 (7) : 574 ~ 580, 1993.

## 抗原特異的CTL

サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*0201)	馬場 俊之,他:血液腫瘍科 45 (1) : 22 ~ 27, 2002.
サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*2402)	馬場 俊之,他:血液腫瘍科 45 (1) : 22 ~ 27, 2002.

## 先天異常の染色体検査

染色体 G-Banding	Seabright M : The Lancet 2 : 971 ~ 972, 1971.
染色体 C-Banding	Sumner AT et al : Exp Cell Res 75 : 304 ~ 306, 1972.
染色体 Q-Banding	Caspersson T et al : Hereditas 67 : 89 ~ 102, 1971.
染色体 高精度分染法	Ikeuchi T et al : Proc Japan Acad 55 (1) : 15 ~ 18, 1979.
染色体SKY(先天異常)	Veldman T et al : Nature Genetics 15 : 406 ~ 410, 1997.
脆弱X染色体(脆弱X症候群)	Sutherland GR : Science 197 : 265 ~ 266, 1977.
1染色体(1p36欠失症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
4染色体(ウォルフ・ヒルシュホーン症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
5染色体(ソトス症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
7染色体(ウイリアムズ症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
13染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
13染色体(先天性網膜芽細胞腫RB1)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
15染色体(ブラダーウイリ症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
15染色体(アンジェルマン症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
17染色体(ミラーディカー症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
18染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
21染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
22染色体(22q11欠失)(CATCH22) conotruncal anomaly face 症候群velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X染色体(ステロイドサルファターゼ遺伝子STS)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
マイクロアレイ染色体検査(染色体構造変異解析)	David T. Miller, et al : Am J Hum Genet. 86 (5) : 749 ~ 764, 2010.

## 白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

血液疾患染色体 G-Banding	Seabright M : The Lancet 2 971 ~ 972, 1971.
染色体SKY(血液疾患)	Veldman T et al : Nature Genetics 15 : 406 ~ 410, 1997.
TCF3-PBX1 t(1;19)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
CKS1B 1q21 増幅	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
ALK 2p23転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
GATA2-MECOM inv(3)逆位,t(3;3)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BCL6 3q27転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-FGFR3 t(4;14)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
FIP1L1-PDGFR $\alpha$ del(4) 長腕欠失(4q12欠失)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
CSF1R del(5)長腕欠失	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
EGR1 del(5)長腕欠失	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
PDGFRB 5q32転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
D7S486 del(7)長腕欠失 / 7染色体(7モノソミー)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
8染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
MYC 8q24転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-MYC t(8;14)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
RUNX1-RUNX1T1(AML1-MTG8) t(8;21)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
FGFR1 8p11.2転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

## 検査項目

## 測定参考文献

末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
KMT2A(MLL) 11q23.3転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-CCND1(IGH-BCL1) t(11;14)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
NUP98 11p15転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BIRC3-MALT1(API2-MALT1) t(11;18)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
ATM del(11)長腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
12染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
ETV6-RUNX1(TEL-AML1) t(12;21)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
D13S319 del(13)長腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-BCL2 t(14;18)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-MAF t(14;16)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
PML-RARA t(15;17)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
CBFB inv(16)逆位, t(16;16)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
TP53 del(17)短腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
MALT1 18q21転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BCL2 18q21転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
del(20)長腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

## 固形腫瘍の染色体検査

del(1)短腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
MYCN 2p24増幅	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
del(19)長腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
EWSR1 22q12転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

## 造血器腫瘍遺伝子検査

FLT3/ITD 変異解析	Kiyoi, H, et al : Leukemia 11 : 1147 ~ 1452, 1997.
FLT3変異解析ITD/TKD	Murphy KM, et al : J Mol Diagn 5 (2) : 96 ~ 102, 2003.
NPM1 変異解析	Gorello P, et al : Leukemia, 20 (6) : 1103 ~ 1108, 2006.
KIT シーケンス解析(白血病)	E Barragan, et al : Hematologica 89 (8) : 920 ~ 925, 2004.
JAK2V617F 遺伝子変異解析	桐戸 敬太,他 : 臨床血液 59 (6) : 669 ~ 674, 2018.
MPN 遺伝子変異解析	Tsunedomi R, et al : Cancer Science 108 (7) : 1504 ~ 1509, 2017.
MYD88 遺伝子変異解析	Kraan W, et al : Blood Cancer J. 3 (9) : e139, 2013.
CD79B 遺伝子変異解析	Kraan W, et al : Blood Cancer J. 3 (9) : e139, 2013.
EZH2 遺伝子変異解析	Heid CA, et al : Genome Res. 6 (10) : 986 ~ 994, 1996.
白血病キメラスクリーニング(定量)	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
WT1 mRNA 定量	宮脇 修一,他 : 臨床血液 46 (12) : 1279 ~ 1287, 2005.
Major BCR-ABL1 mRNA 定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
Major BCR-ABL1 mRNA (IS)	Hirohisa Nakamae, et al : International Journal of Hematology DOI 10.1007/s12185-015-1826-9, 2015.
Major BCR-ABL1 mRNA 定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
Major BCR-ABL1 ABL1 変異解析	Arghya Ray, et al : Blood 109 (11) : 5011 ~ 5015, 2007.
minor BCR-ABL1 mRNA 定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
minor BCR-ABL1 mRNA 定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
micro BCR-ABL1 mRNA 定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
minor BCR-ABL1 ABL1 変異解析	Arghya Ray, et al : Blood 109 (11) : 5011 ~ 5015, 2007.
minor BCR-ABL1 (%)	J Gabert, et al : Leukemia 17 (12) : 2318 ~ 2357, 2003.
min BCR-ABL1 (%) マルク	J Gabert, et al : Leukemia 17 (12) : 2318 ~ 2357, 2003.
TCF3-PBX1 mRNA 定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
TCF3-PBX1 mRNA 定性	Hunger SP et al : Blood 77 (4) : 687 ~ 693, 1991.
PML-RARA mRNA 定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
PML-RARA mRNA 定性	Borrow J et al : Science 249 : 1577 ~ 1580, 1990.
CBFB-MYH11 mRNA 定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
CBFB-MYH11 mRNA 定性	Claxton DF et al : Blood 83 (7) : 1750 ~ 1756, 1994.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA 定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA 定性	Miyoshi H et al : Proc Natl Acad Sci USA 88 (23) : 10431 ~ 10434, 1991.
RUNX1-MECOM mRNA 定性	Mitani K et al : The EMBO Journal 13 (3) : 504 ~ 510, 1994.
ETV6-RUNX1 mRNA 定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
ETV6-RUNX1 mRNA 定性	Shurtleff SA et al : Leukemia 9 (12) : 1985 ~ 1989, 1995.
KMT2A-AFF1 mRNA 定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-AFF1 mRNA 定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
KMT2A-AFDN mRNA 定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-AFDNmRNA 定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.

## 検査項目

## 測定参考文献

KMT2A-MLLT3 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
KMT2A-MLLT3 mRNA定性	Yamamoto K et al：Blood 83 (10)：2912～2921, 1994.
KMT2A-MLLT1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
KMT2A-MLLT1 mRNA定性	Yamamoto K et al：Blood 83 (10)：2912～2921, 1994.
NUP98-HOXA9 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
STIL-TAL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
DEK-NUP214 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
DEK-NUP214 mRNA定性	Soekarman D et al：Blood 79 (11)：2990～2997, 1992.

## 免疫関連遺伝子再構成検査

T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成	村上 龍文,他：日本臨床 47 (増刊号)：113～123, 1989.
T細胞レセプター β鎖Jβ1再構成	村上 龍文,他：日本臨床 47 (増刊号)：113～123, 1989.
T細胞レセプター β鎖Jβ2再構成	村上 龍文,他：日本臨床 47 (増刊号)：113～123, 1989.
T細胞レセプター γ鎖Jγ再構成	村上 龍文,他：日本臨床 47 (増刊号)：113～123, 1989.
T細胞レセプター δ鎖Jδ1再構成	村上 龍文,他：日本臨床 47 (増刊号)：113～123, 1989.
免疫グロブリンH鎖J <sub>H</sub> 再構成	村上 龍文,他：日本臨床 47 (増刊号)：113～123, 1989.
免疫グロブリンH鎖C <sub>H</sub> 再構成	村上 龍文,他：日本臨床 47 (増刊号)：113～123, 1989.
免疫グロブリンL鎖J <sub>K</sub> 再構成	村上 龍文,他：日本臨床 47 (増刊号)：113～123, 1989.
免疫グロブリンL鎖C <sub>K</sub> 再構成	村上 龍文,他：日本臨床 47 (増刊号)：113～123, 1989.
免疫グロブリンL鎖C <sub>L</sub> 再構成	村上 龍文,他：日本臨床 47 (増刊号)：113～123, 1989.

## 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

BRAF exon15 V600E(SEQ)	日本臨床腫瘍学会：大腸がん患者におけるKRAS遺伝子変異の測定に関するガイダンス 第1版 2008.
EGFR変異解析 v2.0	Benlloch S, et al：PLoS One 9 (2)：e89518, 2014.
EGFR変異解析 v2.0 (血漿)	Benlloch S, et al：PLoS One 9 (2)：e89518, 2014.
EGFR遺伝子 変異解析(Scorpion-ARMS法)	Whitcombe, et al：Nature Biotech 17：804～807, 1999.
ROS1融合遺伝子定性	日本肺癌学会：肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
ROS1融合遺伝子定性(FFPE)	日本肺癌学会：肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
EML4-ALK 融合遺伝子定性	Horn L, et al：Journal of Clinical Oncology 27 (26)：4232～4235, 2009.
ArcherMETex14スキッピング(FFPE)	Srivastava AK, et al：Mol Cancer Ther. 17 (3)：698～709, 2018.
IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FFPE)	Arita H, et al：Brain Tumor Pathol 32 (1)：22～30, 2015.
IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FF)	Arita H, et al：Brain Tumor Pathol 32 (1)：22～30, 2015.
PIK3CA遺伝子変異解析(SEQ)	日本臨床腫瘍学会：大腸がん患者におけるKRAS遺伝子変異の測定に関するガイダンス 第1版 2008.
c-kit遺伝子変異解析(GIST)	Alessandra Maleddu, et al：Journal of Translational Medicine 9：75, 2011.
RAS・BRAF遺伝子変異解析	Bando H, et al：BMC Cancer 13：405, 2013.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FFPE)	Buhand O, et al：J Clin Oncol. 24 (2)：241～251, 2006.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FF)	Buhand O, et al：J Clin Oncol. 24 (2)：241～251, 2006.
オンコマインDx Target TestマルチCDx(FFPE)	Meenakshi M, et al：PLoS One12 (8)：e0181968, 2017.
オンコマインDx Target TestマルチCDx(FF)	Meenakshi M, et al：PLoS One12 (8)：e0181968, 2017.
オンコマインDx Target Testマルチ研究用46遺伝子解析(FFPE)	Meenakshi M, et al：PLoS One12 (8)：e0181968, 2017.
オンコマインDx Target Testマルチ研究用46遺伝子解析(FF)	Meenakshi M, et al：PLoS One12 (8)：e0181968, 2017.
AmoyDx肺癌マルチパネル IVD(3ヵ月以下)	Hirsch, F.R. and P.A. Bunn, Jr.：Lancet Oncol 10 (5)：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル IVD(3～12ヵ月)	Hirsch, F.R. and P.A. Bunn, Jr.：Lancet Oncol 10 (5)：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル IVD(12～24ヵ月)	Hirsch, F.R. and P.A. Bunn, Jr.：Lancet Oncol 10 (5)：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル IVD(FF)	Hirsch, F.R. and P.A. Bunn, Jr.：Lancet Oncol 10 (5)：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル 研究用(3ヵ月以下)	Hirsch, F.R. and P. A. Bunn, Jr.：Lancet Oncol 10 (5)：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル 研究用(3～12ヵ月)	Hirsch, F.R. and P. A. Bunn, Jr.：Lancet Oncol 10 (5)：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル 研究用(12～24ヵ月)	Hirsch, F.R. and P. A. Bunn, Jr.：Lancet Oncol 10 (5)：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル 研究用(FF)	Hirsch, F.R. and P. A. Bunn, Jr.：Lancet Oncol 10 (5)：432～433, 2009.

## 遺伝学的検査

RET遺伝子変異解析(甲状腺髄様癌)	Kihara M, et al：Auris Nasus Larynx 43 (5)：551～555, 2016.
RETシングルサイト解析	Kihara M, et al：Auris Nasus Larynx 43 (5)：551～555, 2016.
SNRPN遺伝子解析(メチレーションPCR)プラダー・ウィリ症候群 アンジェルマン症候群	Kenjiro K, et al：Am J Med Genet. 73 (3)：308～313, 1997.
PRRT2遺伝子変異解析	Ono S, et al：J Hum Genet 57 (5)：338～341, 2012.
TTR遺伝子解析(家族性アミロイドーシス)	Booth DR, et al：Circulation. 91 (4)：962～967, 1995.
MECP2遺伝子(exon3,4)変異解析	Thierry Bienvenu et al：Human Molecular Genetics 9 (9)：1377～1384, 2000.
ジストロフィンDNA	Lai KKS et al：Clin Biochemistry 39 (4)：367～372, 2006.
福山型筋ジストロフィー DNA 挿入	Watanabe M et al：American Journal of Medical Genetics 138A：344～348, 2005.
先天性QT延長症候群遺伝子解析	Fujiki R, et al：J Mol Diagn pii：S1525-1578 (17) 30554-8：Jun 25, 2018.
MEFV遺伝子解析(家族性地中海熱)	The International FMF Consortium：Cell. 90 (4)：797～807, 1997.
HTT遺伝子CAG反復配列解析	La Spada A. R, et al：Nature 352：77～79, 1991.
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析	La Spada A. R, et al：Nature 352：77～79, 1991.

# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

### 薬剤応答遺伝子検査

IL28B SNPs 解析	Ito K, et al : J Clin Microbiol 49 : 1853 ~ 1860, 2011.
薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP2C19遺伝子多型解析	平塚 真弘 : 薬学雑誌 122 (7) : 451 ~ 463, 2002.
UGT1A1遺伝子多型解析	森 篤雄,他 : Bio Clinica 23 (7) : 643 ~ 648, 2008.
NUDT15遺伝子codon 139多型解析	Moriyama T, et al : Nat Genet, 48 (4) : 367 ~ 373, 2016.

### 移植関連遺伝子検査

HLA-A,B(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他 : MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-A(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-B(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-C(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-DR(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他 : MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-DRB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DPB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DQB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
抗HLA抗体(スクリーニング検査)	日本組織適合性学会 認定制度委員会 : QCWS参考プロトコル 抗体検査(LABScreen)平成29年度版.
フローサイトクロスマッチ(リンパ球交差試験)	石塚 敏 : 日本組織適合性学会誌 20 (2) : 121 ~ 129, 2013.
キメリズム解析移植前レシビエント [PCR]	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.
キメリズム解析移植前ドナー [PCR]	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.
キメリズム解析移植後 [PCR]	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.

### 尿一般検査

尿一般検査	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 128 ~ 148, 2015.
尿沈渣	日本臨床検査標準協議会 尿沈渣専門委員会 : 尿沈渣検査法2010 日本臨床検査標準協議会誌.

### 糞便検査

虫卵(塗抹)	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第30版(金原出版) : 192 ~ 208, 1993.
虫卵(集卵)	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第30版(金原出版) : 192 ~ 208, 1993.
便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
便中ヘモグロビン定性・定量[金コロイド法]	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.

### 微生物学的検査

一般細菌 (塗抹鏡検、培養同定、嫌気性培養、尿中生菌数定量、薬剤感受性、目的菌、便診検査、環境検査)	Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.1. Williams & Wilkins, 1984. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.2. Williams & Wilkins, 1986. 小酒井 望 : 臨床検査技術全書 7 微生物検査 初版 医学書院, 1974. 微生物検査必携 細菌・真菌検査(厚生省監修) 第3版 財団法人日本公衆衛生協会, 1987. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定法検討委員会報告(1989年) : Chemotherapy 38 (1) : 102 ~ 105, 1990. 抗菌薬感受性測定法検討委員会報告(1992年) : Chemotherapy 41 (2) : 183 ~ 190, 1993. 三原 利仁,他 : 臨床と微生物 23 (2) : 249 ~ 254, 1996. 川上 小夜子,他 : 日本臨床微生物雑誌 12 (2) : 86 ~ 92, 2002. Clinical Microbiology Procedures Handbook-4th edition, 2016. 永沢 善三,他 : 日本臨床微生物雑誌 第27巻 : 臨床微生物質量分析計検査法ハンドブック : 5 ~ 40, 2017. 後藤 陽一郎,他 : 検査と技術 21 (13) : 1061 ~ 1066, 1993.
ヘリコバクター培養同定・感受性検査	日本化学療法学会抗菌薬感受性測定委員会,ヘリコバクターピロリ委員会:日本化学療法学会誌 50 (1):54 ~ 58, 2002.
CDトキシゲン(GDH)	蔵田 訓,他 : 臨床と微生物 37 (5) : 465 ~ 470, 2010. AJIT P.LIMAYE,他 : JOURNAL of CLIMICALMICROBIOLOGY 38 (4) : 1696 ~ 1697, 2000.
抗酸菌(抗酸菌塗抹、分離培養、薬剤感受性、結核菌群抗原)	日本結核病学会 抗酸菌検査法検討委員会 : 抗酸菌ガイド2016. 小栗 豊子,編 臨床微生物検査ハンドブック 第4版. 三輪書店, 2011.
抗酸菌同定(質量分析)	大楠 清文,他 : 抗酸菌検査ガイド 2016 : 60 ~ 65, 2016.
結核菌群核酸同定(TRC)	田村 卓,他 : 日本臨床微生物学雑誌 18 (1) : 15 ~ 19, 2008.
MAC核酸同定(TRC)	田村 卓,他 : 日本臨床微生物学雑誌 18 (1) : 15 ~ 19, 2008.

### 培養同定検査

ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA	Wakefield AE et al : The Lancet 336 : 451 ~ 453, 1990.
マイコプラズマニューモニエDNA 定性(QProbe)	川嶋 洋介,他 : 日本臨床微生物学雑誌 28 (2) : 98 ~ 105, 2018.
マイコプラズマニューモニエDNA	山口 恵三,他 : 医学と薬学 58 (4) : 565 ~ 571, 2007.
レジオネラDNA 定性	山口 恵三,他 : 医学と薬学 58 (4) : 565 ~ 571, 2007.
百日咳菌DNA	Kamachi K, et al : J Clin Microbiol 44 (5) : 1899 ~ 1902, 2006.
赤痢アマーバDNA 定性	Tachibana H, et al : J Infect Dis 164 (4) : 825 ~ 826, 1991.
淋菌DNA	熊本 悦明,他 : 医学と薬学 66 (6) : 1007 ~ 1014, 2011.
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	熊本 悦明,他 : 医学と薬学 66 (6) : 1007 ~ 1014, 2011.
ウイルス分離	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook : 3 ~ 20, 1973.
ウイルス同定	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook : 3 ~ 20, 1973.

### 細胞診検査

細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
---------------------	--

## 検査項目

## 測定参考文献

細胞診(婦人科ベセスダシステム)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
細胞診(婦人科LBC)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
細胞診(尿LBC)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
膀胱癌FISH(ウロビジョン)	Sarosdy MF, et al : J Urol 168 (5) : 1950 ~ 1954, 2002.

## 病理組織検査

病理標本作製(一般材料)	日本臨床衛生検査技師会 : 病理検査技術教本(丸善出版) : 2017.
病理標本作製(手術材料)	日本臨床衛生検査技師会 : 病理検査技術教本(丸善出版) : 2017.
CD30(IHC)	長塩 亮,他 : 病理と臨床 32 (臨増) : 12 ~ 18, 2014.
悪性リンパ腫ALKタンパク(IHC)	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
エストロゲンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
エストロゲンレセプター /プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
乳癌HER2/neuタンパク(染色法)	谷 洋一 : Pharma Medica 18 (8) : 87 ~ 92, 2000.
乳癌HER2遺伝子(FISH)	Persons DL et al : Annals of Clinical Laboratory Science 30 (1) : 41 ~ 48, 2000.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
胃癌HER2遺伝子(FISH)	Persons DL et al : Ann Clin Lab Sci 30 (1) : 41 ~ 48, 2000.
胃癌HER2タンパク(IHC)	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 136 ~ 143, 2002.
胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP263	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌ALKタンパク(高感度IHC)	竹内 賢吾,他 : 臨床検査 57 (3) : 271 ~ 276, 2013.
肺癌ALKタンパク (IHC)D5F3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌ALK遺伝子(FISH)	Scott J.Rodrig et al : Clinical Cancer Research 15 (16) : 5216 ~ 5223, 2009.
メラノーマPD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
CCR4タンパク(IHC)	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.

## 総合解析検査

悪性リンパ腫 総合解析検査[ML-NET]	菊池 昌弘 : Medical Technology 28 (2) : 114 ~ 121, 2000.
-----------------------	--

## リスク検査

男性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
男性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
男性AICS(5種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AICS(6種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.

## ウイルス感染症検査

水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	Kimura H et al : The Journal of Infectious Diseases 178 : 310 ~ 317, 1998.
ヒトヘルペスウイルス 6型DNA定量	Tanaka N et al : Bone Marrow Transplantation 26 : 1193 ~ 1197, 2000.
HCV 1b-IFN/リハビリン変異	Akuta N,et al : Intervirology 48 : 372 ~ 380, 2005.
麻疹ウイルス(PA)ワクチン	柴 賢司,他 : 臨床とウイルス 20 (1) : 35 ~ 40, 1992.

## その他特殊検査

亜硝酸/硝酸イオン	Green LC et al : Analytical Biochemistry 126 : 131 ~ 138, 1982.
レプチン	鈴木 茂夫,他 : Bio Clinica 13 (12) : 1049 ~ 1052, 1998.
総タウ蛋白(AD)	湯原 麻子,他 : 医学と薬学 79 (1) : 91 ~ 97, 2022.
高分子量アディポネクチン(CLEIA)	折津 政江,他 : 医学と薬学 62 (5) : 891 ~ 898, 2009.
PGE-MUM(CLEIA)	森山 和重,他 : 医学と薬学 77 (3) : 393 ~ 401, 2020.
PCDHB DNAメチル化解析	近藤 豊 : パイロシーケンス法, 実験医学別冊 エビジェネティクス実験プロトコール : 77 ~ 91, 2008.
miR34b/c DNAメチル化解析	近藤 豊 : パイロシーケンス法, 実験医学別冊 エビジェネティクス実験プロトコール : 77 ~ 91, 2008.
抗ミューラー管ホルモン(AMH)	浅田 義正,他 : 医学と薬学 72 (1) : 109 ~ 118, 2015.

## 自己抗体検査

抗皮膚抗体	吉岡 順子 : 皮膚 23 (1) : 29 ~ 54, 1981.
抗ヒストン抗体	Burlingame RW et al : The Journal of Clinical Investigation 88 : 680 ~ 690, 1991.
抗ランゲルハンス氏島 抗体(ICA)	Bonifacio E et al : The Lancet 355 : 147 ~ 149, 1990.

検査項目	測定参考文献
抗好中球抗体	Lalezari P et al : Manual of Clinical Laboratory Immunohematology 4th Ed : 344 ~ 350, 1992.
抗プロトンピン抗体	鎌木 淳一,他 : 医学と薬学 47 (5) : 813 ~ 819, 2002.
<b>補体系検査</b>	
C1エステラーゼ抑制因子定量	Tietz NW et al : Clinical Guide to Laboratory Tests 3rd Ed : 156 ~ 159,
<b>神経・筋疾患検査</b>	
ミエリン随伴性糖蛋白(MAG)自己抗体	McGinnis S et al : Journal of Neuroimmunology 17 : 119 ~ 126, 1988.
LHONミトコンドリアDNA Evaluation	Santorelli FM et al : Neurology 44 (5) : 972 ~ 974, 1994.
<b>腫瘍関連検査</b>	
Ri自己抗体	Andersson P et al : Anal Chem 79 (11) : 4022 ~ 4030, 2007.
Hu自己抗体	Andersson P et al : Anal Chem 79 (11) : 4022 ~ 4030, 2007.
Yo自己抗体	Andersson P et al : Anal Chem 79 (11) : 4022 ~ 4030, 2007.
腫瘍随伴性レチノパシー(CAR)自己抗体	Andersson P et al : Anal Chem 79 (11) : 4022 ~ 4030, 2007.

## 検体の採取・取り扱い方法

### 血液

[採血時間] 一般的に早朝安静空腹時(緊急性や指定条件を除き)を原則としています。

#### [検体採取]

- 血液 所定の抗凝固剤入り採血容器にて採血後、速やかに転倒混和させ、特に指定が無い場合、室温および冷蔵保存の場合はこのままで、凍結保存の場合は提出容器に移して指定の保存条件にてご提出ください。
- 血清 必要量の3倍量を目安に血液を採血してください。  
特に指定が無い場合、採血後室温に静置させ、凝固を確認後、遠心分離してください。  
遠心分離後、上清を提出容器に移し、指定の保存条件にてご提出ください。  
保存条件は検査項目により異なりますので、各検査項目の保存条件をご参照ください。
- 血漿 必要量の3倍量を目安に血液を採血してください。  
特に指定が無い場合、所定の抗凝固剤入り採血容器にて採血後、速やかに転倒混和し、遠心分離してください。  
遠心分離後、上清を提出容器に移し、指定の保存条件にてご提出ください。  
採取方法および保存条件は検査項目により異なりますので、各検査項目の備考および保存条件、容器の取り扱い方法をご参照ください。  
容器の規定採血量より少ない場合、項目によってはデータに影響を及ぼすことがあります。必ず指定容量を採取してください。

#### [注意事項]

- 真空採血にあたり  
容器の規定採血量より少ない場合、容器内部が陰圧状態のままとなり溶血を引き起こす原因となります。  
必ず、指定容量を採取してください。
- シリンジ採血にあたり  
シリンジから注射針を外し、採血管の側面に沿わせてゆっくりと注入してください。
- 溶血を避けるにあたり  
採血時に無理な圧力や泡立ちを避けてください。  
十分に乾燥した採血容器を用いてください。  
物理的的刺激(極度の高温や低温、振動等)を避けてください。

### 尿

#### [部分尿]

採尿容器に尿を採取して、必要量を提出容器に移し、指定の保存条件にてご提出ください。

採尿時間を指定している検査項目もありますので、各検査項目の備考および容器の取り扱い方法をご参照ください。

#### [24時間蓄尿]

蓄尿開始時に完全に排尿させ(捨てる)、それ以降の翌日同時刻までに排尿した尿の全てを蓄尿容器に採尿します。

蓄尿の間は、蓄尿容器に蓋をして冷暗所にて保存してください。

蓄尿終了後、蓄尿量を測定し、よく混和させ必要量を提出容器に移し蓄尿時間と蓄尿量を記入のうえ、指定の保存条件にてご提出ください。

#### ○酸性蓄尿

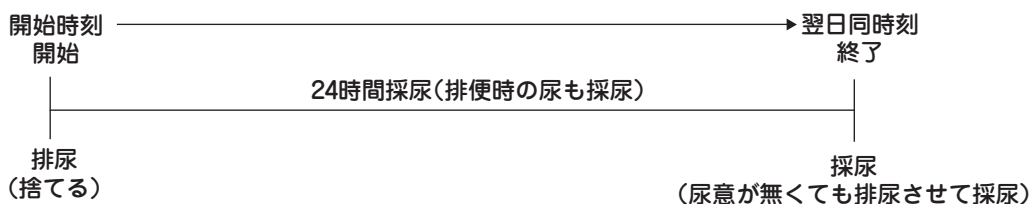
検査項目により、防腐・安定化等を目的に当社では、下記の蓄尿時に尿を酸性化する方法を採用しております。ただし、これらの方法にて酸性化した尿検体ではデータに影響がある検査項目もありますので、ご依頼いただく各検査項目の備考を必ずご参照ください。

##### 1.防腐剤を使用する方法

蓄尿量にかかわらず、専用防腐剤(錠剤と顆粒)全てを蓄尿容器に入れて蓄尿します。

##### 2.塩酸を使用する方法

規定量の6Nの塩酸を蓄尿容器に入れて蓄尿します。(添加する詳細な規定量や注意事項は各検査項目の備考をご参照ください。)



# 容器の取り扱い方法

## 凝固検査用検体のご提出方法 (凝固検査検体取扱いに関するコンセンサスより抜粋)

### 【採血管】

- ・容器の素材は、プラスチック製もしくはシリコン処理済みガラス製を使用する
- ・抗凝固剤には、0.105～0.109M(3.13～3.2%)クエン酸ナトリウム溶液を使用する
- ・クエン酸ナトリウム溶液と血液の比率は1:9とし、許容採血量は公称採血量±10%までとする
- ・患者のヘマトクリット値(Ht)が55%以上の場合はクエン酸ナトリウム溶液を調整する

### 【採血】

JCCLSの標準採血法ガイドラインGP4-A2に従う

- ・真空採血、注射器採血のいずれの組み合わせも使用可とする
  - 採血針を用いた真空採血：1番目に凝固検査用採血管もしくは血清用採血管で採血する
  - 翼状針を用いた真空採血：1番目にダミーの採血管もしくは他の検査用採血管で採血後、凝固時間検査用採血管で採血する
  - 注射器採血：1番目に凝固検査用採血管に血液を分注する
- ・最低限の血流うっ滞(駆血帯処理)で清潔に穿刺する
- ・個別の状況に応じて対応することも可能とするため、21～23Gの注射針あるいは翼状針を使用する
- ・ヘパリンが混在する静脈ラインは使用不可である
- ・正確な血液量が採血管に流入したことを確認し、血液と抗凝固剤は速やかに5回程度泡立たぬよう転倒混和する

### 【遠心分離】

- ・遠心分離の温度設定は室温(18～25℃)にコントロールする
- ・平均遠心重力は1500×gで最低15分間、または2000×gで最低10分間の遠心分離処理を推奨する
- ・血小板の混入は測定結果に影響するため、残存血小板数を1万/ $\mu$ L未満になるようパフィーコートから最低5mm離れた上清を使用する

### 【凝固検体の確認】

採血困難な患者を中心に検査室到着時にすでに凝固が確認できる検体があり、遠心前に凝固を視認した場合は、再採血による検査続行か検査中止の確認を臨床側と相談する。

### 【補足】

CLSI Approved guideline 5<sup>th</sup> ed H21-A5では、Vascular access device(VAD)からの採血では、エアリークが無いことを確認し、可能な限りヘパリンフラッシュを避け、ヘパリンの混入あるいは希釈を避けることが明記されている。具体的にはまず生食5mLでフラッシュ、続いて5mLあるいはVADのdead spaceの6倍容量の血液を廃棄したのち検体を採取する。生食ロック(cap-off intravenous port)からの採血ではカテーテルと延長セット(extension set)dead spaceの2倍量を廃棄することが明記されている。

### 【参考】

1. 日本検査血液学会標準化委員会凝固検査標準化ワーキンググループ  
凝固検査検体取扱いに関するコンセンサス 日本検査血液学会雑誌 17, 149-168, 2016.
2. Ieko M et al : expert consensus regarding standardization of sample preparation for clotting time assays. Int J Hematol 112; 614-620, 2020

## 専用容器について

各頁掲載の専用容器は当社にて準備してございますので最寄りの営業所・営業拠点までお申し付けください。  
なお、有効期間につきましては目安とお考えください。



## 容器形態

**A00**

貯蔵方法 室温

旧容器記号

**X**



ポリスピッツ

## 容器形態

**ARR**

貯蔵方法 室温

旧容器記号

**r**



滅菌ポリスピッツ

## 容器形態

**ASS**

貯蔵方法 室温

旧容器記号

**i**



遮光ポリスピッツ

## 容器形態

**AZZ**

酸洗浄済みのポリスピッツ  
貯蔵方法 室温


旧容器記号


**Z**




金属検査


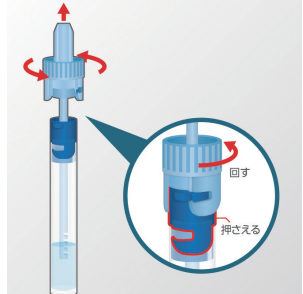
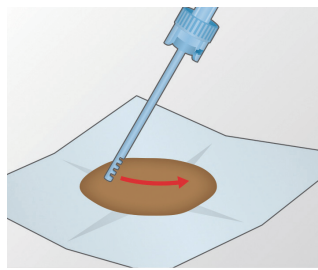

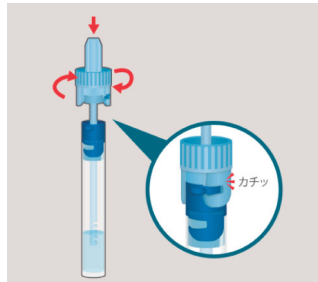
# 容器の取り扱い方法


容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>F00</b> 旧容器記号 <b>U</b>  糞便容器 貯蔵方法 室温	アデノウイルス DNA 定性	糞便 500mg			糞便500mgを左図の容器に入れ、必ず凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	ノロウイルス抗原	糞便 各小指先大		凍結	糞便の中央部より0.5g(小指先大)を左図の容器に入れ、必ず凍結保存してください。
	ノロウイルス RNA定性				
	便中カルプロテクチン	糞便 1g			糞便1g(拇指頭大)を左図の容器に入れ、必ず凍結保存してください。
	虫卵〔塗抹〕	糞便 各拇指頭大		冷蔵	糞便1g(拇指頭大)を左図の容器に入れ、冷蔵保存してください。
	虫卵〔集卵〕				
	赤痢アメーバDNA 定性	糞便 0.5g		凍結	糞便の中央部より0.5g(小指先大)を左図の容器に入れ、速やかに凍結保存してください。

容器形態	検査項目	保存	採取方法
<b>F20</b> 旧容器記号 <b>d4</b> 便中ヘリコバクターピロリ抗原専用容器  内容 ほう酸1mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	便中ヘリコバクターピロリ抗原	冷蔵	1.(準備)容器の白ラベルを途中まではがし氏名・日付等を記入し、また巻いてください。ピンクの採便棒を回して引き抜いてください。 2.(便をとる)採便棒先端の溝すべてが便でうまるように、便の表面をこすりとってください。 3.(便をとったあと)採便棒を容器にもどして根元までしっかりねじ込んでください。再び開けないでください。 4.(保管上の注意)添付のビニール袋に入れて提出まで冷暗所に保管してください。採便後は、すみやかに提出してください。 (注)出来るだけ新しい便を提出してください。 (注)採便容器の緑キャップは、絶対にはずしたり、ゆるめたりしないでください。

容器形態	検査項目	保存	採取方法
<b>F50</b>  便中ヘモグロビン 専用容器 貯蔵方法 室温 有効期限 製造から 1年	便中ヘモグロビン (特異的便潜血反応)	冷蔵	採便スティックの溝が埋まる程度に便の表面をまんべんなくこすり取る。(取りすぎ、少なすぎは不可)キャップを容器に差込しっかりしめて下さい。(容器内の液を捨てないで採取して下さい。)

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	保存	
<p><b>F30</b> 旧容器記号 <b>d9</b></p>  <p>内容 トリス緩衝液 BSA アジ化ナトリウム (0.1%以下) 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 24ヵ月</p>	便中カルプロテクチン(FEIA)	<p><b>凍結</b></p>	
	採取方法		
	 <p>1. キャップの青色部分を押さえながら、その上の水色部分を左に回し、スティックを引き抜きます。</p>		 <p>2. スティック先端の4つの溝が、十分に埋まるように便をこすり取ります。</p>
	 <p>3. スティックの先端についた便をトイレトペーパー等で取り除きます。</p>		 <p>4. スティックを容器に差し込み、キャップの水色部分が青色部分にカチッと合まるまで右に回します。</p>
<p>●注意事項 容器中の保存液が、目や口に入ったり皮膚に付着したりしないようご注意ください。誤って付着した場合は水で十分に洗い流してください。</p>			

容器形態	検査項目	保存	採取方法
<p><b>F80</b> 旧容器記号 <b>d8</b></p>  <p>内容 保存液 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年</p>	便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	<p><b>冷蔵</b></p>	<p>●採取方法 1. キャップを回してスティックを取り出し、便の表面をまんべんなくこすり採ります。 2. 1回だけ差し込み、キャップをしっかり締めます。 3. 袋に入れ冷蔵保存し、ご提出ください。</p> <p>●注意事項 1. 容器の中の保存液は捨てないでください。 2. 便は溝が埋まるくらい採ります。採りすぎ、少なすぎにご注意ください。 採便時の食事制限はありません。</p>
	便中ヘモグロビン及びトランスフェリン(1回目)		
	便中ヘモグロビン及びトランスフェリン(2回目)		
	便中ヘモグロビン定性(金コロイド法)		
	便中ヘモグロビン定性(金コロイド法) 1回目 2回目		
	便中ヘモグロビン定量(金コロイド法) 1回目 2回目		

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>H00</b> 旧容器記号 <b>H</b></p>  <p>保存液入り (容器容量5mL)</p> <p>内 容 RPMI-1640 FBS 硫酸カナマイシン ノボヘパリンNa 炭酸水素Na HEPES</p> <p>貯蔵方法 凍結 有効期間 色が薄いピンクの状態で使用してください。(凍結時は淡黄色ですが解凍すると薄いピンク色に戻ります。)</p>	白血病・リンパ腫解析検査 (LLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	骨髄液 各1.0	骨髄液 (保存液加) 各1.0		指定の採取量を採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析 (造血器悪性腫瘍細胞検査)				
	染色体 G-Banding				
	染色体SKY (血液疾患)				
	TCF3-PBX1 t(1;19)転座	リンパ節 5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm	冷蔵	リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	CKS1B 1q21増幅				
	ALK 2p23転座	骨髄液 各1.0	骨髄液 (保存液加) 各1.0	冷蔵	骨髄液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	GATA2-MECOM inv(3)逆位, t(3;3)転座				
	BCL6 3q27転座	リンパ節 5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm	冷蔵	リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	IGH-FGFR3 t(4;14)転座				
	FIP1L1-PDGFR del(4)長腕欠失 (4q12欠失)	骨髄液 各1.0	骨髄液 (保存液加) 各1.0	冷蔵	骨髄液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	CSF1R del(5)長腕欠失				
	EGR1 del(5)長腕欠失				
	PDGFRB 5q32転座				
D7S486 del(7)長腕欠失/7染色体(7モノソミー)					
血液疾患染色体 8染色体					

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>H00</b> 旧容器記号 <b>H</b></p>  <p>採取後 H00 項目氏 保存液入り用 凍結 有効期間 色が薄いピンクの状態で使用してください。(凍結時は淡黄色ですが解凍すると薄いピンク色に戻ります。)</p> <p>保存液入り (容器容量5mL)</p> <p>内容 RPMI-1640 FBS 硫酸カナマイシン ノボヘパリンNa 炭酸水素Na HEPES</p> <p>貯蔵方法 凍結 有効期間</p>	MYC 8q24転座	骨髓液 1.0	骨髓液 (保存液加) 1.0	<p>冷蔵</p>	<p>骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p>リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。</p>
	IGH-MYC t(8;14)転座	リンパ節 各5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 各5×5×5mm		
	RUNX1-RUNX1T1 (AML1-MTG8) t(8;21)転座	骨髓液 各1.0	骨髓液 (保存液加) 各1.0		
	FGFR1 8p11.2転座				
	BCR-ABL1 t(9;22)転座				
	KMT2A(MLL) 11q23.3転座				
	IGH-CCND1 (IGH-BCL1) t(11;14)転座	リンパ節 5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		
	NUP98 11p15転座	骨髓液 各1.0	骨髓液 (保存液加) 各1.0		
	BIRC3-MALT1 (API2-MALT1) t(11;18)転座	リンパ節 5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		
	ATM del(11)長腕欠失	骨髓液 各1.0	骨髓液 (保存液加) 各1.0		
	血液疾患染色体 12染色体				
	ETV6-RUNX1 (TEL-AML1) t(12;21)転座				
	D13S319 del(13)長腕欠失				
	IGH-BCL2 t(14;18)転座	リンパ節 5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		
IGH-MAF t(14;16)転座	骨髓液 各1.0	骨髓液 (保存液加) 各1.0			
PML-RARA t(15;17)転座					
CBFB inv(16)逆位、t(16;16)転座					

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法	
<b>H00</b> 旧容器記号 <b>H</b>	TP53 del(17)短腕欠失	骨髄液 1.0	骨髄液 (保存液加) 1.0	冷蔵	骨髄液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。	
	MALT1 18q21転座	リンパ節 5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		リンパ節 5×5×5mm	リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
		骨髄液 1.0	骨髄液 (保存液加) 1.0		骨髄液 1.0	骨髄液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	BCL2 18q21転座	リンパ節 5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		リンパ節 5×5×5mm	リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
		骨髄液 各1.0	骨髄液 各1.0		骨髄液 各1.0	骨髄液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	del(20)長腕欠失					
	血液疾患染色体 X染色体					
	血液疾患染色体 Y染色体					
	異性間BMT(骨髄移植) (X,Y染色体)					
	del(1)短腕欠失	組織 各5×5×5mm	組織 (保存液加) 各5×5×5mm		組織 各5×5×5mm	組織5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	MYCN 2p24増幅	骨髄液 1.0	骨髄液 (保存液加) 1.0		骨髄液 1.0	骨髄液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	del(19)長腕欠失	組織 各5×5×5mm	組織 (保存液加) 各5×5×5mm		組織 各5×5×5mm	組織5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	EWSR1 22q12転座					
	FLT3/ITD 変異解析					骨髄液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
FLT3変異解析 ITD/TKD				左図の容器に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。		
NPM1変異解析						
KIT シーケンス解析(白血病)	骨髄液 各1.0	骨髄液 (保存液加) 各1.0	骨髄液 各1.0			
白血病キメラ スクリーニング(定量)				指定の採取量を採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。		



保存液入り (容器容量5mL)

内容

RPMI-1640  
FBS  
硫酸カナマイシン  
ノボヘパリンNa  
炭酸水素Na  
HEPES


貯蔵方法

凍結


有効期間

色が薄いピンクの状態で使用してください。(凍結時は淡黄色ですが解凍すると薄いピンク色に戻ります。)

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>H00</b> 旧容器記号 <b>H</b></p>  <p>保存液入り (容器容量5mL)</p> <p>内 容 RPMI-1640 FBS 硫酸カナマイシン ノボパリンNa 炭酸水素Na HEPES</p> <p>貯蔵方法 凍結</p> <p>有効期間 色が薄いピンクの状態で使用してください。(凍結時は淡黄色ですが解凍すると薄いピンク色に戻ります。)</p>	WT1 mRNA定量	骨髄液 各1.0	骨髄液 (保存液加) 各1.0	冷蔵	骨髄液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	Major BCR-ABL1 mRNA定量				
	Major BCR-ABL1 mRNA定性				
	Major BCR-ABL1 ABL1変異解析				
	min BCR-ABL1 (%)マルク				
	minor BCR-ABL1 mRNA定量				
	minor BCR-ABL1 mRNA定性				
	micro BCR-ABL1 mRNA定性				
	minor BCR-ABL1 ABL1変異解析				
	TCF3-PBX1 mRNA定量				
	TCF3-PBX1 mRNA定性				
	PML-RARA mRNA定量				
	PML-RARA mRNA定性				
	CBFB-MYH11 mRNA定量				
	CBFB-MYH11 mRNA定性				
	RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量				
	RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性				
	RUNX1-MECOM mRNA定性				
	ETV6-RUNX1 mRNA定量				
	ETV6-RUNX1 mRNA定性				
KMT2A-AFF1 mRNA定量					
KMT2A-AFF1 mRNA定性					
KMT2A-AFDN mRNA定量					
KMT2A-AFDN mRNA定性					
KMT2A-MLLT3 mRNA定量					
KMT2A-MLLT3 mRNA定性					




# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>H00</b> 旧容器記号 <b>H</b></p>  <p>採取後</p> <p>保存液入り (容器容量5mL)</p> <p>内容 RPMI-1640 FBS 硫酸カナマイシン ノボヘパリンNa 炭酸水素Na HEPES</p> <p>貯蔵方法 凍結</p> <p>有効期間 色が薄いピンクの状態で使用してください。(凍結時は淡黄色ですが解凍すると薄いピンク色に戻ります。)</p>	KMT2A-MLLT1 mRNA定量	骨髄液 各1.0	骨髄液 (保存液加) 各1.0	冷蔵	骨髄液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	KMT2A-MLLT1 mRNA定性				
	NUP98-HOXA9 mRNA定量				
	STIL-TAL1 mRNA定量				
	DEK-NUP214 mRNA定量				
	DEK-NUP214 mRNA定性				
	T細胞レセプターβ鎖Cβ1再構成				
	T細胞レセプターβ鎖Jβ1再構成				
	T細胞レセプターβ鎖Jβ2再構成				
	T細胞レセプターγ鎖Jγ再構成				
	T細胞レセプターδ鎖Jδ1再構成				
	免疫グロブリンH鎖JH再構成				
	免疫グロブリンH鎖Cμ再構成				
	免疫グロブリンL鎖JK再構成				
	免疫グロブリンL鎖CK再構成				
免疫グロブリンL鎖Cλ再構成					
キメリズム解析移植前レシピエント〔PCR〕					
キメリズム解析移植前ドナー〔PCR〕		臍帯血 1.0	臍帯血 (保存液加) 1.0		指定の採取量を採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
キメリズム解析移植後〔PCR〕		骨髄液 1.0	骨髄液 (保存液加) 1.0		


容器の取り扱い方法





# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>H20</b> 旧容器記号 <b>H2</b> 	保存液入り (容器容量10mL)  内 容 FBS PBS 硫酸カナマイシン 貯蔵方法 凍結 有効期間 製造から 1年  悪性リンパ腫解析検査 (MLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)  悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析 (造血器悪性腫瘍細胞検査)	リンパ節 各5×5× 5mm	リンパ節 (保存液加) 各5×5×5mm	冷蔵	リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>M30</b> 旧容器記号 <b>r3</b> 	除蛋白液入り (内容量1mL)  内 容 0.8N過塩素酸 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 1年  乳酸  ピルビン酸	血液 各1.0	速やかに遠心 除蛋白液 各0.4	冷蔵	採血後、直ちに正確に血液1.0mLを専用容器に加え、充分攪拌後3000rpm5分間遠心分離し、その上清液をご提出ください。
容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>M40</b> 旧容器記号 <b>r4</b> 	除蛋白液入り (内容量4mL)  内 容 タングステン酸Na、 硫酸 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 1年  アンモニア	血液 1.0	速やかに遠心 除蛋白液 3	凍結	採血後、直ちに正確に血液1.0mLを専用容器に加え、充分攪拌後3000rpm5分間遠心分離し、その上清液をご提出ください。


# 容器の取り扱い方法


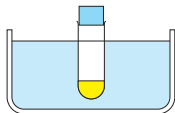

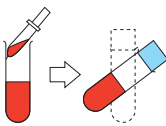
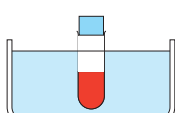

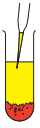
容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>M50</b> 旧容器記号 r5 	除蛋白液入り (内容量0.5mL) 内 容 0.8N過塩素酸 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 1年	血清 0.5	除蛋白上清 0.5	凍結	採血後、直ちに血清分離し、正確に血清0.5mLを専用容器に加え、充分攪拌後、3000rpm5分間遠心分離し、その上清液を遮光ポリスピッツ(ASS)に移し替え、凍結してご提出ください。

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>PAC</b> 旧容器記号 B 	ACD-A保存液入り 内 容 ACD-A保存液 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年 (アルミ包装 開封後1ヵ月)	血液 7.5	血液 (ACD-A液加) 7.5	冷蔵	指定の採血量を採血し、左図の容器に注入し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 (注)末梢血の血小板数が $3 \times 10^4 / \mu\text{L}$ 以下の場合、専用容器2本を使用し、必ず10mL以上採血してください。

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>PAP</b> 旧容器記号 D 	EDTA-2Na+ アプロチニン入り (真空採血量3mL)	血液 各1.5~2.0	冷却 遠心 血漿 0.5	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	内 容 EDTA-2Na 3.75mg アプロチニン (1500単位)		速やかに 冷却遠心 血漿 0.5		左図の容器に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離し、直ちに凍結保存してください。
	貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年		ヒト心房性ナトリウム 利尿ペプチド(HANP)		速やかに 冷却遠心 血漿 0.5

# 容器の取り扱い方法


容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>PAR</b> 旧容器番号 <b>B1</b> 	ACD-A保存液入り 内 容 ACD-A保存液 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年 (アルミ包装 開封後1ヵ月)	血液 7.5	血液 (ACD-A液加) 7.5	室温	指定の採血量を採血し、左図の容器に注入し、よく混和させ、室温保存してください。

容器形態	検査項目	保存	採取方法																													
<b>PBT</b> 旧容器記号 <b>Q</b> 	β-トロンボ グロブリン(β-TG)	凍結		あらかじめ専用容器(PBT)を冷却しておいてください。 砕氷水の水面より専用容器中の液面が下になるようにしてください。角氷は使用しないでください。																												
				できるだけ20ゲージ(19~21ゲージでも可)の針を用いたプラスチック注射器で血液3.0mLを採取してください。(採血にあたって、専用容器(PBT)を使用しての直接採血は絶対にしないでください。)	真空採血管、カテーテルおよび他の方法は使用しないでください。また、駆血帯も使用しないでください。10mL以上の採血は避け、出来るだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採取してください。																											
				針を取って静かに専用容器(PBT)のフタを開け、血液2.7mLを静かに移し、ゆっくり2~3回転倒混和してください。	指定の専用容器以外は使用しないでください。専用容器は振とうさせないでください。																											
				専用容器を速やかに砕氷と水の入ったラックに入れてください。	砕氷水の水面より専用容器中の血液の液面が下になるようにしてください。																											
			<b>以上の操作を2分以内に行ってください。</b>			砕氷水に15~30分間放置後、採取血液を2000Gで30分間、2~4℃で遠心分離してください。(右表は2000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。) * 遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r: 遠心機のローター半径(cm) n: 1分間あたりの回転数(rpm)	1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。																									
			(真空採血禁止) 抗血小板剤入り 内 容 テオフィリン アデノシン ジピリダモール クエン酸ナトリウム クエン酸 貯蔵方法 遮光・冷蔵 有効期間 製造から1年	血小板第4因子 (PF-4)		上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで1項目につき0.3mL検体容器へ採取してください。血餅に近い部分からの採取は絶対に避けてください。(血漿の全量採取は避けてください。)検体は必ず凍結保存してください。(1ヵ月安定)	<table border="1"> <caption>換 算 表</caption> <thead> <tr> <th>半 径 (cm)</th> <th>回 転 数 (rpm)</th> <th>半 径 (cm)</th> <th>回 転 数 (rpm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>4200</td> <td>22</td> <td>2800</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>3800</td> <td>24</td> <td>2700</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>3500</td> <td>26</td> <td>2600</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>3300</td> <td>28</td> <td>2500</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>3100</td> <td>30</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>3000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	半 径 (cm)	回 転 数 (rpm)	半 径 (cm)	回 転 数 (rpm)	10	4200	22	2800	12	3800	24	2700	14	3500	26	2600	16	3300	28	2500	18	3100	30	2400	20
半 径 (cm)	回 転 数 (rpm)	半 径 (cm)	回 転 数 (rpm)																													
10	4200	22	2800																													
12	3800	24	2700																													
14	3500	26	2600																													
16	3300	28	2500																													
18	3100	30	2400																													
20	3000																															

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>PC2</b> 旧容器記号 <b>K</b></p>  <p>3.2%クエン酸 ナトリウム入り (真空採血量1.8mL)</p> <p>内容 3.2%クエン酸Na 0.2mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年 (25本入りプラスチックケース 開封後1ヵ月)</p>	ヘパリン	血液 各1.8	速やかに遠心 血漿 0.3	凍結	<p>3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。</p> <p>血漿は必ず凍結保存してください。 (複数の検査項目をご依頼される場合で、採血量が1.8mL以上の場合、(PC5)の容器をご利用ください。)</p> <p><b>〔注意事項〕</b> *トータルPAI-1につきましては以下の点にご注意ください。 1.採取容器は(PC2)を用い、必ず冷却遠心してください。室温遠心や容器(PC5)での採血はデータが高値となるため、避けてください。 2.速やかに分離できない場合は、氷水中に保存し、1時間以内に分離してください。</p>
	活性化部分 トロンボプラスチン時間 (APTT)		速やかに遠心 血漿 各0.5		
	プロトロンビン時間 (PT)		速やかに遠心 血漿 各0.5		
	フィブリノーゲン (FIB)		速やかに遠心 血漿 0.4		
	可溶性フィブリンモノマー 複合体(SFMC)		速やかに遠心 血漿 0.5		
	フィブリンモノマー 複合体定量		速やかに遠心 血漿 0.3		
	FDP定量		速やかに遠心 血漿 0.5		
	Dダイマー		速やかに遠心 血漿 0.3		
	プロトロンビン フラグメントF1+2		速やかに遠心 血漿 各0.5		
	アンチトロンビンⅢ (ATⅢ)		速やかに遠心 血漿 各0.5		
	トロンビン・ アンチトロンビンⅢ 複合体(TAT)		速やかに遠心 血漿 0.2		
	プラスミノーゲン		速やかに 冷却遠心 血漿 0.5		
	アンチプラスミン ( $\alpha_2$ プラスミンインヒビター)		速やかに遠心 血漿 各0.3		
	$\alpha_2$ プラスミンインヒビター・ プラスミン複合体(PICテスト)				
トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)					
活凝 第Ⅷ因子(F8) 性固 [合成基質法] 検因 第Ⅸ因子(F9) 査子 [合成基質法]					



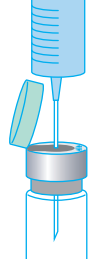
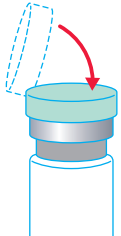
# 容器の取り扱い方法


容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法		
<p><b>PC2</b> 旧容器記号 <b>K</b></p>  <p>3.2%クエン酸 ナトリウム入り (真空採血量1.8mL)</p> <p>内 容 3.2%クエン酸Na 0.2mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年 (25本入りプラ スティックケー ス開封後1ヵ月)</p>	第Ⅱ因子 (F2)	血液 各1.8	血漿 各0.4	凍結	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 (複数の検査項目をご依頼される場合で、採血量が1.8mL以上の場合、(PC5)の容器をご利用ください。)		
	第Ⅴ因子 (F5)						
	第Ⅶ因子 (F7)						
	第Ⅷ因子 (F8)						
	凝固因子活性検査 第Ⅸ因子 (F9)						
	第Ⅹ因子 (F10)						
	第Ⅺ因子 (F11)						
	第Ⅻ因子 (F12)						
	第Ⅻ因子 (F13)						
	フォン・ウィルブランド因子抗原定量					速やかに遠心	血漿 0.2
	フォン・ウィルブランド因子活性 (リストセチンコファクター)					速やかに遠心	血漿 0.5
	フォン・ウィルブランド因子マルチマー解析					速やかに遠心	血漿 0.4
	ADAMTS13-活性					速やかに遠心	血漿 0.3
	ADAMTS13インヒビター					速やかに遠心	血漿 0.6
プロテインC (抗原量)	速やかに遠心	血漿 0.3					
プロテインC活性	速やかに遠心	血漿 0.4					
プロテインS (抗原量)	速やかに遠心	血漿 0.2					
プロテインS活性	速やかに遠心	血漿 0.4					
プロテインS (遊離型抗原量)	速やかに遠心	血漿 0.2					
トロンボモジュリン	速やかに遠心	血漿 0.4					

# 容器の取り扱い方法


容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>PC2</b> 旧容器記号 <b>(K)</b> 	3.2%クエン酸ナトリウム入り (真空採血量1.8mL)  内容 3.2%クエン酸Na 0.2mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年 (25本入りプラスチックケース開封後1ヵ月)	血液 各1.8	速やかに遠心 血漿 0.5	凍結	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。
	C1インアクチベーター活性 (C1エステラーゼインヒビター活性)		速やかに遠心 血漿 0.2		3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。(複数の検査項目をご依頼される場合で、採血量が1.8mL以上の場合、(PC5)の容器をご利用ください。)
<b>PC5</b> 旧容器記号 <b>(L)</b> 	3.2%クエン酸ナトリウム入り (真空採血量4.5mL)  内容 3.2%クエン酸Na 0.5mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年 (25本入りプラスチックケース開封後1ヵ月)	血液 各4.5	速やかに遠心 血漿 2.0	凍結	3.2%のクエン酸ナトリウム0.5mLに血液4.5mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。血漿は必ず「遮光ポリスピツ」(ASS)にてご提出ください。血漿は必ず凍結保存してください。
	第Ⅷ(8)因子 凝固抑制因子検査 第Ⅸ(9)因子		速やかに遠心 血漿 各1.0		3.2%のクエン酸ナトリウム0.5mLに血液4.5mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。
	ループスアンチコアグラント		速やかに遠心 血漿 1.0		採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、パフィーコートより5mm以上、上から血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。 ※遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r:遠心機のローター半径(cm) n:1分間あたりの回転数 (rpm)
<b>PE2</b> 旧容器記号 <b>(T3)</b> 	(真空採血量2mL)  内容 ノボヘパリン 15IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年	血液 (ノボヘパリン加) 各2.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和してください。室温保存ではデータ影響が認められるため、速やかに冷蔵保存してください。 β-D-グルカン以外との重複依頼は避けてください。
	β-D-グルカン				左図の容器に採血し、よく混和してください。速やかに冷蔵保存してください。エンドトキシン定量以外との重複依頼は避けてください。

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	採取方法
<b>PE4</b> 旧容器記号 <b>T4</b>  (真空採取量：4.0mL) 内容 安定化剤 0.1mL 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 1年	A液	透析液 (安定化剤入) 各4.0		冷蔵	<b>1</b>  PE4容器のカラーキャップを矢印の方向に引き上げ、アルミ部分を切らないように、(カラーキャップが完全に外に落ちないように)開け、ゴム栓部分を消毒用アルコール綿で拭きます。
	B液				<b>2</b>  無菌的に透析液を注射針付きのシリンジで採取し、PE4容器のゴム栓部に刺します。
	RO水				<b>3</b>  注入が終わりましたら、カラーキャップを元通りに被せ、直ちに4回ほど容器を振り、安定化剤を均質に混ぜ、速やかに冷蔵保存し、提出してください。
	調整液				
	その他				

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>PF2</b> 旧容器記号 <b>E</b>  内容 フッ化Na 2.5mg ヘパリンNa 25uspu EDTA-2Na 7.4mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	グルコース	血液 1.5~2.0	血漿 0.5	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	ヘモグロビンA1c (HbA1c) (NGSP)	血液(フッ化Na加) 2.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。
	グリコアルブミン	血液 2.0	血漿 0.5		左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。


# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法		
<b>PH5</b> 旧容器記号 <b>G</b> 	γ-アミノ酪酸 (GABA)	血液 3.0	速やかに遠心 血漿 1.0	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、直ちに血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。		
	脂肪酸分画(24成分)	血液 各1.5~2.0	血漿 各0.5	冷蔵	早朝空腹時に左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。		
	脂肪酸分画(4成分)						
	極長鎖脂肪酸	血液 4.5~5.0	血漿 2.0		左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は凍結保存してください。		
	リポ蛋白リパーゼ (LPL)	血液 1.5~2.0	速やかに冷却遠心 血漿 0.3	凍結	早朝空腹時にヘパリンを体重1kgあたり30単位静注し、15分後に左図の容器に採血し低温(4℃)で遠心分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。		
	ニコチン酸 (ナイアシン)	血液 (ヘパリン加) 1.5		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。		
	鉛(Pb)	血液 (ヘパリン加) 3.0					
	クロム	血液 (ヘパリン加) 0.7					
	カドミウム	血液 (ヘパリン加) 0.5					
	マンガン	血液 (ヘパリン加) 0.7					
	エタノール	血液 (ヘパリン加) 1.0				凍結	左図の容器に採血し、よく混和させた後、血液をポリスピッツに移し、必ず凍結保存してください。
	ポリコナゾール	血液 各1.5~2.0	血漿 0.3			冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	カルバマゼピン		血漿 各0.5				
	エトスクシミド						
フェノバルビタール							
フェニトイン							
プリミドン	血漿 0.3						
バルプロ酸	血漿 0.5						


ヘパリン入り  
(真空採血量5mL)  
 内容  
 ヘパリンNa  
 65IU  
 貯蔵方法  
 室温  
 有効期間  
 製造から 2年



# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>PH5</b> 旧容器記号 <b>G</b></p>  <p>ヘパリン入り (真空採血量5mL)</p> <p>内 容 ヘパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年</p>	ガバペンチン	血液 各1.5~2.0	血漿 各0.3	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	ラモトリギン				
	トピラマート				
	レベチラセタム				
	スチリペントール				
	ペランパネル				
	ラコサミド				
	アミオダロン				
	ベプリジル				
	アプリンジン				
	ジソピラミド				
	プロカインアミド	血漿 各0.4			
	プロプラノロール	血漿 各0.3			
	ピルシカイニド				
	シベンゾリン	血液 3.0~4.0	血漿 1.3		
	ピルメノール		血漿 0.4		
	キニジン		血漿 0.3		
フレカイニド	血液 各1.5~2.0	血漿 各0.5			
テオフィリン					
メトトレキサート					


# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法	
<p><b>PH5</b> 旧容器記号 <b>G</b></p>  <p>へパリン入り (真空採血量5mL)</p> <p>内容 へパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年</p>	結核菌特異的 IFN- $\gamma$	血液 (へパリン加) 5.0		室温	左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存(18~25℃)してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。	
	プレセプシン	血液 1.5~2.0	速やかに遠心 血漿 0.4	凍結	左図の容器に採血後、2~3回軽く転倒混和し、速やかに血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 ボルテックスミキサー等による激しい攪拌、緩やかな長時間攪拌、凍結融解はデータが高値となるため避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。	
	CD34定量	血液 (へパリン加) 5.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存してください。 DMSO含有の場合は、凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。	
	赤血球表面マーカー検査 CD55	血液 (へパリン加) 各1.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。	
	赤血球表面マーカー検査 CD59					
	白血病・リンパ腫解析検査 (LLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	血液 (へパリン加) 各5.0				
	悪性リンパ腫解析検査 (MLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)					
	T細胞百分率 B細胞百分率	血液 (へパリン加) 3.0				左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存(17~25℃)してください。 なお、リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	B細胞表面免疫 グロブリン (Sm-Ig)	IgG	血液 (へパリン加) 各1.0			室温
		IgA				
		IgM				
		IgD				
		K				
L						
モノクローナル抗体 によるリンパ球表面 マーカーの自動解析	血液 (へパリン加) 各3.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存してください。 (10項目以上の場合は血液5.0mL採血してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。		
Two-color解析に よるリンパ球表面 マーカー検査						
IgG-FcR <sup>+</sup> T細胞百分率	血液 (へパリン加) 1.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存(17~25℃)してください。 なお、リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。		
血小板表面マーカー検査 CD41	血液 (へパリン加) 各5.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。		
血小板表面マーカー検査 CD42b						
Th1/Th2 (IFN- $\gamma$ × IL-4/CD4)	血液 (へパリン加) 3.0					


# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div> <p><b>PH5</b> 旧容器記号 <b>G</b></p> <p>ヘパリン入り (真空採血量5mL)</p> <p>内 容 ヘパリンNa 65IU</p> <p>貯蔵方法 室温</p> <p>有効期間 製造から 2年</p> </div> </div>	サイトメガロウイルス 特異的CTL解析 (HLA-A*0201)	血液 (ヘパリン加) 各5.0		室温	左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	サイトメガロウイルス 特異的CTL解析 (HLA-A*2402)				
	G-Banding	血液 (ヘパリン加) 各3.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	先天異常染色体 C-Banding				
	Q-Banding				
	高精度分染法				
	染色体SKY (先天異常)				
	脆弱X染色体 (脆弱X症候群)				
	1染色体 (1p36欠失症候群)				
	4染色体 (ウォルフ・ヒルシュホーン症候群)				
	5染色体 (ノトス症候群)				
	7染色体 (ウイリアムズ症候群)				
	先天異常染色体 13染色体				
	13染色体 (先天性網膜芽細胞腫RB1)				
	15染色体 (ブラダーウイリ症候群)				
	15染色体 (アンジェルマン症候群)				
	17染色体 (ミラーディカー症候群)				
	先天異常染色体 18染色体				
	先天異常染色体 21染色体				
	22染色体(22q11欠失) (CATCH22) conotruncal anomaly face症候群 velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群				
先天異常染色体 X染色体					
X染色体(ステロイドサル ファターゼ遺伝子STS)					


# 容器の取り扱い方法


容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>PH5</b> 旧容器記号 <b>G</b></p>  <p>ヘパリン入り (真空採血量5mL)</p> <p>内 容 ヘパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年</p>	先天異常染色体 Y染色体	血液 (ヘパリン加) 各3.0			<p>左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。</p> <p><b>冷蔵</b></p>
	Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)				
	X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)				
	血液疾患染色体 G-Banding	血液 (ヘパリン加) 各5.0			
	染色体SKY (血液疾患)				
	TCF3-PBX1 t(1;19)転座				
	CKS1B 1q21増幅				
	ALK 2p23転座				
	GATA2-MECOM inv(3)逆位, t(3;3)転座				
	BCL6 3q27転座				
	IGH-FGFR3 t(4;14)転座				
	FIP1L1-PDGFR del(4) 長腕欠失(4q12欠失)				
	CSF1R del(5)長腕欠失				
	EGR1 del(5)長腕欠失				
	PDGFRB 5q32転座				
	D7S486 del(7)長腕欠失/ 7染色体(7モノソミー)				
	血液疾患染色体 8染色体				
	MYC 8q24転座				
	IGH-MYC t(8;14)転座				
RUNX1-RUNX1T1 (AML-MTG8) t(8;21)転座					
FGFR1 8p11.2転座					
BCR-ABL1 t(9;22)転座					

# 容器の取り扱い方法



容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>PH5</b> 旧容器記号 <b>G</b></p>  <p>ヘパリン入り (真空採血量5mL)</p> <p>内 容 ヘパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年</p>	末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座	血液 (ヘパリン加) 各5.0	血液 (ヘパリン加) 各5.0	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 血液は採取後、速やかにご提出ください。 採血後30時間以上経過した血液を使用した場合、細胞の形態的变化により、判定に影響がでる場合があるため検査できません。
	KMT2A(MLL) 11q23.3転座				左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	IGH-CCND1 (IGH-BCL1) t(11;14)転座				
	NUP98 11p15転座				
	BIRC3-MALT1 (API2-MALT1) t(11;18)転座				
	ATM del(11)長腕欠失				
	血液疾患染色体 12染色体				
	ETV6-RUNX1 (TEL-AML1) t(12;21)転座				
	D13S319 del(13)長腕欠失				
	IGH-BCL2 t(14;18)転座				
	IGH-MAF t(14;16)転座				
	PML-RARA t(15;17)転座				
	CBFB inv(16)逆位、 t(16;16)転座				
	TP53 del(17)短腕欠失				
	MALT1 18q21転座				
	BCL2 18q21転座				
	del(20)長腕欠失				
血液疾患染色体 X染色体					
血液疾患染色体 Y染色体					
異性間BMT(骨髄 移植)(X,Y染色体)					

# 容器の取り扱い方法

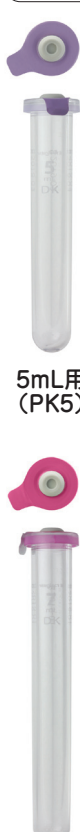
容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>PH5</b> 旧容器記号 <b>G</b> 	へパリン入り (真空採血量5mL)  内 容 へパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	<b>FLT3変異解析 ITD/TKD</b>	血液 (へパリン加) 3.0	<b>冷蔵</b>	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。


容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>PH9</b> 旧容器記号 <b>I</b> 	<b>PHAによるリンパ球 幼若化検査</b>	血液 (へパリン加) 各5.0	血液 (へパリン加) 各5.0	<b>室温</b>	左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存(17~25℃)してください。 なお、リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。 (2項目同時依頼の場合は8.0mL) 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	<b>Con-Aによるリンパ球 幼若化検査</b>				<b>薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST)</b>
	<b>MLC (リンパ球混合培養)</b>	血液 (へパリン加) (受給者) 20.0 (提供者) 10.0 (非血縁者) 10.0	受給者(Recipient)血液20.0mL(2本)と提供者(Donor)血液10.0mL(1本)、非血縁者血液 10.0mL(1本)を左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存してください。 MLCはリンパ球を無菌状態で培養しますので、採取容器の開栓、検体の移し替えは避けてください。 容器のラベルに施設名、氏名を記入してください。 なお、リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。		

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>PHS</b> 旧容器記号 <b>G3</b> 	ヘパリン入り (真空採血量4mL) 内 容 ヘパリンNa 83.6単位 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 18ヵ月 (アルミ包装 開封後1ヵ月)	遮光 コプロポルフィリン	血液 (ヘパリン加) 各1.5	冷蔵	左図の遮光容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 血液は必ず遮光容器にてご提出ください。
	遮光 ウロポルフィリン				
	遮光 プロトポルフィリン				
<b>PK2</b> 旧容器記号 <b>g</b> 	EDTA-2K入り (真空採血量2mL) 内 容 EDTA-2K 3.8mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	血球計算8種 (5種, MCV, MCH, MCHC)	血液 (EDTA-2K加) 各2	冷蔵	左図の容器に採血し、直ちに5回以上軽く転倒混和させ、冷蔵保存してください。 溶血、凝固および凍結検体は測定できません。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
		白血球数(WBC)			
		赤血球数(RBC)			
		血色素量(Hb)			
		ヘマトクリット値(Ht)			
		血小板数(PLT)			
		平均赤血球容積(MCV)			
		平均赤血球色素量(MCH)			
		平均赤血球色素濃度(MCHC)			
		好酸球数			
		網赤血球数(RET)			
		末梢血液像			
		ABO式血液型			
		Rh(D因子)式血液型			
直接クームス試験					



# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p>PK5</p> <p>PK7</p>  <p>5mL用 (PK5)</p> <p>7mL用 (PK7)</p>	<p>EDTA-2K入り (真空採血量 5 mL または 7mL)</p> <p>内 容 EDTA-2K 9.5mg または 13.3mg</p> <p>貯蔵方法 室温</p> <p>有効期間 製造から 2年</p>	<p>EGFR変異解析 v2.0 (血漿)</p>	<p>血液 10.0~14.0</p> <p>血漿 5.0</p>	<p>凍結</p>	<p>左図の採血管で提出検体量(血漿5mL)を考慮した充分量を採血し、採血後、4時間以内に必ず血漿分離してください。</p> <p>分離後、直ちに滅菌ポリスピッツ (ARR) 2本に2.5mLずつの血漿を分取し、凍結保存してください。血漿分取する際には、白血球成分由来のゲノムDNAの混入を防ぐためデカンテーションを行わないでください。</p> <p>他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体の採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。</p>


容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p>PKF</p> <p>旧容器記号 g1</p> 	<p>EDTA-2K入り (真空採血量2mL)</p> <p>内 容 EDTA-2K 3.6mg</p> <p>貯蔵方法 室温</p> <p>有効期間 製造から 1年</p>	<p>ビタミンB<sub>1</sub></p> <p>遮光 ビタミンB<sub>2</sub></p> <p>シクロスポリン</p> <p>タクロリムス</p> <p>エベロリムス</p>	<p>血液 (EDTA-2K加) 各0.5</p> <p>血液 (EDTA-2K加) 各0.7</p> <p>血液 (EDTA-2K加) 1.0</p>	<p>凍結</p>	<p>左図の容器に採血し、よく混和させ、凍結保存してください。</p> <p>左図の容器に採血し、よく混和させ、必ず遮光ポリスピッツ (ASS) に移し替え、凍結してご提出ください。</p> <p>左図の容器に採血し、よく混和させ、血液のまま凍結保存してください。他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。</p> <p>左図の容器に採血し、よく混和させ、血液のまま凍結保存してください。他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。</p> <p>左図の容器に採血し、よく混和させ、血液のまま凍結保存してください。他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。</p>



# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法	
<p>PN2 PN5 旧容器記号 C</p>  <p>2mL用 (PN2)</p>  <p>5mL用 (PN5)</p>	<p>EDTA-2Na入り (真空採血量 2mLまたは5mL)</p> <p>内容 EDTA-2Na 3.0mgまたは7.5mg</p> <p>貯蔵方法 室温</p> <p>有効期間 製造から2年</p>	血液 各1.5~2.0	<p>脛ホスホリパーゼ A<sub>2</sub> (脛PLA<sub>2</sub>)</p> <p>血漿 0.3</p>	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。	
			<p>アミノ酸分析 (39種類) [LC/MS]</p> <p>アミノ酸分析 (9種類) [LC/MS]</p> <p>アミノ酸分析2種類 (チロシン・フェニルアラニン) [LC/MS]</p> <p>速やかに冷却遠心 血漿 各0.5</p>		左図の容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。	
			<p>血中総ホモシステイン</p> <p>血漿 各0.3</p>		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、速やかに血漿分離してください。血漿は冷蔵保存してください。
			<p>ルフィナミド</p> <p>血漿 0.5</p>			左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
			<p>ミコフェノール酸</p> <p>血漿 0.3</p>			左図の容器に採血し、よく混和させ、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
			<p>イマチニブ</p> <p>速やかに冷却遠心 血漿 0.5</p>		凍結	早朝安静時に左図の容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
			<p>副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)</p> <p>血漿 各0.5</p>			左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
			<p>副甲状腺ホルモン (Whole PTH)</p> <p>血漿 各0.5</p>		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
			<p>コルチゾール</p> <p>血液 (EDTA-2Na加) 1.0</p>			早朝安静時に左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は凍結保存してください。
			<p>セロトニン</p> <p>血液 (EDTA-2Na加) 1.0</p>		凍結	左図の容器に採血し、よく混和させた後、血液をポリスピッツに移し、必ず凍結保存してください。
			<p>アルドステロン [CLEIA]</p> <p>血液 各1.5~2.0</p> <p>血漿 各0.5</p>			左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は凍結保存してください。
			<p>レニン濃度 (ARC) [CLEIA]</p> <p>血液 各1.5~2.0</p> <p>血漿 0.7</p>		凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
			<p>レニン活性 (PRA) [EIA]</p> <p>血液 各4.0</p> <p>血漿 各1.0</p>			左図の容器に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
			<p>アルドステロン (CLEIA) / レニン濃度比</p> <p>血液 各4.0</p> <p>血漿 各1.2</p>		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
			<p>アルドステロン / レニン濃度比</p> <p>血液 各4.0</p> <p>血漿 各1.2</p>			左図の容器に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
			<p>アルドステロン (CLEIA) / レニン活性比</p> <p>血液 1.5~2.0</p> <p>血漿 0.3</p>		冷蔵遠心	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
			<p>サイクリックAMP</p> <p>血液 1.5~2.0</p> <p>血漿 0.3</p>		冷蔵遠心	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。


# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p>PN2 PN5 旧容器記号 C</p>  <p>2mL用 (PN2) 5mL用 (PN5)</p>	ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	血液 各1.5~2.0	速やかに遠心 血漿 0.6	凍結	安静時に左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存にて6時間以内に血漿分離してください。 血漿は速やかに凍結保存してください。
	PIVKA-II		血漿 0.5	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	ガストリン放出ペプチド前駆体 (ProGRP)		血漿 0.4	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	鳥特異的IgG抗体		血漿 0.5		左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。血漿は冷蔵保存してください。
	Rh-Hr式血液型	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。
	血液型不適合妊娠	血液 10.0~12.0 (別容器に採血) と 血液 2.0	速やかに遠心 血清 4.0 と 血液 (EDTA-2Na加) 2.0	室温	血液2.0mLを左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存で速やかにご提出ください。また、別容器に血液10.0~12.0mL採血し、速やかに血清分離し、冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。
	不規則性抗体 (抗体同定・抗体価測定)	血液 10.0~15.0 (別容器に採血) と 血液 2.0	速やかに遠心 血清 5.0 と 血液 (EDTA-2Na加) 2.0	冷蔵 室温	血液2.0mLを左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存で速やかにご提出ください。また、別容器に血液10.0~15.0mL採血し、速やかに血清分離し、冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。
	ペントラキシン3 (PTX3)	血液 各1.5~2.0	速やかに冷却遠心 血漿 0.3	凍結	左図の容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	IL-8 (インターロイキン-8)		血漿 0.5		左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー (8 color)	骨髄液 (EDTA-2Na加) 2.0		室温	骨髄液2.0mLを採取し、左図の容器(PN5もしくはPN2)に、よく混和させ、室温保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。	


EDTA-2Na入り (真空採血量 2mLまたは5mL)

内容  
EDTA-2Na 3.0mgまたは7.5mg  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から2年


# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
 <p>PN2 PN5 旧容器記号 C</p> <p>2mL用 (PN2)</p> <p>5mL用 (PN5)</p> <p>EDTA-2Na入り (真空採血量 2mLまたは5mL)</p> <p>内容 EDTA-2Na 3.0mgまたは7.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年</p>	FLT3/ITD 変異解析	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0		冷蔵	<p>左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。</p> <p>他項目との重複依頼は避けてください。</p> <p>本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。</p>
	NPM1変異解析				
	RET遺伝子変異解析 (甲状腺髄様癌)				
	RETシングルサイト解析				
	TTR遺伝子解析 (家族性アミロイドーシス)				
	MEFV遺伝子解析 (家族性地中海熱)				
	Y染色体微小欠失 (AZF欠失)				
	薬物代謝酵素チトクローム P450 CYP2C19 遺伝子多型解析				
	UGT1A1 遺伝子多型解析				
	NUDT15 遺伝子codon 139 多型解析				
	HLA-A,B (血清対応型タイピング)				
	HLA-A (DNAタイピング)				
	HLA-B (DNAタイピング)				
	HLA-C (DNAタイピング)				
HLA-DR (血清対応型タイピング)					
HLA-DRB1 (DNAタイピング)					
HLA-DPB1 (DNAタイピング)					
HLA-DQB1 (DNAタイピング)					
補体因子(C2)	血液 2.0~3.0	血漿 1.0	凍結	<p>左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。</p> <p>血漿は必ずポリスピッツで凍結保存してください。</p>	


# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
 <p><b>PN5</b> 旧容器記号 <b>C</b></p> <p>EDTA-2Na入り (真空採血量5mL)</p> <p>内容 EDTA-2Na 7.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年</p>	単純ヘルペスウイルスDNA 定性	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性				
	サイトメガロウイルスpp65抗原(C7-HRP)	血液 (EDTA-2Na加) 3.0		室温	左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存してください。採血後速やかにご提出ください。 採血後24時間以内の血液を使用しない場合、検出率の低下が認められます。
	サイトメガロウイルスDNA 定性	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	EBウイルスDNA 定量				
	ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	血液 5.0	血漿 2.0		左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。血漿は冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	高感度PNH型血球検査	血液 (EDTA-2Na加) 各5.0		冷蔵	必ず左図の容器で採血し、冷蔵保存にてご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。
	JAK2V617F 遺伝子変異解析				
	MPN 遺伝子変異解析				
	SNRPN遺伝子解析 [メチレーションPCR] プラダー・ウィリ症候群 アンジェルマン症候群				
	先天性QT延長症候群遺伝子解析				
	HTT遺伝子CAG 反復配列解析				
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析					
IL28B SNPs解析				左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>PN5</b> 旧容器記号 <b>C</b></p>  <p>EDTA-2Na入り (真空採血量5mL)</p> <p>内 容 EDTA-2Na 7.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年</p>	男性AIRS (認知機能評価あり)	血液 各5.0	速やかに 冷却遠心 血漿 各0.5	凍結	<ol style="list-style-type: none"> <li>EDTA-2Na入り採血チューブ(左図)にて血液約5mLを採取してください。</li> <li>採血直後、血液を2～3回軽く転倒混和してください(ローラーでの混和は行わないでください)。</li> <li>混和後直ちに(1分以内)採血チューブを氷水中(血液の液面まで氷水につかる状態)で冷却(15分以上、遠心操作まで冷却)してください。</li> <li>採血から8時間以内に冷却条件で遠心分離(4℃、3000回転、15分)または通常遠心分離(3000回転、15分、ローターが昇温してないこと)してください。</li> <li>遠心後、直ちに上清の血漿を血液との界面に触れないように血漿上清の中央部から採取し、分注してください。</li> <li>分注後、血漿を4時間以内に凍結保存してください。</li> </ol>
	女性AIRS (認知機能評価あり)				
	男性AIRS (認知機能評価なし)				
	女性AIRS (認知機能評価なし)				
	男性AICS(5種)				
	女性AICS(6種)				
	LHON ミトコンドリアDNA Evaluation	血液 (EDTA-2Na加) 8.0 各2本	冷蔵	<p>左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。</p> <p>他項目との重複依頼は避けてください。</p> <p>本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。</p>	
	MELAS ミトコンドリアDNA Evaluation				
	MERRF ミトコンドリアDNA Evaluation				
	NARP ミトコンドリアDNA Evaluation				

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法		
<b>PN7</b> 旧容器記号 <b>A</b> 	抗利尿ホルモン (AVP)	血液 各4.0~5.0	速やかに 冷却遠心 血漿 各1.5	凍結	左図の容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。		
	カテコールアミン3分画 A:アドレナリン NA:ノルアドレナリン DA:ドーパミン				左図の容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。		
	L-ドーパ				速やかに 冷却遠心 血漿 1.5	凍結	左図の容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で900rpm20分間(PRP)または1500rpm10分間(P)で血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。
	ドーパミン総						
	HVA						
	VMA				速やかに 冷却遠心 血漿 各1.5	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。血漿は冷蔵保存してください。
	セロトニン						
	5-HIAA	速やかに 冷却遠心 血漿 各1.5	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。血漿は冷蔵保存してください。			
	MHPG						
	単純ヘルペスウイルスDNA定量	血液 (EDTA-2Na加) 各5.0	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。			
	サイトメガロウイルスpp65抗原(C10,C11)			左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。採血後、速やかにご提出ください。採血後24時間以内の血液を使用しない場合、検出率の低下が認められます。			
	EBウイルスDNA(クロナリティ)	血液 (EDTA-2Na加) 各7.0	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。			
	HTLV-1核酸検出(妊婦)定性			左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存でご提出ください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。			
	HTLV-1プロウイルスDNA定性			左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。			
HTLV-I(ATLV)プロウイルスDNA(クロナリティ)							


EDTA-2Na入り  
(真空採血量7mL)

内容  
EDTA-2Na  
10.5mg


貯蔵方法  
室温

有効期間  
製造から2年

# 容器の取り扱い方法


容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>PN7</b> 旧容器記号 <b>A</b></p>  <p>EDTA-2Na入り (真空採血量7mL)</p> <p>内 容 EDTA-2Na 10.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年</p>	マイクロアレイ 染色体検査 (染色体構造変異解析)	血液 (EDTA-2Na加) 各7.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。
	KIT シーケンス解析 (白血病)				左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	白血病キメラ スクリーニング(定量)				
	WT1 mRNA定量				
	Major BCR-ABL1 mRNA(IS)				
	Major BCR-ABL1 mRNA定性				
	Major BCR-ABL1 ABL1変異解析				
	minor BCR-ABL1 (%)				
	minor BCR-ABL1 mRNA定量				
	minor BCR-ABL1 mRNA定性				
	micro BCR-ABL1 mRNA定性				
	minor BCR-ABL1 ABL1変異解析				
	TCF3-PBX1 mRNA定量				
	TCF3-PBX1 mRNA定性				
	PML-RARA mRNA定量				
	PML-RARA mRNA定性				
CBFB-MYH11 mRNA定量					
CBFB-MYH11 mRNA定性					
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量					
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性					

# 容器の取り扱い方法


容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>PN7</b> 旧容器記号 <b>A</b></p>  <p>EDTA-2Na入り (真空採血量7mL)</p> <p>内容 EDTA-2Na 10.5mg</p> <p>貯蔵方法 室温</p> <p>有効期間 製造から 2年</p>	RUNX1-MECOM mRNA定性	血液 (EDTA-2Na加) 各7.0		冷蔵	<p>左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。</p>
	ETV6-RUNX1 mRNA定量				
	ETV6-RUNX1 mRNA定性				
	KMT2A-AFF1 mRNA定量				
	KMT2A-AFF1 mRNA定性				
	KMT2A-AFDN mRNA定量				
	KMT2A-AFDN mRNA定性				
	KMT2A-MLLT3 mRNA定量				
	KMT2A-MLLT3 mRNA定性				
	KMT2A-MLLT1 mRNA定量				
	KMT2A-MLLT1 mRNA定性				
	NUP98-HOXA9 mRNA定量				<p>左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。</p>
	STIL-TAL1 mRNA定量				
	DEK-NUP214 mRNA定量				
	DEK-NUP214 mRNA定性				
	T細胞レセプターβ鎖Cβ1再構成				
	T細胞レセプターβ鎖Jβ1再構成				
	T細胞レセプターβ鎖Jβ2再構成				
	T細胞レセプターγ鎖Jγ再構成				
	T細胞レセプターδ鎖Jδ1再構成				
免疫グロブリンH鎖JH再構成					
免疫グロブリンH鎖Cμ再構成					
免疫グロブリンL鎖Jκ再構成					
免疫グロブリンL鎖Cκ再構成					
免疫グロブリンL鎖Cλ再構成					




# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>PN7</b> 旧容器記号 <b>A</b></p>  <p>EDTA-2Na入り (真空採血量7mL)</p> <p>内 容 EDTA-2Na 10.5mg</p> <p>貯蔵方法 室温</p> <p>有効期間 製造から 2年</p>	PRRT2遺伝子 変異解析	血液 (EDTA-2Na加) 各7.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	MECP2遺伝子 (exon3,4)変異解析				
	ジストロフィン DNA				
	福山型筋ジストロフィー DNA 挿入				
	キメリズム解析移植前 レシピエント(PCR)				
	キメリズム解析移植前 ドナー [PCR]	血液 (EDTA-2Na加) 各5.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	キメリズム解析移植後 [PCR]				
水痘・帯状疱疹 ウイルスDNA定量	血液 (EDTA-2Na加) 各5.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	
ヒトヘルペス ウイルス6型DNA定量					

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>PNK</b> 旧容器記号 <b>R</b> 	保存液入り (真空採血量5mL) 内 容 保存液 0.7mL 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 1年 (アルミシート 開封後1ヵ月)	NK細胞活性	血液 (保存液加) 5.0	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ冷蔵保存してください。 なお、リンパ球の少ない患者さんは多めに採血してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>PSF</b> 旧容器記号 <b>P3</b> 	EDTA - 2K+ 血漿分離剤入り (真空採血量5mL) 貯蔵方法 4 ~ 25℃ 有効期間 製造から 1年	サイトメガロウイルス 核酸定量 HIV-1RNA定量	血液 各5.0	凍結 血漿 各1.8	指定の採取量を左図の容器に採血後、4 ~ 5回静かに転倒混和し、室温にて遠心分離しそのまま凍結してご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	検体の取り扱い方法																												
<p><b>S09</b> <b>S06</b></p>  <p>9mL用 (S09)</p> <p>6mL用 (S06)</p>	<p>分離剤入り (真空採血量 9mL又は6mL)</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年</p>	<p>生化学検査一般 血清学的検査一般 その他</p> <p>適量</p>	<p>適量</p>	<p>左図の容器に、検査項目に応じて必要量を採血した後、4～5回静かに転倒混和し、室温にて30～60分放置してください。血液の凝固を確認後、遠心分離し容器A00（ポリスピッツ）に血清を分注しご提出ください。検体量不足にならないようご注意ください。</p> <p>遠心分離は、2000Gで10分間遠心してください。 (下表は2000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示しています。)</p> <p style="text-align: center;">換算表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>半径(cm)</th> <th>回転数(rpm)</th> <th>半径(cm)</th> <th>回転数(rpm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>4200</td> <td>22</td> <td>2800</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>3800</td> <td>24</td> <td>2700</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>3500</td> <td>26</td> <td>2600</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>3300</td> <td>28</td> <td>2500</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>3100</td> <td>30</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>3000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	半径(cm)	回転数(rpm)	半径(cm)	回転数(rpm)	10	4200	22	2800	12	3800	24	2700	14	3500	26	2600	16	3300	28	2500	18	3100	30	2400	20	3000		
半径(cm)	回転数(rpm)	半径(cm)	回転数(rpm)																													
10	4200	22	2800																													
12	3800	24	2700																													
14	3500	26	2600																													
16	3300	28	2500																													
18	3100	30	2400																													
20	3000																															

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>S3F</b> <b>S5F</b> 旧容器記号 <b>P1</b></p>  <p>3mL採血用 (S3F)</p> <p>5mL採血用 (S5F)</p>	<p>凝固促進剤＋血清分離剤入り (真空採血量 3mLまたは5mL)</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年</p>	<p>HBV DNA定量 (IU)</p> <p>血液 5.0</p>	<p>血清 1.8</p>	<p><b>凍結</b></p> <p>指定の採取量を左図の容器に採血後、4～5回静かに転倒混和し、室温にて30～60分放置してください。凝固完了を確認後、遠心分離しそのまま凍結してご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。</p>	
	<p>HCV RNA コアジェノタイプ</p> <p>血液 各3.0</p>	<p>血清 各0.5</p>			
	<p>HCV RNA 1b(NS5A)</p>				
	<p>HCV RNA定量</p> <p>血液 5.0</p>	<p>血清 1.8</p>			
	<p>HCV DCV耐性変異 (L31/Y93)</p>	<p>血液 各3.0</p>	<p>血清 各0.5</p>		
	<p>HCV 薬剤耐性変異 NS3-D168</p>				
	<p>HCV NS5B-S282 変異</p>				
	<p>HCV 1b-IFN/リバビリン変異</p>				

# 容器の取り扱い方法

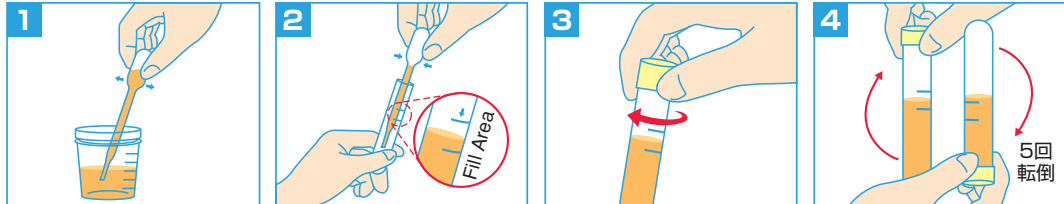
容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	検体の取り扱い方法			
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">S9P</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">S7P</div> </div>  <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="text-align: center;">10mL用 (S9P)</div> <div style="text-align: center;">7mL用 (S7P)</div> </div> </div>	<p>分離剤なし (真空採血量 10mL又は7mL)</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年</p>	薬物検査	適量	適量			
<p>左図の容器に、検査項目に応じて必要量を採血した後、4～5回静かに転倒混和し、室温にて30～60分放置してください。血液の凝固を確認後、遠心分離し容器A00（ポリスピッツ）に血清を分注しご提出ください。</p> <p>遠心分離は、2000Gで10分間遠心してください。 (下表は2000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示しています。)</p>							
換算表							
半径(cm)		回転数(rpm)		半径(cm)		回転数(rpm)	
10		4200		22		2800	
12		3800		24		2700	
14		3500		26		2600	
16		3300		28		2500	
18		3100		30		2400	
20		3000					

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>SZZ</b> 旧容器記号 <b>e</b> 	血清分離剤 凝固促進剤入り (真空採血量3mL)  内 容 トロンビン ヘパリン中和剤 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	<b>アルミニウム(AI)</b>  血液 2.5~3.0	血清 0.6	<b>冷蔵</b>	コンタミネーション防止のため、シャントから滴下または真空採血してください。採血後は直ちに充分転倒混和し、遠心分離後そのまま冷蔵保存にてご提出ください。

## 容器形態

<b>U00</b> 旧容器記号 <b>Y</b>	貯蔵方法 室温		尿用容器		
---------------------------------	---------	--	------	--	--

容器形態	検査項目	保存
<p><b>U10</b> 旧容器記号 <b>Y1</b> 滅菌スポイト 滅菌カップ</p>  <p>内容 グアニジン塩酸塩 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年</p>	<p><b>クラミジアトラコマチスDNA 淋菌DNA 淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定</b></p> <p>●尿検体からの採取 最後の排尿から少なくとも1時間以上経過後の初尿を採取してください。 ① 滅菌済みカップに初尿を採取し、滅菌済みスポイトを用いて初尿を専用容器に移します。 ② 専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えてください。 ③ 専用容器のキャップをしっかりと閉めてください。 ④ 専用容器を5回転倒混和して室温にて提出してください。</p>  <p>●うがい液検体からの採取 検体採取前の食事・うがい・歯磨き・ガムを噛むこと等は避けてください。 ① 滅菌生理食塩水をカップに15~20mL入口に含み、顔を上に向けて10~20秒間、勢いよくうがいを行います。 ② うがい液全量をコップに回収し、スポイトで専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように添加します。 ③ 専用容器のキャップをしっかりと閉め、5回転倒混和して室温保存にて提出してください。</p> 	<p>室温</p>


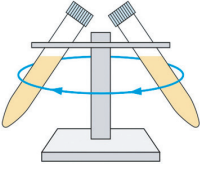
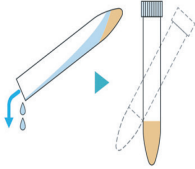


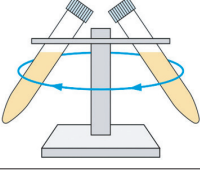
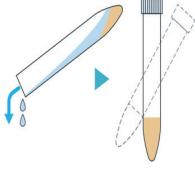
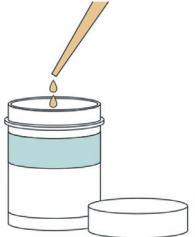
容器形態	容器形態
<p><b>U20</b> 旧容器記号 <b>Y0</b> 尿用容器 貯蔵方法 室温</p>  <p>17-KS7分画、プレグナンジオール、プレグナントリオール</p>	<p><b>U40</b> 旧容器記号 <b>Y4</b> 尿中一般、尿沈渣用スピッツ 貯蔵方法 室温</p> 

# 容器の取り扱い方法


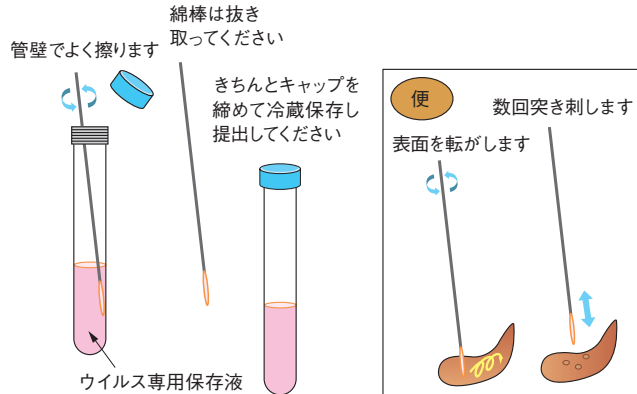
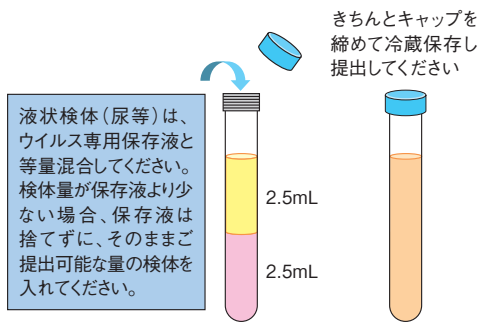
容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>U50</b> 旧容器記号 <b>Y5</b>  保存剤入り (容器容量10mL) 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年	尿中ミオグロビン [CLEIA]		部分尿 6	冷蔵	採取した尿を速やかに専用容器(U50)のラベルに印刷してある線まで入れ、よく混和させ冷蔵保存にてご提出ください。凍結保存は避けてください。
<b>U70</b> 旧容器記号 <b>Y7</b>  Tris+Hcl入り (容器容量10mL) 内 容 1.5M Tris-Hcl 0.5mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年	尿中Ⅳ型コラーゲン		部分尿 5	冷蔵	早朝一番尿を採取し、左図の容器に注入し、よく混和させ、冷蔵保存してください。凍結保存および他項目との重複依頼は避けてください。
<b>U80</b> 旧容器記号 <b>Y8</b>  保存液入り (容器容量10mL) 内 容 尿安定化剤 貯蔵方法 遮光・室温 有効期間 製造から2年6ヵ月	尿中核マトリックス プロテイン22 (NMP22)	部分尿 適量 (別容器)	速やかに遠心 部分尿 (上清) 5	冷蔵	採取した尿を速やかに遠心し、その上清を専用容器の採尿範囲まで入れ、よく混和してください。凍結保存および他項目との重複依頼は避け、冷蔵にてご提出ください。
<b>U90</b> 旧容器記号 <b>b2</b>  抗プラスミン剤入り 内 容 アプロチニン 精製ゼラチン デヒドロ酢酸 ナトリウム 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から2年 (アルミ包装 開封後1週間)	FDP定量	部分尿 (新鮮尿) 2	部分尿 (上清) 0.5	凍結	新鮮尿を採取し、左図の容器に注入し、よく混和後、3000rpm5～10分間遠心分離してください。上清(部分尿)は必ず凍結保存してください。


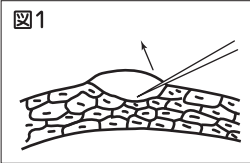
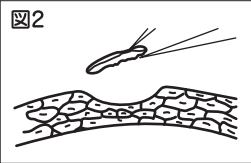
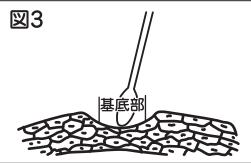
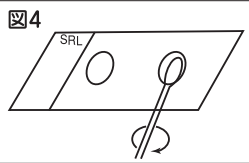


# 容器の取り扱い方法


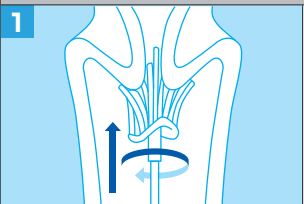
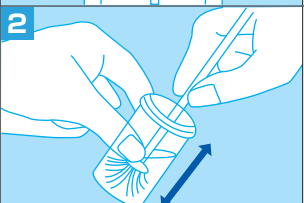
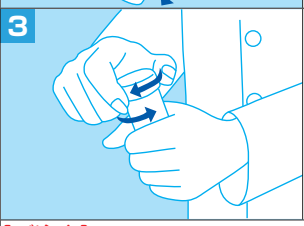
容器形態	検査項目	保存	採取方法
<p><b>UV6</b> 旧容器記号 <b>f3</b></p>  <p>内容 メタノール55% 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年6ヵ月</p>	細胞診 (尿LBC)	室温	 <p>採取した適量の尿を、1500rpm 5分間遠心してください。</p>  <p>上清を捨て、沈渣をよく混和させてください。</p>  <p>沈渣をスポイトで専用容器に滴下し、しっかり蓋を閉めてご提出ください。 (沈渣が少ない場合は、専用容器の内容液をスピッツに入れ、再び専用容器に移してください。)</p>
<p><b>UV7</b> 旧容器記号 <b>f7</b></p>  <p>内容 メタノール55% 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年6ヵ月</p>	膀胱癌FISH (ウロビジョン)	冷蔵	 <p>採取した適量(33mL以上)の尿を、1500rpm5分間遠心してください。</p>  <p>上清を捨て、沈渣をよく混和させてください。</p>  <p>沈渣をスポイトで専用容器に滴下し、冷蔵保存してください。 検体は、蓋が最後まで閉まっていることを確認しパラフィルムを巻かずにご提出ください。</p> <p>●注意事項 提出容器内の細胞数が少ない場合、検査不能となる恐れがありますので、遠心後の上清を捨てる際はご注意ください。</p>


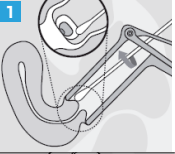
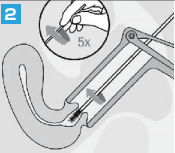
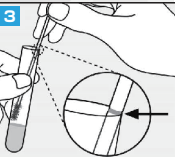
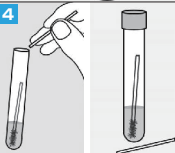
# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>V10</b> 旧容器記号 <b>V</b></p>  <p>ウイルス専用 保存液入り 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から6ヵ月</p>	<p>ウイルス分離</p>	<p>冷蔵</p>	<p>●<b>患部ぬぐい液・水疱内容・糞便</b> 等 滅菌綿棒でぬぐい、下図の採取方法でウイルス専用保存液に採取し、冷蔵保存してください。</p>  <p>綿棒は抜き取ってください 管壁をよく擦ります きちんとキャップを締めて冷蔵保存し提出してください 便 数回突き刺します 表面を転がします</p>
	<p>ウイルス同定</p>	<p>冷蔵</p>	<p>●<b>尿・髄液・胸水・鼻汁</b> 等 下図の採取方法でウイルス専用保存液と等量の検体を採取し、冷蔵保存してください。</p>  <p>きちんとキャップを締めて冷蔵保存し提出してください</p> <p>液状検体(尿等)は、ウイルス専用保存液と等量混合してください。検体量が保存液より少ない場合、保存液は捨てずに、そのまま提出可能な量の検体を入れてください。</p> <p>2.5mL 2.5mL</p> <p>●<b>組織</b> 組織小片(5mm 角程度)をウイルス専用保存液に入れ、冷蔵保存してください。</p>

容器形態	検査項目	保存
<p><b>V30</b> 旧容器記号 <b>W1</b></p>  <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年</p>	<p style="text-align: center;"><b>単純ヘルペスウイルス特異抗原 水痘・帯状疱疹ウイルス抗原</b></p> <p>●<b>検体の採取方法</b> 病巣基底細胞が多数得られるように採取してください。 早期の水疱病巣が検体として最適です。水疱内容液および膿は、検体として不適合です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①滅菌針を用いて、上部の皮あるいは痂皮を剥がします。(図1)</li> <li>②病巣を覆っていた上部の皮を、ピンセット等で除去します。(図2)</li> <li>③綿棒を精製水や生理食塩水で軽く湿らせます。</li> <li>④ウイルス感染細胞は、病巣基底部にありますので、病巣基底部全面を綿棒で強くぬぐいます。(図3)</li> </ol> <p>●<b>注意</b> 膿がでている場合には綿棒でまず膿をぬぐい去り、別の綿棒で検体を採取してください。この時、病巣基底部をかき乱さないよう注意してください。</p> <p>●<b>操作法</b></p> <p>●<b>検体の塗抹</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①綿棒を回転させながらスライドガラスの2個の円内に塗りつけます。このとき綿棒は、スライドガラスに平行にして、全表面が触れるように塗抹します。不均一にならないように注意してください。(図4)</li> <li>②綿棒をずてる前に検体が均一に広がっているかどうか確認します。均一になっていれば不透明に見えます。透明に見える部分があれば、そこへ綿棒をあてて再び塗抹します。</li> <li>③そのまま風乾します。</li> <li>④乾燥したスライドガラス上に充分な量(検体にゆきわたる)のアセトンを添加し、蒸発させます。 ・検体はスライドガラス2枚をご提出ください。</li> </ol> <p>●<b>検体の保存</b> 乾燥後のスライドガラスは、塗抹面を下にし、オブジェクトケースに入れ、検査項目名、病院名、氏名等を記入後、凍結保存してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="368 922 619 1084"> <p>図1</p>  </div> <div data-bbox="628 922 879 1084"> <p>図2</p>  </div> <div data-bbox="888 922 1139 1084"> <p>図3</p>  </div> <div data-bbox="1149 922 1399 1084"> <p>図4</p>  </div> </div>	<p><b>凍結</b></p>

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	保存	採取方法
<p><b>V41</b> 旧容器記号 <b>f6</b></p>  <p>内容 メタノール55%</p> <p>貯蔵方法 室温</p> <p>有効期間 製造から1年6ヵ月</p>	ヒトパピローマウイルスDNA (16型、18型、その他ハイリスクグループ)	室温	<p>1</p>  <p>①子宮頸部の細胞を採取する 綿棒以外の採取器具(ブラシ、スパーテル)を用いて細胞を採取してください。</p>
	ヒトパピローマウイルスDNA (ハイリスクグループ) (LBC)		<p>2</p>  <p>②細胞を洗い落とす 採取器具を容器に入れ、容器の底で採取器具の先端が広がるように10回程度押し付けた後、強くかき回して採取した細胞を洗い落としてください。</p>
	ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定		<p>3</p>  <p>③しっかりフタを閉める 採取器具を取り出し、蓋の黒いラインが容器本体の黒いラインを左に超えるように、しっかり蓋を閉め、保存してください。 (注)採取器具の先端は容器に残さないでください。</p>
	細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)		<p><b>[ご注意]</b> 妊婦より細胞を採取する場合は、安全性を考慮し、ブラシ、スパーテル等の採取器具の使用は避け、綿棒を使用してください。ただし、綿棒で検査に必要な細胞量を採取するために、採取前に別の綿棒で粘液を除去し、採取に使用した綿棒を保存液中で十分にすすぎ、採取した細胞を洗い落としてください。容器には綿棒の先端を残さないでください。また、綿棒では無理な力がかかりますと折れる可能性がありますので充分にご注意ください。</p>
	細胞診(婦人科 LBC)		

容器形態	検査項目	保存	採取方法	
<p><b>V50</b> 旧容器記号 <b>F3</b></p>  <p>内容 貯蔵方法 有効期間</p> <p>グアニジン塩酸塩 室温 製造から 1年</p>	クラミジア トラコマチス DNA	室温	<p>1</p> 	<p>スワブ検体採取セット付属のドライスワブで子宮頸管とその周辺部の過剰な粘液を充分拭い取ります。このスワブは廃棄します。</p>
	淋菌DNA		<p>2</p> 	<p>付属のフロックスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向に5回そっとスワブを回し、腔の粘液に触れないように注意してスワブを引き抜きます。</p>
	淋菌および クラミジア トラコマチスDNA 同時同定		<p>3</p> 	<p>専用容器のキャップを開け、採取したフロックスワブの先端が容器内の溶液に浸からないように注意しながら入れ、柄につけられた線を容器の縁に合わせます。</p>
	<p>4</p> 		<p>専用容器の縁を利用してフロックスワブの柄につけられた線で折り入れ、手元に残った折られた柄は廃棄します。専用容器のキャップをしっかり閉め、室温保存で提出してください。</p>	

# 容器の取り扱い方法

## 容器形態

**V60**

旧容器記号

**W3**

内容 保存液  
貯蔵方法 室温  
有効期間 製造から 3年





一般用

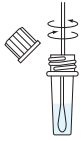




妊婦用

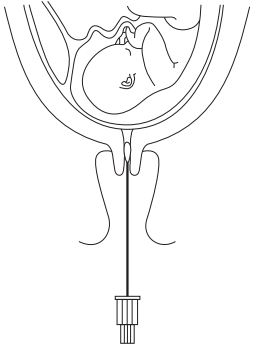
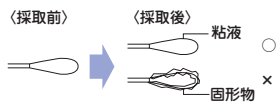

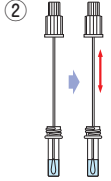

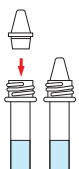

ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ、ローリスクグループ)

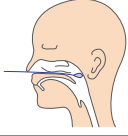
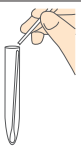

**[ご注意]**検体採取時に無理な力がかけますと、綿棒が折れる可能性がありますので、充分ご注意ください。

容器形態	容器形態
<p><b>VP0</b> 病理専用容器 旧容器記号 <b>u5</b></p>  <p>20%ホルマリン液を充填してお使いください。 貯蔵方法 室温</p>	<p><b>VP1</b> 凍結組織材料作製セット 旧容器記号 <b>u1</b></p>  <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年</p>

容器形態	検査項目	保存	採取方法
<p><b>VP5</b> 旧容器記号 <b>W5</b></p>  <p>内容 抽出液 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年</p>	ヒト癌胎児性 フィブロネクチン	凍結	 <p>専用綿棒を後腔円蓋に挿入し、約10秒間回して分泌物を吸収させます。 ※腔表面を強くこすらないでください。 ※粘液は混入させないでください。</p>  <p>検体抽出容器の白色キャップをはずし、分泌液を吸収させた綿棒を浸けて、5回程度綿棒を回します。(この際、容器から液がこぼれないよう注意してください。)</p>  <p>綿棒を検体抽出容器から引き抜きます。</p>  <p>検体抽出容器に検体濾過フィルターを取り付けます。</p>  <p>検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて必ず凍結保存してください。</p> <p>測定試料</p> <p>●注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検体の採取は腔洗浄前に行ってください。</li> <li>検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。</li> <li>検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。</li> <li>検体は後腔円蓋から採取してください。</li> <li>腔表面を強くこすらないように注意してください。</li> </ul>


# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目		保存			
<b>VP6</b> 旧容器記号 <b>W6</b>	<b>子宮頸管粘液中 顆粒球エラストーゼ</b>		<b>凍結</b>			
	<b>採取方法</b>					
	<b>正しい採取部位</b> 	子宮腔部の粘液を綿球で丁寧に拭き取ります。	<b>●注意事項</b> 1)子宮頸管部より採取してください。 2)検体採取は腔部洗浄前に行ってください。 3)綿棒が外子宮口周辺の分泌物や粘液に接触しないようにしてください。綿棒の先が初めて接触する部分が頸管内腔であるように挿入してください。 4)綿棒1回転あたり約5秒をかけ、自然に粘液を浸み込ませるようにしてください。少量の固形物が付着した場合には、接子等で取り除いてください。 			
		綿球を子宮頸管内腔に挿入します。注3)				
		綿棒をゆっくりと2回転させ、頸管粘液を採取します。注4)				
<b>抽出方法</b>						
内容 抽出液 (リン酸バッファー) 貯蔵方法 室温 (抽出液は冷蔵) 有効期間 製造から 1年		抽出液の入った抽出容器の青色キャップをはずします。		頸管粘液を採取した綿棒を浸けて、2～3分間放置します。その後、綿棒を20～30回細かく上下させて検体を抽出します。		綿棒に浸み込んだ検体抽出液を抽出容器ごと指で押しつぶす等して絞り出した後、綿棒を取り除きます。
		フィルターをセットします。		検体抽出液を検体保存容器へ濾過します。この時の加圧は1回のみとし、5～7滴(約300μL)を分取します。必要量が得られない場合は検体採取からやり直してください。検体保存容器に白色キャップをして保存します。冷蔵(8℃)で3日以内、凍結(-15℃以下)で3ヵ月以内に測定してください。		


容器形態	検査項目		保存
<b>VS4</b> 旧容器記号 <b>k9</b>	<b>百日咳菌DNA</b>		<b>凍結</b>
	<b>採取方法</b>		
	1.綿球部分に触れないように、スワブの軸部分をつまんで取り出します。		
		2.被験者の頭を動かさないようによく押さえ、その後、スワブを後鼻腔に静かに挿入して粘液を採取します。	
		3.速やかにスワブを滅菌ポリスピッツ(ARR)の中に入れ、スワブの柄にあるスリットを容器の縁にあてて折ります。	
	4.スワブを入れたまま容器のキャップをしっかりと閉め、凍結保存にて提出してください。		
貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 5年			




# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>X00</b> 旧容器記号 ② 	結核菌群核酸同定 [TRC]	喀痰 各2.0		冷蔵	他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	MAC核酸同定 [TRC]				
	ニューモシスチスカリニ (P.jirovecii)DNA				
	マイコプラズマニューモニエDNA				
	レジオネラDNA 定性	喀痰 1.0	凍結		
滅菌喀痰採取容器 貯蔵方法 室温					

## 容器形態

<b>X10</b> 旧容器記号 ① ①	細胞診(喀痰集細胞法) 内容 サコマノ氏液、粘液融解剤 貯蔵方法 室温(冷暗所) 有効期間 製造から1年	
-------------------------------	---	--


## 容器形態

<b>XC0</b> 旧容器記号 ① ①	貯蔵方法 室温	
結石専用容器		

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>XR4</b> 旧容器記号 <b>L4</b> 	タウ蛋白  貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 4年		髄液 1.0	<b>凍結</b>	左図の容器に採取し、直ちに凍結し、コンテナ容器セット(Z50)に入れ、必ず凍結保存してください。
<b>XR5</b> 旧容器記号 <b>L6</b> 	CSF容器 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 3年	β-アミロイド 1-42/1-40比  リン酸化タウ  総タウ蛋白(AD)	髄液 各2.5	<b>冷蔵</b>	左図の容器に採取し、必ず冷蔵保存してください。

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<p><b>Z10</b> 旧容器記号 t</p>  <p>[オブジェクトケース] プレパラート (スライドガラス)</p> <p>貯蔵方法 室温</p>	好中球アルカリ フォスファターゼ (AL-P染色スコア)		血液塗抹標本 3枚		標本は新鮮血で作製し、抗凝固剤は使用しないでください。 アルカリフォスファターゼ固定方法 -3 ~ -5℃の固定液(ホルマリン原液 10mL+純メタノール90mL+1%酢酸1mL) (pH4.8)に5秒間浸漬、水洗15秒、乾燥。 室温保存してください。
	鼻汁中好酸球		鼻汁塗抹標本 2~3枚		標本は新鮮鼻汁で作製しご提出ください。 室温保存してください。
	BRAF exon15 V600E(SEQ)		未染標本スライド ・腫瘍部位確認用 切片の厚さ 3.4μm:各2枚		未染標本スライドを作製し、スライドのおもてに切片の厚さを記入し、左図のオブジェクトケースに入れ、室温保存にてご提出ください。左記の3項目のご依頼(単独または、2~3項目同時の場合)の際は、必ず「腫瘍部位確認用検査」を併せてご依頼くださいますようお願いいたします。
	PIK3CA 遺伝子 変異解析(SEQ)		・DNA抽出用 切片の厚さ 10μm:各5~10枚		
	c-kit遺伝子 変異解析(GIST)				<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">室温</p> <p>塗抹標本を作製し、左図のオブジェクトケースに入れ、室温保存にてご提出ください。</p>
	一般細胞診(喀痰)		塗抹標本 (湿固定2枚)		
	一般細胞診 (喀痰以外)		塗抹標本 (湿固定1枚、乾燥固定1枚)		
	細胞診(婦人科 ベセスダシステム)		塗抹標本 各(湿固定1枚)		
	細胞診(婦人科)				
	染色標本作製				シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、組織は3~4μmの厚さに薄切し、スライドグラス端から50mm以内に貼り付けてください。
	CD30(IHC)		未染標本スライド 各2枚		シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。組織は4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
	悪性リンパ腫ALK タンパク(IHC)				
乳癌PD-L1タンパク (IHC)22C3		未染標本スライド 4枚			

# 容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
<b>Z10</b> 旧容器記号 t	乳癌 PD-L1タンパク (IHC)SP142	未染標本スライド 各4枚		シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。組織は4～5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。  シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、速やかにご提出ください。組織剥離防止の為にベーキングさせる場合でも、なるべく短時間で(1時間以内)処理を行い、スライドグラスをそれ以上の時間、高温に置くことは避けてください。なお胃がんHER2検査病理部会作成の検査ガイドは10%中性緩衝ホルマリンで6～72時間以内(生検標本の場合は検体の大きさに準ずる。但し、固定時間は6時間以上)固定した材料が望ましいとされています。組織を4～6μmの厚さに薄切してください。  シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、速やかにご提出ください。組織剥離防止の為にベーキングさせる場合でも、なるべく短時間で(1時間以内)処理を行い、スライドグラスをそれ以上の時間、高温に置くことは避けてください。なお胃がんHER2検査病理部会作成の検査ガイドは10%中性緩衝ホルマリンで6～72時間以内(生検標本の場合は検体の大きさに準ずる。但し、固定時間は6時間以上)固定した材料が望ましいとされています。組織を3～4μmの厚さに薄切してください。  シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。組織は4～5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。  シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。組織は4～5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。  Poly-L-lysineまたはシラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、組織切片を4μmの厚さに薄切し、なるべくスライド中央に貼り付け、37℃で24時間乾燥させた後、ご提出ください。  シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。組織を4～6μmの厚さに薄切してください。組織剥離防止の為にベーキングさせる場合は2～24時間程度の処理を行ってください。  シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。組織は4～5μmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から15mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。  材料は組織を10～20%ホルマリン固定液に24～48時間程度の固定をし、包埋したパラフィンブロックから作製された未染標本スライドとなります。標本は3～4μmの厚さに薄切し、シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。	
	胃癌HER2遺伝子 (FISH)				
	胃癌HER2タンパク (IHC)				
	胃癌PD-L1タンパク (IHC)28-8				
	食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3				
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)22C3				
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)28-8				
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)SP142				
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)SP263				
	肺癌ALKタンパク (高感度IHC)				
	肺癌ALKタンパク (IHC)D5F3				
	肺癌ALK遺伝子 (FISH)				未染標本スライド 3枚
	メラノーマPD-L1タンパク(IHC)28-8				未染標本スライド 各4枚
	頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3				
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8					
CCR4タンパク (IHC)	未染標本スライド 6枚				




[オブジェクトケース]  
プレパラート  
(スライドグラス)

貯蔵方法  
室温

室温

## 遺伝子関連検査の未染標本スライド提出に際しての留意事項

容器形態	検査項目	未染標本スライド (枚)	厚さ ( $\mu\text{m}$ )	検査に必要な 腫瘍細胞割合	保存
<b>Z10</b> 旧容器記号 <b>t</b>  [オブジェクトケース] プレパラート (スライドグラス) 貯蔵方法 室温	EZH2遺伝子変異解析	5	5	15%以上	 室温
	BRAF V600 変異解析(PCR)	5~10	10	50%以上	
	EGFR変異解析 v2.0	5~10	10	10%以上	
	EGFR遺伝子 変異解析 (Scorpion-ARMS法)	5~10	5~10	10%以上	
	ROS1融合遺伝子定性(FFPE)	5	5	30%以上	
	ArcherMETex14スキッピング(FFPE)	5~10	5	10%以上	
	IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FFPE)	5~10	4~10	20%以上	
	RAS・BRAF遺伝子変異解析	5	5~10	10%以上	
	マイクロサテライト不安定性(MSI)検査 (FFPE)	5~10	5	50%以上	
	オンコマインDx Target Testマルチ CDx(FFPE)	5~10	5	30%以上	
	オンコマインDx Target Testマルチ 研究用46遺伝子解析(FFPE)	5~10	5	30%以上	
	AmoyDx肺癌マルチパネル IVD 検体保存期間:(3ヵ月以下、3~12ヵ月、12~24ヵ月)	各7~10	各5	20%以上 (推奨30%以上)	
	AmoyDx肺癌マルチパネル 研究用 検体保存期間:(3ヵ月以下、3~12ヵ月、12~24ヵ月)	各7~10	各5	20%以上 (推奨30%以上)	

### 採取方法

#### ●提出条件

未染標本スライドは、病理組織学的な評価がなされ、腫瘍細胞が検査に必要な割合以上存在することを確認してください。腫瘍細胞割合が満たない場合には、未染標本スライドの裏面から腫瘍細胞領域をマーキングしてください。マーキングがされないまま提出されますと、マクロダイセクションができず、偽陰性など判定結果に影響を及ぼす可能性がありますので、あらかじめご了承ください。  
 なお、マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FFPE)は、検査の特性上、腫瘍部と正常部を区分する必要がありますので、必ず腫瘍細胞領域のマーキングをお願いします。

#### ●未染標本スライドについて

採取された組織は速やかに10%中性緩衝ホルマリン溶液に浸漬し、固定を行ってください(推奨固定時間は6~48時間、ArcherMET ex14スキッピング(FFPE)手術材料は18~36時間、生検材料は3~6時間程度)。ご提出の際には、可能な限り3年以内に作製したホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)ブロックより、指定の厚さにて連続切片を作製してください。ただし、AmoyDx肺癌マルチパネルはそれぞれ各項目に準じた3ヵ月以内、3~12ヵ月以内、12~24ヵ月以内に作製したFFPE組織にてご提出ください。なお、薄切時には検体ごとにマイクローム刃を交換するなど、コンタミネーションに充分ご注意ください。

また、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては、解析不可能となることがありますので、あらかじめご了承ください。

#### ●生検標本について

生検標本は検体が微量であることが多く、組織自体がほとんど消失している場合や、腫瘍細胞が含まれていない組織片になっている可能性がありますので、あらかじめご注意ください。

# 容器の取り扱い方法

## 容器形態

**Z50**

貯蔵方法 室温

旧容器記号

**L5**



コンテナ容器セット

# 新規検査項目記入欄

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考

# 新規検査項目記入欄

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考



# 新規検査項目記入欄

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考

# 新規検査項目記入欄

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考





# 株式会社 北信臨床

検査内容のお問合せは、最寄りの下記事業所までご連絡下さい。

お問合せ時間 平日 9:00~19:00 土曜日 9:00~18:00

## 株式会社北信臨床


本 社	〒380-0918	長野市アークス1-19	TEL:026-223-6366	FAX:026-223-6135
長野営業所	〒380-0918	長野市アークス1-19	TEL:026-223-6311	FAX:026-223-6135
東御営業所	〒389-0516	東御市田中337	TEL:050-2000-4620	FAX:0268-64-0560
諏訪営業所	〒392-0027	諏訪市湖岸通り11-104	TEL:0266-58-2314	FAX:0266-58-7124
松本営業所	〒390-0851	松本市島内4616-1	TEL:026-223-6311	FAX:026-223-6135
伊那駐在所	〒396-0026	伊那市西町4931-3	TEL:0266-58-2314	FAX:0266-58-7124
飯田分室	〒395-0804	飯田市鼎名古熊2104-1	TEL:0266-58-2314	FAX:0266-58-7124

## 登録衛生検査所一覧

名称	所在地	生化学的検査	血液学的検査	血清学的検査	血清分離のみ
長野ラボ	〒380-0918 長野市アークス1-19	○	○	○	
伊那ラボ	〒396-0026 伊那市西町4931-3	○	○	○	
飯田ラボ	〒395-0804 飯田市鼎名古熊2104-1				○

## <取得認定類>

プライバシーマーク  
登録証



■登録番号 第14300003(07)号  
■事業所の名称及び所在地  
株式会社北信臨床  
長野県長野市アークス1番19号  
■プライバシーマーク持手の有効期間  
2019年7月18日~2021年7月17日  
■プライバシーマーク持手継続について事業所がプライバシーマーク制度実施機関  
一般財団法人医療情報システム開発センター  
一般財団法人日本情報経済社会推進協会

JIPDEC

プライバシーマーク



■登録番号 第14300003(07)号

医療関連サービスマーク



検体検査

(財)医療関連サービス振興会

医療関連サービスマーク